YAMAHA

01V96 Version 2

DIGITAL MIXING CONSOLE

取扱説明書

このたびはヤマハデジタルミキシングコンソール01V96をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。01V96の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

J

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

電源 / 電源コード

電源は必ず交流100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

電源コードは、必ず指定のものを使用する。
故障、発熱、火災などの原因になります。

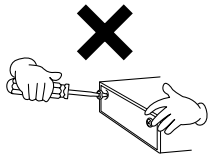
電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

接続

アース(接地)を確実に行なう。
付属の電源プラグ変換アダプターには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、電源プラグ変換アダプターを電源プラグに接続し、必ずアース線をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

分解禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意

禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気づいたら

必ず実行

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なにおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

⚠ 注意

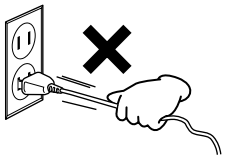
電源 / 電源コード

必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



設置

必ず実行

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常なにおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください

禁止

イコライザーやフェーダーをすべて最大には設定しない。
接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になることがあります。

禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止

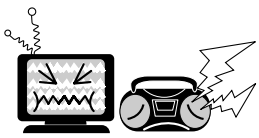
不安定な場所に置かない。
この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

この機器の通風孔をふさがない。
内部の温度上昇を防ぐため、この機器の前部 / 後部 / 上部 / 側部には通風孔があります。特に、この機器をひっくり返したり、横倒しや前後逆さまにしたり、風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



接続

必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。
感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

必ず実行

アース(接地)を確実に行なう。
この機器のリアパネルには、感電を防ぐためのアース端子があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース端子をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。

使用時の注意

禁止

この機器の通風孔 / パネルのすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

禁止

この機器の通風孔/ パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

禁止

フェーダーに、オイル、グリスや接点復活剤などを補給しない。
電気接点の接触やフェーダーの動きが悪くなることがあります。

禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

この機器の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

必ず実行

この機器のリアパネルには mini-YGDAI カード用スロットがあります。スロットにカードを装着する前に、装着カードがこの機器に対応しているかを必ずヤマハのホームページ (4 ページ) でご確認ください。
ヤマハがご案内していないカードを装着した場合、感電や火災、または故障の原因になります。

バックアップバッテリー

必ず実行

この機器はバックアップバッテリー が内蔵されていますので、電源プラグがコンセントから外されても、内部のデータは保持されます。ただし、バックアップバッテリーが消耗すると内部のプリセット以外のデータは消えてしまいます。バックアップバッテリーが消耗してくると、電源を入れたときにディスプレイに" WARNING Low Battery! "が表示されます。その場合は、すぐにデータを MIDI バルクアウトを利用して外部メディアに保存し、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。

他の電気機器への影響について

この機器のデジタル回路から発生するわずかな雑音が、近くのラジオやテレビに入る可能性があります。そのようなときは、両者を少し離してください。

携帯電話からの影響について

この機器のすぐ近くで携帯電話を使用すると、この機器にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で携帯電話をご使用ください。

ワードクロック切換時の注意

本製品のみならず、デジタルオーディオシステム内のワードクロック設定を変更すると、システム内のどこかでノイズが発生する場合がありますので、ワードクロックの設定を変更する場合は、接続されたスピーカーなどの破損を防止するため、パワーアンプなどの電源を切るか、または出力を絞った状態で行ってください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト :

http://proaudio.yamaha.co.jp

XLR タイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです。
(IEC60268 規格に基づいています)
1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (−)

INSERT I/O端子のフォーンジャックのピン配列は以下のとおりです。
Tip: OUT、Ring: IN、Sleeve: GND

- **データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。**
- **不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。**

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよくとおり、とくに低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏にはとくに気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

● ヘッドフォンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

* この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。
* 市販の音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など、著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することが禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いいたします。
* この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
*「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

目 次

1 はじめに 11

2 各部の名称と機能 13
トップパネル 13
リアパネル 23
オプションカードの取り付け 26

3 01V96 の基本操作 27
ディスプレイの見方 27
画面／ページを選択する 28
画面内のユーザーインターフェース 29
レイヤーを選択する 31
チャンネルを選択する 32
フェーダーモードを選択する 33
レベルメーターの見方 34

4 接続とセットアップ 37
接続 37
ワードクロックの接続と設定 40
入出力端子のパッチングについて 44

5 01V96 を使ってみよう 47
接続とセットアップ 47
最初のトラック録音 49
他のトラックに重ねて録音する（オーバーダビング） 60
録音済みトラックをステレオにミックスする（ミックスダウン） 63

6 アナログ／デジタル入出力 69
アナログ入出力の仕様 69
デジタル入出力の仕様 71
I/O カードからの入力信号のサンプリングレートを変換する 73
デジタル入力信号の情報をモニターする 74
デジタル出力信号のディザー処理 76
ハイサンプリングレートの設定 77

7 インプットチャンネル 79
インプットチャンネルについて 79
画面内の操作でインプットチャンネルを設定する 81
パネル上の操作子でインプットチャンネルを設定する 93
2 つのインプットチャンネルをペアにする 95
インプットチャンネルの名前を変更する 98

8 バスアウト 99
ステレオアウトについて 99
バスアウト 1 ～ 8 について 100
画面内の操作でステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 を設定する 101
パネル上の操作子でステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 を設定する 106
2 つのバス／ AUX センドをペアにする 107
出力端子からの信号を減衰させる 108
バスの名前を変更する 109

9 AUX アウト 111
AUX アウト 1 ～ 8 について 111
画面内の操作で AUX アウト 1 ～ 8 を設定する 112
パネル上の操作子で AUX アウト 1 ～ 8 を設定する 115
AUX センドレベルを調節する 115
複数チャンネルの AUX センドの設定を一覧する 119
ペアの AUX に送られる信号のパンを設定する 121
チャンネルフェーダーの設定値を AUX センドにコピーする 122

10 インプットパッチ／アウトプットパッチ 123
インプットパッチの設定 123
アウトプットパッチの設定 125
ダイレクトアウトを設定する 127
インサートパッチの設定 129

11 モニター 133
モニターについて 133
モニター／ソロの各種設定 134
モニターを利用する 135
ソロ機能を利用する 136

12 サラウンドパン 137
サラウンドパンについて 137
サラウンドモードのセットアップと接続 138
サラウンドパンを操作する 143

13 グループ／リンク 149
グループ／リンクについて 149
フェーダーグループ／ミュートグループを利用する 150
フェーダーグループマスターを利用する 152
ミュートグループマスターを利用する 154
EQ リンク／コンプレッサーリンクを利用する 154

14 内蔵エフェクト 157
内蔵エフェクトについて 157
内蔵エフェクトを AUX センド経由で利用する 158
内蔵エフェクトを特定のチャンネルに挿入する 160
内蔵エフェクトをエディットする 161
Add-On Effects でエフェクトを追加 162
プラグインエフェクトについて 163

15 シーンメモリー 165
シーンメモリーについて 165
シーンに含まれるパラメーター 165
シーンナンバーについて 166
シーンのストア／リコール操作 167
シーンのオートアップデート機能について 169
フェードタイムを設定する 170
リコールセーフ機能を使う 172
シーンを並べ替える 173
シーンのコピー & ペースト（グローバルペースト） 173

16 ライブラリー 175
ライブラリーについて 175
ライブラリーの基本操作 175
各種ライブラリーを使う 177

17 リモート機能 189
リモート機能について 189
リモートレイヤーで Pro Tools を操作する 190
リモートレイヤーで Nuendo/Cubase SX を操作する 206
リモートレイヤーでその他の DAW を操作する 206
リモートレイヤーで MIDI 機器を操作する（MIDI リモート） 207
マシンコントロール機能 212

18 MIDI 215
01V96 の MIDI について 215
MIDI のセットアップ 217
送受信する MIDI メッセージを選択する 219
プログラムチェンジを使ってシーンを切り替える 221
コントロールチェンジを使ってパラメーターを操作する 222
パラメーターチェンジを使ってパラメーターを操作する 226
内部設定を MIDI 経由で出力する（バルクダンプ機能） 227

19 その他の機能 229
インプットチャンネル／アウトプットチャンネルの名前を変更する 229
01V96 のプリファレンスを変更する 230
チャンネルを組み合わせてレイヤーを作る（ユーザーアサイナブル レイヤー） 233
オシレーターを使う 234
ユーザー定義キーを使う 235
オペレーションロックを使う 237
2 台の 01V96 をカスケード接続する 238
バッテリーの残量やシステムのバージョンを確認する 242
01V96 を工場出荷時の状態に戻す 243
フェーダーのキャリブレーションを行なう 244

付録 A：パラメーターリスト 247
［USER DEFINED KEYS］ 247
［USER DEFINED KEYS］初期アサイン 249
インプットパッチパラメーター 249
インプットパッチ初期設定 251
アウトプットパッチパラメーター 253
アウトプットパッチ初期設定 255
User Defined Remote Layer レイヤー初期バンク設定 256
エフェクトパラメーター 260
エフェクトとテンポの同期 272
プリセット EQ パラメーター 273
プリセット GATE パラメーター（fs=44.1kHz） 274
プリセットコンプレッサーパラメーター（fs=44.1kHz） 275
ダイナミクスパラメーター 277

付録 B：仕様 282
一般仕様 282
ライブラリー 287
アナログ入力仕様 288
アナログ出力仕様 288
デジタル入力仕様 289
デジタル出力仕様 289
I/O SLOT 仕様 289
CONTROL I/O 仕様 290
寸法図 290

付録 C：MIDI 291
プログラムチェンジ初期シーンメモリーアサイン表 291
コントロールチェンジ初期パラメーターアサイン表 292
MIDI データフォーマット 308

付録 D：別売品について 321
ラックマウントキット RK1 321

索　引 322

MIDI Implementation Chart ..... 巻末

01V96 ブロックダイアグラム ..... 巻末

01V96 レベルダイアグラム ..... 巻末

この取扱説明書について

本書には、デジタルミキシングコンソール01V96を使用するときに必要な情報がすべて含まれています。目次は本書の構成を把握するために、索引は必要な項目の検索にご利用ください。まず、第3章「01V96の基本操作」(→P.27)からお読みになられることをおすすめします。

本書の各章は、本機の各部とその機能ごとに分かれています。たとえば、インプットチャンネル、アウトプットチャンネルは「インプットチャンネル」「バスアウト」「AUXアウト」の各章で説明されています。各章は信号の入力から出力に沿って構成されています。

パネル上のキー等の表記

本書ではキー等の名称で、パネルに実際に印刷されているものは[ ]でくくって表記しています。

パネルにあるスイッチで、カチカチと押して使うタッチタイプのスイッチを**キー**、押し込んで使うスイッチを**スイッチ**と表記し、ディスプレイ画面内に表示されるスイッチを、パネル上のキーやスイッチと区別して**ボタン**と表記しています。

例:[ON]キー、[PAD]スイッチ、ONボタン

パネル上のボリュームは**コントロール**と表記し、ディスプレイ画面内に表示されるボリュームを**ノブ**/**フェーダー**と表記しています。

ディスプレイ画面の中でタブの選択により切替わる部分を**ページ**と表記しています。

01V96 Version 2の主な新機能

ファームウェア1.0から2.0へのアップグレードに伴って、追加された主な機能は以下のとおりです。

AUXセンド

- プリフェーダーに設定されたチャンネルの送出位置をチャンネルミュートの前または後に設定できるようになりました →P.116

モニター

- インプットチャンネルのソロ信号ソースがプリフェーダーの場合、パンの設定を適用するかどうかを設定できるようになりました →P.134
- ソロ機能をオンにしたときにフェーダーレベルが−∞になっていたチャンネルのチャンネルフェーダーを上げると、ソロ機能を解除できるようになりました →P.134

サラウンドパン

- FOLLOW PANのオン/オフが、パン設定だけでなくサラウンドパン設定にも適用されるようになりました →P.137

グループ/リンク

- フェーダーグループマスター機能を使って、フェーダーグループの各チャンネルのバランスを保ったまま一括してレベルをコントロールできるようになりました →P.152
- ミュートグループマスター機能を使って、ミュートグループを一括してミュートできるようになりました →P.154

内蔵エフェクト

- プリセットエフェクトに別売のAdd-On Effectsを追加できるようになりました →P.162

シーンメモリー

- 現在のシーンの任意のチャンネル／パラメーターの設定を別のシーンにコピー&ペーストできるようになりました →P.173
- リコールセーフのパラメーターが追加されました →P.172

リモート機能

- リモートレイヤーのターゲットにCubase SXが追加されました →P.189
- Nuendo、Cubase SX、General DAWにヤマハ独自のAdvanced DAWプロトコルが追加され、SELECTED CHANNELセクションを使用してコントロールできるようになりました（ただし、DAWソフトウェアおよびそのバージョンによって対応状況は異なります）

その他の機能

- ペアになったチャンネルからステレオバスへのルーティングが連動するかどうかを設定できるようになりました（Routing ST Pair Link） →P.232
- 選択したチャンネルのフェーダー／ミュートグループへのアサインをユーザー定義キーで行なえるようになりました →P.247
- 付属のアプリケーションソフトStudio Managerのウィンドウを、ユーザー定義キーで切り替えられるようになりました →P.247

第 1 章 はじめに

このたびは、ヤマハデジタルミキシングコンソール 01V96 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

01V96 はコンパクトなサイズながら、24 ビット／ 96kHz のクオリティで 40 チャンネルの同時ミキシングが可能なデジタルコンソールです。マルチトラック録音から、2 チャンネルへのミックスダウン、最新のサラウンドプロダクションまで、さまざまなニーズに対応します。また、DM2000 や 02R96 でも好評を博した DAW（デジタルオーディオワークステーション）のリモートコントロール機能に磨きをかけ、ハイレベルなシステム統合を実現しています。

01V96 の主な特長は次のとおりです。

■ ハードウェアの特長

- 100mm モーターフェーダー× 17 本を装備
- フェーダーを使ってチャンネルのレベル、AUX センドレベル、内部バスの信号レベルを操作可能
- チャンネルフェーダーの動作を、4 種類のレイヤーから選択可能
- 320 × 240 ドットのディスプレイ
- SELECTED CHANNEL セクションのキーやノブを使って、任意のチャンネルの EQ パラメーターを直接エディット可能
- 01V96 の内部パラメーターを割り当て可能な、8 種類のユーザー定義キーを装備
- ADAT オプティカル端子を標準装備
- オプションのデジタル I/O カード、AD カード、DA カードを装着できる拡張用スロットを装備

■ オーディオ特性

- リニア 24 ビット、128 倍オーバーサンプリング A/D コンバーター
- リニア 24 ビット、128 倍オーバーサンプリング D/A コンバーター
- サンプリングレート 96kHz 時の周波数特性 20Hz ～ 40kHz
- 標準ダイナミックレンジ 106dB
- 内蔵デジタルオーディオ処理 32 ビット（58 ビットアキュムレーター）

■ 入出力の構造

- ＋ 48V ファンタム電源を搭載した 12 系統のマイク／ライン入力と 4 系統のライン入力を装備
- 12 系統のアナログインサート端子を装備
- 任意のバスアウトや各チャンネルのインサートアウトを自由にパッチ可能な 4 系統のオムニアウト
- ステレオアウトとモニターアウト用に、独立した出力端子を装備
- テープイン／アウトなどに利用できるアナログ 2TR イン／アウト
- オプションスロットを利用し、最大 16 系統の入出力を追加可能
- 民生フォーマットのデジタルオーディオが入出力できる、2TR デジタル入出力
- 従来の 44.1/48kHz 対応の MTR でも 88.2/96kHz の録音／再生が可能なダブルチャンネルに対応
- 2 台の 01V96 をデジタル領域でカスケード接続可能
- 入力信号を任意の信号経路に割り当てるインプットパッチを装備
- 各種バスの出力信号、インプットチャンネルのダイレクトアウトを任意の出力端子に送るアウトプットパッチを装備

■ チャンネルの構造

- 32 系統のインプットチャンネル、および 4 系統の ST IN チャンネルを同時にミキシング可能。複数チャンネルのグループ化や 2 チャンネルのステレオペア化にも対応
- 8 系統のバスアウトと 8 系統の AUX センドを装備。バスアウト 1 ～ 8 は、ステレオバスにルーティングしてグループバスとしても利用可能
- インプットチャンネル／アウトプットチャンネルごとに、チャンネルの設定をストア／リコールするライブラリーを内蔵
- すべてのチャンネルに 4 バンド EQ を搭載
- ST IN チャンネルを除くすべてのチャンネルに、ダイナミクスプロセッサーを搭載
- EQ やダイナミクスプロセッサーの設定は、ライブラリーにストア／リコール可能

■ エフェクト

- 4 系統の高品位なマルチエフェクトを搭載。AUX センド経由で、または特定チャンネルにインサートして利用可能
- エフェクトパラメーターの設定値をストア／リコールするエフェクトライブラリーを用意
- 別売の Add-On Effects パッケージにより、新規アルゴリズムのエフェクトタイプを追加可能

■ シーンメモリー

- ミックス内容をシーンとしてストア／リコールするシーンメモリーを搭載

■ サラウンドプロダクション環境

- 3-1、5.1、6.1 チャンネルのサラウンドプロダクションに対応
- 各サラウンドチャンネルの出力先は、組み合わせる機器に応じて自由に変更可能

■ リモートコントロール

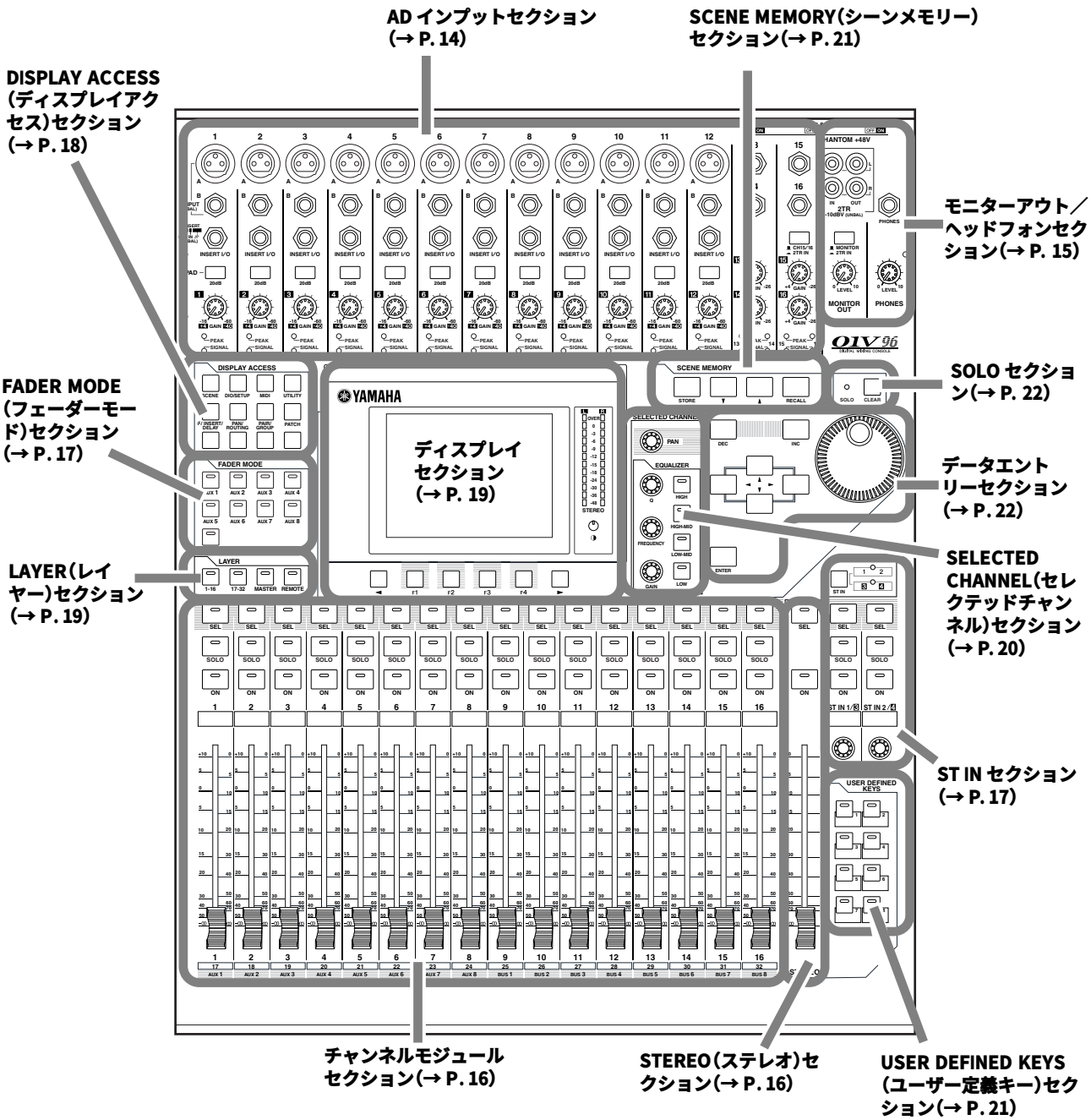
- 付属のアプリケーション“ StudioManager ”を使って Windows や Macintosh コンピューターから 01V96 のコントロールやマネージメントが可能
- Pro Tools、Nuendo、Cubase SX または Pro Tools と同じプロトコルに対応するその他の DAW 用コントローラーとして利用できるリモートレイヤーを装備
- MMC コマンドを使って外部のレコーダーを操作可能

■ MIDI

- MIDI 端子、およびコンピューターと直結できる USB 端子を装備
- シーンのリコール操作やミックスパラメーターの変更を MIDI メッセージとして送受信可能

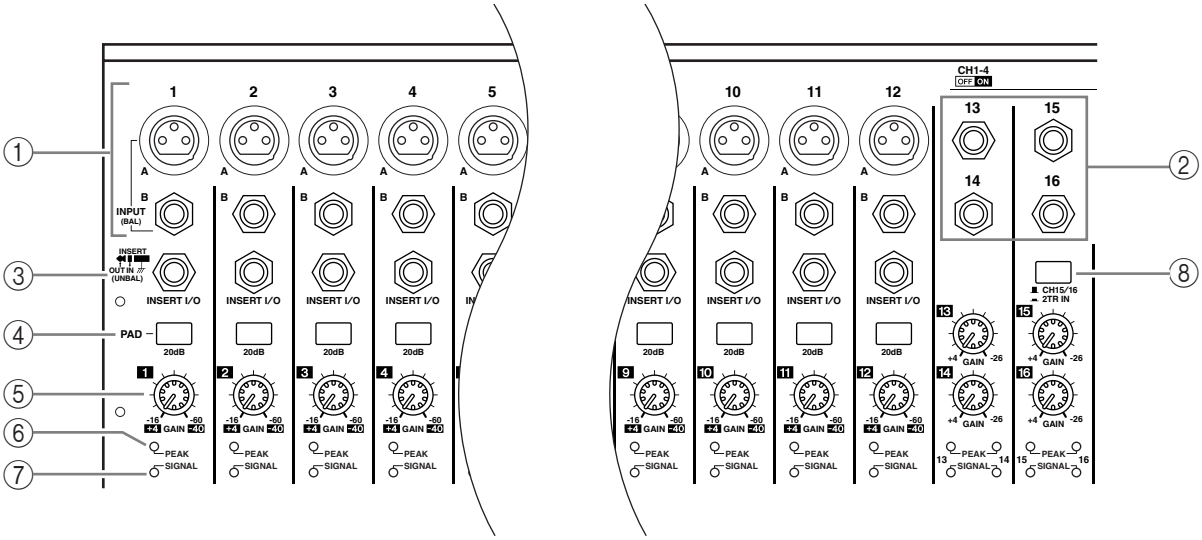
第 2 章 各部の名称と機能

トップパネル



ノート：この機器には、カバー取り付け用のネジ穴が AD インプットセクションの両端にあります（サイズ M3、横間隔 417mm、縦間隔 36mm）。誤操作を防ぐためにお客様自身で作られたカバーをフロントパネルに取り付けられます。ただし、ヤマハからこのカバーは販売されておりません。
カバーを取り付ける場合は、取り付けネジまたは支柱ネジがフロントパネルに 10mm 以上深く入り込まないように取り付けてください。また、カバーが操作子にあたらないようにするために、トップパネルとカバーの間隔を約 15 ～ 20mm とってください。

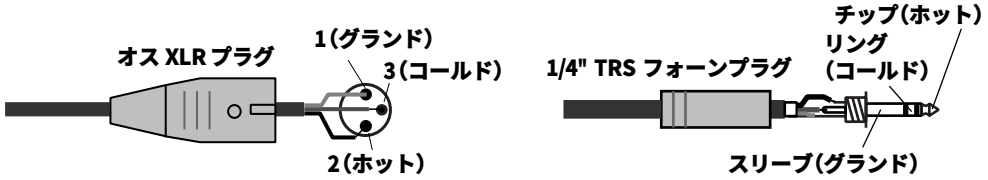
AD インプットセクション



① **INPUT 端子 A/B**

INPUT 端子 A は、ラインレベル機器やマイクロフォンの信号を入力するバランス XLR-3-31 タイプの入力端子です。リアパネルのファンタム＋ 48V スイッチをオンにすると、ファンタム電源を供します。INPUT 端子 B はラインレベル機器やマイクロフォンの信号を入力するバランス TRS フォーンタイプの入力端子です。各端子とも定格入力レベルは－60dB ～＋ 4dB です。INPUT 端子 B にはファンタム電源を供給しません。

両方の端子にケーブルが接続された場合は、INPUT 端子 B の信号が優先されます。

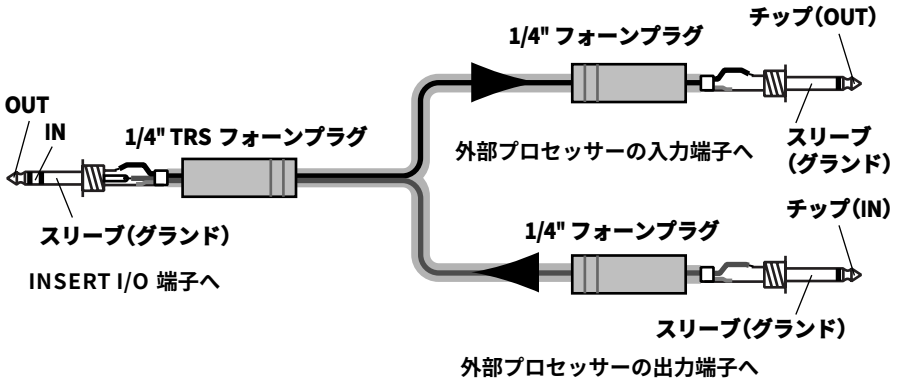


② **INPUT 端子 13 ～ 16**

ラインレベルの信号を入力できるバランス TRS フォーンタイプの入力端子です。定格入力は－ 26dB ～＋ 4dB です。なお、INPUT 端子 15/16 は、AD15/16 ソース選択スイッチ(→P.15)がオフのときにだけ利用できます。

③ **INSERT I/O 端子**

チャンネルインサート用のアンバランス TRS フォーンタイプの入出力端子です。この端子に Y 字ケーブルを差し込めば、AD インプットにエフェクターなどの外部機器を挿入できます。



④ **[PAD]スイッチ**

AD インプットごとに、20dB パッド(アッテネーター)のオン／オフを切り替えます。

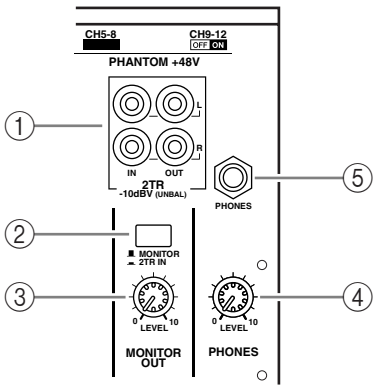
⑤ **[GAIN]コントロール**
AD インプットごとに入力感度を調節します。[PAD]スイッチのオン／オフに応じて、－ 16dB ～－ 60dB（[PAD]スイッチ＝オフ）、または＋ 4dB ～－ 40dB（[PAD]スイッチ＝オン）の信号レベルに対応します。

⑥ **[PEAK]インジケーター**
INPUT 端子から入力された信号が、クリッピングポイントよりも 3dB 低いレベルに到達すると、このインジケーターが点灯します。ピーク時にこのインジケーターがかすかに点灯するように、[PAD]スイッチ／[GAIN]コントロールを調節してください。

⑦ **[SIGNAL]インジケーター**
INPUT 端子から入力された信号のレベルが－ 34dB を越えると、このインジケーターが点灯します。

⑧ **AD15/16 ソース選択スイッチ**
AD インプット 15/16 で利用する信号を選択します。キーが押し込まれているときは 2TR IN 端子（→ P.24）の入力信号、押し上げられているときは INPUT 端子 15/16 の入力信号が利用できます。

モニターアウト／ヘッドフォンセクション



① **2TR IN/OUT 端子**
ラインレベルの信号を入出力できるアンバランスの RCA ピン端子です。マスターレコーダーなどを接続するときに利用します。

AD15/16 ソース選択スイッチ（AD インプットセクション ⑧）が押し込まれているときは、この端子からの入力信号が AD インプット 15/16 に送られます。また、モニターソース選択スイッチ（②）が押し込まれているときは、この端子からの入力信号を直接 MONITOR OUT 端子からモニターできます。

なお、2TR OUT 端子からは、常に STEREO OUT 端子と同じ信号が出力されます。

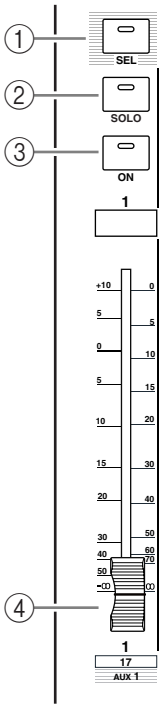
② **モニターソース選択スイッチ**
リアパネルの MONITOR OUT 端子から出力する信号を選択します。このスイッチが押し込まれているときは 2TR IN 端子からの入力信号、押し上げられているときはステレオアウトの出力信号やソロの信号がモニターできます。

③ **[MONITOR LEVEL]コントロール**
MONITOR OUT 端子から出力される信号のモニターレベルを調節します。

④ **[PHONES LEVEL]コントロール**
PHONES 端子から出力される信号のモニターレベルを調節します（ヘッドフォンを使ったモニター方法については→ P.133）。

⑤ **PHONES 端子**
ステレオヘッドフォンを接続するステレオフォーン端子です。この端子からは、MONITOR OUT 端子と同じ信号が出力されます。

チャンネルモジュールセクション



① **[SEL]キー**
操作の対象となるチャンネルを選択します。選択されたチャンネルは［SEL］キーのインジケーターが点灯します。対応するチャンネルは、現在 LAYER セクション（→ P.19）で選ばれているレイヤーに応じて変化します。

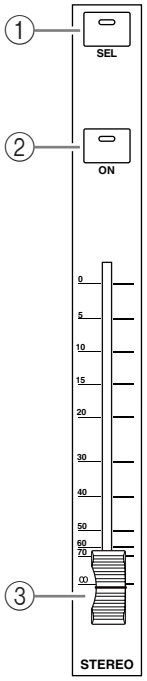
その他、チャンネル同士のペアの設定と解除、フェーダー、ミュート、EQ、コンプレッサーの各グループへの登録と解除などにも利用します。

② **[SOLO]キー**
選択したチャンネルをソロ状態に切り替えます。ソロに設定されたチャンネルは、［SOLO］キーのインジケーターが点灯します。

③ **[ON]キー**
チャンネルごとのオン／オフを切り替えます。現在オンに設定されているチャンネルは、［ON］キーのインジケーターが点灯します。

④ **チャンネルフェーダー**
LAYER セクション（→ P.19）で選ばれているキーに応じて、選択したチャンネルの入力レベル、またはバスアウトや AUX アウトの出力レベルを調節します。

STEREO（ステレオ）セクション

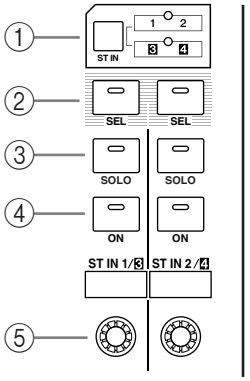


① **[SEL]キー**
操作対象としてステレオアウトを選択します。

② **[ON]キー**
ステレオアウトのオン／オフを切り替えます。

③ **[STEREO]フェーダー**
ステレオアウトの最終的な出力レベルを調節する 100mm モーターフェーダーです。

ST IN セクション



① **[ST IN]キー**
ST IN セクションのキーやコントロールを使って操作する ST IN チャンネルの組み合わせ（ST IN チャンネル 1/2 または 3/4）を選びます。現在操作可能なチャンネルは、キーの右側にあるインジケーターで確認できます。

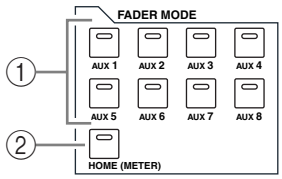
② **[SEL]キー**
操作対象となる ST IN チャンネルを選択します。

③ **[SOLO]キー**
選択した ST IN チャンネルをソロ状態に切り替えます。

④ **[ON]キー**
ST IN チャンネルのオン／オフを切り替えます。

⑤ **レベルコントロール**
ST IN チャンネルのレベルを調節します。

FADER MODE（フェーダーモード）セクション

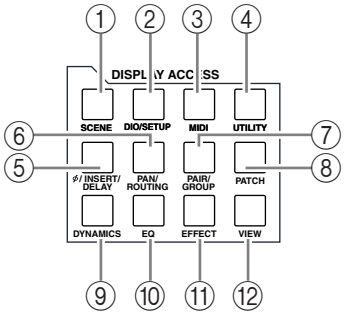


① **[AUX 1]～[AUX 8]キー**
操作の対象となる AUX センドを選択するときに利用します。キーを押して AUX センドを選ぶと、フェーダーモード（→ P.33）が切り替わり、ディスプレイに AUX 画面が表示されます（選択したキーのインジケーターは点灯します）。

この状態で、フェーダーを使ってインプットチャンネルから該当する AUX へのセンドレベルが調節できます。

② **[HOME]キー**
インプットチャンネルの入力レベルやアウトプットチャンネル（バスアウト、AUX アウト、ステレオアウト）の出力レベルを表示する METER 画面を呼び出します（→ P.34）。

DISPLAY ACCESS(ディスプレイアクセス)セクション



① **[SCENE]キー**
シーンのストアやリコールなどを行なう SCENE 画面を呼び出します(→ P.165)。

② **[DIO/SETUP]キー**
デジタル入出力の設定、リモートコントロールの設定など、01V96 の各種設定を行なう DIO/SETUP 画面を呼び出します(→P.73、192)。

③ **[MIDI]キー**
MIDI 関連の設定を行なう MIDI 画面を呼び出します(→ P.221)。

④ **[UTILITY]キー**
内蔵のオシレーターを利用したり、オプションカードの各種情報の表示したりする UTILITY 画面を呼び出します。

⑤ **[φ/INSERT/DELAY]キー**
信号の位相切り替え、挿入する信号の設定、ディレイに関する設定などを行なう φ/INS/DLY 画面を呼び出します(→ P.81、129)。

⑥ **[PAN/ROUTING]キー**
選択したチャンネルの送り先となるバスの選択やパンの設定、バス 1 ～ 8 からステレオバスに送られる信号レベルの調節、ステレオ／サラウンドのパンを調節などを行なう PAN/ROUTE 画面を呼び出します(→ P.88、137)。

⑦ **[PAIR/GROUP]キー**
チャンネルのペアを設定／解除したり、複数チャンネルのフェーダーや[ON]キーの操作をグループ化する PAIR/GRUP 画面を呼び出します(→ P.97、149)。

⑧ **[PATCH]キー**
入力信号やバスの出力信号を任意のインプットチャンネルにパッチしたり、出力端子ごとに出力する信号経路をパッチする PATCH 画面を呼び出します(→ P.123)。

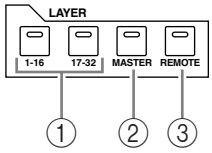
⑨ **[DYNAMICS]キー**
各チャンネルのゲートやコンプレッサーを操作する DYNAMICS 画面を呼び出します(→ P.83)。

⑩ **[EQ]キー**
選択したチャンネルのイコライザー(EQ)やアッテネーターを設定する EQ 画面を呼び出します(→ P.86)。

⑪ **[EFFECT]キー**
内蔵エフェクトのエディットや別売のプラグインカードの設定を行なう EFFECT 画面を呼び出します(→ P.161)。

⑫ **[VIEW]キー**
特定チャンネルのミックスパラメーターを一括表示／設定する VIEW 画面を呼び出します(→ P.90)。

LAYER（レイヤー）セクション



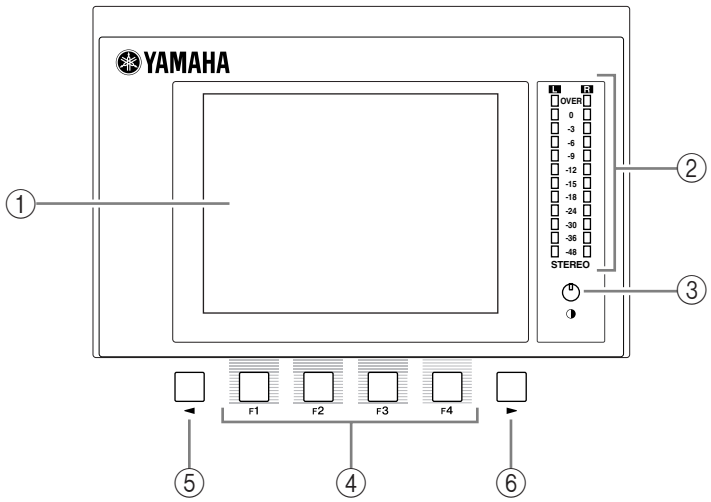
① **[1-16]/[17-32]キー**
チャンネルセクションで操作するレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤーを選びます。[1-16]キーがオンのときはインプットチャンネル 1 ～ 16、[17-32]キーがオンのときはインプットチャンネル 17 ～ 32 を操作できます（レイヤーについての詳しい説明は→ P.31）。

② **[MASTER]キー**
チャンネルセクションで操作するレイヤーとしてマスターレイヤーを選びます。このレイヤーが選ばれているときは、バスアウト／ AUX アウトを操作できます（マスターレイヤーの詳しい説明は→ P.31）。

③ **[REMOTE]キー**
チャンネルセクションで操作するレイヤーとして、リモートレイヤーを選びます。このレイヤーが選ばれているときは、外部 MIDI 機器やコンピューターベースの DAW システムをコントロールできます（リモートレイヤーの詳しい説明は→ P.189）。

> ***ヒント：ST IN セクションはレイヤーの影響を受けません。***

ディスプレイセクション



① **ディスプレイ**
320 × 240 ドットのバックライト式ディスプレイです。

② **ステレオメーター**
12 セグメントのレベルメーターです。通常はステレオバスの最終的な信号レベルを表示します。

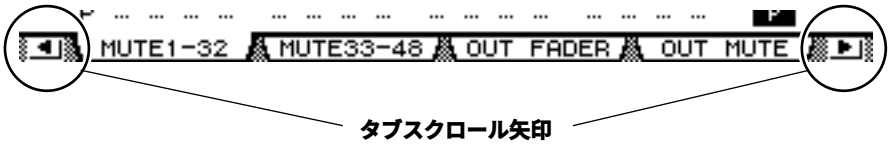
③ **コントラスト調節ノブ**
ディスプレイのコントラストを調節します。

④ **[F1]～[F4]キー**
ある画面が複数のページに分かれているときに、目的のページを呼び出すためのキーです。これらのキーで画面下に表示されるタブを選ぶと、対応するページが呼び出されます（ページの選択方法の詳しい説明は→ P.28）。

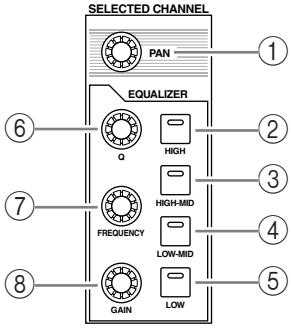
⑤ **タブスクロール [◄] キー**

⑥ **タブスクロール [►] キー**

タブを 1 ページに表示しきれない画面で、左右に隠れているタブを呼び出すためのキーです。これらのキーは、画面下に左右のタブスクロール矢印が表示されているときだけ有効です。



SELECTED CHANNEL(セレクテッドチャンネル)セクション



① **PAN コントロール**

[SEL]キーで選択されているチャンネルのパンを調節します。

② **[HIGH]キー**

③ **[HIGH-MID]キー**

④ **[LOW-MID]キー**

⑤ **[LOW]キー**

[SEL]キーで選択されているチャンネルで操作する EQ のバンド(HIGH、HIGH-MID、LOW-MID、LOW)を選びます。現在選択されているバンドは、該当するキーのインジケーターが点灯します。

⑥ **[Q]コントロール**

EQ で選ばれているバンドの Q を調節します。

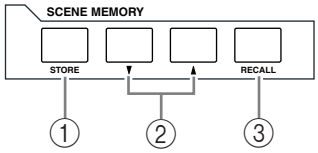
⑦ **[FREQUENCY]コントロール**

EQ で選ばれているバンドの周波数を調節します。

⑧ **[GAIN]コントロール**

EQ で選ばれているバンドのゲインを調節します。

SCENE MEMORY(シーンメモリー)セクション

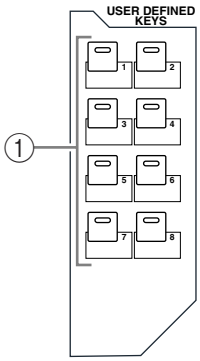


① **[STORE]キー**
現在のミックス内容をストアします。シーンメモリーの詳しい説明は P.165 をご参照ください。

② **シーン[▲]/[▼]キー**
ストア／リコールの対象となるシーンを選びます。シーン[▲]キーを押すたびに 1 つ上のシーンナンバー、シーン[▼]キーを押すたびに 1 つ下のシーンナンバーが選ばれます。どちらか一方のキーを押し続けると、シーンナンバーが連続して変化します。

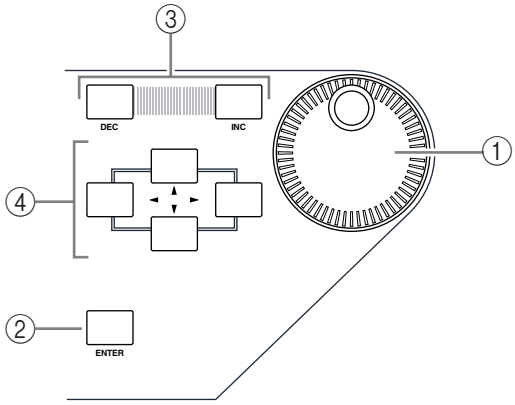
③ **[RECALL]キー**
シーン[▲]/[▼]キーで選択したシーンをリコールします。

USER DEFINED KEYS(ユーザー定義キー)セクション



① **[1]～[8]キー**
167 種類の機能の中から、お客様ご自身が任意の機能を割り当てることができるユーザー定義キーです。キーを押すと、あらかじめ割り当てられた機能が実行されます。

データエントリーセクション



① **パラメーターホイール**
ディスプレイに表示される設定値を調節します。ホイールを右に回すと値が大きくなり、左に回すと値が小さくなります。また、画面にリストが表示されているときにはリストのスクロール、文字入力を行なうときには文字の選択が行なえます（→ P.30）。

② **[ENTER]キー**
ディスプレイに表示されるボタンのオン／オフを切り替えたり、変更した設定値を確定するためのキーです。

③ **[DEC]/[INC]キー**
設定値を 1 ずつ上下させるキーです。[INC] キーを押すと値が大きくなり、[DEC]キーを押すと値が小さくなります。どちらか一方のキーを押し続けると、連続して値が変化します。

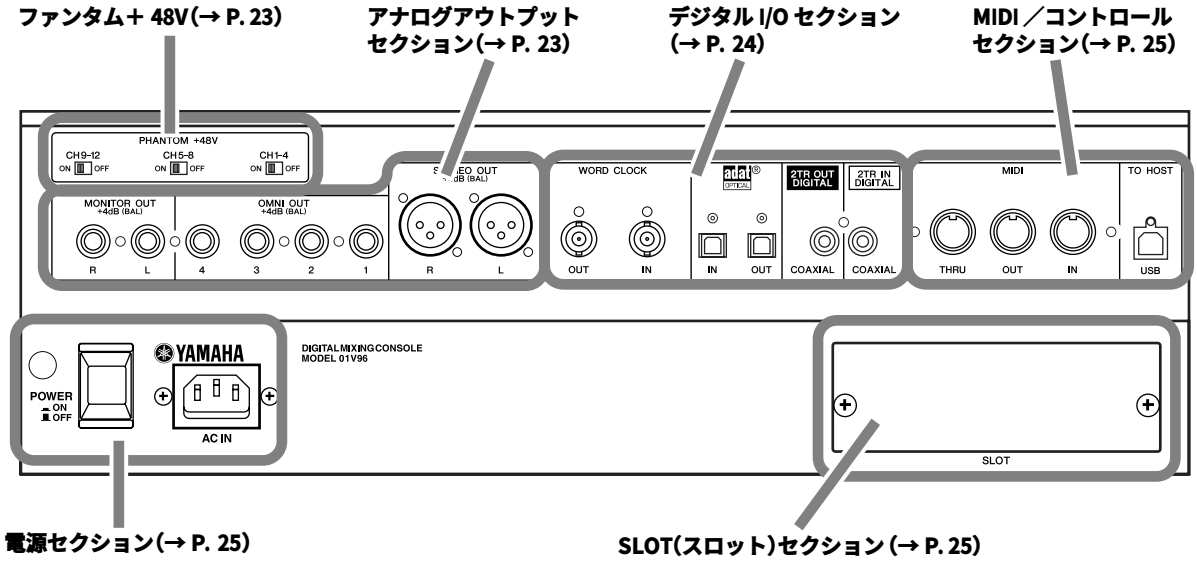
④ **カーソル（[◄]/[►]/[▲]/[▼]）キー**
ディスプレイに表示されるカーソル（操作対象を選択する太枠）を移動させます。カーソルキーを押し続けると、カーソルが片方向に連続して移動します。

SOLO セクション

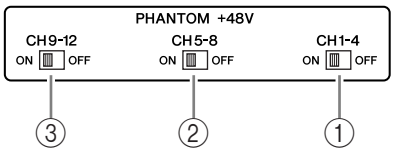
① **[SOLO]インジケーター**
単一または複数のチャンネルがソロになっているときに、このインジケーターが点滅します。

② **[CLEAR]キー**
ソロに設定されているチャンネルを一括して解除します。

リアパネル

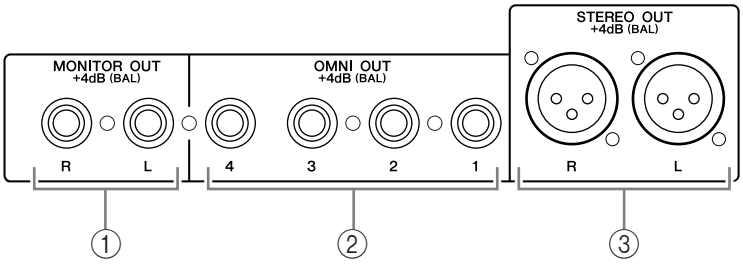


ファンタム＋ 48V

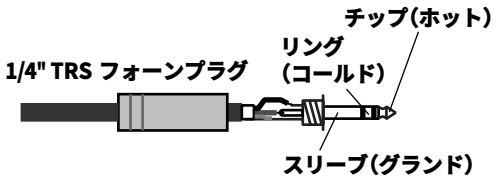


① **CH1-4 ON/OFF スイッチ**
② **CH5-8 ON/OFF スイッチ**
③ **CH9-12 ON/OFF スイッチ**
4 系統の INPUT 端子ごとに、＋ 48V ファンタム電源のオン／オフを切り替えます。
オンにすると、INPUT 端子 A にファンタム電源を供給します。

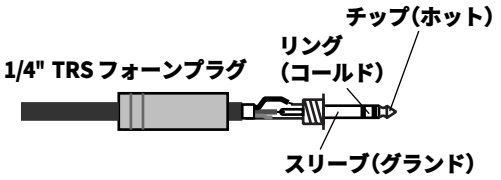
アナログアウトプットセクション



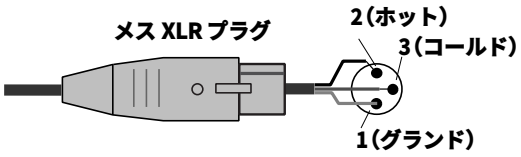
① **MONITOR OUT 端子 L/R**
モニターまたは 2TR IN 端子信号を出力するバランス TRS フォーンタイプの出力端子です（定格出力は＋ 4dB）。
出力される信号は、モニターソース選択スイッチで選択します。



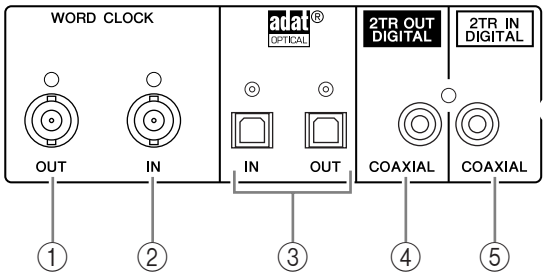
② **OMNI OUT 端子 1 ～ 4**
任意のバスアウトや任意のチャンネルのダイレクト信号を出力するバランス TRS フォーンタイプの出力端子です（定格出力レベルは＋ 4dB）。



③ **STEREO OUT 端子 L/R**
ステレオアウトの信号を出力するバランス XLR-3-32 タイプの出力端子です（定格出力レベルは＋ 4dB）。



デジタル I/O セクション



① **WORD CLOCK OUT 端子**
01V96 から外部機器へとワードクロック信号を出力する BNC 端子です。

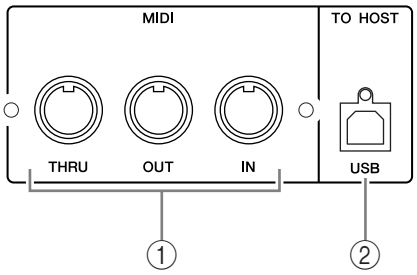
② **WORD CLOCK IN 端子**
外部機器から 01V96 へとワードクロック信号を入力する BNC 端子です。

③ **ADAT IN/OUT 端子**
ADAT フォーマットのデジタルオーディオ信号を入出力するオプティカルの TOSLINK 端子です。

④ **2TR OUT DIGITAL 端子**
民生フォーマット（IEC-60958）のデジタルオーディオを出力する RCA ピン端子（コアキシャル）です。DAT レコーダー、MD レコーダーのデジタルステレオイン（民生フォーマット）などと接続します。

⑤ **2TR IN DIGITAL 端子**
民生フォーマット（IEC-60958）のデジタルオーディオを入力する RCA ピン端子（コアキシャル）です DAT レコーダー、MD レコーダー、CD プレーヤーのデジタルステレオアウト（民生フォーマット）と接続します。

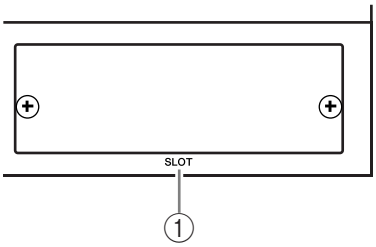
MIDI ／コントロールセクション



① **MIDI IN/THRU/OUT 端子**
外部 MIDI 機器を接続するための端子です。

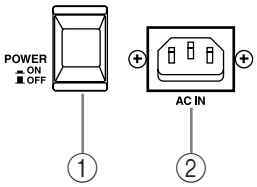
② **TO HOST USB 端子**
USB ポートを搭載したコンピューターを接続する USB 端子です。

SLOT（スロット）セクション



① **SLOT**
オプションの mini-YGDAI カードを装着します（カードの装着方法については→ P.26）。

電源セクション



① **POWER ON/OFF スイッチ**
01V96 の電源をオン／オフします。

> ***ノート：スピーカーから大きなノイズが生じないよう、次の順序でオーディオ機器の電源を入れてください（電源を切るときは、順序を逆にしてください）。***
> ***音源 → MTR ／マスターレコーダー → 01V96 → モニターアンプ***

② **AC IN ソケット**
付属の電源コードで 01V96 を AC コンセントに接続します。

オプションカードの取り付け

カードを取り付ける前に取り付けるカードがこの機器対応しているかヤマハのホームページで必ずご確認ください。

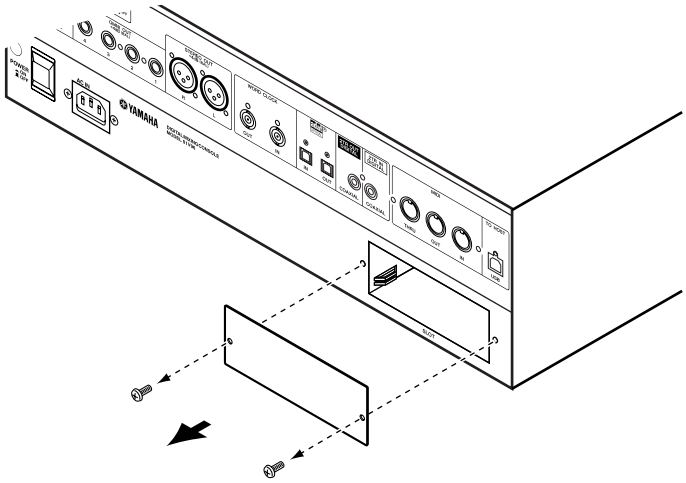
Yamaha ウェブサイト：http://proaudio.yamaha.co.jp/

オプションの mini-YGDAI カードは次のように取り付けます。

1　01V96 の電源がオフになっていることを確認します。

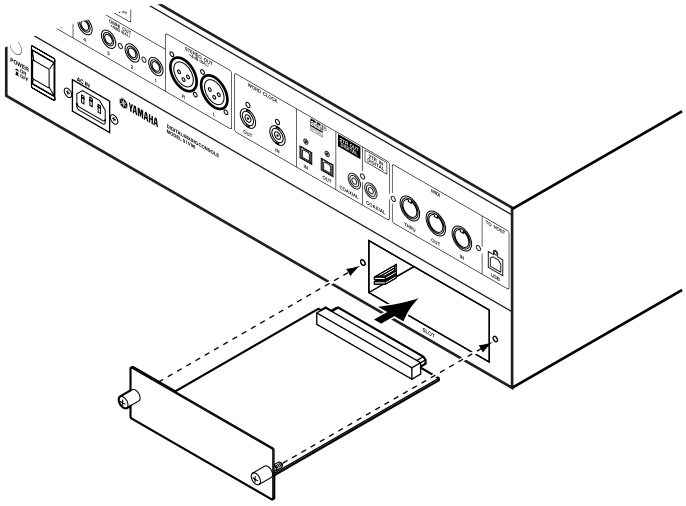
2　スロットの固定ネジをゆるめ、スロットカバーを取り外します。

取り外したスロットカバーは、安全な場所に保管してください。



3　スロット内のガイドレールにカードの両端を合わせ、カードをスロットに挿入します。

このとき、カードの端子部分がスロット内部の端子に正しくはまるようカードをいっぱいまで押し込んでください。



4　カードに取り付けられているネジでカードを固定します。

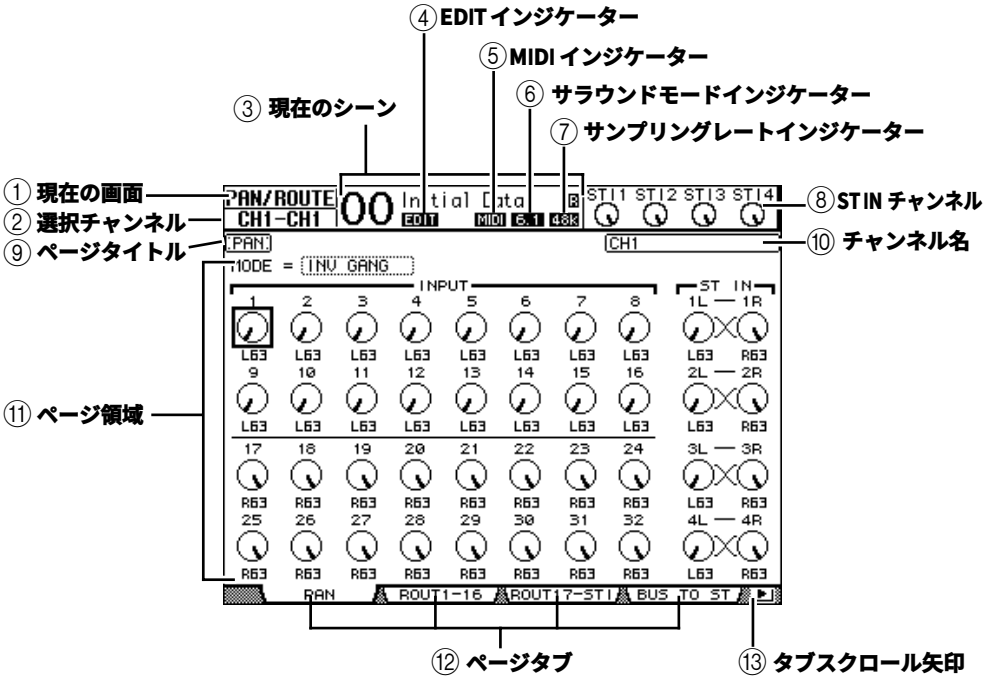
カードが固定されていないとアースが正しく取れない場合があります。ご注意ください。

第 3 章 01V96 の基本操作

この章では、ディスプレイの見方、トップパネルの操作子や画面の操作方法など、01V96 の基本操作について説明します。

ディスプレイの見方

トップパネル上のディスプレイには、01V96 を操作するために必要な各種パラメーターが表示されます。ディスプレイに表示される内容は、次のとおりです。



① 現在の画面

現在選ばれている画面の名称です。

② 選択チャンネル

現在［SEL］キーで選ばれているインプットチャンネル／アウトプットチャンネルの名称です。最初の 4 文字はチャンネル ID（例：CH1 ～ CH32、BUS1 ～ BUS8、AUX1 ～ AUX8、ST-L、ST-R）、次の 4 文字はチャンネルの省略表記（ショートネーム）です。省略表記の名前は、お客様ご自身で付けることが可能です（→ P.229）。

③ 現在のシーン

現在シーンメモリーで選ばれているシーンナンバーとタイトルを表示します（→ P.166）。選択したシーンにプロテクトがかけられているときは、🔒のアイコンが表示されます。

④ EDIT インジケーター

最後にシーンをストア／リコールしたときの状態と現在のミックス設定が一致しないときに、このインジケーターが表示されます。

⑤ MIDI インジケーター

01V96 が MIDI IN 端子、USB 端子、スロットに装着されたデジタル I/O カード MY8-mLAN から MIDI データを受信しているときに、このインジケーターが表示されます。

⑥ **サラウンドモードインジケーター**
現在選ばれているサラウンドモード（ST ＝ STEREO、3-1、5.1、6.1）を表示します（→ P.137）。

⑦ **サンプリングレートインジケーター**
01V96 が動作しているサンプリング周波数を 44k（44.1kHz）、48k（48kHz）、88k（88.2kHz）、96k（96kHz）の中から表示します。

⑧ **ST IN チャンネル**
ST IN チャンネル 1 ～ 4 のレベルコントロールの値を表示します。

⑨ **ページタイトル**
現在の画面内で選ばれているページのタイトルを表示します。

⑩ **チャンネル名**
画面によっては、この位置に現在[SEL]キーで選択しているチャンネル、またはカーソルキーで選択しているチャンネルのフルネームが表示されます。

⑪ **ページ領域**
各ページの設定内容が表示されます。

⑫ **ページタブ**
画面内に含まれる複数のページから、任意の 1 ページを選択するためのタブです。

⑬ **タブスクロール矢印**
タブを 1 ページに表示しきれないときに、左右にタブが隠れていることを示します。

画面／ページを選択する

目的の画面やページを呼び出すには、次のように操作します。

1　パネル上のキーを使って目的の画面を呼び出します。

01V96 の各画面は、機能ごとにまとめられています。画面を呼び出すには、DISPLAY ACCESS セクションの各キーを押します。

2　タブが表示されているページを選択するには、タブの下にある[F1]～[F4]キーを押します。

選択した画面に複数のページが含まれる場合、画面下のページタブに対応する[F1]～[F4]キーを押すと、該当するページが呼び出されます。

3　表示されているタブ以外のページを呼び出すには、タブスクロール[◄]/[►]キーを押して希望するページのタブを表示させ、対応する[F1]～[F4]キーを押します。

ページ数が多く、タブを 1 ページに表示しきれない画面では、左または右側にタブスクロール矢印が表示されます。左右に隠れているタブを呼び出すには、タブスクロール[◄]/[►]キーを使用します。

このほか、同じ画面内のページを切り替えるには、次の方法があります。

- **画面内の次のページを選択するには**
  手順 1 で選んだキーを繰り返し押します。現在タブが表示されていないページにも移動できます。
- **画面内の前のページを選択するには**
  手順 1 で選んだキーを押し、そのまま押し続けます。表示されるページが 1 ページずつ手前に戻りますので、目的のページが表示されたところでキーを放してください。現在タブが表示されていないページにも移動できます。
- **グループ内の最初のページを選択するには**
  手順 1 で選んだキーを素早く 2 回押します。

4 カーソルキーを使って画面内のボタン、パラメーターボックスやノブ／フェーダーにカーソル（太枠部分）を合わせて、設定値を変更します。

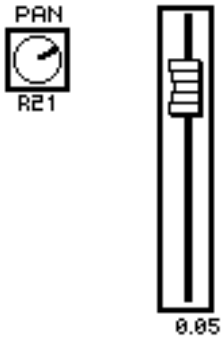
> *ヒント：* ***画面内で最後に選択したページやパラメーターは記憶されています。次に同じ画面を呼び出すと、同じページ／同じパラメーターが選択されます。***
> ***必要ならば、パネル上で特定のコントロールやキーを操作したときに、関連するページをディスプレイに呼び出すことができます（→ P.230）。***

画面内のユーザーインターフェース

ここでは、01V96 のディスプレイに表示される各種ユーザーインターフェースの操作方法について説明します。

ノブ／フェーダー

インプットチャンネルのレベルやエフェクトパラメーターなど、連続可変式のパラメーターの設定値を変更します。カーソルキーを使ってノブ／フェーダーにカーソル（太枠部分）を合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って、値を設定します。



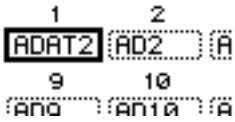
ボタン

主に、ある機能のオン／オフを切り替えるときに使用します。ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、オン（反転表示）とオフ（通常表示）が切り替わります。その他、2 種類の設定値のうち一方を選ぶときや、特定の機能を実行するときにも利用します。

パラメーターボックス

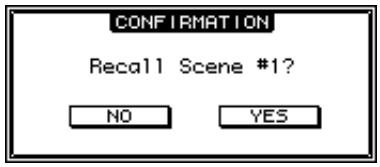
複数の選択肢の中から 1 つを選ぶときに使用します。カーソルキーを使ってボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って、設定値を選びます。

なお、パラメーターボックスによっては、変更内容を確定するために、[ENTER]キーを押さなければならないものもあります。このようなパラメーターボックスでは、設定値を変更したときに点滅表示となり、[ENTER]キーを押して確定させたときに通常表示に戻ります。点滅している間にカーソルを移動させると、その値は変更されません。



確認のメッセージ

機能によっては、実行する前に次のような確認のポップアップウィンドウが表示される場合があります。

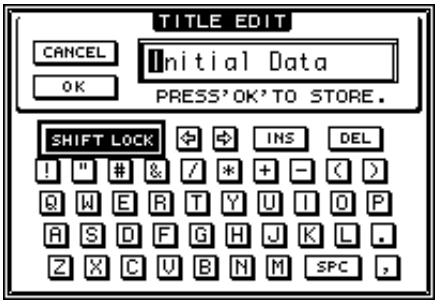


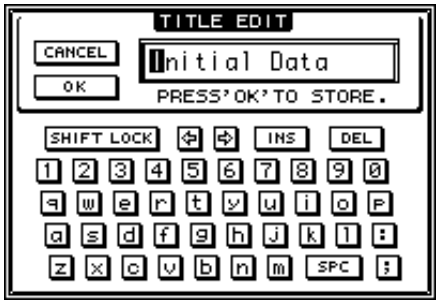
YES ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと機能が実行され、NO ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すとキャンセルされます。

なお、しばらく何も操作していないと、自動的にウィンドウが閉じ、処理は実行されません。

TITLE EDIT ウィンドウ

シーンメモリーやライブラリーのタイトルを入力するウィンドウです。タイトルを付ける項目に応じて、4 文字、12 文字、16 文字が入力できます。次の図は使用できる文字を示したもので、左の画面は大文字と各種記号、右の画面は小文字と数字です。





カーソルキーで文字を選択し、[ENTER]キーを押して文字を確定します。このとき、カーソルは自動的に右隣へ移動します。パラメーターホイールを使って、タイトル内のカーソルを移動します。

SHIFT LOCK ボタンは大文字／小文字の切り替え、SPC ボタンはスペースの入力に使用します。

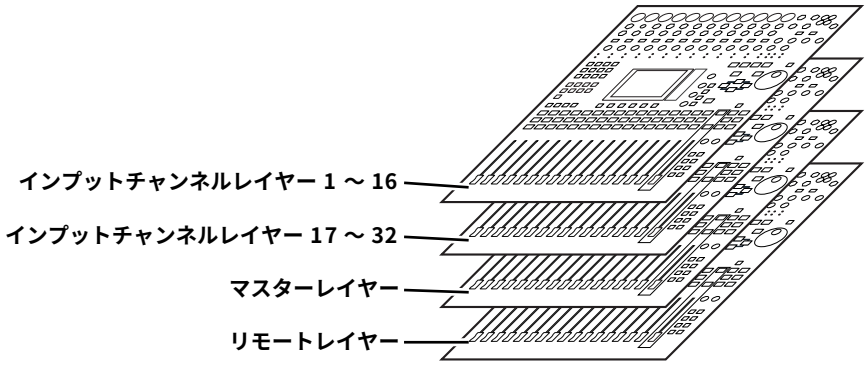
また、INS ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、カーソル位置にスペースが挿入され、それより右にある文字が右方向に移動します。

DEL ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、カーソル位置の文字が削除され、それより右にある文字が左方向に移動します(コンピューターキーボードの DELETE キーと同じ機能です)。

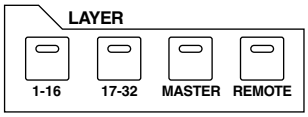
入力が終わったら OK ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押してタイトルを確定させます。また、CANCEL ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、入力が取り消されます。

レイヤーを選択する

01V96 のインプット／アウトプットチャンネル（バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8）は、次のようにレイヤー構造になっており、4 つのレイヤーが利用できます。



現在選択されているレイヤーに応じて、チャンネルモジュールの［SEL］キー、［SOLO］キー、［ON］キー、チャンネルフェーダーの機能が変わります。チャンネルモジュールのコントロール類で操作するレイヤーを選ぶには、LAYER セクションのキーを使います。



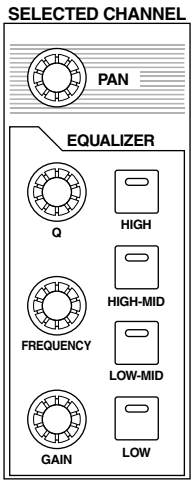
それぞれのキーに対応するレイヤーと、チャンネルモジュールで操作可能なパラメーターは、次のとおりです。

LAYER セクション	レイヤー	チャンネルモジュール	
		1 ～ 8	9 ～ 16
[1-16] キー	インプットチャンネルレイヤー 1 ～ 16	インプットチャンネル 1 ～ 16	
[17-32] キー	インプットチャンネルレイヤー 17 ～ 32	インプットチャンネル 17 ～ 32	
[REMOTE] キー	リモートレイヤー	現在選択されているターゲットに応じて動作が異なります（→ P.189）。	
[MASTER] キー	マスターレイヤー	AUX センドマスター 1 ～ 8	バスアウトマスター 1 ～ 8

ヒント：

- ***チャンネルフェーダーの機能は、現在選ばれているフェーダーモード（→ P.33）により異なります。***
- ***STEREO セクションの［SEL］キー、［ON］キー、［STEREO］フェーダーは、上記の設定とは関係なく、常にステレオアウトを操作します。***
- ***ST IN セクションの［SEL］キー、［SOLO］キー、［ON］キー、レベルコントロールは、上記の設定とは関係なく、現在［ST IN］キーで選ばれている ST IN チャンネルを操作します。***

チャンネルを選択する



01V96では、[SEL]キーを使って任意のチャンネルを選び、SELECTED CHANNELセクションのコントロール類を使ってPANやEQのパラメーターをエディットできます。また、複数チャンネルのパラメーターを含む画面内で、特定のチャンネルを選ぶ場合にも[SEL]キーを使います。

1 LAYERセクションのキーを使って、希望するチャンネルを含むレイヤーを選択します(→ P.31)。

ST INチャンネルを操作したい場合は、ST INセクションの[ST IN]キーで希望するST INチャンネルを選びます。

2 [SEL]キーを押して、任意のチャンネルを選択します。

[SEL]キーを押すとそのチャンネルが選択され、[SEL]キーのインジケーターが点灯します。

ディスプレイ左上に選択したチャンネルのIDと省略表記(ショートネーム)が表示されます。選択したチャンネルのパラメーターが現在表示されているページにあれば、その位置にカーソルが移動します。そのチャンネルを含むページが隠れていた場合は、自動的にページが切り替わります。

ヒント：ペアに設定されている2チャンネルでは、選択されているチャンネルの[SEL]キーが点灯し、もう一方のチャンネルの[SEL]キーが点滅します。

3 ステレオアウトを選ぶには、STEREOセクションの[SEL]キーを押します。

STEREOセクションの[SEL]キーを押すたびに、ステレオアウトと左右のチャンネルが交互に選択されます。

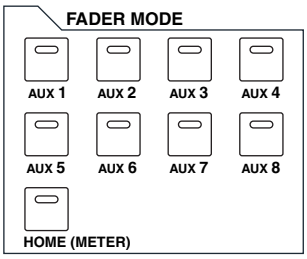
ステレオアウトのパラメーターが現在表示されているページにあれば、その位置にカーソルが移動します。また、ステレオアウトを含むページが隠れていた場合は、自動的にページが切り替わります。

フェーダーモードを選択する

チャンネルフェーダー1 ～ 16 で操作する機能は、現在選択されているレイヤーとフェーダーモードに応じて異なります。

1 操作したいチャンネルを含むレイヤーを選択します(→ P.31)。

2 FADER MODE セクションのキーを使って、フェーダーモードを選択します。



それぞれのキーが点灯しているときの動作は、次のとおりです。

- **[HOME]キーのインジケーターが点灯**
  チャンネルフェーダーを使って、インプットチャンネル／ ST IN チャンネルの入力レベル、またはアウトプットチャンネル(AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8)のマスターレベルを操作します。
- **[AUX 1]～[AUX 8]キーのインジケーターが点灯**
  チャンネルフェーダーを使って、インプットチャンネルから該当する AUX に送られる信号のセンドレベルを操作します。

次の表は、レイヤーとフェーダーモードの選択に応じて、チャンネルフェーダーの機能がどのように変化するかを表わしたものです。

LAYER セクション	FADER MODE セクション	チャンネルモジュール	
		1 ～ 8	9 ～ 16
[1-16] キー	[HOME]キー	インプットチャンネル 1 ～ 16 の入力レベル	
	[AUX1]~ [AUX8]キー	インプットチャンネル 1 ～ 16 の AUX センドレベル	
[17-32] キー	[HOME]キー	インプットチャンネル 17 ～ 32 の入力レベル	
	[AUX1]~ [AUX8]キー	インプットチャンネル 17 ～ 32 の AUX センドレベル	
[REMOTE] キー	[HOME]キー	現在選択されているターゲットに応じて動作が異なります(→ P.189)。	
	[AUX1]~ [AUX8]キー		
[MASTER] キー	[HOME]キー	AUX センドマスター 1 ～ 8 の出力レベル	バスアウトマスター 1 ～ 8 の出力レベル
	[AUX1]~ [AUX8]キー	選択不可能	

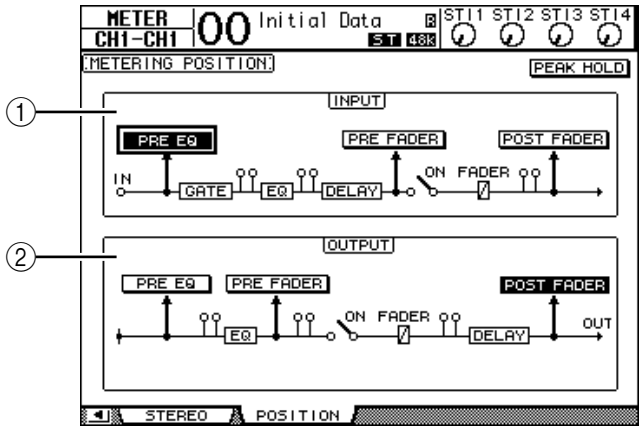
ノート：マスターレイヤーが選ばれているときは、[AUX 1]～[AUX 8]キーを選ぶことはできません。[AUX 1]～[AUX 8] キーが点灯しているときにマスターレイヤーに切り替えると、自動的に[AUX 1]～[AUX 8] キーが消灯し、[HOME]キーが点灯します。

レベルメーターの見方

ここでは、METER 画面を使ってインプットチャンネル／アウトプットチャンネルのレベルを確認する方法を説明します。

1 FADER MODE セクションの[HOME]キーを繰り返し押し、METER 画面の POSITION ページを表示させます。

このページでは、インプットチャンネル／アウトプットチャンネルそれぞれに対し、レベルを検出する位置を指定します。



① **INPUT フィールド**
インプットチャンネル、ST IN チャンネルで信号レベルを検出する位置を選択します。

② **OUTPUT フィールド**
アウトプットチャンネル（AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8、ステレオアウト）で信号レベルを検出する位置を選択します。

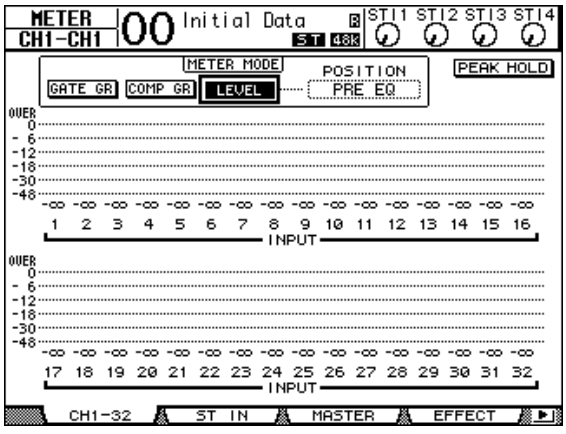
2 INPUT フィールドまたは OUTPUT フィールドの任意のボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

フィールドごとに、次の 3 つのボタンが選択できます。

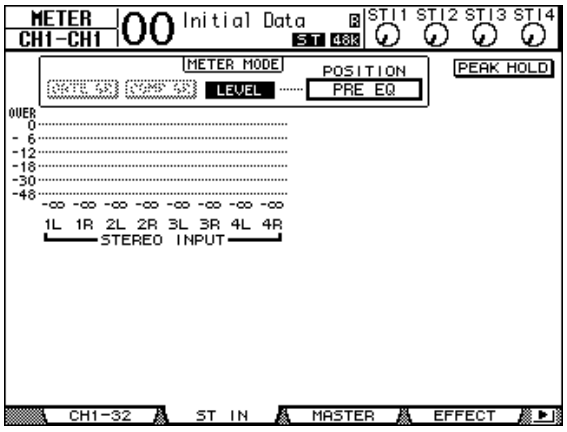
- **PRE EQ** .....EQ 直前
- **PRE FADER** ..... フェーダー直前
- **POST FADER**.....フェーダー直後

3 FADER MODE セクションの[HOME]キーを繰り返し押し、次の中からメーターを確認したいチャンネルを含むページを呼び出してください。

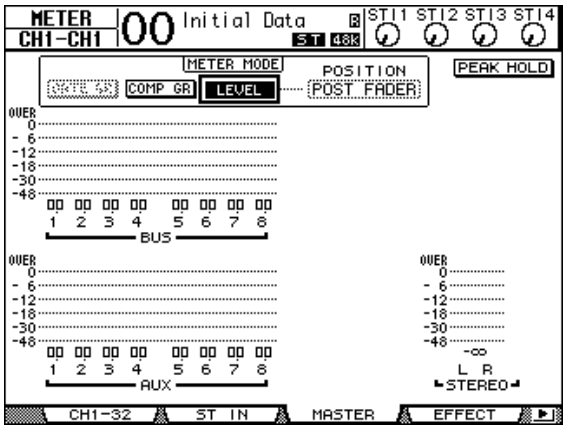
- **CH1-32 ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 32 のレベルを表示します。



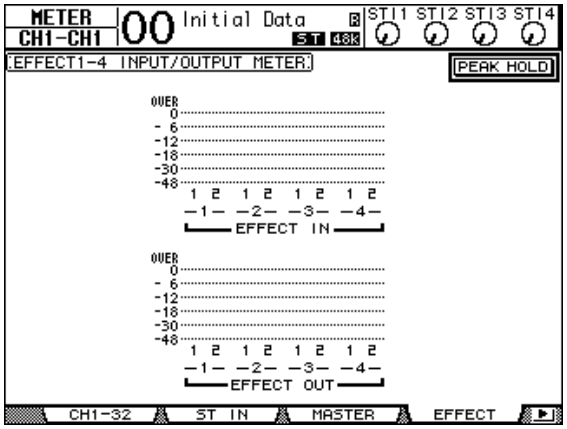
- **ST IN ページ**
  ST IN チャンネル 1 ～ 4 のレベルを L/R 独立して表示します。



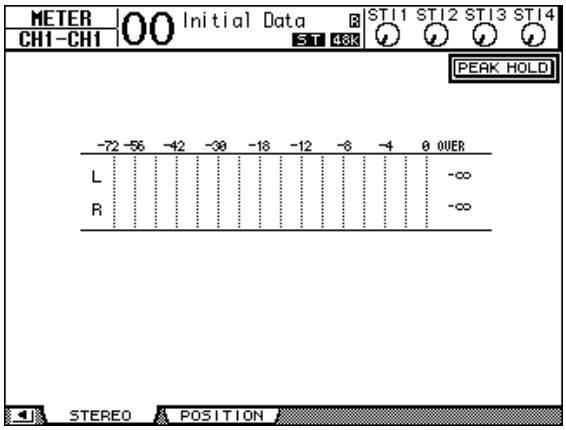
- **MASTER ページ**
  アウトプットチャンネル(AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8、ステレオアウト)のレベルを一括表示します。



- **EFFECT ページ**
  内蔵エフェクト 1 ～ 4 の入出力レベルを一括表示します。



- **STEREOページ**
  ステレオアウトの出力レベルを表示します。



CH1-32 または MASTER を選んだ場合は、METER MODE フィールドでメーターに表示する信号の種類を次の 3 つの中から選びます。

- **GATE GR**.....ゲートのゲインリダクション量（CH1-32 のみ）
- **COMP GR**.....コンプレッサーのゲインリダクション量
- **LEVEL**.....インプットチャンネルの入力レベル／アウトプットチャンネルの出力レベル

ヒント：上記のページでは、必要に応じて POSITION フィールドで信号の検出位置を変更することも可能です。このフィールドは、METER 画面の POSITION ページと連動しています。

4 ピークレベルを保持させたいときは、PEAK HOLD ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER] キーを押してください。

PEAK HOLD ボタンがオンになり、画面内のメーターでピークレベルが保持されます。ピークレベルを解除するには、PEAK HOLD ボタンを一度オフにしてください。

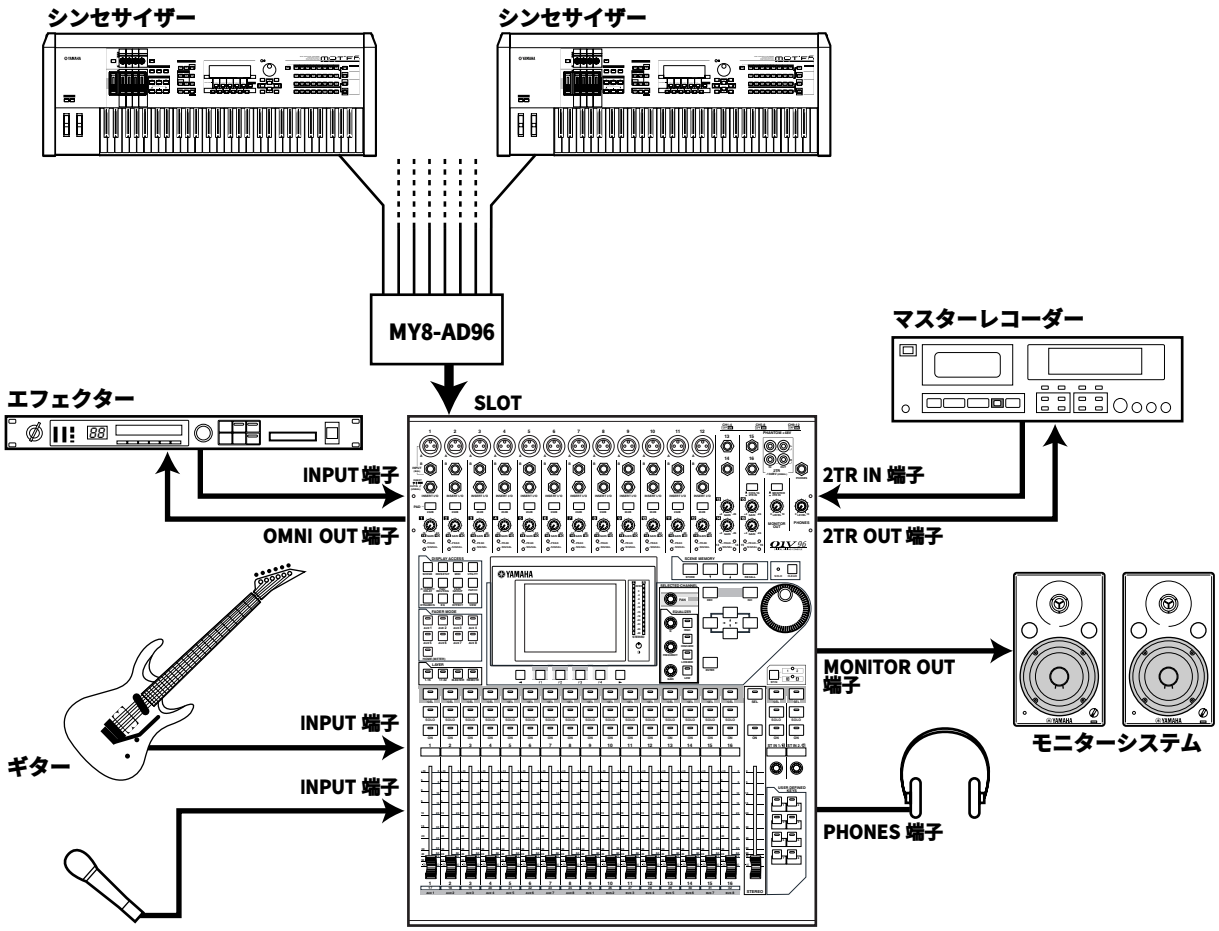
第 4 章 接続とセットアップ

この章では、01V96 の基本的な接続方法やセットアップ方法について説明します。

接続

01V96 と外部機器の組み合わせにはさまざまな例が考えられますが、ここでは 3 つの代表的な接続例について説明します。

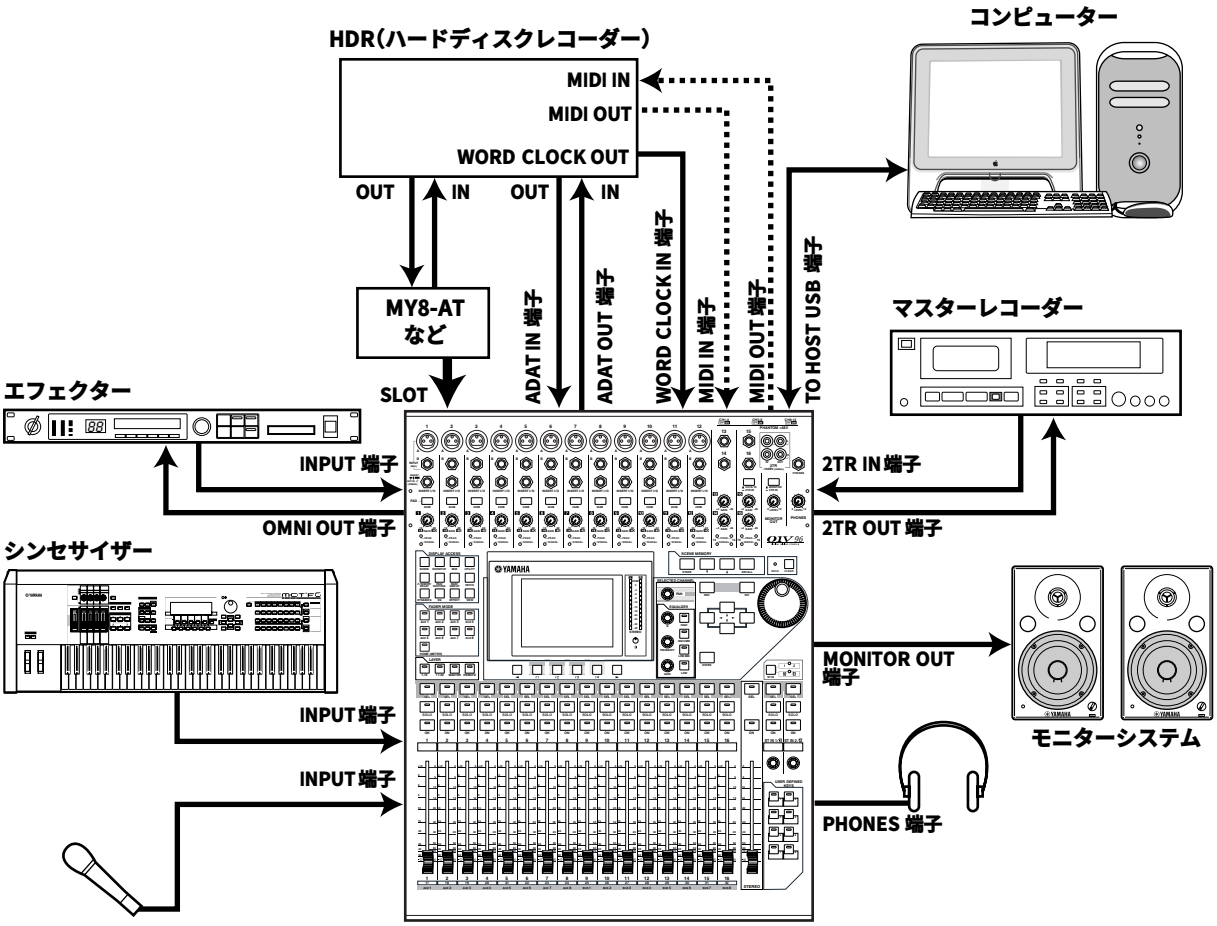
■ アナログ 24 チャンネルのミキシングシステム



スロットにオプションの AD カード（MY8-AD、MY8-AD96 など）を装着し、キーボードミキサーや SR ミキサーとして利用するためのシステムです。INPUT 端子 1 ～ 16 に AD カードの入力端子を加えることで、最大でアナログ 24 チャンネルのミキシングが可能です。

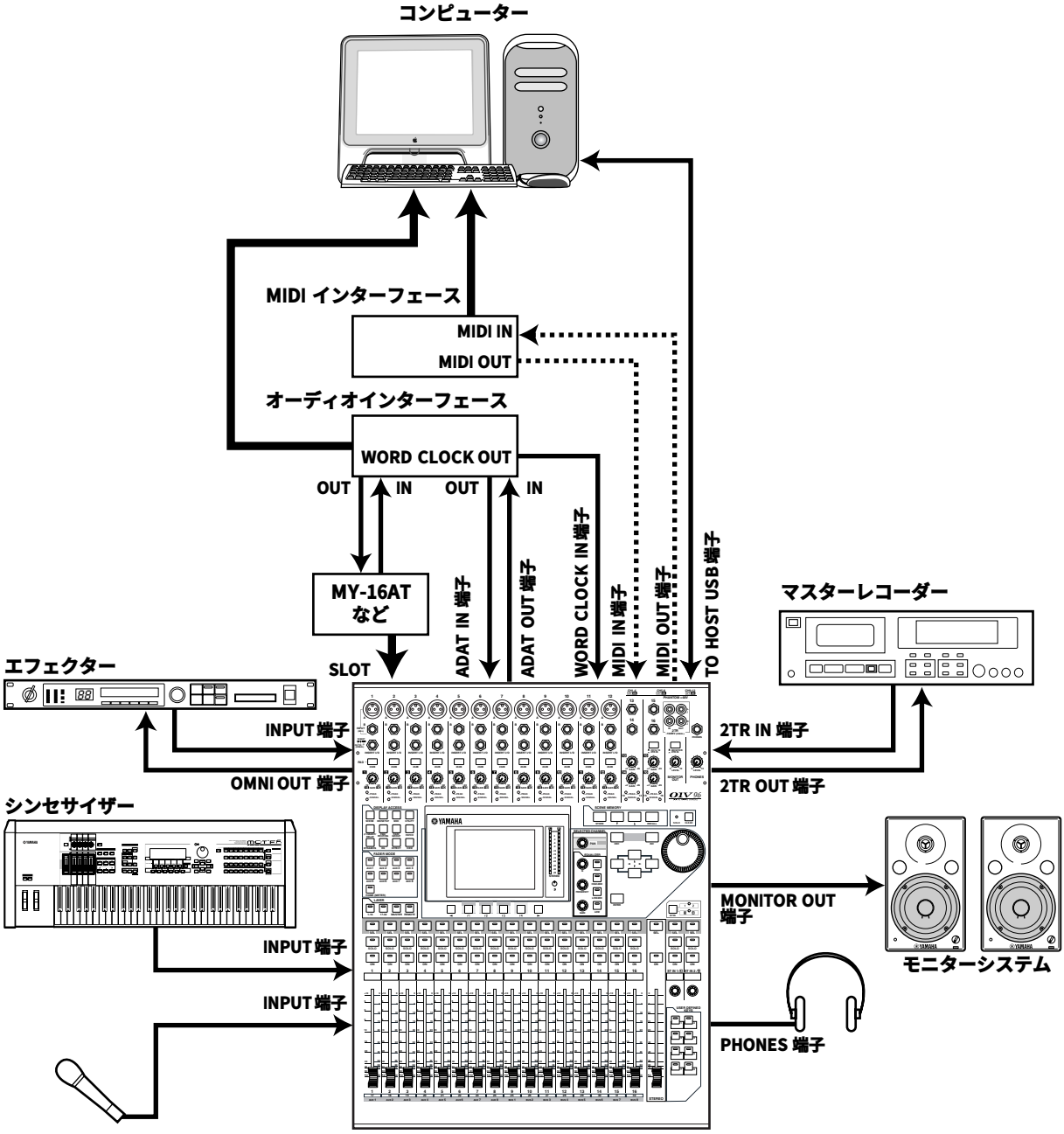
ヒント：AD カードのゲインは、カード本体の DIP スイッチを使って切り替えることができます。詳しくは、AD カードの説明書をご参照ください。

■ HDR（ハードディスクレコーダー）と併用するレコーディングシステム



リアパネルの ADAT IN/OUT 端子やスロットに装着したオプションのデジタル I/O カード（MY8-AT、MY16-AT、MY8-TD など）を使って、HDR などのデジタル MTR を接続するレコーディングシステムです。このシステムは、トラック録音からオーバーダビング、バウンス、ミックスダウンまで対応できます。さらに、01V96 から HDR に MMC コマンドを送り、HDR のトランスポートを 01V96 から操作することも可能です。

■ DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使ったレコーディングシステム



スロットにオプションのデジタル I/O カード（MY8-AT、MY16-AT、MY8-AE など）を装着し、コンピューターベースの DAW（デジタルオーディオワークステーション）システムと接続するシステムです。01V96 を DAW のオーディオ入出力として利用できます。また、01V96 とコンピューターの USB 端子同士を接続し、01V96 のリモート機能を使って DAW のロケート／トランスポートの操作や各種パラメーターの変更が行なえます。

ワードクロックの接続と設定

ワードクロックについて

複数の機器をデジタル接続してデジタルオーディオ信号を送受信するには、すべての機器でオーディオ信号を処理するタイミングを一致させなければなりません。たとえ両方の機器が同じサンプリング周波数に設定されていても、オーディオ信号を処理するタイミングが同期していなければ、信号が正常に送られなかったり、耳障りなクリックノイズが生じたりする場合があります。

デジタルオーディオ信号の処理を同期させるための信号を“ワードクロック”と呼びます。通常は 1 台の機器から基準となるワードクロック信号を送信し、その他の機器は受信したワードクロック信号に同期させます（送信側の機器を“ワードクロックマスター”、受信側の機器を“ワードクロックスレーブ”と呼びます）。

01V96 と外部機器をデジタル接続する場合は、最初にワードクロックマスターになる機器を選び、他の機器をワードクロックのスレーブに設定する必要があります。01V96 は、44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz のいずれかの周波数で、ワードクロックマスターまたはワードクロックスレーブとして動作します。

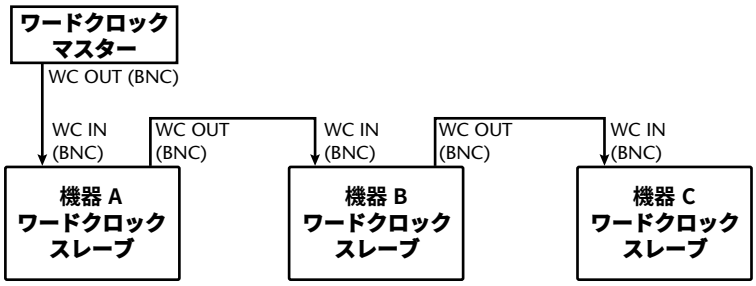
ワードクロックの接続

01V96 と外部機器との間でワードクロックを同期させるには、ワードクロック信号だけを単独で送受信する方法と、デジタルオーディオ信号に含まれるクロック情報を利用する方法があります。

ワードクロック信号を単独で送受信するには、01V96 のリアパネルにある WORD CLOCK IN/OUT 端子を利用します。WORD CLOCK IN/OUT 端子を使った接続方法には、次の 2 種類があります。

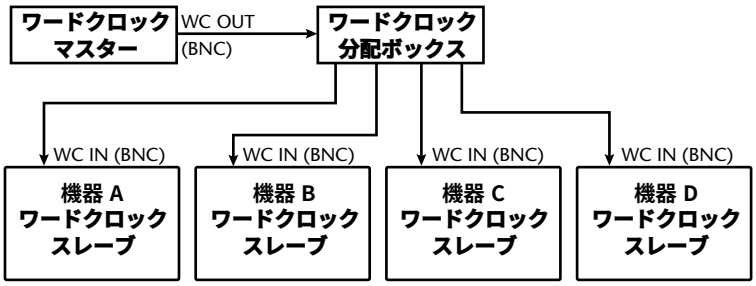
- **ディジーチェーン接続**

  ある機器の WORD CLOCK OUT 端子を次の機器の WORD CLOCK IN 端子へと、順番に接続して信号を分配する方法です。この方法は、システムが大きい場合はおすすめできません。

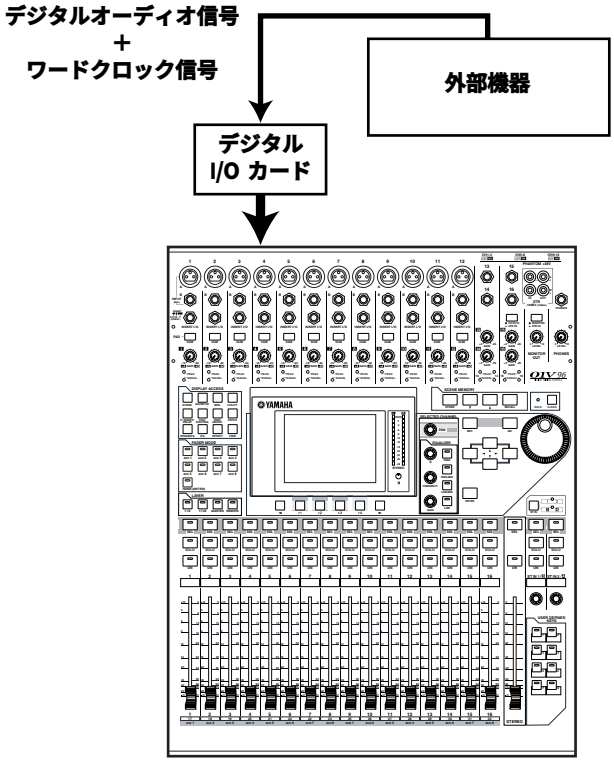


- **ワードクロック分配ボックスをつかった接続**

  専用のワードクロック分配ボックスを使って、ワードクロックマスターから複数台のワードクロックスレーブへと信号を分配する方法です。



また、外部機器に WORD CLOCK IN/OUT 端子がない場合は、デジタルオーディオ信号に含まれるクロック情報を利用します。この場合は、リアパネルのスロットに装着されたデジタル I/O カードや、2TR OUT DIGITAL 端子、2TR IN DIGITAL 端子を経由してデジタルオーディオ信号とワードクロック信号を送受信します。



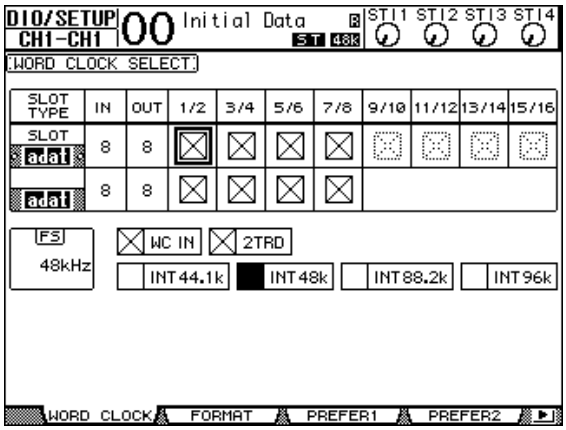
ワードクロックソースを選ぶ

01V96 に外部機器をデジタル接続する場合は、システム内のワードクロックマスターとなるソースを選択する必要があります。その方法は、次のとおりです。

> ***ノート：ワードクロックのソースを切り替えるときに、同期が外れてノイズが発生することがあります。以下の操作は、必ずモニター機器のレベルを下げて行なってください。***

1　DISPLAY ACCESS セクションの［DIO/SETUP］キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の WORD CLOCK ページを表示させます。

この画面では、スロット／端子ごとに、入力信号の同期の状態を確認できます。



スロット／端子ごとの表示の意味は、次のとおりです。

□　該当する端子／スロットのチャンネルから利用可能なワードクロック信号が入力され、01V96 の内部クロックと同期しています。

⊠　ワードクロック信号が入力されていません。

⧄　該当する端子／スロットのチャンネルから利用可能なワードクロック信号が入力されていますが、01V96 の内部クロックとは同期していません。

■　該当する端子／スロットのチャンネルの信号がワードクロックソースとして選ばれています。

⊠　該当する端子／スロットのチャンネルの信号がワードクロックソースとして選ばれていますが、ワードクロック信号が入力されていません。

⊠　ワードクロック信号が入力されていません。また、現在の I/O カードでは利用できないチャンネルも、このマークが表示されます。

> ***ヒント：***
> ***・ 現在 01V96 が動作しているサンプリング周波数は、FS フィールドで確認できます。***
> ***・ SLOT TYPE フィールドには、スロットに装着している I/O カード名が表示されます。***
> ***・ IN/OUT フィールドに表示される数値は、装着している I/O カードのインプット／アウトプットのチャンネル数を表わします。***

2　カーソルキーを使ってワードクロックのソースとなる項目にカーソルを合わせ、［ENTER］キーを押します。

ワードクロックマスターとして選択可能なソースは、次のとおりです。

- **SLOT**.....スロットに装着されたデジタル I/O カードから入力される信号です。奇数／偶数の順に並んだペアのチャンネル単位で選択できます。SLOT TYPE のフィールドで、現在装着されているカードの種類を確認できます。なお、実際に選択できるチャンネルは、デジタル I/O カードの種類に応じて変化します。

- **adat**..... リアパネルの ADAT IN 端子から入力される信号です。奇数／偶数の順に並んだペアのチャンネル単位で選択できます。
- **WC IN** ..... リアパネルの WORD CLOCK IN 端子から入力される単独のワードクロック信号を選びます。
- **2TRD** ..... 2TR IN DIGITAL 端子の信号を選びます。
- **INT 44.1k/INT 48k/ INT 88.2k/INT 96k**..... 01V96 の内蔵クロックを使用します。これらの項目を選んだときは、01V96 がワードクロックマスターとして動作します。

ノート：01V96 と外部機器との間でハイサンプリングレート（88.2kHz/96kHz）の信号を送受信する場合は、転送方法を選択する必要があります（詳しくは→ P.77）。

*ヒント：**01V96 をワードクロックスレーブとして使用しているときにワードクロック信号の供給が途絶えると、自動的にそれまで同期していたクロックに最も近い内部のクロック（INT 44.1k/INT 48k/INT 88.2k/INT 96k）で動作します。***

入出力端子のパッチングについて

01V96 は、入出力端子に対して自由に信号をパッチ（割り当て）できるように設計されています。ここでは、入出力端子に割り当てられた信号を確認したり、割り当てを変更する方法について説明します。

ヒント：INPUT 端子に接続した楽器の信号が入力されていない、あるいは利用したい出力先の端子に信号が送られない、という場合は以下の方法で入出力端子のパッチングをご確認ください。

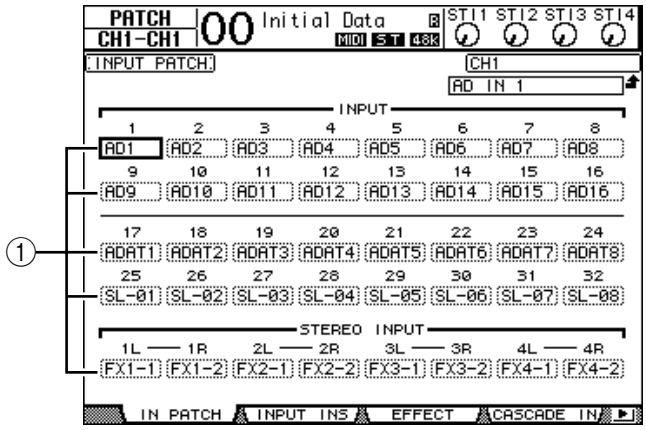
インプットチャンネルに入力信号を割り当てる

01V96 が初期状態のとき、各インプットチャンネルには次の信号が割り当てられています。

- **INPUT 端子 1 ～ 16**..... インプットチャンネル 1 ～ 16
- **ADAT IN 端子のチャンネル 1 ～ 8**..... インプットチャンネル 17 ～ 24
- **スロットのチャンネル 1 ～ 8**..... インプットチャンネル 25 ～ 32
- **内蔵エフェクト 1 ～ 4 のアウト 1/2**..... ST IN チャンネル 1 ～ 4

このパッチングを変更したり確認したりするには、次のように操作します。

1　DISPLAY ACCESS セクションの [PATCH] キーを繰り返し押して、次の画面を表示させます。



チャンネル番号の下にあるパラメーターボックス（①）に、現在そのインプットチャンネルに割り当てられている入力端子やスロットのチャンネルが表示されます。表示の意味は次のとおりです。

- **-**.....割り当てなし
- **AD1 ～ AD16**.....INPUT 端子 1 ～ 16
- **ADAT1 ～ ADAT8** .....ADAT IN 端子のチャンネル 1 ～ 8
- **SL-01 ～ SL-16** .....スロットのチャンネル 1 ～ 16
- **FX1-1/FX1-2**.....内蔵エフェクト 1 のアウトプット 1/2
- **FX2-1/FX2-2**.....内蔵エフェクト 2 のアウトプット 1/2
- **FX3-1/FX3-2**.....内蔵エフェクト 3 のアウトプット 1/2
- **FX4-1/FX4-2**.....内蔵エフェクト 4 のアウトプット 1/2
- **2TD-L/R**.....2TR IN DIGITAL 端子の L/R チャンネル

このパッチングを変更したり確認したりするには、次のように操作します。

2 割り当てを変更したいチャンネルのパラメーターボックス(①)にカーソルを合わせ、パラメーターホイール(または[INC]/[DEC]キー)を使って、パッチ内容を修正します。

3 [ENTER]キーを押して、変更内容を確定します。

*ヒント：**パッチングを初期状態に戻したいときは、インプットパッチライブラリー00 をリコールします(→ P.178)。***

OMNI OUT 端子に出力信号を割り当てる

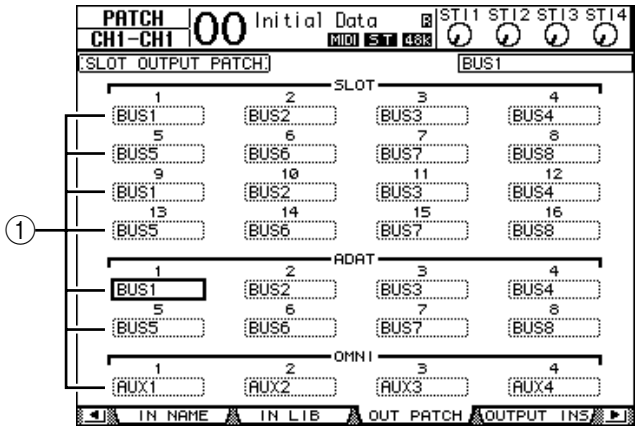
01V96 が初期状態のとき、リアパネルの各種出力端子には、次の出力信号が割り当てられています。

- **OMNI OUT 端子 1 ～ 4**.....AUX アウト 1 ～ 4
- **ADAT OUT 端子のチャンネル 1 ～ 8** .バスアウト 1 ～ 8
- **スロットのチャンネル 1 ～ 8**.....バスアウト 1 ～ 8
- **スロットのチャンネル 9 ～ 16**.....バスアウト 1 ～ 8
- **2TR OUT DIGITAL 端子** .....ステレオアウト L/R

ヒント：
- ***STEREO OUT 端子からは、常にステレオバスの信号が出力されます。***
- ***MONITOR OUT 端子からは、モニターソース選択スイッチの状態に応じて、モニターまたは 2TR IN 端子からの信号が出力されます。***

このパッチングを変更したり確認したりするには、次のように操作します。

1 スロット／ ADAT OUT 端子／ OMNI OUT 端子のパッチングを変更するには、[PATCH]キーを繰り返し押して、次の画面を表示させます。



各端子の番号の下にあるパラメーターボックス(①)に、現在その出力端子に割り当てられている信号経路が表示されます。表示の意味は次のとおりです。

- **-**.....割り当てなし
- **BUS1 ～ BUS8** .....バスアウト 1 ～ 8 の信号
- **AUX1 ～ AUX8** .....AUX アウト 1 ～ 8 の信号
- **ST L/R**.....ステレオアウトの信号
- **INS CH1 ～ INS CH32** .....インプットチャンネル 1 ～ 32 のインサートアウト
- **INS BUS1 ～ INS BUS8** .....バスアウト 1 ～ 8 のインサートアウト
- **INS AUX1 ～ INS AUX8**.....AUX アウト 1 ～ 8 のインサートアウト
- **INS ST-L/ST-R** .....ステレオアウトのインサートアウト
- **CAS BUS1 ～ BUS8**.....バスアウト 1 ～ 8 のカスケードアウト

- **CAS AUX1 ～ AUX8**..... AUX アウト 1 ～ 8 のカスケードアウト
- **CAS ST-L/ST-R** ..... ステレオアウトのカスケードアウト
- **CASSOLOL/CASSOLOR**..... ソロチャンネルのカスケードアウト

2 パラメーターボックス(①)にカーソルを合わせ、パラメーターホイール(または[INC]/[DEC]キー)を使って、パッチ内容を変更します。

3 [ENTER]キーを押して、変更内容を確定します。

*ヒント：**パッチングを初期状態に戻したいときは、アウトプットライブラリー00 をリコールします(→ P.179)。***

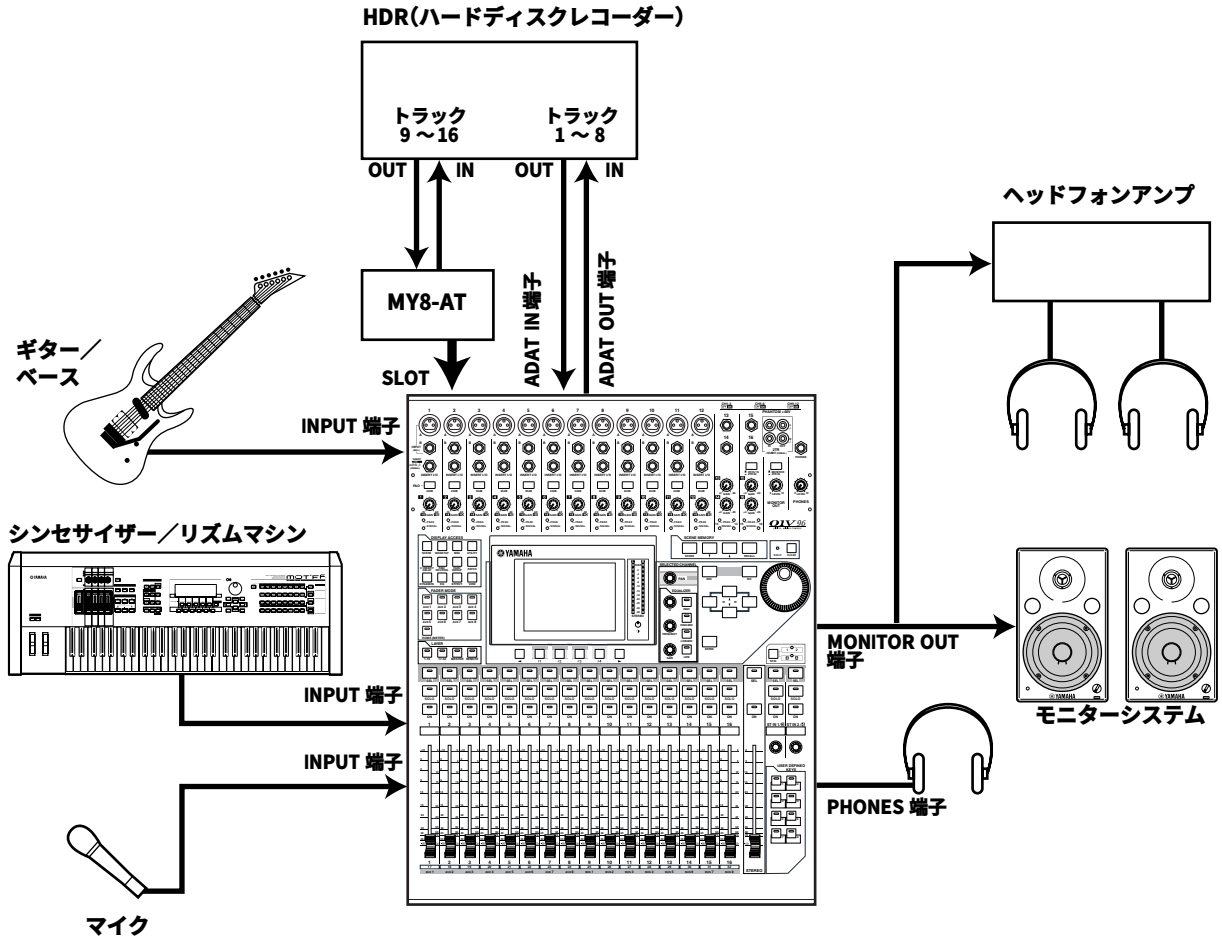
第 5 章 01V96 を使ってみよう

この章では、01V96 にデジタル MTR を接続し、リズムマシン、ベース、ギター、キーボードなどの楽器音を録音する場合を例に挙げて、マルチトラック録音やミックスダウンなどの操作方法を説明します。

接続とセットアップ

1 01V96 にデジタル MTR や楽器、マイクなどを接続します。

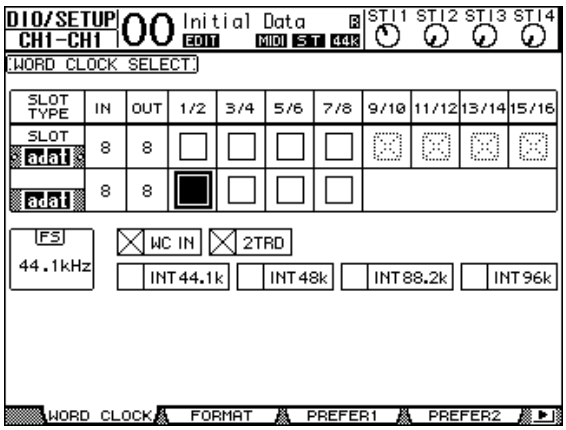
次の図は、リアパネルの ADAT IN/OUT 端子、およびスロットに装着された MY8-AT カードの ADAT IN/OUT 端子に、16 トラックの HDR を接続した場合の例です（接続方法の詳細は→ P.38）。



2 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の WORD CLOCK ページを表示させ、ワードクロックソースを指定します。

最適なワードクロックソースの選択方法は、ご使用のシステムや環境に応じて異なります。

次の図は、サンプリング周波数44.1kHzで動作するHDRをワードクロックマスターとして使用する場合の例です。ここでは、ADAT IN端子のチャンネル1/2から入力される信号をワードクロックソースに選んでいます。



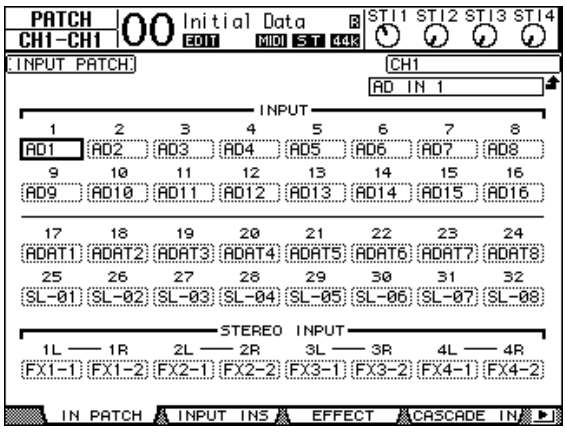
ヒント：

- ***ワードクロックについての詳細は、P.40をご参照ください。***
- ***01V96をハイサンプリングレート（88.2kHz/96kHz）で動作させる方法は、P.77をご参照ください。***

ノート：

- ***ワードクロックソースとして01V96の内蔵クロックを選択することも可能です。この場合は、HDR側で外部クロックに同期できるように設定を変更してください。***
- ***ディスプレイに“Sync Error!”と表示される場合、01V96と外部機器が同期していません。ADAT IN/OUT端子やデジタルI/Oカードの接続、および機器ごとのサンプリング周波数の設定を確認してください。***

3　DISPLAY ACCESSセクションの[PATCH]キーを繰り返し押してPATCH画面のIN PATCHページを表示させ、インプットパッチが次のような初期設定のままになっていることを確認します。

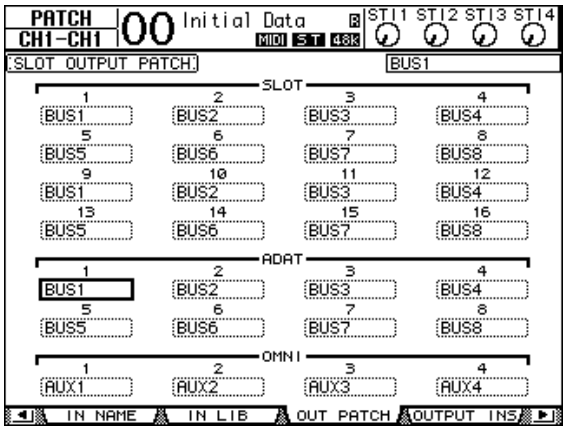


この状態で、INPUT端子1～16に接続された楽器やマイクの信号がインプットチャンネル1～16に送られます。

また、ADAT IN端子からの入力信号（この例ではHDRのトラック1～8）がインプットチャンネル17～24に、スロットからの入力信号（この例ではHDRのトラック9～16）がインプットチャンネル25～32と送られます。

インプットパッチが上図の設定から変更されている場合は、インプットパッチライブラリー00をリコールしてください（→P.176）。

4　[PATCH]キーを繰り返し押して、PATCH 画面の OUT PATCH ページを表示させ、アウトプットパッチが次のように設定されていることを確認します。



この状態で、バスアウト 1 ～ 8 からの出力信号が、ADAT OUT 端子（この例では HDR のトラック 1 ～ 8）とスロット（この例では HDR のトラック 9 ～ 16）の両方に送られます。

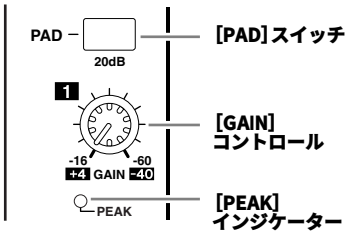
アウトプットパッチが上の図から変更されている場合は、アウトプットパッチライブラリー 00 をリコールしてください（→ P.176）。

最初のトラック録音

ここでは、INPUT 端子 1 ～ 12 に接続されたリズムマシン、シンセサイザー、ベース、ギター、マイクの信号を、HDR のトラックに初めて録音する場合の手順を説明します。

入力レベルを設定する

1　INPUT 端子 1 ～ 12 に接続された楽器の音を出しながら、最大音量時に[PEAK]インジケーターがかすかに点滅するように、それぞれの[PAD]スイッチと[GAIN]コントロールを調節します。



> ***ヒント：[GAIN]コントロールは、アナログ入力の感度を調節するコントロールです。ダイナミックレンジが広く、ノイズの少ない音で録音するには、クリップしない範囲で、できるだけ[GAIN]コントロールを高めに設定するのがコツです。***

2　LAYER セクションの[1-16]キーを押します。

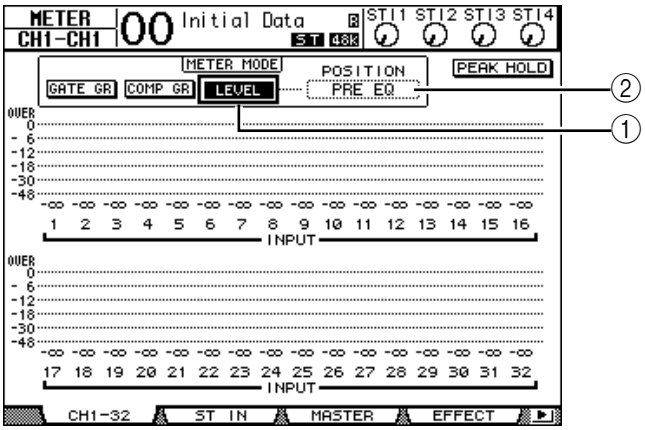
チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー 1 ～ 16 が選ばれます。

> ***ヒント：レイヤーを切り替えても、以前のレイヤーのフェーダー位置や[ON]キーの状態は記憶されており、再度そのレイヤーを呼び出したときに、元の状態に戻ります。***

3　FADER MODE セクションの[HOME]キー→[F1]キーを押し、METER 画面の CH 1-32 ページを表示させます。

METER 画面は、各チャンネルの入出力レベルや、コンプレッサー／ゲートのゲインリダクション量などを表示する、ミキシングや録音の開始点となる画面です。

CH 1-32 ページでは、インプットチャンネル 1 ～ 32 の入力レベルやコンプレッサー／ゲートのゲインリダクション量を確認できます。



4 画面上部の METER MODE フィールドで、LEVEL ボタンがオン(①)になっていることを確認します。

METER MODE フィールドでは、画面内にメーター表示する信号の種類を選びます。LEVEL ボタン以外のボタンがオンになっているときは、LEVEL ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

5 LEVEL ボタン右側の POSITION パラメーターボックス(②)にカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って“ POST FADER ”を選択し、[ENTER]キーを押します。

POSITION パラメーターボックスでは、メーター表示されるレベルの検出位置を選択します。“ POST FADER ”が選ばれているときには、フェーダー通過後のレベルが表示されます。

> ***ヒント：PRE EQ を選ぶと EQ 通過前の入力レベル、PRE FADER を選ぶと EQ 通過後／フェーダー通過前の入力レベルがメーターに表示されます。***

6 [ON]キー1 ～ 12 がオンになっている(点灯している)ことを確認し、フェーダー1 ～ 12 を 0dB の位置まで上げます。

7 楽器の音を出しながら、画面上に表示されるレベルメーターで、インプットチャンネルごとの入力レベルを確認します。

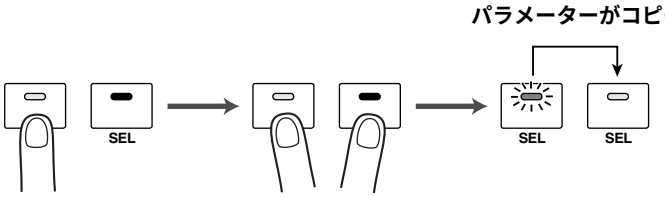
> ***ヒント：メーターが“ OVER ”の位置まで到達するときは、フェーダーが 0dB の位置にあるかどうかを確認してから、対応する[GAIN]コントロールを下げてください。***

2 つのチャンネルをペア化する

01V96 では、奇数／偶数の順に並んだチャンネル同士をステレオペアに設定できます。ペアに設定した 2 チャンネルは、インプットパッチ、フェイズ、ルーティング、パンなどを除く主要なミックスパラメーターが連動します。リズムマシンやシンセサイザーなどのステレオソースを入力するときは、インプットチャンネル同士をペア化しておくと便利です。

1　奇数／偶数の順に隣り合ったインプットチャンネル同士をステレオペア化するには、片方のチャンネルの［SEL］キーを押しながら、もう一方のチャンネルの［SEL］キーを押してください。

該当する 2 チャンネルがペアに設定され、フェーダー、チャンネルのオン／オフなどの主要パラメーターが、最初に［SEL］キーを押したチャンネルからもう一方のチャンネルへとコピーされます。これ以降は、片方のチャンネルで共通化されたパラメーターを操作すると、もう一方もそれに追従します。



ヒント：

- ***ペアの設定後でも、［SEL］キーを使って片方のチャンネルを操作の対象として選べます（現在選ばれているチャンネルの［SEL］キーが点灯し、もう一方の［SEL］キーが点滅します）。***
- ***ペアを設定するときに、パラメーターのコピー方法を選ぶポップアップウィンドウを表示させることも可能です（→ P.230）。***
- ***ペアの設定／解除は、PAIR/GRUP 画面でも行えます（→ P.97）。***
- ***その他、複数チャンネルのフェーダー、［ON］キー、EQ、コンプレッサーの操作をグループ化することもできます（→ P.149）。***

2　ペアを解除するには、片方の［SEL］キーを押しながらもう一方の［SEL］キーを押します。

ノート：チャンネルがペア化されている場合は、必ずどちらか一方のフェーダーのみを操作してください。両方同時に動かそうとすると、モーターに負荷がかかり、故障の原因となります。

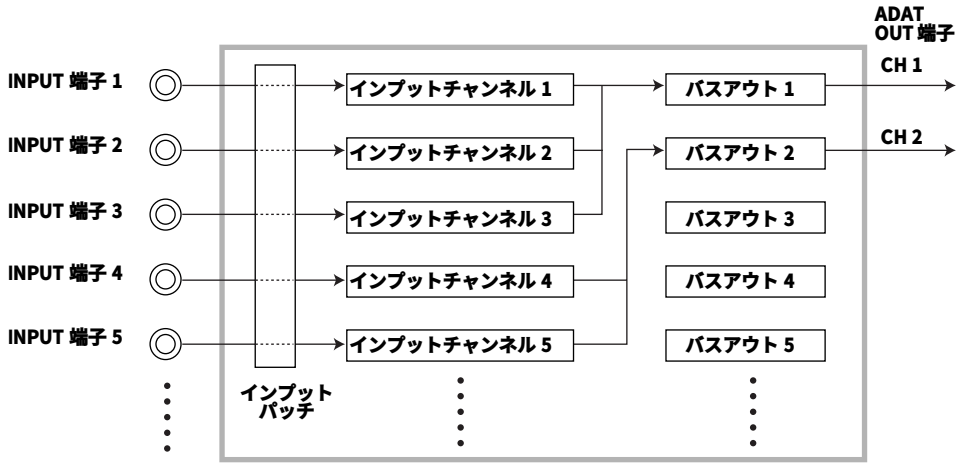
ルーティングを設定する

01V96 に入力された信号を外部のデジタル MTR に録音するには、インプットチャンネルごとに送り先を指定する必要があります。この操作を“ ルーティング ”と呼びます。ルーティングの設定方法には、次の 2 種類があります。

- **バスアウト 1 ～ 8 を利用する**

  インプットチャンネルの信号を一度バス 1 ～ 8 に送り、バスアウト 1 ～ 8 を経由して出力端子／出力チャンネルへと送出する方法です。複数のインプットチャンネルの信号をミックスして MTR のトラックに録音したいときに、この方法を利用します。必要ならば、バスアウト 1 ～ 8 のコンプレッサーや EQ を使って信号を加工することも可能です。

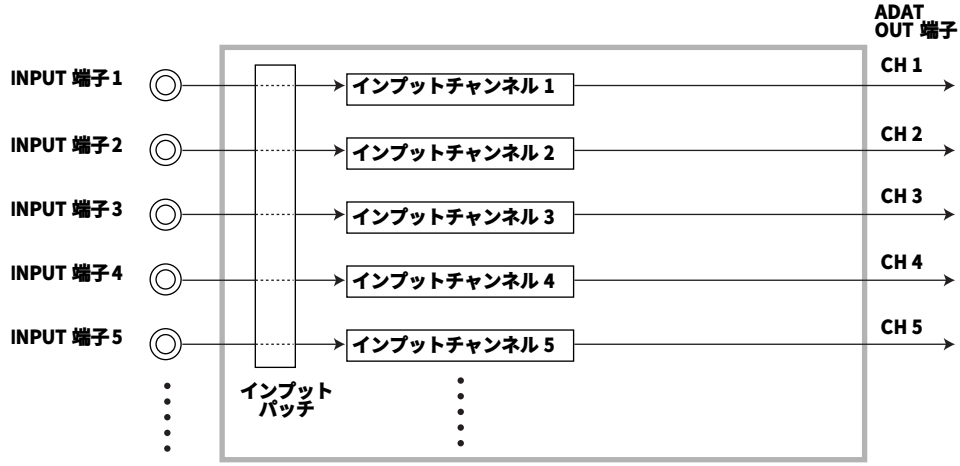
  次の図は、バスアウト 1/2 を経由して、ADAT OUT 端子 1/2 に信号を出力する場合の例です。



- **ダイレクト出力を利用する**

  インプットチャンネルごとに送り先となる出力端子や出力チャンネルを指定して、ダイレクト出力する方法です。インプットチャンネルと MTR のトラックを 1:1 でパッチしたいときは、この方法が便利です。

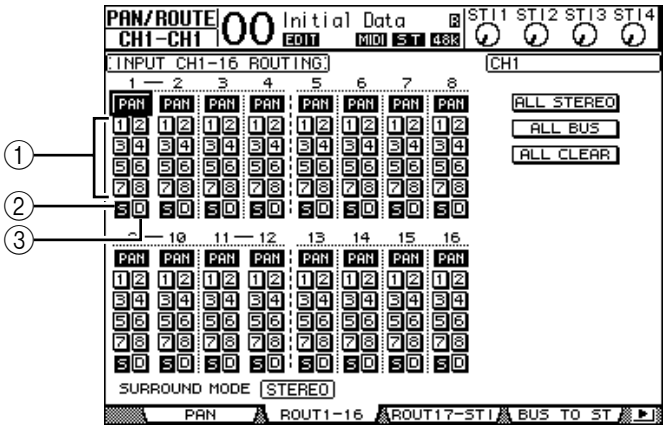
  次の図は、ADAT OUT 端子 1 ～ 5 に信号をダイレクト出力する場合の例です。



ここでは、上記の 2 つの方法を組み合わせたルーティングの設定方法を説明します。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押し、PAN/ROUTE 画面の ROUT1-16 ページを呼び出します。

このページでは、チャンネルごとに送信先となるバスアウトを選択します。



各ボタンの機能は、次のとおりです。

① **1 ～ 8 ボタン**
インプットチャンネルの信号をバス 1 ～ 8 に送ります（複数選択可）。

② **S ボタン**
インプットチャンネルの信号をステレオバスに送ります。

③ **D ボタン**
インプットチャンネルの信号を、あらかじめ指定された出力端子／出力チャンネルに直接送ります。

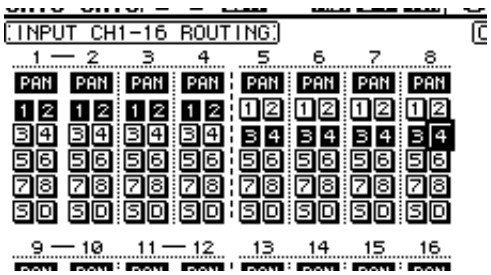
2 楽器／マイクを接続したインプットチャンネルの S ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押してオフに切り替えます。

01V96 が初期状態のとき、それぞれのインプットチャンネルはステレオバスに割り当てられており、そのまま MONITOR OUT 端子／ PHONES 端子からモニターできます。

しかし、マルチトラック録音を行なう場合は、入力信号をそのままモニターするのではなく、デジタル MTR から返される信号をモニターする方法が一般的です。そこで、インプットチャンネルの入力信号がステレオバスには送られなくなるように、S ボタンをオフに設定します。

3 インプットチャンネルの信号をバス 1 ～ 8 経由でデジタル MTR に送るには、楽器／マイクを接続したインプットチャンネルごとに、1 ～ 8 ボタンを使って送り先となるバスアウトを選択します。

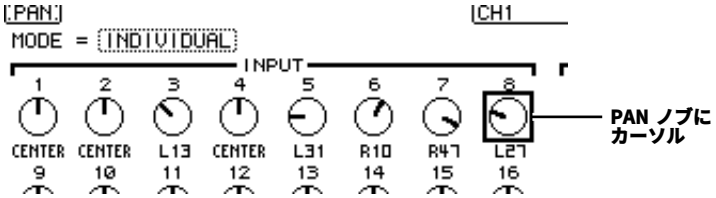
インプットチャンネル 1 ～ 4 をバス 1/2 に、インプットチャンネル 5 ～ 8 をバス 3/4 に割り当てた場合の例：



4 [PAN/ROUTING]キーを繰り返し押し、PAN/ROUTE画面のPANページを呼び出します。

PANページでは、インプットチャンネルからステレオバスに送られる信号のパン、およびインプットチャンネルから奇数／偶数バスに送られる信号のパンを設定します。

5 奇数／偶数バスに割り当てたインプットチャンネルのPANノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使ってパンの値を設定します。



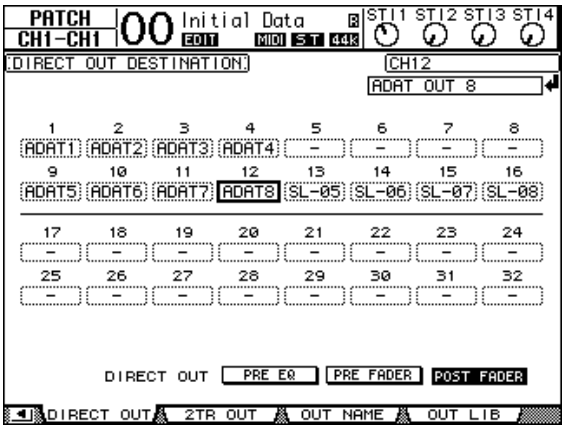
ヒント：[SEL]キーを使ってインプットチャンネルを指定し、SELECTED CHANNELセクションの[PAN]コントロールを使ってパンの値を設定することも可能です。

6 インプットチャンネルの信号をダイレクト出力するときは、DISPLAY ACCESSセクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH画面のDIRECT OUTページを呼び出します。

DIRECT OUTページでは、インプットチャンネルごとにダイレクト出力する出力端子／出力チャンネルを指定します。

7 ダイレクト出力したいインプットチャンネルのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、出力端子／出力チャンネルを指定します。

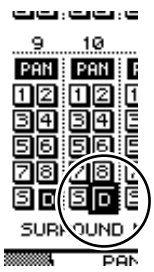
インプットチャンネル9～12の入力信号を、それぞれADAT OUT端子の出力チャンネル5～8に割り当てた場合の例:



8 DISPLAY ACCESSセクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押し、PAN/ROUTE画面のROUT1-16ページを呼び出します。

9 ダイレクト出力したいインプットチャンネルのDボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

Dボタンをオンに設定したインプットチャンネルの信号が、手順7で指定した出力端子／出力チャンネルに直接送られます。



モニターレベルを調節する

デジタル MTR を録音待機状態にして、デジタル MTR のトラック 1 ～ 8 に送られる信号を 01V96 のインプットチャンネル 17 ～ 24 に返し、MONITOR OUT 端子や PHONES 端子を経由してモニターします。

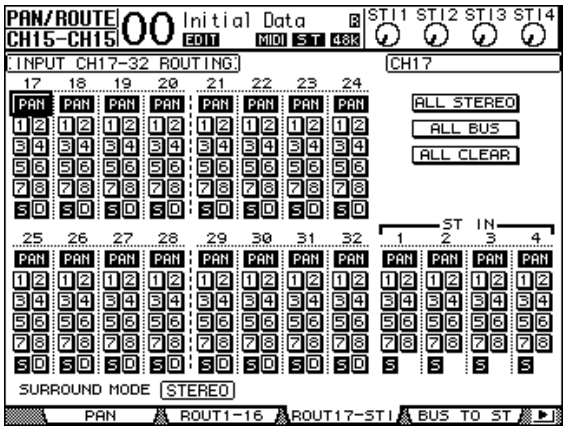
1 デジタル MTR のトラックを録音待機状態に切り替えます。

このとき、デジタル MTR 側では、録音待機状態のトラックで入力信号をモニターできるように、モニターモードを切り替えてください（設定方法は、デジタル MTR の説明書をご参照ください）。これでデジタル MTR のトラック 1 ～ 8 に送られた信号が 01V96 のインプットチャンネル 17 ～ 24 に返されます。

2 LAYER セクションの[17-32]キーを押します。

チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー17 ～ 32 が選ばれます。

3 DISPLAY ACCESS セクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押し、PAN/ROUTE 画面の ROUT17-STI ページを呼び出します。

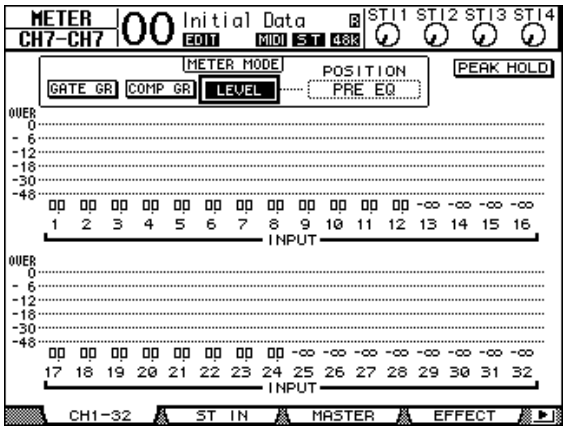


4 インプットチャンネル 17 ～ 24 で、S ボタンがオン、1 ～ 8 ボタンがオフになっていることを確認し、PAN ノブを使ってモニター信号のパンを設定します。

> *ヒント：**インプットチャンネル 17 ～ 32 のパン、フェーダー、[ON]キーを操作しても、モニター用の信号が変化するだけで、デジタル MTR に録音される信号には影響しません。***

5 DISPLAY ACCESS セクションの[HOME]キー→[F1]キーを押し、METER 画面の CH 1-32 ページを表示させます。

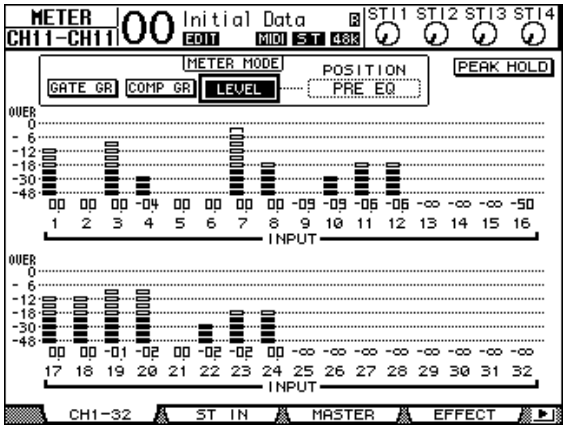
6 [ON]キー1 ～ 8 がオンになっている(点灯している)ことを確認し、[STEREO]フェーダーを 0dB の位置まで上げます。



7 楽器の音を出しながら、適切なレベルのモニター信号が得られるように、フェーダー1 ～ 8、[MONITOR OUT]コントロール、[PHONES]コントロールを操作します。

この状態で、インプットチャンネル 17 ～ 24 からステレオバスに送られる信号を、モニターシステムやヘッドフォンでモニターできます。

> ***ノート：L/R のレベルメーターが OVER の位置まで到達するときは、[STEREO] フェーダーを下げてください。***



入力信号にイコライザーをかける

01V96 では、すべてのチャンネルに 4 バンドのフルパラメトリック EQ が搭載されています。ここでは、インプットチャンネルの EQ を使って、トラックに録音する前の信号を加工する方法を説明します。

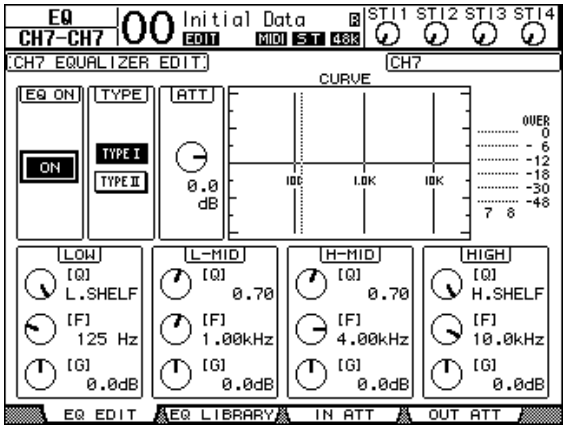
1 LAYER セクションの[1-16]キーを押します。

チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー1 ～ 16 が選ばれます。

2 [SEL]キーを使って、EQ を操作するインプットチャンネルを選びます。

3 [EQ]キー→[F1]キーを押し、EQ 画面の EQ EDIT ページを呼び出します。

EQ EDIT ページでは、現在選ばれているチャンネルの EQ パラメーターを操作します。



4 ディスプレイ左上の ON/OFF ボタンがオン(ON)になっていることを確認します。

ON/OFF ボタンは、EQ のオン／オフを切り替えるボタンです。オフ(OFF)に設定されているときは、[ENTER]キーを押してオン(ON)に切り替えてください。

5 楽器を演奏しながら、EQ のパラメーターを調節します。

EQ のパラメーターを調節するには、ディスプレイ下部にカーソルを移動し、パラメーターホイールを使って値を変更します。LOW、L-MID、H-MID、HIGH のバンドごとに、次のパラメーターを調節できます。

- **Q(キュー)ノブ**

  F ノブで設定した中心周波数をブースト／カットするときのキュー(急峻度)を設定します。設定範囲は 10 ～ 0.10 で、値が大きいほどカーブの勾配が急になります。なお、LOW/HIGH バンドでは、イコライザーのタイプを切り替える用途にも使います。

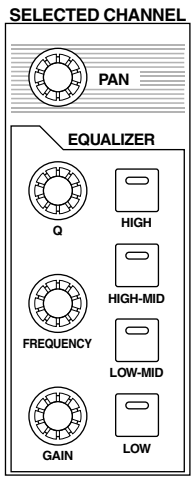
- **F(フリーケンシー)**

  ブースト／カットする中心周波数を設定します。可変範囲はどのバンドも 21.2Hz ～ 20.0kHz です。

- **G(ゲイン)ノブ**

  ブースト／カット量を－ 18.0dB ～＋ 18.0dB の範囲で設定します。なお、LOW バンド EQ で“ HPF ”が選ばれているとき、および HIGH バンド EQ で“ LPF ”が選ばれているときは、このノブを使ってフィルターのオン／オフを切り替えます。

また、SELECTED CHANNEL セクションのキー／コントロールを使って EQ のパラメーターを操作することも可能です。この場合は、[HIGH]/[HIGH-MID]/[LOW-MID]/[LOW]の各キーで操作するバンドを選び、[Q] [FREQUENCY] [GAIN]の各コントロールでそのバンドのパラメーターを操作します。



ヒント:

- ***LOW バンド EQ は、Q ノブを時計方向に回しきると“ L.SHELF ”(ローシェルビング)、反時計周りに回しきると“ HPF ”(ハイパスフィルター)に切り替わります。***
- ***HIGH バンド EQ は、Q ノブを時計方向に回しきると“ H.SHELF ”(ハイシェルビング)、反時計周りに回しきると“ LPF ”(ローパスフィルター)に切り替わります。***
- ***EQ が初期状態のとき、LOW バンドは“ L.SHELF ”、HIGH バンドは“ H.SHELF ”のタイプが選ばれています。***

6 同じ要領で、他のインプットチャンネルのEQを操作します。

ヒント：

- ***ディスプレイ右上に、EQ通過後の信号レベルが表示されます。このメーターが"OVER"の位置まで到達する場合は、画面左上のATT.ノブを使ってEQに入力される信号のレベルを下げてください。***
- ***レコーダーから信号を返すインプットチャンネルにEQをかけることも可能です。この方法を使えば、レコーダーに録音される信号には影響を与えずに、モニターする信号のみを加工できます。***
- ***EQライブラリーには、主要な楽器に対応したEQの設定（プログラム）がプリセットされていますので、これを利用してもいいでしょう。***

入力信号にコンプレッサーをかける

01V96のインプットチャンネル1～32には、個別にコンプレッサーが搭載されています。ここでは、レコーダーに録音する前の信号をコンプレッサーで加工する方法を説明します。

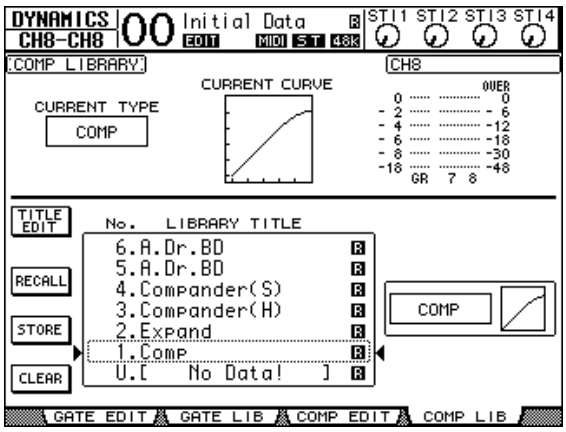
1 LAYERセクションの[1-16]キーを押します。

チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー1～16が選ばれます。

2 [SEL]キーを使って操作するインプットチャンネルを選びます。

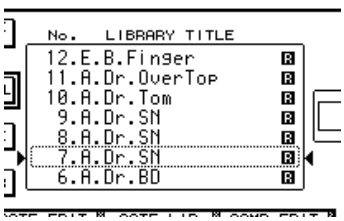
3 [DYNAMICS]キー→[F4]キーを押します。

DYNAMICS画面のCOMP LIBページが表示されます。このページでは、コンプレッサーの設定（プログラム）をコンプレッサーライブラリーにストアしたり、すでにストアされているプログラムをリコールします。コンプレッサーライブラリーのナンバー1～36には、主要な楽器に対応するプログラムがプリセットされていますので、これを利用してみましょう。



4 パラメーターホイールを回して中央のリストをスクロールさせ、リコールしたいプログラムを選択します。

リスト内で点線で囲まれている列が、現在選択されているプログラムを表します。

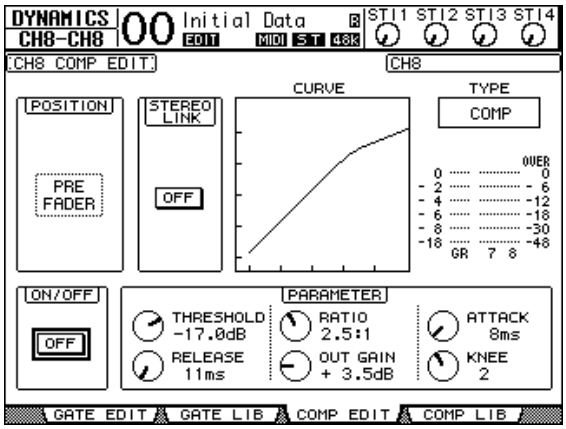


5 ライブラリーリスト左側の RECALL ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

プログラムのリコールが実行されます。

6 [F3]キーを押します。

DYNAMICS 画面の COMP EDIT ページが表示されます。このページでは、コンプレッサーの各パラメーターを変更できます。



ヒント：

- ***ダイナミクスプロセッサーには、COMP（コンプレッサー）、EXPAND（エクスパンダー）、COMP.(S)（コンパンダーソフト）、COMP.(H)（コンパンダーハード）という 4 種類のタイプがあり、それぞれパラメーターの内容が異なります（タイプごとのパラメーターについては、P.274 をご参照ください）。***
- ***COMP EDIT ページで、コンプレッサーのタイプを切り替えることはできません。このため、特定のタイプを利用したいときは、コンプレッサーライブラリーからそのタイプを使ったプログラムをリコールし、必要に応じてパラメーターを変更してください。***

7 [ENTER]キーを押し、ディスプレイ左下の ON/OFF ボタンをオン（ON）に切り替えます。

ON/OFF ボタンは、コンプレッサーのオン／オフを切り替えるボタンです。インプットチャンネルのコンプレッサーが有効になります。

8 楽器を演奏しながら、必要に応じてコンプレッサーのパラメーターを調節します。

パラメーターを調節するには、ディスプレイ右下の PARAMETER フィールドに並んだノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を操作します。

なお、インプットチャンネル 1 ～ 32 には、コンプレッサーとは独立して利用できるゲートが搭載されています。ゲートを利用したいときは、コンプレッサーと同じ要領で[DYNAMICS]キー→[F2]キーを押してゲートライブラリーを呼び出し、[DYNAMICS]キー→[F1]キーを押して GATE EDIT ページでパラメーターを調節してください。

録音する

各チャンネルの音決めが終わったら、デジタル MTR に録音します。

1　デジタル MTR の録音を開始し、楽器を演奏します。

録音中は[HOME]キーを押して METER 画面の CH 1-32 ページ、または MASTER ページを表示させ、インプットチャンネルの入力レベルやバス 1 ～ 8 の出力レベルがクリップしないかどうかを監視してください。

2　演奏が終了したら、デジタル MTR を停止します。

3　録音内容を確認するには、デジタル MTR を先頭から再生します。

4　録音内容に満足できたら、デジタル MTR を停止し、トラック 1 ～ 8 の録音待機状態を解除します。

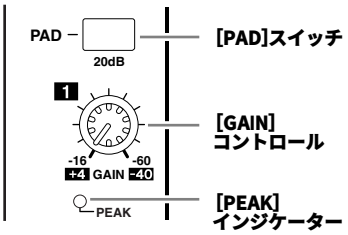
> ***ヒント：デジタル MTR が MMC（MIDI マシンコントロール）に対応していれば、01V96 のマシンコントロール機能を使って、01V96 側から録音トラックの選択やロケート操作をリモートコントロールできます（→ P.212）。***

他のトラックに重ねて録音する（オーバーダビング）

ここでは、デジタル MTR のトラック 1 ～ 8 に録音された演奏をモニターしながら、INPUT 端子 1/2 に接続された楽器やマイクの信号をトラック 9/10 にオーバーダビングする方法を説明します。

入力レベルを設定する

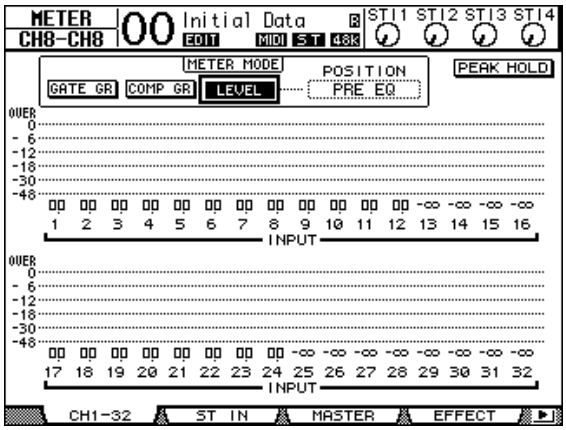
1　INPUT 端子 1/2 にオーバーダビングする楽器やマイクを接続し、最大音量時に[PEAK]インジケーターがかすかに点滅するように、対応する[PAD]スイッチと[GAIN]コントロールを調節します。



2　LAYER セクションの[1-16]キーを押します。

チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー 1 ～ 16 が選ばれます。

3　DISPLAY ACCESS セクションの[HOME]キー→[F1]キーを押し、METER 画面の CH 1-32 ページを表示させます。



4 楽器やマイクを接続したインプットチャンネルの［ON］キーがオンになっている（点灯している）ことを確認し、対応するフェーダーを 0dB の位置まで上げます。

なお、使用しないインプットチャンネルの［ON］キーは、オフに設定します。

5 楽器の音を出しながら、画面上に表示されるレベルメーターで、インプットチャンネルごとの入力レベルを確認します。

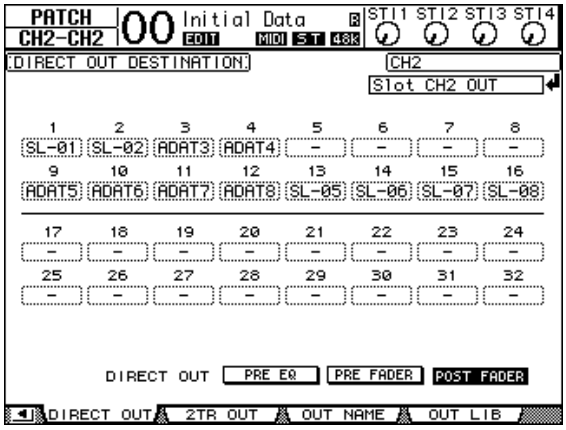
ルーティングを設定する

インプットチャンネル 1/2 の信号を、それぞれスロットのチャンネル 1/2 にダイレクト出力して、デジタル MTR のトラック 9/10 に録音できるように、ルーティングを変更します。

1 DISPLAY ACCESS セクションの［PATCH］キーを繰り返し押し、PATCH 画面の DIRECT OUT ページを呼び出します。

2 ダイレクト出力したいインプットチャンネルのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、出力端子／出力チャンネルを指定します。

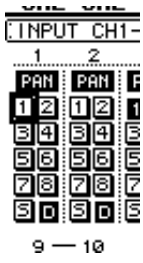
インプットチャンネル 1/2 の入力信号を、それぞれスロットの出力チャンネル 1/2 に割り当てた場合の例：



3 DISPLAY ACCESS セクションの［PAN/ROUTING］キーを繰り返し押し、PAN/ROUTE 画面の ROUT1-16 ページを呼び出します。

4 インプットチャンネル 1/2 の D ボタンにカーソルを合わせ、［ENTER］キーを押します。また、S ボタンや 1 ～ 8 ボタンはオフに設定します。

これでインプットチャンネル 1/2 の信号が、スロットの出力チャンネル 1/2 を経由して、デジタル MTR のトラック 9/10 へとダイレクト出力されます。



モニターレベルを調節する

デジタル MTR を録音待機状態にして、デジタル MTR のトラック 9/10 から 01V96 のインプットチャンネル 25/26 に返される信号を、MONITOR OUT 端子や PHONES 端子経由でモニターします。

1　デジタル MTR のトラック 9/10 を録音待機状態に切り替えます。

このとき、デジタル MTR 側では、録音待機状態のトラックは入力信号をモニターし、それ以外のトラックは再生信号をモニターできるように、モニターモードを切り替えてください（設定方法は、デジタル MTR の説明書をご参照ください）。

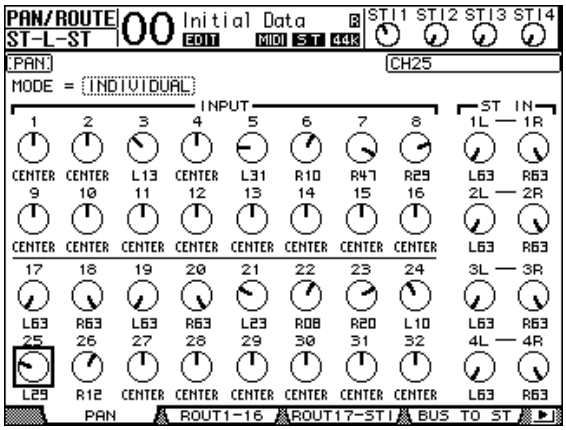
2　LAYER セクションの[17-32]キーを押します。

チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー17 ～ 32 が選ばれます。

3　DISPLAY ACCESS セクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押し、PAN/ROUTE 画面の ROUT17-STI ページを呼び出します。

4　インプットチャンネル 25/26 で、S ボタンがオン、1 ～ 8 ボタンがオフになっていることを確認します。

5　[F1]キーを押して PAN/ROUTE 画面の PAN ページを表示させ、PAN ノブを使ってチャンネルごとのパンを設定します。



6　DISPLAY ACCESS セクションの[HOME]キー→[F1]キーを押し、METER 画面の CH 1-32 ページを表示させます。

7　[ON]キー9/10 がオンになっている（点灯している）ことを確認します。

8　楽器やマイクの音を出しながら、適切なレベルのモニター信号が得られるように、フェーダー9/10 を上げます。

必要に応じてデジタル MTR を再生し、録音済みトラックとこれから録音する信号の音量バランスを調節します。

録音する

1　デジタル MTR の録音を開始し、録音済みのトラックをモニターしながら、楽器を演奏します。

録音中は METER 画面の CH 1-32 ページを表示させ、インプットチャンネルの入力レベルがクリップしないかどうかを監視してください。

2　演奏が終了したら、デジタル MTR を停止します。

3　録音内容を確認するには、デジタル MTR を先頭から再生します。

4　録音内容に満足できたら、デジタル MTR を停止し、トラック 9/10 の録音待機状態を解除します。

録音済みトラックをステレオにミックスする（ミックスダウン）

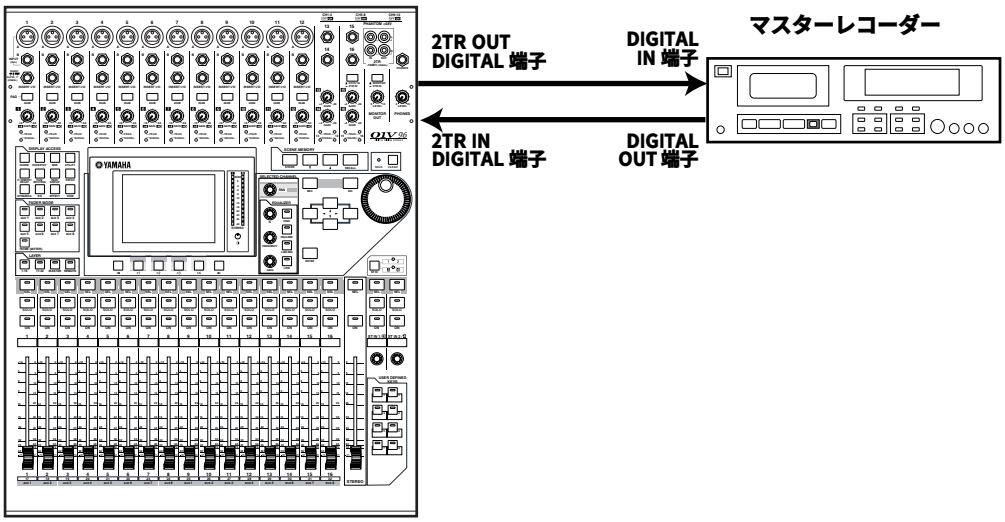
録音済みのトラックをステレオにミックスして外部のマスターレコーダーに録音する操作を“ ミックスダウン ”と呼びます。ここでは、トラック 1 ～ 16 に録音された信号をステレオにミックスし、内蔵エフェクトの効果を加えて、外部のマスターレコーダーにミックスダウンする手順を説明します。

マスターレコーダーの接続とセットアップ

01V96 に DAT レコーダー／ MD レコーダー／ CD レコーダーなどのマスターレコーダーを接続します。また、マスターレコーダーの再生音を ST IN チャンネル 2 を経由してモニターできるように、01V96 内部のパッチを変更します。

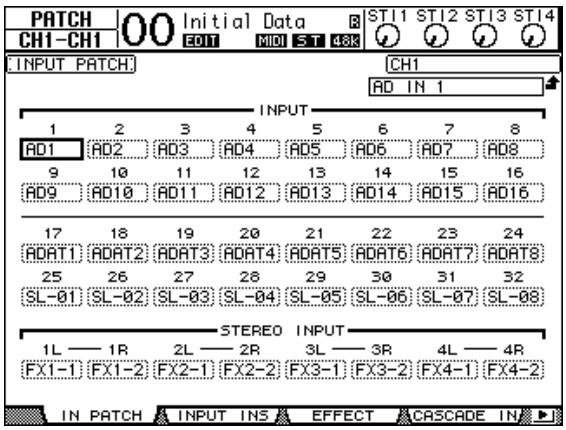
1 01V96 にマスターレコーダーを接続します。

次の図は、01V96 の 2TR OUT DIGITAL 端子をマスターレコーダーのデジタル入力端子に、01V96 の 2TR IN DIGITAL 端子をマスターレコーダーのデジタル出力端子に接続した場合の例です。



*ヒント：**マスターレコーダーの再生音をモニターするには、マスターレコーダーのアナログ出力端子を 01V96 の 2TR IN 端子に接続する方法もあります。この方法を使えば、モニターアウトセクションのモニターソース選択スイッチで、即座にモニター信号を切り替えできます。***

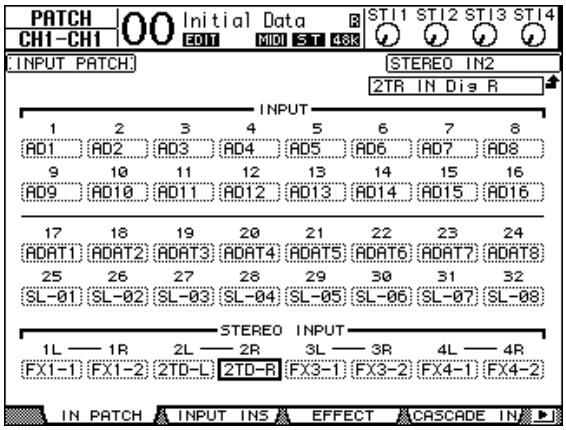
2 DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押して、PATCH 画面の IN PATCH ページを表示させます。



3 STEREO INPUTフィールドの 2L パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って“ 2TD L ”を選び、[ENTER]キーを押します。

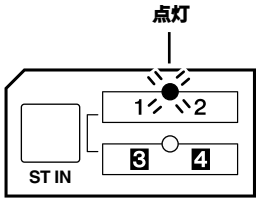
4 同じように、STEREO INPUT フィールドの 2R パラメーターボックスにカーソルを合わせ、“ 2TD R ”に設定します。

この状態で、2TR I N DIGITAL 端子から入力された信号が、ST IN チャンネル 2 の L/R へと送られます。



5 ST IN セクションの[ST IN]キーを使って、操作対象として ST IN チャンネル 1/2 を選びます。

ST IN セクションでは、[ST IN]キーを使って操作する ST IN チャンネルの組み合わせ（1/2 または 3/4）を選びます。現在選ばれている組み合わせは、キーの右側にあるインジケーターで確認できます。



6 ST IN チャンネル 2 に対応する[ON]キーをオフ（LED が消灯した状態）に設定します。

この[ON]キーは、マスターレコーダーの再生音をモニターするときだけ、オンに設定します。

トラックのミックスバランスを決める

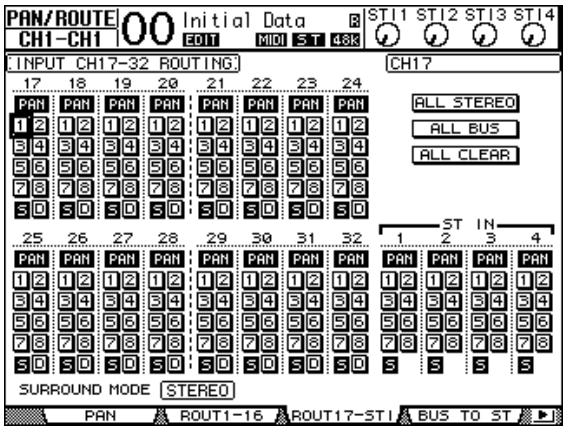
トラック 1 ～ 16 のミックスバランスを決め、EQ ／コンプレッサー／ゲートで加工します。

1 デジタル MTR 側で、トラック 1 ～ 16 の録音待機状態がすべて解除され、トラックの再生音をモニターするモードになっていることを確認します。

2 LAYER セクションの [1-16] キーを押し、インプットチャンネル 1 ～ 16 の [ON] キーをすべてオフに切り替えます。

3 LAYER セクションの [17-32] キーを押し、インプットチャンネル 17 ～ 32 の [ON] キーがすべてオンになっていることを確認します。

4 DISPLAY ACCESS セクションの [PAN/ROUTING] キーを繰り返し押して PAN/ROUTE 画面の ROUT17-STI ページを呼び出し、インプットチャンネル 17 ～ 32 の S ボタンがオン、1 ～ 8 ボタンがオフに設定されていることを確認します。



これで、デジタル MTR のトラック 1 ～ 16 からインプットチャンネル 17 ～ 32 に入力された信号が、ステレオバスを経由して STEREO OUT 端子や 2TR OUT DIGITAL 端子へと送られます。

5 画面内に表示されるインプットチャンネル 17 ～ 32 の PAN ノブを使って、トラックごとの定位を設定します。

> ***ヒント：[SEL] キーを使ってインプットチャンネルを指定し、SELECTED CHANNEL セクションの [PAN] コントロールを使ってパンの値を設定することも可能です。***

6 [STEREO] フェーダーを 0dB の位置まで上げます。

7 デジタル MTR を先頭から再生しながら、フェーダー 1 ～ 16 を使って各トラックのミックスバランスを設定します。

・ 任意のトラックに EQ をかけるには

[SEL] キーでチャンネルを選び、[EQ] キー→[F1] キーを押して EQ EDIT ページを呼び出します（→ P.86）。または、SELECTED CHANNEL セクションのキー／コントロールを使って EQ のパラメーターを操作します。

・ 任意のトラックにコンプレッサーをかけるには

[SEL] キーでチャンネルを選び、[DYNAMICS] キー→[F4] キーを押して DYNAMICS 画面の COMP LIB ページを呼び出して、希望するコンプレッサープログラムをリコールします（→ P.84）。コンプレッサーのパラメーターを変更するには、[DYNAMICS] キー→[F3] キーを押して COMP EDIT ページを表示させます。

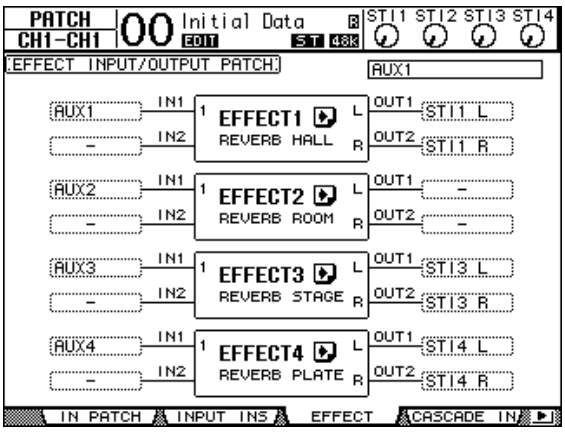
・**任意のトラックにゲートをかけるには**

[SEL]キーでチャンネルを選び、[DYNAMICS]キー→[F2]キーを押して DYNAMICS 画面の GATE LIB ページを呼び出して、希望するゲートプログラムをリコールします。ゲートのパラメーターを変更するには、[DYNAMICS]キー→[F1]キーを押して GATE EDIT ページを表示させます。

内蔵エフェクトを使う

01V96 では、4 系統の内蔵エフェクトが用意されており、AUX センド／リターン経由で、または任意のチャンネルにインサートして利用できます。ここでは、内蔵エフェクト 1 を AUX センド 1 経由で使用し、各トラックの信号にリバーブをかける手順を説明します。

1　DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH 画面の EFFECT ページを呼び出します。

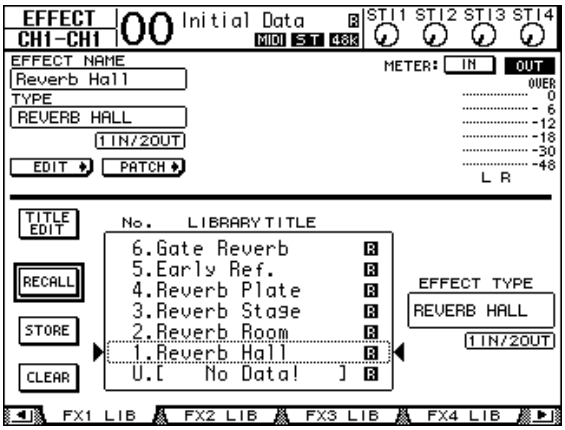


このページでは、4 系統の内蔵エフェクトの入出力に、01V96 内部の信号経路をパッチします。01V96 が初期状態のとき、上図のように内蔵エフェクト 1 の入力に AUX センド 1、内蔵エフェクト 1 の出力には ST IN チャンネル 1 の L/R がパッチされています。

> ***ヒント：内蔵エフェクト 1 の設定が上記と異なる場合は、パラメーターホイール(または[INC]/[DEC]キー)と[ENTER]キーを使って、設定を変更してください。***

2　トップパネル上の ST IN セクションで、ST IN チャンネル 1 に対応する[ON]キーがオンになっていることを確認します。

3　DISPLAY ACCESS セクションの[EFFECT]キーを繰り返し押し、EFFECT 画面の FX1 LIB ページを呼び出します。

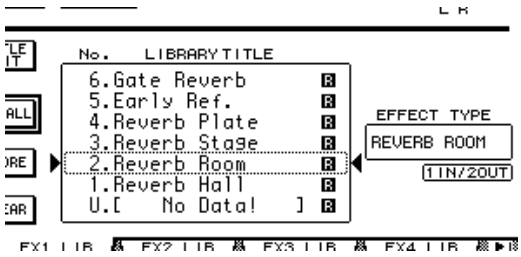


EFFECT 画面の FX1 LIB ページでは、内蔵エフェクト 1 で使用するエフェクトプログラムをエフェクトライブラリーからリコールしたり、内蔵エフェクト 1 の現在の設定をエフェクトライブラリーにストアします。

画面下部の中央にあるリストの中から、ストア／リコールするプログラムを選択します。リスト内にある点線の枠は、現在操作の対象として選ばれているプログラムを示しています。

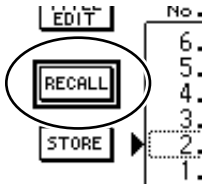
4 パラメーターホイールを回して、リストの中から“ 2.Reverb Room ”を選択します。

ここではルームリバーブのプログラムを選択してみましょう。



5 リスト左側の RECALL ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

内蔵エフェクト 1 に、エフェクトプログラム“ Reverb Room ”が読み込まれます。



> ***ヒント：エフェクトパラメーターをエディットするには、[EFFECT]キーを繰り返し押し、EFFECT 画面の FX1 EDIT ページを呼び出します（→ P.161）。***

6 LAYER セクションの[17-32]キーを押します。

チャンネルモジュールで操作可能なレイヤーとして、インプットチャンネルレイヤー17 ～ 32 が選ばれます。

7 FADER MODE セクションの[AUX1]キーを押して、キーを点灯させます。

[AUX1]～[AUX8]キーが点灯しているとき、フェーダー1 ～ 16 は AUX 1 ～ 8 へのセンドレベルを操作するのに使用します。

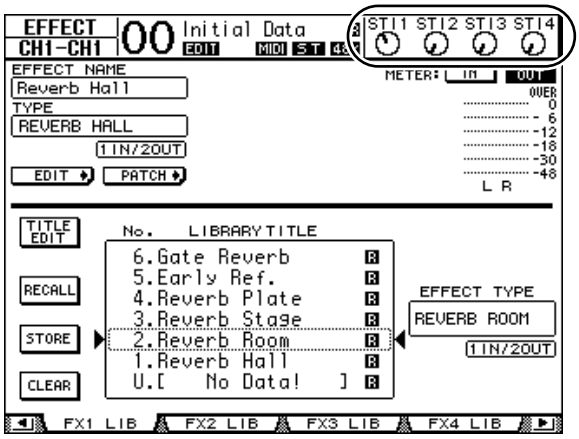
この例では、インプットチャンネル 17 ～ 32 から AUX アウト 1（内蔵エフェクト 1 の入力）に送られる信号のセンドレベルを調節します。

> ***ヒント：フェーダー1 ～ 16 の機能を通常のレベル操作に戻すには、FADER MODE セクションの[HOME]キーを押します。***

8 デジタル MTR を先頭から再生しながら、フェーダー1 ～ 16 を使って各インプットチャンネルからエフェクト 1 に送られる信号のセンドレベルを調節します。

9 エフェクトのリターンレベルを調節するには、トップパネル上にある ST IN セクションの左側のレベルコントロールを調節します。

レベルコントロールの現在の値は、画面右上で確認できます。



マスターレコーダーに録音する

01V96を使ってミックスしたステレオの信号をマスターレコーダーに録音します。

1 マスターレコーダーの録音を開始し、続いてデジタルMTRの再生を開始します。

録音中は、ディスプレイ右側のステレオメーターを監視しながら、ステレオアウトの出力レベルがクリップしないかどうかを監視してください。

2 楽曲の最後まで再生したら、マスターレコーダー→デジタルMTRの順に停止します。

3 ST INセクションで、ST INチャンネル2に対応する[ON]キーをオン（LEDが点灯した状態）に設定します。

4 マスターレコーダーを再生します。

2TR IN DIGITAL端子から入力されるマスターレコーダーの再生音が、ST INチャンネル2を経由してステレオバスへと送られます。

> ***ノート：民生機のDATレコーダーやMDレコーダーは、再生時には外部ワードクロックに同期できない（ワードクロックスレーブになれない）機種がほとんどです。このようなタイプのマスターレコーダーを2TR IN DIGITAL端子経由で再生するときは、DIO/SETUP画面のWORD CLOCKページで、ワードクロックソースを“2TRD”（2TR IN DIGITAL）に切り替えてください。***

マスターレコーダーの再生が終わったら、ST INチャンネル2に対応する[ON]キーをオフに戻します。

> ***ヒント：必要ならば、現在のミックス内容をシーンとしてメモリーにストアできます（→P.165）。***

第 6 章 アナログ／デジタル入出力

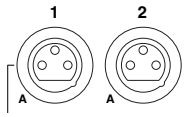
この章では、アナログ／デジタル入出力の仕様、およびデジタル入出力の基本操作について説明します。

アナログ入出力の仕様

インプット

01V96 のトップパネルには、ラインレベル機器やマイクロフォンを接続する入力端子が搭載されています。

- **INPUT 端子 A 1 ～ 12**



ラインレベル機器やマイクロフォンの信号を入力するバランス XLR-3-31 タイプの入力端子です。定格入力レベルは－ 60dB ～＋ 4dB です。

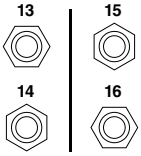
リアパネルのファンタム＋ 48V スイッチをオンにすると、ファンタム電源を供給します。

- **INPUT 端子 B 1 ～ 12**

ラインレベル機器やマイクロフォンの信号を入力するバランスの TRS フォーン入力端子です。定格入力レベルは－ 60dB ～＋ 4dB です。

同じ番号の INPUT 端子は、A/B どちらか一方の端子だけが利用できます。両方の端子にケーブルを接続した場合は、INPUT 端子 B からの入力信号が有効になります。

- **INPUT 端子 13 ～ 16**



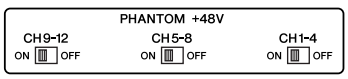
ラインレベルの信号を入力できるバランス TRS フォーンタイプの入力端子です。なお、AD15/16 ソース選択スイッチが押し込まれているときは、INPUT 端子 15/16 が無効となり、2TR IN 端子の入力信号が AD インプット 15/16 に送られます。

> ***ヒント：INPUT 端子から入力された信号は、任意のインプットチャンネルにパッチできます（インプットチャンネルに入力信号をパッチする方法は→ P.123）。***

- **INSERT I/O 端子**

TRS フォーンタイプのインサート端子です。AD インプットにエフェクターなどの外部機器を挿入するときに利用します。

- **ファンタム電源**

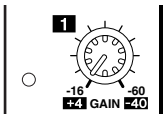


INPUT 端子 1 ～ 12 には、コンデンサーマイクやダイレクトボックスに電源を供給する＋ 48V のファンタム電源が搭載されています。リアパネルのファンタム＋ 48V スイッチをオンにすると、ファンタム電源を供給します。

- **パッド**

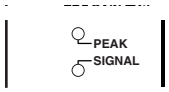
INPUT 端子 1 ～ 12 には、入力信号のレベルを 20dB 減衰させる [PAD] スイッチが装備されています。この [PAD] スイッチは、INPUT 端子 A/B どちらの信号に対しても有効です。

- **入力感度**



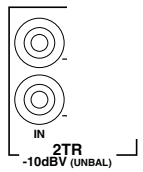
INPUT 端子 1 ～ 16 の入力感度は、[GAIN]コントロールで調節できます。INPUT 端子 1 ～ 12 では、[PAD]スイッチのオン／オフに応じて設定範囲が異なり、－ 16dB ～－ 60dB（[PAD]スイッチ＝オフ）、または＋ 4dB ～－ 40dB（[PAD]スイッチ＝オン）となります。また、INPUT 端子 13 ～ 16 の入力感度は、＋ 4dB ～－ 26dB の範囲で調節できます。

- **[PEAK]/[SIGNAL]インジケーター**



INPUT 端子 1 ～ 16 の入力信号のレベルが－ 34dB を超えると、[SIGNAL]インジケーターが点灯します。また、入力信号がクリッピングポイントの 3dB 手前まで到達すると、[PEAK]インジケーターが点灯します。

- **2TR IN 端子**



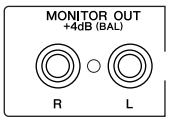
マスターレコーダーなどのラインレベルの信号を入力できるアンバランスの RCA ピン端子です。

AD15/16 ソース選択スイッチが押し込まれているときは、この端子からの入力信号が AD インプット 15/16 に送られます。また、モニターソース選択スイッチが押し込まれているときは、この端子からの入力信号を直接 MONITOR OUT 端子からモニターできます。

アウトプット

01V96 のトップパネル／リアパネルには、モニターシステム、マスターレコーダー、外部エフェクトなどのラインレベル機器を接続する各種出力端子が用意されています。

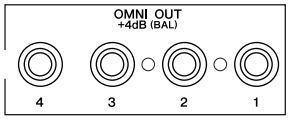
- **MONITOR OUT 端子 L/R**



モニター、または 2TR IN 端子からの入力信号を出力する、バランスの TRS フォーン端子です。定格出力は＋ 4dB です。

この端子から出力される信号は、AD インプットセクションのモニターソース選択スイッチを使って切り替えます。

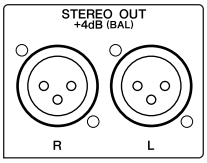
- **OMNI OUT 端子 1 ～ 4**



任意のバスの信号や任意のチャンネルのダイレクト信号を出力するバランス TRS フォーンタイプの出力端子です。定格出力レベルは＋ 4dB です。

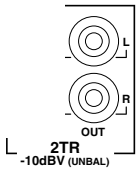
> ***ヒント：OMNI OUT 端子からは、任意の信号経路をパッチして出力できます（OMNI OUT 端子に信号経路をパッチする方法は→ P.126）。***

- **STEREO OUT 端子 L/R**



ステレオアウトチャンネルの信号を出力するバランス XLR-3-32 タイプの出力端子です。定格出力レベルは＋ 4dB です。

- **2TR OUT 端子**



ラインレベル信号をマスターレコーダーなどの外部機器に出力するアンバランスの RCA ピンの端子です。この端子からは、常にステレオアウトと同じ信号が出力されます。

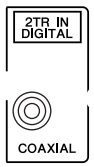
デジタル入出力の仕様

01V96 のリアパネルには、外部機器とデジタル接続するためのデジタル入出力端子が装備されています。これらのデジタル入出力端子には、任意の信号経路をパッチできます。

また、スロットに I/O カードを装着することで、アナログ入出力／デジタル入出力を追加できます。

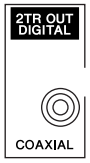
デジタル入出力端子

- **2TR IN DIGITAL 端子**



外部機器から民生フォーマット（IEC-60958）のデジタル信号を入力する RCA ピン端子です。この端子から入力される信号は、任意のインプットチャンネルにパッチできます（→ P.123）。

- **2TR OUT DIGITAL 端子**



民生フォーマット（IEC-60958）のデジタル信号を出力する RCA ピン端子です。この出力端子には、任意のバスやインプットチャンネルのダイレクト出力をパッチできます（→ P.127）。

- **ADAT IN 端子**

ADAT オプティカルフォーマットの 8 チャンネル分の信号を入力する TOSLINK 端子です。この端子から入力される信号は、任意のインプットチャンネルにパッチできます（→ P.123）。

- **ADAT OUT 端子**

ADAT オプティカルフォーマットの 8 チャンネル分の信号を出力する TOSLINK 端子です。この出力端子には、任意のバスやインプットチャンネルのダイレクト出力をパッチできます（→ P.125）。

スロット

オプションの mini-YGDAI（Yamaha General Digital Audio Interface）I/O カードを装着するスロットです。AD/DA カードや各種デジタルフォーマット（AES/EBU、ADAT、Tascam）に対応するデジタル I/O カードが装着できます。

I/O カードから入力された信号は、任意のインプットチャンネル／インサートインにパッチできます（→ P.124）。

また、I/O カードのアウトプットには、任意のバスの出力信号や、インプットチャンネルのダイレクト信号をパッチできます（→ P.127）。

現在使用可能な mini-YGDAI I/O カードは、次のとおりです。

カード	フォーマット	入力	出力	量子化ビット数／サンプリングレート	端子
MY8-AD	アナログ入力	8	—	20 ビット、44.1/48 kHz	フォーン端子（バランス型）× 8
MY8-AD24*1				24 ビット、44.1/48 kHz	
MY4-AD		4			XLR-3-31 タイプ（バランス型）× 4
MY8-AD96		8		24 ビット、44.1/48/88.2/96 kHz	D-sub 25 ピン
MY4-DA	アナログ出力	—	4	20 ビット、44.1/48 kHz	XLR-3-32 タイプ（バランス型）× 4
MY8-DA96			8	24 ビット、44.1/48/88.2/96 kHz	D-sub 25 ピン
MY8-ADDA96	アナログ入出力	8	8		ユーロブロック× 4
MY8-AE*2	AES/EBU I/O	8	8	24 ビット、44.1/48 kHz	D-sub 25 ピン
MY16-AE*2		16	16		
MY8-AEB		8	8		BNC 端子× 8
MY8-AE96		8	8	24 ビット、44.1/48/88.2/96 kHz	D-sub 25 ピン
MY8-AE96S*3					
MY8-AT*2	ADAT I/O	8	8	24 ビット、44.1/48 kHz	オプティカル× 2
MY16-AT*2		16	16		オプティカル× 4
MY8-TD*2	Tascam	8	8		D-sub 25 ピン BNC ワードクロック出力
MY16-TD*2		16	16		D-sub 25 ピン
MY8-mLAN*2	IEEE1394	8	8		6 ピン 1394 端子× 2
MY16-mLAN*2		16	16		
WAVES Y56K	ADAT	8	8	24 ビット、44.1/48 kHz	オプティカル× 2
WAVES Y96K				24 ビット、44.1/48/88.2/96 kHz	

***1. このカードは20ビットのMY8-ADカードに代わるものです。**

***2. ダブルチャンネルモードで24ビット／96kHzをサポートできます。ただし、96kHzのワードクロックが別途必要です。**

***3. サンプリングレートコンバーター搭載以外はMY8-AE96と同じです。**

I/O カードの最新情報は、ヤマハプロフェッショナルオーディオのホームページをご覧ください。

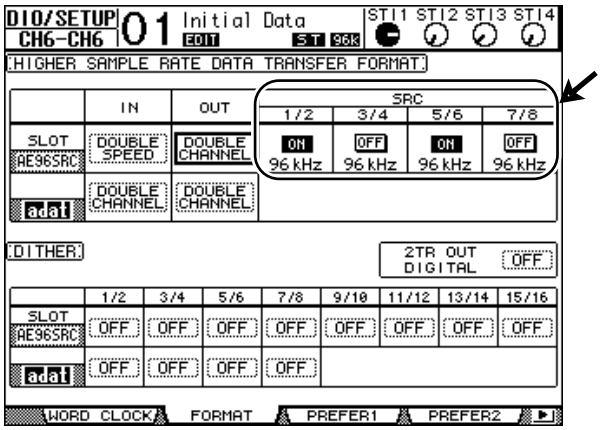
http://proaudio.yamaha.co.jp/

I/O カードからの入力信号のサンプリングレートを変換する

オプションのデジタル I/O カード MY8-AE96S にはサンプリングレートコンバーターが搭載されており、入力信号のサンプリングレートを 01V96 本体に合わせて変換できます。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の FORMAT ページを表示させます。

サンプリングレートコンバーターのオン／オフを切り替えるには、SRC フィールドのボタンを使用します。デジタル I/O カードの場合は、奇数／偶数の順に並んだペアのチャンネル単位でオン／オフを設定できます。



> ***ヒント：01V96 が現在動作しているサンプリングレートは、WORD CLOCK ページの FS フィールドで確認できます。***

> ***ノート：サンプリングレートコンバーターが利用できるデジタル I/O カードは、MY8-AE96S に限られます。その他の I/O カードが装着されているスロット（または何も装着されていないスロット）では、SRC フィールドのボタンは表示されません。***

2 カーソルキーを使って、SRC フィールドにある任意の 2 チャンネルのボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

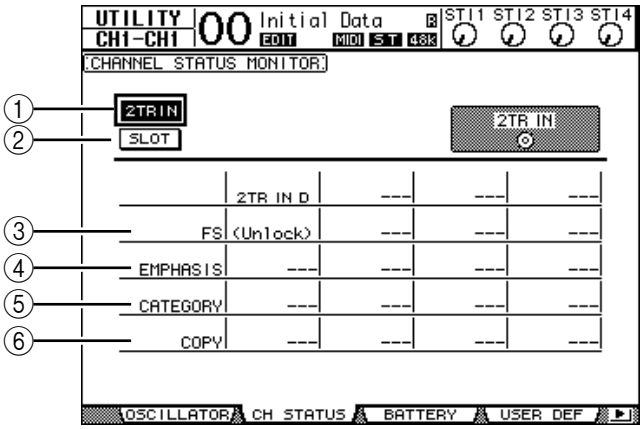
選択した 2 チャンネルのサンプリングレートコンバーターのオン／オフが切り替わります。オンに設定した 2 チャンネルからの入力信号は、サンプリングレートが 01V96 本体に合わせて変換されます。

デジタル入力信号の情報をモニターする

2TR IN DIGITAL 端子やデジタル I/O カードを経由して、入力されるデジタル信号の各種情報（サンプリングレートやエンファシスなど）を一覧表示します。

1　DISPLAY ACCESS セクションの［UTILITY］キーを押し、続いて［F2］キーを押します。

UTILITY 画面の CH STATUS ページが表示されます。



このページでは、次のボタンを使って、信号の情報を表示させたいスロット／端子を選択します。

① **2TR IN**
2TR IN DIGITAL 端子からの入力信号の状態を表示します。

② **SLOT**
スロットに装着されているデジタル I/O カードからの入力信号の情報を、奇数／偶数の順に隣り合った 2 チャンネル単位で表示します。

2　表示させたい端子またはスロットに相当するボタンにカーソルを合わせ、［ENTER］キーを押します。

該当する端子の各種情報が表示されます。ただし、AES/EBU フォーマット以外の mini-YGDAI I/O カードが装着されている場合、各種情報はグレー表示になります。

各項目の内容は次のとおりです。

③ **FS フィールド**
サンプリングレートを表示します。信号が入力されていないときや、ワードクロックが同期していない場合は“ Unlock ”と表示されます。

④ **EMPHASIS フィールド**
エンファシスのオン／オフ状態を表示します。

⑤ **CATEGORY フィールド**
IEC958Part2（S/PDIF-Consumer）フォーマットに含まれる“ カテゴリーコードビット ”の状態を表示します。

表示内容は次のとおりです。

表示	内容
General	ゼネラル。一時的に使用
Laser Optical	レーザー光学機器
D/D Conv	デジタルーデジタル変換機および信号処理装置
Magnetic	磁気テープ機器および磁気ディスク装置
D.Broadcast	デジタル放送受信
Instruments	楽器、マイクロフォンおよび弦信号を生成するソース
A/D Conv	A/D コンバーター（著作権情報なし）
A/D Conv with(C)	A/D コンバーター（著作権情報あり）
Solid Memory	固体メモリー機器
Experimental	実験機器
Unknown	不明

ノート：カテゴリーコードビットを持たない IEC958 Part3(AES/EBU-Professional) フォーマットの信号をモニターしているときは、Category フィールドに“ AES/EBU ” と表示されます。

⑥ **COPY フィールド**
IEC958Part2（S/PDIF-Consumer）フォーマットに含まれるコピー禁止情報の有無を表示します。“ OK ”と表示される場合はコピー許可、“ Prohibit ”と表示される場合はコピー禁止を表わします。

3 MY16-AE が挿入されている SLOT を選択した場合は、画面右下に表示される [01-08]/[09-16]ボタンを使用して、表示するチャンネルを切り替えます。

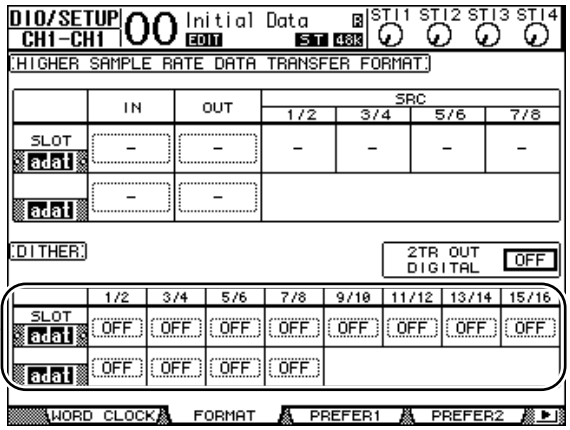
デジタル出力信号のディザー処理

デジタルオーディオ信号を量子化ビットの高い機器から低い機器へと転送するときに、ビットの切り捨てが原因で“量子化ノイズ”と呼ばれる耳障りな雑音が発生することがあります。量子化ノイズによる聴感上の影響を抑えるために、デジタル出力信号に対して若干のノイズ成分を意図的に加えるという方法があります。この処理を“ディザー”と呼びます。

01V96では、デジタル出力端子やデジタルI/Oカードから出力される信号に、ディザー処理を加えることができます。たとえば、01V96のステレオミックスを16ビットのDATレコーダーに録音するときなどに利用します。

1 DISPLAY ACCESSセクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP画面のFORMATページを表示させます。

ディザー処理の設定はディスプレイ下部で行ないます。



2 ディザー処理を行ないたい端子／チャンネルにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って、受信側の量子化ビット数に合わせて数値を選択します。

ノート：
- ***“OFF”を選んだ端子／チャンネルでは、ディザー処理は無効です。***
- ***ディザー処理が有効なのは、受信側のシステムの量子化ビット数が01V96より低いときに限られます。***

*ヒント：**[ENTER]キーを続けて2回押すと、設定した内容をすべてのチャンネルにコピーするかどうかを尋ねるConfirmウィンドウが表示されます。***

ハイサンプリングレートの設定

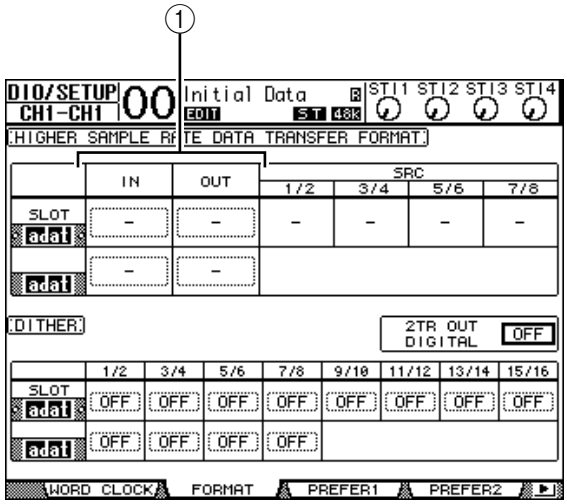
01V96 をハイサンプリングレート（88.2kHz/96kHz）で動作させ、外部機器との間でデジタルオーディオ信号を送受信する場合は、外部機器が対応するサンプリングレートに合わせてデータの転送方法を選択する必要があります。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押し、DIO/SETUP 画面の WORD CLOCK ページを表示させます。

2 ワードクロックソースとして、INT 88.2k または INT 96k を選びます。

> ***ノート：01V96 をハイサンプリングレート（88.2kHz/96kHz）で動作させるときは、2 系統の内蔵エフェクトだけが使用可能となります。***

3 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーをもう一度押して、DIO/SETUP 画面の FORMAT ページを表示させます。



4 カーソルキーを使って IN/OUT フィールド（①）にカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って、データの転送方法を選んでください。

IN/OUT フィールドでは、スロットの入出力ごとに、次の転送方法が選択できます。ただし、01V96 がハイサンプリングレートで動作していなければ、設定を行なうことはできません。

- **DOUBLE CHANNEL（ダブルチャンネル）**

  01V96 の半分のサンプリングレート（44.1/48kHz）の信号を 2 チャンネル分合わせて、ハイサンプリングレートのモノラル信号として入出力します。ハイサンプリングレートで動作する 01V96 と 44.1/48kHz に対応したデジタル MTR/HDR との間で、データを転送するときに利用します。

  > ***ノート：ダブルチャンネルに設定したスロットでは、使用できるチャンネル数は半分になります（偶数チャンネルの入出力は無効です）。***

- **DOUBLE SPEED（ダブルスピード）**

  ハイサンプリングレート（88.2/96kHz）のデジタル信号を入出力します。ハイサンプリングレートに対応した機器との間で、データを転送するときに利用します。

  > ***ノート：この設定が選択できるのは、ダブルスピードでデジタル信号を入出力できるデジタル I/O カード（MY8-AE96、MY8-AE96S など）が装着されているスロットに限ります。***

・ **SINGLE（シングル）**

01V96 がハイサンプリングレートで動作しているときに、半分のサンプリングレート（44.1/48kHz）の信号を送受信する特殊な設定です。たとえば 01V96 を 88.2kHz で動作させているときに、外部の HDR などから 44.1kHz のデジタル信号を取り込みたいときなどに使用します。

ノート：ダブルスピードでデジタル信号を入出力できるデジタル I/O カード（MY8-AE96、MY8-AE96S など）が装着されているスロットでは、この設定は選べません。

ヒント：

・ ***I/O カードが装着されていないスロットや、AD/DA カードなど入出力フォーマットに影響しない I/O カードが搭載されているスロットは、設定値のフィールドに“－”と表示されます。***

第 7 章 インプットチャンネル

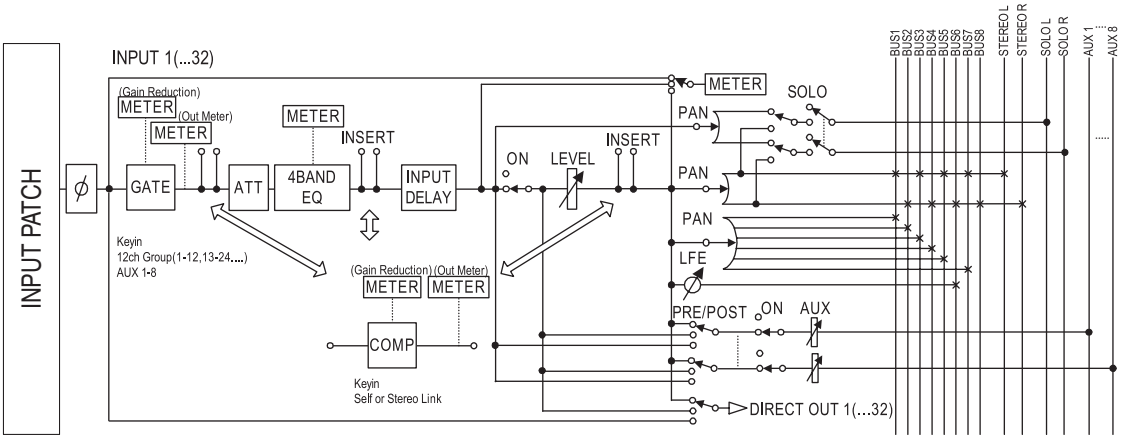
この章では、01V96 のインプットチャンネルの各種パラメーターを調節する方法を説明します。

インプットチャンネルについて

インプットチャンネルは、01V96 に入力された信号（および内蔵エフェクト 1 ～ 4 から出力された信号）の音量や音質を調節し、バス 1 ～ 8、ステレオバス、AUX センド 1 ～ 8 などに送り出すセクションです。インプットチャンネルには、モノラル仕様のインプットチャンネル 1 ～ 32 と、ステレオ仕様の ST IN チャンネル 1 ～ 4 の 2 種類があり、それぞれ利用できる機能が若干異なります。

インプットチャンネル 1 ～ 32

フェイズ、ゲート、コンプレッサー、アッテネーター、EQ などを使って信号を加工できるモノラル入力のチャンネルです。次の図は、インプットチャンネル 1 ～ 32 の信号の流れを表わしたものです。



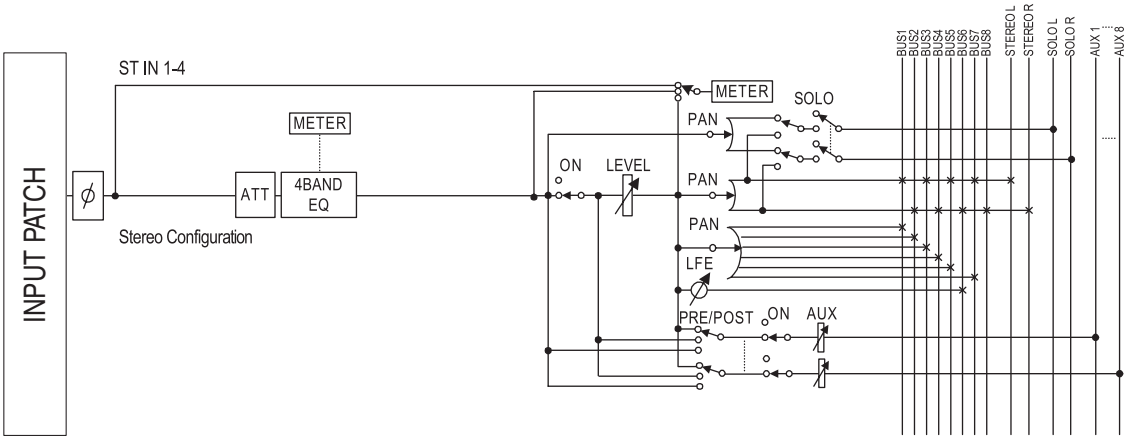
各パラメーターの内容は次のとおりです。

- **φ（フェイズ）**
  入力された信号の位相を切り替えます。
- **GATE（ゲート）**
  ゲートまたはダッキングとして利用できるゲート系ダイナミクスプロセッサーです。
- **COMP（コンプレッサー）**
  コンプレッサー、エキスパンダー、リミッターとして利用できるコンプレッサー系ダイナミクスプロセッサーです。コンプレッサーの挿入位置は、EQ の手前、フェーダーの手前、フェーダーの直後の中から選択できます。
- **ATT（アッテネーター）**
  EQ の入力信号のレベルを減衰／増幅します。EQ 通過後に信号がクリップするのを防いだり、レベルが下がり過ぎるのを補正したりするときに使用します。
- **4 BAND EQ（4 バンドイコライザー）**
  HIGH、HIGH-MID、LOW-MID、LOW の 4 バンドを備えたパラメトリック EQ です。
- **INPUT DELAY（インプットディレイ）**
  入力された信号を遅延させます。チャンネル間のタイミングを微調節するほか、フィードバック付きのディレイエフェクトとしても利用できます。

- **ON(オン／オフ)**
  チャンネルのオン／オフを切り替えます。オフにするとそのチャンネルはミュートされます。
- **LEVEL(レベル)**
  インプットチャンネルの入力レベルを調節します。
- **PAN(パン)**
  インプットチャンネルからステレオバスに送られる信号のパンを調節します。また、ペアに設定された 2 本のバスに対し、パンの設定を適用することも可能です。
- **AUX(AUX センドレベル)**
  AUX センド 1 ～ 8 へのセンドレベルを調節します。AUX センドに送られる信号の送出位置は、プリフェーダー／ポストフェーダーのどちらか一方を選択します。
- **INSERT(インサート)**
  入力信号を入出力端子や I/O カードを通じて外部に取り出したり、内蔵エフェクトを挿入したりします。信号を取り出す入出力端子や I/O カードのチャンネルは、自由にパッチできます(AD インプットの INSERT I/O 端子と混同しないように、ご注意ください)。
- **METER(メーター)**
  METER 画面に表示されるレベルの検出位置を切り替えます(検出位置の選択方法については→ P.34)。

ST IN チャンネル 1 ～ 4

フェイズ、アッテネーター、EQ などを使ってステレオ信号を加工できるステレオチャンネルです。次の図は、ST IN チャンネル 1 ～ 4 の信号の流れを表わしたものです。



ST IN チャンネルには、次のパラメーターが用意されています。

- **φ(フェイズ)**
- **ATT(アッテネーター)**
- **4 BAND EQ(4 バンドイコライザー)**
- **ON(オン／オフ)**
- **LEVEL(レベル)**
- **PAN(パン)**
- **AUX(AUX センドレベル)**
- **METER(メーター)**
  各パラメーターの内容はインプットチャンネルの説明をご参照ください(→ P.79)。

ヒント：上記のチャンネル単位のパラメーターは、設定内容をチャンネルライブラリーにストアできます。また、ゲート、コンプレッサー、EQ のパラメーターは、専用のライブラリーに個別にストアすることも可能です。

画面内の操作でインプットチャンネルを設定する

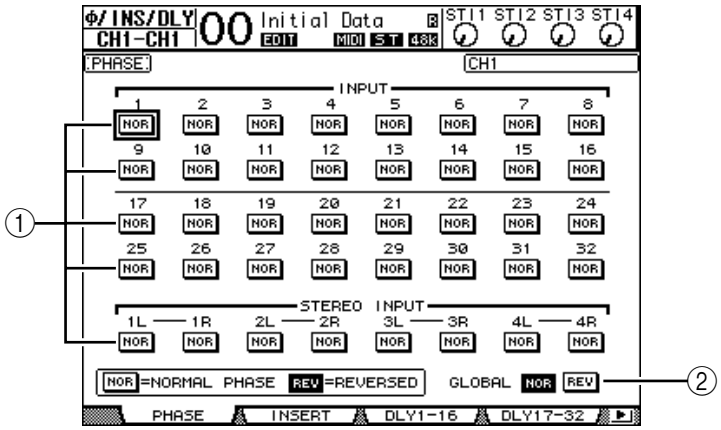
インプットチャンネルのパラメーターを操作するには、画面内で目的のパラメーターにカーソルを合わせて設定値を変更する方法と、トップパネルの操作子を使って主要なパラメーターを直接変更する方法があります。

ここでは、画面内の操作によるパラメーターの設定方法について説明します。

フェイズの設定

インプットチャンネルごとのフェイズを設定するには、[φ/INSERT/DELAY]キーを繰り返し押して、φ/INS/DLY 画面の PHASE ページを表示させます。

このページでは、フェイズを切り替えたいチャンネルの NOR/REV ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キー(または[INC]/[DEC]キー)を押して設定を切り替えます。



① **NOR/REV ボタン**

該当するインプットチャンネルの位相を切り替えます。ボタンの表示が NOR のときは正相、REV のときは逆相となります。

② **GLOBAL フィールド**

NOR ボタン／ REV ボタンを使ってすべてのインプットチャンネルのフェイズの設定を一括して切り替えます。

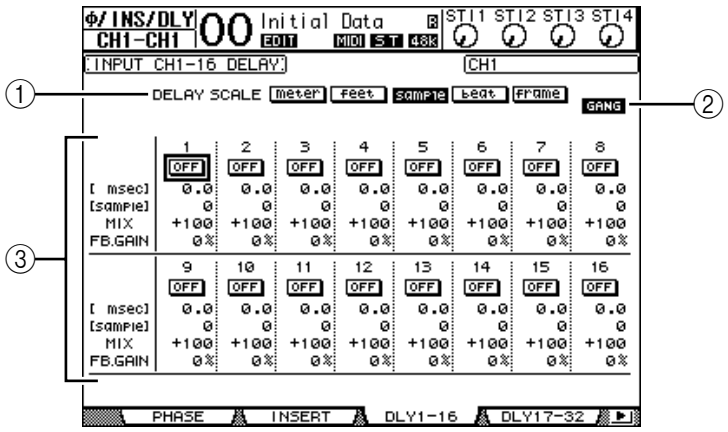
> ***ヒント:***
> - ***ページの右上には、現在選ばれているチャンネルの名前が表示されます。***
> - ***ST IN チャンネル、およびペアに設定されている 2 チャンネルでも、フェイズは個別に設定できます。[SEL]キーを使って ST IN チャンネルを選んだ場合は、同じ[SEL]キーを押すたびに L チャンネルと R チャンネルが切り替わります。***

ディレイの設定

インプットチャンネルごとのディレイを設定するには、[φ/INSERT/DELAY]キーを繰り返し押し、次のページの中から設定したいチャンネルに対応するページを呼び出します。

- **DLY1-16 ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 16 のディレイを設定します。
- **DLY17-32 ページ**
  インプットチャンネル 17 ～ 32 のディレイを設定します。

設定可能なパラメーターとその操作方法は各画面とも共通です。



① **DELAY SCALE フィールド**
各チャンネルの上から 2 行目に表示されるディレイタイムの単位を、次のボタンを使って選択します。

- **meter ボタン**.....メートル単位
- **feet ボタン** .....フィート単位
- **sample ボタン**.....サンプル単位
- **beat ボタン** .....拍単位
- **frame ボタン**.....タイムコードのフレーム単位

② **GANG ボタン**
ペアに設定された 2 チャンネルのディレイタイムの設定を連動させるか(ボタン＝オン)、または個別に設定するか(ボタン＝オフ)を選びます。

③ **チャンネルフィールド**
各チャンネルのディレイパラメーターを設定します。各項目の内容は次のとおりです。

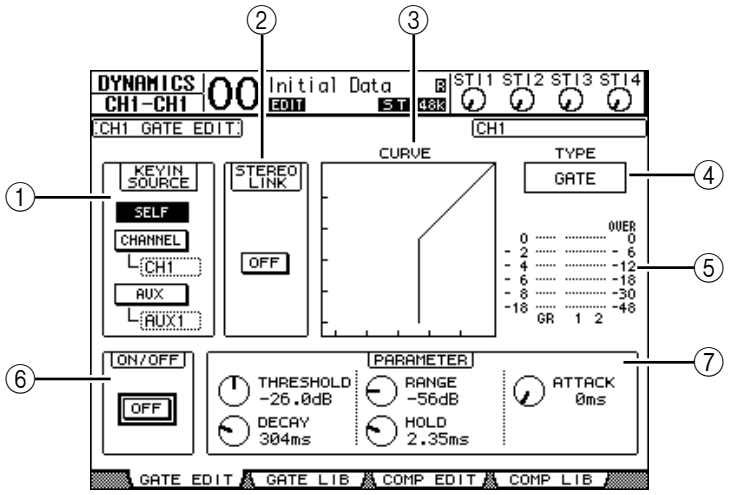
- **ON/OFF ボタン** ..... ディレイのオン／オフを切り替えます。
- **msec** ..... ディレイタイムをミリ秒単位で設定します。
- **meter/feet/sample/beat/frame**..... ディレイタイムをメートル／フィート／サンプル／拍／フレームのいずれかの単位で設定します。設定する単位は、DELAY SCALE フィールドのボタンで選びます。
- **MIX** ..... インプットチャンネルの信号とディレイによって遅らせた信号のミックスバランスを調節します。
- **FB.GAIN**..... ディレイのフィードバック量を調節します。

ヒント：

- ***この機能は、ST IN チャンネルでは利用できません。***
- ***ディレイタイムの可変範囲は、01V96 が動作しているサンプリングレートに応じて変化します（44.1kHz 動作時＝ 0 ～ 984.1mSec）。***
- ***DELAY SCALE フィールドで meter/feet を選んだ場合は、音速（摂氏 15 ℃のときに約 340m/sec）を基準にして、距離をディレイタイムに換算できます。離れた 2 つの音源の時間差を補正したいときに、便利です。***
- ***DELAY SCALE フィールドで beat を選んだ場合は、フィールドの下に拍の基準となる音符を設定するパラメーターボックスと、テンポ（BPM）を設定するパラメーターボックスが表示されます。これらのパラメーターボックスで音符と BPM を指定すれば、楽曲のテンポに合わせてディレイタイムを設定できます。***

ゲートの設定

インプットチャンネルのゲートを設定するには、[SEL]キーでチャンネルを選び、DISPLAY ACCESS セクションの[DYNAMICS]キー→[F1]キーの順にキーを押して、DYNAMICS 画面の GATE EDIT ページを表示させます。



① **KEYIN SOURCE フィールド**

ゲートを作動させるトリガーを次の中から選択します。

- **SELF ボタン**..... そのチャンネルの入力信号をトリガーにします。
- **CHANNEL ボタン**..... 特定チャンネルの入力信号をトリガーにします。チャンネルの選択はボタン下のパラメーターボックスで行ないます。
- **AUX ボタン** ..... AUX センドの信号をトリガーとして利用します。バスの選択はボタン下のパラメーターボックスで行ないます。

② **STEREO LINK フィールド**

ON/OFF ボタンをオンにすると、現在のチャンネルとペアに設定可能なチャンネル同士で、ゲートを連動させます。

③ **CURVE フィールド**

現在のゲートの特性カーブを表示します。

④ **TYPE フィールド**

現在のゲートのタイプ（GATE または DUCKING）を表示します。

ノート：このページでゲートのタイプを切り替えることはできません。別のタイプを利用したいときは、ゲートライブラリーから目的のタイプを使ったプログラムをリコールしてください。

⑤ **メーター**
ゲート通過後の信号レベルとゲインリダクションの量を表示します。

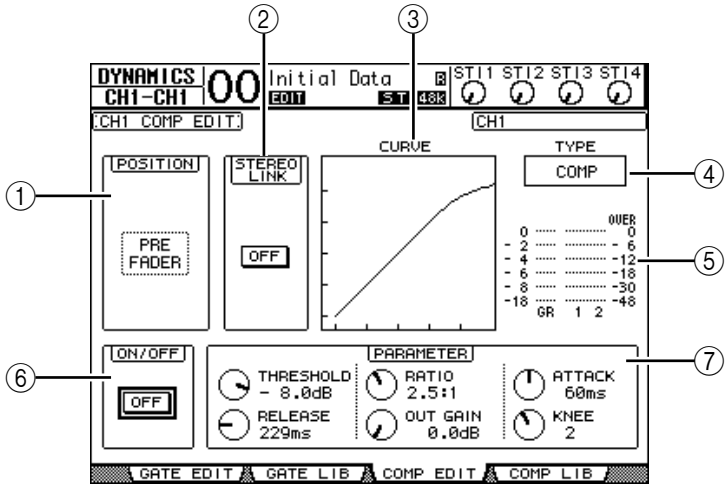
⑥ **ON/OFF フィールド**
ON/OFF ボタンを使ってゲートのオン／オフを切り替えます。

⑦ **PARAMETER フィールド**
ゲートのパラメーターを調節します（パラメーターの詳細は→ P.274）。

ヒント：
- ***この機能は、ST IN チャンネルでは利用できません。***
- ***ゲートの設定はゲートライブラリーに保存できます。ゲートライブラリーには、さまざまな用途に応じたプリセットプログラムが用意されています（→ P.183）。***

コンプレッサーの設定

インプットチャンネルのコンプレッサーを設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの[DYNAMICS]キー→[F3]キーの順にキーを押して DYNAMICS 画面の COMP EDIT ページを表示させます。



① **POSITION フィールド**
パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使ってコンプレッサーの挿入位置を次の中から選択します。

- **PRE EQ** .....イコライザーの直前（初期設定）
- **PRE FADER** ..... フェーダーの直前
- **POST FADER**..... フェーダーの直後

② **STEREO LINK フィールド**
ON/OFF ボタンをオンにすると、現在のチャンネルとペアに設定可能なチャンネル同士で、コンプレッサーの動作を連動させます。

③ **CURVE フィールド**
現在のコンプレッサーの特性カーブを表示します。

④ **TYPE フィールド**
現在選ばれているコンプレッサーのタイプ（COMP/EXPAND/COMP(H)/COMP(S)）を表示します。

ノート： ***このページでコンプレッサーのタイプを切り替えることはできません。別のタイプを利用したいときは、コンプレッサーライブラリーから該当するタイプを使ったプログラムをリコールしてください。***

⑤ **メーター**
コンプレッサー通過後の信号レベルとゲインリダクションの量を表示します。

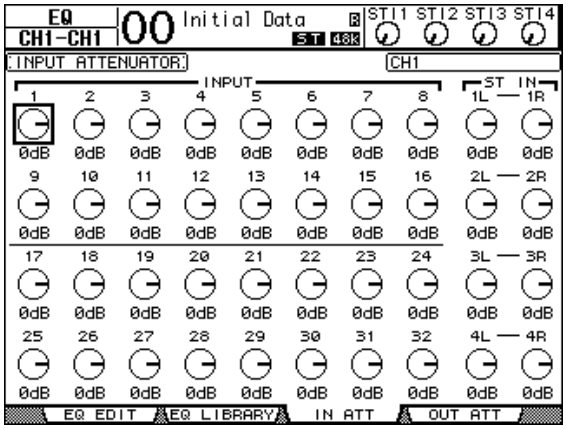
⑥ **ON/OFF フィールド**
ON/OFF ボタンを使ってコンプレッサーのオン／オフを切り替えます。

⑦ **PARAMETER フィールド**
コンプレッサーのパラメーターを個別に調節します(タイプごとのパラメーターの詳細は→ P.275)。

ヒント：
・ この機能は、ST IN チャンネルでは利用できません。
・ コンプレッサーの設定はコンプレッサーライブラリーに保存できます。コンプレッサーライブラリーには、さまざまな用途に応じたプリセットプログラムが用意されています(→ P.185)。

アッテネーターの調節

インプットチャンネルのアッテネーターを調節するには、DISPLAY ACCESS セクションの[EQ]キー→[F3]キーの順にキーを押し、EQ 画面の IN ATT ページを呼び出します。



目的のインプットチャンネルに対応するノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回し、－ 96dB ～＋ 12dB の範囲で、アッテネーターの値を設定します。

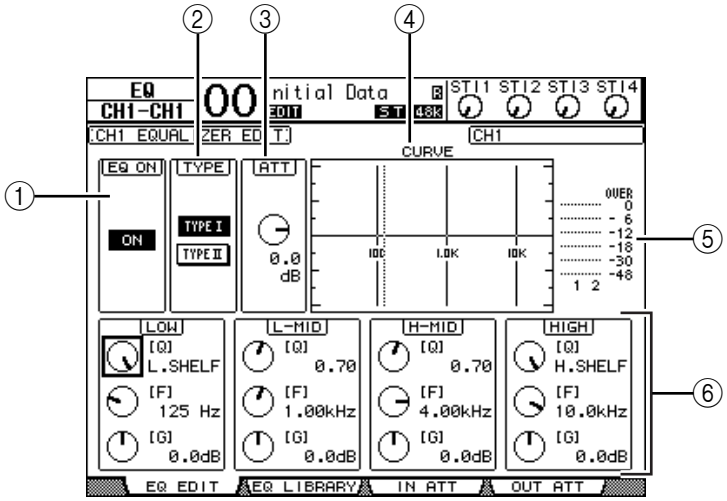
ヒント：現在選ばれているチャンネルのアッテネーターの設定(dB 単位)は、EQ 画面の EQ EDIT ページでも行なえます。

EQ の設定

01V96 の各チャンネルには、LOW/LOW-MID/HIGH-MID/HIGH の 4 バンド EQ が搭載されています。LOW-MID/HIGH-MID の 2 つのバンドはピーキングタイプの EQ として利用できます。また、LOW/HIGH の 2 つのバンドはシェルビングタイプ、ピーキングタイプ、HPF または LPF のいずれかのタイプが選択できます。

1 [SEL]キーを使って、EQ を調節したいチャンネルを選びます。

2 DISPLAY ACCESS セクションの[EQ]キー→[F1]キーの順にキーを押し、EQ 画面の EQ EDIT ページを表示させます。



このページには、次のパラメーターが含まれます。

① **EQ ON フィールド**
ボタンを使って EQ のオン／オフを切り替えます。TYPE フィールド以外にカーソルがあるときは、[ENTER]キーを押すだけで EQ のオン／オフが切り替わります。

② **TYPE フィールド**
EQ のタイプを選択します。TYPE I ボタンをオンにすると従来の 02R シリーズのアルゴリズム、TYPE II ボタンをオンにすると新開発のアルゴリズムが使用できます。

③ **ATT フィールド**
EQ に入力される信号のアッテネーターの値を dB 単位で設定します。EQ 画面の IN ATT ページと同じパラメーターです。

④ **CURVE フィールド**
現在の EQ の特性カーブを表示します。

⑤ **メーター**
現在選ばれているインプットチャンネルと、そのチャンネルとペアに設定可能なチャンネルのイコライザー通過後の信号レベルを表示します。

⑥ **LOW/L-MID/H-MID/HIGH フィールド**

バンドごとの Q（特性）、F（周波数）、G（ゲイン）を調節します。各パラメーターの設定範囲は、次のとおりです。

パラメーター	LOW	LOW-MID	HIGH-MID	HIGH
Q	HPF、10.0 ～ 0.10（41 ステップ）、L.SHELF	10.0 ～ 0.10（41 ステップ）		LPF、10.0 ～ 0.10（41 ステップ）、H.SHELF
フリーケンシー	21.2Hz ～ 20.0kHz（1/12 オクターブごとに 120 ステップ）			
ゲイン	− 18.0dB ～ +18.0dB（0.1dB ごと）[*1]			

***1. QがHPFまたはLPFに設定されているとき、LOWおよびHIGH GAINコントロールはフィルターのオン／オフコントロールとして機能します。**

ヒント：

- ***LOW フィールドの Q パラメーターで HPF を選んだときは、LOW バンド EQ がハイパスフィルターとして動作します。また L.SHELF を選んだときは、シェルビングタイプの EQ として動作します。***
- ***HIGH フィールドの Q パラメーターで LPF を選んだときは、HIGH バンド EQ がローパスフィルターとして動作します。また H.SHELF を選んだときは、シェルビングタイプの EQ として動作します。***

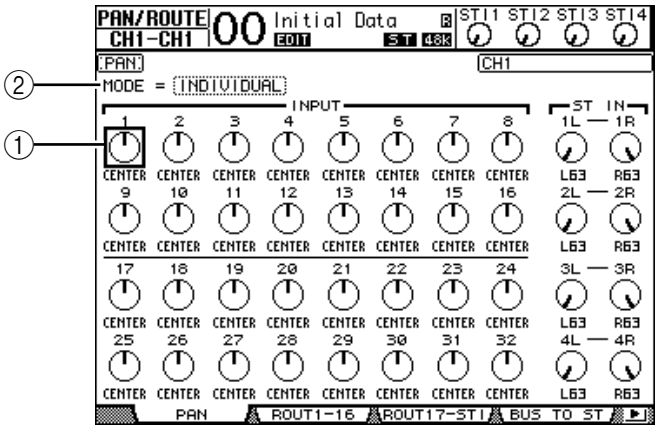
3 操作したいパラメーターにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回して設定値を変更します。

ヒント：

- ***ST IN チャンネルの EQ は、L/R の設定が連動します。***
- ***SELECTED CHANNEL セクションの操作子を使えば、操作する帯域を選び、Q（特性）、F（周波数）、G（ゲイン）の各パラメーターのノブを使って直接操作できます（→ P.94）***
- ***EQ の設定は EQ ライブラリーに保存できます。EQ ライブラリーには、さまざまな用途に応じたプリセットプログラムが用意されています（→ P.273）。***

パンの設定

各インプットチャンネルのパンを L63 ～ CENTER ～ R63 の範囲で調節できます。インプットチャンネルのパンを設定するには、[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押して、PAN/ROUTE 画面の PAN ページを呼び出します。



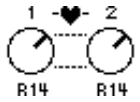
設定したいチャンネルのパンノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回してパンの値を調節します。

① **パンノブ**
各チャンネルのパンの値を調節します。
[ENTER]キーを押すと、パンの値が CENTER に設定されます。

② **MODE フィールド**
チャンネルをペアにしていたときのパンの動作を選択します。選択可能な設定は次のとおりです。

- **INDIVIDUAL(インディビデュアル)**... 2 つのチャンネルのパンを個別に動作させます。

- **GANG(ギャング)** ..... 2 つのチャンネルのパンを現在の広がりを保ったまま連動させます。



- **INV GANG(インバースギャング)**..... 2 つのチャンネルのパンを逆方向に連動させます。

ヒント:
- ***ST IN チャンネルのパンは、L/R 独立して設定できます。***
- ***SELECTED CHANNEL セクションの PAN コントロールを回して、インプットチャンネルのパンを設定することも可能です。***
- ***01V96 のサラウンドモードを STEREO 以外に切り替えたときは、サラウンドパンが利用できます。サラウンドパンについては、第 12 章をご参照ください。***

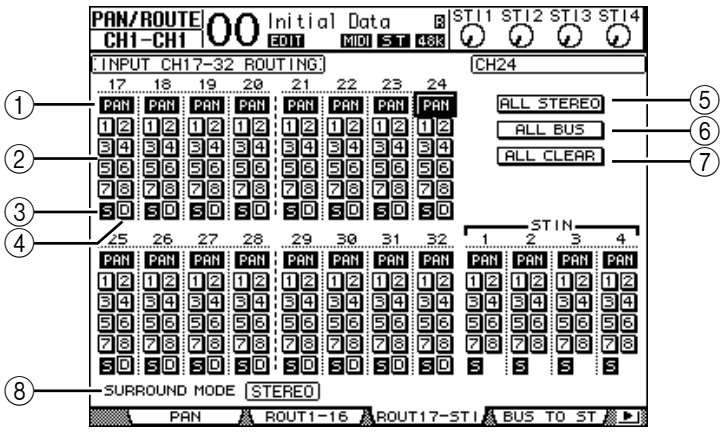
ルーティングを変更する

インプットチャンネルの送り先を、ステレオバス、バス 1 ～ 8、ダイレクトアウトの中から選択します。初期状態ではステレオバスにのみ信号が送られていますが、必要に応じて単一または複数の送り先を選択できます。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押し、次のページの中から設定したいチャンネルに対応するページを呼び出します。

- **ROUT1-16 ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 16 のルーティングを設定します。
- **ROUT17-STI ページ**
  インプットチャンネル 17 ～ 32 と ST IN チャンネル 1 ～ 4 のルーティングを設定します。

調節可能なパラメーターとその操作方法は各画面とも共通です。



① PAN ボタン
そのチャンネルのパンの設定をバスアウトに適用するかどうかを設定します。サラウンドモードの場合は、サラウンドパンの設定をバスアウトに適用するかどうかも設定します。

② バスボタン 1 ～ 8
インプットチャンネルの信号を送るバスを選択します。なお、01V96 をサラウンドモードで利用しているときは、サラウンドのモードに応じてボタン表示が次のように変わります。

バスボタン	1	2	3	4	5	6	7	8
サラウンドモード＝ 3-1	L	R	C	S	5	6	7	8
サラウンドモード＝ 5.1	L	R	Ls	Rs	C	E	7	8
サラウンドモード＝ 6.1	L	R	Ls	Rs	C	Bs	E	8

L=Left, R=Right, C=Center, S=Surround, Ls=Left Surround
Rs=Right Surround, E=Low Frequency Effect, Bs=Back Surround
この表は、01V96 が初期状態のときの割り当て例を示したものです。DIO/SETUP 画面の SURROUND BUS SETUP ページの設定によっては、この表と異なる場合もあります。

③ S ボタン
このボタンをオンにすると、インプットチャンネルの信号がステレオバスに送られます。

④ D ボタン
このボタンをオンにすると、インプットチャンネルの信号が、ダイレクト出力先として指定した信号経路に送られます。ダイレクトアウトについての詳しい説明は P.127 をご参照ください。

⑤ **ALL STEREO ボタン**
現在ページに表示されているすべてのチャンネルの S ボタンをオンにします。

⑥ **ALL BUS ボタン**
現在ページに表示されているすべてのチャンネルのバスボタン 1 ～ 8 をオンにします。

⑦ **ALL CLEAR ボタン**
現在ページに表示されているすべてのチャンネルのルーティングをすべて解除します。

⑧ **SURROUND MODE フィールド**
現在設定されているサラウンドモードを表示します。

ヒント：ST IN チャンネルのルーティングは、L/R の設定が連動します。また、ST IN チャンネルでは D ボタンは利用できません。

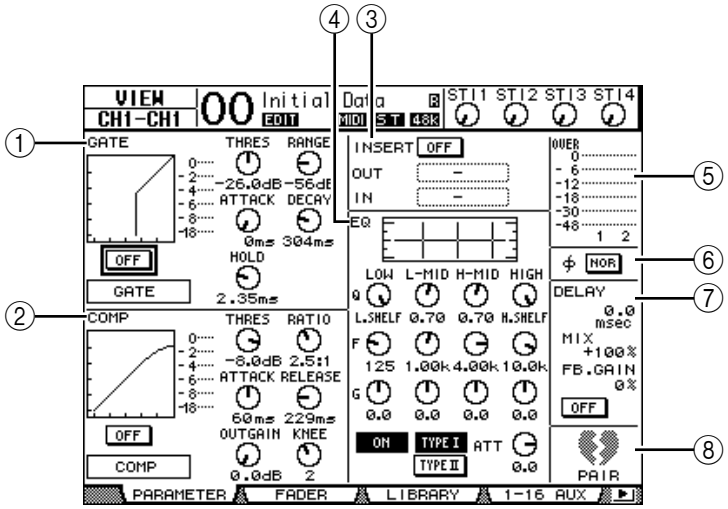
特定チャンネルのパラメーターを一覧表示させる

VIEW 画面の PARAMETER ページや FADER ページを使えば、現在選ばれているインプットチャンネルのパラメーターを一覧しながら、パラメーターの値を調節できます。

■ ゲート／コンプレッサー／ EQ を一覧表示させる

[SEL]キーを使ってインプットチャンネルを選んだ後で、DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キーを繰り返し押し、VIEW 画面の PARAMETER ページを表示させます。

ページに表示される各パラメーターにカーソルを合わせると、パラメーターホイール(または[INC]/[DEC]キー、[ENTER]キー)を使ってパラメーターを設定できます。



パラメーターの内容は次のとおりです(* 印のパラメーターは、ST IN チャンネルでは利用できません)。

① **GATE フィールド(*)**
ゲート系ダイナミクスプロセッサーのオン／オフ切り替えと、パラメーター設定を行ないます(詳しい説明は→ P.83)。

② **COMP フィールド(*)**
コンプレッサー系ダイナミクスプロセッサーのオン／オフ切り替えと、パラメーター設定を行ないます(詳しい説明は→ P.84)。

③ **INSERT フィールド(*)**
インサートのオン／オフ切り替えとインサートイン／アウトのパッチ設定を行ないます(詳しい説明は→ P.129)。

④ **EQ フィールド**
EQ の各種パラメーターを設定します（詳しい説明は→ P.86）。

⑤ **メーター**
選択したインプットチャンネルと、そのチャンネルとペアに設定可能なチャンネルの信号レベルを表示します。

⑥ **φ フィールド**
フェイズの設定を切り替えます（詳しい説明は→ P.81）。

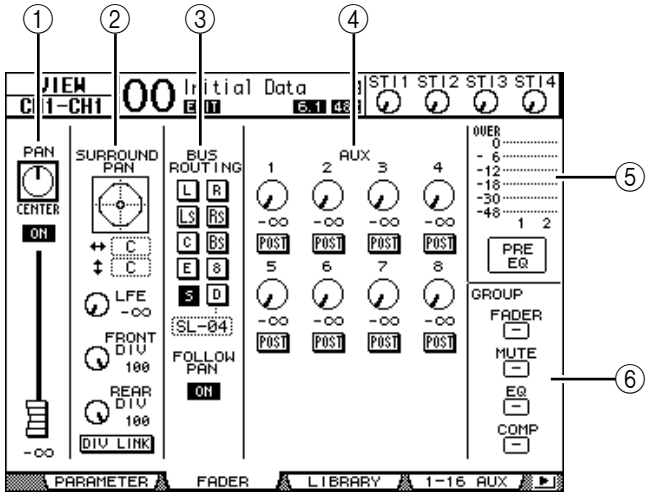
⑦ **DELAY フィールド(*)**
ディレイの各種パラメーターを設定します（詳しい説明は→ P.82）。

⑧ **PAIR フィールド (*)**
ペアのオン／オフを設定します。ペアをオンにすると♥マーク、ペアをオフにすると💔マークが表示されます（詳しい説明は→ P.95）。

■ パン／フェーダー／ AUX センドレベルを一覧する

[SEL]キーを使ってインプットチャンネルを選んだ後で、DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キーを繰り返し押し、VIEW 画面の FADER ページを表示させます。

ページに表示される各パラメーターにカーソルを合わせると、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使ってパラメーターを設定します。



① **PAN/ON/FADER フィールド**

- **PAN ノブ**..... パンの値を設定します。
  [ENTER]キーを押すと、パンの値が CENTER に設定されます。
- **ON/OFF ボタン** ..... インプットチャンネルのオン／オフを切り替えます。
- **フェーダー**..... インプットチャンネルの入力レベルの値を設定します。フェーダーの値が 0dB のときは、フェーダーマークが黒く表示されます。[ENTER]キーを押すと、フェーダーの値が 0dB に設定されます。

② **SURROUND PAN フィールド**

- **SURROUND PAN**..... サラウンドパンの設定値が表示されます（サラウンドパン利用時のみ）。サラウンドパンについての詳しい説明は、P.137 をご参照ください。

③ **BUS ROUTING/FOLLOW PAN フィールド**

- **BUS ROUTING**.....選択したチャンネルの送り先となるバスを選択します。D（ダイレクト）ボタンをオンにすると、ボタン下のパラメーターボックスで選ばれた端子にダイレクト出力されます（ST IN チャンネルでは、D ボタンは利用できません）。
- **FOLLOW PAN**.....ペアに設定された 2 本のバスへ出力するときに、パンの設定を有効にするかどうかを設定します（フォローパン機能）。ボタンをオフにするとフォローパンが無効になり、2 本のバスに同じ信号が送られます。サラウンドモードの場合は、サラウンドパンの設定をバスアウトに適用するかどうかも設定します。

④ **AUX フィールド**

- **AUX**.....選択したチャンネルから AUX1 ～ 8 へのセンドレベル、および AUX センドの送出位置を設定します（AUX センドの詳しい説明は→ P.111）。

⑤ **メーターフィールド**

- **メーター** .....選択したチャンネルのレベルを表示します。
- **PRE EQ/PRE FADER/ POST FADER**.....現在メーターに表示されているレベルの検出位置を表示します。

⑥ **GROUP フィールド**

- **FADER/MUTE/EQ/ COMP** .....選択したチャンネルがフェーダー、ミュート、EQ、コンプレッサーの各グループに所属しているかどうかを表示します。グループに属しているときはグループ番号、属していないときは“ — ”と表示されます（ST IN チャンネルでは、コンプレッサーが利用できません）。

パネル上の操作子でインプットチャンネルを設定する

トップパネルのフェーダー、[SEL] キー、SELECTED CHANNEL セクションの各種キー／コントロールを使えば、インプットチャンネルの主要パラメーターを直接操作できます。

入力レベル／パンの設定

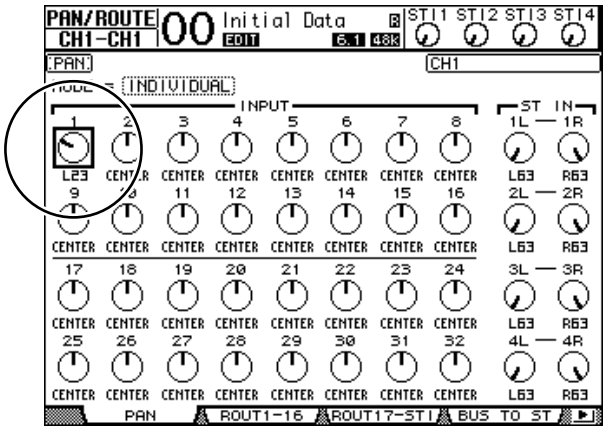
1 インプットチャンネル 1 ～ 32 の入力レベル／パンを調節するには、LAYER セクションの [1-16]/[17-32] キーを使ってレイヤーを選びます。

2 入力レベル／パンを調節したいチャンネルの [SEL] キーを押してチャンネルを選択します。

3 入力レベルを設定するには、目的のチャンネルのフェーダーを操作します。

4 パンを設定するには、SELECTED CHANNEL セクションの [PAN] コントロールを回します。

[PAN] コントロールを回すと、自動的に PAN/ROUTE 画面の PAN ページが表示されます。



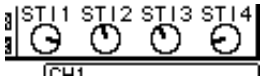
5 ST IN チャンネル 1 ～ 4 の入力レベル／パンを調節するには、ST IN セクションの [ST IN] キーを使って、操作対象となるチャンネルを選択します。

現在 ST IN セクションのキーやコントロールを使って操作が行なえるチャンネルは、[ST IN] キーの横にあるインジケーターで確認できます。

6 入力レベル／パンを調節したいチャンネルの [SEL] キーを押してチャンネルを選択します。

7 入力レベルを設定するには、目的のチャンネルのレベルコントロールを回します。

現在のチャンネルレベルは、ディスプレイ上部に常に表示されます。



8 パンを設定するには、SELECTED CHANNEL セクションの [PAN] コントロールを回します。

ST IN の片方のチャンネル（L または R）のパンが変化します。パンを調節する L/R チャンネルを切り替えるには、同じ [SEL] キーを繰り返し押します（現在操作しているチャンネルは、ディスプレイ左上の表示で確認できます）。

EQ の設定

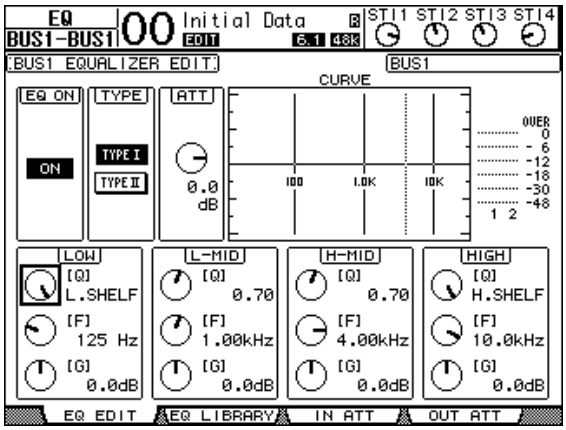
1 [SEL]キーまたはフェーダーを使って調節したいチャンネルを選びます。

2 選択したチャンネルの EQ を設定するには、SELECTED CHANNEL セクションの次のキーの中からいずれか 1 つを押して、操作したい帯域を選びます。

- **[HIGH]キー**.....ハイバンド
- **[H-MID]キー** .....ハイミッドバンド
- **[L-MID]キー**.....ローミッドバンド
- **[LOW]キー**.....ローバンド

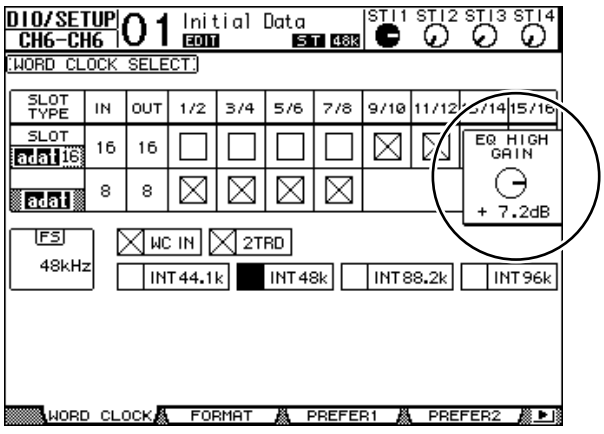
3 SELECTED CHANNEL セクションの[Q]コントロール、[FREQUENCY]コントロール、[GAIN]コントロールを使って、手順 2 で選んだ帯域の特性／周波数／ゲインを調節します。

Auto EQUALIZER Display (→ P.231) がオンの場合は EQ 画面の EQ EDIT ページが表示されます。



オフの場合は、ディスプレイには、現在調節しているパラメーターの値がポップアップ表示されます。

EQ の詳しい説明については P.86 をご参照ください。



ヒント：

- ***手順 2 で選択したキーを押し続けると、そのキーに対応する帯域のゲインをリセットできます。***
- ***SELECTED CHANNEL セクションの[HIGH]キーと[LOW]キーを同時に押すと、すべての帯域の Q、フリーケンシー、ゲインを一括してリセットできます。***

2 つのインプットチャンネルをペアにする

01V96 では、奇数／偶数の順に隣り合うインプットチャンネル同士、またはレイヤー1 とレイヤー2 でフェーダーを共有するチャンネル同士をペアに設定できます。ペアに設定された 2 チャンネルでは、フェーダーの動作や主要なパラメーターの値を連動させることができます。ペアに設定された 2 チャンネル間で連動するパラメーター、およびペアに設定されていても独立して操作可能なパラメーターは、次のとおりです。

連動するパラメーター
[SEL]キーの動作
フェーダー
チャンネルのオン／オフ
インサートのオン／オフ
ソロのオン／オフ
ソロセーフ
AUX オン／オフ
AUX センドレベル
AUX プリ／ポストの設定
ゲート
コンプレッサーの設定
EQ の設定
フェーダーグループ
ミュートグループ
フェードタイム
リコールセーフ

独立して設定できるパラメーター
インプットパッチ
インサートパッチ
アウトプットパッチ
コンプレッサーの挿入位置
フェイズ
ディレイのオン／オフ
ディレイタイム *
ディレイフィードバック
ディレイミックス
ルーティング
パン／フォローパン
サラウンドパン
AUX センドのパン
バランス
アッテネーター**

*** φ/INS/DLY画面のDLYページでGANGボタンをオフにすると、独立して設定できます。**

**** EQ画面のATTページでは独立して設定できますが、EQ画面のEQ EDITページやVIEW画面では連動します。**

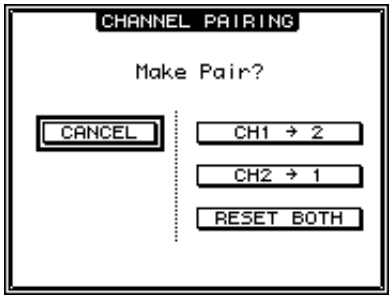
ノート：ST IN チャンネル 1 ～ 4 は他のチャンネルとペアにすることはできません。

ペアの設定／解除を行なうには、トップパネルの[SEL]キーを使う方法と、画面に専用ページを表示させて設定する方法があります。

■ [SEL]キーを使ってペアを設定する

1　ペアにしたい片方のチャンネルの[SEL]キーを押しながら、奇数→偶数の順に隣り合ったチャンネルの[SEL]キーを押します。

2　Pair Confirmation (→ P.231)がオンの場合は CHANNEL PAIRING ポップアップウィンドウが表示されます。



> ***ノート：この操作でペアの設定／解除が行なえるチャンネルは、奇数→偶数の順に隣り合ったチャンネルに限られます。離れたチャンネルの[SEL]キーを同時に押しても何も起こりません。また同じフェーダーを共有するチャンネルのペアの場合、この操作でペアの設定／解除はできません。***

3　ポップアップウィンドウに表示されるボタンのいずれかにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

各ボタンの内容は次のとおりです。

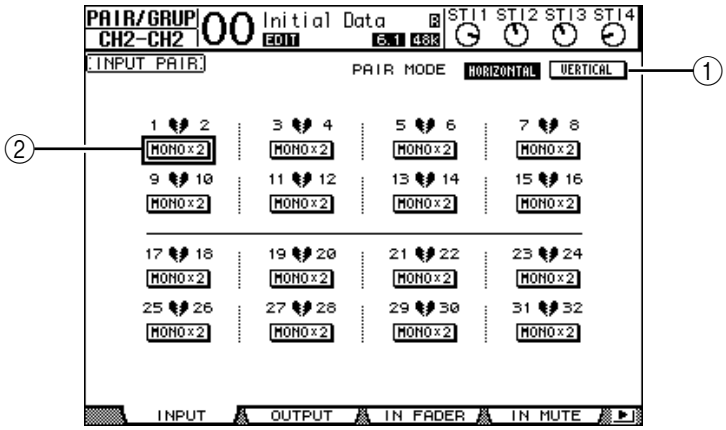
- **CANCEL ボタン**
  操作をキャンセルします。
- **CH x → y ボタン**
  奇数チャンネルのパラメーターを偶数チャンネルにコピーします。
- **CH y → x ボタン**
  偶数チャンネルのパラメーターの値を奇数チャンネルにコピーします。
- **RESET BOTH ボタン**
  各チャンネルを初期状態（チャンネルライブラリー01 をリコールした状態）にリセットします。

ボタンを選んで[ENTER]キーを押すと、ペアが確定します。

> ***ヒント：ペアにした2つのチャンネルの[SEL]キーをもう一度押すと、ペアが解除できます。***

■ 画面上の操作でペアを設定する

1 [PAIR/GROUP]キーを繰り返し押し、PAIR/GRUP 画面の INPUT ページを表示させます。



このページでは、次の要素を設定できます。

① **PAIR MODE フィールド**
ペアとなるチャンネルの組み合わせ方法を選択します。

② **STEREO/MONO × 2 ボタン**
ペアの設定／解除を切り替えます。

2 PAIR MODE フィールド(①)にカーソルを移動し、ペアモードとして HORIZONTAL または VERTICAL を選びます。

それぞれのモードを選んだときの動作は、次のとおりです。

- **HORIZONTAL**..... 隣り合う奇数／偶数チャンネルをペアに設定します(初期設定)。
- **VERTICAL**..... レイヤー1 とレイヤー2 で同じフェーダーを共有する 2 チャンネル(CH1 と CH17、CH16 と CH32 など)をペアにします。1 本のフェーダーを使って、ステレオソースを操作したい場合に便利です。

ペアモードを切り替えると、ページ内に表示されるチャンネル番号の組み合わせが変化します。

> ***ノート：***
> ***・ ペアモードを切り替えても、インプットチャンネルに付けられた番号が変わるだけで、ペアの相手先となるチャンネルのミックスパラメーターは変化しないことに、注意してください。***
> ***・ たとえばペアモードを HORIZONTAL から VERTICAL に切り替えた場合、それまで"インプットチャンネル 2 "と呼ばれていたチャンネルの呼び名が" インプットチャンネル 17 "に変わりますが、パラメーターは変化しません(最初にチャンネル 1 と 2 がペアに設定されていれば、モード切り替え後はチャンネル 1 と 17 がペアに設定された状態となります)。***

3 ペアを設定したいチャンネルの MONO × 2 ボタン(②)にカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

ペアが設定されます。

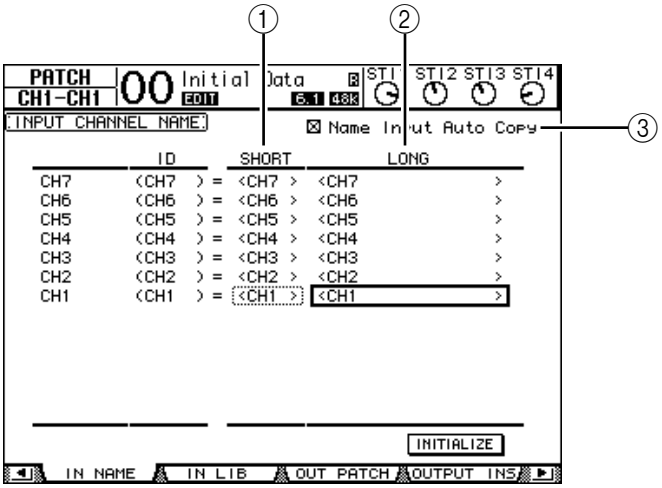
4 ペアを解除したいときは STEREO ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

> ***ヒント：PAIR/GRUP 画面の OUTPUT ページを表示させれば、同様の操作でアウトプットチャンネルのペアの設定／解除が行なえます(→ P.107)。***

インプットチャンネルの名前を変更する

01V96 が初期状態のとき、各画面に表示されるインプットチャンネルには、CH1、CH2... と名前が付けられています。この名前は、必要に応じて変更できます。たとえば、そのインプットチャンネルに入力される楽器名を付けておけば、ミックスのときに便利です。

1　DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH 画面の IN NAME ページを呼び出します。



画面中央のパラメーターボックスでは省略表記（①）、右側のパラメーターボックス（②）ではフルネームが設定できます。

画面右上の Name Input Auto Copy チェックボックス（③）をオンにすると、LONG パラメーターボックスに名前を入力したときに、その先頭の 4 文字が自動的に SHORT 側にコピーされます。逆に SHORT パラメーターボックスに名前を入力したときは、入力された文字が LONG 側の先頭位置にコピーされます。

また、INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押せば、各チャンネルの名前を初期状態に戻せます。

2　名前を変更したいパラメーターボックスにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

名前を入力する TITLE EDIT ポップアップウィンドウが表示されます。

3　名前を入力し、OKボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

[ENTER]キーを押すと、新しい名前が有効になります。

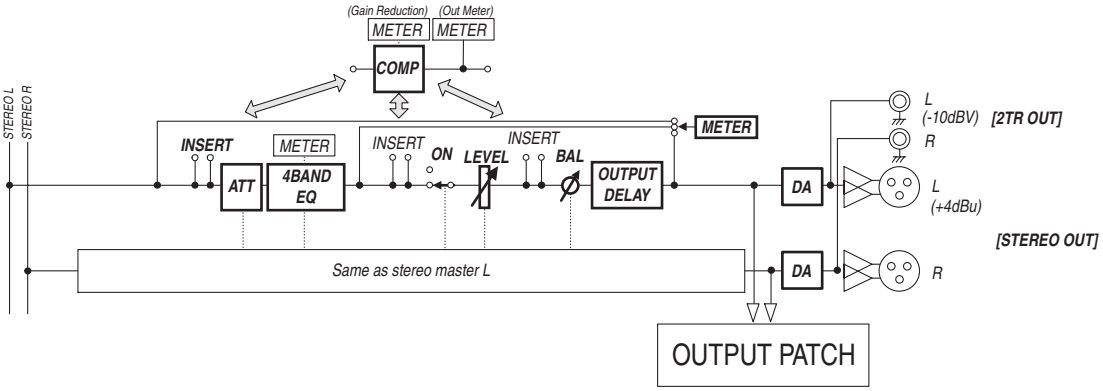
ヒント：変更した名前は、インプットパッチライブラリーに保存されます。

第 8 章 バスアウト

この章では、ステレオアウトやバスアウト 1 ～ 8 の各種パラメーターを調節する方法を説明します。

ステレオアウトについて

ステレオアウトは、インプットチャンネルやバスアウト 1 ～ 8 から送られてきた信号を 2 チャンネルにミックスし、専用の EQ やコンプレッサーで加工して、STEREO OUT 端子や 2TR OUT 端子へと送り出すセクションです。次の図は、ステレオアウトの信号の流れを表わしたものです。



- **INSERT（インサート）**
  ステレオアウトの信号を入出力端子や I/O カードを通じて外部に取り出したり、内蔵エフェクトを挿入したりします。
- **ATT（アッテネーター）**
  EQ の入力信号のレベルを減衰／増幅します。EQ 通過後に信号がクリップするのを防いだり、レベルが下がり過ぎるのを補正したりするときに使用します。
- **4BAND EQ（4 バンドイコライザー）**
  HIGH、HIGH-MID、LOW-MID、LOW の 4 バンドを備えたパラメトリック EQ です。
- **COMP（コンプレッサー）**
  コンプレッサー、エキスパンダー、リミッターとして利用できるコンプレッサー系ダイナミクスプロセッサーです。コンプレッサーの挿入位置は、EQ の手前、［STEREO］フェーダーの手前、［STEREO］フェーダーの直後の中から選択できます。
- **ON（オン／オフ）**
  ステレオアウトのオン／オフを切り替えます。
- **LEVEL（レベル）**
  ステレオアウトの出力レベルを［STEREO］フェーダーで調節します。
- **BAL（バランス）**
  ステレオアウトの L/R チャンネル間の音量バランスを調節します。
- **OUTPUT DELAY（アウトプットディレイ）**
  出力される信号を遅延させます。主に信号のタイミングを微調節するのに利用します。

- **METER(メーター)**

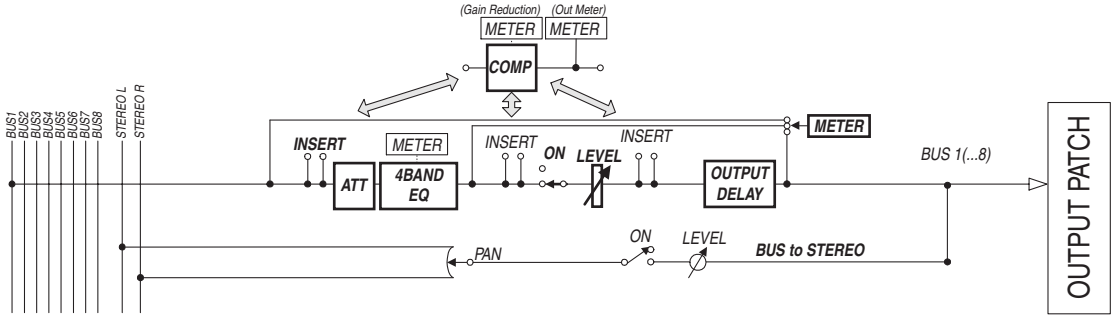
  METER 画面や、LCD 画面右側のステレオメーターに表示されるレベルの検出位置を切り替えます(検出位置の選択方法については→ P.34)。

> ***ノート：PATCH 画面の OUT PATCH ページでパッチを変更すれば、STEREO OUT 端子以外の出力端子や I/O カードからステレオアウトの信号を出力することも可能です。***

バスアウト 1 ～ 8 について

バスアウト 1 ～ 8 は、それぞれのインプットチャンネルから該当するバスに送られた信号をミックスし、専用の EQ やコンプレッサーで加工して、任意の出力端子や I/O カードへと送出するためのセクションです。

次の図は、バスアウトの信号の流れを表わしたものです。



- **INSERT(インサート)**
- **ATT(アッテネーター)**
- **4BAND EQ(4 バンドイコライザー)**
- **COMP(コンプレッサー)**
- **ON(オン／オフ)**
- **LEVEL(レベル)**
- **OUTPUT DELAY(アウトプットディレイ)**
- **METER(メーター)**

  上記のパラメーターの内容は、ステレオアウトと共通です。ステレオアウトの説明をご参照ください(→ P.99)。

- **BUS to STEREO(バス・トゥ・ステレオ)**

  バスアウト 1 ～ 8 の信号をステレオバスに送ります。上記の ON パラメーターや LEVEL パラメーターとは独立して、センドレベル、オン／オフ、パンなどのパラメーターを設定できます。

> ***ヒント：***
> - ***奇数→偶数の順に隣り合ったバスをペアに設定し、ステレオのバスとして利用することも可能です(→ P.107)。***
> - ***01V96 が初期状態のとき、スロットのチャンネル 1 ～ 8、9 ～ 16 や ADAT OUT 端子のチャンネル 1 ～ 8 に対して、それぞれバスアウト 1 ～ 8 の出力がパッチされています。ただし、このパッチ内容は、PATCH 画面の OUT PATCH ページで変更できます(→ P.125)。***

画面内の操作でステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 を設定する

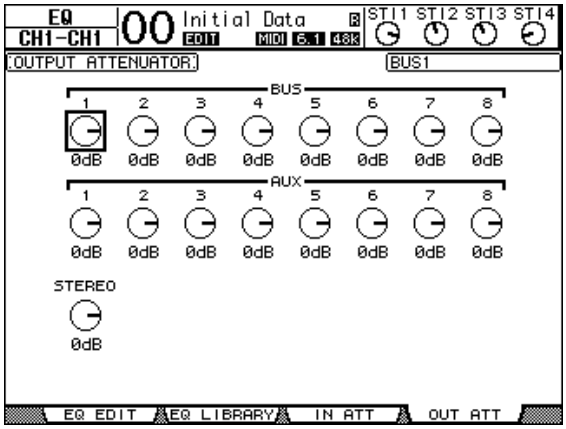
ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 のパラメーターを操作するには、画面内で目的のパラメーターにカーソルを合わせて設定値を変更する方法と、トップパネルの操作子を使って一部のパラメーターを直接変更する方法があります。

ここでは、画面内の操作によるパラメーターの設定方法について説明します。

> ***ヒント：インサートの操作方法は、第 10 章「インプットパッチ／アウトプットパッチ」(→ P.123)で説明しています。***

アッテネーターの調節

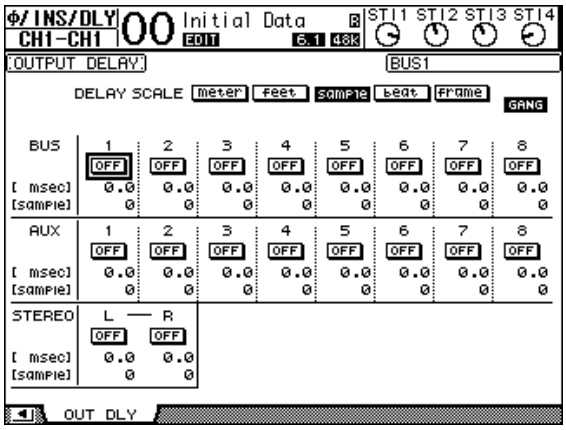
ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 のアッテネーターを設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの[EQ]キー→[F4]キーの順にキーを押して EQ 画面の OUT ATT ページを表示させます。このページではバスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8、ステレオアウトのアッテネーターを調節できます。



パラメーターの内容や設定方法はインプットチャンネルと共通です（→ P.85）。

ディレイの設定

ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 のディレイを設定するには、[φ/INSERT/DELAY]キーを繰り返し押して、φ/INS/DLY 画面の OUT DLY ページを表示させます。

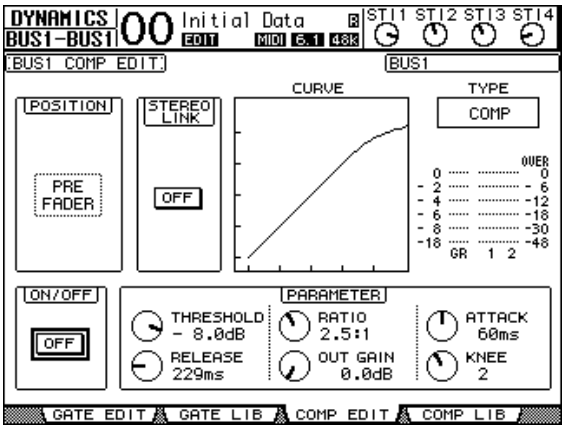


パラメーターの内容や設定方法は、MIX/FB.GAIN パラメーターがない点を除けば、インプットチャンネルと共通です（→ P.82）。

> ***ヒント：[φ/INSERT/DELAY]キーを 1 回押した後で、[SEL]キーを使ってステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 のいずれかを選択しても、OUT DLY ページが呼び出されます。***

コンプレッサーの設定

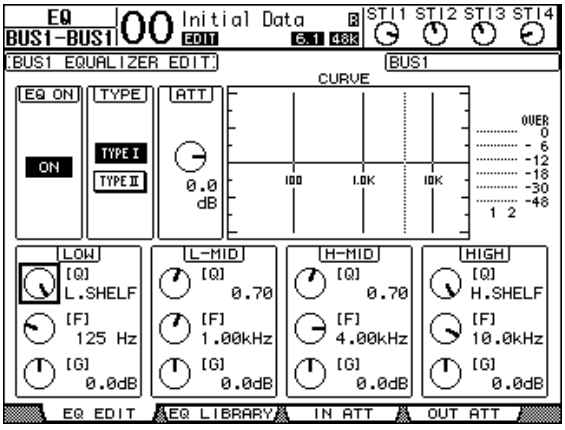
ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 のコンプレッサーを設定するには、[DYNAMICS]キー→[F3]キーの順にキーを押して DYNAMICS 画面の COMP EDIT ページを表示させ、[SEL]キーを使ってステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 のいずれかを選択します。



パラメーターの内容や設定方法は、インプットチャンネルと共通です(→ P.84)。

EQ の設定

ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 の EQ を設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの[EQ]キー→[F1]キーの順にキー押して EQ 画面の EQ EDIT ページを表示させ、[SEL]キーを使ってステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 のいずれかを選択します。

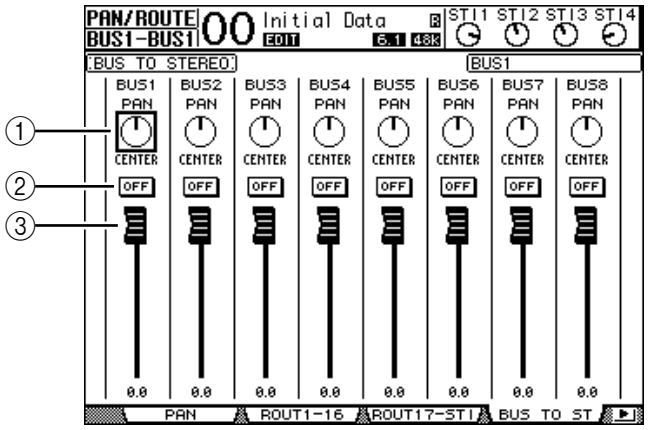


パラメーターの内容や設定方法は、インプットチャンネルと共通です(→ P.86)。ただし、ステレオアウトには STEREO LINK パラメーターはありません。

バスアウト 1 ～ 8 の信号をステレオバスに送る

バスアウト 1 ～ 8 の信号は、出力端子やスロット 1/2 を通じて出力する以外に、ステレオバスに送ることも可能です。このとき、ステレオバスに送られる信号のレベルやパンはバスごとに設定できます。バスアウト 1 ～ 8 をグループバスとして利用したいときに便利です。

バスアウト 1 ～ 8 の信号をステレオバスに送るには、DISPLAY ACCESS セクションの［PAN/ROUTING］キーを繰り返し押して、PAN/ROUTE 画面の BUS TO ST ページを表示させます。



調節したいパラメーターにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または［INC］/［DEC］キー）を使って設定値が調節できます。

① **TO ST PAN ノブ**
バスアウト 1 ～ 8 からステレオバスへ送られる信号のパンを設定します。

② **TO ST ON/OFF ボタン**
バスアウト 1 ～ 8 からステレオバスへ送られる信号のオン／オフを切り替えます。

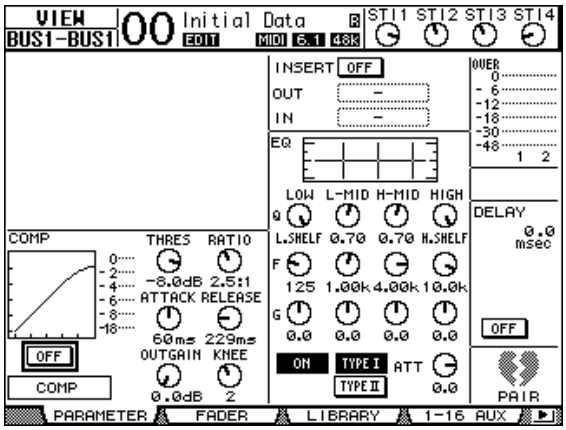
③ **TO ST フェーダー**
バスアウト 1 ～ 8 からステレオバスへ送られる信号のレベルを設定します。

パラメーターを一覧表示させる

VIEW 画面の PARAMETER ページや FADER ページを使えば、ステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 のパラメーターを一覧しながら、設定値を調節できます。

■ コンプレッサー／ EQ を一覧表示させる

[SEL]キーを使ってステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 のいずれかを選んだ後で、DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キー→[F1]キーの順にキーを押し、VIEW 画面の PARAMETER ページを表示させます。



パラメーターの内容や設定方法は、以下の点を除けばインプットチャンネルと共通です。

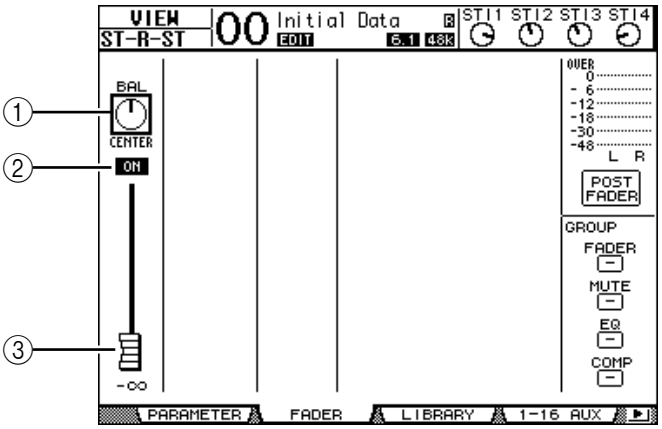
- ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 の PARAMETER ページには、GATE フィールドと φ フィールドがありません。
- ステレオアウトの PARAMETER ページには、PAIR フィールドがありません。

■ フェーダーその他のパラメーターを一覧表示させる

[SEL]キーを使ってステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 のいずれかを選んだ後で、DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キー→[F2]キーの順にキーを押し、VIEW 画面の FADER ページを表示させます。

なお、ステレオアウトを選んだ場合とバスアウト 1 ～ 8 を選んだ場合とでは、FADER ページの内容が異なります。

・ ステレオアウトを選んだ場合



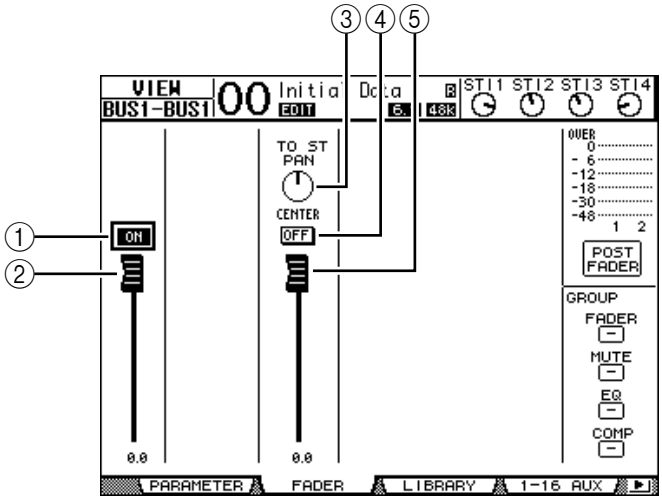
① BAL ノブ

ステレオアウトの L/R チャンネルの音量バランスを設定します。

② **ON/OFF ボタン**
ステレオアウトのオン／オフを切り替えます（STEREO セクションの[ON]キーと連動しています）。

③ **フェーダー**
ステレオアウトの出力レベルを設定します（[STEREO]フェーダーと連動しています）。フェーダーの値が 0dB のときは、フェーダーの頭が黒く表示されます。

- **バスアウト 1～8 を選んだ場合**



① **BUS ON/OFF ボタン**
バスアウト 1～8 のオン／オフを切り替えます（MASTER レイヤーの[ON]キー9～16 と連動しています）。

② **BUS フェーダー**
バスアウト 1～8 の出力レベルを設定します（MASTER レイヤーのフェーダー9～16 と連動しています）。フェーダーの値が 0dB のときは、フェーダーの値が黒く表示されます。

③ **TO ST PAN ノブ**
バスアウト 1～8 からステレオバスに送られる信号の定位を設定します。

④ **TO ST ON/OFF ボタン**
バスアウト 1～8 からステレオバスに送られる信号のオン／オフを切り替えます。

⑤ **TO ST フェーダー**
バスアウト 1～8 からステレオバスに送られる信号のレベルを設定します。

ヒント：TO ST PAN ノブ、TO ST ON/OFF ボタン、TO ST フェーダーは、PAN/ROUTE 画面の BUS TO ST ページに含まれるパラメーターと共通です。

パネル上の操作子でステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 を設定する

トップパネルのフェーダー、[SEL]キー、SELECTED CHANNEL セクションの各種キー／コントロールを使えば、ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 の一部のパラメーターを直接操作できます。

出力レベルの設定

ステレオアウトの出力レベルを設定するには、[STEREO]フェーダーを操作します。また、STEREO セクションの[ON]キーを使って、ステレオアウトのオン／オフ切り替えが行なえます。

バスアウト 1 ～ 8 の出力レベルを設定するには、LAYER セクションの[MASTER]キーを使って MASTER レイヤーを選び、フェーダー9 ～ 16 を操作します。このとき、[ON]キー 9 ～ 16 を使って、バスアウト 1 ～ 8 のオン／オフ切り替えが行なえます。

EQ ／バランスの設定

1 [SEL]キーを使って、ステレオアウトまたはバスアウト 1 ～ 8 を選びます。

2 選択したバスの EQ を設定するには、SELECTED CHANNEL セクションの次のキーの中からいずれか 1 つを押して、操作したい帯域を選びます。

- **[HIGH]キー**.....ハイバンド
- **[H-MID]キー** .....ハイミッドバンド
- **[L-MID]キー**.....ローミッドバンド
- **[LOW]キー**.....ローバンド

3 [Q]コントロール、[FREQUENCY]コントロール、[GAIN]コントロールを使って、手順 2 で選んだ帯域の特性／周波数／ゲインを調節します。

EQ の詳しい説明については P.86 をご参照ください。

4 ステレオアウトを選んだときは、SELECTED CHANNEL セクションの[PAN]コントロールを使って、ステレオアウトのバランスパラメーターを調節します。

> ***ノート：AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8 が選ばれているとき、[PAN]コントロールは無効です。***

2 つのバス／ AUX センドをペアにする

奇数／偶数の順に並ぶバス／ AUX センドをペアに設定し、ステレオのバスとして利用できます。ペアに設定された 2 つのバス／ AUX センド間で連動するパラメーター、およびペアに設定されていても独立して操作可能なパラメーターは、次のとおりです。

連動するパラメーター
[SEL]キーの動作
フェーダー
チャンネルのオン／オフ
インサートのオン／オフ
ソロのオン／オフ
コンプレッサーの設定
コンプレッサーの挿入位置
EQ の設定
フェーダーグループ
ミュートグループ
フェードタイム
リコールセーフ
BUS TO STEREO のオン／オフ*
BUS TO STEREO のフェーダー*

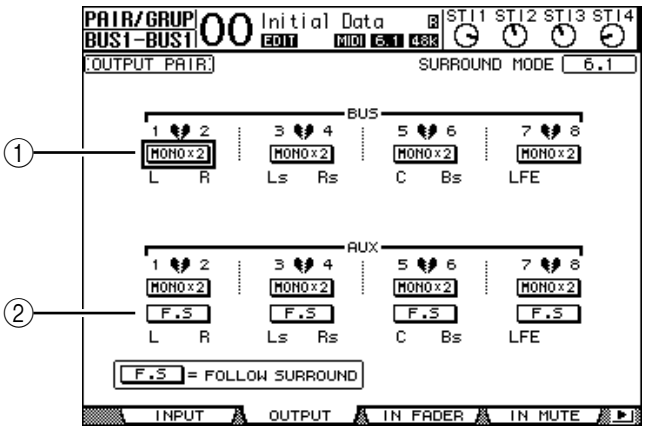
***は、バスアウト1〜8に対してだけ有効です。**

独立して設定できるパラメーター
アウトプットパッチ
インサートパッチ
ディレイのオン／オフ
ディレイタイム **
BUS TO STEREO のパン *
アッテネーター***

**** φ/INS/DLY画面のDLYページでGANGボタンをオフにすると、独立して設定できます。**

***** EQ画面のATTページでは独立して設定できますが、EQ画面のEQ EDITページやVIEW画面では連動します。**

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PAIR/GROUP]キーを繰り返し押して PAIR/GRUP 画面の OUTPUT ページを表示させます。



このページでは、次の要素を設定できます。

① **STEREO/MONO × 2 ボタン**
バス／ AUX センドのペアの設定／解除を切り替えます。

② **F.S ボタン**
01V96 のサラウンドモードが STEREO 以外に設定されているときに、インプットチャンネルのサラウンドパンの設定を AUX のパンにも反映させるかどうかを設定します。このボタンをオンにすると、インプットチャンネルのサラウンドパンの設定が AUX センドのパンにも反映されます。外部にサラウンドエフェクトを接続した場合などに利用します。

2 ペアを設定したいバス／ AUX センドの MONO × 2 ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

ペアが設定されます。

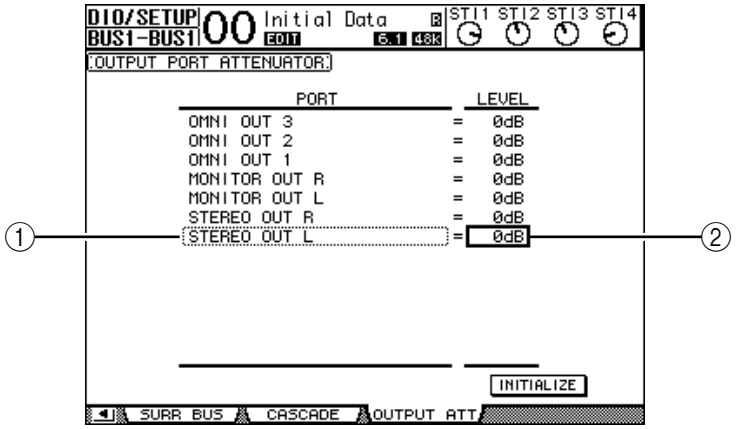
3 ペアを解除したいときは STEREO ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

出力端子からの信号を減衰させる

01V96 の出力信号にアッテネーターをかけるには、EQ 画面の OUT ATT ページを呼び出し、ステレオアウトやバスアウト 1 ～ 8 のアッテネーターを個別に調節します。

しかし、必要ならば、出力端子や I/O カードのチャンネルを選び、そこから出力される信号の減衰量を指定することも可能です。何の信号経路がパッチされているかは意識せずに、出力信号を素早く減衰させたい、というときに便利な機能です。

1 DISPLAY ACCESS セクションの [DIO/SETUP] キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の OUTPUT ATT ページを表示させます。



2 左側のパラメーターボックス（①）にカーソルを合わせ、リストを上下にスクロールさせて、アッテネーターを調節する端子／チャンネルを選択します。

選択可能な項目は、次のとおりです。

- **STEREO OUT L/R** ..... STEREO OUT 端子の L/R チャンネル
- **MONITOR OUT L/R** ..... MONITOR OUT 端子の L/R チャンネル
- **OMNI OUT 1 ～ 4** ..... OMNI OUT 端子 1 ～ 4
- **SLOT OUT 1-1 ～ 1-16** ..... スロットの出力チャンネル 1 ～ 16
- **ADAT OUT1 ～ 8** ..... ADAT OUT 端子のチャンネル 1 ～ 8
- **2TR OUT DIGITAL L/R** ..... 2TR OUT DIGITAL 端子の L/R チャンネル

3 右側のパラメーターボックス（②）にカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または [INC]/[DEC] キー）を使ってその端子／チャンネルの減衰量を設定します。

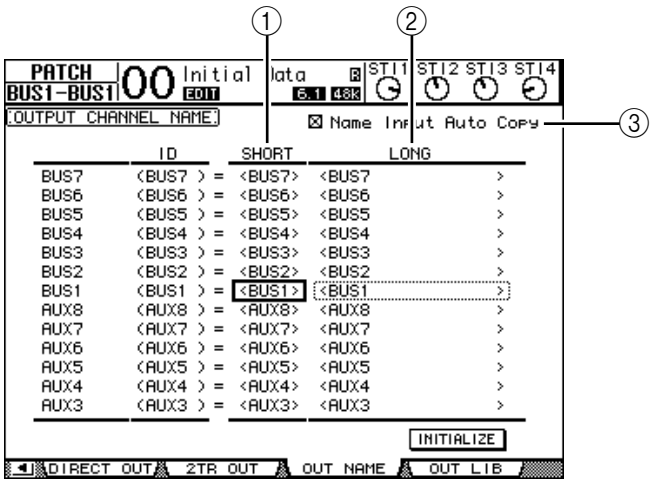
減衰量は、0dB ～ー 9dB の範囲で調節できます。

> ***ヒント：INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押すと、すべての端子／チャンネルの減衰量をリセットできます。***

バスの名前を変更する

初期状態で付けられているバスの名前（BUS1、AUX4、STEREO など）は、必要に応じて変更できます。“ MONITOR OUT ”や“ EFFECT SEND ”のように、信号の種類が分かる名前を付けておくと便利です。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH 画面の OUT NAME ページを呼び出します。



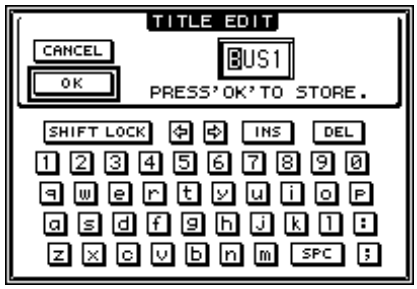
画面中央のパラメーターボックスでは省略表記（①）、右側のパラメーターボックス（②）ではフルネームが設定できます。

なお、画面右上の Name Input Auto Copy チェックボックス（③）をオンにすると、LONG パラメーターボックスに名前を入力したときに、その先頭の 4 文字が自動的に SHORT 側にコピーされます。逆に SHORT パラメーターボックスに名前を入力したときは、入力された文字が LONG 側の先頭位置にコピーされます。

また、INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押せば、各バスの名前を初期状態に戻せます。

2 名前を変更したいパラメーターボックスにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

名前を入力する TITLE EDIT ポップアップウィンドウが表示されます。



3 名前を入力し、OK ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

[ENTER]キーを押すと、新しい名前が有効になります。

*ヒント：**変更した名前は、アウトプットパッチライブラリーに保存されます。***

第 9 章 AUX アウト

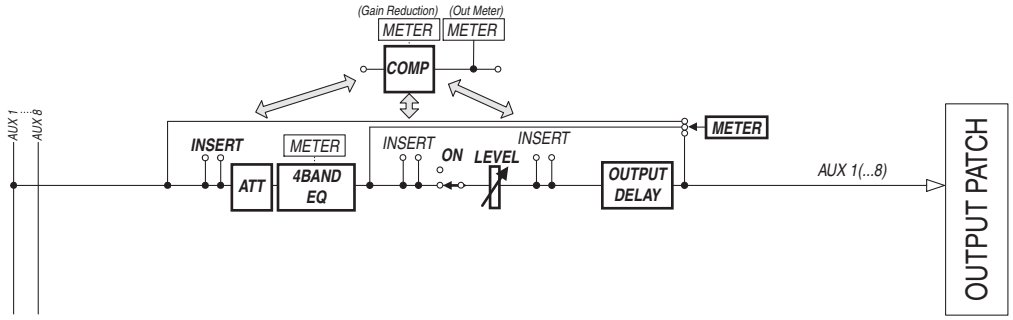
この章では AUX アウト 1 ～ 8 の操作方法について説明します。

AUX アウト 1 ～ 8 について

AUX アウト 1 ～ 8 は、それぞれのインプットチャンネルから該当する AUX センドに送られた信号をミックスし、専用の EQ やコンプレッサーで加工して、内蔵エフェクト、任意の出力端子、I/O カードへと送出するためのセクションです。

01V96 には、8 系統の AUX センドが搭載されており、内蔵エフェクト／外部エフェクトへのエフェクト送りや、モニター送りとして利用できます。

次の図は、AUX アウト 1 ～ 8 の信号の流れを表わしたものです。



- **INSERT（インサート）**
- **ATT（アッテネーター）**
- **4BAND EQ（4 バンドイコライザー）**
- **COMP（コンプレッサー）**
- **ON（オン／オフ）**
- **LEVEL（レベル）**
- **OUTPUT DELAY（アウトプットディレイ）**
- **METER（メーター）**

上記の機能は、ステレオアウト／バスアウト 1 ～ 8 と同等です（→ P.99）。

ヒント：奇数→偶数の順に隣り合った AUX センドをペアに設定し、ステレオの AUX として利用することも可能です。

ノート：01V96 が初期状態のとき、OMNI OUT 端子 1 ～ 4 に AUX アウト 1 ～ 4 がパッチされ、同時に内蔵エフェクト 1 ～ 4 のインプットに AUX アウト 1 ～ 4 がパッチされています。ただし、このパッチ内容は、PATCH 画面の OUTPUT ページで変更できます。

画面内の操作で AUX アウト 1 ～ 8 を設定する

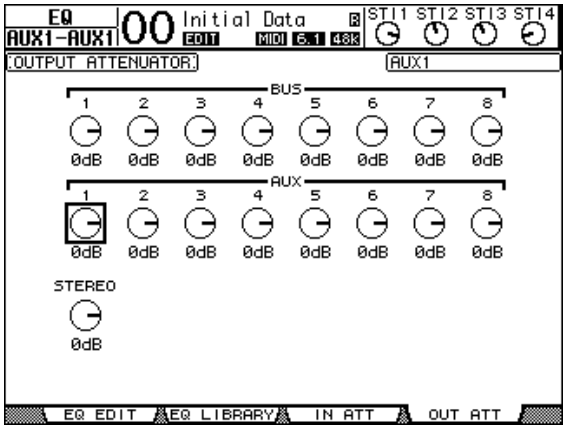
AUX アウト 1 ～ 8 のパラメーターを操作するには、画面内で目的のパラメーターにカーソルを合わせて設定値を変更する方法と、トップパネルの操作子を使って一部のパラメーターを直接変更する方法があります。

ここでは、画面内の操作によるパラメーターの設定方法について説明します。

> ***ヒント：インサートの操作方法は、第 10 章「インプットパッチ／アウトプットパッチ」(→ P.123) で説明しています。***

アッテネーターの調節

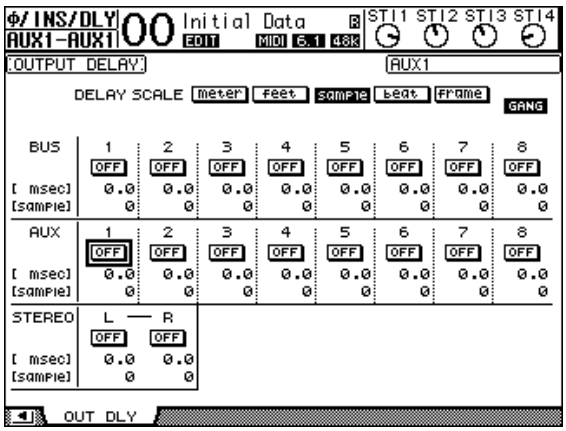
AUX アウト 1 ～ 8 のアッテネーターを設定するには、[EQ] キー→[F4] キーの順にキーを押して EQ 画面の OUT ATT ページを表示させます。



パラメーターの内容や設定方法はインプットチャンネルと共通です（→ P.85）。

ディレイの設定

AUX アウト 1 ～ 8 のディレイを設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの [φ/INSERT/DELAY] キーを繰り返し押して、φ/INS/DLY 画面の OUT DLY ページを表示させます。

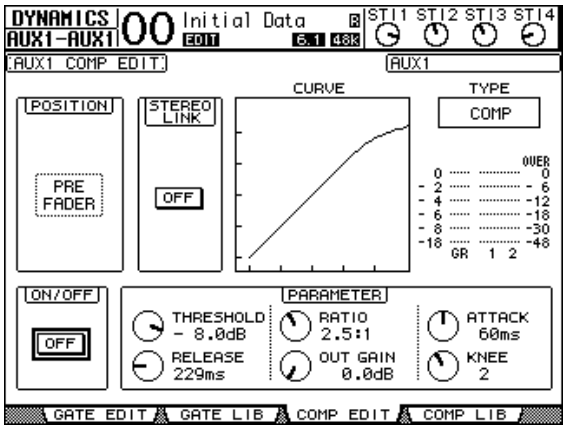


パラメーターの内容や設定方法は、MIX/FB.GAIN パラメーターがない点を除けば、インプットチャンネルと共通です（→ P.82）。

> ***ヒント：DLY 関連のパラメーターが表示されているときに、[SEL] キーを使って AUX アウト 1 ～ 8 のいずれかを選択しても、OUT DLY ページが呼び出されます。***

コンプレッサーの設定

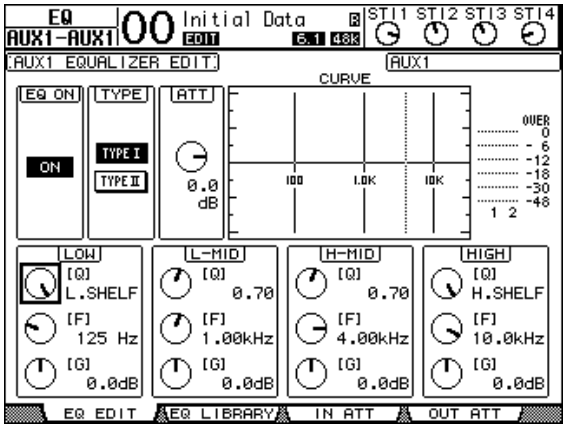
AUX アウト 1 ～ 8 のコンプレッサーを設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの [DYNAMICS] キー→ [F3] キーの順にキーを押して DYNAMICS 画面の COMP EDIT ページを表示させ、[SEL] キーを使って AUX アウト 1 ～ 8 のいずれかを選択します。



パラメーターの内容や設定方法は、インプットチャンネルと共通です(→ P.84)。

EQ の設定

AUX アウト 1 ～ 8 の EQ を設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの [EQ] キー→ [F1] キーの順にキーを押して EQ 画面の EQ EDIT ページを表示させ、[SEL] キーを使って AUX アウト 1 ～ 8 のいずれかを選択します。



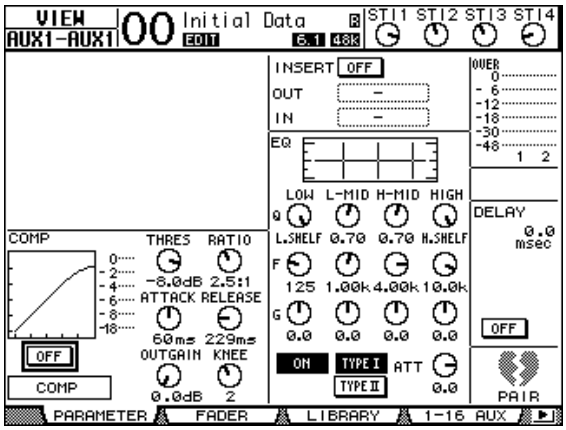
パラメーターの内容や設定方法は、インプットチャンネルと共通です(→ P.86)。

パラメーターを一覧表示させる

VIEW 画面の PARAMETER ページや FADER ページを使えば、AUX アウト 1 ～ 8 のパラメーターを一覧しながら、設定値を調節できます。

■ コンプレッサー／ EQ を一覧表示させる

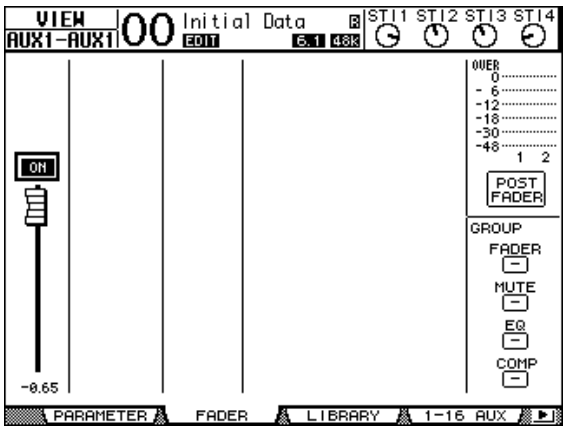
[SEL]キーを使って AUX アウト 1 ～ 8 のいずれかを選んだ後で、DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キー→[F1]キーの順にキーを押し、VIEW 画面の PARAMETER ページを表示させます。



パラメーターの内容や設定方法は、GATE フィールドと φ フィールドがない点を除けば、インプットチャンネルと共通です(→ P.90)。

■ フェーダーや ON/OFF ボタンを一覧表示させる

[SEL]キーを使って AUX アウト 1 ～ 8 のいずれかを選んだ後で、DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キー→[F2]キーの順にキーを押し、VIEW 画面の FADER ページを表示させます。



- **AUX ON/OFF ボタン**....AUX アウト 1 ～ 8 のオン／オフを切り替えます(MASTER レイヤーの[ON]キー1 ～ 8 と連動しています)。
- **AUX フェーダー**.....AUX アウト 1 ～ 8 の出力レベルを設定します(MASTER レイヤーのフェーダー1 ～ 8 と連動しています)。フェーダーの値が 0dB のときは、フェーダーの値が黒く表示されます。

パネル上の操作子で AUX アウト 1 ～ 8 を設定する

トップパネルのフェーダー、[SEL] キー、SELECTED CHANNEL セクションの各種キー／コントロールを使えば、AUX アウト 1 ～ 8 の一部のパラメーターを直接操作できます。

出力レベルの設定

AUX アウト 1 ～ 8 の出力レベルを設定するには、LAYER セクションの [MASTER] キーを使って MASTER レイヤーを選び、フェーダー 1 ～ 8 を操作します。また、[ON] キー 1 ～ 8 を使って、AUX アウト 1 ～ 8 のオン／オフ切り替えが行なえます。

EQ の設定

AUX アウト 1 ～ 8 の EQ を操作するには、[SEL] キーまたはフェーダーを使って AUX アウト 1 ～ 8 を選び、SELECTED CHANNEL セクションのキーやコントロールを使って、パラメーターを操作します。パラメーターの内容や操作方法はインプットチャンネルと共通です（→ P.86）。

AUX センドレベルを調節する

それぞれのインプットチャンネルから AUX アウト 1 ～ 8 へと送られる信号のレベルを調節します。

画面内の操作でセンドレベルを調節する

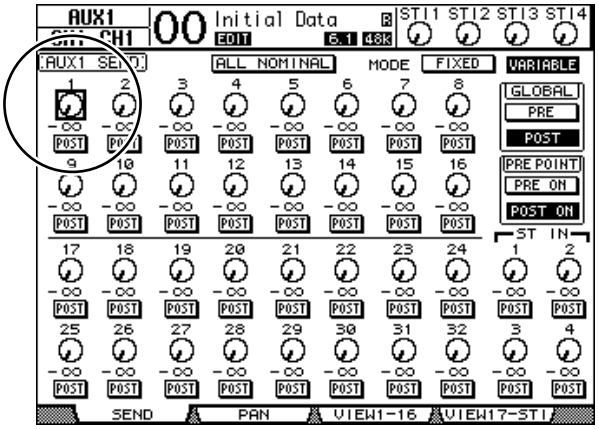
画面内に複数チャンネルの AUX センドレベルの設定値を表示させながら、個々の AUX センドレベルを調節します。

1　FADER MODE セクションの [AUX 1] キー～ [AUX 8] キーを使って、送り先となる AUX を選択します。

2　ディスプレイに AUX 画面の SEND ページが表示されているのを確認します。

このページでは、各インプットチャンネルから手順 1 で選んだ AUX へのセンドレベルを調節できます。

なお、SEND ページが表示されない場合は、手順 1 で押したキーを繰り返し押してページを表示させます。



- **AUX センドレベルノブ**

  インプットチャンネルごとの AUX センドレベルを調節します。ノブの下側には現在の設定値が表示されます。

- **PRE/POST ボタン**

  AUX へ送られる信号の送出位置を選択します。" PRE "と表示されるときはプリフェーダーの信号、" POST "と表示されるときはポストフェーダーの信号が送られます。

- **MODE フィールド**

  AUX センドの動作モード(信号の送信方法)として、FIX(センドレベルが固定)または VARIABLE(センドレベルが可変)を選択します。

- **GLOBAL フィールド**

  各チャンネルから現在表示されている AUX に送られる信号の送出位置を、一括して切り替えます。

- **PRE POINT フィールド**

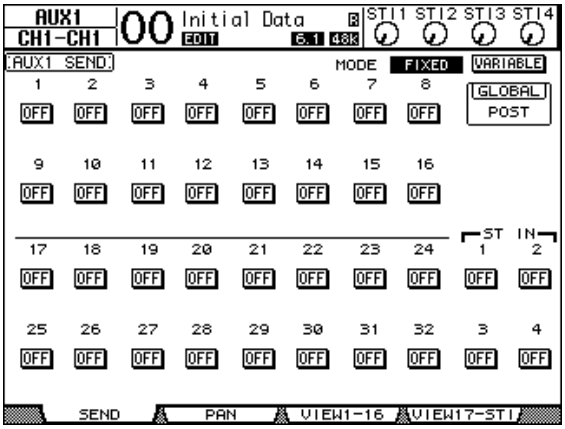
  プリフェーダーに設定されたチャンネルの送出位置を PRE ON([ON]キーの前)または POST ON([ON]キーの後)に設定します。

> ***ノート：MODE フィールドで FIX モードが選ばれているときは、AUX センドレベルノブ、PRE/POST ボタン、GLOBAL フィールド、PRE POINT フィールドが消え、代わりに ON/OFF ボタンが表示されます。これらのボタンは、各チャンネルから AUX に送られる信号のオン／オフを切り替えます。***

3 MODE フィールドにカーソルを移動し、現在選ばれている AUX センドの動作を、次の 2 つのモードから選びます。

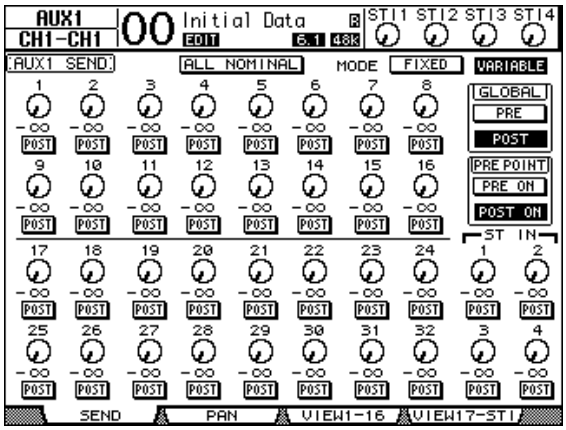
- **FIXED モード**

  このモードでは、すべてのインプットチャンネルから AUX に送られる信号のレベルが、ノミナル(0dB)に固定されます。また、画面からセンドレベルノブや PRE/POST ボタンが消え、代わりにチャンネルごとの ON/OFF ボタンが表示されます。



• **VARIABLE モード**

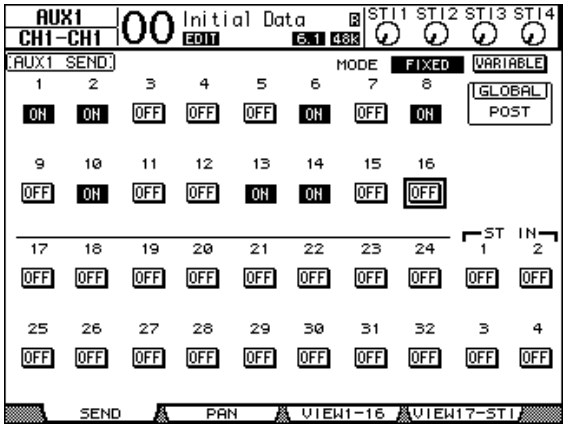
このモードでは、インプットチャンネルから AUX に送られる信号のレベルが可変となり、同時に信号の送出位置（PRE/POST）も選べるようになります。画面には、チャンネルごとにセンドレベルノブや PRE/POST ボタンが表示されます。



*ヒント：**FIXED/VARIABLE モードの切り替えは、AUX ごとに独立して行なえます。***

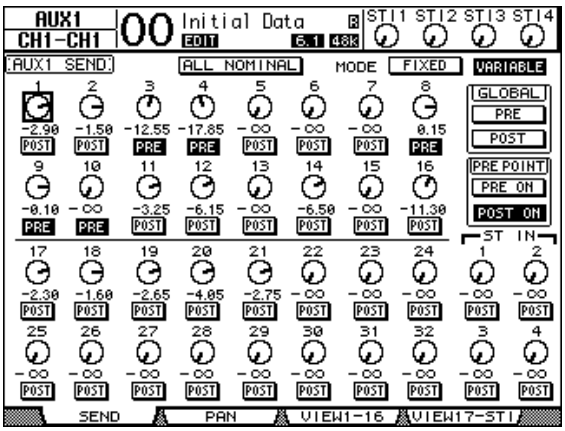
ノート：
- ***FIXED モードに切り替えた直後は、ON/OFF ボタンがすべて OFF になります。***
- ***VARIABLE モードに切り替えた直後は、すべてのチャンネルで PRE/POST ボタン＝POST、センドレベルノブ＝−∞にリセットされます。***

4 手順 3 で FIXED モードを選んだ場合は、画面内の ON/OFF ボタンを使って、各チャンネルからその AUX に送られる信号のオン／オフを切り替えます。



*ノート：**FIXED モードを選んだ場合、ペアに設定されたインプットチャンネル同士でも、AUX オン／オフのパラメーターは連動しません。***

5 手順 3 で VARIABLE モードを選んだ場合は、PRE/POST ボタンやセンドレベルノブを使って、各チャンネルからその AUX に送られる信号の送出位置やセンドレベルを調節します。



なお、VARIABLE モードを選んだ場合でも、各チャンネルからその AUX に送られる信号のオン／オフを切り替えることができます。これを行なうには、センドレベルノブにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します（オフになったチャンネルは、センドレベルノブがグレー表示に変わります）。

ヒント：

- ***VARIABLE モードの AUX センドでは、ペアに設定されたインプットチャンネル同士の AUX センドレベル、AUX オン／オフ、PRE/POST の各パラメーターが連動します。***
- ***GLOBAL フィールドのボタンを使えば、すべてのインプットチャンネル（現在のページに表示されていないチャンネルも含みます）のプリ／ポストを切り替えられます。***

ノート：

- ***内蔵エフェクトを AUX センド経由で使用している場合、そのエフェクトのリターン信号をパッチしたチャンネルで、該当する AUX へのセンドレベルを上げることはお止めください。***
- ***たとえば 01V96 が初期状態のとき、内蔵エフェクト 1 のインプットには AUX 1、アウトプットには ST IN チャンネル 1 の L/R がパッチされています。この状態で ST IN チャンネル 1 から AUX 1 へのセンドレベルを上げると、ST IN チャンネル 1 自身に信号が戻されるため、ループが発生してスピーカーを痛める原因となります。***

複数チャンネルの AUX センドの設定を一覧する

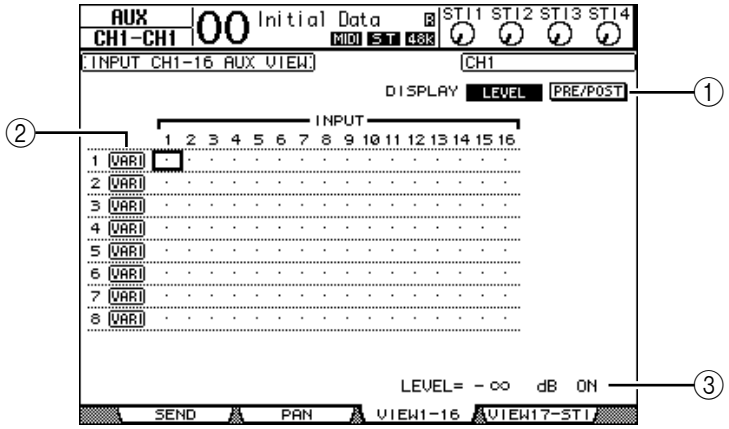
必要ならば、複数のインプットチャンネルから AUX 1 ～ 8 に送られる信号のセンドレベルや PRE/POST の状態を一覧しながら、設定値を変更できます。

AUX 全体の設定内容を視覚的に確認したいときや、特定のチャンネルから AUX 1 ～ AUX 8 に送られる信号のレベルを一括して調節したい場合に便利です。

1 FADER MODE セクションの[AUX 1]キー～[AUX 8]キーのいずれか 1 つを繰り返し押し、次のページの中から設定したいチャンネルに対応するページを呼び出します。

- **VIEW1-16 ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 16 の AUX センドを一括表示します。
- **VIEW17-STI ページ**
  インプットチャンネル 17 ～ 32 および ST IN チャンネル 1 ～ 4 の AUX センドを一括表示します。

選択したページに応じて、送り元のインプットチャンネルと送り先の AUX がマトリクス表示されます。設定可能なパラメーターや操作方法は、各画面とも共通です。



① **DISPLAY フィールド**
ディスプレイに表示させるパラメーターを次のボタンを使って選択します。

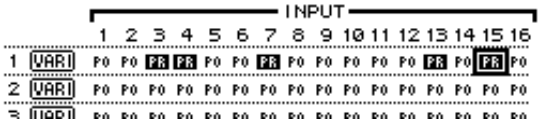
- **LEVEL ボタン**..... 各インプットチャンネルから AUX 1 ～ 8 に送られる信号のセンドレベルを、バーグラフで表示します。
- **PRE/POST ボタン**..... 各インプットチャンネルから AUX 1 ～ 8 に送られる信号の送出位置（PRE/POST）を表示します。

② **FIX/VARI フィールド**
AUX アウト 1 ～ 8 の AUX モード（FIXED、VARIABLE）を表示します。このフィールドは表示のみで、変更はできません。

③ **LEVEL フィールド**
現在カーソルで選ばれている AUX センドの設定値を dB 単位で表わします。

2 DISPLAY フィールドにカーソルを合わせて、ディスプレイに表示させるパラメーターとして、LEVEL または PRE/POST を選んでください。

3 手順 2 で PRE/POST を選んだ場合は、任意のインプットチャンネル／任意の AUX にカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押して信号の送出位置を切り替えます。



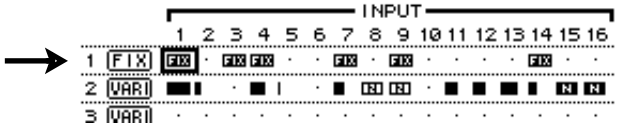
ノート：PRE/POST を切り替え可能なのは、VARI(VARIABLE モード)に設定された AUX センドに限られます。FIX(FIXED モード)に設定された AUX センドは、"FIX"と表示され、切り替えできません。

4 手順 2 で LEVEL を選んだ場合は、任意のインプットチャンネル／任意の AUX にカーソルを合わせ、センドレベルの設定やオン／オフ切り替えを行ないます。

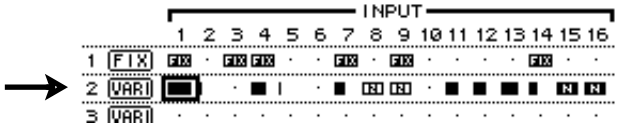
センドレベルの設定にはパラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）、オン／オフ切り替えには[ENTER]キーを使います。

なお、現在選ばれている AUX モードに応じて、AUX センドの表示が次のように変化します。

- **FIX（FIXED モード）が選ばれている AUX センド**..... AUX センドがオンのチャンネルは" FIX "、オフになっているチャンネルは"・"のマークが表示されます。



- **VARI（VARIABLE モード）が選ばれている AUX センド** ..... 現在のセンドレベルがバーグラフで表示され、ノミナルレベル（0dB）に設定されているときは、バーの中に N の文字が表示されます。また、AUX センドがオフのチャンネルは、バーが白黒反転します。



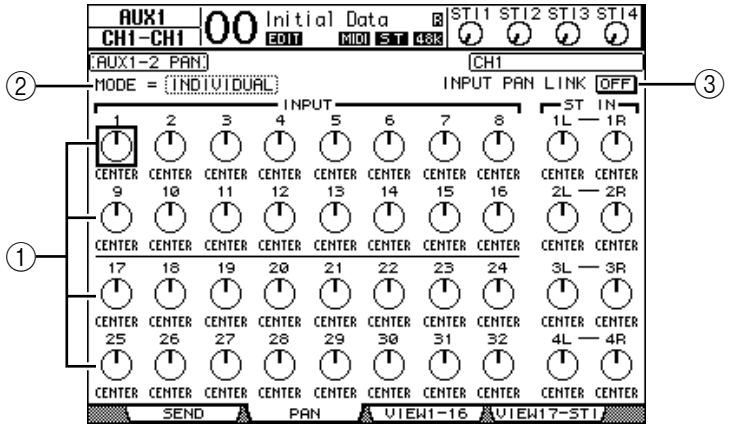
ペアの AUX に送られる信号のパンを設定する

奇数／偶数の順に並ぶ AUX をペアに設定し、ステレオの AUX バスとして利用できます。この場合、インプットチャンネルからペアに設定された AUX に送られる信号のパンを設定できます。

1 送り先となる 2 系統の AUX センドをペアに設定します（ペアの設定／解除方法は→ P.107）。

2 FADER MODE セクションの [AUX 1] キー～ [AUX 8] キーを使って、ペアに設定された一方の AUX を選びます。

3 手順 2 で押したキーを繰り返し押して、AUX 画面の PAN ページを呼び出します。



① **AUX パンノブ**
各インプットチャンネルから、ペアの AUX に送られる信号のパンを調節します。

② **MODE フィールド**
ペアに設定されているインプットチャンネル同士のパンの動作を選択します。

③ **INPUT PAN LINK ボタン**
このボタンをオンにすると、AUX センドのパンがインプットチャンネルのパンに追従します。

4 希望するインプットチャンネルの AUX パンノブにカーソルを合わせ、パンの値を設定してください。

5 必要に応じて MODE フィールドにカーソルを合わせ、ペアに設定されているインプットチャンネル同士のパンの動作を INDIVIDUAL/GANG/INV GANG の中から選択します。

INPUT PAN LINK がオフの場合、この画面の MODE フィールドは、PAN 画面の MODE フィールドとは独立して選択できます（各設定項目の詳しい説明は→ P.88）。

6 インプットチャンネルのパンの設定と AUX センドのパンを連動させるには、INPUT PAN LINK ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER] キーを押します。

PAN 画面のパンの設定値が AUX 画面のパンにコピーされ、両方の画面のパンノブが連動します。

ヒント：
- ***ペアに設定された AUX が VARIABLE モードの場合、インプットチャンネルから両方の AUX に送られる信号の AUX センドレベル、AUX オン／オフ、PRE/POST の各パラメーターが連動します。***
- ***ペアに設定された AUX が FIXED モードの場合、インプットチャンネルから両方の AUX に送られる信号の AUX オン／オフは連動しません。***

チャンネルフェーダーの設定値を AUX センドにコピーする

AUX センドを VARIABLE モードで使用しているときに、インプットチャンネルのフェーダーの設定値を、それぞれのチャンネルの AUX センドにレイヤー単位で一括コピーできます。

たとえば、演奏者に対してステレオアウトと同じバランスのモニター信号を送りたいときに、便利な機能です。

1 LAYER セクションの[1-16]/[17-32]キーのうち、コピー元となるレイヤーに相当するキーを押し、そのまま押し続けます。

> ***ノート：手順 2 を実行する前に LAYER セクションのキーを放すと、コピーが行なわれませんので、ご注意ください。***

2 FADER MODE セクションの[AUX 1]キー～[AUX 8]キーの中から、コピー先となる AUX センドに対応するキーを押します。

コピー操作を確認するポップアップウィンドウが表示されます。

3 コピーを実行するには、YES ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

コピーを中断したいときは、NO ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押してください。

> ***ヒント：コピー先のインプットチャンネルと、別のレイヤーのチャンネルとでペアが組まれている場合（ペアモード＝ VERTICAL）、相手先の同じ AUX センドに対してもフェーダーの設定値がコピーされます。***

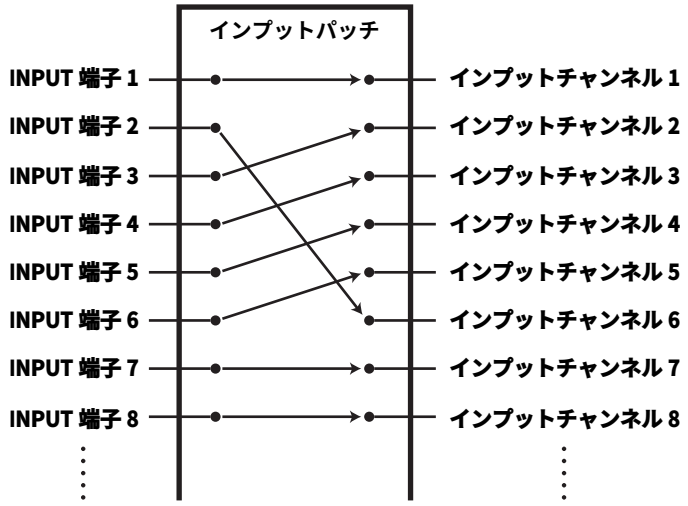
第 10 章インプットパッチ／アウトプットパッチ

この章では、01V96 内部の信号経路を入出力端子やスロットのチャンネルにパッチ（割り当て）するインプットパッチ／アウトプットパッチについて説明します。

インプットパッチの設定

INPUT 端子 1 ～ 16、ADAT IN 端子、2TR IN DIGITAL 端子、およびスロットに装着された I/O カードを通じて入力された信号は、“ インプットパッチ ”を使って**インプットチャンネルにパッチすることで、初めて利用できる**ようになります。

パッチ例：



01V96 が初期状態のとき、それぞれのインプットチャンネルには次の信号がパッチされています。

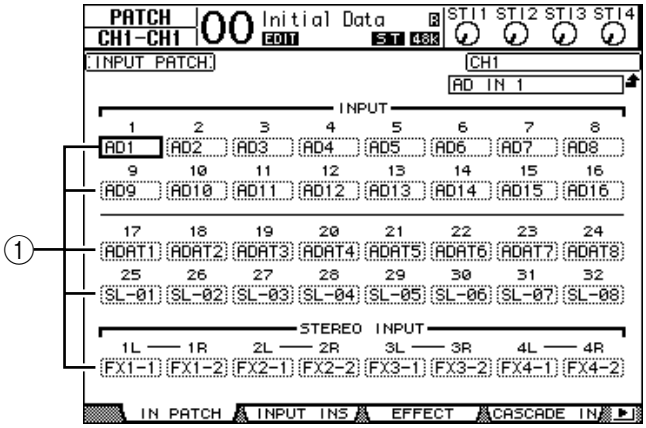
インプットチャンネル	入力端子／スロットのチャンネル
1 ～ 16	INPUT 端子 1 ～ 16
17 ～ 24	ADAT IN 端子の入力チャンネル 1 ～ 8
25 ～ 32	スロットの入力チャンネル 1 ～ 8
ST IN チャンネル 1 ～ 4	内蔵エフェクト 1 ～ 4 のアウトプット 1/2

上記のパッチ内容は、必要に応じて変更できます。

インプットパッチを変更する

インプットチャンネルにパッチされた信号を変更します。

1　DISPLAY ACCESS セクションの [PATCH] キーを繰り返し押して、PATCH 画面の IN PATCH ページを呼び出します。

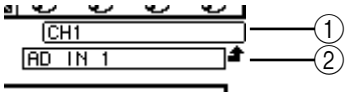


チャンネル番号の下にあるパラメーターボックス（①）に、現在そのチャンネルにパッチされている入力端子、ADAT IN 端子の入力チャンネル、スロットの入力チャンネルが表示されます。表示の意味は次のとおりです。

表示	内容
—	割り当てなし
AD1 ～ AD16	INPUT 端子 1 ～ 16
ADAT1 ～ ADAT8	ADAT IN 端子の入力チャンネル 1 ～ 8
SL-01 ～ SL-16	スロットの入力チャンネル 1 ～ 16
FX1-1/FX1-2	内蔵エフェクト 1 のアウトプット 1/2
FX2-1/FX2-2	内蔵エフェクト 2 のアウトプット 1/2
FX3-1/FX3-2	内蔵エフェクト 3 のアウトプット 1/2
FX4-1/FX4-2	内蔵エフェクト 4 のアウトプット 1/2
2TD-L/2TD-R	2TR DIGITAL IN 端子（L/R）

2　パッチを変更したいインプットチャンネルにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または [INC]/[DEC] キー）を使って設定を変更します。

ページの右上には現在カーソルのあるインプットチャンネルのフルネームが表示されます（①）。また、その下には選択した入力端子／チャンネルのフルネームが表示されます（②）（名前を変更する方法は→ P.98、229）。



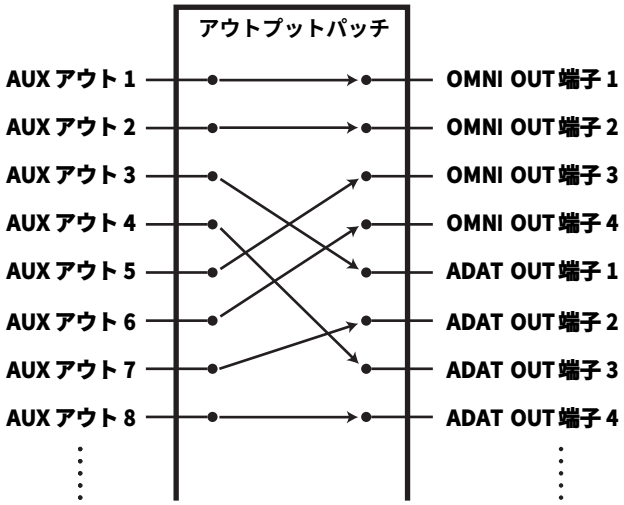
3　[ENTER] キーを押して、インプットパッチの変更を確定させます。

> ***ヒント：***
> ***・ 同じ入力信号を複数のインプットチャンネルにパッチすることも可能です。***
> ***・ インプットパッチの設定内容は“インプットパッチライブラリー”にストアできます。詳しくは第 16 章「ライブラリー」をご参照ください。***

アウトプットパッチの設定

01V96 内部のステレオアウト、バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8 の信号は、" アウトプットパッチ "を使って、任意の出力端子、ADAT OUT 端子の出力チャンネル、スロットの出力チャンネルに割り当てることができます。

パッチ例：



01V96 が初期状態のとき、それぞれの出力端子、ADAT OUT 端子の出力チャンネル、スロットの出力チャンネルには、次の信号経路がパッチされています。

出力端子／出力チャンネル	信号経路
ADAT OUT 端子の出力チャンネル 1 ～ 8	バスアウト 1 ～ 8
スロットの出力チャンネル 1 ～ 8	バスアウト 1 ～ 8
スロットの出力チャンネル 9 ～ 16	バスアウト 1 ～ 8
OMNI OUT 端子 1 ～ 4	AUX アウト 1 ～ 4
2TR OUT DIGITAL 端子(L)	ステレオアウト L
2TR OUT DIGITAL 端子(R)	ステレオアウト R

ヒント：

- ***同じ信号経路を複数の端子やチャンネルに出力することも可能です。***
- ***アウトプットパッチの設定内容は" アウトプットパッチライブラリー "にストアできます。詳しくは第 16 章「ライブラリー」をご参照ください。***

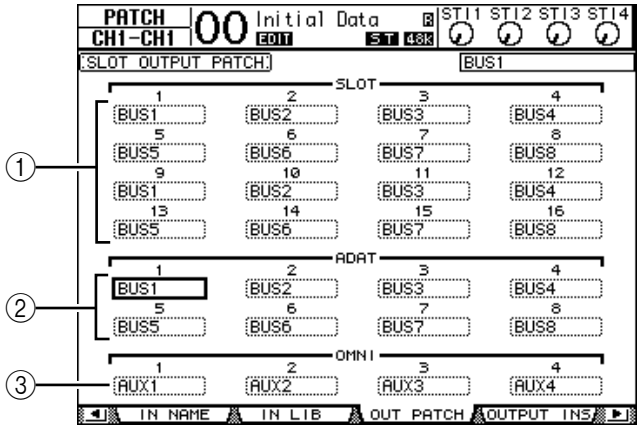
上記のパッチ内容は、必要に応じて変更できます。アウトプットパッチの設定方法は、出力先の端子やスロットに応じて異なります。

ADAT OUT 端子／スロット／ OMNI OUT 端子のパッチを変更する

ADAT OUT 端子、SLOT に装着したオプションの mini-YGDAI カード、OMNI OUT 端子にパッチされた信号経路を変更します。

1　DISPLAY ACCESS セクションの [PATCH] キーを繰り返し押して、PATCH 画面の OUT PATCH ページを表示させます。

各パラメーターボックスに、現在パッチされている信号経路が表示されます。



① **SLOT 1 ～ 16**
スロットのチャンネル 1 ～ 16 の信号経路を設定します。

② **ADAT 1 ～ 8**
ADAT OUT 端子の出力チャンネル 1 ～ 8 の信号経路を設定します。

③ **OMNI 1 ～ 4**
OMNI OUT 端子 1 ～ 4 の信号経路を設定します。

表示の意味は、次のとおりです。

表示	内容
−	割り当てなし
BUS1 ～ BUS8	バスアウト 1 ～ 8 の信号
AUX1 ～ AUX8	AUX アウト 1 ～ 8 の信号
ST L/R	ステレオアウトの信号
INS CH1 ～ INS CH32	インプットチャンネル 1 ～ 32 のインサートアウト
INS BUS1 ～ INS BUS8	バスアウト 1 ～ 8 のインサートアウト
INS AUX1 ～ INS AUX8	AUX アウト 1 ～ 8 のインサートアウト
INS ST-L/ST-R	ステレオアウトのインサートアウト
CAS BUS1 ～ BUS8	バス 1 ～ 8 のカスケードアウト
CAS AUX1 ～ AUX8	AUX バス 1 ～ 8 のカスケードアウト
CAS ST-L/ST-R	ステレオバスのカスケードアウト
CASSOLOL/CASSOLOR	ソロバスのカスケードアウト

2　変更したいパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または [INC] /[DEC] キー）を使って、パッチする信号経路を選びます。

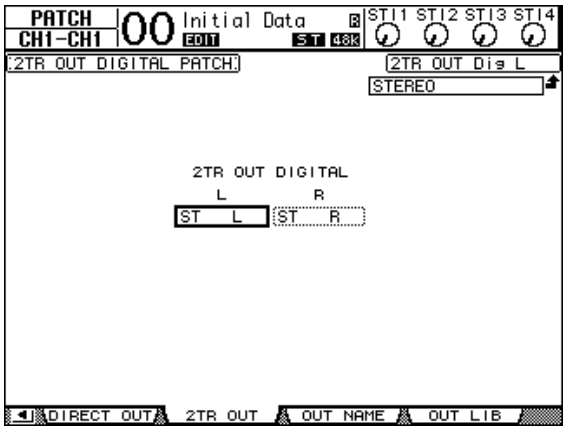
3　[ENTER] キーを押して変更内容を確定させます。

> ***ヒント：アウトプットパッチの設定内容は“アウトプットパッチライブラリー”にストアできます。詳しくは「第 16 章　ライブラリー」をご参照ください。***

2TR OUT DIGITAL 端子にパッチする

2TR OUT DIGITAL 端子にパッチされた信号経路を変更します。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押して、PATCH 画面の 2TR OUT ページを表示させます。



割り当て可能な信号は、OUT PATCH ページと共通です。

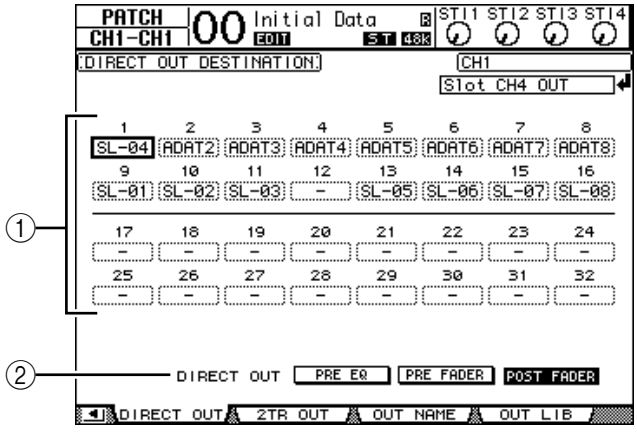
2 変更したいパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール(または[INC]/[DEC]キー)を使って、パッチする信号経路を選びます。

3 [ENTER]キーを押して変更内容を確定させます。

ダイレクトアウトを設定する

インプットチャンネル 1 ～ 32 の信号は、バス 1 ～ 8 やステレオバスに送る以外に、任意の出力端子やスロットのチャンネルから直接出力できます。それぞれのインプットチャンネルの入力信号を、レコーダーの個別のトラックに録音したいときは、この方法が便利です。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押して PATCH 画面の DIRECT OUT ページを表示させます。



この画面には、次の情報が表示されます。

① **1～32**
インプットチャンネル 1 ～ 32 をダイレクト出力する出力端子、ADAT OUT 端子の出力チャンネル、スロットの出力チャンネルを表示します。

② **DIRECT OUT フィールド**
ダイレクト出力される信号の送出位置を次の 3 種類から選択します。

- **PRE EQ ボタン**.....インプットチャンネルの EQ の直前
- **PRE FADER ボタン**.....インプットチャンネルのフェーダーの直前
- **POST FADER ボタン**...各インプットチャンネルのフェーダーの直後

2 1 ～ 32 のパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または [INC] /[DEC] キー）を使って出力先を選択します。

必要ならば、DIRECT OUT フィールドで信号の送出位置を指定してください。

3 [ENTER] キーを押して、変更内容を確定します。

> ***ノート：すでにアウトプットパッチで使用されている出力先を選び、ダイレクトアウトをオンにすると、アウトプットパッチの設定が無効になります。ダイレクトアウトを別の出力先に替えるか、ダイレクトアウトをオフにすると、アウトプットパッチの設定は元の状態に戻ります。***

4 DISPLAY ACCESS セクションの [PAN/ROUTING] キーを繰り返し押し、ダイレクト出力したいチャンネルに応じて次のページを表示させます。

- **ROUT1-16 ページ**.....インプットチャンネル 1 ～ 16 のルーティングを変更します。
- **ROUT17-STI ページ**....インプットチャンネル 17 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 のルーティングを変更します。

> ***ヒント：これらのページの詳しい説明は P.89 をご参照ください。***

5 ダイレクト出力させたいチャンネルの D ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER] キーを押します。

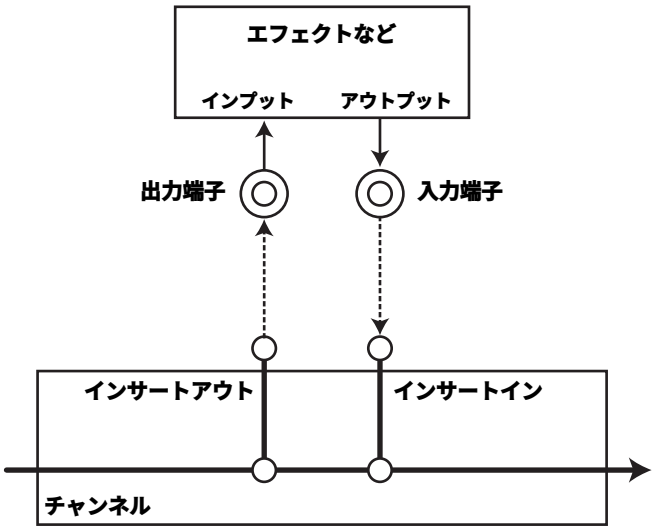
これで該当するインプットチャンネルのダイレクトアウトが有効となり、指定した出力端子、ADAT OUT 端子の出力チャンネル、スロットの出力チャンネルへと送られます。

インサートパッチの設定

01V96 のインプットチャンネルや各種のアウトプットチャンネル(ステレオアウト、バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8)には、それぞれ独自のインサートイン／アウトが用意されています。インサートインとインサートアウトに入出力端子、ADAT 端子やスロットのチャンネル、エフェクトのイン／アウトなどをパッチすることで、信号を外部に取り出して加工したり、内蔵エフェクトを挿入したりできます。

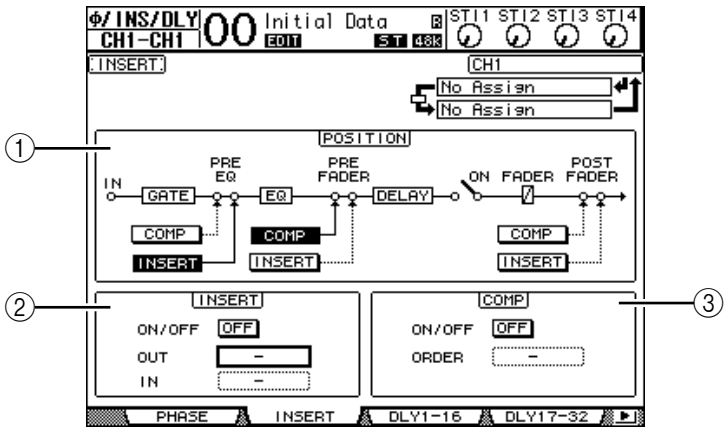
個々のインサートパッチを設定する

インサートイン／アウトに入出力端子、ADAT 端子やスロットのチャンネル、エフェクトのイン／アウトなどをパッチします。操作方法は、インプットチャンネル／アウトプットチャンネルとも共通です。



1 [SEL]キーを使って、インサートのパッチを設定したいインプットチャンネル／アウトプットチャンネルを選びます。

2 [φ/INSERT/DELAY]キーを繰り返し押して φ/INS/DLY 画面の INSERT ページを表示させます。



このページに表示されるパラメーターは、次のとおりです。

① POSITION フィールド

インサートパッチやコンプレッサーの挿入位置を選択します。COMP ボタン／INSERT ボタンがオンになっている位置が挿入位置として選ばれています。

② **INSERT フィールド**

- **ON/OFF ボタン** ..... インサートのオン／オフを切り替えます。
- **OUT パラメーターボックス** ..... インサートアウトの送り先となる出力端子、ADAT OUT 端子の出力チャンネル、スロットの出力チャンネル、内蔵エフェクトのインプットを選択します。
- **IN パラメーターボックス**..... インサートインの挿入元となる入力端子、ADAT IN 端子の入力チャンネル、スロットの入力チャンネル、内蔵エフェクトのアウトプットを選択します。

③ **COMP フィールド**

- **ON/OFF ボタン** ..... コンプレッサーのオン／オフを切り替えます。
- **ORDER パラメーターボックス**..... インサートパッチとコンプレッサーを同じ位置に設定したときの、信号の通過順序を設定します。“ COMP → INS ”ではコンプレッサー→インサートの順番、“ INS → COMP ”ではインサート→コンプレッサーの順番に信号が通過します。

3 OUT パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って、インサートアウトにパッチする出力端子、スロットのチャンネル、内蔵エフェクトのインプットを選択します。

表示の意味は、次のとおりです。

表示	内容
ー	割り当てなし
ADAT1 ～ ADAT8	ADAT OUT 端子の出力チャンネル 1 ～ 8
SL-01 ～ SL-16	スロットの出力チャンネル 1 ～ 16
OMNI1 ～ OMNI4	OMNI OUT 端子 1 ～ 4
2TD-L/2RD-R	2TR OUT DIGITAL 端子の L/R
FX1-1/FX1-2	内蔵エフェクト 1 のインプット 1/2
FX2-1/FX2-2	内蔵エフェクト 2 のインプット 1/2
FX3-1/FX3-2	内蔵エフェクト 3 のインプット 1/2
FX4-1/FX4-2	内蔵エフェクト 4 のインプット 1/2

4 [ENTER]キーを押して、設定内容を確定させます。

[ENTER]キーを押す前に、他のパラメーターボックスにカーソルを移動させたり、ページを切り替えた場合は、設定内容がキャンセルされます。

5 IN パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使って、インサートインにパッチする入力端子、ADAT IN 端子の入力チャンネル、スロットの入力チャンネルを選びます。

表示の意味は、インプットパッチの説明をご参照ください(→ P.124)。

6 [ENTER]キーを押して、設定内容を確定させます。

ヒント：何も選択されていない OUT/IN パラメーターボックスにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、PATCH SELECT ウィンドウが表示されます。パラメーターホイールまたはカーソルキーを使ってパッチする項目を選び、YES ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、選択項目がパッチされます。

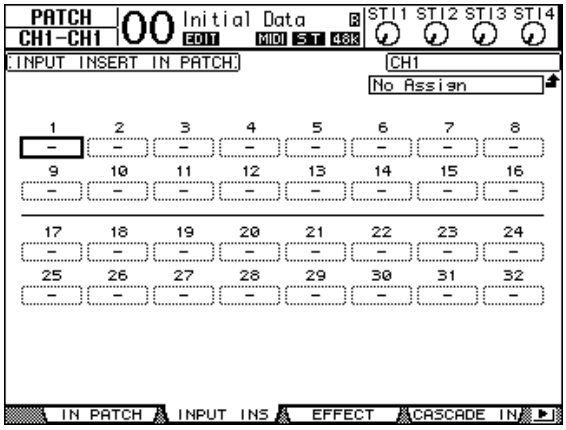
7 設定したインサートパッチを有効にするには、INSERT フィールドの ON/OFF ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押してボタンをオンに切り替えします。

インサートインのパッチを一覧／変更する

必要ならば、すべてのインプットチャンネル（またはすべてのアウトプットチャンネル）のインサートインにパッチされた項目を一覧しながら、パッチ内容を変更できます。たとえば、複数のチャンネル間でパッチ内容が重複していないかを調べたいときなどに便利です。

1 インプットチャンネルのインサートインを一覧するには、[PATCH]キーを繰り返し押して、PATCH 画面の INPUT INS ページを呼び出します。

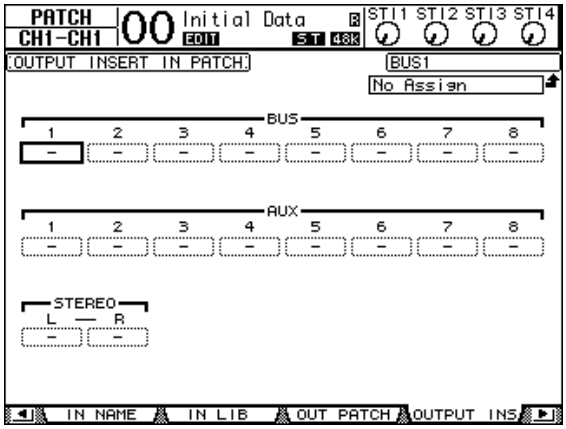
このページでは、インプットチャンネル 1 ～ 32 のインサートインのパッチを一覧できます。



2 変更したいチャンネルのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使ってパッチを変更します。

3 [ENTER]キーを押して変更内容を確定させます。

4 アウトプットチャンネルのインサートインを一覧するには、[PATCH]キーを繰り返し押して PATCH 画面 OUTPUT INS ページを表示させます。



5 変更したいチャンネルのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイール（または[INC]/[DEC]キー）を使ってパッチを変更します。

6 [ENTER]キーを押して変更内容を確定させます。

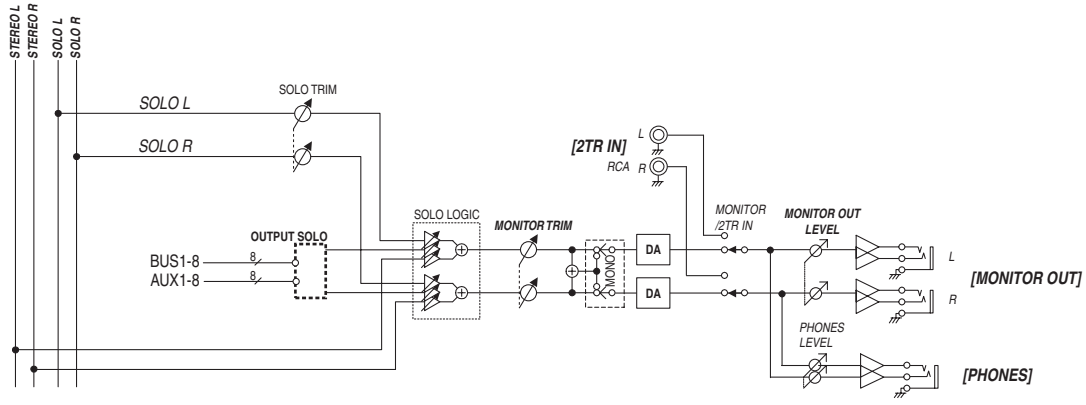
第11章 モニター

この章では、モニターの設定方法や、ソロ機能の操作方法について説明します。

モニターについて

01V96 には、モニター用信号を出力するためのステレオの信号経路として、モニターが内蔵されています。モニターの信号は、MONITOR OUT 端子 L/R、および[PHONES]端子から出力されます。

次の図は、モニターの信号の流れを表わしたものです。



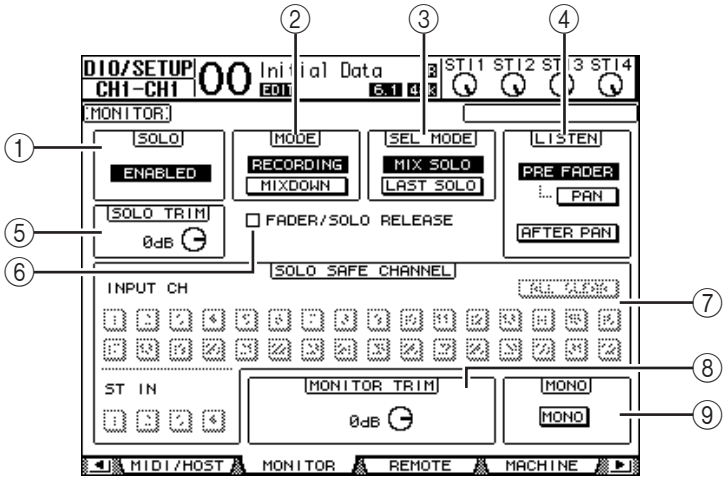
- **SOLO(ソロバス)**
  ソロに設定されたインプットチャンネルを(バス 1 ～ 8 やステレオバスは経由させずに)モニターに送るための特殊なバスです。
- **OUTPUT SOLO(アウトプットソロ)**
  ソロに設定されたアウトプットチャンネル(AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8)をモニターに送ります。

> ***ノート：インプットチャンネルとアウトプットチャンネルを同時にソロでモニターすることはできません。常に後からソロにした方が有効となります。***

- **MONITOR TRIM(モニタートリム)**
  モニターのデジタル領域での信号レベルを調節します。
- **MONITOR OUT LEVEL(モニターレベル)**
  トップパネルの MONITOR セクションにある[MONITOR OUT]コントロールを使って、モニターする信号のアナログ領域での信号レベルを調節します。
- **MONITOR/2TR IN**
  モニターソースとして 01V96 の内部信号、または 2TR IN からの入力信号を選びます。
- **PHONES(ヘッドフォン端子)**
  PHONES 端子からは、モニターと同じ信号が出力されます(ただし、音量レベルは独立しています)。

モニター／ソロの各種設定

モニターやソロの各種設定を行なうには、DISPLAY ACCESS セクションの［DIO/SETUP］キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MONITOR ページを表示させます。



画面に含まれる項目は、次のとおりです

① **SOLO フィールド**
ソロ機能のオン／オフを切り替えます。初期状態ではオン（有効）に設定されています。

② **MODE フィールド**
ソロ機能がオンのときの動作を次の 2 つの中から選択します。この設定はインプットチャンネルに対してのみ影響します。

- **RECORDING**.....ソロに設定されたインプットチャンネルの信号が、ソロバスを経由してモニターに送られます。ステレオバスやバス 1 ～ 8 に出力される信号は、影響を受けません。
- **MIXDOWN**.....ソロに設定されたインプットチャンネルの信号が、ステレオバスを経由してモニターに送られます。インプットチャンネルのソロ機能がオンの間、その他の信号はステレオバスに送られなくなります。

> ***ヒント：***
> ***・ 録音中に、特定のインプットチャンネルをモニターしたいときは、ステレオバスやバス 1 ～ 8 には影響しない RECORDING が便利です。***
> ***・ ミックスダウン時に、他のチャンネルをすべてミュートして特定のチャンネルだけをステレオバスに送りたいときは、MIXDOWN が便利です。***

③ **SEL MODE フィールド**
各チャンネルの［SOLO］キーを押したときの動作を、次の 2 つの中から選択します。

- **MIX SOLO**.....［SOLO］キーをオンしたすべてのチャンネルを同時にソロにします。
- **LAST SOLO**.....最後に［SOLO］キーが押されたチャンネルだけをソロにします。以前にソロに設定されていたチャンネルは、自動的に解除されます。

④ **LISTEN フィールド**
ソロに設定したインプットチャンネルからソロバスへ送られる信号の送出位置を、フェーダーの手前（PRE FADER）またはパンパラメーターの直後（POST PAN）から選びます。PRE FADER の場合は、その下の PAN ボタンをオンにすると、フェーダーの手

前であるにもかかわらず PAN の設定を適用した定位でソロにできます。このフィールドは、MODE フィールドで RECORDING が選ばれているときだけ有効です。

⑤ **SOLO TRIM フィールド**
ソロバスの信号レベルを－ 96dB ～＋ 12dB の範囲で調節します。

⑥ **FADER/SOLO RELEASE**
オンにすると、ソロ機能をオンにしたときにフェーダーレベルが－∞になっていたチャンネルのチャンネルフェーダーを上げると、ソロ機能を解除することができるようになります。フェーダーが－∞よりも上がっているチャンネルでは、ソロ機能はオンになりません。この機能は、MIXDOWN SOLO モードおよびアウトプットチャンネルでは機能しません。

> ***ノート：FADER/SOLO RELEASE をオンにすると、一旦ソロ設定が解除されます。***

⑦ **SOLO SAFE CHANNEL フィールド**
MODE フィールドで MIXDOWN が選ばれているときに、ソロ機能から除外するインプットチャンネルを選択します（ソロセーフ機能）。ボタンをオンに設定したインプットチャンネルの信号は、ソロのオン／オフにかかわらず、常にステレオバスに送られます。また、ALL CLEAR ボタンをオンにすると、すべてのインプットチャンネルのソロセーフが解除されます。

> ***ヒント：たとえば、内蔵エフェクトのリターン信号をソロセーフに設定しておけば、ソロの信号を常にエフェクトをかけた状態でモニターできます。***

⑧ **MONITOR TRIM フィールド**
モニターの信号レベルを－ 96dB ～＋ 12dB の範囲で調節します。

⑨ **MONO フィールド**
このボタンをオンにすると、モニターからの出力信号がモノラルになります。

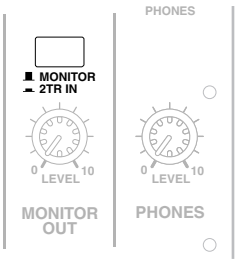
モニターを利用する

1 MONITOR OUT 端子にモニターシステムを接続します。

なお、ヘッドフォンでモニターする場合は、PHONES 端子にヘッドフォンを接続してください。

2 MONITOR セクションのモニターソース選択スイッチを使って、モニターするソースを選びます。

01V96 内部の信号をモニターしたいときはスイッチを押し上げ、2TR IN 端子からの入力信号をモニターしたいときはスイッチを押し込みます。



3 音源を鳴らしながら、MONITOR セクションの［MONITOR LEVEL］コントロールでモニターレベルを調節します。

ヘッドフォンでモニターする場合は、［PHONES LEVEL］コントロールを使ってモニターレベルを調節してください。

ソロ機能を利用する

トップパネルの[SOLO]キーを使って、任意のインプットチャンネルまたはアウトプットチャンネル（AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8）の信号をソロでモニターします。

1 [DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MONITOR ページを表示させます。

2 SOLO フィールドがオンに設定されていることを確認します。

必要に応じて、その他のパラメーターも設定してください。

3 インプットチャンネルをソロでモニターするには、LAYER セクションのキーでそのチャンネルを含むレイヤーを呼び出し、対応する[SOLO]キーを押します。

[SOLO]キーと、SOLO セクションの[SOLO]インジケーターが点灯し、そのインプットチャンネルの信号だけがモニターに送られます。

> ***ヒント：DIO/SETUP 画面の MONITOR ページで、SEL MODE フィールドが MIX SOLO に設定されていれば、同時に複数のチャンネルをソロにできます。***

4 アウトプットチャンネルをソロでモニターするには、LAYER セクションの[MASTER]キーを押し、対応する[SOLO]キーを押します。

インプットチャンネルとアウトプットチャンネル（AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8）を同時にソロでモニターすることはできません。片方がソロのときにもう一方をソロに設定すると、先に設定されていたソロが解除されて後から設定されたソロが有効となります。

あとから設定されたソロがインプットソロだった場合、インプットソロを解除すると再びアウトプットソロが有効になります。

5 ソロを解除するには、点灯しているすべての[SOLO]キーを押して消灯させます。

SOLO セクションの[CLEAR]キーを使えば、現在オンに設定されているすべてのチャンネルのソロを解除できます。

第12章 サラウンドパン

この章では、インプットチャンネルの信号を 2 次元空間に定位させるサラウンドパンについて説明します。

サラウンドパンについて

サラウンドパンとは、マルチチャンネルの再生システムを使って、音像を 2 次元空間に定位させたり、リスニングポイントを中心に音像を前後左右に移動させる機能です。音像の移動には、パラメーターホイール、[INC]/[DEC]キーが利用できます。また、サラウンドパンの設定をシーンの一部としてストアすることも可能です。

各インプットチャンネルのフォローパン（→ P.92）がオフの場合は、サラウンドパンの設定を無視して該当するバスへ出力することができます。サラウンドソースやサラウンドエフェクトの戻りなどをバスにアサインする場合に便利です。

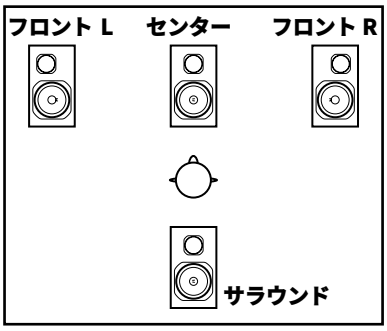
また、プリファレンス設定の Nominal Pan（→ P.231）をオンにした場合はいずれかのチャンネルを一杯に振ったレベルがノミナルレベルに、オフの場合は＋ 3dB になります。

ノート：ファームウェア V2.0 より前の 01V96 でフォローパン機能をオフにしてシーンをセーブした場合は、サラウンドが正しく再現されないことがあります。

01V96 は通常の STEREO モード以外に、次の 3 種類のサラウンドモードに対応しています。

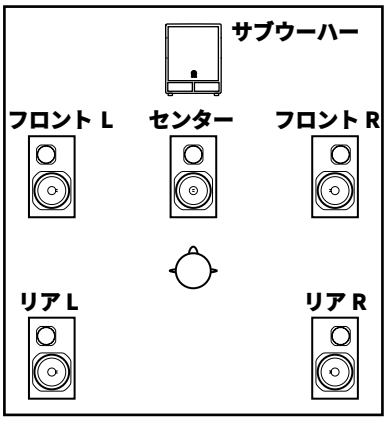
- **3-1**

  左右フロント、フロントセンター、リアの 4 チャンネルを使用するモードです。

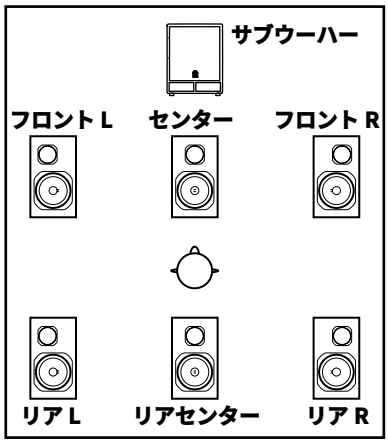


- **5.1**

  左右フロント、左右リア、フロントセンター、サブウーハーの 6 チャンネルを使用するモードです。



- **6.1**
  5.1 にリアセンターを加えた 7 チャンネルを使用するモードです。



以上 3 種類のサラウンドモードのいずれかに切り替えると、サラウンドの各チャンネルが DIO/SETUP 画面の SURR BUS ページで設定されたバスアウトとして出力されます(→P.140)。次の表は、工場出荷時に設定されているサラウンドモードごとのサラウンドチャンネルとバスアウトの対応を表したものです。

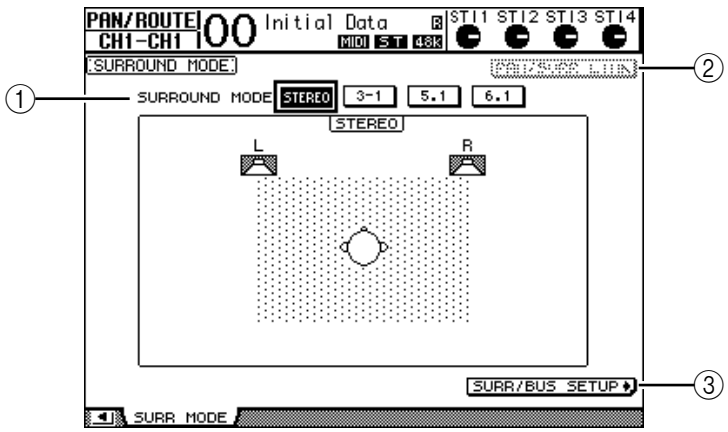
モード	BUS1	BUS2	BUS3	BUS4	BUS5	BUS6	BUS7
3-1	L	R	C	S	—	—	—
	フロント左	フロント右	センター	サラウンド			
5.1	L	R	Ls	Rs	C	LFE	—
	フロント左	フロント右	リア左	リア右	センター	サブウーハー	
6.1	L	R	Ls	Rs	C	Bs	LFE
	フロント左	フロント右	リア左	リア右	センター	リアセンター	サブウーハー

ヒント：サラウンドパンは、通常のパンとは独立させて設定したり、パンの設定に連動させたりすることができます。

サラウンドモードのセットアップと接続

ここでは、01V96 のサラウンドモードを 3-1、5.1、6.1 のいずれかに切り替え、各サラウンドチャンネルの信号をデジタル MTR やマルチチャンネルのモニターシステムへと送る方法について説明します。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押して、PAN/ROUTE 画面の SURR MODE ページを表示させます。



① **SURROUND MODE フィールド**
01V96 の動作を次のボタンを使って切り替えます。オンになっているボタンが現在設定されているサラウンドモードを表します。

- **STEREO ボタン**..... 01V96 を通常のステレオ仕様で利用します（初期設定）。
- **3-1 ボタン**..... 3-1 サラウンドモードに切り替えます。
- **5.1 ボタン** ..... 5.1 サラウンドモードに切り替えます。
- **6.1 ボタン** ..... 6.1 サラウンドモードに切り替えます。

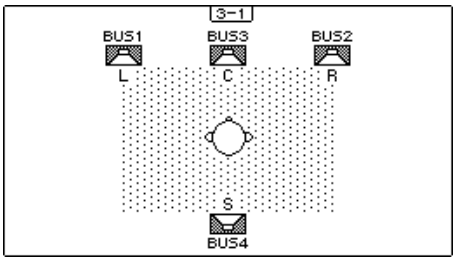
② **PAN/SURR LINK ボタン**
このボタンをオンにすると、インプットチャンネルのパンとサラウンドパンの左右の動きが連動します。

③ **SURR/BUS SETUP ボタン**
サラウンドの各チャンネルに割り当てられるバスを変更する SURR/BUS SETUP ページを表示します。

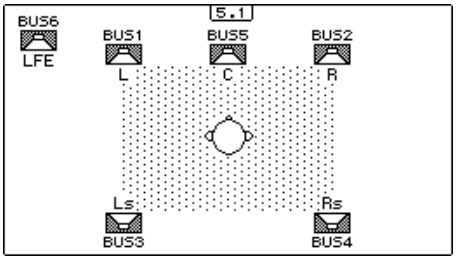
2 利用したいサラウンドモードのボタンにカーソルを合わせます。

いずれかのボタンにカーソルを合わせると、モードごとの典型的なリスニングポイントと、各サラウンドチャンネルに対するバスアウトの対応を示すスピーカーのアイコンが表示されます。

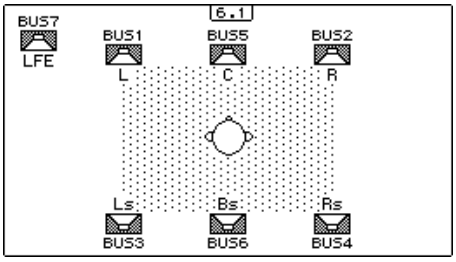
- **3-1サラウンド**



- **5.1サラウンド**



- **6.1サラウンド**



3 [ENTER]キーを押します。

サラウンドモードの切り替えを確認するポップアップウィンドウが表示されます。

4 YES ボタンにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押します。

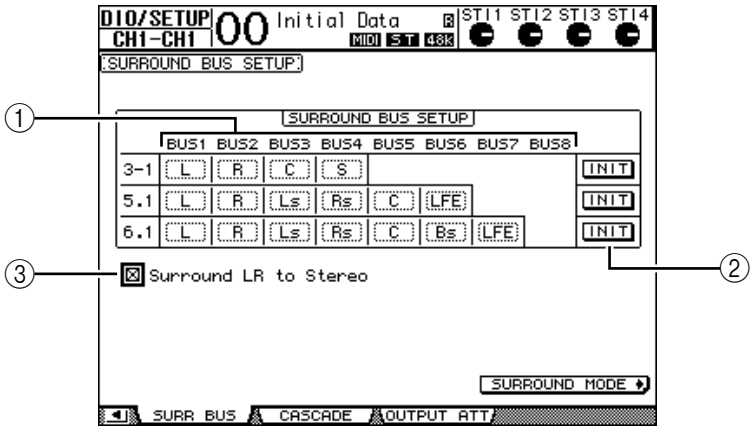
01V96 が選択したサラウンドモードに切り替わります。

5 インプットチャンネルのパンとサラウンドパンの左右の動きを連動させたいときは、PAN/SURR LINK ボタンにカーソルをあわせて [ENTER] キーを押します。

PAN/SURR LINK ボタンがオンのときは、インプットチャンネルのパンを調節すると、サラウンドパンの左右の動きがそれに連動します（逆も同様です）。

6 バスアウトに割り当てるサラウンドのチャンネルを変更したいときは、SURR/BUS SETUP ボタンにカーソルを合わせて [ENTER]キーを押します。

DIO/SETUP 画面の SURR BUS ページが表示されます。



① **BUS1 ～ BUS8 フィールド**

3-1/5.1/6.1 の各モードで、バスに割り当てられるチャンネルを設定します。

② **INIT ボタン**

チャンネルの割り当てを初期状態に戻します。

③ **Surround LR to Stereo**

このチェックボックスをオンにすると、サラウンドチャンネルのフロント L/R の信号が、STEREO 端子 L/R から出力されます。

7　割り当てを変更するには、バスごとのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回してチャンネルを選び、[ENTER]キーを押します。

新しくチャンネルを選んだバスと、それまで該当するチャンネルを割り当てていたバスとの間で、チャンネルが入れ替わります。

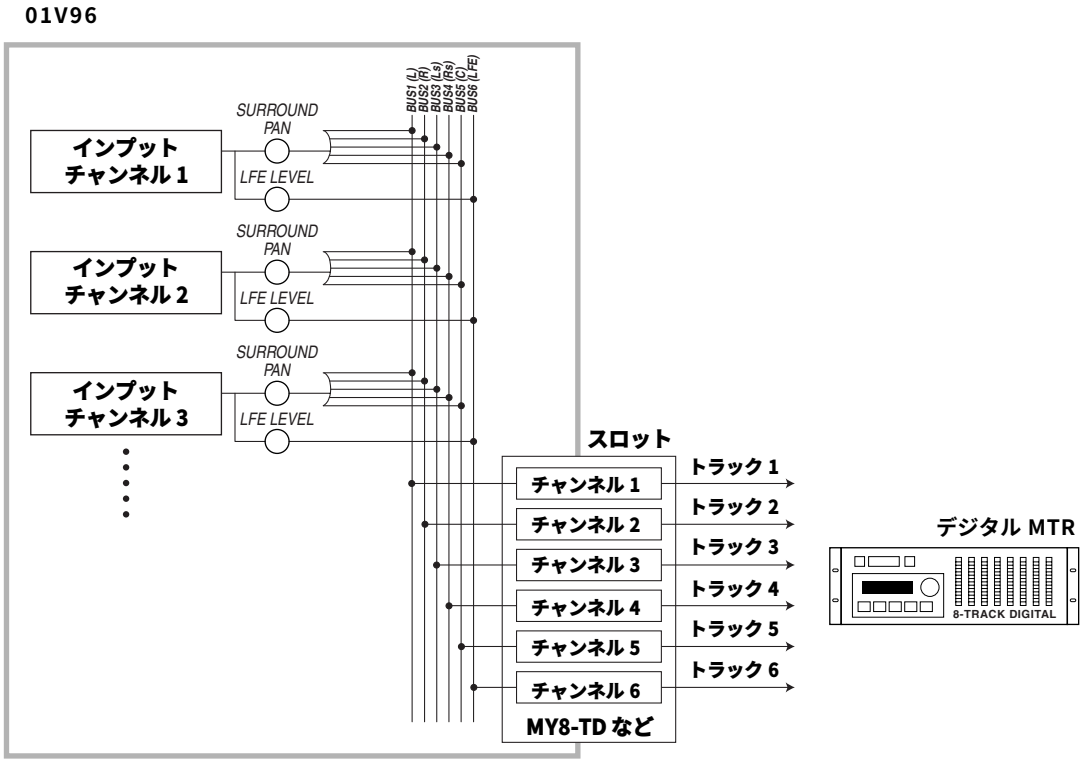
> ***ヒント：***
> - ***SURR BUS ページは、DISPLAY ACCESS セクションの[SETUP]キーを繰り返し押して表示させることもできます。***
> - ***使用可能なバスアウトは、サラウンドモードごとに固定されています。サラウンドモードが 3-1 のときはバス 1 ～ 4 が、5.1 のときはバス 1 ～ 6 が、6.1 のときはバス 1 ～ 7 が使用できます。***

8　選択したサラウンドモードや用途に応じて、バスアウトを出力端子、ADAT OUT 端子の出力チャンネル、スロットの出力チャンネルにパッチします。また、再生装置や MTR を出力端子に接続します。

■ サラウンドパンの操作を録音する場合

サラウンドパンの動きをデジタル MTR に録音するには、対応するバスアウトを ADAT OUT 端子の出力チャンネルやスロットの出力チャンネルにパッチして、ADAT OUT 端子／スロットを経由してデジタル MTR のトラックに送ります。

次の図は、サラウンドモードが 5.1 チャンネルのときに、各チャンネルの信号をデジタル MTR に録音する場合の接続例です。

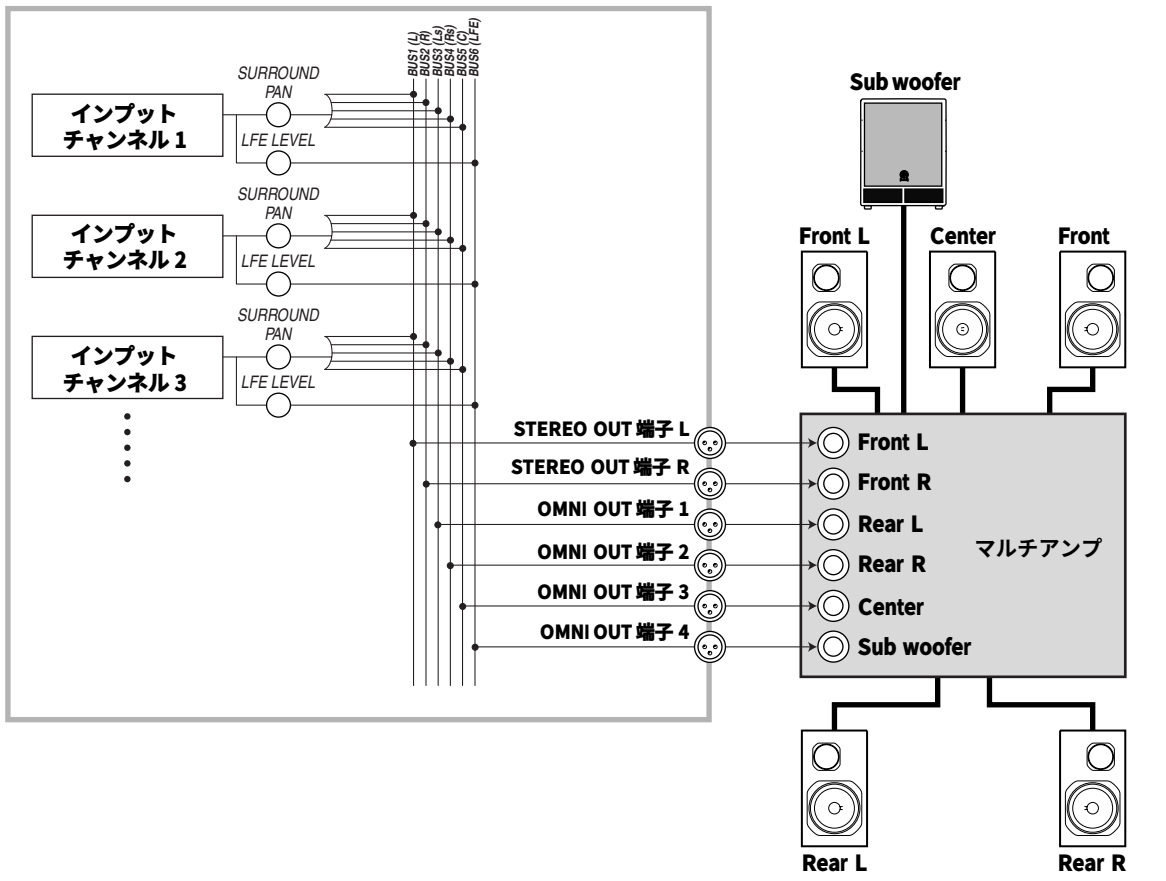


■ サラウンドパンの動きをモニターする場合

サラウンドパンの効果をモニターするには、対応するバスアウトをアナログ出力端子にパッチして、出力端子に再生システムに接続します。

次の図はサラウンドモードが 5.1 のときの接続例です。この例では、バスアウト 1/2（フロント L/R）の信号を STEREO OUT 端子 L/R、バスアウト 3 ～ 6 の信号を OMNI OUT 端子 1 ～ 4 から出力しています。

01V96



ヒント：サラウンドチャンネルのフロント L/R 信号を STEREO OUT 端子 L/R から出力するには、SURR BUS ページの Surround LR to Stereo チェックボックスをオンに設定します。

サラウンドパンを操作する

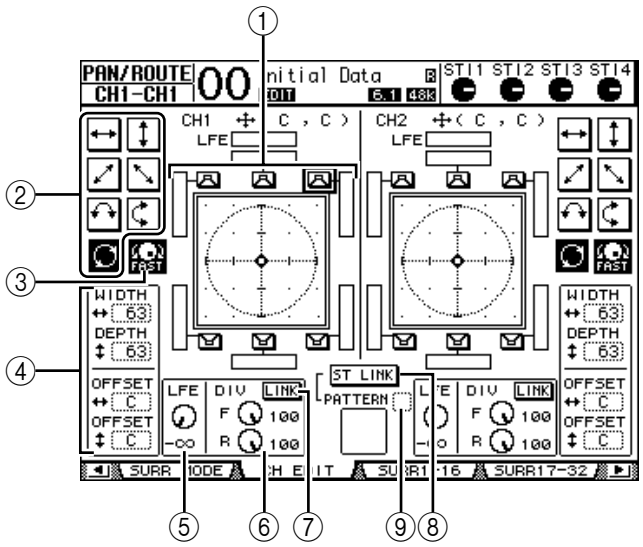
インプットチャンネルごとのサラウンドパンの値を操作します。

1 STEREO 以外のサラウンドモードが選ばれていることを確認し、サラウンドパンを設定したいチャンネルの[SEL]キーを押します。

2 DISPLAY ACCESS セクションの[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押して PAN/ROUTE 画面の CH EDIT ページを表示させます。

CH EDIT ページには、選択したインプットチャンネル、およびそのチャンネルとペアに設定可能なチャンネルのサラウンドパンの設定が表示されます。

次の画面は、サラウンドモードが 6.1 のときの表示です。



ページ内の各項目の内容は次のとおりです。

① **サラウンドパン表示**

リスニングポイントを中心とした 2 次元空間での定位を表わします。現在の定位は◆マークで表示されます。また、周辺に表示される ▭ にカーソルを合わせて[ENTER]キーを押せば、そのマークの位置に◆マークが移動します。

② **軌道パターン**

パラメーターホイールや[INC]/[DEC]キーを操作したときに、サラウンドパンが移動する軌道を選択します。

③ **FAST ボタン**

このボタンをオンにすると、パラメーターホイールを回したときに音像の移動速度が速くなります。

④ **軌道パターンパラメーター**

サラウンドパンの軌道パターンを微調節します。

- **WIDTH ↔ パラメーターボックス**.....選択した軌道パターンの左右の幅を調節します。
- **DEPTH ↕ パラメーターボックス**.....選択した軌道パターンの前後の幅を調節します。
- **OFFSET ↔ パラメーターボックス**.....選択した軌道パターンを左右にシフトします。
- **OFFSET ↕ パラメーターボックス**.....選択した軌道パターンを前後にシフトします。

⑤ **LFE ノブ**

サブウーハー用の信号を送り出す LFE(Low Frequency Effect)チャンネルの信号レベルを調節します。このノブは、サラウンドモードが 5.1/6.1 のときに表示されます。

⑥ **F/R ノブ**
これらのノブは、サラウンドモードが 6.1 のときにだけ表示されます。F ノブではフロントセンターの信号を左右のチャンネルに配分する割合、R ノブでは後部サラウンドチャンネルの信号を左右のサラウンドチャンネルに配分する割合がそれぞれ調節できます。

⑥ **DIV ノブ**
サラウンドモードが 3-1/5.1 のときは、F/R ノブの代わりにこのノブが表示されます。DIV ノブは、中央に定位させた信号を、センターバスと左右のバスに配分する割合を 0 ～ 100%の範囲で設定します。設定値を 100 にするとセンターバスだけ、0 のときは左右のバスだけに出力されます。また、50 にするとセンターと左右のバスに同じレベルで出力されます。

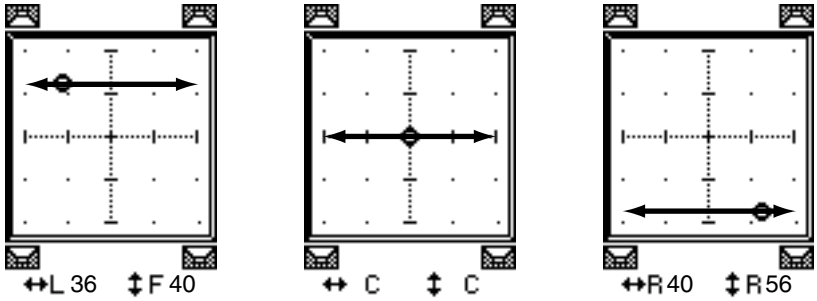
⑦ **LINK ボタン**
このノブは、サラウンドモードが 6.1 のときにだけ表示されます。このボタンをオンにすると、F/R ノブが同じ値に設定され、それ以後の動作が連動します。

⑧ **ST LINK ボタン**
このボタンをオンにすると、現在ディスプレイに表示されている 2 チャンネルのサラウンドパンの設定値が連動します（ステレオリンク機能）。ステレオリンクは、チャンネル同士のペアとは独立させて設定できます。

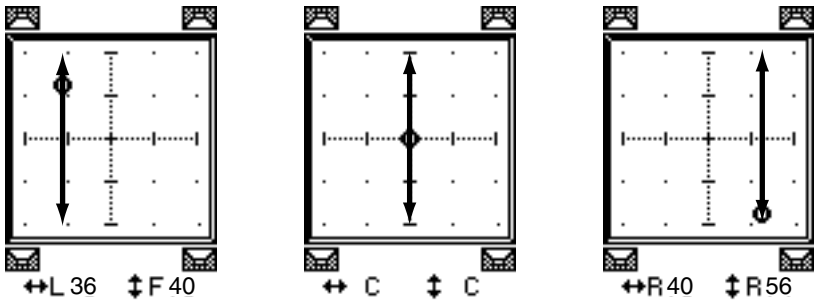
⑨ **PATTERN パラメーターボックス**
ステレオリンクされている 2 チャンネルのうち、片方のサラウンドパンを操作したときにもう一方がどのように変化するかを選択します。

3 7 種類の軌道パターンの中から 1 つを選び、対応するボタンをオンにします。
各軌道パターンの内容は次のとおりです。

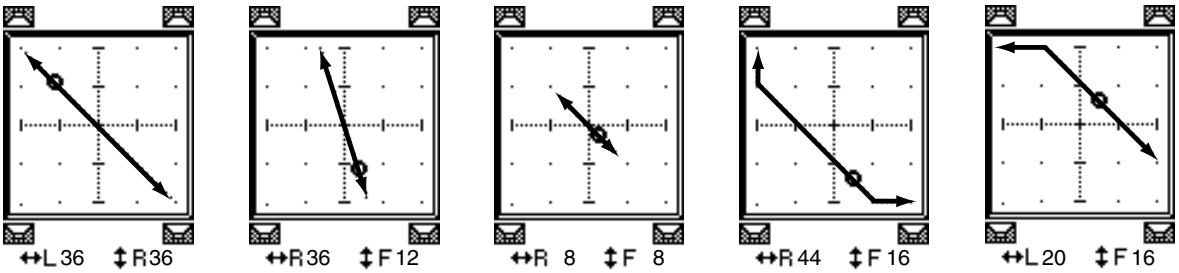
- ↔ .....音像が左右方向に移動します。



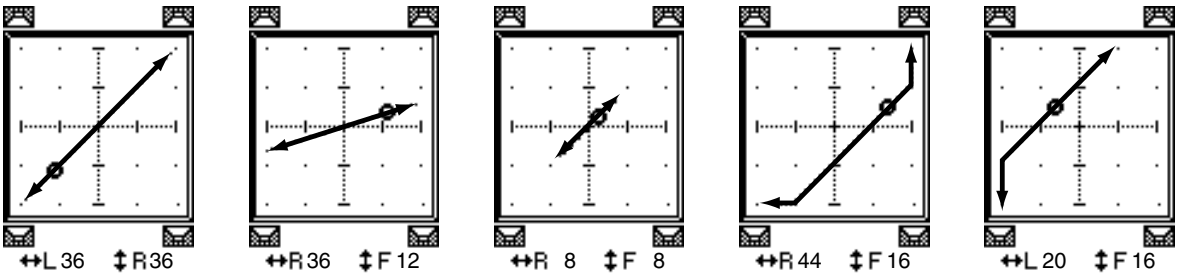
- ↕ .....音像が前後方向に移動します。



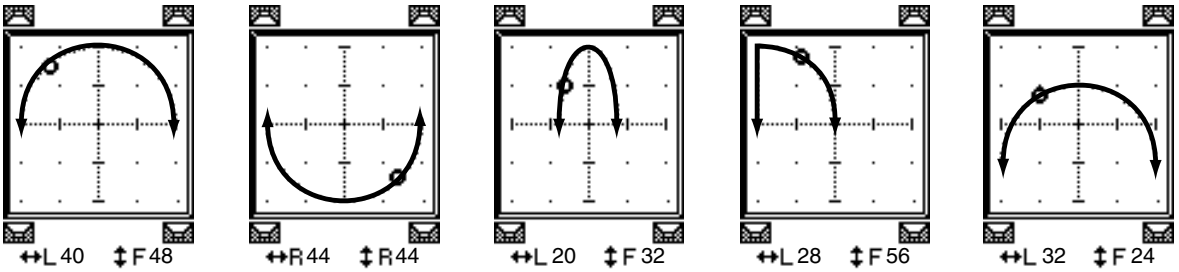
- ↘ ..... 音像が左前方から右後方へと移動します。この軌道を選んだときは、WIDTH/DEPTH/OFFSET ↕ /OFFSET ↔ パラメーターを設定して軌道を微調節できます。



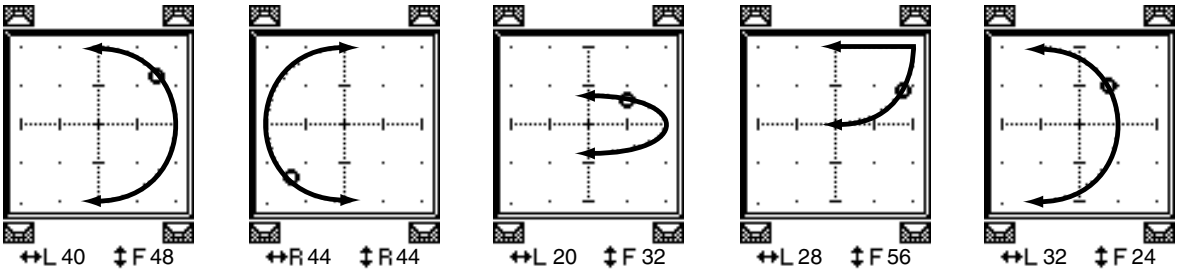
- ↗ ..... 音像が右前方から左後方へと移動します。この軌道を選んだときは、WIDTH/DEPTH/OFFSET ↕ /OFFSET ↔ パラメーターを設定して軌道を微調節できます。



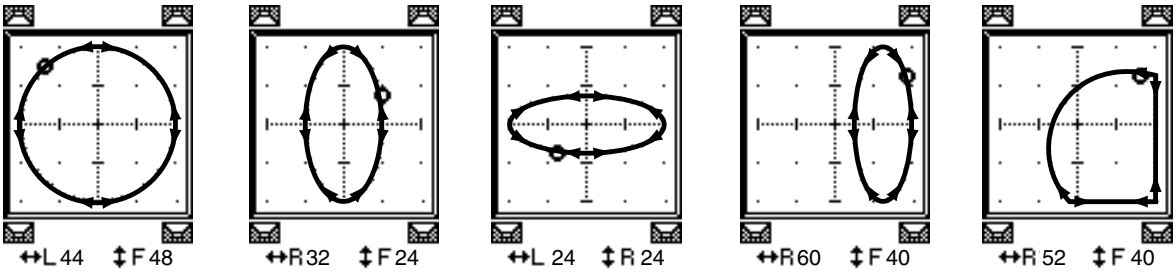
- ↶ ..... 音像が左右に半円を描きながら移動します。この軌道を選んだときは、WIDTH/DEPTH/OFFSET ↕ /OFFSET ↔ パラメーターを設定して、半円の大きさや形を微調節できます。



・ ..... 音像が前後に半円を描きながら移動します。この軌道を選んだときは、WIDTH/DEPTH/OFFSET ↕ /OFFSET ↔ パラメーターを設定して半円の大きさや形を微調節できます。



・ ..... 音像が円を描きながら移動します。この軌道を選んだときは、WIDTH/DEPTH/OFFSET ↕ /OFFSET ↔ パラメーターを設定して円の大きさや形を微調節できます。



4 必要に応じて、WIDTH/DEPTH/OFFSET ↕ /OFFSET ↔ パラメーターボックスの設定値を変更し、軌道を微調節します。

5 音像を移動させるには、音像パラメーター以外の位置にカーソルを移動し、パラメーターホイールを回します。

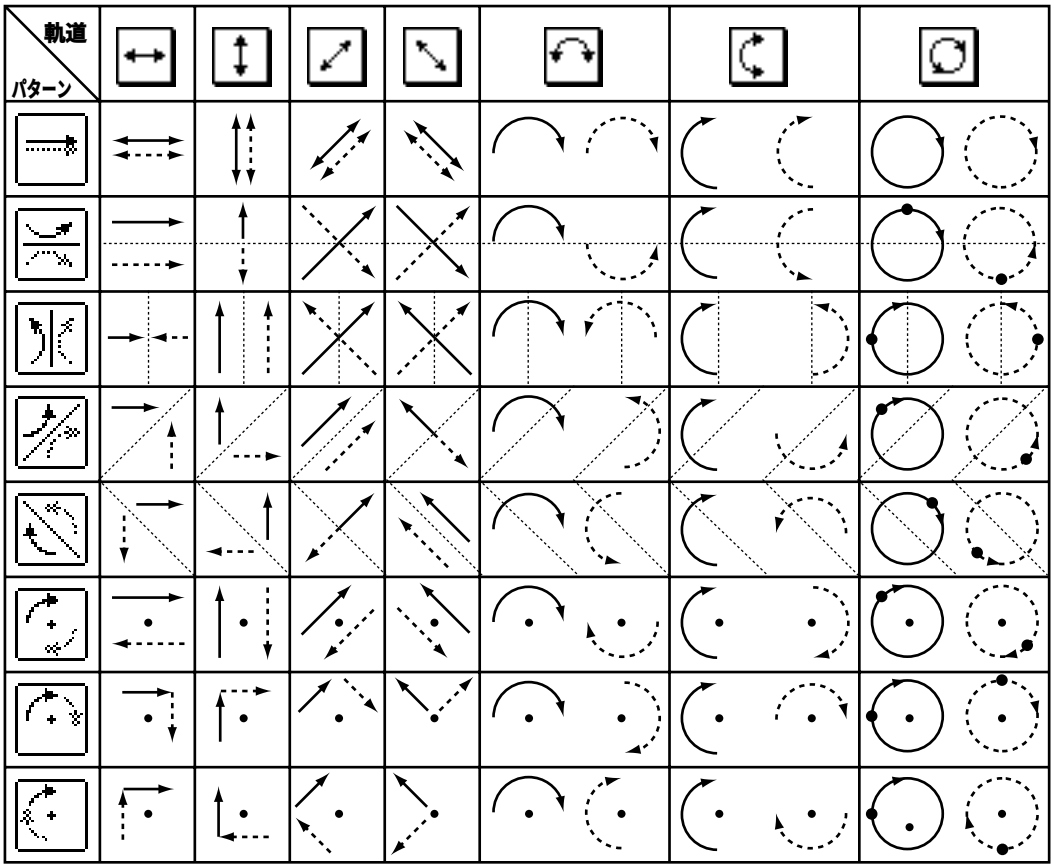
そのチャンネルの音像が、選んだ軌道パターンに沿って移動します。

> ***ヒント：MIDI コントロールチェンジにサラウンドパラメーターを割り当てれば、前後／左右の動きや、軌道パターンのパラメーターなどを外部 MIDI 機器から操作できます(→ P.222)。***

6 ディスプレイに表示されている 2 つのチャンネルのサラウンドパンを連動させるには、ST LINK ボタンをオンにします。

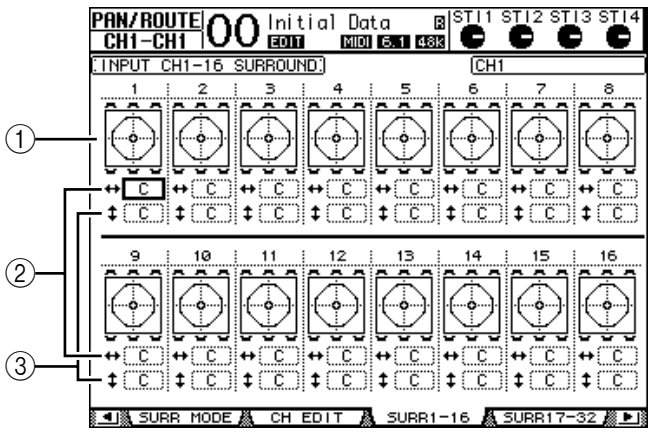
ステレオリンクをオンにしたときの動作は、ST LINK ボタン下の PATTERN パラメーターボックスで選択できます。

次の表は軌道パターンとステレオリンクのパターンの組み合わせによって作られる動きを表したものです。**実線が一方のチャンネル、点線がもう一方のチャンネル**の動きを表します。



7　複数チャンネルのサラウンドパンを一覧表示させるには、[PAN/ROUTING]キーを繰り返し押して、PAN/ROUTE 画面の SURR1-16/SURR17-32/SURR ST IN ページを呼び出します。

これらのページでは、複数チャンネルを一覧しながらサラウンドパンの表示／変更を行ないます。



① **サラウンドパン表示**
インプットチャンネルの軌道パターンや現在の定位が表示されます。

② **↔パラメーターボックス**
そのチャンネルのサラウンドパンの設定を左右方向に移動させます。

③ ‡ **パラメーターボックス**
そのチャンネルのサラウンドパンの設定を前後方向に移動させます。

8 上記のページで各チャンネルの音像を移動させるには、目的のチャンネルにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回します。

軌道パターンに沿ってそのチャンネルのサラウンドパンが変化します。また、[ENTER]キーを押すと、そのチャンネルの CH EDIT ページが表示できます。

第13章 グループ／リンク

この章では、複数のチャンネル間でフェーダーや[ON]キーの操作をグループ化したり、EQ／コンプレッサーのパラメーターを連動させたりする方法について説明します。

グループ／リンクについて

01V96 では、複数のインプットチャンネル同士（インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4）、または複数のアウトプットチャンネル同士（バスアウト 1 ～ 8 ／ AUX アウト 1 ～ 8 ／ステレオアウト）で、フェーダーや[ON]キーの操作をグループ化したり、EQ やコンプレッサーの設定値を連動させたりできます。

インプットチャンネル同士／アウトプットチャンネル同士で利用できるグループ／リンクには、次の種類があります。

- **フェーダーグループ**

  インプットチャンネル同士、またはアウトプットチャンネル同士でフェーダー（およびレベルコントロール）の操作をグループ化します。インプットチャンネルでは 8 種類のグループ、アウトプットチャンネルでは 4 種類のグループが利用できます。グループに登録されたいずれかのチャンネルのフェーダー／レベルコントロールを操作するだけで、残りのチャンネルのフェーダー／レベルコントロールも、現在のレベル比を保ったまま連動します。

  また、グループマスターレベルを使って各チャンネルの設定のバランスを保ったまま一括してレベルをコントロールするフェーダーグループマスター機能も利用できます。

- **ミュートグループ**

  インプットチャンネル同士、またはアウトプットチャンネル同士で[ON]キーの操作をグループ化します。インプットチャンネルでは 8 種類のグループ、アウトプットチャンネルでは 4 種類のグループが利用できます。グループに登録されたチャンネルの[ON]キーを押すと、そのグループのすべてのチャンネルで[ON]キーのオン／オフが切り替わります。同じグループ内に、オンのチャンネルとオフのチャンネルを混在させ、交互に切り替えることも可能です。

  また、マススイッチを使って一括してミュートを行なうミュートグループマスター機能も利用できます。

- **EQ リンク**

  インプットチャンネル同士、またはアウトプットチャンネル同士で、EQ のパラメーターを連動させます。インプットチャンネル／アウトプットチャンネルでそれぞれ 4 種類の EQ リンクが利用できます。

  同じ EQ リンクに登録されたチャンネル同士では、EQ のパラメーターの設定が共通となります。また、EQ リンクに属するいずれかのチャンネルで EQ のパラメーターを変化させると、残りのチャンネルもそれに追従します。

- **コンプレッサーリンク**

  インプットチャンネル同士、またはアウトプットチャンネル同士で、コンプレッサーのパラメーターを連動させます。インプットチャンネル／アウトプットチャンネルでそれぞれ 4 種類のコンプレッサーリンクが利用できます。

  同じコンプレッサーリンクに登録されたチャンネル同士は、コンプレッサーのパラメーターの設定が共通となります。また、コンプレッサーリンクに属するチャンネルでコンプレッサーのパラメーターを変化させると、残りのチャンネルもそれに追従します。

> ***ヒント：ST IN チャンネルにはコンプレッサーがないため、この機能は利用できません。***

フェーダーグループ／ミュートグループを利用する

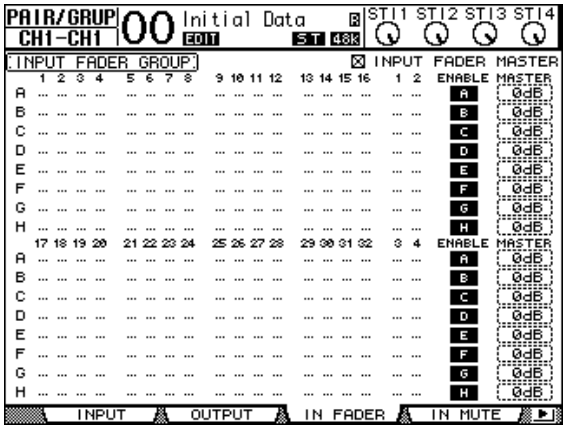
インプットチャンネルまたはアウトプットチャンネルのフェーダーや[ON]キーの操作をグループ化します。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PAIR/GROUP]キーを繰り返し押し、利用したいグループとチャンネルに応じて、次のページのいずれかを表示させます。

- **IN FADER ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 のフェーダーグループ(A ～ H)を設定します。

- **OUT FADER ページ**
  バスアウト 1 ～ 8 ／ AUX アウト 1 ～ 8 ／ステレオアウトのフェーダーグループ(Q ～ T)を設定します。

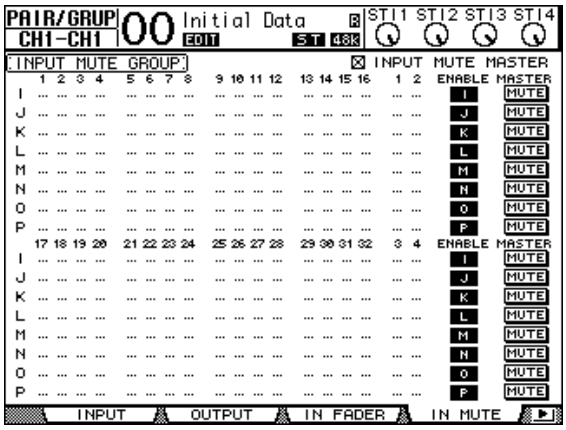
・IN FADER のページ



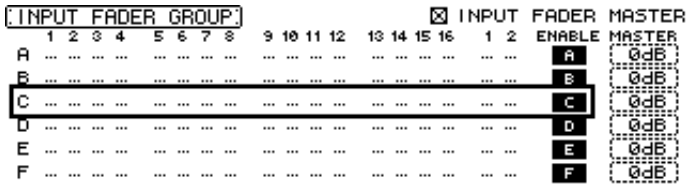
- **IN MUTE ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 のミュートグループ(I ～ P)を設定します。

- **OUT MUTE ページ**
  バスアウト 1 ～ 8 ／ AUX アウト 1 ～ 8 ／ステレオアウトのミュートグループ(U ～ X)を設定します。

・IN MUTE のページ



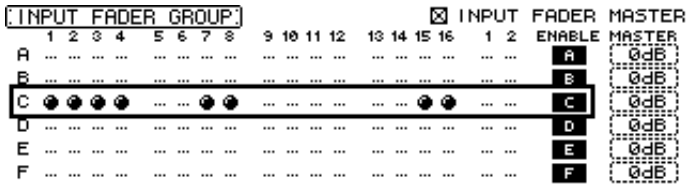
2 カーソル[▲]/[▼]キーを使って、チャンネルを登録するグループを選びます。



3 そのグループに割り当てたいチャンネルの[SEL]キーを押します。

画面内の該当するチャンネルの位置に● マークが表示され、そのチャンネルがグループに追加されます。

フェーダーグループ C にインプットチャンネル 1 ～ 4、7、8、15、16 が追加された例:



ヒント:
- ***ペアに設定したチャンネルの一方のチャンネルをグループに追加すると、もう一方のチャンネルも自動的にそのグループに追加されます。***
- ***グループの設定中にレイヤーを切り替えて、他のレイヤーに含まれるチャンネルを選択することもできます。***

4 同じ要領で、グループに登録したいすべてのチャンネルの[SEL]キーを押します。

フェーダーグループでは、各チャンネルを登録したときのフェーダーの位置に応じて、チャンネル間のレベル比が決まります。

ミュートグループでは、各チャンネルを登録したときの[ON]キーの状態に応じて、オン／オフの組み合わせが決まります。

5 グループの有効／無効を切り替えるには、ENABLE ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

ENABLE ボタンがオフのときは、該当するグループが一時的に解除されます。

6 フェーダーグループを利用するには、グループに属するいずれかのチャンネルで、フェーダー／レベルコントロールを操作します。

ノート:
- ***上記の画面でグループに登録されたチャンネルごとのレベル比を変更したいときは、一度 ENABLE ボタンをオフにするか、該当するチャンネルをグループから除外してください。***
- ***その他の画面では、[SEL]キーを押し続けることでチャンネルのフェーダー／レベルコントロールを一時的にグループから除外できますので、その間にレベル比を変更してください。***

7 ミュートグループを利用するには、グループ化された[ON]キーをいずれか 1 つ押します。

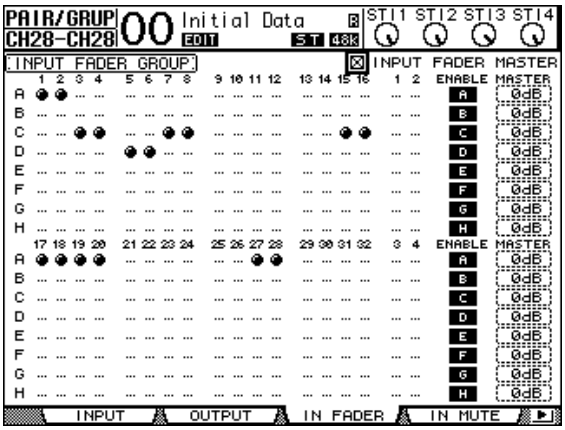
そのグループに属するすべてのチャンネルのオン／オフが切り替わります。

ノート:
- ***ミュートグループが有効の間は、チャンネルのオン／オフの組み合わせは変更できません。***
- ***グループに登録した後で、オン／オフの組み合わせを変更したいときは、一度 ENABLE ボタンをオフにするか、該当するチャンネルをグループから除外してください。***

フェーダーグループマスターを利用する

各チャンネルのフェーダー動作が連動するフェーダーグループの機能に加えて、アナログミキサーの VCA グループのように、グループマスターレベルを使って各チャンネルの設定のバランスを保ったまま一括してレベルをコントロールするフェーダーグループマスター機能を持っています。この機能が有効な場合は、各チャンネルのフェーダーはグループ連動しなくなります。

1 前述の「フェーダーグループ／ミュートグループを利用する」(→ P.150)の手順 5 に続いて、カーソルキーで[INPUT FADER MASTER]ボタンまたは[OUTPUT FADER MASTER]ボタンを選択し、[ENTER]キーを押してフェーダーグループマスター機能をオンにします。

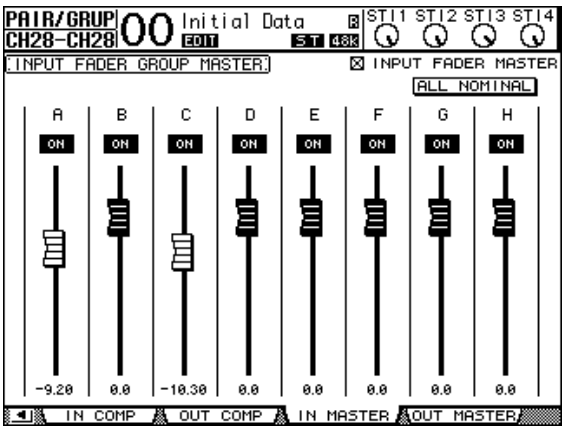


2 フェーダーグループマスターがオンの場合、各グループの MASTER 欄でグループ内のチャンネルのレベルを設定します。

また、MASTER 欄で[ENTER]キーを押すと、各フェーダーグループのオン／オフができます。

これらの設定は、以下のように IN MASTER ページまたは OUT MASTER ページでも行なうことができます。

3 DISPLAY ACCESS セクションの[GROUP]キーを繰り返し押し、GROUP 画面の IN MASTER ページまたは OUT MASTER ページを表示させます。



4 カーソルでパラメーターを選択し、パラメーターホイール、[INC]/[DEC]キー、[ENTER]キーで設定します。

- **INPUT/OUTPUT FADER MASTER**..... この設定をオンにすると、フェーダーグループのマスターレベルを設定することができます。実際のチャンネルのレベルは、各チャンネルのフェーダーレベルとこのグループマスターレベルを足した値になります。
- **ALL NOMINAL**..... すべてのフェーダーグループのマスターレベルをノミナルレベルに設定します。
- **ON/OFF**..... 各インプットフェーダーグループをオン／オフします。アナログミキサーの VCA ミュートのような動作です。
- **フェーダー**..... 各フェーダーグループのマスターレベルを設定するフェーダーです。フェーダーを 0.0dB に設定すると、フェーダーノブのアイコンが反転表示されます。[ENTER]キーを押すと、選択中のフェーダーが 0.0dB に設定されます。

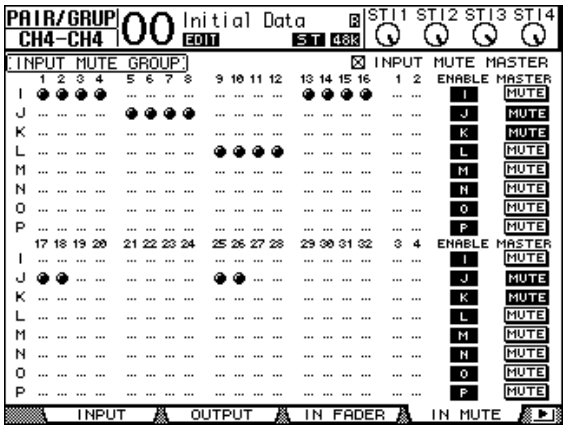
また、リモートレイヤーの USER ASSIGNABLE LAYER を使用することによって、以下のようにトップパネルのチャンネルモジュールでコントロールすることもできます。USER ASSIGNABLE LAYER についての詳細は、P.233 をご参照ください。

- **[SEL]キー**..... IN MASTER ページまたは OUT MASTER ページで、カーソルを移動させます。
- **[SOLO]キー**..... 各フェーダーグループのソロ機能をオン／オフします。各グループのチャンネルを一括してモニターすることができます。
- **チャンネルフェーダー**... 各フェーダーグループのマスターレベルを設定できます。

ミュートグループマスターを利用する

各チャンネルの[ON]キーの動作が連動するミュートグループの機能に加えて、アナログミキサーのミュートグループのように、マスタースイッチを使って一括してミュートを行なうミュートグループマスター機能も持っています。この機能が有効な場合は、各チャンネルの[ON]キーではグループ連動しなくなります。

1 前述の「フェーダーグループ／ミュートグループを利用する」(→ P.150)の手順 5 に続いて、カーソルキーで[INPUT MUTE MASTER]ボタンまたは[OUTPUT MUTE MASTER]ボタンを選択し、[ENTER]キーを押してミュートグループマスター機能をオンにします。



2 ミュートグループマスター機能がオンの場合、各グループの[MASTER MUTE]ボタンによって、グループ内のミュートオン／オフを設定します。

ミュートマスター機能によってチャンネルがミュートされている場合は、該当チャンネルの[ON]キーインジケーターは点滅表示になります。また、[MASTER MUTE]ボタンは、ユーザー定義キーにアサインして使用すると便利です。

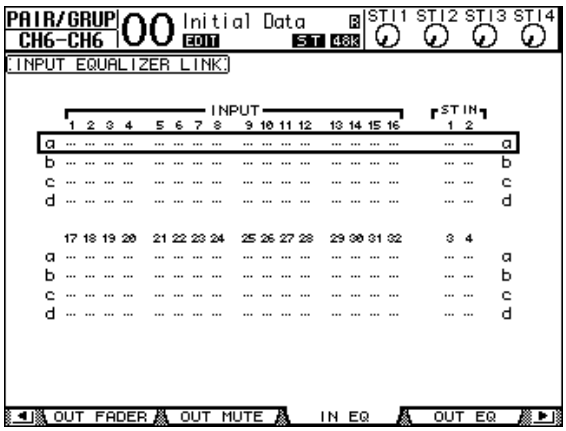
EQ リンク／コンプレッサーリンクを利用する

インプットチャンネルまたはアウトプットチャンネルの EQ ／コンプレッサーのパラメーターを連動させます。この機能を使えば、複数チャンネルの EQ ／コンプレッサーを常に同じ設定で利用できます。

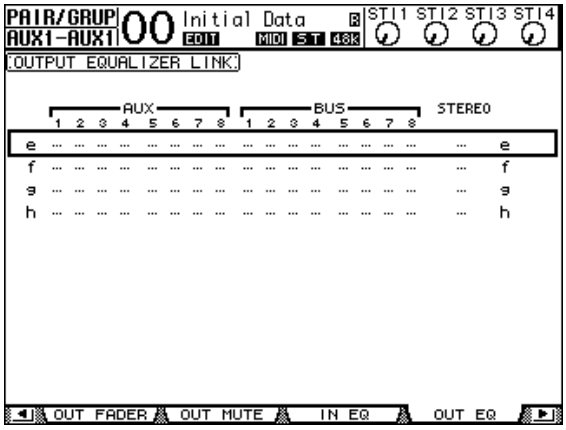
1 DISPLAY ACCESS セクションの[PAIR/GROUP]キーを繰り返し押し、次の画面のうちいずれかを表示させます。

- **IN EQ ページ**

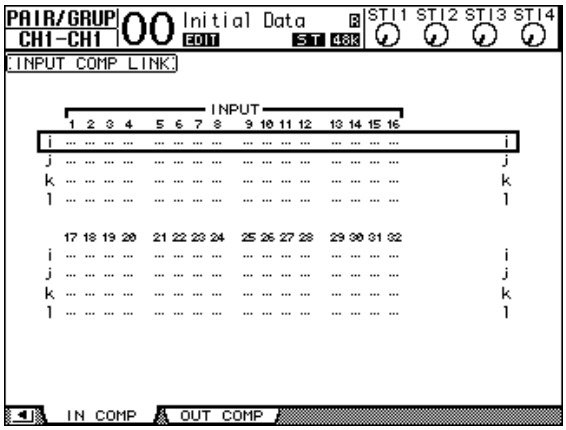
  インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 の EQ リンク(a ～ d)を設定します。



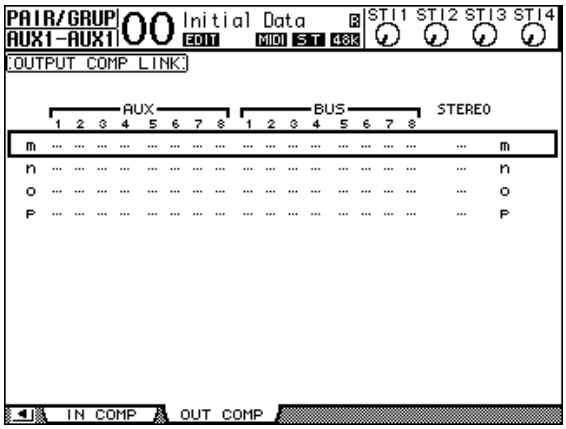
- **OUT EQ ページ**
  バスアウト 1 ～ 8 ／ AUX アウト 1 ～ 8 ／ステレオアウトの EQ リンク（e ～ h）を設定します。



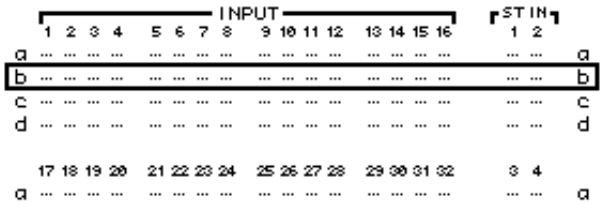
- **IN COMP ページ**
  インプットチャンネル 1 ～ 32 のコンプレッサーリンク（i ～ l）を設定します。



- **OUT COMP ページ**
  バスアウト 1 ～ 8 ／ AUX アウト 1 ～ 8 ／ステレオアウトのコンプレッサーリンク（m ～ p）を設定します。



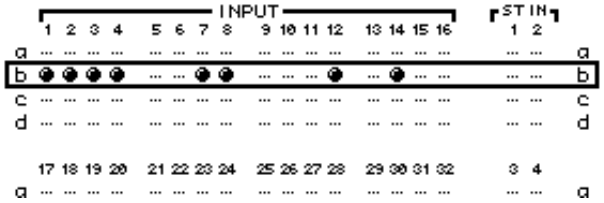
2 カーソル[▲]/[▼]キーを使って、チャンネルを登録するリンクを選びます。



3 EQ リンク／コンプレッサーリンクに割り当てたいチャンネルの[SEL]キーを押します。

画面内の該当するチャンネルの位置に●マークが表示され、チャンネルがリンクに追加されます。

EQ リンク b にインプットチャンネル 1 ～ 4、7、8、12,14 が追加された例：



ヒント：

- ***ペアに設定したチャンネルの一方のチャンネルを EQ リンク／コンプレッサーリンクに追加すると、もう一方のチャンネルも自動的にそのリンクに追加されます。***
- ***リンクの設定中にレイヤーを切り替えて、他のレイヤーに含まれるチャンネルを選択することもできます。***

4 同じ要領で、リンクに登録したいすべてのチャンネルの[SEL]キーを押します。

最初に登録したチャンネルの EQ ／コンプレッサーの設定が、2 番目以降に登録したチャンネルにコピーされます。

5 すべてのチャンネルを登録したら、EQ リンク／コンプレッサーリンクに属するチャンネルの EQ またはコンプレッサーのパラメーターを操作します。

そのリンクに属する残りすべてのチャンネルで、EQ またはコンプレッサーが連動します。

第14章 内蔵エフェクト

この章では、01V96 の内蔵エフェクトの使い方を説明します。

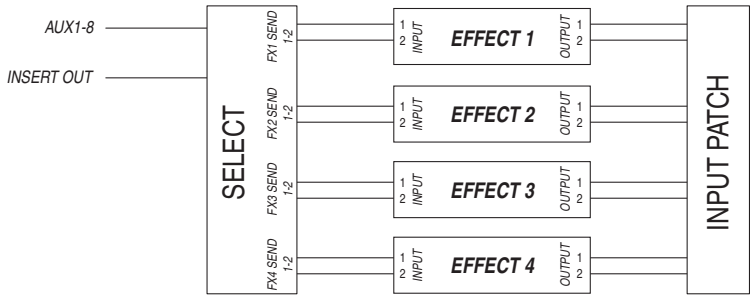
内蔵エフェクトについて

01V96 には 4 系統のエフェクトプロセッサーが内蔵されています。それぞれのエフェクトプロセッサーでは、**リバーブ**、**ディレイ**、**モジュレーション系エフェクト**、複数のエフェクトを組み合わせた**複合エフェクト**など、さまざまなエフェクトタイプが利用できます。

ノート：01V96 をハイサンプリングレート（88.2kHz/96kHz）で動作させるときは、エフェクトプロセッサー1、2 だけが使用可能となります。

エフェクトプロセッサーのインプット／アウトプットには、自由に信号をパッチできます。AUX アウトの信号を入力して、ST IN チャンネルに出力する、いわゆるエフェクトセンド／リターン的な使い方や、インプットチャンネル、バスアウト、AUX アウト、ステレオアウトにインサートする使い方などができます。

エフェクトプロセッサー1 ～ 4 は、1IN/2OUT または 2IN/2OUT のエフェクトとして使用できます。



なお、01V96 にはエフェクト専用のライブラリーがあり、読み込み専用のプリセットプログラム× 53 種類（Add-On Effects 含む）と、読み書き可能なプログラム× 75 種類が利用できます。

内蔵エフェクトを AUX センド経由で利用する

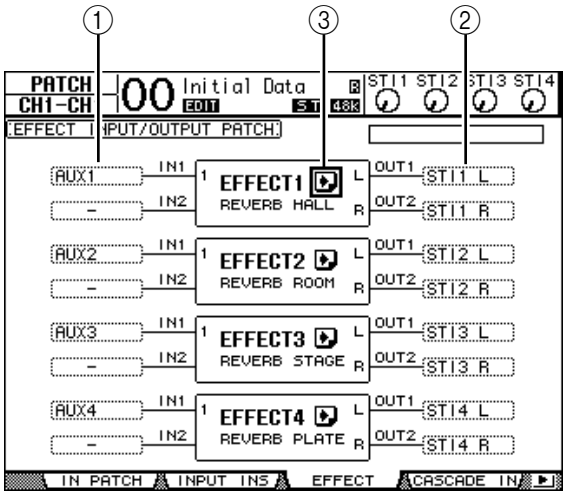
エフェクトプロセッサーのインプットに AUX アウト、エフェクトの出力に ST IN チャンネルをパッチし、AUX センド経由でエフェクトを利用します。

1 エフェクトで利用したいエフェクトプログラムをリコールします。

エフェクトプログラムをリコールする方法は、P.179 をご参照ください。

2 DISPLAY ACCESS セクションの [PATCH] キーを繰り返し押し、PATCH 画面の EFFECT ページを表示させます。

このページでは、エフェクトプロセッサー1 ～ 4 の入出力を一括してパッチできます。



画面内に表示される内容は、次のとおりです。

① **IN パラメーターボックス**
エフェクトに入力される信号を選択します。

② **OUT パラメーターボックス**
エフェクトから出力される信号の送り先を選択します。

③ **マーク**
エフェクトのパラメーターを調節する FX1 EDIT ～ FX4 EDIT ページを呼び出します。

3 エフェクトに入力する信号を選択するには、IN パラメーターボックスにカーソルを合わせ、次の中からインプットに割り当てる信号を選んでから [ENTER] キーを押します。

- **“ – ”**.....割り当てなし
- **AUX1 ～ 8**.....AUX センド 1 ～ 8
- **INS CH1 ～ 32**.....インプットチャンネル 1 ～ 32 のインサートアウト
- **INS BUS1 ～ 8**.....バス 1 ～ 8 のインサートアウト
- **INS AUX1 ～ 8**.....AUX センド 1 ～ 8 のインサートアウト
- **INS ST-L/R**.....ステレオアウトのインサートアウト

内蔵エフェクトを AUX センド経由で利用する場合、通常は AUX1 ～ 8 をパッチします。

なお、2IN/2OUT のエフェクトタイプを使ったエフェクトプログラムでは、もう一方のインプットに別の信号をパッチできます。

> ***ヒント：***
> ***・ 複数のエフェクトのインプットに、同じ信号をパッチすることもできます。***
> ***・ IN パラメーターボックスにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押すと、PATCH SELECT ポップアップウィンドウが表示されます。このポップアップウィンドウでは、候補となる入力元を素早く選択できます。***

4 エフェクトから出力される信号の割り当てを変更するには、OUT パラメーターボックスにカーソルを合わせ、次の中から送出先を選んでから[ENTER]キーを押します。

- “ ー ”.....割り当てなし
- **CH1 ～ 32**.....インプットチャンネル 1 ～ 32
- **ST IN1L ～ ST IN4R**.....ST IN チャンネル 1L ～ ST IN チャンネル 4R
- **INS CH1 ～ 32**.....インプットチャンネルのインサートイン
- **INS BUS1 ～ 8**.....バス 1 ～ 8 のインサートイン
- **INS AUX1 ～ 8**.....AUX1 ～ 8 のインサートイン
- **INS ST-L/INS ST-R**.....ステレオバスのインサートイン

内蔵エフェクトを AUX センド経由で利用する場合、通常は CH1 ～ 32 または ST IN1 ～ 4 をパッチします（ここで割り当てたチャンネルが、エフェクトリターン用のチャンネルとなります）。

なお、1IN/2OUT、2IN/2OUT のエフェクトタイプを使ったエフェクトプログラムでは、もう一方のアウトプットに別のチャンネルをパッチしてステレオ効果を得ることができます。

ヒント：
・ 信号の送出先として ST IN チャンネルを選択した場合は、L/R を個別にパッチできます。
・ OUT パラメーターボックスの設定は、手順 3 と同じように、PATCH SELECT ポップアップウィンドウを利用することもできます。
・ それぞれのエフェクトで利用可能なインプットの数は、最初にリコールしたプログラムで使用しているエフェクトタイプに応じて異なります。

ノート：複数のエフェクトで、送り先に同じチャンネルを選ぶことはできません。すでに使用されている送り先を選ぶと、以前に設定されていた送り先が“ ー ”に変わります。

5 インプットチャンネルごとに、エフェクトにパッチされた AUX へのセンドレベルを調節します。

AUX センドの設定方法は、「第 9 章 AUX アウト」をご参照ください。

ノート：エフェクトリターン信号のチャンネルで、そのエフェクトのインプットにパッチされた AUX へのセンドレベルを上げることは、お止めください。チャンネル自身に信号が戻されるため、ループが発生してスピーカーが故障する原因となります。

ヒント：AUX センドの最終的な出力レベルは、MASTER レイヤーのフェーダーで調節します。このとき、METER 画面の MASTER ページ（→ P.35）でレベルを確認できます。

6 エフェクトの出力にパッチしたインプットチャンネルのレベル、パン、EQ を調節します。

ヒント：AUX センド経由で返されるエフェクト音を原音とミックスして使用する場合、そのエフェクトの MIX BALANCE パラメーターは 100%（エフェクト音のみを出力）に設定してください。

内蔵エフェクトを特定のチャンネルに挿入する

内蔵エフェクトを特定のインプットチャンネルまたはアウトプットチャンネル（バス 1 ～ 8、AUX バス 1 ～ 8、ステレオバス）に挿入します。

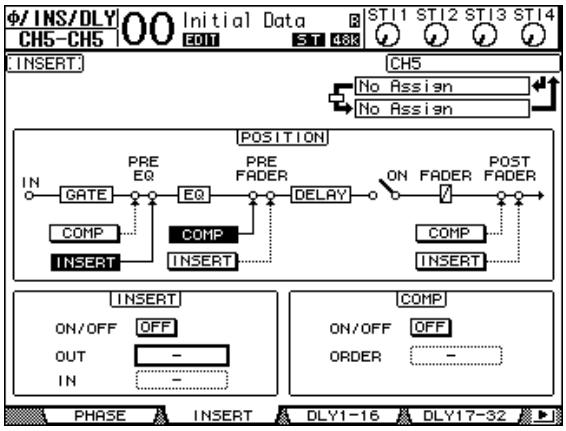
> *ノート：*
> - ***ST IN チャンネルではインサートイン／アウトが利用できません。***
> - ***エフェクトを特定のチャンネルに挿入している間、そのエフェクトは AUX センド経由で、または別のチャンネルに挿入して利用することができなくなります。***

1 内蔵エフェクト 1 ～ 4 のいずれかを選び、利用したいエフェクトプログラムをリコールします。

2 [SEL]キー使って、上記のエフェクトを挿入したいインプットチャンネル／アウトプットチャンネルを選びます。

> *ヒント：**ステレオバスを選択する場合は、STEREO セクションの [SEL]キーを押すたびに L チャンネルと R チャンネルが切り替わります。***

3 DISPLAY ACCESS セクションの [φ/INSERT/DELAY]キーを繰り返し押して φ/INS/DLY 画面の INSERT ページを表示させます。



4 POSITION フィールドの INSERT ボタンを使って、エフェクトを挿入する位置を選びます。

5 INSERT フィールドの OUT パラメーターボックスにカーソルを合わせ、次の中から手順 1 で選んだ内蔵エフェクトのインプットを呼び出します。

- **FX1-1/FX1-2**.....内蔵エフェクト 1 のインプット 1/2
- **FX2-1/FX2-2**.....内蔵エフェクト 2 のインプット 1/2
- **FX3-1/FX3-2**.....内蔵エフェクト 3 のインプット 1/2
- **FX4-1/FX4-2**.....内蔵エフェクト 4 のインプット 1/2

6 [ENTER]キーを押して、設定内容を確定させます。

7 IN パラメーターボックスにカーソルを合わせ、手順 5、手順 6 で選択した内蔵エフェクトのアウトプットを選択し、[ENTER]キーを押して設定内容を確定させます。

8 INSERT フィールドの ON/OFF ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押して表示を ON に切り替えます。

エフェクトの挿入が有効となります。

ヒント：

- ***エフェクトを特定のチャンネルに挿入する場合、用途やエフェクトタイプに応じて、そのエフェクトの MIX BALANCE パラメーターを適切な値に設定してください。***
- ***IN/OUT パラメーターボックスにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、候補となる信号経路を素早く選択する PATCH SELECT ポップアップウィンドウが表示されます。***

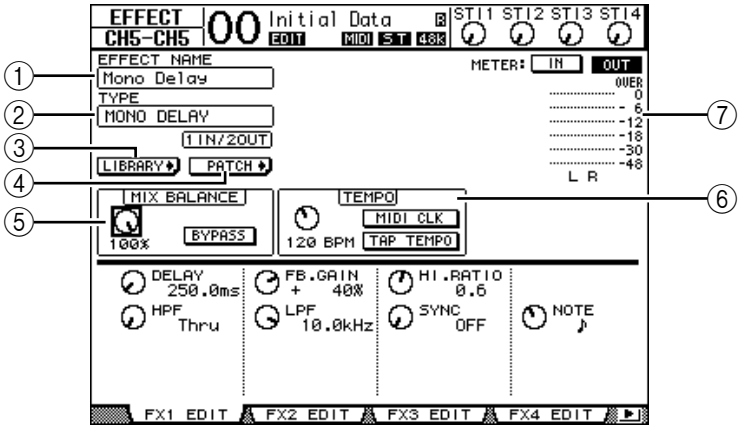
内蔵エフェクトをエディットする

内蔵エフェクト 1 ～ 4 にリコールされているエフェクトプログラムをエディットするには、DISPLAY ACCESS セクションの[EFFECT]キーを繰り返し押し、利用したいエフェクトの EDIT ページを表示させます。

エフェクト 1 ～ 4 には次のページが対応します。

- **エフェクト 1** ..... FX1 EDIT ページ
- **エフェクト 2** ..... FX2 EDIT ページ
- **エフェクト 3** ..... FX3 EDIT ページ
- **エフェクト 4** ..... FX4 EDIT ページ

EDIT ページには、エフェクトのパラメーターが表示されます。



① **EFFECT NAME フィールド**
エフェクトプログラムの名前です。

② **TYPE フィールド**
現在のエフェクトプログラムで利用しているエフェクトタイプの名称です。また、TYPE フィールドの下には、そのエフェクトで利用している入出力の数が表示されます。

③ **LIBRARY ボタン**
このボタンをカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、そのエフェクトに対応するライブラリーページが呼び出されます。

④ **PATCH ボタン**
このボタンをカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、エフェクト 1 ～ 4 の入出力に信号を割り当てる PATCH 画面の EFFECT ページを表示します。

⑤ **MIX BALANCE フィールド**
左側に表示されるノブを使って、エフェクト信号とドライ信号のバランスを設定します。0%でドライ信号だけ、100%でエフェクト信号だけとなります。BYPASS ボタンをオンにすると、エフェクトがバイパスされます。

⑥ **TEMPO フィールド**
エフェクトのテンポや間隔を設定するフィールドです。特定のエフェクトタイプをリコールしたときにだけ表示されます。左側に表示されるノブを使って、25BPM ～ 300BPM の範囲で設定値を調節します。**MIDI CLK ボタン**をオンにすると、MIDI IN 端子から受信している MIDI クロックに合わせて BPM が設定されます。**TAP TEMPO ボタン**にカーソルを合わせて[ENTER]キーを 2 回押すと、その間隔を計算して BPM が自動的に算出されます。

> ***ヒント：エフェクトタイプ“ FREEZE ”を選んだときには、TEMPO フィールドの代わりにエフェクトの操作を行なう録音／再生ボタンが表示されます。ボタンの下には、録音データの有無や現在の状態を表すプログレスバーが表示されます。***

⑦ **メーター表示**
内蔵エフェクトの入出力レベルを表示します。メーターに表示する信号は IN ボタン(入力レベル)／ OUT ボタン(出力レベル)を使って選択します。

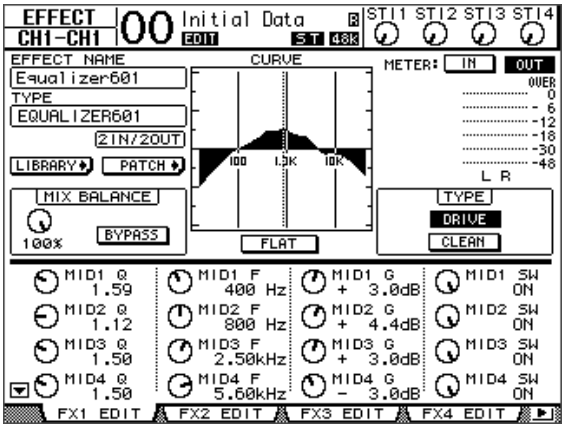
> ***ヒント：METER 画面の EFFECT ページでは、各エフェクトプロセッサーの入出力レベルが一覧できます(→ P.34)。***

カーソルキーを調節したいパラメーターに合わせ、パラメーターホイール(または[INC]/[DEC]キー)を使って設定値を変更します。変更した内容は、エフェクトライブラリーに新規プログラムとしてストアできます(→ P.179)。

> ***ノート：このページでエフェクトタイプを切り替えることはできません。別のエフェクトタイプを利用したいときは、エフェクトライブラリーから、希望するエフェクトタイプを使ったエフェクトプログラムを呼び出してください。***

Add-On Effects でエフェクトを追加

別売の Add-On Effects パッケージをインストールすることにより、内蔵エフェクトのエフェクトタイプを拡張することができます。インストールされた Add-On Effects は、45 番以降のプリセットエフェクトからリコールできます。また、エディットした設定は 54 番以降のユーザーメモリーに記憶することができます。インストール方法については、お買い上げの Add-On Effects パッケージに付属のインストールガイドをご参照ください。



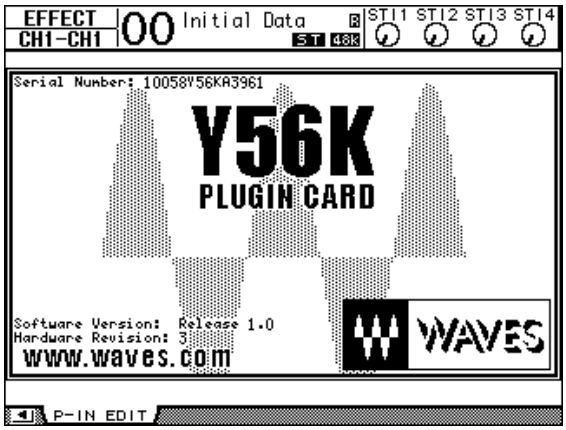
プラグインエフェクトについて

エフェクト機能を持つ mini-YGDAIカードを 01V96 のスロットに装着すれば、内蔵エフェクトとは別にプラグインエフェクトが利用できるようになります。

プラグインエフェクトのインプットには、各種バスの信号や各チャンネルのインサートアウトの信号を送ることができます。プラグインエフェクトの出力は、インプットチャンネルまたは各チャンネルのインサートインに送られます。

プラグインエフェクトを操作するには、[EFFECT]キーを繰り返し押し EFFECT 画面の P-IN EDIT ページを呼び出します。

なお、実際の操作方法については、プラグインカードの説明書をご参照ください。



2004 年 7 月現在の使用可能なプラグインカードは、次のとおりです。プラグインカードの最新情報は、ヤマハのウェブサイト(http://proaudio.yamaha.co.jp/) をご参照ください。

- **Waves**..... Y56K

Y56K カードの設定は、シーンストア時にカード内部のメモリーに記憶されて、シーンリコールに連動して呼び出されます。01V96 のシーンメモリーには記憶されないので、シーンメモリーのグローバルペースト、ソート、オートアップデート機能などには対応していません。

ノート：Y56K カードはシーン番号 1～96 に対応しています。シーン番号 97 以降のシーンをストア / リコールしても、Y56K カードの設定は連動しません(メッセージが表示されます)。

第15章 シーンメモリー

この章では、01V96 のミックスパラメーターの設定、エフェクトの設定などを記憶するシーンメモリーについて説明します。

シーンメモリーについて

01V96 では、各チャンネルのミックスパラメーター、内蔵エフェクトなどの設定状態に名前を付けて“ シーン ”として専用メモリーにストアできます。

シーンメモリーには 99 種類のシーンをストアでき、画面操作やトップパネルのキーを使っていつでも任意のシーンをリコールできます。

ヒント：
- ***プログラムチェンジ(→ P.221)を使って外部 MIDI 機器からシーンをリコールすることもできます。***
- ***シーンメモリーの内容は、バルクダンプ機能を使って外部 MIDI 機器に保存できます(→ P.227)。***

シーンに含まれるパラメーター

1 つのシーンには次のようなパラメーターの設定値が保存されます。

シーン	パラメーターの設定値
ミックスパラメーター	すべてのチャンネルのフェーダー(レベルコントロール)
	各チャンネルから AUX アウト 1 ～ 8 へのセンドレベル
	AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8 のレベル
	すべてのチャンネルの[ON]キーの設定
	すべてのチャンネルのフェイズの設定
	すべてのチャンネルのアッテネーターの設定
	ST IN チャンネルを除くすべてのチャンネルのディレイの設定
	ST IN チャンネルを除くすべてのチャンネルのコンプレッサーの設定
	ST IN チャンネルを除くインプットチャンネルのゲートの設定
	すべてのチャンネルの EQ の設定
	すべてのチャンネルのパンの設定
	すべてのチャンネルのルーティングの設定
	フェーダーグループ／ミュートグループ／フェーダーグループマスター／ミュートグループマスター／ EQ リンク／コンプレッサーリンクの設定
	すべてのチャンネルのペアの設定
エフェクトパラメーター	エフェクト 1 ～ 4 でリコールされているエフェクトプログラムおよびパラメーターの設定内容
リモートレイヤー	フェーダー、[ON]キーの設定状態(リモートコントロールのターゲットが USER DEFINED のときに限ります)
シーンの各種設定	シーン名、フェードタイムの設定
インプットパッチ	現在使用しているインプットパッチのライブラリー番号
アウトプットパッチ	現在使用しているアウトプットパッチのライブラリー番号

ノート：
- ***インプットパッチ／アウトプットパッチは、現在の設定内容ではなく、シーンのストア操作を行なったときに使用していたライブラリー番号を記憶します。***
- ***インプットパッチ／アウトプットパッチの変更をライブラリーにストアしていない場合、シーンをリコールしたときに、パッチ内容が変わるおそれがありますので、ご注意ください。***

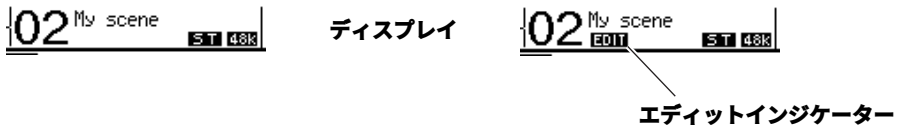
シーンナンバーについて

シーンメモリーのシーンには、U、00 ～ 99 という番号が付けられており、その中で 01 ～ 99 のシーンナンバーにシーンをストアできます。現在リコールされているシーンナンバーは、画面上部に表示されます。

シーンナンバー00 は読み出し専用のシーンで、各種パラメーターの初期設定値がストアされています。このシーンをリコールすれば、いつでも 01V96 を初期状態のシーンに戻せます。なお、SETUP 画面の PREFER1 ページ（→ P.230）の Initial Data Nominal チェックボックスを使えば、シーンナンバー0 がリコールされたときにインプットチャンネルのフェーダーの値を 0dB にするか－∞ dB にするかを選択できます。

シーンナンバーUd も読み出し専用のシーンで、最後にリコールやストアを行なう直前のミックス内容が保管されています。リコール／ストア操作を取り消したいときには、このシーンをリコールします。

最後にリコールしたシーンのパラメーターを変更すると、ディスプレイ上部に“ EDIT ”という文字が表示されます。この表示は、最後にリコールしたシーンの内容が変更されていることを表します。なお、エディットしたミックスパラメーターの設定内容は、電源を切っても本体内に記憶されます。このため、再び電源を入れれば、元の状態に戻ります。



シーン番号 2 がリコールされたところで、01V96 の現在の設定内容がシーン番号 2 の内容と一致しており、エディットインジケーターは消灯している。

シーン番号 2 をリコールした後にパラメーターを変更したので、エディットインジケーターが現れ、01V96 の現在の設定内容がシーン番号 2 の内容と異なることを表している。

シーンのストア／リコール操作

シーンをストア／リコールするには、トップパネルのキーを使う方法と、専用のページを呼び出して行なう方法があります。

> *ノート：*
> - ***シーンをストアするときには、現在のミックスパラメーターの設定内容が正しいかどうかを確かめてください。それと気付かずに自分でフェーダーを動かしてしまったり、別の人が内容を変更していたりする場合もあります。***
> - ***現在の設定が不確かな場合は、最後にリコールしたシーンをもう一度リコールしてから、ミックスパラメーターを再調節してください。なお、パラメーターの再設定を行なうときは、万一の場合に備えて、現在のミックスパラメーターの設定内容を空のシーンにストアしておくことをおすすめします。***

トップパネルのキーを使ってシーンをストア／リコールする

トップパネルの SCENE MEMORY セクションのキーを使ってシーンのストア／リコールを行ないます。

1　01V96 のミックスパラメーターをシーンにストアしたい状態に調節します。

2　SCENE MEMORY セクションのシーン[▲]/[▼]キーを使って、ストア先となるシーンナンバーを選択します。

現在選ばれているシーン以外のシーンを選ぶと画面上部の、シーンナンバーが点滅します。

なお、シーンナンバー“ Ud ”と“ 00 ”はリコール専用のシーンです。ストア先にすることはできません。また、書き込み保護されているシーン（→ P.168）に対してストア操作を行なうことはできません。

3　SCENE MEMORY セクションの[STORE]キーを押します。

ストアするシーンに名前をつける TITLE EDIT ポップアップウィンドウが表示されます。

> *ヒント：DIO/SETUP 画面の PREFER1 ページで Store Confirmation（ストア確認）をオフに設定すると、TITLE EDIT ポップアップウィンドウは表示せずに直接シーンがストアできます（→ P.230）。ストアしたシーンには、直前にリコールされていたシーンと同じ名前が付けられます。*

4　シーンの名前を入力し、OK ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

ポップアップウィンドウが閉じてシーンがストアされます。

5　シーンをリコールするには、シーン[▲]/[▼]キーを使ってリコールしたいシーンナンバーを選び、SCENE MEMORY セクションの[RECALL]キーを押します。

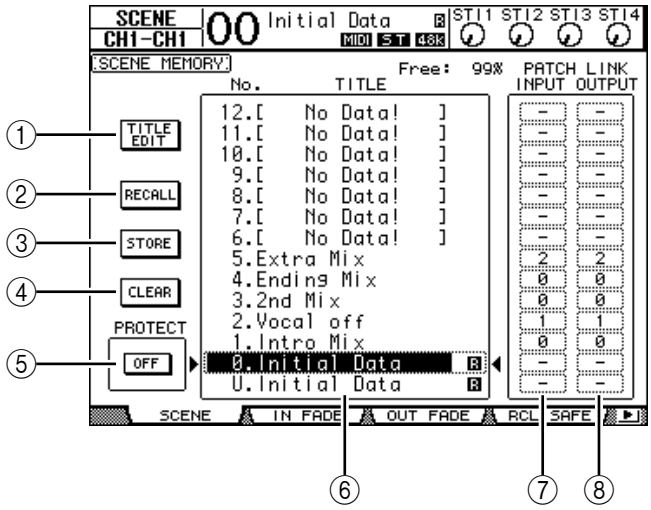
> *ヒント：DIO/SETUP 画面の PREFER1 ページで、Recall Confirmation（リコール確認）をオンに設定すると、シーンをリコールするときに確認用のポップアップウィンドウが表示できます（→ P.230）。*

画面内の操作でシーンをストア／リコールする

シーンメモリー用のページを呼び出して、シーンのストアやリコールを行ないます。このページでは、ストア／リコールの他に名前の変更や削除、プロテクト（書き込み保護）機能のオン／オフなどを設定できます。

1 01V96 のミックスパラメーターをシーンにストアしたい状態に調節します。

2 DISPLAY ACCESS セクションの [SCENE] キーを繰り返し押して、SCENE 画面の SCENE ページを表示させます。



3 パラメーターホイールまたは [INC]/[DEC] キーを使って操作対象となるシーンを選び、希望するボタンにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押します。

① **TITLE EDIT ボタン**
リストで選択したシーンの名前を変更する TITLE EDIT ポップアップウィンドウを表示します。

② **RECALL ボタン**
リストで選択したシーンをリコールします。

③ **STORE ボタン**
リストで選択したシーンナンバーにシーンをストアします。初期状態では、ストア時に確認用のポップアップウィンドウが表示されます。

④ **CLEAR ボタン**
リストで選択したシーンを消去して空の状態に戻します。

⑤ **PROTECT ON/OFF ボタン**
リストで選択したシーンのプロテクト（書き替え保護）機能のオン／オフを切り替えます。プロテクトが有効なシーンは、シーン名の右側に 🔒 マークが表示されます。

⑥ **リスト**
01 ～ 99 のシーンナンバーに保存されているシーンのリストです。ストア済みのシーンはストア時に付けられた名前、空のシーンは“ No Data! ”の文字が表示されます。点線の枠と、その左右に表示され ▶ や ◀ のマークは、現在選ばれているシーンを表わします。

⑦ **PATCH LINK INPUT パラメーターボックス**
シーンにリンクされているインプットパッチのライブラリー番号を表示します。シーンをストアするとき、最後にリコールまたはストアされたインプットパッチのライブラリー番号がストアするシーンに自動的にリンクされます。シーンをリコールするとき、このライブラリー番号が連動してリコールされます。パラメーターボックスにカーソルを合わせ、ライブラリー番号を直接変更することも可能です。

⑧ **PATCH LINK OUTPUT パラメーターボックス**
シーンにリンクされているアウトプットパッチのライブラリー番号を表示します。シーンをストアするとき、最後にリコールまたはストアされたアウトプットパッチのライブラリー番号がストアするシーンに自動的にリンクされます。シーンをリコールするとき、このライブラリー番号が連動してリコールされます。パラメーターボックスにカーソルを合わせ、ライブラリー番号を直接変更することも可能です。

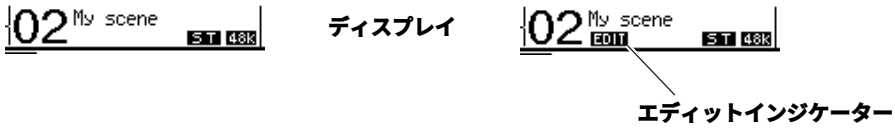
シーンのオートアップデート機能について

SETUP 画面の PREFER1 ページ(→ P.230)にある Scene MEM Auto Update チェックボックスをオンに設定すると、シーンごとに用意されている“ **シャドーメモリー** ”と呼ばれるメモリー領域に、パラメーターの変更内容が自動的にストアされるようになります。これを“ **オートアップデート機能** ”といいます。

オートアップデート機能を有効にすると、シーンをリコールした後のパラメーターの変更内容が、そのシーンのシャドーメモリーにストアされます。この状態でシーンのリコール操作を繰り返すと、オリジナルのシーンとシャドーメモリーのエディットしたシーンが交互にリコールされます。

このため、**同じシーンをリコールしてオリジナルの状態に戻した後でも、シャドーメモリーをリコールすることで、もう一度パラメーターを変更した後の状態に戻すことができます。**

オリジナルまたはシャドーメモリーのどちらがリコールされているかは、画面上部の“ EDIT ”の表示／非表示で確認できます。



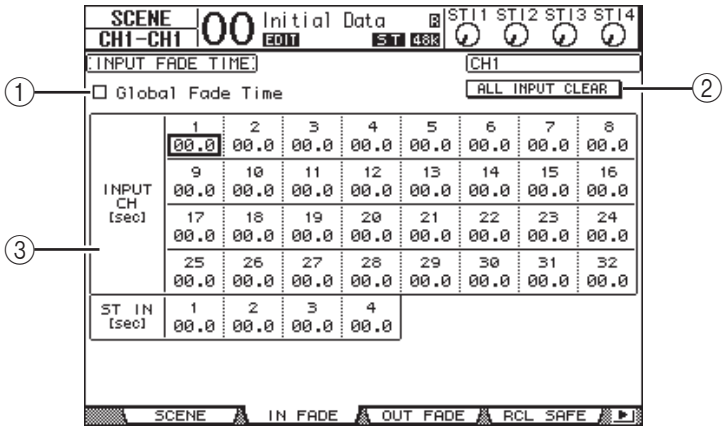
シャドーメモリーがリコールがされているときにストア操作を行なえば、パラメーター変更後の内容がストアされます(オリジナルとシャドーメモリーの内容が一致します)。

フェードタイムを設定する

シーンをリコールしたときに、各チャンネルのフェーダー（またはレベルコントロール）が新しい位置に到達するまでの時間を設定できます。このパラメーターを“ フェードタイム ”と呼び、チャンネルごとに 00.0 秒～ 30.0 秒（0.1 秒単位）の範囲で設定できます。フェードタイムの設定は、シーンごとに設定したりすべてのシーンに共通で設定したりできます。

インプットチャンネルのフェードタイムを設定する

インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 のフェードタイムの設定を行なうには、DISPLAY ACCESS セクションの[SCENE]キーを繰り返し押して SCENE 画面の IN FADE ページを表示させます。各チャンネルのフィールドにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使ってフェードタイムが調節できます。



① **Global Fade Time チェックボックス**

このチェックボックスをオンにすると、現在のフェードタイムの設定でシーンがリコールされます（リコールしたシーンのフェードタイムは、一時的に無効になります）。この設定は OUT FADE ページと共通です。

② **ALL INPUT CLEAR ボタン**

表示されているすべてのチャンネルの設定をすべて 00.0 秒にリセットします。

③ **INPUT CH1 ～ 32/ST IN1 ～ 4 フィールド**

各インプットチャンネルのフェードタイムを 00.0 ～ 30.0 秒の範囲で設定します。ペアに設定されたチャンネルの片方の値を変更すると、もう一方もそれに連動します。

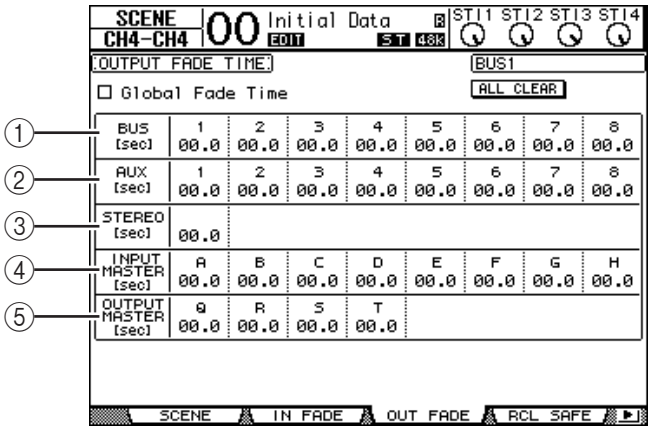
ヒント：

- ***フェードを実行中に特定のフェーダーを操作すると、そのフェーダーだけフェードタイムの設定が一時的に無効になります。***
- ***特定チャンネルの設定値にカーソルがあるとき[ENTER]キーを素早く 2 回押すと、そのチャンネルの設定値をすべてのインプットチャンネルにコピーするためのポップアップウィンドウが表示されます。設定値を一括して設定したいときに便利です。***

アウトプットチャンネルのフェードタイムを設定する

アウトプットチャンネル（ステレオアウト、バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8）のフェードタイムを設定するには、DISPLAY ACCESS セクションの[SCENE]キーを繰り返し押して SCENE 画面の OUT FADE ページを表示させます。

基本的な操作方法は IN FADE ページと同じです。



① **BUS1 ～ 8 フィールド**
バスアウト 1 ～ 8 のフェードタイムを 00.0 ～ 30.0 秒の範囲で設定します。

② **AUX1 ～ 8 フィールド**
AUX アウト 1 ～ 8 のフェードタイムを設定します。

③ **STEREO フィールド**
ステレオアウトのフェードタイムを設定します。

④ **INPUT MASTER A ～ H フィールド**
インプットフェーダーグループマスターA ～ H のフェードタイムを設定します。

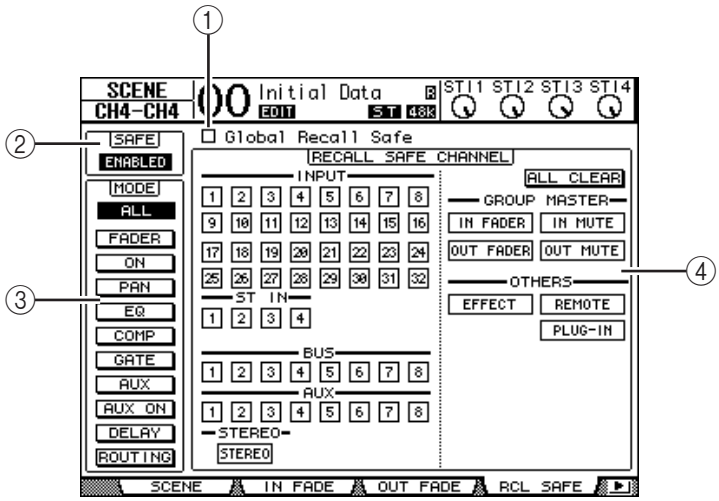
⑤ **OUTPUT MASTER Q ～ T フィールド**
アウトプットフェーダーグループマスターQ ～ T のフェードタイムを設定します。

ヒント：特定チャンネルの設定値にカーソルがあるとき[ENTER]キーを素早く 2 回押すと、そのチャンネルの設定値を表示されているすべてのチャンネルにコピーするためのポップアップウィンドウが表示されます。

リコールセーフ機能を使う

シーンをリコールするときに、特定チャンネルの特定**パラメーターだけをリコール対象から除外できます（リコールセーフ機能）**。リコールセーフ機能の設定は、シーンごとに設定したりすべてのシーンに共通で設定したりできます。

リコールセーフの設定を行なうには、DISPLAY ACCESS セクションの［SCENE］キーを繰り返し押して、SCENE 画面の RCL SAFE ページを表示させます。



① **Global Recall Safe チェックボックス**
このチェックボックスをオンにすると、シーンごとに保存されているリコールセーフの設定が無効となり、現在の設定をそのまま利用します。

② **SAFE フィールド**
リコールセーフ機能の有効／無効を切り替えます。

③ **MODE フィールド**
リコールセーフを行なうパラメーターを次のボタンを使って選択します。それぞれのボタンが対応するパラメーターは、次のとおりです。

- **ALL ボタン** ..... すべてのパラメーター
- **FADER ボタン** ..... チャンネルのフェーダー（またはレベルコントロール）
- **ON ボタン** ..... チャンネルのオン／オフ
- **PAN ボタン** ..... チャンネルのパン、ステレオアウトのバランス
- **EQ ボタン** ..... チャンネルの EQ
- **COMP ボタン** ..... チャンネルのコンプレッサー
- **GATE ボタン** ..... チャンネルのゲート
- **AUX ボタン** ..... チャンネルの AUX センドレベル、プリ／ポスト
- **AUX ON ボタン** ..... AUX センドのオン／オフ
- **DELAY ボタン** ..... チャンネルのディレイ
- **ROUTING ボタン** ..... チャンネルのルーティング

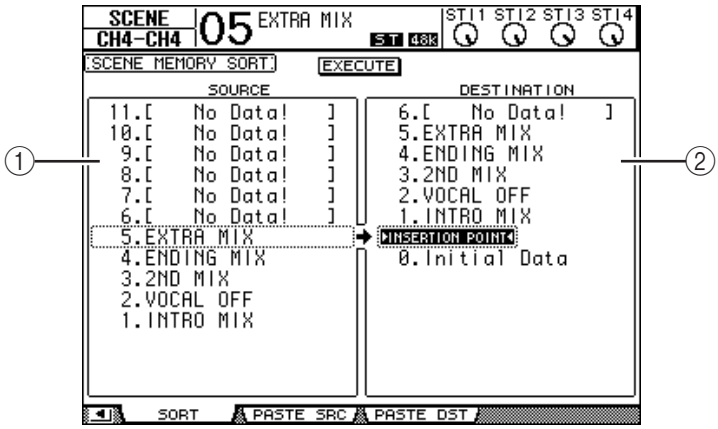
> ***ヒント：ALL ボタンをオンにすると、MODE フィールドの他のボタンは自動的に解除されます。***

④ **RECALL SAFE CHANNEL フィールド**
リコールセーフの対象を、インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4、バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8、ステレオアウト、内蔵エフェクト、USER DEFINED リモートレイヤー、プラグインエフェクトの中から選択します。ボタンをオンにしたチャンネル／機能のリコールセーフ機能が有効になります。

シーンを並べ替える

シーンメモリーにストアされているシーンを、別のナンバーへと移動させます。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[SCENE]キーを繰り返し押して、SCENE 画面の SORT ページを表示させます。



2 画面左側の SOURCE リスト(①)にカーソルを移動し、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って移動させたいシーンを選択します。

3 画面右側の DESTINATION(②)にカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って移動先となるシーンナンバーを選択します。

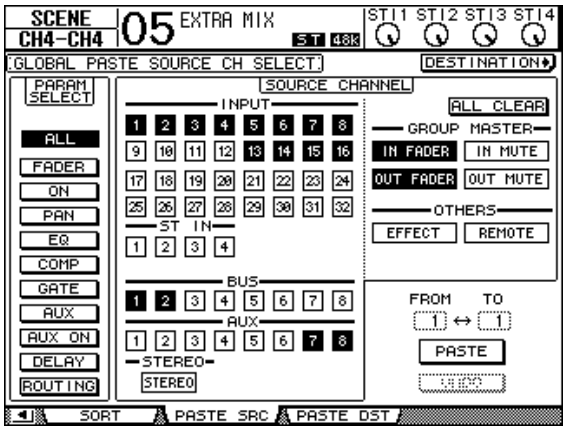
4 移動を実行するには[ENTER]キーを押します。

移動が実行されると、それに伴って他のシーンナンバーも変化します。

シーンのコピー& ペースト(グローバルペースト)

現在のシーンの任意のチャンネル、任意のパラメーターの設定を別のシーン(複数選択可)にコピー＆ペーストできます。現在のシーンの変更内容をストアされている別のシーンにも一括して反映させたいときに便利です。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[SCENE]キーを何度か押して、PASTE SRC ページを表示させます。



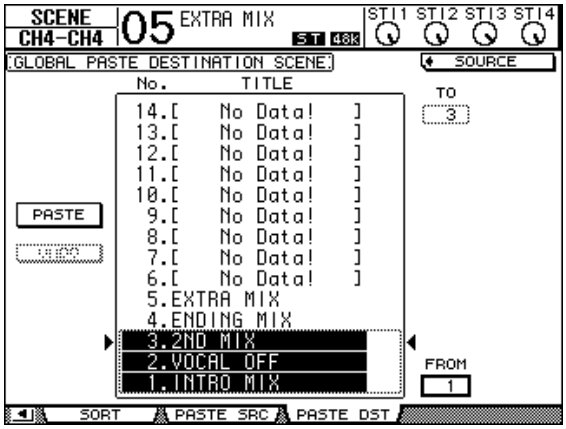
2 カーソルキー、[SEL]キー、パラメーターホイールのいずれかを使用してチャンネルを選択し、[ENTER]キーまたは[INC]/[DEC]キーでコピーするチャンネルを選択します。

コピーの対象となったチャンネルの番号が反転表示されます。

各チャンネルと同様に、各グループマスター、内蔵エフェクト、USER DEFINED リモートレイヤーもコピーの対象に選択できます。

3 カーソルキーまたはパラメーターホイールでコピーするパラメーターを選択し、[ENTER]キーを押します。

4 DISPLAY ACCESS セクションの[SCENE]キーを押して、PASTE DST ページを表示させます。



5 パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーでペースト先になるシーンを選択します。

FROM と TO の間のシーンがペースト先となります。一度にペーストできるシーンは最大10シーンまでです。

6 カーソルキーで PASTE ボタンを選択し、[ENTER]キーでペーストを実行します。

プロテクトされたシーンにはペーストできません。

ペーストする前の状態に戻したい場合は、UNDO ボタンを選択して[ENTER]キーを押します。ただし、ペースト実行後にシーンのストア、クリア、ソート、MIDI バルクダンプでシーンデータを受信するなどの操作でシーンメモリーを変更すると、アンドゥ操作はできなくなります。また、電源を一度切った場合もアンドゥできなくなります。

第16章 ライブラリー

この章では、01V96 に搭載されている各種のライブラリーについて説明します。

ライブラリーについて

01V96 には、チャンネル、エフェクト、インプットパッチ、アウトプットパッチなどの設定内容を個別にストア／リコールできる 7 種類のライブラリーが用意されています。ストアされた設定内容は、ライブラリーからリコールすることで、いつでも元の状態に戻せます。

01V96 で利用可能なライブラリーは次のとおりです。

- チャンネルライブラリー
- インプットパッチライブラリー
- アウトプットパッチライブラリー
- エフェクトライブラリー
- ゲートライブラリー
- コンプレッサーライブラリー
- EQ ライブラリー

ヒント：

- ***ライブラリーにストアした設定内容は、付属のソフトウェア Studio Manager を使ってコンピューターのハードディスク上に保存できます。重要なデータは、必ずバックアップを取ることを強くお薦めします。***
- ***MIDI バルクダンプ(→ P.227)を利用して、MIDI ファイラーなどの外部機器にバックアップすることも可能です。***

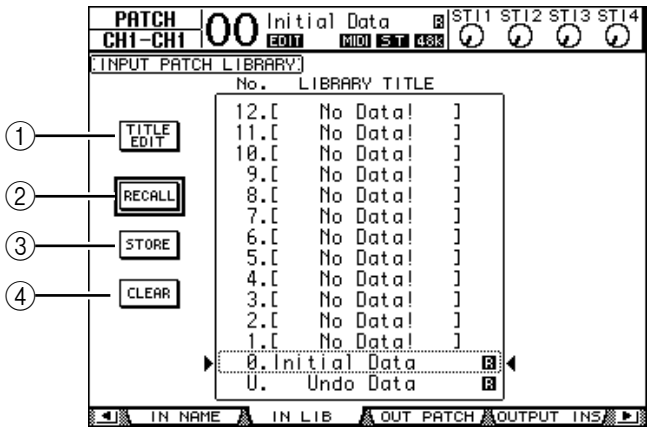
ライブラリーの基本操作

ライブラリーの操作方法は、どのライブラリーでもほぼ共通しています。

1 パネル上のキーを使って、操作したいライブラリーを表示させます。

ライブラリーページを呼び出す操作は、ライブラリーごとに異なります。目的のライブラリーページを表示させる方法は、この章後半の各項をご参照ください。

次の図は、インプットパッチライブラリーを呼び出した場を例に説明します。



ページ中央には、ライブラリーに記憶されている設定内容がリスト表示されます。表示されている設定のうち、空のものはタイトル欄に“ No Data! ”と表示されます。

また、名前の横に R のアイコンが表示されているものは読み出し専用のプリセットです。この設定に対しては、ストア、削除、名前の変更は行なえません。

また、ナンバー“ 0 ”U ”は読み出し専用です。“ 0 ”はパラメーターを初期設定値に戻すときにリコールします。また、“ U ”は直前に行なったリコール／ストア操作を取り消して、以前の状態に戻すときにリコールします。

2 パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って、操作対象となる設定を選択します。

選択されている設定は、点線の枠で囲まれます。

3 次のボタンの中から実行したい機能に相当するものにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

① **TITLE EDIT ボタン**

選択した設定の名前を変更する TITLE EDIT ポップアップウィンドウを表示させます。ポップアップウィンドウ内の OK ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、名前を確定します。文字の入力方法については P.30 をご参照ください。

② **RECALL ボタン**

選択した設定内容をリコールします。DIO/SETUP 画面の PREFER1 ページで Recall Confirmation（リコール確認）がオンのときは、リコールする前に確認用のポップアップウィンドウが表示されます。

③ **STORE ボタン**

選択した設定をストアします。ストア時には TITLE EDIT ポップアップウィンドウを使って設定内容に名前を付けられます。文字の入力方法については P.30 をご参照ください。

DIO/SETUP 画面の PREFER1 ページで Store Confirmation（ストア確認）をオフにすると、TITLE EDIT ポップアップウィンドウを表示させずに直接ストアが行なえます。この場合は“ New Data ”という名前が自動的に付けられます。

④ **CLEAR ボタン**

選択した設定内容をリストから削除します。[ENTER]キーを押した直後は、削除を確認するポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウ内の YES ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、削除が実行されます。

ノート：すでに記録されているナンバーを選んだ場合、以前の設定内容は失われます。誤って必要な設定を消去しないようご注意ください。

各種ライブラリーを使う

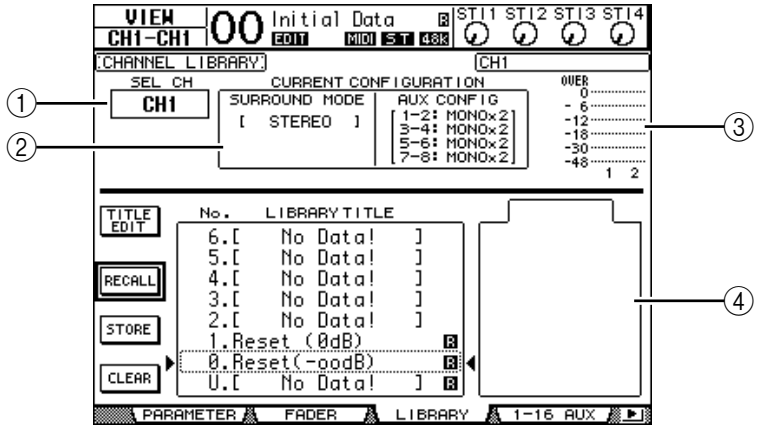
チャンネルライブラリー

インプットチャンネル、アウトプットチャンネルのパラメーター設定をストア／リコールするライブラリーです。プリセットライブラリー× 2 と読み書き可能なライブラリー× 127 が利用できます。

チャンネルライブラリーからリコールできるのは、現在選択されているチャンネルと同じ種類のライブラリーに限られます。たとえば、インプットチャンネル 1 ～ 32 の設定内容は、ST IN チャンネル 1 ～ 4、バスアウト 1 ～ 8、AUX バスアウト 1 ～ 8、ステレオアウトへはリコールできません（例外として、ナンバー0 と 1 のプリセットは、どのチャンネルでもリコールできます）。

チャンネルライブラリーを利用するには、次の操作を行ないます。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[VIEW]キーを繰り返し押して VIEW 画面の LIBRARY ページを表示します。



① **SEL CH フィールド**
現在選択されているチャンネルを表示します。

② **CURRENT CONFIGURATION フィールド**
インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 が選択されている場合、そのサラウンドモードと AUX の設定情報を表示します。

③ **メーター表示**
選択されているチャンネルとペアに設定可能なチャンネルのレベルが表示されます。

④ **STORED FROM フィールド**
リスト内で選ばれているライブラリーのストア元のチャンネルを表示します。インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4 の設定をストアしたライブラリーが選ばれているときは、このフィールドの下に、ストア元のチャンネルのサラウンドモードや AUX バスのペア情報が表示されます。

2 LAYER セクションのキーを使って、ストア／リコールしたいチャンネルが含まれるレイヤーを呼び出し、[SEL]キーを使ってチャンネルを選択します。

設定のストアやリコール方法については、P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。

ストア元とリコール先でチャンネルの種類が一致しない場合は、⚠マークと“ CONFLICT ”という文字が STORED FROM フィールドに表示されます。これは、リコールできないチャンネルの設定を選んでいることを表します。

ストア元とリコール先で、サラウンドモードや AUX ペアの設定などチャンネルパラメーター以外の要素が異なる場合も、“ CONFLICT ”と表示されます。ただしこの場合は、チャンネルの種類さえ一致していればリコールできます（一致しない要素は、リコール先のものが優先されます）。

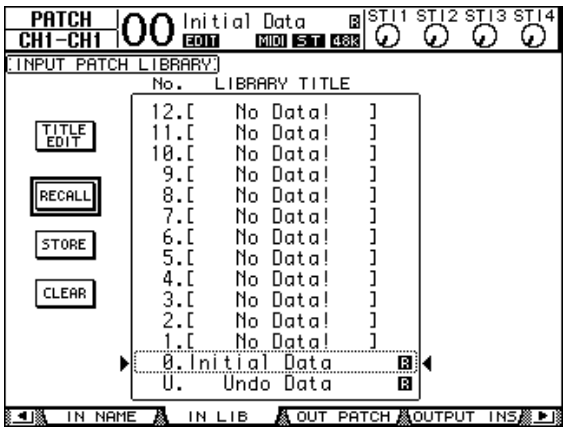
チャンネルライブラリーには、次のプリセットが用意されています。

No.	プリセット名	内容
0	**Reset(−∞ dB)**	パラメーターすべてを初期状態に戻し、チャンネルのフェーダーの設定値を−∞ dB に設定します。
1	**Reset(0dB)**	パラメーターを初期状態に戻し、フェーダーの設定値をノミナルレベル（0dB）に設定します。

インプットパッチライブラリー

インプットパッチの設定を一括してストア／リコールするライブラリーです。プリセットライブラリー× 1 と読み書き可能なライブラリー× 32 が利用できます。

インプットパッチライブラリーを利用するには、DISPLAY ACCESS セクションの [PATCH]キーを繰り返し押して、PATCH 画面の IN LIB ページを表示させます。ストアやリコール方法については、P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。



インプットパッチライブラリーにプリセットされているパッチ内容（ナンバー0）は、次のとおりです。

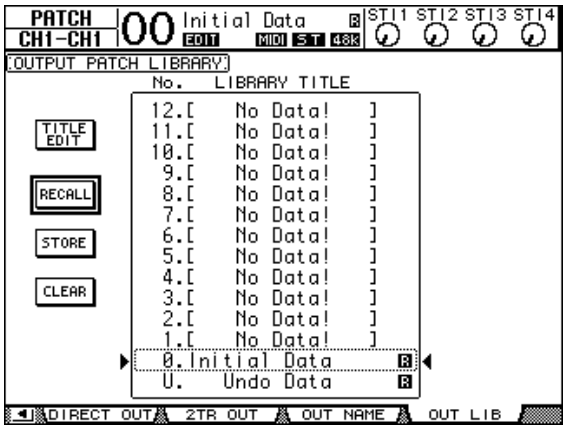
インプットチャンネル 1 ～ 16	INPUT 端子 1 ～ 16
インプットチャンネル 17 ～ 24	ADAT IN 端子の入力チャンネル 1 ～ 8
インプットチャンネル 25 ～ 32	スロットの入力チャンネル 1 ～ 8
ST IN チャンネル 1 ～ 4	内蔵エフェクト 1 ～ 4 のアウトプット 1/2

アウトプットパッチライブラリー

アウトプットパッチの設定を一括してストア／リコールするライブラリーです。プリセットライブラリー× 1 と読み書き可能なライブラリー× 32 が利用できます。

アウトプットパッチライブラリーを利用するには、DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押して、PATCH 画面の OUT LIB ページを表示させます。

ストアやリコール方法については P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。



アウトプットパッチライブラリーにプリセットされているパッチ内容（ナンバー0）は、次のとおりです。

スロットの出力チャンネル 1 ～ 8	バスアウト 1 ～ 8
スロットの出力チャンネル 9 ～ 16	バスアウト 1 ～ 8
ADAT OUT 端子の出力チャンネル 1 ～ 8	バスアウト 1 ～ 8
OMNI OUT 端子 1 ～ 4	AUX アウト 1 ～ 4

エフェクトライブラリー

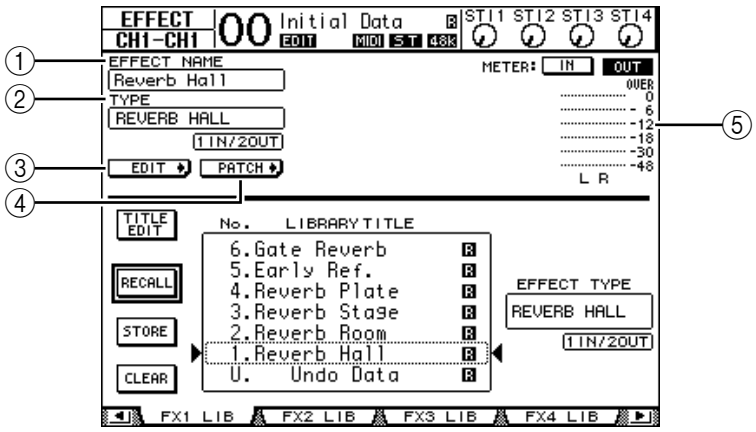
内蔵エフェクトプロセッサー1 ～ 4 で利用するエフェクトプログラムをストア／リコールするライブラリーです。プリセットプログラム× 53（Add-On Effects 含む）、読み書き可能なプログラム× 75 が利用できます。

> ***ノート：原則としてエフェクトライブラリーは、内蔵エフェクト 1 ～ 4 に共通です。ただし、エフェクトタイプ 19“ HQ PITCH ”とエフェクトタイプ 42“ FREEZE ”をリコールできるのは、内蔵エフェクト 1/2 に限られます。***

ライブラリーへのストア／リコールは、内蔵エフェクトごとに用意されたページを使って行ないます。

エフェクトライブラリーを利用するには、DISPLAY ACCESS セクションの[EFFECT]キーを繰り返し押して、設定をリコール／ストアしたい内蔵エフェクトのライブラリーページを表示させます。各エフェクトに対応するライブラリーは次のとおりです。

- **内蔵エフェクト 1 のライブラリー**.....FX1 LIB ページ
- **内蔵エフェクト 2 のライブラリー**.....FX2 LIB ページ
- **内蔵エフェクト 3 のライブラリー**.....FX3 LIB ページ
- **内蔵エフェクト 4 のライブラリー**.....FX4 LIB ページ



① **EFFECT NAME フィールド**
現在内蔵エフェクトで選ばれているエフェクトプログラムの名前です。

② **TYPE フィールド**
現在内蔵エフェクトで利用しているプログラムのエフェクトタイプです。TYPE フィールドの下には、利用しているエフェクトの入出力のチャンネル数が表示されます。

③ **EDIT ボタン**
このボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押すと、エフェクトパラメーターの調節を行なう EFFECT 画面の FX1 EDIT/FX2 EDIT/FX3 EDIT/FX4 EDIT ページに移動します。

④ **PATCH ボタン**
このボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押すと、エフェクト 1 ～ 4 の入出力信号を割り当てる IN PATCH 画面の EFFECT ページに移動します。

⑤ **メーター表示**
内蔵エフェクトの入出力レベルを表示します。IN ボタン（入力レベル）／ OUT ボタン（出力レベル）を使って、表示する信号を選択します。

エフェクトライブラリーのストアやリコール方法については、P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。

エフェクトライブラリーにプリセットされているエフェクトプログラムの内容は、次のとおりです。

- **リバーブ**

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
1	**Reverb Hall**	REVERB HALL	コンサートホールをシミュレートしたゲートのかかったリバーブです。
2	**Reverb Room**	REVERB ROOM	部屋での響きをシミュレートしたリバーブです。
3	**Reverb Stage**	REVERB STAGE	ボーカル用を意識したゲートのかかったリバーブです。
4	**Reverb Plate**	REVERB PLATE	鉄板エコーをシミュレートしたゲートのかかったリバーブです。
5	**Early Ref.**	EARLY REF.	残響も初期反射音（ER）のみを取り出したエフェクトです。
6	**Gate Reverb**	GATE REVERB	ゲートリバーブの初期反射音です。
7	**Reverse Gate**	REVERSE GATE	逆回転させたゲートリバーブの初期反射音です。

・ディレイ

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
8	**Mono Delay**	MONO DELAY	シンプルなモノディレイです。
9	**Stereo Delay**	STEREO DELAY	シンプルなステレオディレイです。
10	**Mod.delay**	MOD.DELAY	モジュレーション付きのシンプルなリピートディレイです。
11	**Delay LCR**	DELAY LCR	3-タップ(左、センター、右)のディレイです。
12	**Echo**	ECHO	ステレオディレイに左右のフィードバックを交差させたものです。

・モジュレーション系エフェクト

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
13	**Chorus**	CHORUS	コーラス
14	**Flange**	FLANGE	フランジャー
15	**Symphonic**	SYMPHONIC	コーラスよりも複雑でリッチな変調効果が得られるヤマハ独自のエフェクトです。
16	**Phaser**	PHASER	16 段の位相シフトを使ったステレオフェイザーです。
17	**Auto Pan**	AUTO PAN	オートパン
18	**Tremolo**	TREMOLO	トレモロ
19	**HQ.Pitch**	HQ.PITCH	安定した効果の得られるモノラルピッチシフター(内蔵エフェクト 1 と 2 でのみ使用可能)
20	**Dual Pitch**	DUAL PITCH	ステレオのピッチシフター
21	**Rotary**	ROTARY	ロータリースピーカーのシミュレーションです。
22	**Ring Mod.**	RING MOD.	リングモジュレーター
23	**Mod.Filter**	MOD.FILTER	フィルターを変調させたエフェクトです。

・ギターエフェクト

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
24	**Distortion**	DISTORTION	ディストーション
25	**Amp Simulate**	AMP SIMULATE	ギターアンプをシミュレートしたエフェクトです。

・ダイナミックエフェクト

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
26	**Dyna.Filter**	DYNA.FILTER	入力レベルに応じて周波数の動くフィルターです。
27	**Dyna.Flange**	DYNA.FLANGE	入力レベルに応じてディレイタイムの動くフランジです。
28	**Dyna.Phaser**	DYNA.PHASER	入力レベルに応じてフェイズシフトポイントの動くフェイザーです。

・コンビネーションエフェクト

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
29	**Rev+Chorus**	REV+CHORUS	REVERB と CHORUS をパラレル接続した複合エフェクトです。
30	**Rev->Chorus**	REV->CHORUS	REVERB と CHORUS をシリーズ接続した複合エフェクトです。
31	**Rev+Flange**	REV+FLANGE	REVERB と FLANGE をパラレル接続した複合エフェクトです。
32	**Rev->Flange**	REV->FLANGE	REVERB と FLANGE をシリーズ接続した複合エフェクトです。
33	**Rev+Sympho.**	REV+SYMPHO.	REVERB と SYMPHONIC をパラレル接続した複合エフェクトです。

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
34	**Rev->Sympho.**	REV->SYMPHO.	REVERB と SYMPHONIC をシリーズ接続した複合エフェクトです。
35	**Rev->Pan**	REV->PAN	REVERB と AUTO PAN をシリーズ接続した複合エフェクトです。
36	**Delay+ER.**	DELAY+ER.	DELAY と EARLY REF. をパラレル接続した複合エフェクトです。
37	**Delay->ER.**	DELAY->ER.	DELAY と EARLY REF. をシリーズ接続した複合エフェクトです。
38	**Delay+Rev**	DELAY+REV	DELAY と REVERB をパラレル接続した複合エフェクトです。
39	**Delay->Rev**	DELAY->REV	DELAY と REVERB をシリーズ接続した複合エフェクトです。
40	**Dist->Delay**	DIST->DELAY	DISTORTION と DELAY をシリーズ接続した複合エフェクトです。

• その他

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
41	**Multi.Filter**	MULTI.FILTER	3 バンドのパラレルフィルターです。 (24dB／オクターブ)
42	**Freeze**	FREEZE	簡易サンプラーです。 (内蔵エフェクト 1 と 2 でのみ使用可能)
43	**Stereo Reverb**	ST REVERB	ステレオリバーブです。
44	**M.Band Dyna.**	M.BAND DYNA.	3 バンドダイナミックプロセッサーです。

• Add-On Effects

No.	プリセット名	タイプ	エフェクトの効果
45*1	**Comp276**	COMP276	—
46*1	**Comp276S**	COMP276S	
47*1	**Comp260**	COMP260	
48*1	**Comp260S**	COMP260S	
49*1	**Equalizer601**	EQUALIZER601	
50*1	**OpenDeck**	OPENDECK	
51*1	**REV-X Hall**	REV-X HALL	
52*1	**REV-X Room**	REV-X ROOM	
53*1	**REV-X Plate**	REV-X PLATE	

***1. Add-On Effectsを追加するためにプリセットナンバーを確保してあります。インストールしていないエフェクトはグレー表示となり使用できません。Add-On Effects についての詳細は、P.162 の“Add-On Effectsでエフェクトを追加”をご参照ください。**

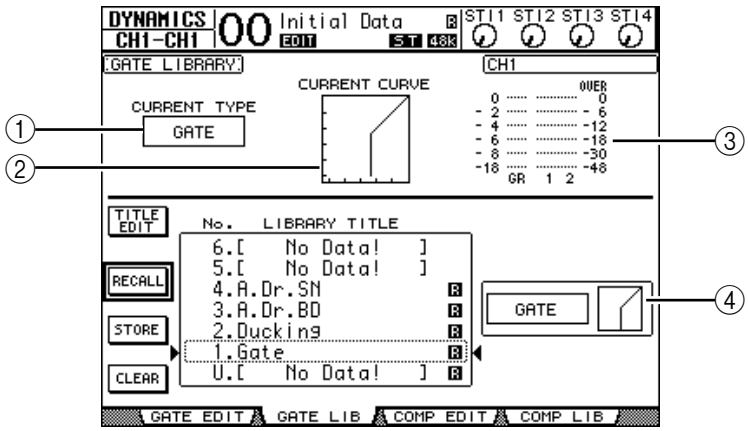
ゲートライブラリー

インプットチャンネルのゲートの設定をストア／リコールするライブラリーです。プリセットライブラリー× 4 と読み書き可能なライブラリー× 124 が利用できます。

ゲートライブラリーを利用するには、次の操作を行ないます。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[DYNAMICS]キーを押し、続いて[F2]キーを押します。

DYNAMICS 画面の GATE LIB ページが表示されます。



① **CURRENT TYPE フィールド**

現在選択されているチャンネルのゲートのタイプ(ゲートまたはダッキング)を表示します。

② **CURRENT CURVE フィールド**

選択されているチャンネルのゲートの特性カーブを表示します。

③ **メーター**

選択されているチャンネル(およびそのチャンネルとペアに設定可能なチャンネル)のゲート通過後の信号レベルと、ゲインリダクション量を表示します。

④ **TYPE/CURVE フィールド**

リストで選択したライブラリーのゲートのタイプ(ゲートまたはダッキング)とゲートの特性カーブを表示します。

> ***ヒント：ゲートが搭載されていない ST IN チャンネル 1 ～ 4、AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8、ステレオアウトを選んだときは、画面に“ XXX has no Gate!(XXX にはチャンネル名が入ります) ”と表示されます。***

2 LAYER セクションのキーを使って、ストア／リコールしたいチャンネルが含まれるレイヤーを呼び出し、[SEL]キーを使ってチャンネルを選択します。

この状態で選択したチャンネルの設定をストアしたり、チャンネルにゲートプログラムをリコールしたりできます。ライブラリーのストアやリコール方法については、P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。

ゲートライブラリーにプリセットされている内容は次のとおりです。

No.	プリセット名	タイプ	内容
1	**Gate**	GATE	ゲートのテンプレート
2	**Ducking**	DUCKING	ダッキングのテンプレート
3	**A. Dr. BD**	GATE	アコースティックバスドラム用のゲートプリセット
4	**A. Dr. SN**	GATE	アコースティックスネアドラム用のゲートプリセット

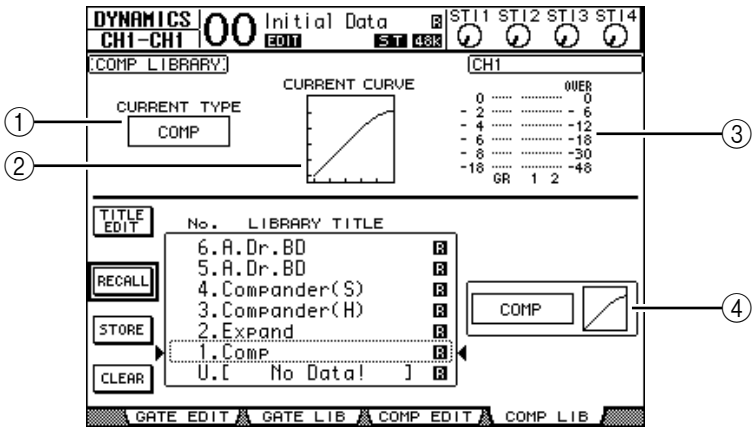
コンプレッサーライブラリー

インプットチャンネル、バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8、ステレオアウトに用意されているコンプレッサーの設定をストア／リコールするライブラリーです。プリセットライブラリー× 36 と読み書き可能なライブラリー× 92 が利用できます。

コンプレッサーライブラリーを利用するには、次の操作を行ないます。

1 DISPLAY ACCESS セクションの [DYNAMICS] キーを押し、続いて [F4] キーを押します。

DYNAMICS 画面の COMP LIB ページが表示されます。



① **CURRENT TYPE フィールド**
現在選択されているチャンネルのコンプレッサーのタイプ（コンプレッサー、エクスパンダー、コンパンダーソフト、コンパンダーハード）を表示します。

② **CURRENT CURVE フィールド**
選択されているチャンネルのコンプレッサーの特性カーブを表示します。

③ **メーター**
選択されているチャンネル（およびそのチャンネルとペアに設定可能なチャンネル）のコンプレッサー通過後の信号レベルとゲインリダクション量を表示します。

④ **TYPE/CURVE フィールド**
リストで選択したライブラリーのコンプレッサーのタイプとコンプレッサーの特性カーブを表示します。

2 LAYER セクションのキーを使って、ストア／リコールしたいチャンネルが含まれるレイヤーを呼び出し、[SEL] キーを使ってチャンネルを選択します。

この状態で選択したチャンネルの設定をストアしたり、チャンネルにプログラムをリコールしたりできます。ライブラリーの利用方法については、P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。なお、コンプレッサーが搭載されていない ST IN チャンネルを選択した場合は画面に“ Stereo in has no Comp ! ”と表示されます。

コンプレッサーライブラリーにプリセットされている内容は次のとおりです。

No.	プリセット名	タイプ	内容
1	**Comp**	COMP	全体のレベルを抑えたり、全体の音の立ち方を良くさせたりの効果が得られるため、ミックスダウン時のステレオアウトやペアのインプット／アウトプットチャンネルに使用すると良いプリセットです。
2	**Expand**	EXPAND	エクスパンダーのテンプレート的なプリセットです。
3	**Compander(H)**	COMPAND-H	ハードニーのテンプレート的なプリセットです。
4	**Compander(S)**	COMPAND-S	ソフトニーのテンプレート的なプリセットです。
5	**A. Dr. BD**	COMP	生ドラムキットのベースドラムに適したプリセットです。
6	**A. Dr. BD**	COMPAND-H	生ドラムキットのベースドラムに適したハードニーのテンプレートです。
7	**A. Dr. SN**	COMP	生ドラムキットのスネアドラムに適したプリセットです。
8	**A. Dr. SN**	EXPAND	生ドラムキットのスネアドラムに適したエクスパンダーのプリセットです。
9	**A. Dr. SN**	COMPAND-S	生ドラムキットのスネアドラムに適したソフトニーのコンパンダーです。
10	**A. Dr. Tom**	EXPAND	生ドラムのタムに使用すると、タムをたたいているとき以外は音量を下げ、マイクからの音の分離が良くなります。
11	**A. Dr. OverTop**	COMPAND-S	生ドラムのシンバルの上方にセットしたマイクで録音した音のアタックや空気感を強調する効果とともに、シンバル等が鳴っていないときに少し音量を下げてマイクからの音の分離を良くします。
12	**E. B. Finger**	COMP	エレキベースを指弾きした音のアタックや音量を均一化するためのコンプレッサーです。
13	**E. B. Slap**	COMP	エレキベースをスラップでプレイした音のアタックや音量を均一化するためのコンプレッサーです。
14	**Syn. Bass**	COMP	シンセベースの音のレベルを揃えるとともに強調する効果のコンプレッサーです。
15	**Piano1**	COMP	少し音を立たせて音色を明るめにします。
16	**Piano2**	COMP	プリセット 15 のバリエーションで、深めのスレッショルドで全体のレベルやアタック感を揃えるような効果があります。
17	**E. Guitar**	COMP	エレキギターのカッティングやアルペジオ等バッキングに向いています。また、音色やプレイによっていろいろと調整してみるといいでしょう。
18	**A. Guitar**	COMP	アコースティックギターのストロークやアルペジオ等のバッキングに向いています。
19	**Strings1**	COMP	ストリングスに適しているコンプレッサーです。
20	**Strings2**	COMP	プリセット 19 のバリエーションで、ヴィオラやチェロに適しています。
21	**Strings3**	COMP	プリセット 20 のバリエーションで、チェロやコントラバスのような音域が低い楽器に使用できます。
22	**BrassSection**	COMP	立ち上がりの速い音、アタック感の強い音に向いています。
23	**Syn. Pad**	COMP	拡散しがちな音を抑える効果があります。たとえばシンセパッドのように耳障りが良い分、音色によっては音が拡散してしまう楽器に適しています。
24	**SamplingPerc**	COMPAND-S	サンプリング音源のいろいろな音色を生楽器の中で使用しても迫力や音の抜け方でおとらないようにしたいときに使用すると効果的です。
25	**Sampling BD**	COMP	プリセット 24 のバリエーションで、サンプリングされたベースドラムのサウンドに向いています。
26	**Sampling SN**	COMP	プリセット 25 のバリエーションで、サンプリングされたスネアドラムのサウンドに向いています。
27	**Hip Comp**	COMPAND-S	プリセット 26 のバリエーションで、サンプリングされたループやフレーズに向いています。

No.	プリセット名	タイプ	内容
28	**Solo Vocal1**	COMP	メインボーカルに適したコンプレッサーです。
29	**Solo Vocal2**	COMP	プリセット 28 のバリエーションです。
30	**Chorus**	COMP	プリセット 28 のバリエーションで、コーラスに向いています。
31	**Click Erase**	EXPAND	ミュージシャンの聴いているクリック音は意外に大きく、それを除去したいときにゲートとして使用すると良いでしょう。
32	**Announcer**	COMPAND-H	アナウンサーが話しているときの音楽のレベルを抑えるハード・ニー・コンパンダーです。
33	**Limiter1**	COMPAND-S	スローリリースのソフト・ニー・コンパンダーです。
34	**Limiter2**	COMP	ピークストップタイプのコンプレッサーです。
35	**Total Comp1**	COMP	全体のレベルを抑えたり、全体の音の立ち方を良くさせたりの効果が得られるため、ミックスダウン時のステレオアウトやペアのインプット／アウトプットチャンネルに使用すると良いプリセットです。
36	**Total Comp2**	COMP	プリセット 35 のバリエーションで、更にコンプレッサーを加えています。

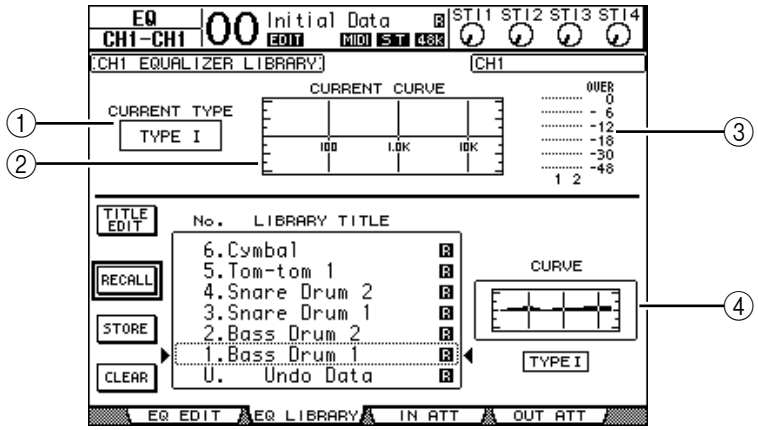
EQ ライブラリー

インプットチャンネル、バスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 8、ステレオアウトに用意されている EQ の設定をストア／リコールするライブラリーです。プリセットライブラリー× 40 と読み書き可能なライブラリー× 160 が利用できます。

EQ ライブラリーを利用するには、次の操作を行ないます。

1 SELECTED CHANNEL セクションの DISPLAY ACCESS セクションの[EQ]キーを押し、続いて[F2]キーを押します。

EQ 画面の EQ LIBRARY ページが表示されます。



① **CURRENT TYPE フィールド**
現在選択されているチャンネルの EQ のタイプ(TYPEI または II)を表示します。

② **CURRENT CURVE フィールド**
選択されているチャンネルの EQ の特性カーブを表示します。

③ **メーター**
選択されているチャンネル(およびそのチャンネルとペアに設定可能なチャンネル)の EQ 通過後の信号レベルを表示します。

④ **TYPE/CURVE フィールド**
リストで選択した EQ プログラムのタイプとその特性カーブを表示します。

2 LAYER セクションのキーを使って、ストア／リコールしたいチャンネルが含まれるレイヤーを呼び出し、[SEL]キーを使ってチャンネルを選択します。

この状態で選択したチャンネルの設定をストアしたり、チャンネルに EQ プログラムをリコールしたりできます。ライブラリーの操作方法については、P.175 の“ ライブラリーの基本操作 ”をご参照ください。

EQ ライブラリーにプリセットされている内容は次のとおりです。

No.	プリセット名	内容
1	**Bass Drum 1**	バスドラムの低域成分とビーターが当たるアタック音を強調します。
2	**Bass Drum 2**	バスドラムの 80Hz 周辺にピークを持たせ、硬めの締まったサウンドにします。
3	**Snare Drum 1**	スネアドラムのサウンドに含まれるスナッピー音やリム音などの中高域を強調します。
4	**Snare Drum 2**	スネアドラムの低域と高域を強調して、いわゆる「ドンシャリ」的なサウンドにします。
5	**Tom-tom 1**	タムのアタック音を強調し、さらに「トゥン」という皮鳴り部分のディケイを延ばします。
6	**Cymbal**	クラッシュシンバルのアタック感を強調し、キラキラした高域成分のディケイを伸ばします。
7	**High Hat**	中域から高域を少し強調させ、低域を抑えたキレのいいハイハット用のセッティングです。
8	**Percussion**	シェイカーやカバサ、コンガなどのパーカッションのアタック部分を強調し、高域をくっきりさせます。
9	**E. Bass 1**	エレキベースの超低域を少し抑えて、締まった感じにします。
10	**E. Bass 2**	プリセット 9 とは逆に、低域をやや強調したエレキベース用のバリエーションです。
11	**Syn. Bass 1**	低域重視のシンセベース用セッティングです。
12	**Syn. Bass 2**	シンセベース独特のアタック感をやや強調したセッティングです。
13	**Piano 1**	ピアノ系の音色を明るめの音にします。
14	**Piano 2**	コンプレッサーと併用することで、アタック感と低域を強調したピアノサウンドを作ります。
15	**E. G. Clean**	ライン録りのエレキギター（クリーン系）や、やや硬めのエレアコギターに向いた明るめのセッティングです。
16	**E. G. Crunch 1**	クランチ系（やや歪んだ音）のギターサウンドのツブ立ちを良くします。
17	**E. G. Crunch 2**	プリセット 16 のバリエーションです。
18	**E. G. Dist. 1**	ディストーション系のギターの音抜けを良くするセッティングです。
19	**E. G. Dist. 2**	プリセット 18 のバリエーションです。
20	**A. G. Stroke 1**	アコースティックギターのきらびやかな部分を強調するセッティングです。
21	**A. G. Stroke 2**	プリセット 20 のバリエーションです。エレクトリックガットギターに使ってもいいでしょう。
22	**A. G. Arpeg. 1**	アコースティックギターのアルペジオ奏法に適したセッティングです。
23	**A. G. Arpeg. 2**	プリセット 22 のバリエーションです。
24	**Brass Sec.**	ハリのあるブラスセクション（トランペット、トロンボーン、サックス）をイメージしました。単体で使用する場合は、HIGH や HIGH-MID のフリーケンシーなどを調整してください。
25	**Male Vocal 1**	男性ボーカル用のテンプレートとして利用できるイコライゼーションです。声質に応じて HIGH や HIGH-MID のフリーケンシーなどを調節してください。
26	**Male Vocal 2**	プリセット 25 のバリエーションです。
27	**Female Vo. 1**	女性ボーカル用のテンプレートとして利用できるイコライゼーションです。声質に応じて HIGH や HIGH-MID のフリーケンシーなどを調節してください。
28	**Female Vo. 2**	プリセット 27 のバリエーションです。
29	**Chorus&Harmo**	コーラス用のテンプレートとして利用でき、コーラス全体を明るくします。
30	**Total EQ 1**	ミックスダウン時などのステレオミックスに適しています。コンプレッサーと併用すれば、さらに効果的です。
31	**Total EQ 2**	プリセット 30 のバリエーションです。
32	**Total EQ 3**	プリセット 30 のバリエーションです。ペアのインプット／アウトプットチャンネルでも使用できます。
33	**Bass Drum 3**	プリセット 1 のバリエーションで、中低域を抜いた感じのサウンドです。
34	**Snare Drum 3**	プリセット 3 のバリエーションで、やや太めのサウンドです。
35	**Tom-tom 2**	プリセット 5 のバリエーションで、中高域を強調します。
36	**Piano 3**	プリセット 13 のバリエーションです。
37	**Piano Low**	ピアノを低域／高域に分けてステレオ録音したときの、低域用のイコライゼーションです。
38	**Piano High**	ピアノを低域／高域に分けてステレオ録音したときの、高域用のイコライゼーションです。
39	**Fine-EQ Cass**	カセットテープの音をハッキリ聴かせたい場合などに利用できるセッティングです。
40	**Narrator**	原稿を読んでいるような声を録音するときに適したセッティングです。

第17章 リモート機能

この章では、01V96 のパネル上の操作子を使って外部機器を操作するリモート機能について説明します。

リモート機能について

01V96 には、外部の DAW(デジタルオーディオワークステーション)、MIDI 機器、レコーダーなどを操作するリモート機能が搭載されています。

リモート機能は、次の 2 つに大別できます。

■ REMOTE(リモートレイヤー)

01V96 と外部機器を USB 端子または MY8-mLAN を装着したスロット経由で接続し、パネル上のフェーダー、[ON] キーを使って外部機器をリモートコントロールします。

操作する機器の種類やパラメーターは、DIO/SETUP 画面の REMOTE ページで設定します。また、リモートレイヤーは、LAYER セクションの[REMOTE]キーをオンにしたときに有効となります。この間、パネル上の操作子は外部機器のリモートコントローラーとして動作します(レイヤーを切り替えない限り、01V96 自身のパラメーターは調節できなくなります)。

リモートレイヤーでは、ターゲットとなる機器に応じて、パネル上の操作子に独自の機能を割り当てられます。選択可能なターゲットは次のとおりです。

- **ProTools**.....DIGIDESIGN Pro Tools のリモートコントロールを行ないます。
- **Nuendo**.....Steinberg Nuendo のリモートコントロールを行ないます。
- **Cubase SX**.....Steinberg Cubase SX のリモートコントロールを行ないます。
- **General DAW**.....Pro Tools と同じプロトコルに対応したその他の DAW ソフトウェアをリモートコントロールします。
- **USER DEFINED**.....フェーダー、[ON]キーにお客様ご自身が MIDI メッセージを割り当てて、シンセサイザーなどの MIDI コントローラーとして利用します。
- **USER ASSIGNABLE LAYER**.....01V96 内部のチャンネルを自由に組み合わせて、オリジナルのレイヤーを作成します(この機能の詳しい説明は P.233 をご参照ください)。

■ MACHINE CONTROL(マシンコントロール)

01V96 と MMC 対応の外部機器を MIDI 端子、USB 端子、スロットに装着された MY8-mLAN カードのいずれかの方法で接続し、MIDI マシンコントロールのコマンドを使って外部機器を操作します。実際の操作は、DIO/SETUP 画面の MACHINE ページで行ないます。

> ***ヒント：01V96 から外部機器を操作するには、この他にもユーザー定義キーを使う方法があります。詳しくは「第 19 章　その他の機能」をご参照ください。***

リモートレイヤーで Pro Tools を操作する

リモートレイヤーを使って Pro Tools をリモートコントロールします。

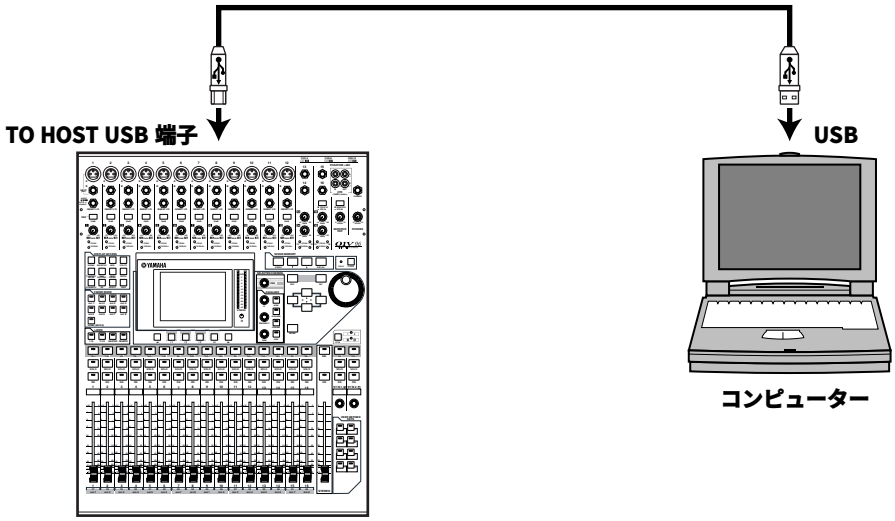
接続とセットアップ(Pro Tools)

USB 端子を使って 01V96 とコンピューターを接続し、Pro Tools をリモートコントロールできるように設定します。

ノート：Pro Tools のリモートコントロールは、MIDI 端子経由、またはスロットに装着された MY8-mLAN 経由では行なえません。必ず USB 端子を経由してコンピューターと接続してください。

■ Windows の場合

1 01V96 の TO HOST USB 端子とコンピューターの USB 端子を USB ケーブルで接続します。



2 01V96 付属の CD-ROM に収録されている USB ドライバをインストールします。

インストール方法の詳細は、Studio Manager インストールガイドをご参照ください。

■ Macintosh の場合

1 01V96 の TO HOST USB 端子とコンピューターの USB 端子を USB ケーブルで接続します。

2 01V96 付属の CD-ROM に収録されている USB ドライバをインストールします。

インストール方法の詳細は、Studio Manager インストールガイドをご参照ください。

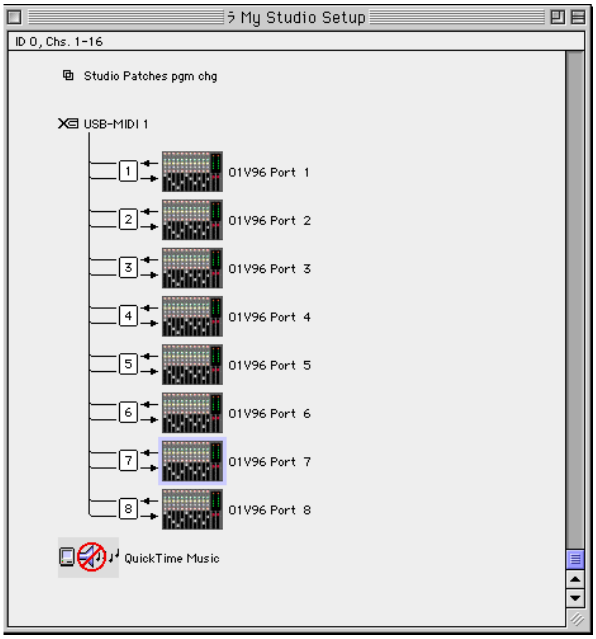
3 Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 をお使いの場合は、OMS をインストールします。

01V96 は OMS(Open Music System)を使って Pro Tools とデータのやり取りを行ないます。OMS がインストールされていない場合は、付属 CD-ROM に収録されているインストールソフトウェアを使って OMS をインストールします。

4 Pro Tools を起動します。

5 Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 をお使いの場合は、Setups メニューから“ OMS Studio Setup ”を選び、OMS を設定します。

OMS Studio Setup の設定方法は OMS 付属の説明をご参照ください。OMS では、8 系統のポートを持つ USB MIDI インターフェースとして 01V96 を認識します。

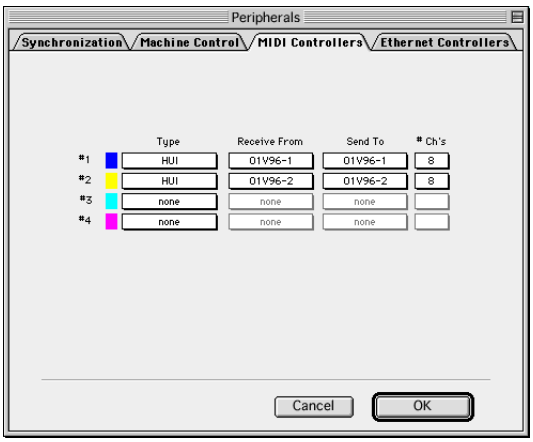


6 Setups メニューから Peripherals を選んで Peripherals ウィンドウを開きます。

7 “ MIDI Controllers ”タブをクリックします。

8 次の画面を参考に、Type/Receive From/Send To/#Ch's の各項目を設定します。

01V96 は、2 ポート分の MIDI コントローラーとして利用できます。



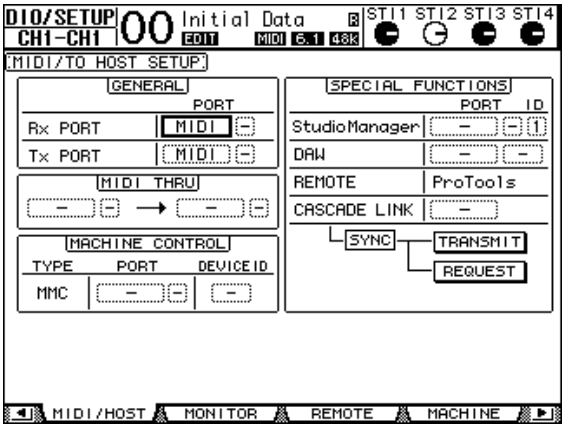
ヒント：Pro Tools をリモートコントロールするときは、オーディオ 8 チャンネルにつき、ポート 1 系統を使用します。

9 設定が終ったらウィンドウを閉じます。

01V96の設定

ここでは、リモートレイヤーを使って Pro Tools をリモートコントロールできるように、01V96 を設定する方法を説明します。

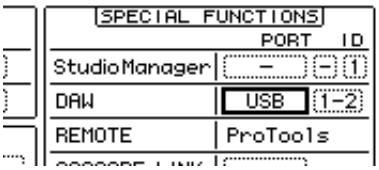
1 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させます。



2 SPECIAL FUNCTION フィールドの DAW パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回して“ USB ”を選びます。

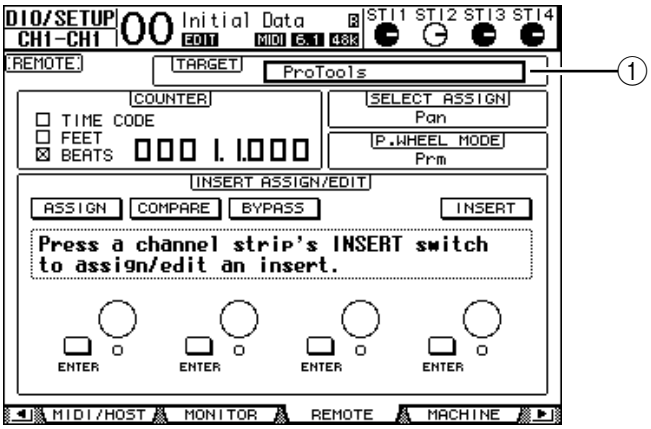
3 [ENTER]キーを押して選択内容を確定させます。

4 右側のパラメーターボックスにカーソルを合わせ、同じ要領でリモートコントロールに利用するポートを選びます。



ノート：ポートの設定が異なるとリモートコントロールは行なえません。ポートの設定は必ず Pro Tools の Peripherals ウィンドウと一致させてください。

5 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の REMOTE ページを表示します。

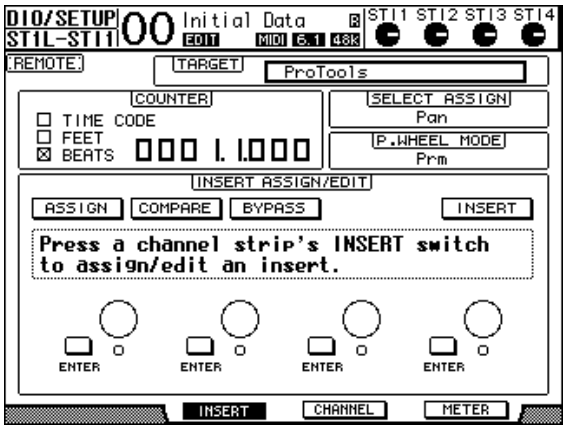


6 TARGET パラメーターボックス(①)にカーソルを合わせ、" ProTools "が選択されていることを確認します。

初期状態では、リモートレイヤーのターゲットが ProTools に設定されています。他のターゲットが選ばれている場合は、パラメーターホイールを回して" ProTools "を選択してください。

7 LAYER セクションの[REMOTE]キーを押します。

操作可能なレイヤーとしてリモートレイヤーが選ばれ、Pro Tools のリモートコントロールが有効になります。



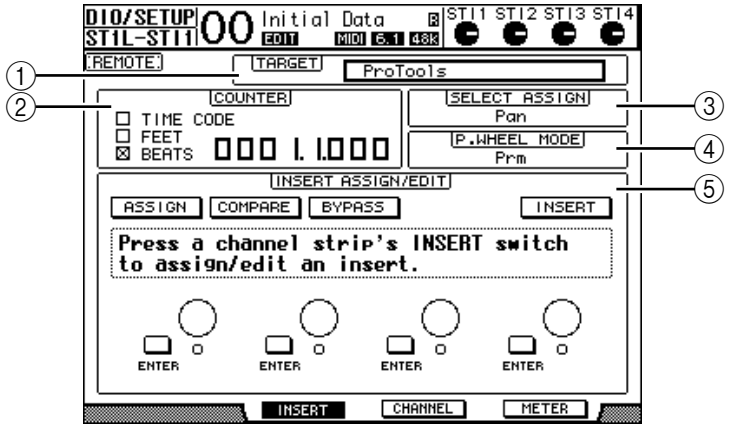
ノート：Pro Tools が割り当てられているリモートレイヤーを選ぶと、01V96 のパネル上のフェーダーなどの操作子がリモートコントロール専用になります。通常の操作に戻りたい場合は、レイヤーを切り替えてください。

ディスプレイについて

Pro Tools をリモートコントロールしている間、ディスプレイの表示内容は、[F2]キー～[F4]キーやタブスクロール[◄]/[►]キーを使って切り替えができます。各キーを押したときに表示される内容は次のとおりです。

■ INSERT モード([F2]キーを押した場合)

[F2]キーを押すと、プラグインの割り当てや、割り当てたプラグインのパラメーターの調節を行なう" INSERT モード "に切り替わります。



① TARGET フィールド

リモートコントロールする機器を選択します。

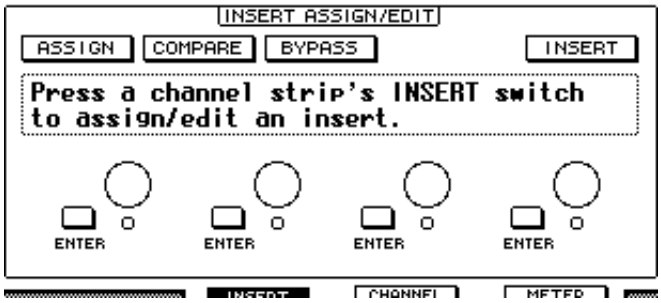
② **COUNTER フィールド**
現在位置を表すカウンターです。このカウンターは Pro Tools のタイムコードカウンターと連動しています。タイムコードのフォーマットは Pro Tools 側で設定します。フィールド内の各チェックボックスで、現在選ばれているフォーマットを確認できます。

- **TIME CODE チェックボックスがオンのとき** ..... Pro Tools のタイムコードフォーマットが“ Time Code ”に設定されています。
- **FEET チェックボックスがオンのとき** ..... Pro Tools のタイムコードフォーマットが“ Feet:Frames ”に設定されています。
- **BEATS チェックボックスがオンのとき** ..... Pro Tools のタイムコードフォーマットが“ Bars:Beats ”に設定されています。
- **上記のチェックボックスがすべてオフのとき** ..... Pro Tools のタイムコードフォーマットが“ Minutes:Seconds ”または“ Samples ”に設定されています。

③ **SELECT ASSIGN フィールド**
現在画面上のノブを使って調節できるパラメーター（Pan/PanR/SndA/SndB/SndC/SndD/SndE など）を表示します（→ P.196）。

④ **P.WHEEL MODE フィールド**
現在パラメーターホイールに割り当てられた機能を表示します（→ P.197）。

⑤ **INSERT ASSIGN/EDIT フィールド**
プラグインを Pro Tools の特定チャンネルにインサートしたり、プラグインのかかり具合などを調節したりできます。タブスクロール[◄]/[►]キーを使って、フィールド内に表示されるパラメーターを切り替えます。

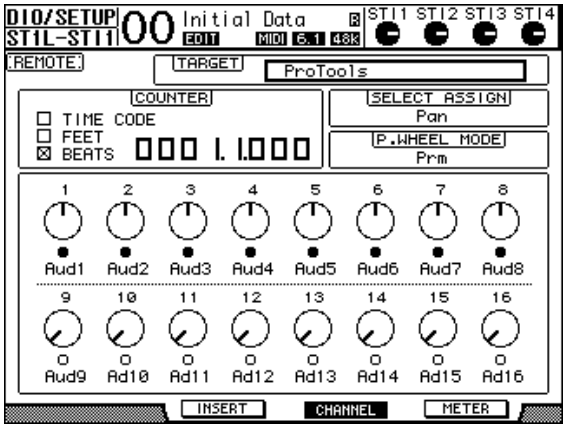


- **ASSIGN ボタン** ..... このボタンをオンにするとプラグインを特定のチャンネルにインサートできます（TDM システムを利用しているときは、外部のアウトボートプロセッサーを割り当てることもできます）。
- **COMPARE ボタン** ..... このボタンをオンにすると、エディット前とエディット後の効果の聴き比べができます。このボタンのオン／オフは、Pro Tools の Inserts/Sends ウィンドウに表示される Compare ボタンと連動しています。
- **BYPASS ボタン** ..... このボタンをオンにすると、プラグインをバイパスします（→ P.204）。

- **INSERT/PARAM ボタン**.....このボタンを INSERT に切り替えると、画面内のノブ 1 ～ 4 を使ってプラグインの割り当てを行なえます。PARAM に切り替えると、ノブ 1 ～ 4 を使ってプラグインのパラメーターが調節できます(→ P.203)。
- **メッセージフィールド**.....プラグインのパラメーター名やその設定値、および Pro Tools ソフトウェアからの警告メッセージなどが表示されます。
- **ノブ 1 ～ 4**.....プラグインの選択や、選ばれたプラグインのパラメーター調節を行ないます。

■ CHANNEL モード([F3]キーを押した場合)

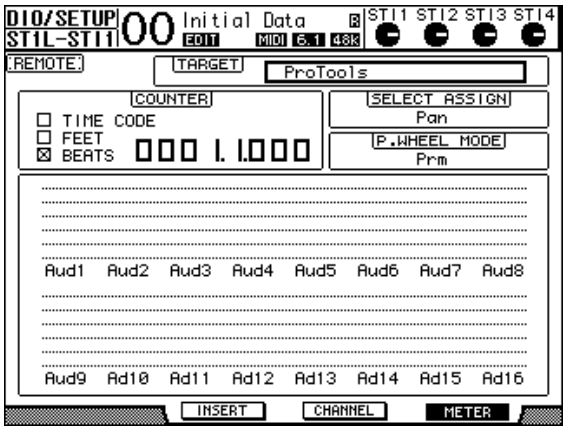
[F3]キーを押すと、1 ～ 16 トラックの各種パラメーターを表示する CHANNEL モードに切り替わります。



- **パラメーター1 ～ 16 ノブ**.....チャンネル 1 ～ 16 のパン、SEND A ～ SEND E へのセンドレベルなど、各チャンネルのパラメーターを一覧表示します。

■ METER モード([F4] キーを押した場合)

[F4]キーを押すと、1 ～ 16 トラックのレベルを表示する METER モードに切り替わります。



- **チャンネル 1 ～ 16**..... チャンネル 1 ～ 16 のレベルまたはセンドレベルを表示します。

操作子の機能について

Pro Tools をリモートコントロールしている間、パネル上の操作子の機能は次のように変化します。

■ チャンネルモジュールセクション

- **[SEL]キー**
  Pro Tools のチャンネルの選択、インサートの選択、オートメーションモードの選択に使用します。
- **[SOLO]キー**
  Pro Tools のチャンネルのソロオン／オフを切り替えます。ソロがオンに設定されているときは、キーのインジケーターが点灯します。
- **[ON]キー**
  Pro Tools のチャンネルのミュートオン／オフを切り替えます。
- **フェーダー**
  オーディオトラック、MIDI トラック、マスターフェーダー、AUX インなど、Pro Tools の各種チャンネルのレベルを調節します。Pro Tools 側で表示されているチャンネルが 16 チャンネル以下の場合は、左から順番にフェーダーが割り当てられます。

■ FADER MODE セクション

- **[AUX 1]キー～[AUX 5]キー**
  Pro Tools の各チャンネルから SEND A ～ SEND E へのセンドレベルを調節します。
- **[AUX 6]キー**
  このキーを押しながら[SEL]キーを押すと、該当するチャンネルのフェーダーのレベルをリセットできます。
  また、ディスプレイに表示されるノブにカーソルを合わせ、このキーを押しながら[ENTER]キーを押すと、該当するチャンネルのフェーダーのパンを中央にリセットできます。キーを押している間は、ディスプレイの SELECT ASSIGN フィールドに“ DFLT ”と表示されます。
- **[AUX 7]キー**
  このキーをオンにすると、SELECTED CHANNEL セクションの PAN コントロールを使って、選択したチャンネルのパンを調節できます。ディスプレイの表示が CHANNEL モードのときにこのキーをオンにすると、ノブ 1 ～ 16 を使って各チャンネルのパンが調節できます。
  なお、ステレオチャンネルのパンを調節するときは、キーを繰り返し押して操作対象となるチャンネル（L または R）を切り替えることができます。
- **[AUX 8]キー**
  [SEL]キーと組み合わせて Pro Tools のチャンネルにプラグインを割り当てます（→ P.202）。
- **[HOME]キー**
  フェーダー、[ON]キー、PAN コントロールを使って、AUX センドの各パラメーターを調節する“ フリップモード ”（→ P.201）のオン／オフを切り替えます。

■ DISPLAY ACCESS セクション

- **[PAIR/GROUP]キー**
  CHANNEL モードまたは METER モードの画面が表示されているときに、各チャンネルが所属するグループ（グループ ID）を表示します。

- **[EFFECT]キー**
  Pro Tools ソフトウェアの画面内で Insert ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。

■ ディスプレイセクション

- **[F1]キー**
  ディスプレイの表示が METER モードのとき、クリッピングおよびピークホールドの表示をリセットします。
- **タブスクロール[◄]/[►]キー**
  INSERT モードの画面が表示されているとき、INSERT ASSIGN/EDIT フィールドに表示される内容を切り替えます。

■ データエントリーセクション

- **[ENTER]キー**
  ディスプレイに表示されるボタンのオン／オフを切り替えます。
- **カーソル[◄]/[►]/[▲]/[▼]キー**
  ディスプレイに表示されるカーソルを移動させます。
- **[INC]/[DEC]キー**
  [INC]キーを押すと、コンピューターのキーボードで ENTER キーを押したときと同等の動作となります。また、[DEC]キーを押すと、コンピューターのキーボードで ESC キーを押したときと同等の動作となります。
- **パラメーターホイール**
  現在選ばれているパラメーターの調節やスクラブ／シャトル機能を操作します。通常はカーソルで選択したパラメーターの設定値を調節します（P.WHEEL MODE フィールドには“ Prm ”と表示されます）。

■ USER DEFINED KEYS セクション

- **[1]～[8]キー**
  194 種類のパラメーターの中から、お客様ご自身が操作したいものを割り当てて使用します。54 種類のリモートコントロール関連のパラメーターを割り当てれば、通常はパネル上で操作できない Pro Tools のトランスポート操作や各種モードの切り替えなどが行なえます。キーに機能を割り当てる方法は、P.235 をご参照ください。

表示	機能
DAW REC	Pro Tools をレコードイネーブル（録音待機状態）に切り換えます。トランスポートの停止中はキーのインジケーターが点滅し、レコーディングが始まると点灯に変わります。
DAW PLAY	現在のカーソルポジションから、プレイバックを行ないます。
DAW STOP	プレイバック／レコーディングを停止します。
DAW FF	現在のカーソルポジションを早送りします。
DAW REW	現在のカーソルポジションを巻戻します。
DAW SHUTTLE	ホイールモードをシャトルに切り換えます。
DAW SCRUB	ホイールモードをスクラブ（ジョグ）に切り換えます。
DAW AUDITION	この機能を割り当てたキーを押しながら、DAW PRE、DAW POST、DAW IN、DAW OUT を割り当てたキーを押すと、プリロール、ポストロール、インポイント、アウトポイントの周辺をそれぞれ試聴することができます。
DAW PRE	プリロールポイントから選択範囲の最初までがプレイバックされます。
DAW IN	選択範囲の最初から、プリロールとして設定している長さがプレイバックされます。
DAW OUT	ポストロールとして設定している長さを遡り、選択範囲の最後までプレイバックされます。

表示	機能
DAW POST	選択範囲の最後から、ポストロールとして設定している長さがプレイバックされます。
DAW RTZ	プレイバックカーソルがセッションの先頭に移動します。
DAW END	プレイバックカーソルがセッションの最後に移動します。
DAW ONLINE	オンライン／オフラインが交互に切り換わります。
DAW LOOP	ループプレイバックのオン／オフが交互に切り換わります。
DAW QUICKPUNCH	QuickPunch のオン／オフが交互に切り換わります。
DAW AUTO FADER	オートメーションの OVER WRITE（AUTO ENABLE）の機能とそれぞれ対応する機能です。
DAW AUTO MUTE	
DAW AUTO PAN	
DAW AUTO SEND	
DAW AUTO PLUGIN	
DAW AUTO SENDMUTE	
DAW AUTO READ	オートメーションモードを選択します。
DAW AUTO TOUCH	
DAW AUTO LATCH	
DAW AUTO WRITE	
DAW AUTO TRIM	
DAW AUTO OFF	
DAW AUTO SUSPEND	全チャンネルのオートメーションのレコーディング／プレイバックを解除します。オートメーションを中断すると LED が点滅し、レベルなどのチャンネルストリップの設定内容は現状を維持します。
DAW AUTO STATUS	各チャンネルのオートメーションモードの設定（Read 、Tch 、Ltch 、Wrt 、Off ）を表示させます。この表示はディスプレイに CHANNEL または METER が表示されているとき、キーを押している間各チャンネルの下部に表示されます
DAW GROUP STATUS	ディスプレイの表示が CHANNEL または METER の場合に、CHANNEL ディスプレイにグループ ID が表示させます（親グループは大文字で、サブグループが小文字）。
DAW MONI STATUS	この機能を割り当てたキーを押すと、モニターモードに加えてチャンネルストリップの種類を確認することができます。
DAW CREATE GROUP	この機能を割り当てたキーを押すと、Pro Tools のグループリストに表示されるポップアップメニューの機能を実行できます。
DAW SUSPEND GROUP	すべてのミックスグループを一時的にサスペンドさせます。もう一度キーを押すと、元の状態に戻ります。
DAW WIN TRANSPORT	Transport ウィンドウの表示／非表示を交互に切り換えます。
DAW WIN INSERT	Insert ウィンドウの表示／非表示を交互に切り換わります。
DAW WIN MIX/EDIT	Mix ウィンドウと Edit ウィンドウが交互に表示されます（同時に両方のページは表示されません）。
DAW WIN MEM-LOC	Memory Locations ウィンドウの表示／非表示が交互に切り換わります。
DAW WIN STATUS	Status ウィンドウの表示／非表示が交互に切り換わります。
DAW UNDO	Edit メニューの Undo/Redo コマンドを実行します。
DAW SAVE	Edit メニューの Save コマンドを実行します。
DAW EDIT MODE	この機能を割り当てたキーを押すと、Shuffle 、Slip 、Spot 、Grid の 4 つの編集モードが順番に切り換わります。
DAW EDIT TOOL	この機能を割り当てたキーを押すと、7 種類の編集ツール（ズーマー、トリマー、セレクター、グラバー、スマートツール、スクラバー、ペンシル）が順番に切り換わります。
DAW SHIFT/ADD	Macintosh の修飾キー（SHIFT、OPTION、CONTROL、ALT）と同じ機能を割り当てます。別のキーと組み合わせることによって、実行するコマンドを変化させることが可能です。
DAW OPTION/ALL	
DAW CTRL/CLUCH	
DAW ALT/FINE	

表示	機能
DAW BANK +	バンクスワップ操作を行います。この機能を割り当てたキーを押すと、操作を行なうバンク（16 本のチャンネルストリップ）がまとめて切り換わります。
DAW BANK −	
DAW Channel +	チャンネルスクロール操作を行います。この機能を割り当てたキーを押すと、チャンネルストリップを 1 本ずつ左右にスクロールすることができます。
DAW Channel −	
DAW REC/RDY 1	この機能を割り当てたキーを押すと、チャンネルストリップがレコードレディー（録音選択）の状態になります。このとき機能を割り当てたキーのインジケーターは点滅し、レコーディングを開始すると点灯に切り換わります。
DAW REC/RDY 2	
DAW REC/RDY 3	
DAW REC/RDY 4	
DAW REC/RDY 5	
DAW REC/RDY 6	
DAW REC/RDY 7	
DAW REC/RDY 8	
DAW REC/RDY 9	
DAW REC/RDY 10	
DAW REC/RDY 11	
DAW REC/RDY 12	
DAW REC/RDY 13	
DAW REC/RDY 14	
DAW REC/RDY 15	
DAW REC/RDY 16	
DAW REC/RDY ALL	すべてのチャンネルストリップがレコードイネーブルになっていない場合、この機能を割り当てたキーを押すと、すべてのチャンネルストリップがレコードイネーブルに切り換わります。なお、現在選択しているバンクに関係なく、いずれかのチャンネルストリップがレコードイネーブルになっている場合は、このキーのインジケーター が点滅します。LED が点滅している状態で、このキーを押すと、すべてのチャンネルストリップのレコードイネーブルが解除されます。

チャンネルの選択

Pro Tools の単一チャンネルを選択したいときは、そのチャンネルに相当する[SEL]キーを押します。

Pro Tools の複数チャンネルを同時に選択したいときは、1 つの[SEL]キーを押したまま、他のチャンネルの[SEL]キーを押してチャンネルを追加します。チャンネルの選択中にもう一度[SEL]キーを押すと、選択が解除できます。

チャンネルのレベル調節

1 **FADER MODE セクションの[HOME]キーの LED が点灯していることを確認します。**

LED が点滅しているときは、[HOME]キーを押して LED を点灯に切り替えます。

2 **レベルを調節したいチャンネルに相当するフェーダーを操作します。**

[AUX 6]キーを押しながら[SEL]キーを押すと、該当するチャンネルのフェーダーのレベルがリセットできます。

チャンネルのミュート

Pro Tools のチャンネルをミュートするには、[ON]キーを押してキーのインジケーターを消灯させます。操作したチャンネルがグループ化されていた場合、グループ内のすべてのチャンネルが一緒にミュートされます。

ミュートを解除するには、もう一度[ON]キーを押してインジケーターを点灯させます。

なお、Pro Tools のミュートには“ **インプリシットミュート** ”と“ **エクスプリシットミュート** ”の 2 種類があります。この 2 つのどちらの状態になっているかは、キーのインジケーターの点灯／消灯で確認できます。

- **インプリシットミュート** ..... 他のチャンネルをソロに切り替えたため、強制的にミュートされている状態です。このとき[ON]キーのインジケーターは点滅します。
- **エクスプリシットミュート** ..... マニュアル操作でチャンネルをオフに切り替えた状態です。このとき[ON]キーのインジケーターは消灯します。

チャンネルのパンの調節

Pro Tools の各チャンネルのパンを調節します。

1 **FADER MODE セクションの[AUX 7]キーを押します。**

キーの LED が点灯します。

2 **[F3]キーを押してディスプレイの表示を CHANNEL モードに切り替えます。**

CHANNEL モードの画面が表示されているときは、画面上のノブ 1 ～ 16 にパンの設定値が表示されます。

3 **[SEL]キーを使ってパンを調節したいチャンネルを選択します。**

ステレオチャンネルのパンを調節するときは、STEREO セクションの[SEL]キーを押した後で[AUX 7]キーを押し、L/R のチャンネルを選んでください。[AUX 7]キーを押すたびに L/R のチャンネルが交互に切り替わります。L チャンネルが選ばれているときは[AUX 7]キーの LED が点灯し、SELECT ASSIGN フィールドに“ Pan ”と表示されます。R チャンネルが選ばれているときは[AUX 7]キーの LED が点滅し、SELECT ASSIGN フィールドに“ PanR ”と表示されます。

> ***ノート：モノラルチャンネルのパンの調節は、必ず [AUX 7]キーが点灯した状態で行なってください。点滅状態で PAN コントロールを調節しても何も起きません。***

4 **SELECTED CHANNEL セクションの[PAN]コントロールを使って選択したチャンネルのパンを調節します。**

5 **パンを中央にリセットしたいときは、画面内のノブにカーソルを合わせ、[AUX 6]キーを押しながら[ENTER]キーを押します。**

パンの設定値のリセットは、[AUX 7]キーが点灯している間だけ行なえます。

チャンネルのソロ設定

ソロに切り替えたい Pro Tools のチャンネルに相当する[SOLO]キーを押します。そのチャンネルがグループに属しているときには、そのグループがソロに切り替わり、他のチャンネルはミュートされます。

もう一度[SOLO]キーを押すと、ソロが解除されます。

SEND A ～ SEND E のプリ／ポスト設定

Pro Tools の各チャンネルから SEND A ～ SEND E に送られる信号の送出位置を切り替えます。

1 **[F3]キーを押してディスプレイの表示を CHANNEL モードに切り替えます。**

2 **FADER MODE セクションの[AUX 1]キー～[AUX 5]キーを使って、操作する AUX センド（SEND A ～ SEND E）を選択します。**

3 AUX センドのプリ／ポストを切り替えるには、画面内のノブにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

[ENTER]キーを押すごとにプリ／ポストが交互に切り替わります。

SEND A ～ SEND E のセンドレベルの調節

Pro Tools の各チャンネルから SEND A ～ SEND E へのセンドレベルを調節します。

1 [F3]キーを押してディスプレイの表示を CHANNEL モードに切り替えます。

2 FADER MODE セクションの[AUX 1]キー～[AUX 5]キーを使って、操作する AUX センド（SEND A ～ SEND E）を選択します。

3 画面内にあるセンドレベルを調節したいチャンネルのノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回します。

フェーダー／[ON]キー／ PAN コントロールの動作がフリップモードのときは、フェーダーを操作してセンドレベルを調節できます。詳しくはフリップモードをご参照ください。

SEND A ～ SEND E のミュート

フェーダー／[ON]キー／ PAN コントロールの動作をフリップモードに切り替えると、[ON]キーを使って各センドをミュートできます。詳しくはフリップモードをご参照ください。

SEND A ～ SEND E のパンの調節

フェーダー／[ON]キー／ PAN コントロールの動作をフリップモードに切り替えると、SELECTED CHANNEL セクションの PAN コントロールを使って、各チャンネルからステレオの AUX センドに送られる信号のパンを調節できます。詳しくは次の項目をご参照ください。

フリップモード

フェーダー／[ON]キー／ PAN コントロールの動作をフリップモードに切り替えると、次の表のようにセンドレベルやプリ／ポスト、ミュートの設定を直接操作できます。

コントロール類	通常モード	フリップモード
フェーダー	チャンネルレベル	AUX センドレベル
[ON] キー	チャンネルミュート	AUX センドミュート
PAN コントロール	チャンネルパン	AUX センドパン

フリップモードに切り替えるには、次のように操作します。

1 FADER MODE セクションの[HOME]キーを繰り返し押して、キーの LED を点滅させます。

ディスプレイの SELECT ASSIGN フィールドに“ FLIP ”と表示されます。

2 FADER MODE セクションの[AUX 1]キー～[AUX 5]キーを使って操作する AUX センド（SEND A ～ SEND E）を選択します。

操作したキーのインジケーターが点灯します。

3 フェーダー、[ON]キー、PAN コントロールを使って、選択した AUX センドのパラメーターを操作します。

ステレオチャンネルからステレオ AUX センドに信号を送る場合は、左右のチャンネルで独自にパンを設定できます。これを行なうには、FADER MODE セクションの[AUX 7]キーを繰り返し押します。キーのインジケーターが点灯しているときは左チャンネルのパン、インジケーターが点滅しているときは右チャンネルのパンが調節できます。

Pro Tools のチャンネルストリップにプラグインを割り当てる

Pro Tools のチャンネルストリップで利用可能な 5 系統のインサートに、プラグインを割り当てます。

1 [F2]キーを押して、表示を INSERT モードに切り替えます。

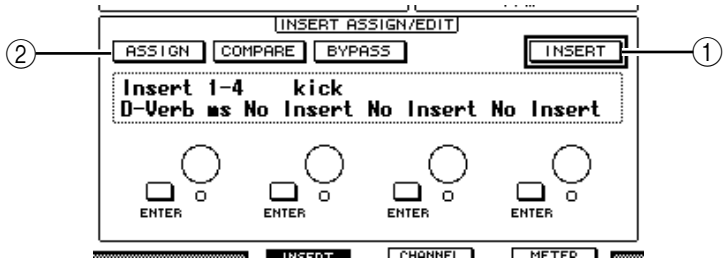
2 FADER MODE セクションの[AUX 8]キーを押します。

[AUX 8]キーのインジケーターが点滅します。この状態でプラグインを割り当てるチャンネルが選択できます。

3 [SEL]キーを使って割り当てを行ないたいチャンネルを選択します。

4 INSERT ASSIGN/EDIT フィールドの INSERT/PARAM ボタン(①)が" INSERT "になっていることを確認します。

ボタンの表示が" PARAM "のときは、ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押して" INSERT "に切り替えます。



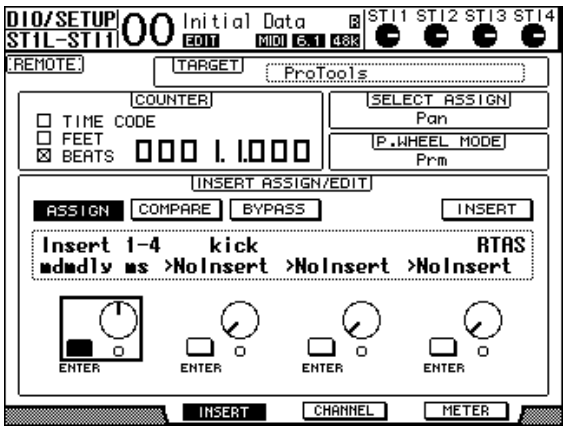
5 ASSIGN ボタン(②)にカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押してボタンをオンにします。

この状態でプラグインの割り当てが行なえます。ボタンをオンにした後に他のチャンネルの[SEL]キーを押すと、ASSIGN ボタンがオフになります。他のチャンネルにプラグインを割り当てたいときはもう一度 ASSIGN ボタンをオンに設定します。

6 画面内のノブ 1 ～ 4 のいずれかにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回してプラグインを選択します。

初期状態では画面内のノブを使って、チャンネルストリップのインサート 1 ～ 4 に割り当てるプラグインが選択できます。インサート 5 にプラグインを割り当てたい場合はタブスクロール[►]キーを押して INSERT ASSIGN/EDIT フィールドの表示を切り替えます。

なお、TDM システムを利用している場合は、外部のアウトボードプロセッサーを割り当てることも可能です。



7 プラグインの割り当てを確定させるには、[ENTER]キーを押します。

手順 6 ～ 7 を繰り返せば、チャンネルストリップの他の位置にプラグインを割り当てることができます。

8 他のチャンネルも同じ要領でプラグインを割り当てます。

9 割り当てが終ったら[AUX 8]キーを押してインジケーターを消灯させます。

プラグインのパラメーターを調節する

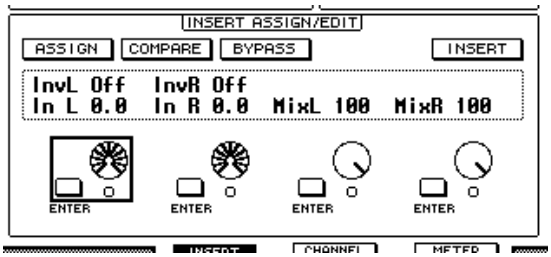
インサートに割り当てたプラグインのパラメーターを調節します。

1 [F2]キーを押して、ディスプレイの表示を INSERT モードに切り替えます。

2 [SEL]キーを使ってプラグインのパラメーターを調節したいチャンネルを選択します。

3 INSERT ASSIGN/EDIT フィールドのパラメーターを調節したいプラグインが割り当てられている画面内のノブ（インサート 1 ～ 4）にカーソルを合わせます。

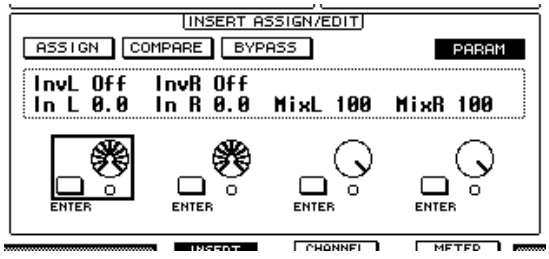
> ***ノート：インサート 5 に割り当てたプラグインのパラメーターを調節したいときは、タブスクロール[►]キーを押して INSERT ASSIGN/EDIT フィールドの表示を切り替えて、画面内のノブを選択します。***



4 パラメーターを表示させるには、[ENTER]キーを押します。

INSERT/PARAM ボタンが自動的に“ PARAM ”に切り替わり、INSERT ASSIGN/EDIT フィールドの表示がプラグインのパラメーターの表示に切り替わります。

この状態でパラメーターノブ 1 ～ 4 および[ENTER]キーを使ってプラグインのパラメーターが調節できます。

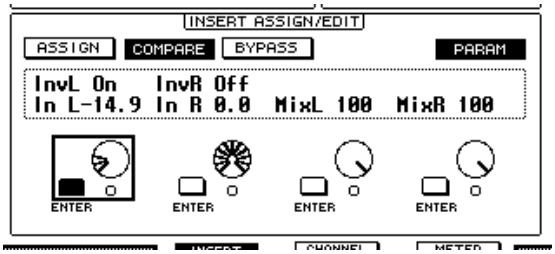


5 タブスクロールキーを使って調節したいパラメーターを表示させます。

多くのプラグインには、5 つ以上のパラメーターが含まれています。5 番目以降のパラメーターを調節するには、タブスクロールボタンを使って、INSERT ASSIGN/EDIT フィールドの表示（ページ）を切り替えます。キーを押した直後は、現在のページ番号とプラグイン名が一定時間表示されます。

6 画面内のノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[ENTER]キーを使って設定値を調節します。

1 つのパラメーターノブには 1 種類または 2 種類のパラメーターが割り当てられています。オン／オフを切り替えるタイプのパラメーターを調節する場合は[ENTER]キーを押し、可変式のパラメーターはパラメーターホイールを回して設定値を調節します。



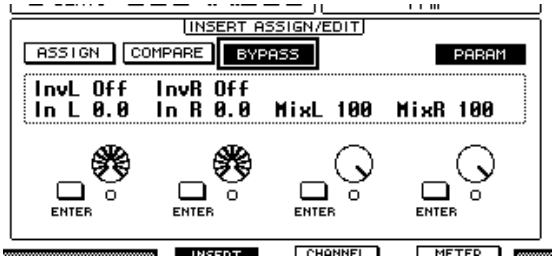
7 パラメーターの調節が終ったら、INSERT/PARAM ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押してボタンの表示を“ INSERT ”に切り替えます。

プラグインをバイパスさせる

Pro Tools のチャンネルストリップに割り当てた特定のプラグインをバイパスさせます。

これを行なうには、プラグインが割り当てられているチャンネルを[SEL]キーを使って選択し、ディスプレイセクションの[F2]キーを押して、ディスプレイの表示を INSERT モードに切り替えます。

プラグインをバイパスさせるには、バイパスさせたいプラグインのパラメーターを INSERT ASSIGN/EDIT フィールドに表示させ、BYPASS ボタンをオンにします。



スクラブ／シャトル機能の操作

USER DEFINED KEYS[1]～[8]のいずれかに“ **DAW SCRUB** ”パラメーターを割り当てれば、パラメーターホイールを回して Pro Tools を正方向／逆方向に再生できます。同じように“ **DAW SHUTTLE** ”パラメーターを割り当てれば、パラメーターホイールを回して再生早送りや再生巻き戻しが行なえます。

1 USER DEFINED KEYS[1]～[8]のいずれかのキーに“ DAW SCRUB ”または“ DAW SHUTTLE ”を割り当てます。

ユーザー定義キーの割り当てを行なうには、一度レイヤーを切り替えてリモートコントロールを解除する必要があります。ユーザー定義キーの割り当て方法は P.235 をご参照ください。

2 LAYER セクションの[REMOTE]キーを押して、Pro Tools のリモートコントロールが行なえる状態に切り替えます。

3 Pro Tools のトランスポートが停止していることを確認します。

4 手順 1 で DAW SCRUB パラメーターまたは DAW SHUTTLE を割り当てたユーザー定義キーを押します。

この状態でスクラブ／シャトル機能が利用できます。

5 パラメーターホイールを回します。

パラメーターホイールを時計回りに回したときは正方向に、反時計回りに回したときは、逆方向に再生します。

スクラブ再生する最小単位は、Pro Tools の Edit ウィンドウのズーム倍率に応じて変化します。

6 スクラブ／シャトル機能を解除するには、手順 1 で DAW SCRUB パラメーターまたは DAW SHUTTLE を割り当てたユーザー定義キーを押します。

ユーザー定義キーに DAW STOP パラメーターを割り当てていた場合、そのキーを押すとスクラブ／シャトル機能が解除できます。なお、スクラブ中に Pro Tools の再生や早送りを行なうと、スクラブ機能は自動的に解除されます。

ノート：スクラブ／シャトル機能は、Pro Tools 側から予期せず解除される場合があります。このため、スクラブ／シャトル機能を利用するときには、ディスプレイの P.WHEEL MODE フィールドに“ SCRUB ”または“ SHUTTLE ”と表示されていることを確認してください。なお、現在のスクラブ／シャトル機能の状態は、機能を割り当てたユーザー定義キーのインジケーターの点灯で確認することもできます。

オートメーションの操作

ユーザー定義キーに、Pro Tools のオートメーションモードを選択するパラメーター（DAW AUTO READ、DAW AUTO TOUCH など）を割り当てれば、ユーザー定義キーを使ってチャンネルごとのオートメーションの動作状態を切り替えることができます（ユーザー定義キーに機能を割り当てる方法は、P.235 をご参照ください）。

STEREO OUT チャンネルの［SEL］キーを押すとキーのインジケーターが点滅します（1 ～ 16 の各チャンネルの［SEL］キーがオートメーションの設定モードになります）。

この状態で 1 ～ 16 各チャンネルのうち該当する［SEL］キーを押しながら、パラメーターを割り当てたユーザー定義キーを押すと、チャンネルごとのオートメーションの動作状態を切り替えることができます。

また、［SEL］キーがオートメーションの設定モードのときは、［SEL］キーを押すたびにフェーダータッチ・アンタッチのコマンドを Pro Tools に対して送信します。オートメーションのパンチイン・パンチアウトを行なうときにご使用ください。

ノート：フェーダーを操作するだけでも、フェーダータッチコマンドは送信されます。また、PLAY・STOP などのトランスポートの状態が変化する場合もすべてのチャンネルのフェーダーアンタッチコマンドを送信しています。

なお、現在選ばれているオートメーションモードに応じて、チャンネルごとの［SEL］キーの LED が次のように変化します。

ユーザー定義キーの機能	Pro Tools のオートメーションモード	［SEL］キーの LED
DAW AUTO WRITE	Auto write	点滅（記録待機）／点灯（記録中）
DAW AUTO TOUTCH	Auto touch	
DAW AUTO LATCH	Auto latch	
DAW AUTO READ	Auto read	点灯
DAW AUTO OFF	Auto off	消灯

リモートレイヤーで Nuendo/Cubase SX を操作する

リモートレイヤーを使って Nuendo や Cubase SX をリモートコントロールします。

■ コンピューター側の設定

1 01V96 とコンピューターを USB ケーブルを使って接続し、01V96 付属の CD-ROM に収録されている USB ドライバをインストールします。

ドライバのインストールについての詳しい説明は、Studio Manager インストールガイドをご参照ください。

2 Nuendo/Cubase SX ソフトウェアを起動し、Device Setup メニューを選んで 01V96 とコンピューターが通信を行なえるよう Nuendo/Cubase SX を設定します。

詳しい設定方法は Nuendo/Cubase SX 付属の取扱説明書をご参照ください。

■ 01V96 側の設定

1 P.192 を参考にして、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを設定します。

2 LAYER セクションの[REMOTE]キーを押し、TARGET フィールドの設定を Nuendo/Cubase SX に切り替えます。

この状態で、選択したリモートレイヤーを使って Nuendo/Cubase SX ソフトウェアのリモートコントロールが行なえます。

リモートレイヤーでその他の DAW を操作する

Pro Tools と同じプロトコルに対応するその他の DAW ソフトウェアをリモートコントロールします。

■ コンピューター側の設定

1 01V96 とコンピューターを USB ケーブルを使って接続し、01V96 付属の CD-ROM に収録されている USB ドライバをインストールします。

ドライバのインストールについての詳しい説明は、Studio Manager インストールガイドをご参照ください。

2 DAW ソフトウェアを起動し、01V96 とコンピューターが通信を行なえるように設定します。

詳しい設定方法は DAW ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

■ 01V96 側の設定

1 P.192 を参考にして、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを設定します。

2 LAYER セクションの[REMOTE]キーを押し、TARGET フィールドの設定を General DAW に切り替えます。

この状態で、選択したリモートレイヤーを使って DAW ソフトウェアのリモートコントロールが行なえます。

リモートレイヤーで MIDI 機器を操作する（MIDI リモート）

リモートレイヤーのターゲットとして“ USER DEFINED ”を選べば、チャンネルモジュールセクションの［ON］キーやフェーダーの操作に応じて MIDI メッセージを出力し、外部の MIDI 機器（シンセサイザーやトーンジェネレーターなど）のパラメーターをリモートコントロールできます（MIDI リモート機能）。

各操作子に割り当てた MIDI メッセージは、4 つのバンクに保存できます。工場出荷時には、各バンクに主要な MIDI 機器用の設定が保存されており、これらのバンクを呼び出せば、すぐにでも MIDI リモート機能が利用できます。

また、必要ならば、［ON］キーやフェーダーにお客様ご自身が MIDI メッセージを割り当てて、特定の MIDI 機器のパラメーターを操作することも可能です。

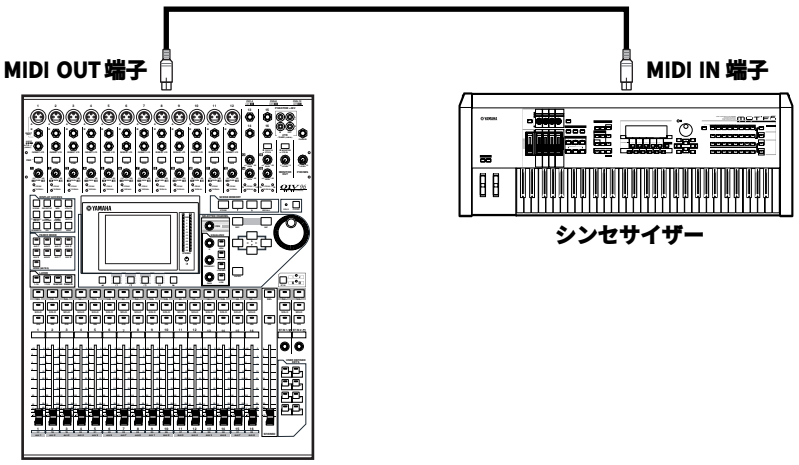
MIDI リモート機能を利用する

ここでは、工場出荷時に保存されている MIDI リモートの設定を呼び出して利用する方法を説明します。

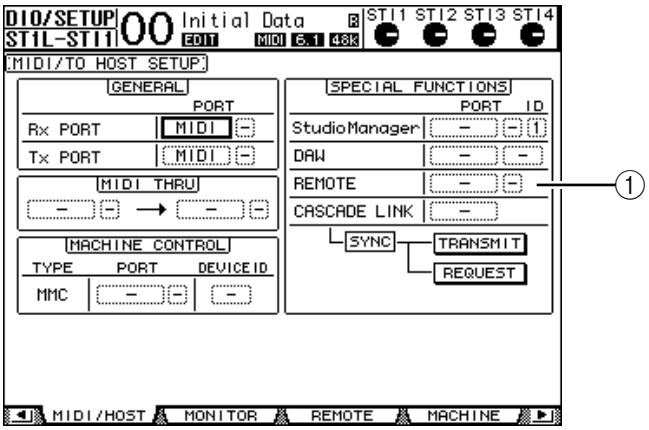
01V96 の工場出荷時には、4 つの MIDI リモートのバンク（バンク 1 ～ 4）に、次のような MIDI メッセージのセットがプログラムされています。

バンク	用途	操作子の機能	
		［ON］キー	フェーダー
1	GM 音源のボリュームの調節	—	Volume
2	GM 音源のエフェクトセンドレベルの調節	—	Effect Send
3	XG 音源のボリュームの調節	—	Volume
4	Cubase シリーズのミキサーのミュート、ボリュームの調節	Mute	Volume

1 01V96 の MIDI OUT 端子と MIDI 機器の MIDI IN 端子を接続します。



2 DISPLAY ACCESS セクションの［DIO/SETUP］キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させます。



3 SPECIAL FUNCTIONS フィールドの REMOTE パラメーターボックス（①）にカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回して“ MIDI ”を選択した後で［ENTER］キーを押します。

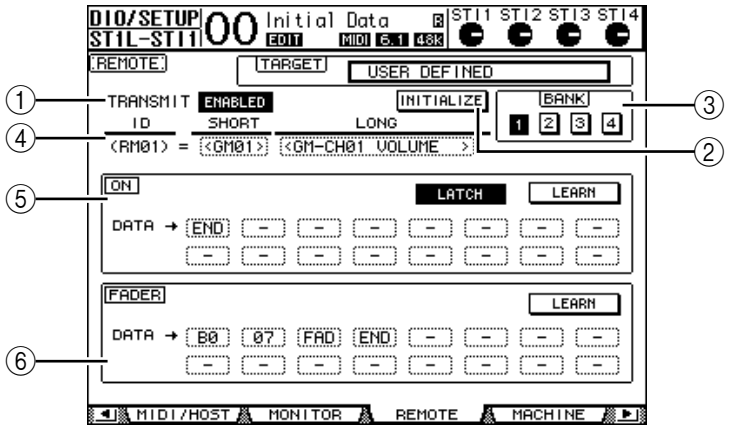
すでに MIDI ポートが使用されている場合は、割り当て内容の変更を確認するポップアップウィンドウが表示されます。この場合は YES ボタンにカーソルを合わせ、［ENTER］キーを押します。

> ***ヒント：REMOTE パラメーターボックスが表示されない場合は、手順 4、5 を参考にして先に TARGET フィールドを設定してから手順 2、3 を行ってみてください。***

4 DISPLAY ACCESS セクションの［DIO/SETUP］キーを繰り返し押して DIO/SETUP 画面の REMOTE ページを表示させます。

5 TARGET パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回して“ USER DEFINED ”を選んで［ENTER］キーを押します。

設定の切り替えを確認するポップアップウィンドウが表示されます。YES ボタンにカーソルを合わせて［ENTER］キーを押すと、表示内容が次のように変化します。



① **TRANSMIT ENABLE/DISABLE ボタン**
MIDI リモート機能の有効／無効を切り替えます。

② **INITIALIZE ボタン**
BANK フィールドで選択しているバンクの設定内容を初期状態に戻します。

③ **BANK フィールド**
4 つのボタンでバンクを選択します。

④ **ID SHORT/LONG パラメーターボックス**
チャンネルにつけられた名前を表示します。ID の位置には、現在操作している MIDI 機器のチャンネル(RM01 ～ RM16)が表示されます。

⑤ **ON フィールド**
現在選ばれているチャンネル(RM01 ～ RM16)で、[ON]キーに割り当てられている MIDI メッセージの種類を 16 進数やアルファベットで表示します。

- **LATCH/UNLATCH ボタン** ..... キーを押したときの動作(ラッチ／アンラッチ)を切り替えます。
- **LEARN ボタン** ..... このボタンをオンにすると、MIDI IN 端子から受信した MIDI メッセージを DATA パラメーターボックスに割り当てます。
- **DATA パラメーターボックス** ..... [ON]キーに割り当てられた MIDI メッセージを 16 進数やアルファベットで表示します。

⑥ **FADER フィールド**
現在選ばれているチャンネル(RM01 ～ RM16)で、フェーダーに割り当てられている MIDI メッセージを 16 進数やアルファベットで表示します。

6 BANK フィールドの 1 ボタン～ 4 ボタンの中から、利用したいバンクに相当するボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

7 LAYER セクションの[REMOTE]キーを押してリモートレイヤーに切り替えます。
この状態で MIDI リモート機能が利用できます。

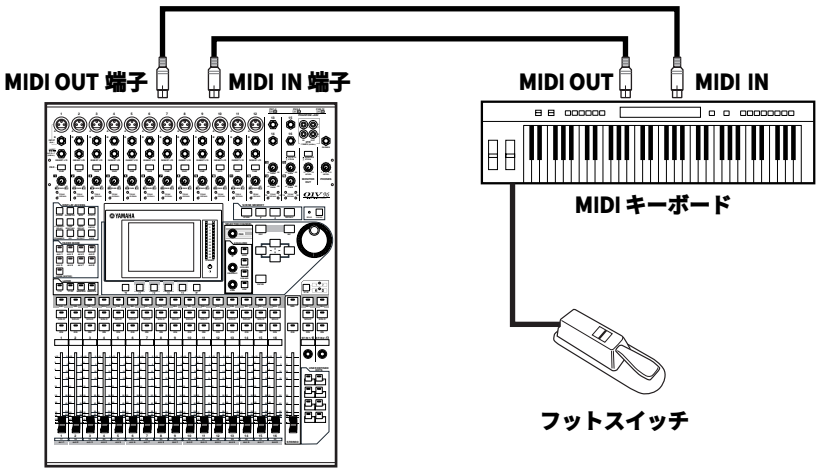
8 [ON]キー、フェーダーを操作して MIDI 機器をリモートコントロールします。

操作子に MIDI メッセージを割り当てる

あらかじめ保存されている設定を利用すれば、すぐに MIDI リモート機能を使うことができます。しかし、必要ならば[ON]キー、フェーダーにお客様ご自身が MIDI メッセージを割り当てることも可能です。

ここではチャンネル 1 の[ON]キーにホールドオン／オフ(それぞれ値が 127/0 のコントロールチェンジ #64)を割り当てる方法を例に挙げ、各操作子に MIDI メッセージを割り当てる方法を説明します。

1 01V96 の MIDI IN 端子とホールドオン／オフをコントロールできるフットスイッチを接続した MIDI キーボードの MIDI OUT 端子を接続し、01V96 を MIDI リモート機能が利用できる状態に設定します。



2 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の REMOTE ページを表示させ、TARGET パラメーターボックスの設定を“ USER DEFINED ”に切り替えます。

この状態で MIDI リモート機能が有効になります。MIDI リモート機能の利用方法については、前項をご参照ください。

3 BANK フィールドの 1 ～ 4 ボタンの中から、利用したいバンクに相当するボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

4 [SEL]キーを使って割り当てを行なうチャンネルを選択します。

ON/FADER の各フィールドに、現在割り当てられている MIDI メッセージが表示されます。

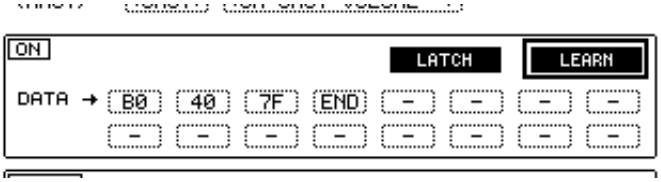
> ***ヒント：割り当てを行なうチャンネルは、ID SHORT/LONG パラメーターボックスで選択することもできます。***

5 ON フィールドの LEARN ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

この状態で、01V96 の MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージが、ON フィールドに割り当てられます。

6 MIDI キーボードのフットスイッチを踏み込みます。

DATA パラメーターボックスにホールドオンの MIDI メッセージが割り当てられます。



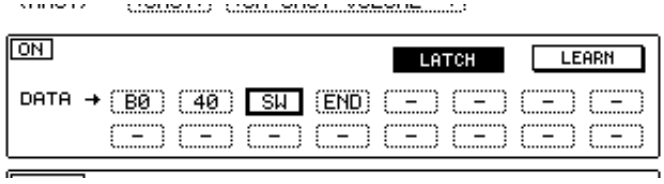
各 MIDI メッセージの内容は次のとおりです。

- **00 ～ 7F** ..... 実際の MIDI メッセージを 16 進数で表わします。
- **END** ..... MIDI メッセージの最後を表わします。これ以降の DATA パラメーターボックスの設定は無視されます。
- **ー** ..... DATA パラメーターボックスに何もメッセージが選ばれていないことを表わします。

> ***ヒント：LEARN ボタンを使って MIDI メッセージを割り当てると、自動的にメッセージの最後を判断して“ END ”および“ ー ”が設定されます。***

7 フットスイッチを踏み込んだまま、LEARN ボタンをオフにします。

8 カーソルを 3 バイト目の“ 7F ”に合わせ、パラメーターホイールを回して設定値を“ SW ”に変更します。



“ SW ”は[ON]キーのオン／オフに応じて変化する可変値です。MIDI リモート機能では次のような可変値が設定できます。

- **SW** ..... [ON]キーの DATA パラメーターボックスだけで選択可能な可変値です。[ON]キーがオンのときに“ 7F ”(十進数では 127)、オフのときに“ 00 ”(十進数では 0)の値が出力されます。

- **FAD**..... フェーダーの DATA パラメーターボックスだけで選択可能な可変値です。フェーダーの操作に応じて“ 00 ”～“ 7F ”（十進数では 0 ～ 127）の範囲で連続的に変化する値が出力されます。

*ヒント：**[ON]キーの DATA パラメーターボックスで“ SW ”が設定されていない場合、現在の MIDI メッセージがそのまま出力されます。***

*ノート：**フェーダーの DATA パラメーターボックスでは、必ず 1 つを“ FAD ”に設定しなければなりません。FAD が設定されていない場合は、フェーダーを操作しても何も起こりません。***

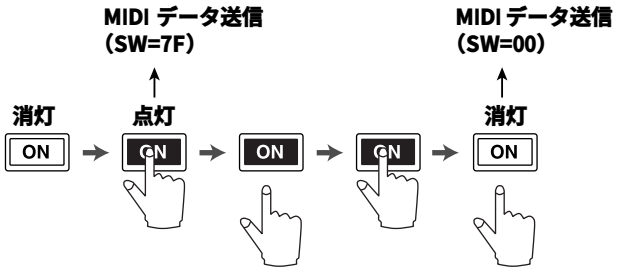
9 LATCH/UNLATCH ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押して[ON]キーを押したときの動作を次の中から選択します。

- **LATCH（ラッチ）** .....[ON]キーを押すたびにオン／オフが切り替わります。
- **UNLATCH（アンラッチ）**.....[ON]キーを押している間だけオンになり、放すとオフになります。

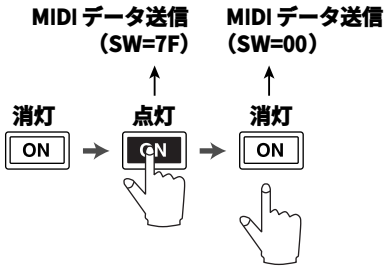
*ヒント：**ラッチまたはアンラッチを選んだときの、[ON]キーの動作は次のようになります。***

■“ SW ”を指定した場合

- **LATCH（ラッチ）**

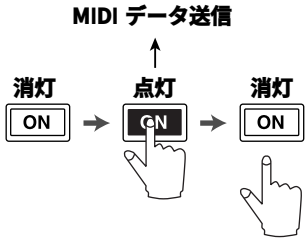


- **UNLATCH（アンラッチ）**



■“ SW ”を指定しない場合

- **・UNLATCH（アンラッチ）**



*ヒント：**“ SW ”を指定しないとき、通常はアンラッチの状態で使用します。***

10 チャンネルの名前を変更したいときは、ID LONG パラメーターボックスにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押して TITLE EDIT ポップアップウィンドウを表示させます。

名前の入力方法は P.30 をご参照ください。

ヒント：

- ***INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、現在選ばれているバンクを初期状態に戻すためのポップアップウィンドウが表示されます。***
- ***LEARN ボタンは使わずに、1つ1つの MIDI メッセージをマニュアル操作で割り当てることも可能です。***

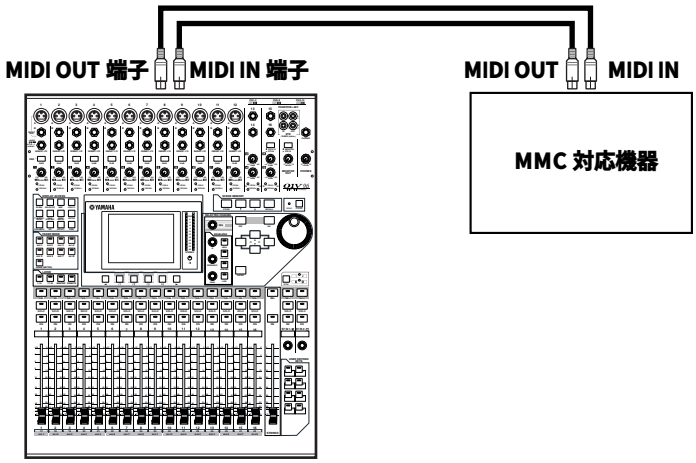
マシンコントロール機能

01V96 では、MIDI 端子や USB 端子などを経由して MMC コマンドを送信し、MMC に対応する機器のトランスポートやトラックの選択をリモートコントロールできます。

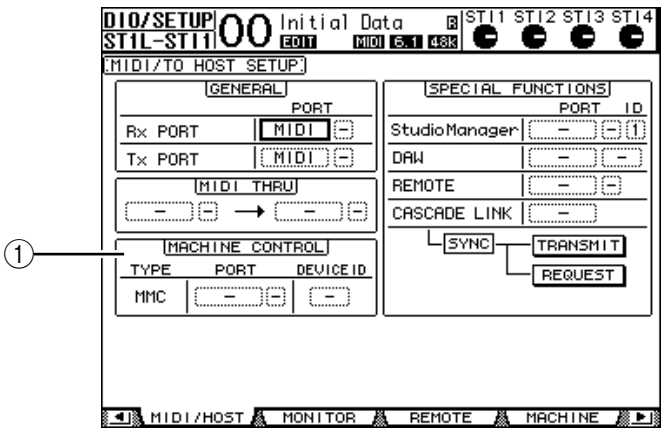
ノート：実際にコントロール可能なパラメーターは接続している機器に応じて異なります。コントロール可能なパラメーターについては外部機器の取扱説明書をご参照ください。

1 次の図を参考にして 01V96 と外部機器を接続します。

この図は、MIDI 端子を使って外部機器を接続した場合の例です。



2 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させます。



3 MACHINE CONTROL フィールド(①)の PORT パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回して MMC の送信先を選択します。

MMC の送信先には、次の端子／スロットが選択できます。

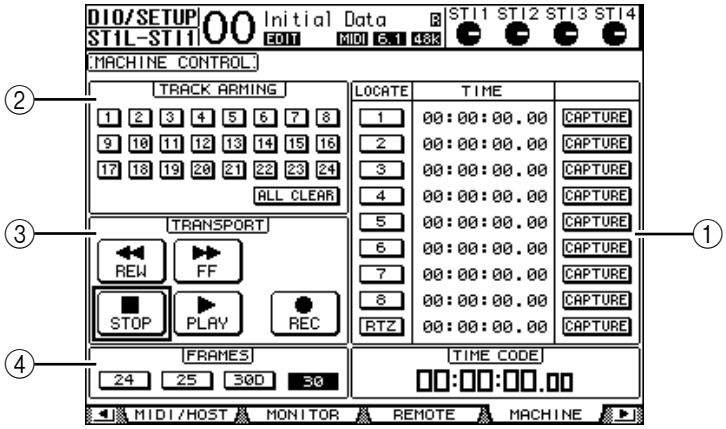
- **MIDI**..... MIDI 端子
- **USB**..... USB 端子
- **SLOT**..... MY8-mLAN(mLAN カード)が装着されたスロット

“ USB ”を選んだ場合は、右側のパラメーターボックスにカーソルを移動し、8 系統のポートの中から使用するポートを選択してください。

4 DEVICE ID パラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを回して 01V96 の MMC デバイス ID を外部レコーダーと一致させます。

MMC コマンドは同じ ID を持つ機器にのみ有効です。このため、必ずリモートコントロールしたい機器と 01V96 の MMC デバイス ID を一致させます。

5 リモートコントロールを行なうには、DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して DIO/SETUP 画面の MACHINE ページを表示させます。



このページに含まれる各項目は、次のとおりです。

① **LOCATE/TIME フィールド**

ロケートポイントの設定を行ないます。

- **LOCATE 1 ～ 8 ボタン**.....TIME フィールドに設定されている位置に外部機器をロケートさせます。
- **RTZ ボタン**.....タイムコードのゼロの位置に外部機器をロケートさせます。
- **TIME フィールド**.....ロケートポイントを時間／分／秒／フレーム単位で設定します。
- **CAPTURE ボタン**.....現在の外部機器の位置を TIME フィールドに取り込みます。

② **TRACK ARMING フィールド**

外部に接続されている外部機器のトラックを操作します。

- **1 ～ 24 ボタン**..... 外部機器のトラック 1 ～ 24 のオン／オフ、および録音待機状態の設定／解除を切り替えます。
- **ALL CLEAR ボタン**..... このボタンをオンにすると、1 ～ 24 ボタンがすべてオフに切り替わります。

③ **TRANSPORT フィールド**
外部機器のトランスポート操作を行ないます。

- **REW ボタン**.....外部機器を巻き戻します。
- **FF ボタン**.....外部機器を早送りします。
- **STOP ボタン**.....外部機器を停止します。
- **PLAY ボタン**.....外部機器を再生します。
- **REC ボタン**.....PLAY ボタンと組み合わせて、外部機器の録音を開始します。

④ **FRAMES フィールド**
タイムコードのフレームレートを 24/25/30D(ドロップフレーム)/30 の中から選択します。

6 トランスポートを操作したい場合は、TRANSPORT フィールドの操作したいボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

7 必要に応じて LOCATE/TIME フィールドや TRACK ARMING フィールドの各ボタン／フィールドにカーソルを合わせ、[ENTER]キーやパラメーターホイールを使って外部機器をコントロールします。

> ***ヒント：必要ならば、パネル上のユーザー定義キーを使ってマシンコントロールの各機能を操作することも可能です(ユーザー定義キーに機能を割り当てる方法は→ P.235)。***

第18章 MIDI

この章では、01V96 の MIDI関連の機能について説明します。

01V96 の MIDI について

01V96 では、コントロールチェンジやプログラムチェンジなどの各種 MIDI メッセージを使って、外部から 01V96 のシーンの切り替えやパラメーターの変更を操作したり、01V96 の内部データを外部 MIDI 機器に保存したりできます。

01V96 で利用できるメッセージには、次のような種類があります。これらの MIDI メッセージは、送信または受信のオン／オフを個別に設定できます。

- **プログラムチェンジ**
  プログラムチェンジナンバーに 01V96 のシーンを割り当てて、シーンを切り替えたときにプログラムチェンジを送信します。また、外部からプログラムチェンジを受信してシーンを切り替えます。
- **コントロールチェンジ**
  コントロールチェンジナンバーに、01V96 の各種パラメーターを割り当てて、パラメーターの変化に応じてコントロールチェンジを送信します。また、外部からコントロールチェンジを受信して、パラメーターを変化させます。
- **システムエクスクルーシブメッセージ**
  パラメーターの変化に応じて“ パラメーターチェンジ ”と呼ばれるシステムエクスクルーシブメッセージを送信します。また、外部からパラメーターチェンジを受信して、パラメーターを変化させます。
- **MMC（MIDI マシンコントロール）**
  外部に接続した MMC 対応機器をリモートコントロールします。
- **ノートオン／オフ**
  主に内蔵エフェクトのエフェクトプログラム“ FREEZE ”のパラメーターを調節するのに利用します。
- **バルクダンプメッセージ**
  内部の各種データをシーケンサーや MIDI ファイラーに保存します。また、このデータを受信して各種データを書き換えます。

MIDI メッセージの送受信には、次の端子が利用できます。

- **MIDI IN/THRU/OUT 端子**
  一般的な MIDI 機器との間で MIDI メッセージを送受信するときに利用します。MIDI IN/OUT 端子ではそれぞれ 1 ポート分（16 チャンネル× 1 系統）の MIDI メッセージが送受信できます。MIDI THRU 端子からは MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージと同じ内容が常にスルー出力されます。

- **USB 端子**
  主にコンピューターと接続して MIDI メッセージをやり取りするのに利用します。最大で 8 ポート分（16 チャンネル× 8 系統）の MIDI メッセージが送受信できます。なお、コンピューターと USB 接続を行なう場合は、コンピューター側にドライバソフトウェアをインストールする必要があります。インストール方法については、Studio Manager インストールガイドをご参照ください。

  ノート：コンピュータの電源が ON になっていて、USB MIDI アプリケーションが起動していない場合、本体の動作が鈍くなる場合があります。その場合、MIDI メッセージの送信ポートから USB ポートの指定を解除してください。

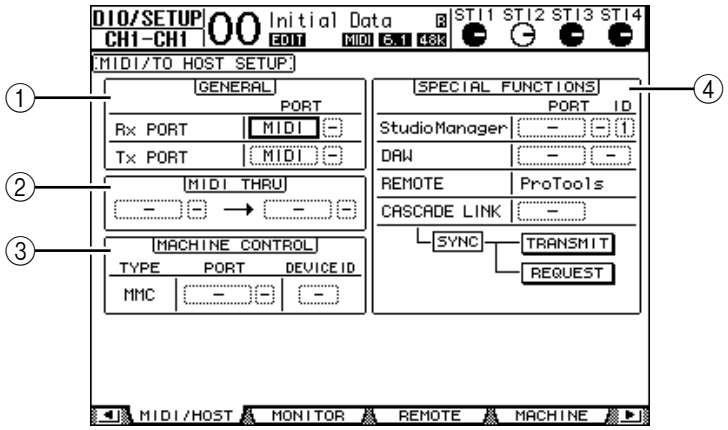
- **スロット**
  スロットにオプションの mLAN カード MY8-mLAN を装着すれば、MY8-mLAN 経由で外部の MIDI 機器と MIDI メッセージの送受信が行なえます。

MIDIのセットアップ

MIDIメッセージを送受信する端子を選択する

MIDIメッセージの送受信に利用する端子を設定するには、DISPLAY ACCESSセクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP画面のMIDI/HOSTページを表示させます。

このページでは、MIDIメッセージの入出力に関する設定を行ないます。



各パラメーターの内容は次のとおりです。

① **GENERALフィールド**
プログラムチェンジやコントロールチェンジなどのMIDIメッセージを送受信する端子を設定します。

- **Rx PORTパラメーターボックス**.....MIDIメッセージを受信する端子を選択します。左側のパラメーターボックスを使ってMIDI、USB、SLOTの中から端子／スロットを選択します。なおUSBまたはSLOTを選択した場合は、右側のパラメーターボックスを使ってポート番号(1～8)を選択します。
- **Tx PORTパラメーターボックス**.....MIDIメッセージを送信する端子を選択します。出力先の設定方法はRx PORTと同じです。

② **MIDI THRUフィールド**
ある端子／スロットから入力されているMIDIメッセージを他の端子／スロットにスルー出力します。→マークの左側のパラメーターボックスで入力元の端子、→マーク右側のパラメーターボックスで送出先の端子を選びます。USB/SLOTを選んだ場合は、パラメーターボックスの右側でポート番号を選択します。

③ **MACHINE CONTROLフィールド**
HDR(ハードディスクレコーダー)などのMMCに対応する外部機器をリモートコントロールするのに必要な設定を行ないます。

- **PORTフィールド**.....MMCを利用する端子をMIDI、USB、SLOTを設定します。なお、USBまたはSLOTを選択した場合は、右側のパラメーターボックスで利用するポート番号を選択します。
- **DEVICE ID**.....01V96のMMCデバイスID(MMCの送受信時に、お互いの機器を識別するための番号)を設定します。

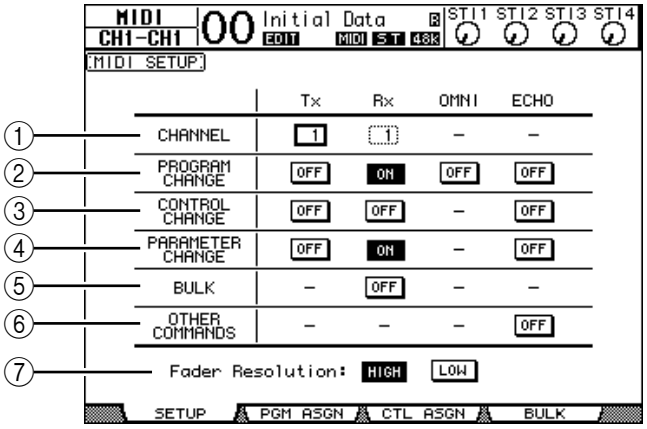
④ **SPECIAL FUNCTIONS フィールド**
さまざまな特殊機能に利用する端子を設定します。

- **Studio Manager パラメーターボックス**..... 付属のアプリケーションソフト“ Studio Manager ”で利用する端子を、MIDI/USB/SLOT の中から選択します。右側に表示されるパラメーターボックスでは、それぞれポート番号（USB 接続のみ）／識別用の ID を設定します。
- **DAW パラメーターボックス** ..... DAW と接続する端子を、USB/SLOT の中から選択します。右側のパラメーターボックスで DAW のコントロールに利用するポートを 1-2、3-4、5-6、7-8 の中から選択します。
- **REMOTE フィールド** ..... 現在のリモートレイヤーで選択されているターゲット（操作対象となる機器の種類）を表示します。ターゲットが“ USER DEFINED ”のときは、MIDI メッセージの送り先となる端子を選択します。
- **CASCADE LINK フィールド**..... 2 台の 01V96 をカスケード接続するときに、MIDI メッセージをやり取りするかどうかを選択します。MIDI に設定すると、MIDI 端子経由で MIDI メッセージの送受信が可能となります。また、“ — ”に設定すると、MIDI メッセージの送受信がオフになります。
  TRANSMIT ボタンおよび REQUEST ボタンは、カスケードリンクするすべてのパラメーターの同期をとるために使用します。TRANSMIT ボタンは、接続先の 01V96 のパラメーターをこちらの 01V96 に同期させます。REQUEST ボタンは、こちらの 01V96 のパラメーターを接続先の 01V96 に同期させます。

送受信する MIDI メッセージを選択する

選択したポートで送受信される MIDI メッセージを設定します。

この設定を行なうには、DISPLAY ACCESS セクションの [MIDI] キー→[F1] キーの順にキーを押して、MIDI 画面の SETUP ページを表示させます。



CHANNEL フィールドで送受信を行なう MIDI チャンネルを選び、PROGRAM CHANGE フィールドから OTHER COMMANDS フィールドまでの各ボタンを使って、MIDI メッセージごとに送信または受信のオン／オフを切り替えます。

① **CHANNEL フィールド**

MIDI メッセージを送受信するチャンネルを選択します。各パラメーターの内容は次のとおりです。

- **Tx パラメーターボックス** ..... MIDI メッセージの送信チャンネルを選択します。
- **Rx パラメーターボックス** ..... MIDI メッセージの受信チャンネルを選択します。

② **PROGRAM CHANGE フィールド**

プログラムチェンジの送受信のオン／オフを選択します。

- **Tx ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、プログラムチェンジが送信できます。
- **Rx ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、プログラムチェンジが受信できます。
- **OMNI ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、CHANNEL フィールドの設定に関係なく、すべての MIDI チャンネルのプログラムチェンジを受信します。
- **ECHO ボタン** ..... このボタンがオンのときは、受信したプログラムチェンジをそのままスルー出力します。

③ **CONTROL CHANGE フィールド**

コントロールチェンジの送受信のオン／オフを選択します。

- **Tx ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、コントロールチェンジが送信できます。
- **Rx ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、コントロールチェンジが受信できます。
- **ECHO ボタン** ..... このボタンがオンのときは、受信したコントロールチェンジをそのままスルー出力します。

④ **PARAMETER CHANGE フィールド**

パラメーターチェンジの送受信のオン／オフを設定します。

- **Tx ON/OFF ボタン**..... このボタンがオンのときは、パラメーターチェンジが送信できます。
- **Rx ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、パラメーターチェンジが受信できます。
- **ECHO ボタン** ..... このボタンがオンのときは、受信したパラメーターチェンジをそのままスルー出力します。

⑤ **BULK フィールド**

バルクダンプデータの受信のオン／オフを選択します。

- **Rx ON/OFF ボタン** ..... このボタンがオンのときは、バルクダンプデータが受信できます。

⑥ **OTHER COMMANDS フィールド**

- **ECHO ボタン** ..... このボタンがオンのときは、受信したその他のMIDI メッセージをそのままスルー出力します。

⑦ **Fader Resolution フィールド**

01V96 のフェーダーを操作したときに出力される値の解像度を選択します。01V96 同士をカスケード接続する場合、あるいは 01V96 の操作をシーケンサーに記録・再生する場合には、HIGH ボタンをオンにします。LOW ボタンをオンにすると、出力されるフェーダーの解像度が 256 段階に切り替わります。

プログラムチェンジを使ってシーンを切り替える

01V96 では、MIDI プログラムチェンジナンバーにシーンを割り当てて、シーンをリコールしたときに外部 MIDI 機器にプログラムチェンジを送信したり、外部から受信したプログラムチェンジを使ってシーンを切り替えたりできます。

01V96 が初期状態のとき、プログラムチェンジナンバー1 ～ 99 にシーン 01 ～ 99、プログラムチェンジナンバー100 にシーン 00 が割り当てられていますが、この割り当ては自由に変更できます。その方法は、次のとおりです。

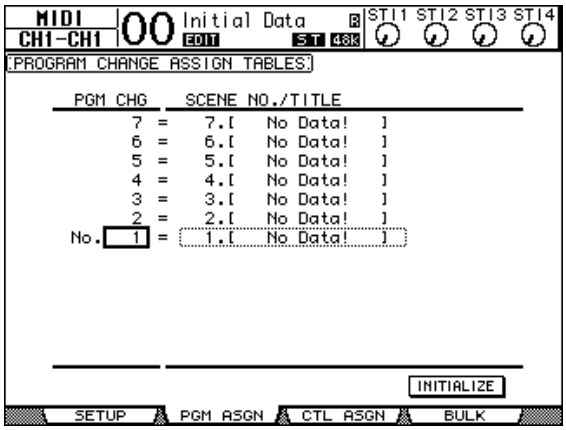
> ***ヒント：各プログラムチェンジナンバーに割り当てたシーンの設定は、バルクダンプ機能や付属のアプリケーションソフト“ Studio Manager ”を使って外部機器に保存できます。***

1 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させ、MIDI メッセージを送受信する端子やポートを選択します(→ P.217)。

2 手順 1 で選んだ端子を使って、01V96 と外部機器との間で MIDI メッセージが送受信できるように接続を行ないます。

3 DISPLAY ACCESS セクションの[MIDI]キーを押し、続いて[F2]キー押します。

MIDI 画面の PGM ASGN ページが表示されます。



4 PGM CHG フィールドのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使ってシーンを割り当てたいプログラムチェンジナンバーを選択します。

5 カーソル[►]キーを押して SCENE No/TITLE フィールドのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って割り当てるシーンを選択します。

> *ヒント：*
> - ***同じシーンを複数のプログラムチェンジナンバーに割り当てた場合は、最も小さい番号のプログラムチェンジナンバーだけが有効になります。***
> - ***INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、シーンの割り当てを初期状態に戻せます。***

6 DISPLAY ACCESS セクションの[MIDI]キー→[F1]キーの順にキーを押して MIDI 画面の SETUP ページを表示させ、MIDI メッセージを送受信する MIDI チャンネルを設定します。

7 PROGRAM CHANGE フィールドの Tx ON/OFF ボタンと Rx ON/OFF ボタンをオンに切り替えます。

これで該当する MIDI チャンネルのプログラムチェンジを受信したときに、01V96 のシーンが切り替わります。また、01V96 側の操作でシーンを切り替えたときに、該当する MIDI チャンネルのプログラムチェンジが出力されます。

コントロールチェンジを使ってパラメーターを操作する

MIDI コントロールチェンジを使って、01V96 の内部のパラメーターを操作したり、01V96 側でパラメーターを変更したときにコントロールチェンジを送信したりできます。

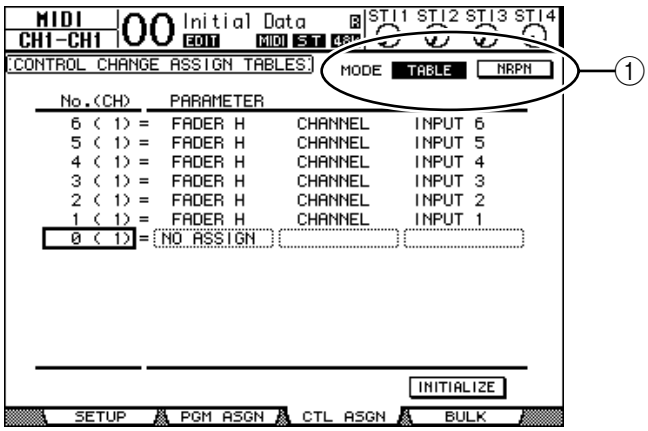
> ***ヒント：各コントロールチェンジに割り当てたパラメーターの設定内容は、バルクダンプ機能や付属のアプリケーションソフト“Studio Manager”を使って外部機器に保存できます。***

1 DISPLAY ACCESS セクションの [DIO/SETUP] キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させ、MIDI メッセージを送受信する端子やポートを選択します（→ P.217）。

2 手順 1 で選んだ端子を使って、01V96 と外部機器との間で MIDI メッセージが送受信できるように接続を行ないます。

3 DISPLAY ACCESS セクションの [MIDI] キーを押し、続いて [F3] キーを押します。

MIDI 画面の CTL ASGN ページが表示されます。このページでは、コントロールチェンジナンバーに 01V96 の内部パラメーターを割り当てます。



> ***ヒント：初期状態でコントロールチェンジに割り当てられるパラメーターについては P.292 をご参照ください。***

4 MODE フィールド（①）の TABLE ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER] キーを押します。

MODE フィールドでは、01V96 の内部パラメーターを操作したときに送信される MIDI メッセージの種類を選択します。各ボタンの内容は次のとおりです。

- **TABLE ボタン**.....このボタンがオンのときは、CTL ASGN ページの割り当てが有効となります。
- **NRPN ボタン**.....このボタンがオンのときは、CTL ASGN ページの割り当てが無効となり、あらかじめパラメーターごとに決められた NRPN（ノンレジスタードパラメーターナンバー）を使ってパラメーターを操作します。

> ***ヒント：NRPN とは、3 種類のコントロールチェンジを組み合わせて使用する特殊な MIDI メッセージです。1 系統の MIDI チャンネルで多くのパラメーターを操作できる点が特徴です。***

5 手順 4 で TABLE ボタンをオンに設定した場合、No.（CH）フィールドのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って、パラメーターを割り当てたい MIDI チャンネル／コントロールチェンジナンバーを選択します。

CTL ASGN ページでは、現在送受信に利用している MIDI チャンネルに関係なく、16 チャンネル分のコントロールチェンジにパラメーターを割り当てることができます。

なお、手順 4 で NRPN ボタンをオンにした場合、手順 5 ～ 6 は不要です。

6 PARAMETER フィールドの 3 つのパラメーターボックスを使って、送受信するパラメーターを設定します。

PARAMETER フィールドの左端のパラメーターボックスでパラメーターのグループを選び、残りの 2 つでそのグループに必要な設定値を選びます。

選択可能なパラメーターと、その設定値は次のとおりです。

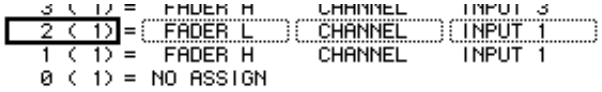
HIGH	MID	LOW
NO ASSIGN	—	—
FADER H	CHANNEL	INPUT1 ～ 32/ST IN1 ～ 4
	MASTER	BUS1 ～ 8/AUX1 ～ 8/STEREO
	AUX1 SEND	INPUT1 ～ 32/ST IN1 ～ 4
	AUX2 SEND	
	AUX3 SEND	
	AUX4 SEND	
	AUX5 SEND	
	AUX6 SEND	
	AUX7 SEND	
	AUX8 SEND	
	BUS TO ST	BUS1 ～ 8
FADER L	CHANNEL	INPUT1 ～ 32/ST IN1 ～ 4
	MASTER	BUS1 ～ 8/AUX1 ～ 8/STEREO
	AUX1 SEND	INPUT1 ～ 32/ST IN1 ～ 4
	AUX2 SEND	
	AUX3 SEND	
	AUX4 SEND	
	AUX5 SEND	
	AUX6 SEND	
	AUX7 SEND	
	AUX8 SEND	
	BUS TO ST	BUS1 ～ 8
ON	CHANNEL	INPUT1 ～ 32/ST IN1 ～ 4
	MASTER	BUS1 ～ 8/AUX1 ～ 8/STEREO
	AUX1 SEND	INPUT1 ～ 32/ST IN1 ～ 4
	AUX2 SEND	
	AUX3 SEND	
	AUX4 SEND	
	AUX5 SEND	
	AUX6 SEND	
	AUX7 SEND	
	AUX8 SEND	
	BUS TO ST	BUS1 ～ 8
PHASE	CHANNEL	INPUT1 ～ 32/ST IN1L ～ 4R
INSERT ON	CHANNEL	INPUT1 ～ 32
	MASTER	BUS1 ～ 8/AUX1 ～ 8/STEREO

HIGH	MID	LOW
PRE/POST	AUX1 SEND	INPUT1～32/ST IN1～4
	AUX2 SEND	
	AUX3 SEND	
	AUX4 SEND	
	AUX5 SEND	
	AUX6 SEND	
	AUX7 SEND	
	AUX8 SEND	
IN DELAY	ON	INPUT1～32
	TIME HIGH	
	TIME MID	
	TIME LOW	
	MIX HIGH	
	MIX LOW	
	FB GAIN H	
	FB GAIN L	
OUT DELAY	ON	BUS1～8/AUX1～8/STEREO L,R
	TIME HIGH	
	TIME MID	
	TIME LOW	
EQ	ON	INPUT1～32/ST IN1～4/BUS1～8/AUX1～8/STEREO
	Q LOW	
	F LOW	
	G LOW H	
	G LOW L	
	Q LO-MID	
	F LO-MID	
	G LO-MID H	
	G LO-MID L	
	Q HI-MID	
	F HI-MID	
	G HI-MID H	
	G HI-MID L	
	Q HIGH	
	F HIGH	
	G HIGH H	
	G HIGH L	
	ATT H	
	ATT L	
	HPF ON	
	LPF ON	
GATE	ON	INPUT1～32
	ATTACK	
	THRESH H	
	THRESH L	
	RANGE	
	HOLD H	
	HOLD L	
	DECAY H	
	DECAY L	

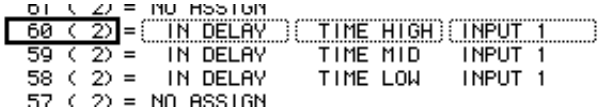
HIGH	MID	LOW
COMP	ON	INPUT1 ～ 32/BUS1 ～ 8/AUX1 ～ 8/STEREO
	ATTACK	
	THRESH H	
	THRESH L	
	RELEASE H	
	RELEASE L	
	RATIO	
	GAIN H	
	GAIN L	
	KNEE	
PAN	CHANNEL	INPUT1 ～ 32/ST IN1L ～ 4R
	AUX1-2	
	AUX3-4	
	AUX5-6	
	AUX7-8	
	BUS TO ST	BUS1 ～ 8
BALANCE	MASTER	STEREO
SURROUND	LFE H	INPUT1 ～ 32/ST IN1L ～ 4R
	LFE L	
	DIV (F)	
	DIV R	
	LR	
	FR	
	WIDTH	
	DEPTH	
	OFS LR	
	OFS FR	
EFFECT	BYPASS	EFFECT1 ～ 4
	MIX	
	PARAM1 H	
	PARAM1 L	
	:	
	PARAM32 H	
	PARAM32 L	

なお、設定範囲が 128 段階を超えるパラメーター（フェーダーやディレイタイムなど）の場合は、複数のコントロールチェンジを組み合わせて設定値を表します。

たとえば、コントロールチェンジで特定チャンネルのフェーダーの値を調節したいときは、2種類のコントロールチェンジナンバーに対して 01V96 の同じチャンネルを割り当て、PARAMETER フィールドの左端のパラメーターボックスでそれぞれ“ FADER H ”と“ FADER L ”を選択します。



また、コントロールチェンジで特定のチャンネルのディレイタイムを調節するには、3 種類のコントロールチェンジナンバーに 01V96 の同じチャンネルのディレイパラメーターを割り当てて、PARAMETER フィールドの右端のパラメーターボックスでそれぞれ TIME LOW ″ TIME MID ″ TIME HIGH ″を選択します。



ノート：設定範囲が 128 段階を超えるパラメーターは、適切な複数のパラメーターを組み合わせなければ、コントロールチェンジでは正しく操作はできません。

ヒント：INITIALIZE ボタンにカーソルキーを合わせて [ENTER] キーを押すと、パラメーターの割り当てを初期状態に戻せます。

7 DISPLAY ACCESS セクションの [MIDI] キー→[F1] キーの順にキーを押して MIDI 画面の SETUP ページを表示させ、MIDI メッセージを送受信する MIDI チャンネルを設定します。

8 CONTROL CHANGE フィールドの Tx ON/OFF ボタンと Rx ON/OFF ボタンをオンに切り替えます。

これで該当するコントロールチェンジを受信したときに、対応する 01V96 のパラメーターが変化します。また、01V96 側の操作でパラメーターを変化させたときに、該当するコントロールチェンジが出力されます。

ノート：コントロールチェンジを使ってパラメーターを操作するときは、MIDI 画面の SETUP ページで PARAMETER CHANGE フィールドのボタンが両方ともオフになっていることを確認してください。

パラメーターチェンジを使ってパラメーターを操作する

MIDI コントロールチェンジの代わりにパラメーターチェンジ（システムエクスクルーシブ）を使って 01V96 のパラメーターを操作することも可能です。

送受信可能なパラメーターチェンジについては、巻末の資料にある「MIDI データフォーマット」をご参照ください。

1 DISPLAY ACCESS セクションの [DIO/SETUP] キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させ、MIDI メッセージを送受信する端子やポートを選択します（→ P.217）。

2 手順 1 で選んだ端子を使って、01V96 と外部機器との間で MIDI メッセージが送受信できるように接続を行ないます。

3 DISPLAY ACCESS セクションの [MIDI] キー→[F1] キーの順にキーを押して MIDI 画面の SETUP ページを表示させ、PARAMETER CHANGE フィールドの Tx ON/OFF ボタンと Rx ON/OFF ボタンをオンに切り替えます。

これで該当するパラメーターチェンジを受信したときに、対応する 01V96 のパラメーターが変化します。また、01V96 側の操作でパラメーターを変化させたときに、該当するパラメーターチェンジが出力されます。

ノート：パラメーターチェンジを使ってパラメーターを操作するときは、CONTROL CHANGE フィールドの両方のボタンがオフになっていることを確認してください。

内部設定を MIDI 経由で出力する（バルクダンプ機能）

各種ライブラリーやシーンなどの本体内に記憶されているデータは、バルクダンプ機能を使って外部 MIDI 機器に送信できます。この MIDI メッセージを 01V96 に送れば、内部設定を以前の状態に戻すことも可能です。

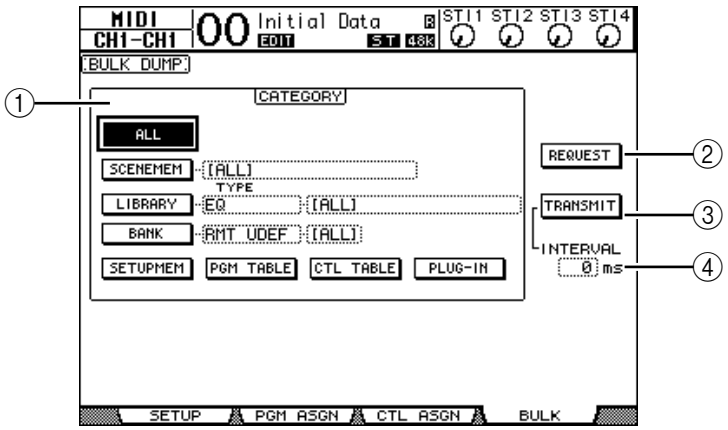
> ***ノート：バルクダンプ機能を使ってコンピューターに各種データを送信するとき、場合によってはシーケンスソフトウェア側でデータを取りこぼしてしまうことがあります。このため、01V96 内部のデータを保存するときは、付属のアプリケーションソフト“ Studio Manager ”を利用することをおすすめします。***

1 DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させ、MIDI メッセージを送受信する端子やポートを選択します（→ P.217）。

2 手順 1 で選んだ端子を使って、01V96 と外部機器との間で MIDI メッセージが送受信できるように接続を行ないます。

3 DISPLAY ACCESS セクションの[MIDI]キー→[F4]キーの順にキーを押します。

MIDI 画面の BULK ページが表示されます。



画面内の内容は次のとおりです。

① **CATEGORY フィールド**
送受信するデータを選択します。

② **REQUEST ボタン**
このボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、外部に接続されたもう 1 台の 01V96 に対して、CATEGORY フィールドで選択したデータを送信するように要求するメッセージが送られます。主に 2 台の 01V96 をカスケード接続したときに利用するボタンです。

③ **TRANSMIT ボタン**
このボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、CATEGORY フィールドで選択したデータを外部 MIDI 機器に出力します。

④ **INTERVAL パラメーターボックス**
バルクデータの送信間隔を 50 ミリ秒単位で設定します。外部機器側でバルクデータの取りこぼしが発生するときに、このパラメーターボックスの設定値を大きくします。

4 CATEGORY フィールドの中からバルクダンプしたいデータに相当するボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

各ボタンの内容は次のとおりです。

- **ALL ボタン** ..... バルクダンプ可能なすべてのデータを選択します。このボタンがオンのときは、他のボタンは自動的にオフになります。
- **SCENEMEM ボタン** ..... シーンメモリーを選択します。ボタン右側のパラメーターボックスを使って、バルクデータとして送信するシーンを選択できます。
- **LIBRARY ボタン**..... ライブラリーの内容を選択します。ボタン右側の TYPE パラメーターボックスを使ってライブラリーの種類を選択し、さらに右側のパラメーターボックスを使ってライブラリーの番号を選択できます
- **BANK ボタン**..... ユーザー定義キーの設定（KEYS UDEF）、ユーザー定義によるリモート機能の設定（RMT UDEF）、ユーザーアサイナブルレイヤーの設定（USR LAYER）の中からバルクダンプするパラメーターを選択します。ボタン右側のパラメーターボックスを使って、バルクダンプの対象とそのバンクを選択できます。
- **SETUPMEM** ..... 01V96 のシステム設定を選択します。
- **PGM TABLE ボタン** ..... MIDI 画面の PGM ASGN ページの設定内容を選択します。
- **CTL TABLE ボタン**..... MIDI 画面の CTL ASGN ページの設定内容を選択します。
- **PLUG-IN**..... バルクダンプの対象として、スロットに装着したオプションカード Y56K の設定を選択します。右側に表示されるパラメーターボックスを使って Y56K カードのプログラムを選択できます。

ノート：SETUPMEM パラメーターには、MIDI の送受信に利用する端子や送受信する MIDI メッセージの設定も含まれます。バルクデータが受信オフの状態でバルクデータを保存すると、そのデータを受信したときに即座にバルクダンプの受信がオフに設定されるため、それ以後のデータが受信できなくなります。このため、SETUPMEM パラメーターを保存するときは、あらかじめバルクデータの送受信が可能な状態に設定してから、バルクダンプを実行してください。

5 必要に応じて、ボタン右側のパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは [INC]/[DEC] キーを使ってバルクダンプしたいデータを選択します。

ヒント：パラメーターボックスで "ALL" を選んだ場合は、そのパラメーターのすべてのデータがバルクダンプの対象として選択されます。

6 バルクデータの送信を行なうには TRANSMIT ボタンにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押します。

バルクダンプが実行されます。実行中は現在の状況を示す BULK DUMP ポップアップウィンドウが表示されます。なお、ポップアップウィンドウ内の CANCEL ボタンにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押すと、バルクダンプの送信を中止できます。

ヒント：TRANSMIT ボタンの代わりに REQUEST ボタンにカーソルを合わせて [ENTER] キーを押せば、バルクデータの要求メッセージが外部に送信されます。もう 1 台の 01V96 と MIDI メッセージの送受信ができるように接続してあれば、要求メッセージに答えてバルクデータがこちら側に送信されます。

7 バルクデータを受信するには、DISPLAY ACCESS セクションの [MIDI] キーをもう一度押して MIDI 画面の SETUP ページを表示させ、BULK フィールドの Rx ON/OFF ボタンをオンに設定してください。

この状態で 01V96 がバルクデータを受信すると、該当するメモリー内容が切り替わります。

第19章 その他の機能

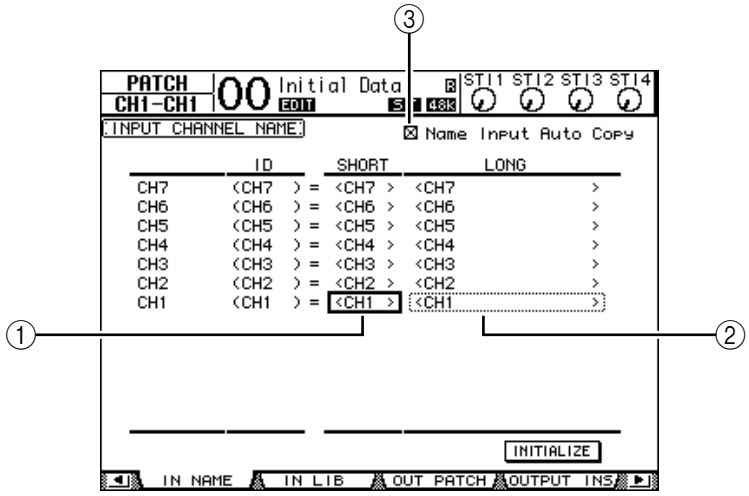
この章では、01V96 のその他の機能について説明します。

インプットチャンネル／アウトプットチャンネルの名前を変更する

初期状態でインプットチャンネル（インプットチャンネル 1 ～ 32、ST IN チャンネル 1 ～ 4）やアウトプットチャンネル（AUX アウト 1 ～ 8、バスアウト 1 ～ 8、ステレオアウト）に付けられている名前は、必要に応じて変更できます。

インプットチャンネルの名前を変更する

1 DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH 画面の IN NAME ページを呼び出します。

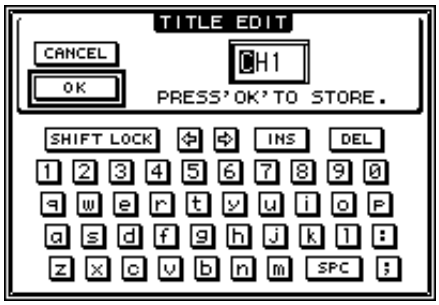


画面左から右に向かってチャンネルごとの ID、省略表記、フルネームが表示されます。画面中央のパラメーターボックス（①）では省略表記、右側のパラメーターボックス（②）ではフルネームを変更できます。

2 いずれかのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って名前を変更したい端子を選択します。

3 [ENTER]キーを押します。

名前を入力する TITLE EDIT ポップアップウィンドウが表示されます。



4 名前を入力し、OK ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

[ENTER]キーを押すと、新しい名前が有効になります。

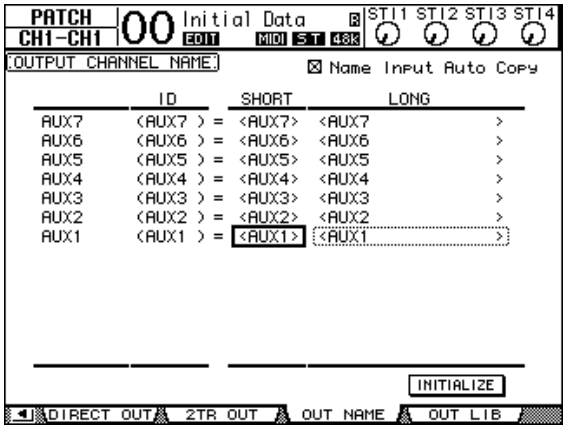
> ***ヒント：変更した名前は、インプットパッチライブラリーに保存されます。***

なお、画面右上の Name Input Auto Copy チェックボックス(③)をオンにすると、LONG パラメーターボックスに名前を入力したときに、その先頭の 4 文字が自動的に SHORT 側にコピーされます。逆に SHORT パラメーターボックスに名前を入力したときは、入力された文字が LONG 側の先頭位置にコピーされます。

また、INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押せば、各端子の名前を初期状態に戻せます。

アウトプットチャンネルの名前を変更する

アウトプットチャンネルに付けられている名前を変更するには、DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH 画面の OUT NAME ページを呼び出します。



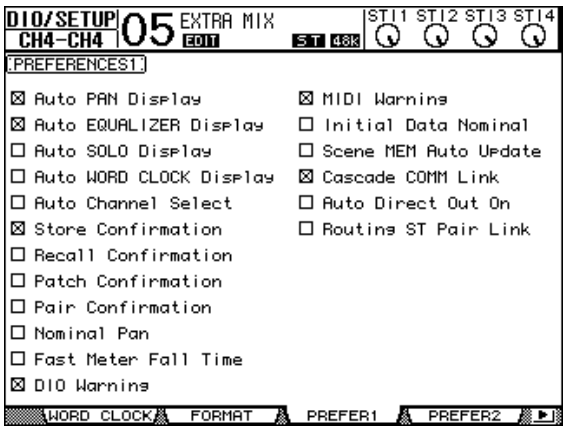
名前の変更方法や Name Input Auto Copy チェックボックス／INITIALIZE ボタンの動作は、IN NAME ページと同じです。

01V96 のプリファレンスを変更する

01V96 の初期設定や環境設定の変更は、DIO/SETUP 画面の PREFER1/PREFER2 ページで行ないます。これらのページを表示させるには、DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押します。

PREFER1 ページ

パネル操作に応じた画面の自動切り替えのオン／オフや、確認メッセージや警告メッセージの表示／非表示などを設定します。



各項目の内容は次のとおりです（以下の説明は左側上から右側下の順番です）。

- **Auto PAN Display**
  このチェックボックスがオンの場合、SELECTED CHANNEL セクションの PAN コントロールを操作すると、PAN/ROUTE 画面が表示されます。サラウンドモードが STEREO のときは左右のパン、それ以外のときはサラウンドパンが調節できます。
- **Auto EQUALIZER Display**
  このチェックボックスがオンの場合、SELECTED CHANNEL セクションの EQ 関連のキーを操作すると、EQ 画面の EQ EDIT ページが表示されます。
- **Auto SOLO Display**
  このチェックボックスがオンの場合、インプットチャンネルをソロに切り替えたときに、DIO/SETUP 画面の MONITOR ページが表示されます。
- **Auto WORD CLOCK Display**
  このチェックボックスがオンの場合、接続中のワードクロック信号が途切れたときに、DIO/SETUP 画面の WORD CLOCK ページが表示されます。
- **Auto Channel Select**
  このチェックボックスがオンの場合、フェーダー／[SOLO]キー／[ON]キーを操作したときに、そのチャンネルが選択されます。
- **Store Confirmation**
  このチェックボックスがオンの場合、シーンメモリーや各種ライブラリーにストア操作を行なったときに、シーン名／ライブラリー名を入力する TITLE EDIT ポップアップウィンドウが表示されます。
- **Recall Confirmation**
  このチェックボックスがオンの場合、シーンメモリーや各種ライブラリーのリコール操作を行なったときに、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
- **Patch Confirmation**
  このチェックボックスがオンの場合、インプットパッチ／アウトプットパッチを変更したときに、内容が変更されたことを示すメッセージが表示されます。
- **Pair Confirmation**
  このチェックボックスがオンの場合、ペアの設定／解除を行なったときに確認のメッセージが表示されます。
- **Nominal Pan**
  このチェックボックスがオンの場合、インプットチャンネルのパン設定を左一杯、または右一杯に振ったときに、左／奇数チャンネル、および右／偶数チャンネルの信号がノミナルレベルとなります。このチェックボックスがオフの場合、左一杯、または右一杯に振った信号は 3dB ブーストされます（パンがセンターのときにノミナルレベルとなります）。また、サラウンドモード時はサラウンドパンのいずれかのチャンネルを一杯に振ったレベルもこの設定に従います。
- **Fast Meter Fall Time**
  このチェックボックスがオンの場合、レベルメーターが下がりきる時間が短くなります。
- **DIO Warning**
  このチェックボックスがオンの場合、スロットまたは 2TR IN DIGITAL 端子から入力されたデジタル信号にエラーが検出されると警告メッセージを表示します。
- **MIDI Warning**
  このチェックボックスがオンの場合、受信している MIDI メッセージにエラーが検出されると警告メッセージを表示します。

- **Initial Data Nominal**
  このチェックボックスがオンの場合、シーンナンバー0 をリコールしたときに、インプットチャンネルのフェーダーと ST IN チャンネルのレベルコントロールの値が、0dB（ノミナルレベル）に設定されます（オフの場合は、−∞に設定されます）。

- **Scene MEM Auto Update**
  このチェックボックスがオンの場合、シーンメモリーのオートアップデート機能（→P.169）が利用できます。

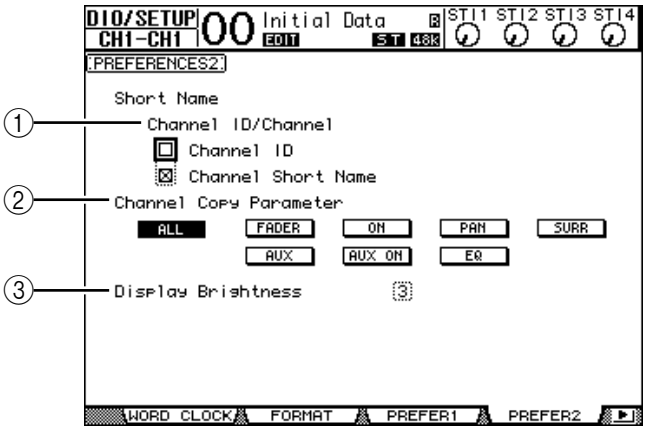
- **Cascade COMM Link**
  このチェックボックスがオンの場合、カスケード接続されている 01V96 同士でさまざまなパラメーターを連動させることができます（カスケード接続については→ P.238）。このチェックボックスがオフのときは、ソロの操作だけが連動します。

- **Auto Direct Out On**
  このチェックボックスがオンの場合、あるチャンネルのダイレクトアウト先の設定を“ −（オフ）”からその他の出力先に切り替えたときに、そのチャンネルのダイレクトアウト出力が自動的に有効となります。また、逆の操作を行なったときは、ダイレクト出力が自動的に無効になります。

- **Routing ST Pair Link**
  このチェックボックスがオンの場合、ペアになったチャンネルでステレオバスへのルーティングが連動します。

PREFER2 ページ

画面に表示されるチャンネルの名前やディスプレイの明るさなどを設定します。



各項目の内容は次のとおりです。

① **Channel ID/Channel**
ディスプレイに表示されるチャンネルの名前を選択します。Channel ID チェックボックスをオンにするとチャンネル ID（CH1、BUS1 など）、Channel Short Name チェックボックスをオンにするとチャンネルの省略表記（→ P.229）が表示されます。

② **Channel Copy Parameter**
ユーザー定義キーに Channel Copy（チャンネルコピー機能）を割り当てたときに（→P.235）、コピーされるパラメーターを次の中から選択します。パラメーターは複数選択できます。

- **ALL**.....コピー可能なすべてのパラメーターを選択します。このボタンをオンにすると、他のボタンがすべて解除されます。
- **FADER**.....フェーダーの値をコピーします。

- **ON** ..... [ON]キーのオン／オフ状態をコピーします。
- **PAN**..... パンの設定値をコピーします。
- **SURR**..... サラウンドパンの設定値をコピーします。
- **AUX**..... AUX センドレベルの設定値をコピーします。
- **AUX ON** ..... チャンネルから AUX に送られる信号のオン／オフ状態をコピーします。
- **EQ**..... EQ の各パラメーターの設定値をコピーします。

③ **Display Brightness**
各 LED インジケーターの明るさを、1 ～ 4 の範囲で設定します。

チャンネルを組み合わせてレイヤーを作る（ユーザーアサイナブルレイヤー）

リモートレイヤーのターゲットを“ USER ASSIGNABLE ”に変更すると、ステレオアウトを除く 01V96 内部のチャンネルを自由に組み合わせてユーザー独自のレイヤーが作成できます。これを**ユーザーアサイナブルレイヤー**と呼びます。

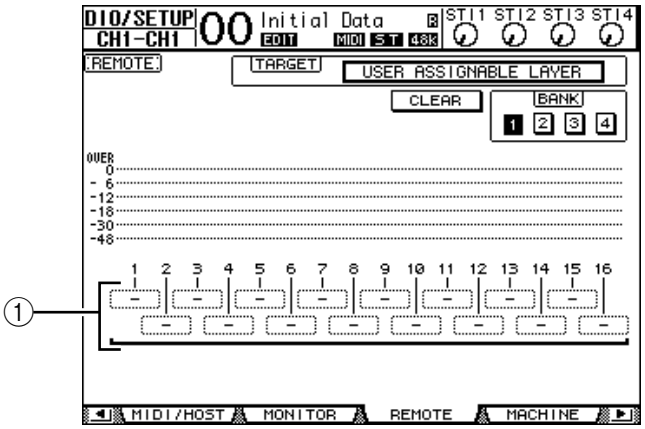
1 DISPLAY ACCES セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して、DIO/SETUP 画面の REMOTE ページを表示させます。

2 TARGET パラメーターボックスの値を“ USER ASSIGNABLE ”に切り替え、[ENTER]キーを押します。

ターゲットの変更を確認するポップアップウィンドウが表示されます。

3 YES ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

画面が次のように変わります。



4 1 ～ 16 のパラメーターボックス(①)を使って、割り当てるチャンネルを選択します。

BANK フィールドのボタンを使ってバンク 1 ～ 4 を切り替えれば、16 チャンネル分の設定を 4 つまで記憶できます。また、割り当てるチャンネルを選択する前に[ENTER]キーを押すと、USER CH SELECT ウィンドウで割り当てるチャンネルを選択することもできます。

> ***ヒント：CLEAR ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、そのバンクを初期設定の状態に戻せます。***

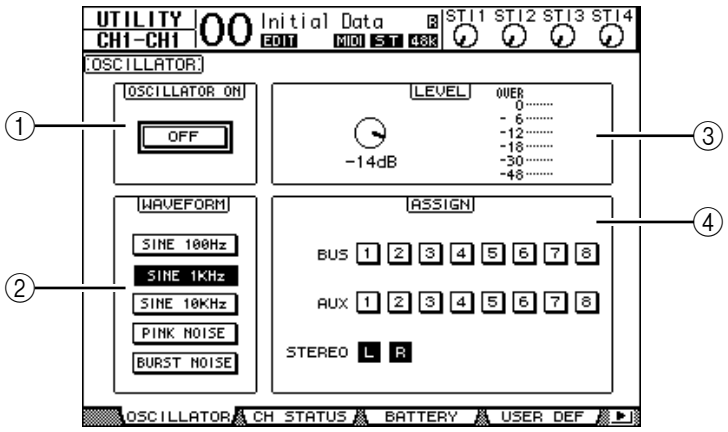
5 LAYER セクションの[REMOTE]キーを使ってユーザーアサイナブルレイヤーを割り当てたリモートレイヤーを呼び出します。

フェーダー、[ON] キーを使って、手順 4 で割り当てたチャンネルを操作できます。

オシレーターを使う

01V96 にはサウンドチェック用のオシレーターが内蔵されています。オシレーターの利用方法は次のとおりです。

1 DISPLAY ACCESS セクションの [UTILITY] キーを繰り返し押して、UTILITY 画面の OSCILLATOR ページを表示させます。



各項目の内容は次のとおりです。

① **OSCILLATOR フィールド**
オシレーターのオン／オフを切り替えます。

② **WAVEFORM フィールド**
オシレーターの波形を選択します。

③ **LEVEL フィールド**
オシレーターの信号レベルを設定します。

④ **ASSIGN フィールド**
オシレーターの送り先を選択します。

2 ASSIGN フィールドでオシレーターの送り先となるチャンネルのボタンにカーソルを合わせ、[ENTER] キーを押します（複数選択可）。

3 WAVEFORM フィールドの中から利用したい波形に相当するボタンを選択し、[ENTER] キーを押します。

各ボタンに対応する波形は次のとおりです。

- **SINE 100Hz ボタン**..... 100Hz のサイン波
- **SINE 1kHz ボタン**..... 1kHz のサイン波
- **SINE 10kHz ボタン**..... 10kHz のサイン波
- **PINK NOISE ボタン**..... ピンクノイズ
- **BURST NOISE ボタン**..... バーストノイズ（4 秒間隔で再生される 200 ミリ秒のピンクノイズ）

4 LEVEL フィールドのノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを使ってオシレーターの信号レベルを絞りきります。

> ***ノート：サイン波やピンクノイズは、聴感上より実際の音圧が高い信号です。大音量で再生するとスピーカーなどの再生装置に悪影響を与える場合がありますので、オシレーターを利用するときは必ず信号レベルを絞りきった状態から徐々にレベルを上げてください。***

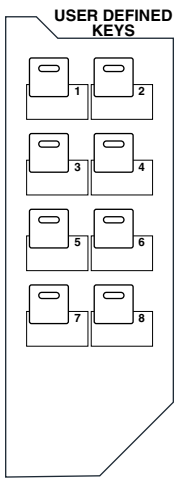
5 OSCILLATOR フィールドの ON/OFF ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーまたは [INC]/[DEC]キーを押してボタンをオンにします。

この状態で、ASSIGN フィールドで選択したチャンネルにオシレーターの信号が送られます。

6 LEVEL フィールドのノブにカーソルを合わせ、パラメーターホイールを使ってオシレーターの信号レベルを上げます。

現在の信号レベルは LEVEL フィールドのメーターで確認できます。

ユーザー定義キーを使う



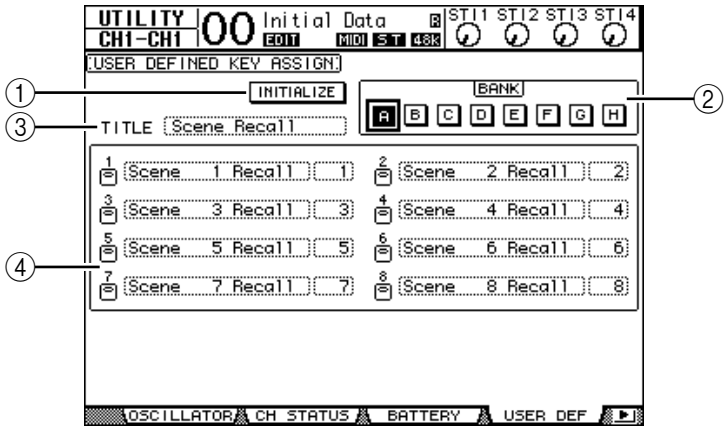
USER DEFINED KEYS セクションにある [1]～[8]キーは、お客様ご自身が機能を選択できるユーザー定義キーです。

それぞれのキーには、160 種類以上の機能の中から任意の機能を割り当てることができます。たとえば、通常は画面内でなければできない操作を割り当てておけば、ショートカットキーとして利用できます。

各キーに割り当てられた機能は、8 つのキーをまとめた“ バンク ”単位で本体内に記憶されます（バンクごとの初期設定の割り当ては、P.249 をご参照ください）。01V96 では 8 つのバンク（バンク A ～ H）が利用できます。バンクを切り替えれば、瞬時にキーの割り当てを変更できます。

ユーザー定義キーの設定方法は次のとおりです。

1 DISPLAY ACCESS セクションの[UTILITY]キーを繰り返し押して、UTILITY 画面の USER DEF ページを表示させます。



各項目の内容は次のとおりです。

① **INITIALIZE ボタン**
すべてのバンクの内容を初期状態に戻します。

② **BANK フィールド**
A ～ H ボタンを使って利用したいバンクを選択します。

③ **TITLE フィールド**
BANK フィールドで選択したバンクの名前を表示します。このフィールドにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、名前を入力する TITLE EDIT ポップアップウィンドウが表示されます。

④ **1 ～ 8 キーフィールド**
USER DEFINED KEYS セクションの[1]～[8]キーに機能を割り当てます。

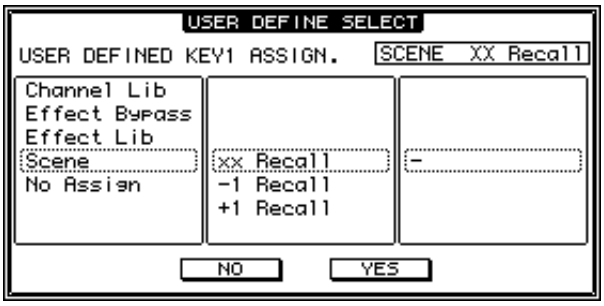
2 BANK フィールド内の利用したいバンクにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

該当するバンクが選択され、そのバンクで各キーに割り当てられている機能が 1 ～ 8 キーフィールドに表示されます。

> ***ヒント：シーン／ライブラリーのリコール操作や MIDI メッセージの送信など、番号を指定して実行するタイプの機能が割り当てられているキーは、番号を指定するためのパラメーターボックスが右側に表示されます。***

3 1 ～ 8 キーフィールドの中から機能を割り当てたいキーのパラメーターボックスにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

選択したキーに機能を割り当てる“ USER DEFINE SELECT ”ポップアップウィンドウが表示されます。



4 左側のリストにカーソルを合わせ、パラメーターホイールまたは[INC]/[DEC]キーを使って割り当てたい機能を選びます。

点線の枠で囲まれている機能が現在選択されています。割り当て可能な機能については P.247 をご参照ください。

5 同じ要領で中央／右側のリストを設定します。

ポップアップウィンドウの中央／右側に表示される内容は手順 4 で選んだ機能に応じて変化します。

6 ポップアップウィンドウを閉じるには、YES ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

ポップアップウィンドウが閉じると、選択したユーザー定義キーに機能が割り当てられます。

なお、CANCEL ボタンにカーソルを合わせて [ENTER]キーを押した場合は、設定内容が破棄されます。

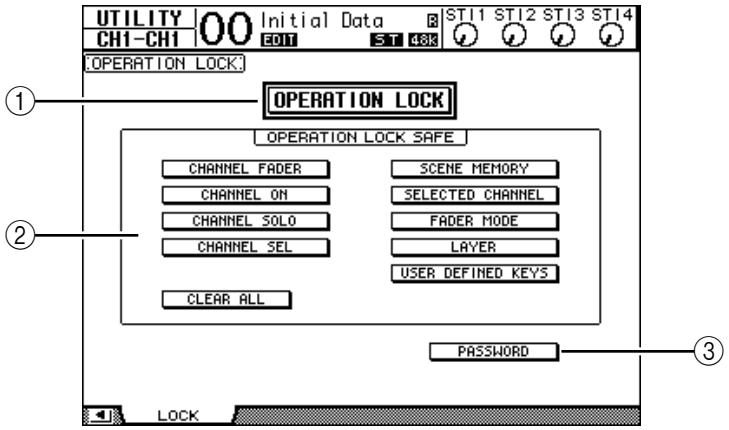
7 番号を指定する機能（シーン／ライブラリーのリコール操作など）を割り当てた場合は、右側に表示されるパラメーターボックスにカーソルを合わせ、番号を選択します。

> ***ヒント：***
> - ***USER DEFINED KEYS の設定内容は、付属のソフトウェア Studio Manager を使ってコンピューターのハードディスク上に保存できます。重要なデータは、必ずバックアップを取ることを強くお薦めします。***
> - ***MIDI バルクダンプ（→ P.227）を利用して、MIDI ファイラーなどの外部機器にバックアップすることも可能です。***

オペレーションロックを使う

01V96 では、不用意に設定内容を変更されないように、パスワードを設定してパネル操作による変更を制限できます。この機能を“ オペレーションロック ”と呼びます。

これを行なうには、[UTILITY]キーを繰り返し押して、UTILITY 画面の LOCK ページを表示させます。



各項目の内容は、次のとおりです。

① **OPERATION LOCK ボタン**

オペレーションロックの設定／解除を行ないます。ボタンをオンにすると、パスワードを入力する PASSWORD ポップアップウィンドウが表示されます。

このポップアップウィンドウでは、チャンネル 1 ～ 10(10 は 0 として使います)の[SEL]キーを使って 4 文字のパスワードを入力できます。(ただし、入力内容は＊で表示されます)。OK ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押すと、オペレーションロックがオンになります。工場出荷時のパスワードは“ 1234 ”になっています。

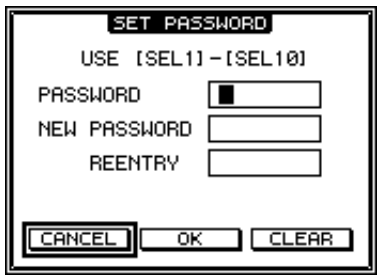
オペレーションロックを解除するには、[ENTER] キーを押します。。再度表示される PASSWORD ポップアップウィンドウに、パスワード入力時と同じ操作を行なえば、解除が実行されます。

ノート：パスワードを忘れると、オペレーションロックが解除できなくなります。設定したパスワードは必ずメモを取るなどしてください。

② **OPERATION LOCK SAFE フィールド**

オペレーションロックの対象から除外するパネル上の操作子を選択します。CLEAR ALL ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、一括してボタンを解除できます。

③ **PASSWORD ボタン**
現在設定されているパスワードを変更します。ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、パスワードの設定／変更を行なう SET PASSWORD ポップアップウィンドウが表示されます。



PASSWORD フィールドには現在のパスワード、NEW PASSWORD フィールドには新しいパスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは“ 1234 ”になっています。NEW PASSWORD フィールドの下にある REENTRY フィールドにも再度新しいパスワードを入力します。OK ボタンにカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押すとパスワードが変更されます。

ヒント：CLEAR ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、入力されているパスワードをすべて消去できます。
設定したパスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを初期化することもできます。(→ P.243)

2 台の 01V96 をカスケード接続する

01V96 にはカスケード接続用のバス（カスケードバス）が搭載されています。このバスを利用すれば、各種デジタル入出力や OMNI IN/OMNI OUT 端子を使って 2 台の 01V96 をカスケード接続し、それぞれのバス 1 ～ 8、AUX センド 1 ～ 8、ステレオバス、ソロバスの信号を統合できます。

さらに、カスケード接続した 2 台の 01V96 で MIDI IN/OUT 端子同士を接続すると、次の機能が連動できるようになります。

- 画面／ページの表示
- AUX の選択
- ソロ機能
- フェーダーモードの選択
- メーターポジションの設定
- ピークホールドのオン／オフ
- メーターFast Fall のオン／オフ
- シーンのストア／リコール、シーンの名前

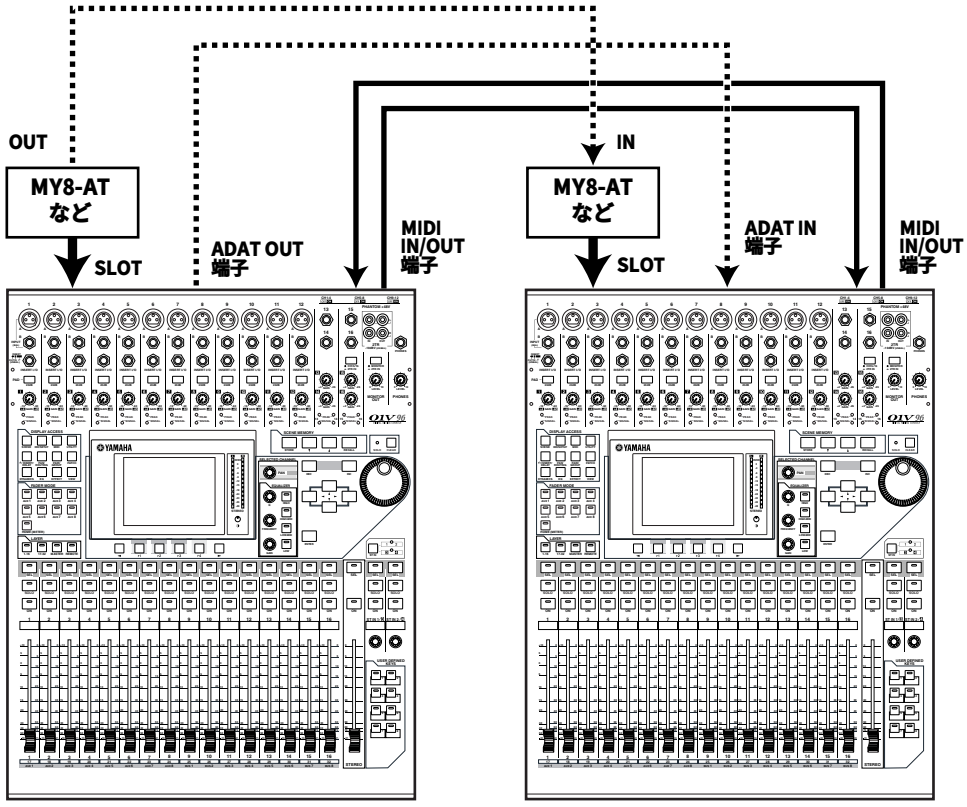
ヒント：
- ***ソロ機能を除く各パラメーターを実際に連動させるには、SETUP 画面の PREFER1 ページ(→ P.230)にある“ Cascade COMM Link ”チェックボックスをオンにする必要があります。***
- ***ソロ機能は“ Cascade COMM Link ”チェックボックスのオン／オフに関係なく、常に連動します。***
- ***フェーダーモードは、マスターレイヤーが選択されている場合は連動しません。***

ここでは、スロットに装着したデジタル I/O カードの入出力を使って、2 台の 01V96 をカスケード接続する方法を説明します。

1 2 台の 01V96 のスロットにデジタル I/O カードを装着します。

2 2 台の 01V96 を次のように接続します。

- カスケードバスを通じて信号を送る 01V96（スレーブ機）のデジタル I/O カードの出力を、カスケードバスを通じて信号を受け取る 01V96（マスター機）の I/O カードの入力に接続します。
- マスター機の ADAT IN 端子と、スレーブ機の ADAT OUT 端子を接続します。
- マスター機の MIDI IN 端子と、スレーブ機の MIDI OUT 端子を MIDI ケーブルで接続します。
- マスター機の MIDI OUT 端子と、スレーブ機の MIDI IN 端子を MIDI ケーブルで接続します。



01V96（スレーブ） 01V96（マスター）

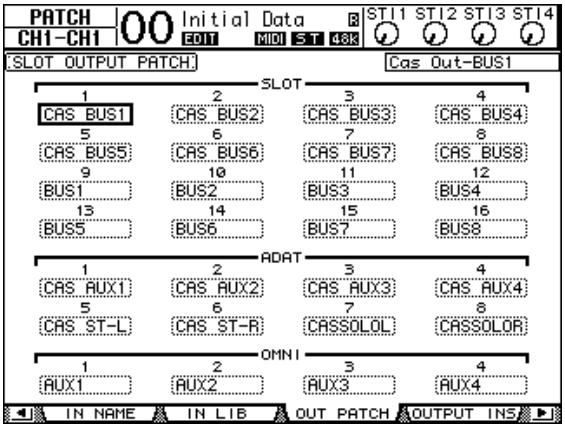
3 スレーブ機で DISPLAY ACCESS セクションの[PATCH]キーを繰り返し押し、PATCH 画面の OUT PATCH ページを表示させます。

4 カスケード接続に利用したいチャンネルに、バスの信号を割り当てます。

選択可能な信号の種類は、次のとおりです。

表示	内容
CAS BUS1 ～ BUS8	バス 1 ～ 8 のカスケードアウト
CAS AUX1 ～ AUX8	AUX バス 1 ～ 8 のカスケードアウト
CAS ST-L/CAS ST-R	ステレオバスの L/R チャンネルのカスケードアウト
CASSOLOL/CASSOLOR	ソロバスの L/R チャンネルのカスケードアウト

次の図は、ADAT IN/OUT 端子と 8 チャンネルのデジタル I/O カード（MY8-AT など）を使って、バス 1 ～ 8、AUX センド 1 ～ 4、ステレオバス、ソロバスの信号を統合する場合の設定例です。



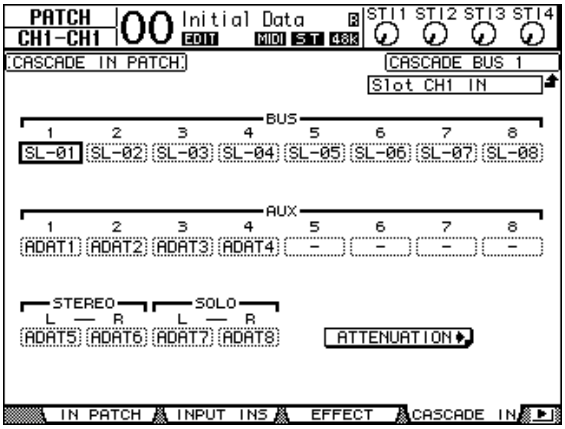
*ヒント：**実際のパッチ方法は、カスケード接続したいバスの種類や数に応じて異なります。***

*ノート：**上記の例では、デジタル I/O カードの利用できるチャンネル数に制限があるため、AUX センドのうち 1 ～ 4 のみをカスケード接続しています。16 チャンネルのデジタル I/O カード（MY16-AT など）を使えば、すべてのバスをカスケード接続できます。***

5 マスター機で DISPLAY ACCESS セクションの [PATCH] キーを繰り返し押して PATCH 画面の CASCADE IN ページを表示させます。

6 スレーブ機から送られる各種バスの信号を入力するチャンネルを設定します。

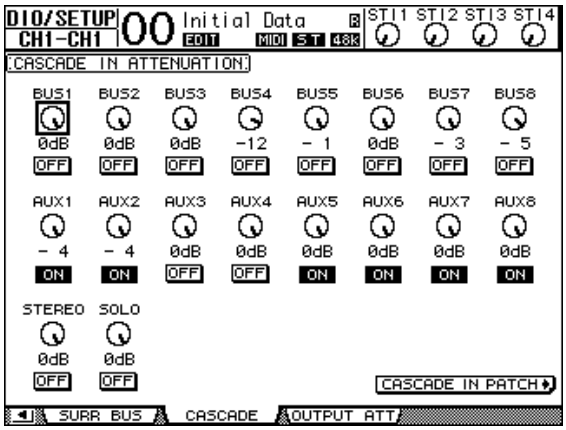
次の図は、ADAT IN/OUT 端子と 8 チャンネルのデジタル I/O カード（MY8-AT など）を使って、バス 1 ～ 8、AUX センド 1 ～ 4、ステレオバス、ソロバスの信号を受信する場合の設定例です。



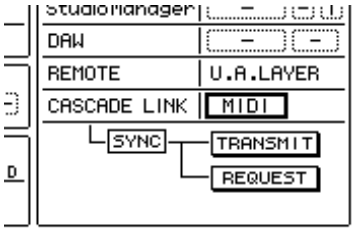
*ヒント：**スレーブ機の各バスの信号は、必ずマスター機の同じバスにパッチしてください。正しくパッチが行なわれていないと、カスケード接続が正常に行なえなくなります。***

7 マスター機で DISPLAY ACCESS セクションの[DIO/SETUP]キーを繰り返し押して DIO/SETUP 画面の CASCADE ページを表示させ、各ノブを使ってバスごとのアッテネーターの値を調節します。

DIO/SETUP 画面 CASCADE ページでは、専用のアッテネーターを使ってカスケードバスに入力される信号レベルを調節できます。また、ノブの下のボタンを使って各カスケードバスのオン／オフを切り替えることも可能です。



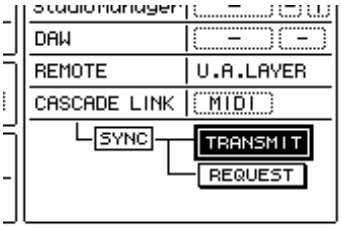
8 [DIO/SETUP]キーを繰り返し押して DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させ、CASCADE LINK パラメーターボックスを‘ MIDI ’に設定します。



9 マスター機でも手順 8 と同じ操作を行ないます。

手順 8 ～ 9 の操作により、スレーブ側の 01V96 が MIDI メッセージを送受信できるようになります。

10 2 台の 01V96 の各種パラメーターを一致させるには、コピー元となる 01V96 の DIO/SETUP 画面の MIDI/HOST ページを表示させ、SYNC フィールドの TRANSMIT ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

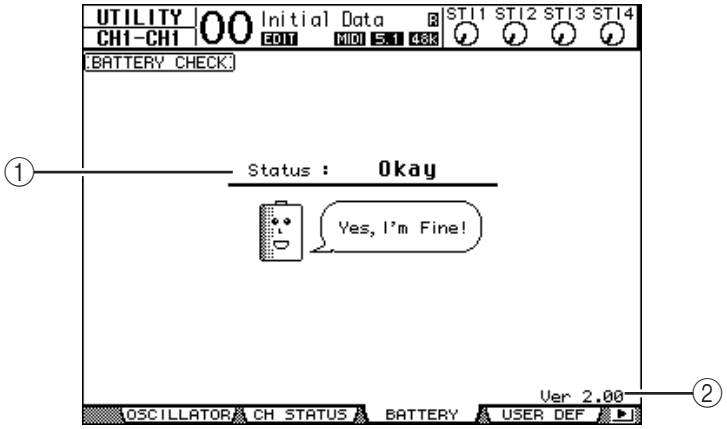


REMOTE 端子を通じて、カスケードリンクするパラメーター（→ P.238）のデータがもう一方の 01V96 にコピーされます。なお、TRANSMIT ボタンの代わりに REQUEST ボタンを使えば、相手先のデータをこちら側にコピーできます。

ここまでの操作で、2 台のバス 1 ～ 8、AUX 1 ～ 4、ステレオバスが統合化され、マスター機側のバスアウト 1 ～ 8、AUX アウト 1 ～ 4、ステレオアウトを通じて出力されます。また、どちらか一方の 01V96 でチャンネルをソロに設定すると、01V96 のモニターを通じてソロの信号をモニターできます。

バッテリーの残量やシステムのバージョンを確認する

UTILITY 画面の BATTERY ページでは、01V96 に内蔵されたバックアップ用バッテリーの残量や、システムのバージョンを確認できます。このページを表示させるには、DISPLAY ACCESS セクションの[UTILITY]キーを繰り返し押します。



① **Status**

この表示が“ Okay ”ならバッテリーに十分な残量があります。表示が“ Voltage Low! ”に変わった場合は、お早めにお買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にバッテリーの交換を依頼してください。消耗した電池を交換せずにいると、データが失われることがあります。

> ***ノート：故障の原因となりますので、ご自分でバッテリーを交換することは絶対にお止めください。***

② **VerXXXX（XXXX には番号が入ります）**

システムのバージョン番号を表示します。システムのバージョンアップなどを行なうときは、この表示で現在利用しているシステムのバージョンを確認します。

最新のバージョンは、ウェブサイトでご確認いただけます。
http://proaudio.yamaha.co.jp/

01V96 を工場出荷時の状態に戻す

必要ならば、内部に記録されている設定を消去して、01V96 を工場出荷時の状態に戻したり、オペレーションロックのパスワードを初期状態にリセットできます。その方法は次のとおりです。

ノート：
- ***01V96 を工場出荷時の状態に戻すと、お客様ご自身が保存したシーンやライブラリーのデータはすべて消去されます。この操作は慎重に行なってください。***
- ***01V96 内部に必要なデータがある場合は、付属のソフトウェア Studio Manager を使って、必ずバックアップを取ってください。***

ヒント：MIDI バルクダンプ(→ P.227)を利用して、MIDI ファイラーなどの外部機器にバックアップすることも可能です。

1 01V96 の電源がオフになっていることを確認します。

2 SCENE MEMORY セクションの[STORE]キーを押しながら、POWER ON/OFF スイッチをオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに次のポップアップウィンドウが表示されます。

3 工場出荷時の状態に戻すには、INITIALIZE ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

キャンセルしたいときは CANCEL ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

内部データの書き替えが終ると、01V96 が工場出荷時の状態で起動します。

4 オペレーションロックのパスワードを初期状態に戻すには、手順 2 の状態で PASSWORD ボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

パスワードが“1234”にリセットされます。

手順 2 の画面で何も操作せずにいると、ポップアップウィンドウが自動的に閉じて、01V96 が通常モードで起動します。

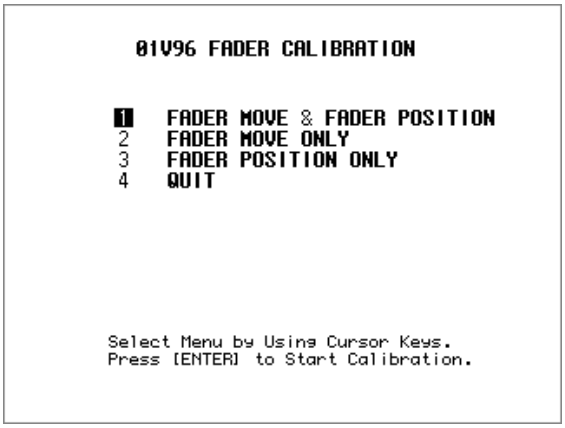
フェーダーのキャリブレーションを行なう

01V96 のモーターフェーダーは使用環境により挙動のずれが生じる場合があります。この挙動のずれはキャリブレーション機能を使って再調整できます。

1 01V96 の電源がオフになっていることを確認します。

2 [ENTER]キーを押しながら、POWER ON/OFF スイッチをオンにします。

しばらくすると、以下のようなキャリブレーション画面が表示されます。



3 「1 FADER MOVE & FADER POSITION」が選択されていることを確認して、[ENTER]キーを押します。

モーターフェーダーの動きだけを再調整したい場合は、カーソルキーを使って「2 FADER MOVE ONLY」を選択し、[ENTER]キーを押します。

フェーダー位置だけを再調整したい場合は、カーソルキーを使って「3 FADER POSITION ONLY」を選択し、[ENTER]キーを押します。手順 5 に進みます。

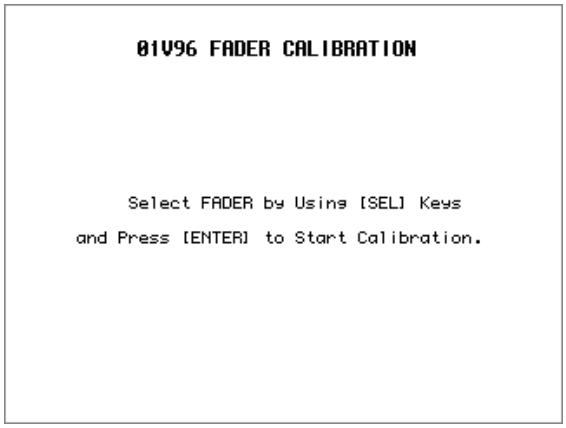
キャリブレーションを中止する場合は、カーソルキーを使って「4 QUIT」を選択し、[ENTER]キーを押します。01V96 が通常モードで起動します。

4 モーターフェーダーの動きを再調整するキャリブレーションが開始され、ディスプレイにキャリブレーション中であることを示すメッセージが表示されます。

このキャリブレーションには約 2 分かかります。この間は絶対にフェーダーに触れないでください。

5 このキャリブレーションが終了すると、次に位置調節を行なうフェーダーを選択する画面が表示されます。

手順 3 で「2 FADER MOVE ONLY」を選択した場合は、以上でフェーダーの再調整は終了です。01V96 が通常モードで起動します。



6 [SEL]キーを使って、フェーダー位置のキャリブレーションを行なうフェーダーを選択し、[ENTER]キーを押します。

選択されている［SEL］キーのインジケーターは点滅します（［ENTER］キーを押すと点灯に変わります）。初期状態ではすべての［SEL］キーが点滅しています。ただし、エラーが発生してキャリブレーションをやり直している場合は、問題があったフェーダーの［SEL］キーだけが点滅します。

7 画面の指示に従って、選択されたフェーダーを－∞の目盛りに合わせ、[ENTER]キーを押します。

8 選択されたフェーダーを画面が指示する目盛りに合わせて［ENTER］キーを押します。フェーダー1 ～ 16 の場合は－ 15 の目盛り、STEREO フェーダーの場合は－ 30 の目盛りにあわせます。

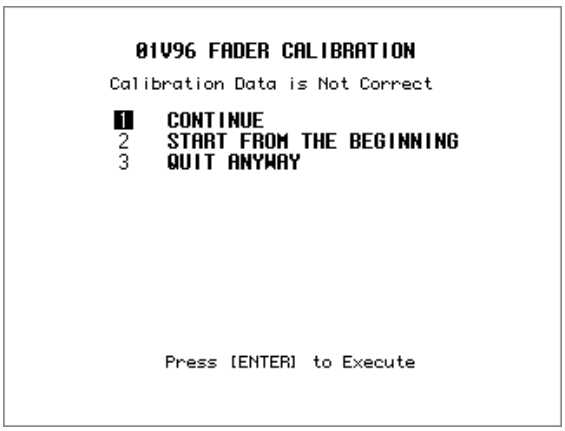
9 選択されたフェーダーを画面が指示する目盛りに合わせて［ENTER］キーを押します。フェーダー1 ～ 16 の場合は 0 の目盛りに合わせ、STEREO フェーダーの場合は任意の位置で構いません。

10 選択されたフェーダーを画面が指示する目盛りに合わせて［ENTER］キーを押します。フェーダー1 ～ 16 の場合は＋ 10 の目盛り、STEREO フェーダーの場合は 0 の目盛りにあわせます。

キャリブレーション結果に問題がなければ、これで終了です。再調整が終わると、01V96 が通常モードで起動します。

11 キャリブレーション結果に問題がある場合は、以下の画面が表示されます。

また、問題があったフェーダーの[SEL]キーが点滅します。



カーソルキーを使って以下の 3 つの選択肢のいずれかを選択し、[ENTER]キーを押します。

- CONTINUE ..... 問題のあったフェーダーの[SEL]キーが点滅した状態で、手順 5 の画面に戻ります。
- START FROM THE BEGINNING .... 手順 2 の画面に戻ります。
- QUIT ANYWAY ..... キャリブレーションを中止して、通常モードで起動します。この場合、問題のあったフェーダーには標準設定が適用されます。

何度キャリブレーションをやり直してもこの画面が表示される場合は、巻末に記載されているヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

キャリブレーションのデータに問題がある場合は、起動時に以下のような画面が表示されます。この画面が表示された場合は、画面が指示するフェーダーの FADER POSITION のキャリブレーションを行なってください。

付録A：パラメーターリスト

[USER DEFINED KEYS]

#	機能	表示
0	No Assign	No Assign
1	Scene MEM. Recall +1	Scene +1 Recall
2	Scene MEM. Recall –1	Scene –1 Recall
3	Scene MEM. Recall No. XX	Scene XX Recall
4	Effect-1 Lib. Recall +1	Fx1 Lib+1 Recall
5	Effect-1 Lib. Recall –1	Fx1 Lib–1 Recall
6	Effect-1 Lib. Recall No.XX	Fx1 LibXXX RCL.
7	Effect-2 Lib. Recall +1	Fx2 Lib+1 Recall
8	Effect-2 Lib. Recall –1	Fx2 Lib–1 Recall
9	Effect-2 Lib. Recall No.XX	Fx2 LibXXX RCL.
10	Effect-3 Lib. Recall +1	Fx3 Lib+1 Recall
11	Effect-3 Lib. Recall –1	Fx3 Lib–1 Recall
12	Effect-3 Lib. Recall No.XX	Fx3 LibXXX RCL.
13	Effect-4 Lib. Recall +1	Fx4 Lib+1 Recall
14	Effect-4 Lib. Recall –1	Fx4 Lib–1 Recall
15	Effect-4 Lib. Recall No.XX	Fx4 LibXXX RCL.
16	Effect-1 Bypass On/Off	Fx1 Bypass
17	Effect-2 Bypass On/Off	Fx2 Bypass
18	Effect-3 Bypass On/Off	Fx3 Bypass
19	Effect-4 Bypass On/Off	Fx4 Bypass
20	Channel Lib. Recall +1	CH Lib+1 Recall
21	Channel Lib. Recall –1	CH Lib–1 Recall
22	Channel Lib. Recall No. XX	CH LibXXX Recall
23	GATE Lib. Recall +1	Gate Lib+1 RCL.
24	GATE Lib. Recall –1	Gate Lib–1 RCL.
25	GATE Lib. Recall No. XX	Gate LibXXX RCL.
26	COMP Lib. Recall +1	Comp Lib+1 RCL.
27	COMP Lib. Recall –1	Comp Lib–1 RCL.
28	COMP Lib. Recall No. XX	Comp LibXXX RCL.
29	EQ Lib. Recall +1	EQ Lib+1 Recall
30	EQ Lib. Recall –1	EQ Lib–1 Recall
31	EQ Lib. Recall No. XX	EQ LibXXX Recall
32	Input Patch Lib. Recall +1	IN Patch Lib+1
33	Input Patch Lib. Recall –1	IN Patch Lib–1
34	Input Patch Lib. Recall No. XX	IN Patch LibXX
35	Output Patch Lib. Recall +1	Out Patch Lib+1
36	Output Patch Lib. Recall –1	Out Patch Lib–1
37	Output Patch Lib. Recall No. XX	Out Patch LibXX
38	Input Fader Group Enable A	IN Fader Group A
39	Input Fader Group Enable B	IN Fader Group B
40	Input Fader Group Enable C	IN Fader Group C
41	Input Fader Group Enable D	IN Fader Group D
42	Input Fader Group Enable E	IN Fader Group E
43	Input Fader Group Enable F	IN Fader Group F
44	Input Fader Group EnableG	IN Fader Group G
45	Input Fader Group Enable H	IN Fader Group H
46	Input MUTE Group Enable I	IN Mute Group I
47	Input MUTE Group Enable J	IN Mute Group J
48	Input MUTE Group Enable K	IN Mute Group K
49	Input MUTE Group Enable L	IN Mute Group L
50	Input MUTE Group Enable M	IN Mute Group M
51	Input MUTE Group Enable N	IN Mute Group N
52	Input MUTE Group Enable O	IN Mute Group O
53	Input MUTE Group Enable P	IN Mute Group P
54	Output Fader Group Enable Q	OutFader Group Q
55	Output Fader Group Enable R	OutFader Group R
56	Output Fader Group Enable S	OutFader Group S
57	Output Fader Group Enable T	OutFader Group T
58	Output MUTE Group Enable U	Out Mute Group U
59	Output MUTE Group Enable V	Out Mute Group V
60	Output MUTE Group Enable W	Out Mute Group W
61	Output MUTE Group Enable X	Out Mute Group X
62	Input Fader Group Assign X	IN Fader Assign X
63	Input Mute Group Assign X	IN Mute Assign X
64	Input EQ Group Assign X	IN EQ Assign x
65	Input COMP Group Assign X	IN COMP Assign x
66	Output Fader Group Assign X	OutFader Assign X
67	Output Mute Group Assign X	Out Mute Assign X
68	Output EQ Group Assign X	Out EQ Assign x
69	Output COMP Group Assign X	Out COMP Assign x
70	Input Mute Group Master X	In Mute Master X
71	Output MUTE Group Master X	Out Mute Master X
72	PEAK HOLD On/Off	Peak Hold
73	OSCILLATOR On/Off	OSC ON/OFF
74	SOLO Enable	SOLO ENABLE
75	FADER/SOLO RELEASE Mode On/Off	FaderSolo RELEASE
76	Control Room Monitor MONO	C-R MONO
77	Pan / Surround Link	PAN/SURR LINK
78	Channel Name ID/Short	CH ID/Short
79	Channel Copy	Channel Copy
80	Channel Paste	Channel Paste
81	Display Back	Display Back
82	Display Forward	Display Forward
83	UDEF KEYS BANK +1	UDEF KEYS BANK+1
84	UDEF KEYS BANK –1	UDEF KEYS BANK–1
85	UDEF KEYS BANK X	UDEF KEYS BANK x
86	REMOTE USER DEFINE BANK +1	RMT UDEF BANK+1
87	REMOTE USER DEFINE BANK -1	RMT UDEF BANK-1
88	REMOTE USER DEFINE BANK X	RMT UDEF BANK X
89	REMOTE USER ASS LAYER BANK +1	USR LAYER BANK+1
90	REMOTE USER ASS LAYER BANK -1	USR LAYER BANK-1
91	REMOTE USER ASS LAYER BANK X	USR LAYER BANK X
92	MIDI NOTE No.XX	MIDI NOTE XXX
93	MIDI Program change No.XX	MIDI PGM XXX
94	MIDI Control Change No.XX	MIDI CC XXX
95	Machine REC	Machine REC
96	Machine PLAY	Machine PLAY
97	Machine STOP	Machine STOP
98	Machine FF	Machine FF
99	Machine REW	Machine REW
100	Machine SHUTTLE	Machine SHUTTLE
101	Machine SCRUB	Machine SCRUB
102	Machine LOCATE X	Machine LOCATE X
103	Machine Set LOCATE X	Machine Capture X
104	Machine RTZ	Machine RTZ
105	Machine Set RTZ	Machine Set RTZ
106	Track Arming 1	Track Arming 1

#	機能	表示
107	Track Arming 2	Track Arming 2
108	Track Arming 3	Track Arming 3
109	Track Arming 4	Track Arming 4
110	Track Arming 5	Track Arming 5
111	Track Arming 6	Track Arming 6
112	Track Arming 7	Track Arming 7
113	Track Arming 8	Track Arming 8
114	Track Arming 9	Track Arming 9
115	Track Arming 10	Track Arming 10
116	Track Arming 11	Track Arming 11
117	Track Arming 12	Track Arming 12
118	Track Arming 13	Track Arming 13
119	Track Arming 14	Track Arming 14
120	Track Arming 15	Track Arming 15
121	Track Arming 16	Track Arming 16
122	Track Arming 17	Track Arming 17
123	Track Arming 18	Track Arming 18
124	Track Arming 19	Track Arming 19
125	Track Arming 20	Track Arming 20
126	Track Arming 21	Track Arming 21
127	Track Arming 22	Track Arming 22
128	Track Arming 23	Track Arming 23
129	Track Arming 24	Track Arming 24
130	Track Arming All Clear	Track Arming CLR
131	DAW REC	DAW REC
132	DAW PLAY	DAW PLAY
133	DAW STOP	DAW STOP
134	DAW FF	DAW FF
135	DAW REW	DAW REW
136	DAW SHUTTLE	DAW SHUTTLE
137	DAW SCRUB	DAW SCRUB
138	DAW AUDITION	DAW AUDITION
139	DAW PRE	DAW PRE
140	DAW IN	DAW IN
141	DAW OUT	DAW OUT
142	DAW POST	DAW POST
143	DAW RTZ	DAW RTZ
144	DAW END	DAW END
145	DAW ONLINE	DAW ONLINE
146	DAW LOOP	DAW LOOP
147	DAW QUICKPUNCH	DAW QUICKPUNCH
148	DAW GROUP STATUS	DAW GROUP STATUS
149	DAW AUTO FADER	DAW AUTO FADER
150	DAW AUTO MUTE	DAW AUTO MUTE
151	DAW AUTO PAN	DAW AUTO PAN
152	DAW AUTO SEND	DAW AUTO SEND
153	DAW AUTO PLUGIN	DAW AUTO PLUGIN
154	DAW AUTO SEND MUTE	DAW AUTO SENDMUTE
155	DAW AUTO READ	DAW AUTO READ
156	DAW AUTO TOUCH	DAW AUTO TOUCH
157	DAW AUTO LATCH	DAW AUTO LATCH
158	DAW AUTO WRITE	DAW AUTO WRITE
159	DAW AUTO TRIM	DAW AUTO TRIM
160	DAW AUTO OFF	DAW AUTO OFF
161	DAW AUTO SUSPEND	DAW AUTO SUSPEND
162	DAW AUTO STATUS	DAW AUTO STATUS
163	DAW MONITOR STATUS	DAW MONI STATUS
164	DAW CREATE GROUP	DAW CREATE GROUP
165	DAW SUSPEND GROUP	DAW SUSPEND GRP

#	機能	表示
166	DAW WINDOW TRANSPORT	DAW WIN TRANSPORT
167	DAW WINDOW INSERT	DAW WIN INSERT
168	DAW WINDOW MIX/EDIT	DAW WIN MIX/EDIT
169	DAW WINDOW MEM-LOC	DAW WIN MEM-LOC
170	DAW WINDOW STATUS	DAW WIN STATUS
171	DAW Shortcut UNDO	DAW UNDO
172	DAW Shortcut SAVE	DAW SAVE
173	DAW Shortcut EDIT MODE	DAW EDIT MODE
174	DAW Shortcut EDIT TOOL	DAW EDIT TOOL
175	DAW Shortcut SHIFT/ADD	DAW SHIFT/ADD
176	DAW Shortcut OPTION/ALL	DAW OPTION/ALL
177	DAW Shortcut CTRL/CLUCH	DAW CTRL/CLUCH
178	DAW Shortcut ALT/FINE	DAW ALT/FINE
179	DAW BANK +	DAW BANK +
180	DAW BANK –	DAW BANK –
181	DAW Channel +	DAW Channel +
182	DAW Channel –	DAW Channel –
183	DAW REC/RDY X	DAW REC/RDY X
184	DAW REC/RDY ALL	DAW REC/RDY ALL
185	Studio Manager Window Control Close	SM CTRL Close
186	Studio Manager Window Control Close All	SM CTRL Close All
187	Studio Manager Window Control Selected Channel	SM CTRL Sel Ch
188	Studio Manager Window Control Library	SM CTRL Library
189	Studio Manager Window Control Patch Editor	SM CTRL Patch
190	Studio Manager Window Control Surround Editor	SM CTRL Surround
191	Studio Manager Window Control Effect Editor	SM CTRL Effect
192	Studio Manager Window Control Meter	SM CTRL Meter
193	Studio Manager Window Control Layer	SM CTRL Layer
194	Studio Manager Window Control Master	SM CTRL Master

[USER DEFINED KEYS]初期アサイン

	BANK A	BANK B	BANK C	BANK D	BANK E	BANK F	BANK G	BANK H
TITLE	Scene Recall	Group Enable	DAW 1	DAW 2	Machine Control	Program Change	Special Function	No Assign
1	Scene 1 Recall	IN Fader Group A	UDEF BANK D	UDEF BANK C	Machine SHUTTLE	MIDI PGM 1	Display Back	No Assign
2	Scene 2 Recall	IN Mute Group I	DAW WIN MIX/EDIT	DAW OPTION/ALL	Machine SCRUB	MIDI PGM 2	Display Forward	No Assign
3	Scene 3 Recall	IN Fader Group B	DAW BANK –	DAW AUTO READ	Machine RTZ	MIDI PGM 3	Channel Copy	No Assign
4	Scene 4 Recall	IN Mute Group J	DAW BANK +	DAW AUTO TOUCH	Machine REC	MIDI PGM 4	Channel Paste	No Assign
5	Scene 5 Recall	IN Fader Group C	DAW SHUTTLE	DAW AUTO LATCH	Machine STOP	MIDI PGM 5	No Assign	No Assign
6	Scene 6 Recall	IN Mute Group K	DAW SCRUB	DAW AUTO WRITE	Machine PLAY	MIDI PGM 6	No Assign	No Assign
7	Scene 7 Recall	IN Fader Group D	DAW STOP	DAW AUTO TRIM	Machine REW	MIDI PGM 7	No Assign	No Assign
8	Scene 8 Recall	IN Mute Group L	DAW PLAY	DAW AUTO OFF	Machine FF	MIDI PGM 8	No Assign	No Assign

インプットパッチパラメーター

INPUT		INSERT IN		EFFECT IN		CASCADE	
表示	説明	表示	説明	表示	説明	表示	説明
–	NONE	–	NONE	–	NONE	–	NONE
AD1	AD IN 1	AD1	AD IN 1	AUX1	AUX1	ADAT1	ADAT1 IN
AD2	AD IN 2	AD2	AD IN 2	AUX2	AUX2	ADAT2	ADAT2 IN
AD3	AD IN 3	AD3	AD IN 3	AUX3	AUX3	ADAT3	ADAT3 IN
AD4	AD IN 4	AD4	AD IN 4	AUX4	AUX4	ADAT4	ADAT4 IN
AD5	AD IN 5	AD5	AD IN 5	AUX5	AUX5	ADAT5	ADAT5 IN
AD6	AD IN 6	AD6	AD IN 6	AUX6	AUX6	ADAT6	ADAT6 IN
AD7	AD IN 7	AD7	AD IN 7	AUX7	AUX7	ADAT7	ADAT7 IN
AD8	AD IN 8	AD8	AD IN 8	AUX8	AUX8	ADAT8	ADAT8 IN
AD9	AD IN 9	AD9	AD IN 9	INS CH1	InsertOut-CH1	SL-01	Slot CH1 IN
AD10	AD IN 10	AD10	AD IN 10	INS CH2	InsertOut-CH2	SL-02	Slot CH2 IN
AD11	AD IN 11	AD11	AD IN 11	INS CH3	InsertOut-CH3	SL-03	Slot CH3 IN
AD12	AD IN 12	AD12	AD IN 12	INS CH4	InsertOut-CH4	SL-04	Slot CH4 IN
AD13	AD IN 13	AD13	AD IN 13	INS CH5	InsertOut-CH5	SL-05	Slot CH5 IN
AD14	AD IN 14	AD14	AD IN 14	INS CH6	InsertOut-CH6	SL-06	Slot CH6 IN
AD15	AD IN 15	AD15	AD IN 15	INS CH7	InsertOut-CH7	SL-07	Slot CH7 IN
AD16	AD IN 16	AD16	AD IN 16	INS CH8	InsertOut-CH8	SL-08	Slot CH8 IN
ADAT1	ADAT1 IN	ADAT1	ADAT1 IN	INS CH9	InsertOut-CH9	SL-09	Slot CH9 IN
ADAT2	ADAT2 IN	ADAT2	ADAT2 IN	INS CH10	InsertOut-CH10	SL-10	Slot CH10 IN
ADAT3	ADAT3 IN	ADAT3	ADAT3 IN	INS CH11	InsertOut-CH11	SL-11	Slot CH11 IN
ADAT4	ADAT4 IN	ADAT4	ADAT4 IN	INS CH12	InsertOut-CH12	SL-12	Slot CH12 IN
ADAT5	ADAT5 IN	ADAT5	ADAT5 IN	INS CH13	InsertOut-CH13	SL-13	Slot CH13 IN
ADAT6	ADAT6 IN	ADAT6	ADAT6 IN	INS CH14	InsertOut-CH14	SL-14	Slot CH14 IN
ADAT7	ADAT7 IN	ADAT7	ADAT7 IN	INS CH15	InsertOut-CH15	SL-15	Slot CH15 IN
ADAT8	ADAT8 IN	ADAT8	ADAT8 IN	INS CH16	InsertOut-CH16	SL-16	Slot CH16 IN
SL-01	Slot CH1 IN	SL-01	Slot CH1 IN	INS CH17	InsertOut-CH17	AD1	AD IN 1
SL-02	Slot CH2 IN	SL-02	Slot CH2 IN	INS CH18	InsertOut-CH18	AD2	AD IN 2
SL-03	Slot CH3 IN	SL-03	Slot CH3 IN	INS CH19	InsertOut-CH19	AD3	AD IN 3
SL-04	Slot CH4 IN	SL-04	Slot CH4 IN	INS CH20	InsertOut-CH20	AD4	AD IN 4
SL-05	Slot CH5 IN	SL-05	Slot CH5 IN	INS CH21	InsertOut-CH21	AD5	AD IN 5
SL-06	Slot CH6 IN	SL-06	Slot CH6 IN	INS CH22	InsertOut-CH22	AD6	AD IN 6

INPUT		INSERT IN		EFFECT IN		CASCADE	
表示	説明	表示	説明	表示	説明	表示	説明
SL-07	Slot CH7 IN	SL-07	Slot CH7 IN	INS CH23	InsertOut-CH23	AD7	AD IN 7
SL-08	Slot CH8 IN	SL-08	Slot CH8 IN	INS CH24	InsertOut-CH24	AD8	AD IN 8
SL-09	Slot CH9 IN	SL-09	Slot CH9 IN	INS CH25	InsertOut-CH25	AD9	AD IN 9
SL-10	Slot CH10 IN	SL-10	Slot CH10 IN	INS CH26	InsertOut-CH26	AD10	AD IN 10
SL-11	Slot CH11 IN	SL-11	Slot CH11 IN	INS CH27	InsertOut-CH27	AD11	AD IN 11
SL-12	Slot CH12 IN	SL-12	Slot CH12 IN	INS CH28	InsertOut-CH28	AD12	AD IN 12
SL-13	Slot CH13 IN	SL-13	Slot CH13 IN	INS CH29	InsertOut-CH29	AD13	AD IN 13
SL-14	Slot CH14 IN	SL-14	Slot CH14 IN	INS CH30	InsertOut-CH30	AD14	AD IN 14
SL-15	Slot CH15 IN	SL-15	Slot CH15 IN	INS CH31	InsertOut-CH31	AD15	AD IN 15
SL-16	Slot CH16 IN	SL-16	Slot CH16 IN	INS CH32	InsertOut-CH32	AD16	AD IN 16
FX1-1	Effect1 OUT 1	FX1-1	Effect1 OUT 1	INS BUS1	InsertOut-BUS1	2TD-L	2TR IN Dig. L
FX1-2	Effect1 OUT 2	FX1-2	Effect1 OUT 2	INS BUS2	InsertOut-BUS2	2TD-R	2TR IN Dig. R
FX2-1	Effect2 OUT 1	FX2-1	Effect2 OUT 1	INS BUS3	InsertOut-BUS3		
FX2-2	Effect2 OUT 2	FX2-2	Effect2 OUT 2	INS BUS4	InsertOut-BUS4		
FX3-1	Effect3 OUT 1	FX3-1	Effect3 OUT 1	INS BUS5	InsertOut-BUS5		
FX3-2	Effect3 OUT 2	FX3-2	Effect3 OUT 2	INS BUS6	InsertOut-BUS6		
FX4-1	Effect4 OUT 1	FX4-1	Effect4 OUT 1	INS BUS7	InsertOut-BUS7		
FX4-2	Effect4 OUT 2	FX4-2	Effect4 OUT 2	INS BUS8	InsertOut-BUS8		
2TD-L	2TR IN Dig. L	2TD-L	2TR IN Dig. L	INS AUX1	InsertOut-AUX1		
2TD-R	2TR IN Dig. R	2TD-R	2TR IN Dig. R	INS AUX2	InsertOut-AUX2		
				INS AUX3	InsertOut-AUX3		
				INS AUX4	InsertOut-AUX4		
				INS AUX5	InsertOut-AUX5		
				INS AUX6	InsertOut-AUX6		
				INS AUX7	InsertOut-AUX7		
				INS AUX8	InsertOut-AUX8		
				INS ST-L	InsertOut-ST-L		
				INS ST-R	InsertOut-ST-R		

インプットパッチ初期設定

CHANNEL

1	AD1
2	AD2
3	AD3
4	AD4
5	AD5
6	AD6
7	AD7
8	AD8
9	AD9
10	AD10
11	AD11
12	AD12
13	AD13
14	AD14
15	AD15
16	AD16
17	ADAT1
18	ADAT2
19	ADAT3
20	ADAT4
21	ADAT5
22	ADAT6
23	ADAT7
24	ADAT8
25	S-1
26	S-2
27	S-3
28	S-4
29	S-5
30	S-6
31	S-7
32	S-8

STI1L	FX1-1
STI1R	FX1-2
STI2L	FX2-1
STI2R	FX2-2
STI3L	FX3-1
STI3R	FX3-2
STI4L	FX4-1
STI4R	FX4-2

EFFECT IN PATCH

1-1	AUX1
1-2	NONE
2-1	AUX2
2-2	NONE
3-1	AUX3
3-2	NONE
4-1	AUX4
4-2	NONE

CASCADE IN PATCH

BUS1	NONE
BUS2	NONE
BUS3	NONE
BUS4	NONE
BUS5	NONE
BUS6	NONE
BUS7	NONE
BUS8	NONE
AUX1	NONE
AUX2	NONE
AUX3	NONE
AUX4	NONE
AUX5	NONE
AUX6	NONE
AUX7	NONE
AUX8	NONE
ST L	NONE
ST R	NONE
SOLO L	NONE
SOLO R	NONE

EFFECT TYPE

EFFECT1	REVERB HALL
EFFECT2	REVERB ROOM
EFFECT3	REVERB STAGE
EFFECT4	REVERB PLATE

(mono input)

CHANNEL NAME

	CHANNEL ID	SHORT	LONG
CH1	CH1	CH1	CH1
CH2	CH2	CH2	CH2
CH3	CH3	CH3	CH3
CH4	CH4	CH4	CH4
CH5	CH5	CH5	CH5
CH6	CH6	CH6	CH6
CH7	CH7	CH7	CH7
CH8	CH8	CH8	CH8
CH9	CH9	CH9	CH9
CH10	CH10	CH10	CH10
CH11	CH11	CH11	CH11
CH12	CH12	CH12	CH12
CH13	CH13	CH13	CH13
CH14	CH14	CH14	CH14
CH15	CH15	CH15	CH15
CH16	CH16	CH16	CH16
CH17	CH17	CH17	CH17
CH18	CH18	CH18	CH18
CH19	CH19	CH19	CH19
CH20	CH20	CH20	CH20
CH21	CH21	CH21	CH21
CH22	CH22	CH22	CH22
CH23	CH23	CH23	CH23
CH24	CH24	CH24	CH24
CH25	CH25	CH25	CH25
CH26	CH26	CH26	CH26
CH27	CH27	CH27	CH27
CH28	CH28	CH28	CH28
CH29	CH29	CH29	CH29
CH30	CH30	CH30	CH30
CH31	CH31	CH31	CH31
CH32	CH32	CH32	CH32

ST IN1	STI1	STI1	STEREO IN1
ST IN2	STI2	STI2	STEREO IN2
ST IN3	STI3	STI3	STEREO IN3
ST IN4	STI4	STI4	STEREO IN4

アウトプットパッチパラメーター

SLOT, ADAT, OMNI		INSERT IN		DIRECT OUT		2TR OUT Digital	
表示	説明	表示	説明	表示	説明	表示	説明
–	NONE	–	NONE	–	NONE	–	NONE
BUS1	BUS1	AD1	AD IN 1	ADAT1	ADAT1 OUT	BUS1	BUS1
BUS2	BUS2	AD2	AD IN 2	ADAT2	ADAT2 OUT	BUS2	BUS2
BUS3	BUS3	AD3	AD IN 3	ADAT3	ADAT3 OUT	BUS3	BUS3
BUS4	BUS4	AD4	AD IN 4	ADAT4	ADAT4 OUT	BUS4	BUS4
BUS5	BUS5	AD5	AD IN 5	ADAT5	ADAT5 OUT	BUS5	BUS5
BUS6	BUS6	AD6	AD IN 6	ADAT6	ADAT6 OUT	BUS6	BUS6
BUS7	BUS7	AD7	AD IN 7	ADAT7	ADAT7 OUT	BUS7	BUS7
BUS8	BUS8	AD8	AD IN 8	ADAT8	ADAT8 OUT	BUS8	BUS8
AUX1	AUX1	AD9	AD IN 9	SL-01	Slot CH1 IN	AUX1	AUX1
AUX2	AUX2	AD10	AD IN 10	SL-02	Slot CH2 IN	AUX2	AUX2
AUX3	AUX3	AD11	AD IN 11	SL-03	Slot CH3 IN	AUX3	AUX3
AUX4	AUX4	AD12	AD IN 12	SL-04	Slot CH4 IN	AUX4	AUX4
AUX5	AUX5	AD13	AD IN 13	SL-05	Slot CH5 IN	AUX5	AUX5
AUX6	AUX6	AD14	AD IN 14	SL-06	Slot CH6 IN	AUX6	AUX6
AUX7	AUX7	AD15	AD IN 15	SL-07	Slot CH7 IN	AUX7	AUX7
AUX8	AUX8	AD16	AD IN 16	SL-08	Slot CH8 IN	AUX8	AUX8
ST L	STEREO L	ADAT1	ADAT1 IN	SL-09	Slot CH9 IN	ST L	STEREO L
ST R	STEREO R	ADAT2	ADAT2 IN	SL-10	Slot CH10 IN	ST R	STEREO R
INS CH1	InsertOut-CH1	ADAT3	ADAT3 IN	SL-11	Slot CH11 IN	INS CH1	InsertOut-CH1
INS CH2	InsertOut-CH2	ADAT4	ADAT4 IN	SL-12	Slot CH12 IN	INS CH2	InsertOut-CH2
INS CH3	InsertOut-CH3	ADAT5	ADAT5 IN	SL-13	Slot CH13 IN	INS CH3	InsertOut-CH3
INS CH4	InsertOut-CH4	ADAT6	ADAT6 IN	SL-14	Slot CH14 IN	INS CH4	InsertOut-CH4
INS CH5	InsertOut-CH5	ADAT7	ADAT7 IN	SL-15	Slot CH15 IN	INS CH5	InsertOut-CH5
INS CH6	InsertOut-CH6	ADAT8	ADAT8 IN	SL-16	Slot CH16 IN	INS CH6	InsertOut-CH6
INS CH7	InsertOut-CH7	SL-01	Slot CH1 IN	OMNI1	OMNI OUT 1	INS CH7	InsertOut-CH7
INS CH8	InsertOut-CH8	SL-02	Slot CH2 IN	OMNI2	OMNI OUT 2	INS CH8	InsertOut-CH8
INS CH9	InsertOut-CH9	SL-03	Slot CH3 IN	OMNI3	OMNI OUT 3	INS CH9	InsertOut-CH9
INS CH10	InsertOut-CH10	SL-04	Slot CH4 IN	OMNI4	OMNI OUT 4	INS CH10	InsertOut-CH10
INS CH11	InsertOut-CH11	SL-05	Slot CH5 IN	2TD-L	2TR OUT Dig. L	INS CH11	InsertOut-CH11
INS CH12	InsertOut-CH12	SL-06	Slot CH6 IN	2TD-R	2TR OUT Dig. R	INS CH12	InsertOut-CH12
INS CH13	InsertOut-CH13	SL-07	Slot CH7 IN	—	—	INS CH13	InsertOut-CH13
INS CH14	InsertOut-CH14	SL-08	Slot CH8 IN	—	—	INS CH14	InsertOut-CH14
INS CH15	InsertOut-CH15	SL-09	Slot CH9 IN	—	—	INS CH15	InsertOut-CH15
INS CH16	InsertOut-CH16	SL-10	Slot CH10 IN	—	—	INS CH16	InsertOut-CH16
INS CH17	InsertOut-CH17	SL-11	Slot CH11 IN	—	—	INS CH17	InsertOut-CH17
INS CH18	InsertOut-CH18	SL-12	Slot CH12 IN	—	—	INS CH18	InsertOut-CH18
INS CH19	InsertOut-CH19	SL-13	Slot CH13 IN	—	—	INS CH19	InsertOut-CH19
INS CH20	InsertOut-CH20	SL-14	Slot CH14 IN	—	—	INS CH20	InsertOut-CH20
INS CH21	InsertOut-CH21	SL-15	Slot CH15 IN	—	—	INS CH21	InsertOut-CH21
INS CH22	InsertOut-CH22	SL-16	Slot CH16 IN	—	—	INS CH22	InsertOut-CH22
INS CH23	InsertOut-CH23	FX1-1	Effect1 OUT 1	—	—	INS CH23	InsertOut-CH23
INS CH24	InsertOut-CH24	FX1-2	Effect1 OUT 2	—	—	INS CH24	InsertOut-CH24
INS CH25	InsertOut-CH25	FX2-1	Effect2 OUT 1	—	—	INS CH25	InsertOut-CH25
INS CH26	InsertOut-CH26	FX2-2	Effect2 OUT 2	—	—	INS CH26	InsertOut-CH26
INS CH27	InsertOut-CH27	FX3-1	Effect3 OUT 1	—	—	INS CH27	InsertOut-CH27
INS CH28	InsertOut-CH28	FX3-2	Effect3 OUT 2	—	—	INS CH28	InsertOut-CH28
INS CH29	InsertOut-CH29	FX4-1	Effect4 OUT 1	—	—	INS CH29	InsertOut-CH29
INS CH30	InsertOut-CH30	FX4-2	Effect4 OUT 2	—	—	INS CH30	InsertOut-CH30
INS CH31	InsertOut-CH31	2TD-L	2TR IN Dig. L	—	—	INS CH31	InsertOut-CH31
INS CH32	InsertOut-CH32	2TD-R	2TR IN Dig. R	—	—	INS CH32	InsertOut-CH32
INS BUS1	InsertOut-BUS1	—	—	—	—	INS BUS1	InsertOut-BUS1

SLOT, ADAT, OMNI		INSERT IN		DIRECT OUT		2TR OUT Digital	
表示	説明	表示	説明	表示	説明	表示	説明
INS BUS2	InsertOut-BUS2	—	—	—	—	INS BUS2	InsertOut-BUS2
INS BUS3	InsertOut-BUS3	—	—	—	—	INS BUS3	InsertOut-BUS3
INS BUS4	InsertOut-BUS4	—	—	—	—	INS BUS4	InsertOut-BUS4
INS BUS5	InsertOut-BUS5	—	—	—	—	INS BUS5	InsertOut-BUS5
INS BUS6	InsertOut-BUS6	—	—	—	—	INS BUS6	InsertOut-BUS6
INS BUS7	InsertOut-BUS7	—	—	—	—	INS BUS7	InsertOut-BUS7
INS BUS8	InsertOut-BUS8	—	—	—	—	INS BUS8	InsertOut-BUS8
INS AUX1	InsertOut-AUX1	—	—	—	—	INS AUX1	InsertOut-AUX1
INS AUX2	InsertOut-AUX2	—	—	—	—	INS AUX2	InsertOut-AUX2
INS AUX3	InsertOut-AUX3	—	—	—	—	INS AUX3	InsertOut-AUX3
INS AUX4	InsertOut-AUX4	—	—	—	—	INS AUX4	InsertOut-AUX4
INS AUX5	InsertOut-AUX5	—	—	—	—	INS AUX5	InsertOut-AUX5
INS AUX6	InsertOut-AUX6	—	—	—	—	INS AUX6	InsertOut-AUX6
INS AUX7	InsertOut-AUX7	—	—	—	—	INS AUX7	InsertOut-AUX7
INS AUX8	InsertOut-AUX8	—	—	—	—	INS AUX8	InsertOut-AUX8
INS ST-L	InsertOut-STL	—	—	—	—	INS ST-L	InsertOut-ST-L
INS ST-R	InsertOut-STR	—	—	—	—	INS ST-R	InsertOut-ST-R
CAS BUS1	Cascade Out Bus1	—	—	—	—	CAS BUS1	Cascade Out Bus1
CAS BUS2	Cascade Out Bus2	—	—	—	—	CAS BUS2	Cascade Out Bus2
CAS BUS3	Cascade Out Bus3	—	—	—	—	CAS BUS3	Cascade Out Bus3
CAS BUS4	Cascade Out Bus4	—	—	—	—	CAS BUS4	Cascade Out Bus4
CAS BUS5	Cascade Out Bus5	—	—	—	—	CAS BUS5	Cascade Out Bus5
CAS BUS6	Cascade Out Bus6	—	—	—	—	CAS BUS6	Cascade Out Bus6
CAS BUS7	Cascade Out Bus7	—	—	—	—	CAS BUS7	Cascade Out Bus7
CAS BUS8	Cascade Out Bus8	—	—	—	—	CAS BUS8	Cascade Out Bus8
CAS AUX1	Cascade Out Aux1	—	—	—	—	CAS AUX1	Cascade Out Aux1
CAS AUX2	Cascade Out Aux2	—	—	—	—	CAS AUX2	Cascade Out Aux2
CAS AUX3	Cascade Out Aux3	—	—	—	—	CAS AUX3	Cascade Out Aux3
CAS AUX4	Cascade Out Aux4	—	—	—	—	CAS AUX4	Cascade Out Aux4
CAS AUX5	Cascade Out Aux5	—	—	—	—	CAS AUX5	Cascade Out Aux5
CAS AUX6	Cascade Out Aux6	—	—	—	—	CAS AUX6	Cascade Out Aux6
CAS AUX7	Cascade Out Aux7	—	—	—	—	CAS AUX7	Cascade Out Aux7
CAS AUX8	Cascade Out Aux8	—	—	—	—	CAS AUX8	Cascade Out Aux8
CAS ST-L	Cascade STEREO-L	—	—	—	—	CAS ST-L	Cascade STEREO-L
CAS ST-R	Cascade STEREO-R	—	—	—	—	CAS ST-R	Cascade STEREO-R
CASSOLOL	Cascade SOLO L	—	—	—	—	CASSOLOL	Cascade SOLO L
CASSOLOR	Cascade SOLO R	—	—	—	—	CASSOLOR	Cascade SOLO R

アウトプットパッチ初期設定

SLOT

SLOT1-1	BUS1
SLOT1-2	BUS2
SLOT1-3	BUS3
SLOT1-4	BUS4
SLOT1-5	BUS5
SLOT1-6	BUS6
SLOT1-7	BUS7
SLOT1-8	BUS8
SLOT1-9	BUS1
SLOT1-10	BUS2
SLOT1-11	BUS3
SLOT1-12	BUS4
SLOT1-13	BUS5
SLOT1-14	BUS6
SLOT1-15	BUS7
SLOT1-16	BUS8

ADAT OUT

1	BUS1
2	BUS2
3	BUS3
4	BUS4
5	BUS5
6	BUS6
7	BUS7
8	BUS8

OMNI OUT

1	AUX1
2	AUX2
3	AUX3
4	AUX4

DIRECT OUT

1	ADAT1
2	ADAT2
3	ADAT3
4	ADAT4
5	ADAT5
6	ADAT6
7	ADAT7
8	ADAT8
9	SLOT-1
10	SLOT-2
11	SLOT-3
12	SLOT-4
13	SLOT-5
14	SLOT-6
15	SLOT-7
16	SLOT-8
17	NONE
18	NONE
19	NONE
20	NONE
21	NONE
22	NONE
23	NONE
24	NONE
25	NONE
26	NONE
27	NONE
28	NONE
29	NONE
30	NONE
31	NONE
32	NONE

2TR OUT Digital

1L	ST L
1R	ST R

CHANNEL NAME

	CHANNEL ID	SHORT	LONG
AUX1	AUX1	AUX1	AUX1
AUX2	AUX2	AUX2	AUX2
AUX3	AUX3	AUX3	AUX3
AUX4	AUX4	AUX4	AUX4
AUX5	AUX5	AUX5	AUX5
AUX6	AUX6	AUX6	AUX6
AUX7	AUX7	AUX7	AUX7
AUX8	AUX8	AUX8	AUX8
BUS1	BUS1	BUS1	BUS1
BUS2	BUS2	BUS2	BUS2
BUS3	BUS3	BUS3	BUS3
BUS4	BUS4	BUS4	BUS4
BUS5	BUS5	BUS5	BUS5
BUS6	BUS6	BUS6	BUS6
BUS7	BUS7	BUS7	BUS7
BUS8	BUS8	BUS8	BUS8
STEREO	ST	ST	STEREO

User Defined Remote Layerレイヤー初期バンク設定

Bank 1（GM Vol、Pan）

ID	Name		Controller	Data Format															
	Short	Long		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
RM01	GM01	GM-CH01 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B0	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM02	GM02	GM-CH02 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B1	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM03	GM03	GM-CH03 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B2	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM04	GM04	GM-CH04 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B3	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM05	GM05	GM-CH05 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B4	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM06	GM06	GM-CH06 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B5	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM07	GM07	GM-CH07 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B6	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM08	GM08	GM-CH08 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B7	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM09	GM09	GM-CH09 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B8	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM10	GM10	GM-CH10 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B9	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM11	GM11	GM-CH11 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BA	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM12	GM12	GM-CH12 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BB	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM13	GM13	GM-CH13 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BC	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM14	GM14	GM-CH14 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BD	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM15	GM15	GM-CH15 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BE	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM16	GM16	GM-CH16 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BF	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Bank 2(GM Vol、Effect 1)

ID	Name		Controller	Data Format														
	Short	Long		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
RM01	GM01	GM-CH01 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B0	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM02	GM02	GM-CH02 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B1	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM03	GM03	GM-CH03 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B2	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM04	GM04	GM-CH04 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B3	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM05	GM05	GM-CH05 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B4	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM06	GM06	GM-CH06 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B5	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM07	GM07	GM-CH07 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B6	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM08	GM08	GM-CH08 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B7	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM09	GM09	GM-CH09 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B8	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM10	GM10	GM-CH10 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B9	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM11	GM11	GM-CH11 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BA	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM12	GM12	GM-CH12 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BB	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM13	GM13	GM-CH13 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BC	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM14	GM14	GM-CH14 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BD	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM15	GM15	GM-CH15 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BE	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM16	GM16	GM-CH16 VOL&EFF1	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BF	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

Bank 3(XG Vol & Pan)

ID	Name		Controller	Data Format															
	Short	Long		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
RM01	XG01	XG-CH01 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	00	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM02	XG02	XG-CH02 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	01	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM03	XG03	XG-CH03 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	02	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM04	XG04	XG-CH04 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	03	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM05	XG05	XG-CH05 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	04	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM06	XG06	XG-CH06 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	05	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM07	XG07	XG-CH07 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	06	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM08	XG08	XG-CH08 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	07	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM09	XG09	XG-CH09 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	08	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM10	XG10	XG-CH10 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	09	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM11	XG11	XG-CH11 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	0A	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM12	XG12	XG-CH12 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	0B	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM13	XG13	XG-CH13 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	0C	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM14	XG14	XG-CH14 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	0D	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM15	XG15	XG-CH15 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	0E	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–
RM16	XG16	XG-CH16 VOL&PAN	ON	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	F0	43	10	4C	08	0F	0B	FAD	F7	END	–	–	–	–	–	–

Bank 4(Nuendo VST Mixer)

ID	Name		Controller	Data Format															
	Short	Long		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
RM01	CH1	VST MIXER CH1	ON	B0	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B0	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM02	CH2	VST MIXER CH2	ON	B1	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B1	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM03	CH3	VST MIXER CH3	ON	B2	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B2	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM04	CH4	VST MIXER CH4	ON	B3	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B3	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM05	CH5	VST MIXER CH5	ON	B4	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B4	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM06	CH6	VST MIXER CH6	ON	B5	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B5	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM07	CH7	VST MIXER CH7	ON	B6	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B6	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM08	CH8	VST MIXER CH8	ON	B7	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B7	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM09	CH9	VST MIXER CH9	ON	B8	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B8	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM10	CH10	VST MIXER CH10	ON	B9	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	B9	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM11	CH11	VST MIXER CH11	ON	BA	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BA	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM12	CH12	VST MIXER CH12	ON	BB	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BB	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM13	CH13	VST MIXER CH13	ON	BC	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BC	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM14	CH14	VST MIXER CH14	ON	BD	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BD	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM15	CH15	VST MIXER CH15	ON	BE	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BE	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RM16	CH16	VST MIXER CH16	ON	BF	40	SW	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
			FADER	BF	07	FAD	END	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

エフェクトパラメーター

REVERB HALL, REVERB ROOM, REVERB STAGE, REVERB PLATE

1 IN/2 OUTのゲート付ホール、ルーム、ステージ、プレートリバーブのシミュレーションです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
LO. RATIO	0.1–2.4	リバーブの低域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	リバーブ音の左右のひろがりです。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
E/R DLY	0.0–100.0 ms	初期反射音(ER)からリバーブまでの遅延時間です。
E/R BAL.	0–100%	初期反射音とリバーブの音量バランスです。(0%: リバーブのみ、100%: ERのみ)
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
GATE LVL	OFF, –60 to 0 dB	ゲートのスレッショルドレベルです。
ATTACK	0–120 ms	ゲートが開くのにかかる時間です。
HOLD	*1	ゲートが閉じ始めるまでの時間です。
DECAY	*2	ゲートが閉じる速さです。

***1. 0.02ms～2.13s(fs=44.1kHz)、0.02 ms～1.96s(fs=48kHz)、0.01ms～1.06s(fs=88.2kHz)、0.01ms～981ms (fs=96kHz)**

***2. 6ms～46.0s(fs=44.1kHz)、5ms～42.3s(fs=48kHz)、3ms～23.0s (fs=88.2kHz)、3ms～21.1s (fs=96kHz)**

EARLY REF.

1 IN/2 OUTのアーリーリフレクションです。

Parameter	Range	Description
TYPE	S-Hall, L-Hall, Random, Revers, Plate, Spring	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1–20.0	部屋の大きさ、つまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0–10	反射音の減衰のしかたを表わします。(0: dead、10: live)
INI. DLY	0.0–500.0 ms	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DIFF.	0–10	反射音の左右のひろがりです。
DENSITY	0–100%	反射音の密度です。
ER NUM.	1–19	反射音の本数です。
FB.GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

GATE REVERB, REVERSE GATE

1 IN/2 OUTのゲート付アーリーリフレクションとリバースゲート付アーリーリフレクションです。

Parameter	Range	Description
TYPE	Type-A, Type-B	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1–20.0	部屋の大きさ、つまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0–10	反射音の減衰のしかたを表わします。(0: dead、10: live)
INI. DLY	0.0–500.0 ms	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DIFF.	0–10	反射音の左右のひろがりです。
DENSITY	0–100%	反射音の密度です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
ER NUM.	1–19	反射音の本数です。
FB.GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

MONO DELAY

1 IN/2 OUTのベーシックなリピートディレイです。

Parameter	Range	Description
DELAY	0.0–2730.0 ms	ディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからDELAYを換算するための値です。

***1. ―― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝 ただし最大値はTEMPOの設定によります。**

STEREO DELAY

2 IN/2 OUTのベーシックなステレオディレイです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–1350.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–1350.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB. G L	–99 to +99%	Lチャンネルのフィードバックの量です。
FB. G R	–99 to +99%	Rチャンネルのフィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅗𝅥. 𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

MOD. DELAY

1IN/2 OUTのモジュレーション付きのベーシックなリピートディレイです。

Parameter	Range	Description
DELAY	0.0–2725.0 ms	ディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波）
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
DLY.NOTE	*1	TEMPOからDELAYを換算するための値です。
MOD.NOTE	*2	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

***2. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**

DELAY LCR

1 IN/2 OUTの3タップディレイです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–2730.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY C	0.0–2730.0 ms	センターチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–2730.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB. DLY	0.0–2730.0 ms	フィードバックのディレイタイムです。
LEVEL L	–100 to +100%	Lチャンネルのレベルです。
LEVEL C	–100 to +100%	センターチャンネルのレベルです。
LEVEL R	–100 to +100%	Rチャンネルのレベルです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE C	*1	TEMPOからDELAY Cを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。
NOTE FB	*1	TEMPOからFB.DLYを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅗𝅥 𝅘𝅥𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

ECHO

2 IN/2 OUTのクロスフィードバックループ付きステレオディレイです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–1350.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–1350.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB.DLY L	0.0–1350.0 ms	Lチャンネルのフィードバックディレイタイムです。
FB.DLY R	0.0–1350.0 ms	Rチャンネルのフィードバックディレイタイムです。
FB. G L	–99 to +99%	Lチャンネルのフィードバック量です。
FB. G R	–99 to +99%	Rチャンネルのフィードバック量です。
L->R FBG	–99 to +99%	L chの出力からR chにフィードバックする量です。
R->L FBG	–99 to +99%	R chの出力からL chにフィードバックする量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。
NOTE FBL	*1	TEMPOからFB.DLY Lを換算するための値です。
NOTE FBR	*1	TEMPOからFB.DLY Rを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

CHORUS

2 IN/2 OUTのコーラスエフェクトです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
AM DEPTH	0–100%	アンプリチュードモジュレーションの深さです。
PM DEPTH	0–100%	ピッチモジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルター周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターゲインです。
EQ F	100 Hz–8.00 kHz	EQ(ピーキングタイプ)周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	EQ(ピーキングタイプ)ゲインです。
EQ Q	10.0–0.10	EQ(ピーキングタイプ)周波数幅です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルター周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターゲインです。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**

FLANGE

2 IN/2 OUTのフランジエフェクトです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルター周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターゲインです。
EQ F	100 Hz–8.00 kHz	EQ(ピーキングタイプ)周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	EQ(ピーキングタイプ)ゲインです。
EQ Q	10.0–0.10	EQ(ピーキングタイプ)周波数幅です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルター周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターゲインです。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**

SYMPHONIC

2 IN/2 OUTのシンフォニックエフェクトです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波）
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルター周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターゲインです。
EQ F	100 Hz–8.00 kHz	EQ（ピーキングタイプ）周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	EQ（ピーキングタイプ）ゲインです。
EQ Q	10.0–0.10	EQ（ピーキングタイプ）周波数幅です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルター周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターゲインです。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

PHASER

2 IN/2 OUTの16ステージエフェクトです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
OFFSET	0–100	フェイズシフトのかかる周波数のオフセットです。
PHASE	0.00–354.38 degrees	左右モジュレーションのフェイズバランスです。
STAGE	2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16	フェイズシフトの段数です。
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルター周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターゲインです。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルター周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターゲインです。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

AUTO PAN

2 IN/2 OUTのオートパンエフェクトです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
DIR.	*1	パンニング効果の方向です。
WAVE	Sine, Tri, Square	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波、Square：矩形波）
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルター周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターゲインです。
EQ F	100 Hz–8.00 kHz	EQ（ピーキングタイプ）周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	EQ（ピーキングタイプ）ゲインです。
EQ Q	10.0–0.10	EQ（ピーキングタイプ）周波数幅です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルター周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターゲインです。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*2	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1. L<->R, L—>R, L<—R, Turn L, Turn R**

***2.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

TREMOLO

2 IN/2 OUTのトレモロエフェクトです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
WAVE	Sine, Tri, Square	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波、Square：矩形波）
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルターの周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターのゲイン量です。
EQ F	100 Hz–8.00 kHz	EQ（ピーキングタイプ）の周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	EQ（ピーキングタイプ）のゲイン量です。
EQ Q	10.0–0.10	EQ（ピーキングタイプ）の周波数幅です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルターの周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターのゲイン量です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

HQ. PITCH

1 IN/2 OUTの高品質ピッチシフターです。内蔵エフェクト1と2でのみ使用可能です。

Parameter	Range	Description
PITCH	–12 to +12 semi-tones	ピッチチェンジの変化量(半音単位)です。
FINE	–50 to +50 cents	ピッチチェンジの微調整(1セント単位)です。
DELAY	0.0–1000.0 ms	ピッチチェンジのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
MODE	1–10	ピッチチェンジの精度です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからDELAYを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

DUAL PITCH

2 IN/2 OUTのピッチシフターです。

Parameter	Range	Description
PITCH 1	–24 to +24 semi-tones	チャンネル1の変化量(半音単位)です。
FINE 1	–50 to +50 cents	チャンネル1の微調整(1セント単位)です。
LEVEL 1	–100 to +100%	チャンネル1のレベルです。
PAN 1	L63 to R63	チャンネル1のパンです。
DELAY 1	0.0–1000.0 ms	チャンネル1のディレイタイムです。
FB. G 1	–99 to +99%	チャンネル1のフィードバックの量です。
PITCH 2	–24 to +24 semi-tones	チャンネル2の変化量(半音単位)です。
FINE 2	–50 to +50 cents	チャンネル2の微調整(1セント単位)です。
LEVEL 2	–100 to +100%	チャンネル2のレベルです。
PAN 2	L63 to R63	チャンネル2のパンです。
DELAY 2	0.0–1000.0 ms	チャンネル2のディレイタイムです。
FB. G 2	–99 to +99%	チャンネル2のフィードバックの量です。
MODE	1–10	ピッチチェンジの精度です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE 1	*1	TEMPOからチャンネル1のディレイを換算するための値です。
NOTE 2	*1	TEMPOからチャンネル2のディレイを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

ROTARY

1 IN/2 OUTのロータリースピーカーシミュレーターです。

Parameter	Range	Description
ROTATE	STOP, START	STOP:停止、START:回転
SPEED	SLOW, FAST	回転の速さの切り替えです。SLOW: SLOWパラメーターで設定した速度で回転します。FAST:FASTパラメーターで設定した速度で回転します。
SLOW	0.05–10.00 Hz	SPEED=SLOWのときの回転速度を設定します。
FAST	0.05–10.00 Hz	SPEED=FASTのときの回転速度を設定します。
DRIVE	0–100	ディストーションの深さです。
ACCEL	0–10	設定速度までに到達する速さが変化します。
LOW	0–100	低域成分のレベルです。
HIGH	0–100	高域成分のレベルです。

RING MOD.

2 IN/2 OUTのリングモジュレーターです。

Parameter	Range	Description
SOURCE	OSC, SELF	変調に使うソースを選択します。(OSC:発振器、SELF:入力自身で変調します。このときは以下のパラメーターはすべて無効になります)。
OSC FREQ	0.0–5000.0 Hz	リング変調に使う発振器の周波数です。
FM FREQ.	0.05–40.00 Hz	OSC FREQを変化させる周期を設定します。
FM DEPTH	0–100%	OSC FREQの変化幅を設定します。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE FM	*1	TEMPOからFM FREQを換算するための値です。

***1. 𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**

MOD. FILTER

2 IN/2 OUTのモジュレーションフィルターです。

Parameter	Range	Description
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
PHASE	0.00–354.38 degrees	LFOの左右の位相差です。
TYPE	LPF, HPF, BPF	フィルターのタイプです。(LPF:ローパスフィルター、HPF: ハイパスフィルター、BPF:バンドパスフィルター)
OFFSET	0–100	フィルターの周波数のオフセットです。
RESO.	0–20	フィルターのレゾナンスです。
LEVEL	0–100	出力レベルです。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1. 𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝**

DISTORTION

1 IN/2 OUTのディストーションエフェクトです。

Parameter	Range	Description
DST TYPE	DST1, DST2, OVD1, OVD2, CRUNCH	ディストーションのタイプを選択します。
DRIVE	0–100	ディストーションの深さです。
MASTER	0–100	マスターレベルのコントロールです。
TONE	–10 to +10	トーンコントロールです。
N. GATE	0–20	ノイズゲートの効きです。

AMP SIMULATE

1 IN/2 OUTのギターアンプシミュレーターです。

Parameter	Range	Description
AMP TYPE	*1	アンプのタイプを選択します。
DST TYPE	DST1, DST2, OVD1, OVD2, CRUNCH	ディストーションのタイプを選択します。
DRIVE	0–100	ディストーションの深さです。
MASTER	0–100	マスターレベルのコントロールです。
BASS	0–100	低域成分のトーンコントロールです。
MIDDLE	0–100	中域成分のトーンコントロールです。
TREBLE	0–100	高域成分のトーンコントロールです。
CAB DEP	0–100%	スピーカーシミュレーションの深さです。
EQ F	100–8.00 kHz	パラメトリックイコライザーの周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	パラメトリックイコライザーのゲインです。
EQ Q	10.0–0.10	パラメトリックイコライザーのバンド幅です。
N. GATE	0–20	ノイズゲートの効きです。

***1. STK-M1、STK-M2、THRASH、MIDBST、CMB-PG、CMB-VR、CMB-DX、CMB-TW、MINI、FLAT**

DYNA. FILTER

2 IN/2 OUTのダイナミックフィルターです。

Parameter	Range	Description
SOURCE	INPUT, MIDI	変調用の入力ソースを選びます。（INPUT：入力信号、MIDI：MIDIノートオンメッセージ）
SENSE	0–100	入力感度です。
DIR.	UP, DOWN	入力に応じてフィルターの周波数の動く方向です。
DECAY	*1	フィルターの周波数の動く速さです。
TYPE	LPF, HPF, BPF	フィルターのタイプです。（LPF：ローパスフィルター、HPF：ハイパスフィルター、BPF：バンドパスフィルター）
OFFSET	0–100	フィルターの周波数のオフセットです。
RESO.	0–20	フィルターのレゾナンスです。
LEVEL	0–100	出力レベルです。

***1. 6ms～46.0s(fs=44.1kHz)、5ms～42.3s(fs=48kHz)、3ms～23.0s (fs=88.2kHz)、3ms～21.1s (fs=96kHz)**

DYNA. FLANGE

2 IN/2 OUTのダイナミックフランジャーです。

Parameter	Range	Description
SOURCE	INPUT, MIDI	変調用の入力ソースを選びます。（INPUT：入力信号、MIDI：MIDIノートオンメッセージ）
SENSE	0–100	入力感度です。
DIR.	UP, DOWN	入力に応じて共鳴周波数の動く方向です。
DECAY	*1	共鳴周波数の動く速さです。
OFFSET	0–100	ディレイタイムのオフセット量です。
FB.GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルターの周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターのゲイン量です。
EQ F	100 Hz–8.00 kHz	EQ（ピーキングタイプ）の周波数です。
EQ G	–12.0 to +12.0 dB	EQ（ピーキングタイプ）のゲイン量です。
EQ Q	10.0–0.10	EQ（ピーキングタイプ）の周波数幅です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルターの周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターのゲイン量です。

***1. 6ms～46.0s(fs=44.1kHz)、5ms～42.3s(fs=48kHz)、3ms～23.0s (fs=88.2kHz)、3ms～21.1s (fs=96kHz)**

DYNA. PHASER

2 IN/2 OUTのダイナミックフェーザーです。

Parameter	Range	Description
SOURCE	INPUT, MIDI	変調用の入力ソースを選びます。（INPUT：入力信号、MIDI：MIDIノートオンメッセージ）
SENSE	0–100	入力感度です。
DIR.	UP, DOWN	入力に応じてフェイズシフトの周波数の動く方向です。
DECAY	*1	フェイズシフトの周波数の動く速さです。
OFFSET	0–100	フェイズシフトのかかる周波数のオフセットです。
FB.GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
STAGE	2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16	フェイズシフトの段数です。
LSH F	21.2 Hz–8.00 kHz	ローシェルビングフィルターの周波数です。
LSH G	–12.0 to +12.0 dB	ローシェルビングフィルターのゲイン量です。
HSH F	50.0 Hz–16.0 kHz	ハイシェルビングフィルターの周波数です。
HSH G	–12.0 to +12.0 dB	ハイシェルビングフィルターのゲイン量です。

***1. 6ms～46.0s(fs=44.1kHz)、5ms～42.3s(fs=48kHz)、3ms～23.0s (fs=88.2kHz)、3ms～21.1s (fs=96kHz)**

REV+CHORUS

1 IN/2 OUTのパラレル接続されたリバーブ、コーラスエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV/CHO	0–100%	REVERBとCHORUSのバランスです。(0%:REVERBのみ、100%:CHORUSのみ)
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
AM DEPTH	0–100%	アンプリチュードモジュレーションの深さです。
PM DEPTH	0–100%	ピッチモジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン/オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

REV->CHORUS

1 IN/2 OUTのシリーズ接続されたリバーブ、コーラスエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV.BAL	0–100%	REVERBとCHORUSのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
AM DEPTH	0–100%	アンプリチュードモジュレーションの深さです。
PM DEPTH	0–100%	ピッチモジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン/オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

REV+FLANGE

1 IN/2 OUTのパラレル接続されたリバーブ、フランジャーエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン（ひろがり）です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV/FLG	0–100%	REVERBとFLANGEのバランスです。（0%：REVERBのみ、100%：FLANGEのみ）
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波）
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

REV->FLANGE

1 IN/2 OUTのシリーズ接続されたリバーブ、フランジャーエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン（ひろがり）です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV.BAL	0–100%	REVERBとFLANGEのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波）
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

REV+SYMPHO.

1 IN/2 OUTのパラレル接続されたリバーブ、シンフォニックエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン（ひろがり）です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV/SYM	0–100%	REVERBとSYMPHONICのバランスです。（0%：REVERB、100%：SYMPHONIC）
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波）
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

REV->SYMPHO.

1 IN/2 OUTのシリーズ接続されたリバーブ、シンフォニックエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン（ひろがり）です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV.BAL	0–100%	REVERBとSYMPHONICのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
MOD. DLY	0.0–500.0 ms	モジュレーションのディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。（Sine：正弦波、Tri：三角波）
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE	*1	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

REV->PAN

1 IN/2 OUTのパラレル接続されたリバーブ、オートパンエフェクトです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
REV.BAL	0–100%	REVERBとAUTO PANのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
DIR.	*1	パンニング効果の方向です。
WAVE	Sine, Tri, Square	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波、Square:矩形波)
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン/オフです。
NOTE	*2	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1. L<->R, L—>R, L<—R, Turn L, Turn R**

***2.** 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

DELAY+ER.

1 IN/2 OUTのパラレル接続されたディレイ、アーリーリフレクションエフェクトです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–1000.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–1000.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB. DLY	0.0–1000.0 ms	フィードバックのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
DLY/ER	0–100%	DELAYとERのバランスです。(0%:DELAYのみ、100%:ERのみ)
TYPE	S-Hall, L-Hall, Random, Revers, Plate, Spring	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1–20.0	部屋の大きさ、つまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0–10	反射音の減衰のしかたを表わします。(0:dead、10:live)
INI. DLY	0.0–500.0 ms	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	反射音の密度です。
ER NUM.	1–19	反射音の本数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン/オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。
NOTE FB	*1	TEMPOからFB.DLYを換算するための値です。

***1.** —— 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

DELAY->ER.

1 IN/2 OUTのシリーズ接続されたディレイ、アーリーリフレクションエフェクトです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–1000.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–1000.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB. DLY	0.0–1000.0 ms	フィードバックのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
DLY.BAL	0–100%	DELAYとERのかかったDELAYのバランスです。100%でDELAYのみになります。
TYPE	S-Hall, L-Hall, Random, Revers, Plate, Spring	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1–20.0	部屋の大きさ、つまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0–10	反射音の減衰のしかたを表わします。(0:dead、10:live)
INI. DLY	0.0–500.0 ms	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	反射音の密度です。
ER NUM.	1–19	反射音の本数です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン/オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。
NOTE FB	*1	TEMPOからFB.DLYを換算するための値です。

***1.** —— 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

DELAY+REV

1 IN/2 OUTのパラレル接続されたディレイ／リバーブエフェクトです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–1000.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–1000.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB. DLY	0.0–1000.0 ms	フィードバックのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
DELAY HI	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
DLY/REV	0–100%	DELAYとREVERBのバランスです。(0%:DELAYのみ、100%: REVERBのみ)
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
REV HI	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。
NOTE FB	*1	TEMPOからFB.DLYを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

DELAY->REV

1 IN/2 OUTのシリーズ接続されたディレイ／リバーブエフェクトです。

Parameter	Range	Description
DELAY L	0.0–1000.0 ms	Lチャンネルのディレイタイムです。
DELAY R	0.0–1000.0 ms	Rチャンネルのディレイタイムです。
FB. DLY	0.0–1000.0 ms	フィードバックのディレイタイムです。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
DELAY HI	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。
DLY.BAL	0–100%	DELAYとREVERBのかかったDELAYバランスです。100%でDELAYのみになります。
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
INI. DLY	0.0–500.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
REV HI	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	ディフュージョン(ひろがり)です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
NOTE L	*1	TEMPOからDELAY Lを換算するための値です。
NOTE R	*1	TEMPOからDELAY Rを換算するための値です。
NOTE FB	*1	TEMPOからFB.DLYを換算するための値です。

***1. ― 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯³ 𝅘𝅥𝅯. 𝅘𝅥 𝅘𝅥. 𝅘𝅥𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝**
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

DIST->DELAY

1 IN/2 OUTのシリーズ接続されたディストーション／ディレイエフェクトです。

Parameter	Range	Description
DST TYPE	DST1, DST2, OVD1, OVD2, CRUNCH	ディストーションのタイプを選択します。
DRIVE	0–100	ディストーションの深さです。
MASTER	0–100	マスターレベルのコントロールです。
TONE	–10 to +10	トーンコントロールです。
N. GATE	0–20	ノイズゲートの効きです。
DELAY	0.0–2725.0 ms	ディレイの量です。
FB. GAIN	–99 to +99%	フィードバックの量です。
HI. RATIO	0.1–1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FREQ.	0.05–40.00 Hz	モジュレーションのスピードです。
DEPTH	0–100%	モジュレーションの深さです。
DLY.BAL	0–100%	ディレイの量です。
SYNC	OFF, ON	テンポパラメーター同期のオン／オフです。
DLY.NOTE	*1	TEMPOからDELAYを換算するための値です。
MOD.NOTE	*2	TEMPOからFREQ.を換算するための値です。

***1.** 𝅝 𝅗𝅥𝅗𝅥. 𝅗𝅥𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅘𝅥𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅘𝅥𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝
ただし最大値はTEMPOの設定によります。

***2.** 𝅗𝅥𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅘𝅥𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥𝅘𝅥𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅘𝅥 𝅗𝅥. 𝅗𝅥 𝅗𝅥. 𝅝 𝅝𝅝

MULTI FILTER

2 IN/2 OUTの3バンドマルチフィルター(24dB/oct.)です。

Parameter	Range	Description
TYPE 1	HPF, LPF, BPF	フィルター1のタイプを設定します。
TYPE 2	HPF, LPF, BPF	フィルター2のタイプを設定します。
TYPE 3	HPF, LPF, BPF	フィルター3のタイプを設定します。
FREQ. 1	28.0 Hz–16.0 kHz	フィルター1の周波数を設定します。
FREQ. 2	28.0 Hz–16.0 kHz	フィルター2の周波数を設定します。
FREQ. 3	28.0 Hz–16.0 kHz	フィルター3の周波数を設定します。
LEVEL 1	0–100	フィルター1のレベルを設定します。
LEVEL 2	0–100	フィルター2のレベルを設定します。
LEVEL 3	0–100	フィルター3のレベルを設定します。
RESO. 1	0–20	フィルター1のレゾナンスを設定します。
RESO. 2	0–20	フィルター2のレゾナンスを設定します。
RESO. 3	0–20	フィルター3のレゾナンスを設定します。

FREEZE

1 IN/1 OUTのベーシックサンプラーです。内蔵エフェクト1と2でのみ使用可能です。

Parameter	Range	Description
REC MODE	MANUAL, INPUT	録音のモードを設定します。MANUALでは[REC]、[PLAY]ボタンで録音を始めます。INPUTでは[REC]ボタンで録音待機、入力信号をトリガーに録音を開始します。
REC DLY	–1000 to +1000 ms	トリガーのかかる時間と録音が開始される時間差を設定します。＋値ではトリガーを受けたあとに録音が始まり、－値ではトリガーを受ける前に録音が始ります。
TRG LVL	–60 to 0 dB	入力トリガーのレベルを設定します。
TRG MASK	0–1000 ms	次のトリガーが受けられるまでにかかる時間を設定します。
PLY MODE	MOMENT, CONTI., INPUT	再生のモードを設定します。MOMENTは[PLAY]ボタンを押している間再生、CONTでは[PLAY]ボタンを押すと、LOOP NUMパラメーターで設定した回数だけ繰り返し再生、INPUTではその動作を入力信号でスタートさせます。
START	*1	再生を開始するポイントをms単位で設定します。
END	*1	再生を終了するポイントをms単位で設定します。
LOOP	*1	ループポイントをms単位で設定します。
LOOP NUM	0–100	ループする回数を設定します。
START [SAMPLE]	*2	再生を開始するポイントをsample単位で設定します。
END [SAMPLE]	*2	再生を終了するポイントをsample単位で設定します。
LOOP [SAMPLE]	*2	ループポイントをsample単位で設定します。
PITCH	–12 to +12 semi-tones	再生ピッチの変化量を半音単位で設定します。
FINE	–50 to +50 cents	再生ピッチの微調整を１セント単位で設定します。
MIDI TRG	OFF, C1–C6, ALL	MIDIノートオンメッセージで[PLAY]ボタンがトリガーされます。

***1. 0.0～2970.5ms(fs=44.1kHz)、0.0～2729.2ms(fs=48kHz)、0.0～2970.5ms(fs=88.2kHz)、0.0～2729.2ms (fs=96kHz)**

***2. 0～131000(fs=44.1kHz、48kHz)、0～262000(fs=88.2kHz、96kHz)**

ST REVERB

2 IN/2 OUTのステレオリバーブです。

Parameter	Range	Description
REV TIME	0.3–99.0 s	リバーブの残響の長さです。
REV TYPE	Hall, Room, Stage, Plate	リバーブのタイプです。
INI. DLY	0.0–100.0 ms	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI. RATIO	0.1–1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
LO. RATIO	0.1–2.4	リバーブの低域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0–10	リバーブのディフュージョン（ひろがり）です。
DENSITY	0–100%	リバーブの密度です。
E/R BAL.	0–100%	初期反射音とリバーブの音量バランスです。（0%：REVERBのみ、100%：ERのみ）
HPF	THRU, 21.2 Hz–8.00 kHz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50.0 Hz–16.0 kHz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

M.BAND DYNA.

2 IN/2 OUTの3バンドダイナミックプロセッサーです。各帯域にソロとゲインリダクションメーターが付いています。

Parameter	Range	Description
LOW GAIN	–96.0 to +12.0 dB	低域のレベルです。
MID GAIN	–96.0 to +12.0 dB	中域のレベルです。
HI. GAIN	–96.0 to +12.0 dB	高域のレベルです。
PRESENCE	–10 to +10	＋値では高域のスレッショルドは低くなり、低域のスレッショルドは高くなります。－値では反対になります。0に設定時は高中低域とも同じ影響を受けます。
CMP. THRE	–24.0 to 0.0 dB	コンプレッサーのスレッショルドです。
CMP. RAT	1:1 to 20:1	コンプレッサーの比率です。
CMP. ATK	0–120 ms	コンプレッサーのアタックタイムです。
CMP. REL	*1	コンプレッサーのリリースタイムです。
CMP. KNEE	0–5	コンプレッサーのニーです。
LOOKUP	0.0–100.0 ms	ルックアップディレイです。
CMP. BYP	OFF, ON	コンプレッサーをバイパスします。
L–M XOVR	21.2 Hz–8.00 kHz	ロー／ミッドのクロスオーバー周波数です。
M–H XOVR	21.2 Hz–8.00 kHz	ミッド／ハイのクロスオーバー周波数です。
SLOPE	–6 to –12 dB	フィルタースロープです。
CEILING	–6.0 to 0.0 dB, OFF	設定レベル以上の出力が出ないよう制限します。
EXP. THRE	–54.0 to –24.0 dB	エクスパンダーのスレッショルドです。
EXP. RAT	1:1 to ∞:1	エクスパンダーの比率です。
EXP. REL	*1	エクスパンダーのリリースタイムです。
EXP. BYP	OFF, ON	エクスパンダーをバイパスします。
LIM. THRE	–12.0 to 0.0 dB	リミッターのスレッショルドです。
LIM. ATK	0–120 ms	リミッターのアタックタイムです。
LIM. REL	*1	リミッターのリリースタイムです。
LIM. BYP	OFF, ON	リミッターをバイパスします。
LIM. KNEE	0–5	リミッターのニーです。
SOLO LOW	OFF, ON	ONにすると、低域だけを出力します。
SOLO MID	OFF, ON	ONにすると、中域だけを出力します。
SOLO HIGH	OFF, ON	ONにすると、高域だけを出力します。

***1. 6ms～46.0s(fs=44.1kHz)、5ms～42.3s(fs=48kHz)、3ms～23.0s (fs=88.2kHz)、3ms～21.1s (fs=96kHz)**

その他のプリセットエフェクト（COMP276、COMP276S、COMP260、COMP260S、EQUALIZER601、OPENDECK、REV-X HALL、REV-X ROOM、REV-X PLATE）は別売のAdd-On Effectsです。各エフェクトについての詳細は、Add-On Effectsパッケージに付属の取扱説明書をご参照ください。

エフェクトとテンポの同期

01V96の一部のエフェクトでは、効果をテンポに同期させることができます。同期させることができるのは、ディレイ系、変調系の2種類のエフェクトです。ディレイ系のエフェクトでは、テンポに合わせてディレイタイムが変化します。変調系のエフェクトでは、テンポに合わせて変調信号の周波数が変化します。

- **テンポ同期に関するパラメーター**
  テンポ同期には、次の5つのパラメーターが関係します。
  1) SYNC 2) NOTE 3) TEMPO 4) DELAY 5) FREQ.
  SYNC:.....テンポ同期ON/OFFのスイッチです。
  NOTEとTEMPO: .....テンポ同期の基準になるパラメーターです。
  DELAYとFREQ.: .....DELAYはディレイタイムを表す値、FREQ.は変調信号の周波数を表す値です。エフェクト音の変化に直接影響を与えます。DELAYはディレイ系エフェクトのときだけ、FREQ.は変調系エフェクトのときだけ関係します。

- **各パラメーターの関係**
  テンポ同期は、TEMPOとNOTEからテンポの基準になる値を算出し、テンポの基準値とDELAY (またはFREQ.)がほぼ同じ値を保つように動作します。このためTEMPO、NOTE、DELAY (またはFREQ.)が同期している状態でどれかの値を変更すると、パラメーター間の関係を保つために別のパラメーターが再設定されます。再設定されるパラメーターとその計算方法*aは次のとおりです。

  SYNCをONにする → NOTEが設定される

  DELAY (またはFREQ.)を変更する → NOTEが設定される

  このとき、NOTEの値は次の式で計算されます。

  NOTE = DELAY (またはFREQ.) / (4 x (60/TEMPO))

  NOTEを変更する → DELAY (またはFREQ.)が設定される

  このとき、DELAY (またはFREQ.)の値は次の式で計算されます。

  DELAY (またはFREQ.) = NOTE x 4 x (60/TEMPO)

  TEMPOを変更する → DELAY (またはFREQ.)が設定される

  このとき、DELAY (またはFREQ.)の値は次の式で計算されます。

  DELAY (またはFREQ.) = 元のDELAY (またはFREQ.) x (変更前のTEMPO/変更後のTEMPO)

  例1：SYNC=ON、DELAY=250 ms、TEMPO=120で、NOTEを8分音符から4分音符に変更した場合

  DELAY = 変更後のNOTE x 4 x (60/TEMPO)
  = (1/4) x 4 x (60/120)
  = 0.5 (sec)
  = 500 ms

  となり、DELAYは250 msから500 msに変化します。

  例2：SYNC=ON、DELAY=250 ms、NOTE=8分音符で、TEMPOを120から121に変更した場合

  DELAY = 元のDELAY x (変更前のTEMPO/変更後のTEMPO)
  = 250 x (120/121)
  = 247.9 (ms)

  となり、TEMPOは250 msから247.9 msに変化します。

  *a 計算結果には近似値が適用されます。

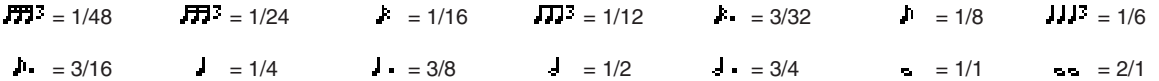
- **NOTEとTEMPOの値の範囲**
  NOTEとTEMPOの値の範囲は、DELAYまたはFREQ.の値の範囲によって制限されます。テンポ同期したときにDELAYやFREQ.の最大値を超えてしまうようなNOTEやTEMPOの値は設定できません。この制限はSYNCがOFFのときにも有効です。

- **TEMPOパラメーターの特徴**
  TEMPOパラメーターは他のパラメーターと違って、以下のような特徴があります。
  • すべてのエフェクトで共通の値
  • エフェクトライブラリーにはストア／リコールされない(シーンにはストア／リコールできます)
  このため、エフェクトストア時とリコール時のTEMPOの値が異なる場合があります。たとえば次のような場合です。

  エフェクトをストア：TEMPO=120 → TEMPOを60に変更：TEMPO=60 → エフェクトをリコール：TEMPO=60

  通常TEMPOを変更すると、それに伴ってDELAY (またはFREQ.)が再設定されます。しかしここでDELAY (またはFREQ.)を変更すると、エフェクトのストア時とリコール時で聴こえ方が変わってしまいます。ストア時とリコール時でエフェクトが変わってしまわないようにするため、エフェクトのリコール時にストア時とTEMPOが変わってしまっていても、DELAY (またはFREQ.)の値は更新しません。

  ＊NOTEは以下の値で計算されます。



プリセットEQパラメーター

#	Title		Parameter			
			LOW	L-MID	H-MID	HIGH
01	Bass Drum 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+3.5 dB	–3.5 dB	0.0 dB	+4.0 dB
		F	100 Hz	265 Hz	1.06 kHz	5.30 kHz
		Q	1.2	10	0.9	—
02	Bass Drum 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	LPF
		G	+8.0 dB	–7.0 dB	+6.0 dB	ON
		F	80 Hz	400 Hz	2.50 kHz	12.5 kHz
		Q	1.4	4.5	2.2	—
03	Snare Drum 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–0.5 dB	0.0 dB	+3.0 dB	+4.5 dB
		F	132 Hz	1.00 kHz	3.15 kHz	5.00 kHz
		Q	1.2	4.5	0.11	—
04	Snare Drum 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	+1.5 dB	–8.5 dB	+2.5 dB	+4.0 dB
		F	180 Hz	335 Hz	2.36 kHz	4.00 kHz
		Q	—	10	0.7	0.1
05	Tom-tom 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	+2.0 dB	–7.5 dB	+2.0 dB	+1.0 dB
		F	212 Hz	670 Hz	4.50 kHz	6.30 kHz
		Q	1.4	10	1.2	0.28
06	Cymbal		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–2.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	+3.0 dB
		F	106 Hz	425 Hz	1.06 kHz	13.2 kHz
		Q	—	8	0.9	—
07	High Hat		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–4.0 dB	–2.5 dB	+1.0 dB	+0.5 dB
		F	95 Hz	425 Hz	2.80 kHz	7.50 kHz
		Q	—	0.5	1	—
08	Percussion		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–4.5 dB	0.0 dB	+2.0 dB	0.0 dB
		F	100 Hz	400 Hz	2.80 kHz	17.0 kHz
		Q	—	4.5	0.56	—
09	E. Bass 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–7.5 dB	+4.5 dB	+2.5 dB	0.0 dB
		F	35.5 Hz	112 Hz	2.00 kHz	4.00 kHz
		Q	—	5	4.5	—
10	E. Bass 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+3.0 dB	0.0 dB	+2.5 dB	+0.5 dB
		F	112 Hz	112 Hz	2.24 kHz	4.00 kHz
		Q	0.1	5	6.3	—
11	Syn. Bass 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+3.5 dB	+8.5 dB	0.0 dB	0.0 dB
		F	85 Hz	950 Hz	4.00 kHz	12.5 kHz
		Q	0.1	8	4.5	—
12	Syn. Bass 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+2.5 dB	0.0 dB	+1.5 dB	0.0 dB
		F	125 Hz	180 Hz	1.12 kHz	12.5 kHz
		Q	1.6	8	2.2	—

#	Title		Parameter			
			LOW	L-MID	H-MID	HIGH
13	Piano 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–6.0 dB	0.0 dB	+2.0 dB	+4.0 dB
		F	95 Hz	950 Hz	3.15 kHz	7.50 kHz
		Q	—	8	0.9	—
14	Piano 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+3.5 dB	–8.5 dB	+1.5 dB	+3.0 dB
		F	224 Hz	600 Hz	3.15 kHz	5.30 kHz
		Q	5.6	10	0.7	—
15	E. G. Clean		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+2.0 dB	–5.5 dB	+0.5 dB	+2.5 dB
		F	265 Hz	400 Hz	1.32 kHz	4.50 kHz
		Q	0.18	10	6.3	—
16	E. G. Crunch 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	+4.5 dB	0.0 dB	+4.0 dB	+2.0 dB
		F	140 Hz	1.00 kHz	1.90 kHz	5.60 kHz
		Q	8	4.5	0.63	9
17	E. G. Crunch 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+2.5 dB	+1.5 dB	+2.5 dB	0.0 dB
		F	125 Hz	450 Hz	3.35 kHz	19.0 kHz
		Q	8	0.4	0.16	—
18	E. G. Dist. 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+5.0 dB	0.0 dB	+3.5 dB	0.0 dB
		F	355 Hz	950 Hz	3.35 kHz	12.5 kHz
		Q	—	9	10	—
19	E. G. Dist. 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+6.0 dB	–8.5 dB	+4.5 dB	+4.0 dB
		F	315 Hz	1.06 kHz	4.25 kHz	12.5 kHz
		Q	—	10	4	—
20	A. G. Stroke 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–2.0 dB	0.0 dB	+1.0 dB	+4.0 dB
		F	106 Hz	1.00 kHz	1.90 kHz	5.30 kHz
		Q	0.9	4.5	3.5	—
21	A. G. Stroke 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–3.5 dB	–2.0 dB	0.0 dB	+2.0 dB
		F	300 Hz	750 Hz	2.00 kHz	3.55 kHz
		Q	—	9	4.5	—
22	A. G. Arpeg. 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	–0.5 dB	0.0 dB	0.0 dB	+2.0 dB
		F	224 Hz	1.00 kHz	4.00 kHz	6.70 kHz
		Q	—	4.5	4.5	0.12
23	A. G. Arpeg. 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	0.0 dB	–5.5 dB	0.0 dB	+4.0 dB
		F	180 Hz	355 Hz	4.00 kHz	4.25 kHz
		Q	—	7	4.5	—
24	Brass Sec.		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	–2.0 dB	–1.0 dB	+1.5 dB	+3.0 dB
		F	90 Hz	850 Hz	2.12 kHz	4.50 kHz
		Q	2.8	2	0.7	7

#	Title	Parameter				
			LOW	L-MID	H-MID	HIGH
25	Male Vocal 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	–0.5 dB	0.0 dB	+2.0 dB	+3.5 dB
		F	190 Hz	1.00 kHz	2.00 kHz	6.70 kHz
		Q	0.11	4.5	0.56	0.11
26	Male Vocal 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+2.0 dB	–5.0 dB	–2.5 dB	+4.0 dB
		F	170 Hz	236 Hz	2.65 kHz	6.70 kHz
		Q	0.11	10	5.6	—
27	Female Vo. 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	–1.0 dB	+1.0 dB	+1.5 dB	+2.0 dB
		F	118 Hz	400 Hz	2.65 kHz	6.00 kHz
		Q	0.18	0.45	0.56	0.14
28	Female Vo. 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–7.0 dB	+1.5 dB	+1.5 dB	+2.5 dB
		F	112 Hz	335 Hz	2.00 kHz	6.70 kHz
		Q	—	0.16	0.2	—
29	Chorus & Harmo		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	–2.0 dB	–1.0 dB	+1.5 dB	+3.0 dB
		F	90 Hz	850 Hz	2.12 kHz	4.50 kHz
		Q	2.8	2	0.7	7
30	Total EQ 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–0.5 dB	0.0 dB	+3.0 dB	+6.5 dB
		F	95 Hz	950 Hz	2.12 kHz	16.0 kHz
		Q	7	2.2	5.6	—
31	Total EQ 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+4.0 dB	+1.5 dB	+2.0 dB	+6.0 dB
		F	95 Hz	750 Hz	1.80 kHz	18.0 kHz
		Q	7	2.8	5.6	—
32	Total EQ 3		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+1.5 dB	+0.5 dB	+2.0 dB	+4.0 dB
		F	67 Hz	850 Hz	1.90 kHz	15.0 kHz
		Q	—	0.28	0.7	—
33	Bass Drum 3		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	+3.5 dB	–10.0 dB	+3.5 dB	0.0 dB
		F	118 Hz	315 Hz	4.25 kHz	20.0 kHz
		Q	2	10	0.4	0.4
34	Snare Drum 3		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	0.0 dB	+2.0 dB	+3.5 dB	0.0 dB
		F	224 Hz	560 Hz	4.25 kHz	4.00 kHz
		Q	—	4.5	2.8	0.1
35	Tom-tom 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–9.0 dB	+1.5 dB	+2.0 dB	0.0 dB
		F	90 Hz	212 Hz	5.30 kHz	17.0 kHz
		Q	—	4.5	1.2	—
36	Piano 3		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	+4.5 dB	–13.0 dB	+4.5 dB	+2.5 dB
		F	100 Hz	475 Hz	2.36 kHz	10.0 kHz
		Q	8	10	9	—
37	Piano Low		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–5.5 dB	+1.5 dB	+6.0 dB	0.0 dB
		F	190 Hz	400 Hz	6.70 kHz	12.5 kHz
		Q	10	6.3	2.2	—
38	Piano High		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING
		G	–5.5 dB	+1.5 dB	+5.0 dB	+3.0 dB
		F	190 Hz	400 Hz	6.70 kHz	5.60 kHz
		Q	10	6.3	2.2	0.1
39	Fine-EQ Cass		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–1.5 dB	0.0 dB	+1.0 dB	+3.0 dB
		F	75 Hz	1.00 kHz	4.00 kHz	12.5 kHz
		Q	—	4.5	1.8	—
40	Narrator		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF
		G	–4.0 dB	–1.0 dB	+2.0 dB	0.0 dB
		F	106 Hz	710 Hz	2.50 kHz	10.0 kHz
		Q	4	7	0.63	—

プリセットGATEパラメーター

(fs=44.1kHz)

#	Title	Type	Parameter	Value
1	Gate	GATE	Threshold (dB)	–26
			Range (dB)	–56
			Attack (ms)	0
			Hold (ms)	2.56
			Decay (ms)	331
2	Ducking	DUCKING	Threshold (dB)	–19
			Range (dB)	–22
			Attack (ms)	93
			Hold (ms)	1.20 S
			Decay (ms)	6.32 S
3	A. Dr. BD	GATE	Threshold (dB)	–11
			Range (dB)	–53
			Attack (ms)	0
			Hold (ms)	1.93
			Decay (ms)	400
4	A. Dr. SN	GATE	Threshold (dB)	–8
			Range (dB)	–23
			Attack (ms)	1
			Hold (ms)	0.63
			Decay (ms)	238

プリセットコンプレッサーパラメーター(fs=44.1kHz)

#	Title	Type	Parameter	Value
1	Comp	COMP	Threshold (dB)	–8
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	60
			Out gain (dB)	0.0
			Knee	2
			Release (ms)	250
2	Expand	EXPAND	Threshold (dB)	–23
			Ratio (:1)	1.7
			Attack (ms)	1
			Out gain (dB)	3.5
			Knee	2
			Release (ms)	70
3	Compander (H)	COMPAND-H	Threshold (dB)	–10
			Ratio (:1)	3.5
			Attack (ms)	1
			Out gain (dB)	0.0
			Width (dB)	6
			Release (ms)	250
4	Compander (S)	COMPAND-S	Threshold (dB)	–8
			Ratio (:1)	4
			Attack (ms)	25
			Out gain (dB)	0.0
			Width (dB)	24
			Release (ms)	180
5	A. Dr. BD	COMP	Threshold (dB)	–24
			Ratio (:1)	3
			Attack (ms)	9
			Out gain (dB)	5.5
			Knee	2
			Release (ms)	58
6	A. Dr. BD	COMPAND-H	Threshold (dB)	–11
			Ratio (:1)	3.5
			Attack (ms)	1
			Out gain (dB)	–1.5
			Width (dB)	7
			Release (ms)	192
7	A. Dr. SN	COMP	Threshold (dB)	–17
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	8
			Out gain (dB)	3.5
			Knee	2
			Release (ms)	12
8	A. Dr. SN	EXPAND	Threshold (dB)	–23
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	0
			Out gain (dB)	0.5
			Knee	2
			Release (ms)	151
9	A. Dr. SN	COMPAND-S	Threshold (dB)	–8
			Ratio (:1)	1.7
			Attack (ms)	11
			Out gain (dB)	0.0
			Width (dB)	10
			Release (ms)	128
10	A. Dr. Tom	EXPAND	Threshold (dB)	–20
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	2
			Out gain (dB)	5.0
			Knee	2
			Release (ms)	749

#	Title	Type	Parameter	Value
11	A. Dr. OverTop	COMPAND-S	Threshold (dB)	–24
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	38
			Out gain (dB)	–3.5
			Width (dB)	54
			Release (ms)	842
12	E. B. Finger	COMP	Threshold (dB)	–12
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	15
			Out gain (dB)	4.5
			Knee	2
			Release (ms)	470
13	E. B. Slap	COMP	Threshold (dB)	–12
			Ratio (:1)	1.7
			Attack (ms)	6
			Out gain (dB)	4.0
			Knee	hard
			Release (ms)	133
14	Syn. Bass	COMP	Threshold (dB)	–10
			Ratio (:1)	3.5
			Attack (ms)	9
			Out gain (dB)	3.0
			Knee	hard
			Release (ms)	250
15	Piano1	COMP	Threshold (dB)	–9
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	17
			Out gain (dB)	1.0
			Knee	hard
			Release (ms)	238
16	Piano2	COMP	Threshold (dB)	–18
			Ratio (:1)	3.5
			Attack (ms)	7
			Out gain (dB)	6.0
			Knee	2
			Release (ms)	174
17	E. Guitar	COMP	Threshold (dB)	–8
			Ratio (:1)	3.5
			Attack (ms)	7
			Out gain (dB)	2.5
			Knee	4
			Release (ms)	261
18	A. Guitar	COMP	Threshold (dB)	–10
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	5
			Out gain (dB)	1.5
			Knee	2
			Release (ms)	238
19	Strings1	COMP	Threshold (dB)	–11
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	33
			Out gain (dB)	1.5
			Knee	2
			Release (ms)	749
20	Strings2	COMP	Threshold (dB)	–12
			Ratio (:1)	1.5
			Attack (ms)	93
			Out gain (dB)	1.5
			Knee	4
			Release (ms)	1.35 S

#	Title	Type	Parameter	Value
21	Strings3	COMP	Threshold (dB)	–17
			Ratio (:1)	1.5
			Attack (ms)	76
			Out gain (dB)	2.5
			Knee	2
			Release (ms)	186
22	BrassSection	COMP	Threshold (dB)	–18
			Ratio (:1)	1.7
			Attack (ms)	18
			Out gain (dB)	4.0
			Knee	1
			Release (ms)	226
23	Syn. Pad	COMP	Threshold (dB)	–13
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	58
			Out gain (dB)	2.0
			Knee	1
			Release (ms)	238
24	SamplingPerc	COMPAND-S	Threshold (dB)	–18
			Ratio (:1)	1.7
			Attack (ms)	8
			Out gain (dB)	–2.5
			Width (dB)	18
			Release (ms)	238
25	Sampling BD	COMP	Threshold (dB)	–14
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	2
			Out gain (dB)	3.5
			Knee	4
			Release (ms)	35
26	Sampling SN	COMP	Threshold (dB)	–18
			Ratio (:1)	4
			Attack (ms)	8
			Out gain (dB)	8.0
			Knee	hard
			Release (ms)	354
27	Hip Comp	COMPAND-S	Threshold (dB)	–23
			Ratio (:1)	20
			Attack (ms)	15
			Out gain (dB)	0.0
			Width (dB)	15
			Release (ms)	163
28	Solo Vocal1	COMP	Threshold (dB)	–20
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	31
			Out gain (dB)	2.0
			Knee	1
			Release (ms)	342
29	Solo Vocal2	COMP	Threshold (dB)	–8
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	26
			Out gain (dB)	1.5
			Knee	3
			Release (ms)	331
30	Chorus	COMP	Threshold (dB)	–9
			Ratio (:1)	1.7
			Attack (ms)	39
			Out gain (dB)	2.5
			Knee	2
			Release (ms)	226

#	Title	Type	Parameter	Value
31	Click Erase	EXPAND	Threshold (dB)	–33
			Ratio (:1)	2
			Attack (ms)	1
			Out gain (dB)	2.0
			Knee	2
			Release (ms)	284
32	Announcer	COMPAND-H	Threshold (dB)	–14
			Ratio (:1)	2.5
			Attack (ms)	1
			Out gain (dB)	–2.5
			Width (dB)	18
			Release (ms)	180
33	Limiter1	COMPAND-S	Threshold (dB)	–9
			Ratio (:1)	3
			Attack (ms)	20
			Out gain (dB)	–3.0
			Width (dB)	90
			Release (ms)	3.90 s
34	Limiter2	COMP	Threshold (dB)	0
			Ratio (:1)	∞
			Attack (ms)	0
			Out gain (dB)	0.0
			Knee	hard
			Release (ms)	319
35	Total Comp1	COMP	Threshold (dB)	–18
			Ratio (:1)	3.5
			Attack (ms)	94
			Out gain (dB)	2.5
			Knee	hard
			Release (ms)	447
36	Total Comp2	COMP	Threshold (dB)	–16
			Ratio (:1)	6
			Attack (ms)	11
			Out gain (dB)	6.0
			Knee	1
			Release (ms)	180

ダイナミクスパラメーター

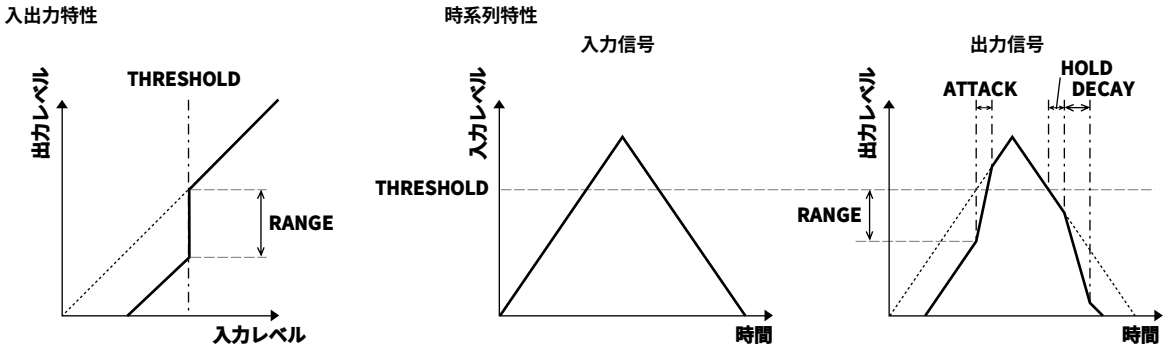
各チャンネルモジュールのダイナミクスには、GATEセクション（インプットチャンネルのみ）とCOMPセクションがあり、GATEセクションにはゲート（GATE）、ダッキング（DUCKING）の2つのタイプ、COMPセクションにはコンプレッサー（COMP）、エキスパンダー（EXPAND）、コンパンダーハード（COMP.(H)）、コンパンダーソフト（COMP.(S)）の4つのタイプがあります。

GATEセクション（インプットチャンネルのみ）

ゲート（GATE）

スレッショルドレベル（THRESHOLD）より小さい信号が入力された場合、出力を一定の値（RANGE）で小さくします。

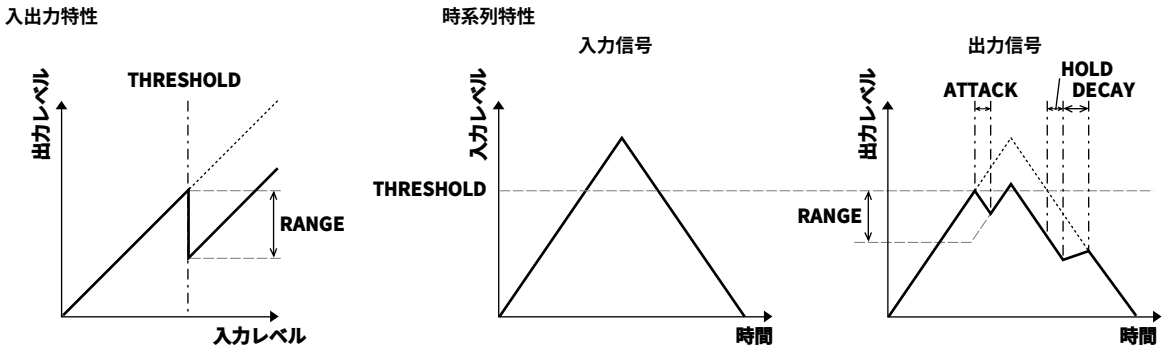
パラメーター	設定範囲	説明
THRESHOLD (dB)	–54.0 to 0.0 (541 points)	ゲートの効果がかかる境界のレベルです。
RANGE (dB)	–70 to 0 (71 points)	ゲートの効果がかかっているときの減衰量です。
ATTACK (ms)	0–120 (121 points)	入力信号がTHRESHOLDを超えてから、ゲートが開くまでの時間です。
HOLD (ms)	44.1kHz: 0.02 ms – 2.13 sec 48kHz: 0.02 ms – 1.96 sec 88.2kHz: 0.01 ms – 1.06 sec 96kHz: 0.01 ms – 981 ms (160 points)	入力信号がTHRESHOLDを下回った後にゲートが閉じ始めるまでの待ち時間です。
DECAY (ms)	44.1kHz: 6 ms – 46.0 sec 48kHz: 5 ms – 42.3 sec 88.2kHz: 3 ms – 23.0 sec 96kHz: 3 ms – 21.1 sec (160 points)	入力信号がHOLDの待ち時間を経たあと、ゲートが閉じるまでの時間です。設定値は、レベルが6dB変化するのに要する時間で表現されます。



ダッキング(DUCKING)

スレッショルドレベル(THRESHOLD)より大きい信号が入力された場合、出力を一定の値(RANGE)で小さくします。KEYINソースによって、BGMを小さくするようなときに使用すると効果的です。

パラメーター	設定範囲	説明
THRESHOLD (dB)	–54.0 to 0.0 (541 points)	ダッキングの効果がかかる境界のレベルです。
RANGE (dB)	–70 to 0 (71 points)	ダッキングの効果がかかっているときの減衰量です。
ATTACK (ms)	0–120 (121 points)	入力信号がTHRESHOLDを超えてから、RANGEで設定した減衰量に到達するまでの時間です。
HOLD (ms)	44.1kHz: 0.02 ms – 2.13 sec 48kHz: 0.02 ms – 1.96 sec 88.2kHz: 0.01 ms – 1.06 sec 96kHz: 0.01 ms – 981 ms (160 points)	入力信号がTHRESHOLDを下回った後に再び元のレベルに戻り始めるまでの待ち時間です。
DECAY (ms)	44.1kHz: 6 ms – 46.0 sec 48kHz: 5 ms – 42.3 sec 88.2kHz: 3 ms – 23.0 sec 96kHz: 3 ms – 21.1 sec (160 points)	入力信号がHOLDの待ち時間を経たあと、ダッキングの効果がなくなるまでの時間です。設定値は、レベルが6dB変化するのに要する時間で表現されます。



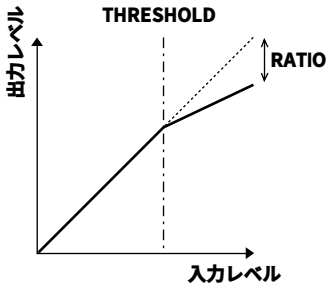
COMPセクション

コンプレッサー（COMP）

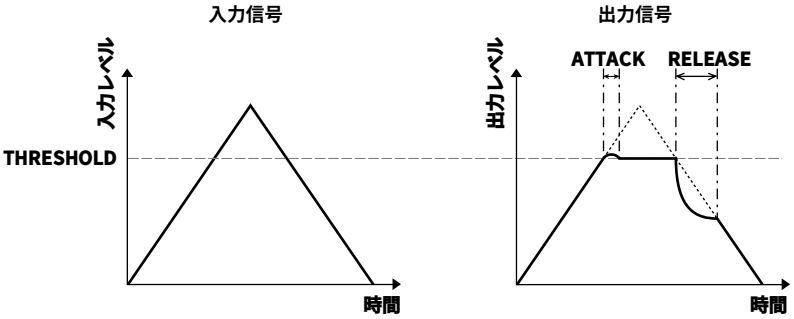
スレッショルドレベル（THRESHOLD）より大きい信号が入力された場合、一定の比率（RATIO）で出力レベルを小さくします。また、RATIOが∞:1のときはスレッショルドレベル以上の信号が出力されるのを防ぐので、リミッターとも呼ばれます。

パラメーター	設定範囲	説明
THRESHOLD (dB)	–54.0 to 0.0 (541 points)	コンプレッサーの効果がかかる境界のレベルです。
RATIO	1.0:1, 1.1:1, 1.3:1, 1.5:1, 1.7:1, 2.0:1, 2.5:1, 3.0:1, 3.5:1, 4.0:1, 5.0:1, 6.0:1, 8.0:1, 10:1, 20:1, ∞:1 (16 points)	コンプレッサーの効果の量を示します。
ATTACK (ms)	0–120 (121 points)	入力信号がTHRESHOLDを超えてから、コンプレッサーの効果が最大に達するまでの時間です。
RELEASE (ms)	44.1kHz: 6 ms – 46.0 sec 48kHz: 5 ms – 42.3 sec 88.2kHz: 3 ms – 23.0 sec 96kHz: 3 ms – 21.1 sec (160 points)	入力信号がTHESHOLD以下に下がった後、コンプレッサーの効果がなくなるまでの時間です。設定値は、レベルが6dB変化するのに要する時間で表現されます。
OUT GAIN (dB)	0.0 to +18.0 (180 points)	出力レベルを調整します。
KNEE	Hard, 1–5 (6 points)	スレッショルドレベルでの折れ曲がりの鋭さです。値が増えるほど緩やかになります。

入出力特性（KNEE＝hard、OUT GAIN＝0.0dB）



時系列特性（RATIO＝∞：1の場合）

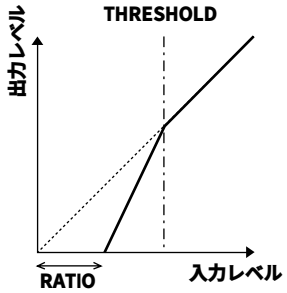


エキスパンダー（EXPAND）

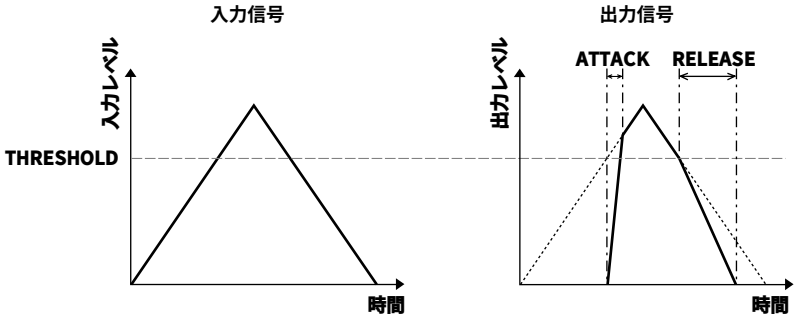
スレッショルドレベル（THRESHOLD）より小さい信号が入力された場合、一定の比率（RATIO）で出力レベルを小さくします。

パラメーター	設定範囲	説明
THRESHOLD (dB)	–54.0 to 0.0 (541 points)	エキスパンダーの効果がかかる境界のレベルです。
RATIO	1.0:1, 1.1:1, 1.3:1, 1.5:1, 1.7:1, 2.0:1, 2.5:1, 3.0:1, 3.5:1, 4.0:1, 5.0:1, 6.0:1, 8.0:1, 10:1, 20:1, ∞:1 (16 points)	エキスパンダーの効果の量を示します。
ATTACK (ms)	0–120 (121 points)	入力信号がTHRESHOLDを超えてから、エキスパンダーの効果がなくなるまでの時間です。
RELEASE (ms)	44.1kHz: 6 ms – 46.0 sec 48kHz: 5 ms – 42.3 sec 88.2kHz: 3 ms – 23.0 sec 96kHz: 3 ms – 21.1 sec (160 points)	入力信号がTHESHOLD以下に下がった後、エキスパンダーの効果が最大に達するまでの時間です。設定値は、レベルが6dB変化するのに要する時間で表現されます。
OUT GAIN (dB)	0.0 to +18.0 (180 points)	出力レベルを調整します。
KNEE	Hard, 1–5 (6 points)	スレッショルドレベルでの折れ曲がりの鋭さです。値が増えるほど緩やかになります。

入出力特性（KNEE＝hard、OUT GAIN＝0.0dB）

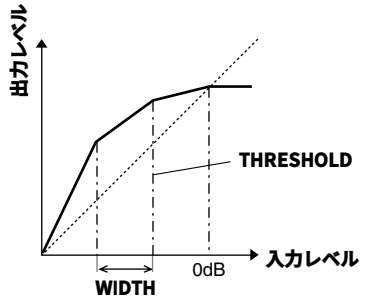


時系列特性（RATIO＝∞：1の場合）



コンパンダーハード(COMP.(H))
コンパンダーソフト(COMP.(S))

コンプレッサー、エキスパンダー、リミッターを組み合わせた動作をします。



以下の3つの境界レベルがあります。

① 0dB以上 ..... リミッターとして動作します。

② THRESHOLD以上 ..... コンプレッサーとして動作します。

③ THRESHOLD+WIDTH以下.... エキスパンダーとして動作します。

COMP.(H)ではエキスパンダーのRATIOが5:1、COMP.(S)ではエキスパンダーのRATIOが1.5:1に固定されています。WIDTHを最大に設定すると、エキスパンダーの効果がなくなります。また、コンプレッサーのKNEEは2に固定されています。

* RATIO、THRESHOLDの値に応じてゲインが自動的に調整され、最大18dB上がります。

* OUT GAINを調節して、自動的に上がったゲインを下げることもできます。

パラメーター	設定範囲	説明
THRESHOLD (dB)	–54.0 to 0.0 (541 points)	コンプレッサーの効果がかかる境界のレベルです。
RATIO	1.0:1, 1.1:1, 1.3:1, 1.5:1, 1.7:1, 2.0:1, 2.5:1, 3.0:1, 3.5:1, 4.0:1, 5.0:1, 6.0:1, 8.0:1, 10:1, 20:1, (15 points)	コンプレッサーの効果の量を示します。
ATTACK (ms)	0–120 (121 points)	入力信号が3つの各境界レベルを超えたとき、設定レベルに到達するまでの時間です。
RELEASE (ms)	44.1kHz: 6 ms – 46.0 sec 48kHz: 5 ms – 42.3 sec 88.2kHz: 3 ms – 23.0 sec 96kHz: 3 ms – 21.1 sec (160 points)	入力信号が3つの各境界レベルを下回ったとき、設定レベルに到達するまでの時間です。設定値は、レベルが6dB変化するのに要する時間で表現されます。
OUT GAIN (dB)	–18.0 to 0.0 (180 points)	出力レベルを調整します。
WIDTH (dB)	0–90 (91 points)	コンプレッサーの効果の境界レベル(THRESHOLD)と、エキスパンダーの効果の境界レベルの幅です。THRESHOLD+WIDTH以下のレベルにエキスパンダーの効果がかかります。

付録B： 仕様

一般仕様

Number of scene memories		99
Sampling Frequency	**Internal**	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz
	External	Normal rate: 44.1 kHz–10% to 48 kHz+6%
		Double rate: 88.2 kHz–10% to 96 kHz+6%
Signal Delay	**fs=48 kHz**	Less than 1.6 ms CH INPUT to STEREO OUT
	fs=96 kHz	Less than 0.8 ms CH INPUT to STEREO OUT
Fader		100 mm motorized × 17
Fader Resolution		+10 ~ –138, –∞ dB input faders
		0 ~ –138, –∞ dB master faders, stereo fader
Total Harmonic Distortion[*1] (CH INPUT to STEREO OUT) (Input Gain=Min.)	**fs=48 kHz**	Less than 0.05% 20 Hz ~ 20 kHz @ +14 dB into 600 Ω Less than 0.01% 1 kHz @ +24 dB into 600 Ω
	fs=96 kHz	Less than 0.05% 20 Hz ~ 40 kHz @ +14 dB into 600 Ω Less than 0.01% 1 kHz @ +24 dB into 600 Ω
Frequency Response (CH INPUT to STEREO OUT)	**fs=48 kHz**	20 Hz~20 kHz, 0.5, –1.5 dB @ +4 dB into 600 Ω
	fs=96 kHz	20 Hz~40 kHz, 0.5, –1.5 dB @ +4 dB into 600 Ω
Dynamic Range (maximum level to noise level)		110 dB typ. DA Converter (STEREO OUT)
		105 dB typ. AD+DA (to STEREO OUT) @ fs=48 kHz
		105 dB typ. AD+DA (to STEREO OUT) @ fs=96 kHz
Hum & Noise[*2] (20 Hz~20 kHz) Rs=150 Ω		–128 dB Equivalent Input Noise
		–86 dB residual output noise. STEREO OUT (STEREO OUT off)
	Input Gain=Max. Input Pad =0 dB	–86 dB (90 dB S/N) STEREO OUT (STEREO fader at nominal level and all CH INPUT faders at minimum level)
	Input Pad =0 dB Input Sensitivity =–60 dB	–64 dB (68 dB S/N) STEREO OUT (STEREO fader at nominal level and one CH INPUT fader at nominal level)
Maximum Voltage Gain		74 dB CH INPUT (CH1~12) to STEREO OUT/OMNI (BUS) OUT
		40 dB CH INPUT (CH13~16) to STEREO OUT
		74 dB CH INPUT (CH1~12) to OMNI (AUX) OUT (via pre input fader)
		74 dB CH INPUT (CH1~12) to MONITOR OUT (via STEREO BUS)
Crosstalk (@ 1 kHz) Input Gain=Min.		80 dB adjacent input channels (CH1~12)
		80 dB adjacent input channels (CH13~16)
		80 dB input to output
AD Input (1~12)	**Phantom switch**	+48 V DC (each 4ch)
	Pad switch	0/20 dB attenuation
	Gain control	44 dB (–60 ~ –16), detented
	Peak indicator	LED (red) turns on when post HA level reaches 3 dB below clipping at digital domain
	Signal indicator	LED (green) turns on when post HA level reaches 20 dB below nominal at digital domain
	AD converter	24-bit linear, 128-times oversampling (fs=44.1, 48 kHz), 64-times oversampling (fs=88.2, 96 kHz)
AD Input (13~16)	**Gain control**	30 dB (–26 ~ +4), detented
	Peak indicator	LED (red) turns on when post HA level reaches 3 dB below clipping at digital domain
	Signal indicator	LED (green) turns on when post HA level reaches 20 dB below nominal at digital domain
	AD converter	24-bit linear, 128-times oversampling (fs=44.1, 48 kHz), 64-times oversampling (fs=88.2, 96 kHz)
	Input selector	CH15/16/2TR IN for CH15/16

Digital Input (2TR IN DIGITAL, ADAT input)		
Option Input (SLOT)	**Available cards**	Optional digital interface cards (MY16, MY8, MY4 series)
Input Channel CH1~32	**Input patch**	—
	Phase	Normal/reverse
	Gate-type[*3]	On/off
		Key in: 12 ch Group (1~12, 13~24, 25~32)/AUX1~8
	Comp-type[*4]	On/off
		Key in: self /Stereo Link
		Pre EQ/pre fader/post fader
	Attenuator	–96.0 ~ +12.0 dB (0.1 dB step)
	EQ	4-band PEQ (TYPE1)[*5]
		On/off
	Delay	0~43400 samples
	On/off	—
	Fader	100 mm motorized (INPUT/AUX1~8)
	Aux send	On/off
		AUX1~8; pre fader/post fader
	Solo	On/off
		Pre fader/after pan
	Pan	127 positions (Left= 1~63, Center, Right= 1~63)
	Surround pan	127 × 127 positions [(Left= 1~63, Center, Right= 1~63)], [(Front= 1~63, Center, Rear= 1~63)]
	LFE level	–∞, –96 dB ~ +10 dB (256 step)
	Routing	STEREO, BUS1~8, DIRECT OUT
	Direct out	Pre EQ/pre fader/post fader
	Metering	Displayed on LCD
		Peak hold on/off
Stereo Input Channel CH1-4	**Input patch (L/R)**	—
	Phase (L/R)	Normal/reverse
	Attenuator (L/R)	–96.0 ~ +12.0 dB (0.1 dB step)
	Equalizer	4band PEQ (TYPE1)[*5]
	On/off	—
	Fader	100 mm motorized
		INPUT/AUX1~8 send
	Aux send	On/off
		AUX1~8; pre fader/post fader
	Solo	On/off
		Pre fader/after pan
	Pan (L/R)	127 positions (Left= 1~63, Center, Right= 1~63)
	Surround pan (L/R)	127 × 127 positions ([Left= 1~63, Center, Right= 1~63] x [Front= 1~63, Center, Rear= 1~63])
	LFE level (L/R)	–∞, –96 dB ~ +10 dB (256 step)
	Routing	STEREO, BUS1~8, DIRECT OUT
	Metering	Displayed on LCD
		Peak hold on/off
OSCILLATOR	**Level**	0 ~ –96 dB (1 dB step)
	On/off	—
	Waveform	Sine 100 Hz, sine 1 kHz, sine 10 kHz, pink noise, burst noise
	Routing	BUS1~8, AUX1~8, STEREO L/R
STEREO OUT	**DA converter**	24-bit linear, 128-times oversampling (@fs=44.1, 48 kHz), 64-times oversampling (@fs=88.2, 96 kHz)

MONITOR OUT	**DA converter**	24-bit linear, 128-times oversampling (@fs=44.1, 48 kHz), 64-times oversampling (@fs=88.2, 96 kHz)
OMNI OUT 1~4	**Output patch**	STEREO, BUS1~8, AUX1~8, DIRECT OUT 1~32, INSERT OUT (CH1~32, BUS1~8, AUX1~8, STEREO), CASCADE OUT (BUS1~8, AUX 1~8, STEREO, SOLO)
	DA converter	24-bit linear, 128-times oversampling (@fs=44.1, 48 kHz), 64-times oversampling (@fs=88.2, 96 kHz)
2TR OUT DIGITAL	**Dither**	On/off
		Word length 16, 20, 24-bit
	Output patch	STEREO, BUS1~8, AUX 1~8, DIRECT OUT 1~32, INSERT OUT (CH 1~32, BUS 1~8, AUX 1~8, STEREO), CASCADE OUT (BUS 1~8, AUX 1~8, STEREO, SOLO)
ADAT Output	**Dither**	On/off
		Word length 16, 20, 24-bit
	Output patch	STEREO, BUS1~8, AUX 1~8, DIRECT OUT 1~32, INSERT OUT (CH 1~32, BUS 1~8, AUX 1~8, STEREO), CASCADE OUT (BUS 1~8, AUX 1~8, STEREO, SOLO)
Option Output (SLOT)	**Available card**	Optional digital interface card (MY16, MY8, MY4 series)
	Dither	On/off
		Word length 16/20/24-bit
	Output patch	STEREO, BUS1~8, AUX 1~8, DIRECT OUT 1~32, INSERT OUT (CH 1~32, BUS 1~8, AUX 1~8, STEREO), CASCADE OUT (BUS 1~8, AUX 1~8, STEREO, SOLO)
STEREO	**Comp-type**[*4]	On/off
		Pre EQ/pre fader/post fader
	Attenuator	–96.0 ~ +12.0 dB (0.1 dB step)
	EQ	4-band PEQ[*5]
		On/off
	On/off	—
	Fader	100 mm motorized
	Balance	127 positions (Left=1~63, Center, Right=1~63)
	Delay	0~29100 samples
	Metering	Displayed on LCD
		Peak hold on/off
		12-elements x2 LED meters
BUS1~8	**Comp-type**[*4]	On/off
		Pre EQ/pre fader/post fader
	Attenuator	–96.0 ~ +12.0 dB (0.1 dB step)
	EQ	4-band PEQ[*5]
		On/off
	On/off	—
	Fader	100 mm motorized
	Delay	0~29100 samples
	Bus to stereo	Level (–∞, –130 dB ~ 0 dB)
		On/off
		Pan: 127 positions (Left=1~63, Center, Right=1~63)
	Metering	Displayed on LCD
		Peak hold on/off

AUX1~8	**Comp-type**[*4]	On/off
		Pre EQ/pre fader/post fader
	Attenuator	–96.0 ~ +12.0 dB (0.1 dB step)
	EQ	4-band PEQ[*5]
		On/off
	On/off	—
	Fader	100 mm motorized
	Delay	0~29100 samples
	Metering	Displayed on LCD
		Peak hold on/off
INTERNAL EFFECTS (EFFECT 1~4)	**Number of effects**	4@44.1kHz, 48kHz
		2@88.2kHz, 96kHz
	Bypass	On/off
	In/out	2-in, 2-out
	Effect-in from	AUX1~8/INSERT OUT
	Effect-out to	Input patch
Power Requirements		100 V, 50/60 Hz 90 W
Dimensions	**(H x D x W)**	150 x 548 x 436 mm
Net weight		15 kg
Operating free-air temperature range		10~35°C
Storage temperature range		–20 ~ 60°C
Supplied Accessories		AC Cable (3P/2P AC plug adapter) CD-ROM (Studio Manager) Owner's Manual Studio Manager Installation Guide Warranty card
Options		Digital interface card (MY16, MY8, MY4 series) RACK MOUNT KIT: RK1

*1. Total harmonic distortion is measured with a 6 dB/octave filter @ 80 kHz.
*2. Hum & Noise are measured with a 6 dB/octave filter @ 12.7 kHz; equivalent to a 20 kHz filter with infinite dB/octave attenuation.

***3. 286 ページの「Gate パラメーター」をご参照ください。**
***4. 286 ページの「Comp パラメーター」をご参照ください。**
***5. 285 ページの「EQ パラメーター」をご参照ください。**

EQ パラメーター

	LOW/HPF	L-MID	H-MID	HIGH /LPF
Q	0.1~10.0 (41 points) low shelving HPF	0.1~10.0 (41 points)		0.1~10.0 (41 points) high shelving LPF
F	21.2 Hz.20.0 kHz (1/12 oct step)			
G	±18 dB (0.1 dB step) HPF: on/off	±18 dB (0.1 dB step)		±18 dB (0.1 dB step) LPF: on/off

Gateパラメーター

Gate	Threshold	–54 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Range	–70 dB ~ 0 dB (1 dB step)
	Attack	0 ms~120 ms (1 ms step)
	Hold	0.02 ms~1.96 s (216 points) @ 48 kHz
		0.02 ms~2.13 s (216 points) @ 44.1 kHz
		0.01 ms~981 ms (216 points) @ 96 kHz
		0.01 ms~1.06 s (216 points) @ 88.2 kHz
	Decay	5 ms~42.3 s (160 points) @ 48 kHz
		6 ms~46.0 s (160 points) @ 44.1 kHz
		3 ms~21.1 s (160 points) @ 96 kHz
		3 ms~23.0 s (160 points) @ 88.2 kHz
Ducking	Threshold	–54 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Range	–70 dB ~ 0 dB (1 dB step)
	Attack	0 ms~120 ms (1 ms step)
	Hold	0.02 ms~1.96 s (216 points) @ 48 kHz
		0.02 ms~2.13 s (216 points) @ 44.1 kHz
		0.01 ms~981 ms (216 points) @ 96 kHz
		0.01 ms~1.06 s (216 points) @ 88.2 kHz
	Decay	5 ms~42.3 s (160 points) @ 48 kHz
		6 ms~46.0 s (160 points) @ 44.1 kHz
		3 ms~21.1 s (160 points) @ 96 kHz
		3 ms~23.0 s (160 points) @ 88.2 kHz

Compパラメーター

Compressor	Threshold	–54 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Ratio (x :1)	x=1, 1.1, 1.3, 1.5, 1.7, 2, 2.5, 3, 3.5, 4, 5, 6, 8, 10, 20, ∞ (16 points)
	Out gain	0 dB ~ +18 dB (0.1 dB step)
	Knee	Hard, 1, 2, 3, 4, 5 (6 step)
	Attack	0 ms~120 ms (1 ms step)
	Release	5 ms~42.3 s (160 points) @ 48 kHz
		6 ms~46.0 s (160 points) @ 44.1 kHz
		3 ms~21.1 s (160 points) @ 96 kHz
		3 ms~23.0 s (160 points) @ 88.2 kHz
Expander	Threshold	–54 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Ratio (x :1)	x=1, 1.1, 1.3, 1.5, 1.7, 2, 2.5, 3, 3.5, 4, 5, 6, 8, 10, 20, ∞ (16 points)
	Out gain	0 dB ~ +18 dB (0.1 dB step)
	Knee	Hard, 1, 2, 3, 4, 5 (6 points)
	Attack	0 ms~120 ms (1 ms step)
	Release	5 ms~42.3 s (160 points) @ 48 kHz
		6 ms~46.0 s (160 points) @ 44.1 kHz
		3 ms~21.1 s (160 points) @ 96 kHz
		3 ms~23.0 s (160 points) @ 88.2 kHz

Compander H	**Threshold**	–54 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Ratio (x :1)	x=1, 1.1, 1.3, 1.5, 1.7, 2, 2.5, 3, 3.5, 4, 5, 6, 8, 10, 20 (15 points)
	Out gain	–18 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Width	1 dB~90 dB (1 dB step)
	Attack	0 ms~120 ms (1 ms step)
	Release	5 ms~42.3 s (160 points) @ 48 kHz
		6 ms~46.0 s (160 points) @ 44.1 kHz
		3 ms~21.1 s (160 points) @ 96 kHz
		3 ms~23.0 s (160 points) @ 88.2 kHz
Compander S	**Threshold**	–54 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Ratio (x :1)	x=1, 1.1, 1.3, 1.5, 1.7, 2, 2.5, 3, 3.5, 4, 5, 6, 8, 10, 20 (15 points)
	Out gain	–18 dB ~ 0 dB (0.1 dB step)
	Width	1 dB~90 dB (1 dB step)
	Attack	0 ms~120 ms (1 ms step)
	Release	5 ms~42.3 s (160 points) @ 48 kHz
		6 ms~46.0 s (160 points) @ 44.1 kHz
		3 ms~21.1 s (160 points) @ 96 kHz
		3 ms~23.0 s (160 points) @ 88.2 kHz

ライブラリー

Effect library (EFFECT 1~4)	Presets	53
	User memories	75
Compressor library	Presets	36
	User memories	92
Gate library	Presets	4
	User memories	124
EQ library	Presets	40
	User memories	160
Channel library	Presets	2
	User memories	127
Input patch library	Presets	1
	User memories	32
Output patch library	Presets	1
	User memories	32

アナログ入力仕様

Input	PAD	GAIN	Actual Load Impedance	For Use With Nominal	Input level			Connector
					Sensitivity *1	Nominal	Max. before clip	
INPUT A/B 1~12	0	–60 dB	3k Ω	50~600 Ω Mics & 600 Ω Lines	–70 dB (0.245 mV)	–60 dB (0.775 mV)	–40 dB (7.75 mV)	A: XLR-3-31 type (Balanced)*2 B: Phone jack (TRS) (Balanced)*3
		–16 dB			–26 dB (38.8 mV)	–16 dB (123 mV)	+4 dB (1.23 V)	
	20				–6 dB (338 mV)	+4 dB (1.23 V)	+24 dB (12.28 V)	
INPUT 13~16	—	–26 dB	10k Ω	600 Ω Lines	–36 dB (1.23 mV)	–26 dB (38.8 mV)	–6 dB (388 mV)	Phone jack (TRS) (Balanced)*3
		+4 dB			–6 dB (388 mV)	+4 dB (1.23 V)	+24 dB (12.28 V)	
CH INSERT IN 1~12	—		10k Ω	600 Ω Lines	–12 dB (195 mV)	–2 dB (616 mV)	+18 dB (6.16 V)	Phone jack (TRS) (Unbalanced)*4
2TR IN [L, R]	—		10k Ω	600 Ω Lines	–10 dB (316 mV)	–10 dBV (316 mV)	+10 dBV (3.16 V)	RCA pin jack (Unbalanced)

*1. Sensitivity is the lowest level that will produce an output of +4 dB (1.23 V) or the nominal output level when the unit is set to maximum gain. (All faders and level controls are maximum position.)
*2. XLR-3-31 type connectors are balanced (1=GND, 2=HOT, 3=COLD).
*3. Phone jacks are balanced (Tip=HOT, Ring=COLD, Sleeve=GND).
*4. CH INSERT IN/OUT phone jacks are unbalanced. (Tip=OUTPUT, Ring=INPUT, Sleeve=GND).

In these specifications, when dB represents a specific voltage, 0 dB is referenced to 0.775 Vrms.
For 2TR IN levels, 0 dBV is referenced to 1.00 Vrms.
All input AD converters (CH INPUT 1~16) are 24-bit linear, 128-times oversampling. (@fs=44.1, 48 kHz)
+48 V DC (phantom power) is supplied to CH INPUT (1~12) XLR type connectors via individual switches.
Three PHANTOM +48V switches CH1~4, 5~8, 9~12 turn on the phantom power for inputs 1~4, 5~8, 9~12 respectively.

アナログ出力仕様

Output	Actual Source Impedance	For Use With Nominal	Output level		Connector
			Nominal	Max. before clip	
STEREO OUT [L, R]	150 Ω	600 Ω Lines	+4 dB (1.23 V)	+24 dB (12.28 V)	XLR-3-32 type (Balanced)*1
OMNI OUT 1~4	150 Ω	10k Ω Lines	+4 dB (1.23 V)	+24 dB (12.28 V)	Phone jack (TRS) (Balanced)*2
MONITOR OUT [L, R]	150 Ω	10k Ω Lines	+4 dB (1.23 V)	+24 dB (12.28 V)	Phone jack (TRS) (Balanced)*2
CH INSERT OUT 1~12	600 Ω	10k Ω Lines	–2 dB (616 mV)	+18 dB (6.16 V)	Phone jack (TRS) (Unbalanced)*3
2TR OUT [L, R]	600 Ω	10k Ω Lines	–10 dBV (316 mV)	+10 dBV (3.16 V)	RCA Pin Jack (Unbalanced)
PHONES	100 Ω	8 Ω Phones	4 mW	25 mW	Stereo Phone Jack (TRS) (Unbalanced)*4
		40 Ω Phones	12 mW	75 mW	

*1. XLR-3-32 type connectors are balanced (1=GND, 2=HOT, 3=COLD).
*2. Phone jacks are balanced (Tip=HOT, Ring=COLD, Sleeve=GND).
*3. CH INSERT IN/OUT phone jacks are unbalanced. (Tip=OUTPUT, Ring=INPUT, Sleeve=GND).
*4. PHONES stereo phone jack is unbalanced (Tip=LEFT, Ring=RIGHT, Sleeve=GND).

In these specifications, when dB represents a specific voltage, 0 dB is referenced to 0.775 Vrms.
2TR OUT [L, R] levels, 0 dBV is referenced to 1.00 Vrms.
All output DA converters are 24-bit, 128-times oversampling. (@fs=44.1, 48 kHz)

デジタル入力仕様

Input	Format	Data length	Level	Connector
2TR IN DIGITAL	IEC-60958	24-bit	0.5 Vpp/75 Ω	RCA pin jack
ADAT IN	ADAT*1	24-bit	—	OPTICAL

*1. ALESIS proprietary multichannel optical digital interface format

デジタル出力仕様

Output	Format	Data length	Level	Connector
2TR OUT DIGITAL	IEC-60958*1 Consumer use	24-bit*3	0.5V pp/75 Ω	RCA pin jack
ADAT OUT	ADAT*2	24-bit*3	—	OPTICAL

*1. Channel status of 2TR OUT DIGITAL
Type: linear PCM
Category code: Digital signal mixer
Copy prohibit: NO
Emphasis: NO
Clock accuracy: Level II (1000 ppm)
Sampling rate: depends on the internal configuration

*2. ALESIS proprietary multichannel optical digital interface format

*3. Dither: word length 16/20/24 bit

I/O SLOT仕様

Each I/O SLOT accepts a Digital interface card. SLOT1 has a serial interface.

Maker	Model	Function	INPUT	OUTPUT *1	Format	Resolution	Frequency	The number of Available cards	Note
Yamaha	MY8-AT	Digital I/O	8	8	ADAT	24 bit	44.1/48 kHz	1	Can handle 24 bit/96 kHz by double channel mode
	MY16-AT		16	16					
	MY8-TD		8	8	TASCAM				
	MY16-TD		16	16					
	MY8-AE		8	8	AES/EBU				
	MY8-AEB								
	MY16-AE		16	16					
	MY8-AE96S		8	8			44.1/48/88.2/96 kHz		Sampling Rate Converter for input
	MY8-AE96								
	MY4-AD	ANALOG IN	4	—	—	24 bit	44.1/48 kHz		
	MY8-AD		8			20 bit			
	MY8-AD24					24 bit			
	MY8-AD96						44.1/48/88.2/96 kHz		
	MY4-DA	ANALOG OUT	—	4		20 bit	44.1/48 kHz		
	MY8-DA96			8		24 bit	44.1/48/88.2/96 kHz		
	MY8-ADDA96	ANALOG I/O	8	8					
	MY8-mLAN	mLAN Interface	8	8	IEEE1394	24 bit	44.1/48 kHz		Maximum 5 nodes
	MY16-mLAN		16	16					
Waves	Y56K	Effect & I/O	8	8	ADAT	24 bit	44.1/48 kHz		
	Y96K						44.1/48/88.2/96 kHz		
Apogee	AP8AD	ANALOG IN	8	—	—	24 bit	44.1/48/88.2/96 kHz		4ch @fs=88.2, 96 kHz
	AP8DA	ANALOG OUT	—	8					

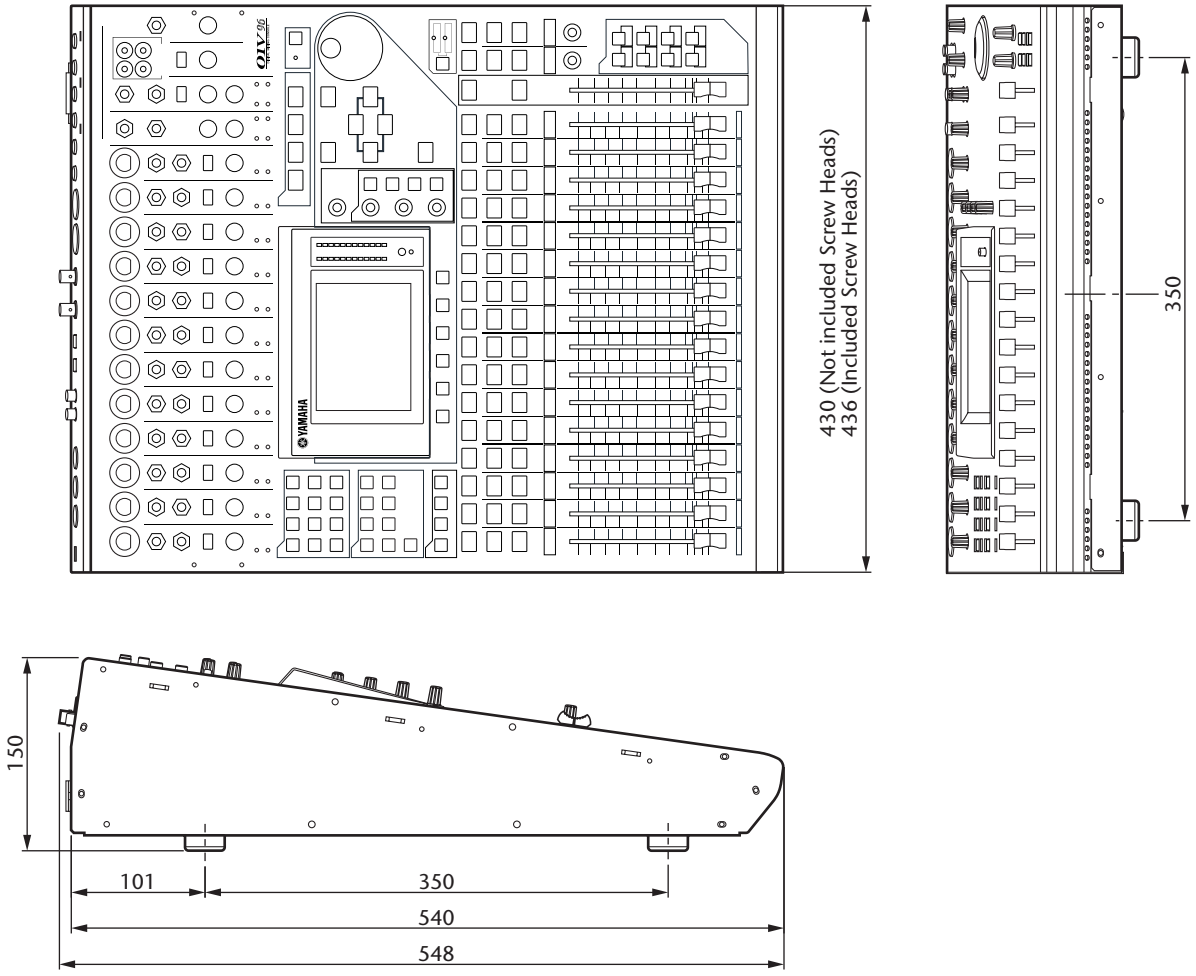
*1. Selectable from STEREO/BUS/AUX/DIRECT/OUT/INSERT OUT/CASCADE OUT (STEREO, BUS1~8, AUX1~8, SOLO). Details depend on each interface card.

CONTROL I/O仕様

I/O Port		Format	Level	Connector in Console
TO HOST USB		USB	0 V~3.3 V	B type USB connector
MIDI	IN*1	MIDI	—	DIN Connector 5P
	OUT	MIDI	—	DIN Connector 5P
	THRU	MIDI	—	DIN Connector 5P
WORD CLOCK	IN	—	TTL/75 Ω	BNC Connector
	OUT	—	TTL/75 Ω	BNC Connector

*1. MIDI IN can use as TIME CODE IN MTC.

寸法図



仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。

付録C： MIDI

プログラムチェンジ初期シーンメモリーアサイン表

Program Change #	Initial Scene #	User Scene #
1	01	
2	02	
3	03	
4	04	
5	05	
6	06	
7	07	
8	08	
9	09	
10	10	
11	11	
12	12	
13	13	
14	14	
15	15	
16	16	
17	17	
18	18	
19	19	
20	20	
21	21	
22	22	
23	23	
24	24	
25	25	
26	26	
27	27	
28	28	
29	29	
30	30	
31	31	
32	32	
33	33	
34	34	
35	35	
36	36	
37	37	
38	38	
39	39	
40	40	
41	41	
42	42	
43	43	

Program Change #	Initial Scene #	User Scene #
44	44	
45	45	
46	46	
47	47	
48	48	
49	49	
50	50	
51	51	
52	52	
53	53	
54	54	
55	55	
56	56	
57	57	
58	58	
59	59	
60	60	
61	61	
62	62	
63	63	
64	64	
65	65	
66	66	
67	67	
68	68	
69	69	
70	70	
71	71	
72	72	
73	73	
74	74	
75	75	
76	76	
77	77	
78	78	
79	79	
80	80	
81	81	
82	82	
83	83	
84	84	
85	85	
86	86	

Program Change#	Initial Scene #	User Scene #
87	87	
88	88	
89	89	
90	90	
91	91	
92	92	
93	93	
94	94	
95	95	
96	96	
97	97	
98	98	
99	99	
100	00	
101	—	
102	—	
103	—	
104	—	
105	—	
106	—	
107	—	
108	—	
109	—	
110	—	
111	—	
112	—	
113	—	
114	—	
115	—	
116	—	
117	—	
118	—	
119	—	
120	—	
121	—	
122	—	
123	—	
124	—	
125	—	
126	—	
127	—	
128	—	

コントロールチェンジ初期パラメーターアサイン表

CHANNEL1

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	FADER H	CHANNEL	INPUT1
2	FADER H	CHANNEL	INPUT2
3	FADER H	CHANNEL	INPUT3
4	FADER H	CHANNEL	INPUT4
5	FADER H	CHANNEL	INPUT5
6	FADER H	CHANNEL	INPUT6
7	FADER H	CHANNEL	INPUT7
8	FADER H	CHANNEL	INPUT8
9	FADER H	CHANNEL	INPUT9
10	FADER H	CHANNEL	INPUT10
11	FADER H	CHANNEL	INPUT11
12	FADER H	CHANNEL	INPUT12
13	FADER H	CHANNEL	INPUT13
14	FADER H	CHANNEL	INPUT14
15	FADER H	CHANNEL	INPUT15
16	FADER H	CHANNEL	INPUT16
17	FADER H	CHANNEL	INPUT17
18	FADER H	CHANNEL	INPUT18
19	FADER H	CHANNEL	INPUT19
20	FADER H	CHANNEL	INPUT20
21	FADER H	CHANNEL	INPUT21
22	FADER H	CHANNEL	INPUT22
23	FADER H	CHANNEL	INPUT23
24	FADER H	CHANNEL	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	FADER H	MASTER	STEREO
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	FADER L	CHANNEL	INPUT1
34	FADER L	CHANNEL	INPUT2
35	FADER L	CHANNEL	INPUT3
36	FADER L	CHANNEL	INPUT4
37	FADER L	CHANNEL	INPUT5
38	FADER L	CHANNEL	INPUT6
39	FADER L	CHANNEL	INPUT7
40	FADER L	CHANNEL	INPUT8
41	FADER L	CHANNEL	INPUT9
42	FADER L	CHANNEL	INPUT10
43	FADER L	CHANNEL	INPUT11
44	FADER L	CHANNEL	INPUT12
45	FADER L	CHANNEL	INPUT13
46	FADER L	CHANNEL	INPUT14
47	FADER L	CHANNEL	INPUT15
48	FADER L	CHANNEL	INPUT16
49	FADER L	CHANNEL	INPUT17
50	FADER L	CHANNEL	INPUT18
51	FADER L	CHANNEL	INPUT19
52	FADER L	CHANNEL	INPUT20
53	FADER L	CHANNEL	INPUT21
54	FADER L	CHANNEL	INPUT22
55	FADER L	CHANNEL	INPUT23
56	FADER L	CHANNEL	INPUT24

#	High	Mid	Low
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	FADER L	MASTER	STEREO
63	NO ASSIGN		
64	ON	CHANNEL	INPUT1
65	ON	CHANNEL	INPUT2
66	ON	CHANNEL	INPUT3
67	ON	CHANNEL	INPUT4
68	ON	CHANNEL	INPUT5
69	ON	CHANNEL	INPUT6
70	ON	CHANNEL	INPUT7
71	ON	CHANNEL	INPUT8
72	ON	CHANNEL	INPUT9
73	ON	CHANNEL	INPUT10
74	ON	CHANNEL	INPUT11
75	ON	CHANNEL	INPUT12
76	ON	CHANNEL	INPUT13
77	ON	CHANNEL	INPUT14
78	ON	CHANNEL	INPUT15
79	ON	CHANNEL	INPUT16
80	ON	CHANNEL	INPUT17
81	ON	CHANNEL	INPUT18
82	ON	CHANNEL	INPUT19
83	ON	CHANNEL	INPUT20
84	ON	CHANNEL	INPUT21
85	ON	CHANNEL	INPUT22
86	ON	CHANNEL	INPUT23
87	ON	CHANNEL	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	PAN	CHANNEL	INPUT1
90	PAN	CHANNEL	INPUT2
91	PAN	CHANNEL	INPUT3
92	PAN	CHANNEL	INPUT4
93	PAN	CHANNEL	INPUT5
94	PAN	CHANNEL	INPUT6
95	PAN	CHANNEL	INPUT7
102	PAN	CHANNEL	INPUT8
103	PAN	CHANNEL	INPUT9
104	PAN	CHANNEL	INPUT10
105	PAN	CHANNEL	INPUT11
106	PAN	CHANNEL	INPUT12
107	PAN	CHANNEL	INPUT13
108	PAN	CHANNEL	INPUT14
109	PAN	CHANNEL	INPUT15
110	PAN	CHANNEL	INPUT16
111	PAN	CHANNEL	INPUT17
112	PAN	CHANNEL	INPUT18
113	PAN	CHANNEL	INPUT19
114	PAN	CHANNEL	INPUT20
115	PAN	CHANNEL	INPUT21
116	PAN	CHANNEL	INPUT22
117	PAN	CHANNEL	INPUT23
118	PAN	CHANNEL	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL2

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	FADER H	CHANNEL	INPUT25
2	FADER H	CHANNEL	INPUT26
3	FADER H	CHANNEL	INPUT27
4	FADER H	CHANNEL	INPUT28
5	FADER H	CHANNEL	INPUT29
6	FADER H	CHANNEL	INPUT30
7	FADER H	CHANNEL	INPUT31
8	FADER H	CHANNEL	INPUT32
9	FADER H	CHANNEL	ST-IN1
10	FADER H	CHANNEL	ST-IN2
11	FADER H	CHANNEL	ST-IN3
12	FADER H	CHANNEL	ST-IN4
13	FADER H	MASTER	BUS1
14	FADER H	MASTER	BUS2
15	FADER H	MASTER	BUS3
16	FADER H	MASTER	BUS4
17	FADER H	MASTER	BUS5
18	FADER H	MASTER	BUS6
19	FADER H	MASTER	BUS7
20	FADER H	MASTER	BUS8
21	FADER H	MASTER	AUX1
22	FADER H	MASTER	AUX2
23	FADER H	MASTER	AUX3
24	FADER H	MASTER	AUX4
25	FADER H	MASTER	AUX5
26	FADER H	MASTER	AUX6
27	FADER H	MASTER	AUX7
28	FADER H	MASTER	AUX8
29	NO ASSIGN		
30	ON	MASTER	STEREO
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	FADER L	CHANNEL	INPUT25
34	FADER L	CHANNEL	INPUT26
35	FADER L	CHANNEL	INPUT27
36	FADER L	CHANNEL	INPUT28
37	FADER L	CHANNEL	INPUT29
38	FADER L	CHANNEL	INPUT30
39	FADER L	CHANNEL	INPUT31
40	FADER L	CHANNEL	INPUT32
41	FADER L	CHANNEL	ST-IN1
42	FADER L	CHANNEL	ST-IN2
43	FADER L	CHANNEL	ST-IN3
44	FADER L	CHANNEL	ST-IN4
45	FADER L	MASTER	BUS1
46	FADER L	MASTER	BUS2
47	FADER L	MASTER	BUS3
48	FADER L	MASTER	BUS4
49	FADER L	MASTER	BUS5
50	FADER L	MASTER	BUS6
51	FADER L	MASTER	BUS7
52	FADER L	MASTER	BUS8
53	FADER L	MASTER	AUX1
54	FADER L	MASTER	AUX2
55	FADER L	MASTER	AUX3
56	FADER L	MASTER	AUX4
57	FADER L	MASTER	AUX5
58	FADER L	MASTER	AUX6
59	FADER L	MASTER	AUX7
60	FADER L	MASTER	AUX8
61	NO ASSIGN		
62	BALANCE	MASTER	STEREO
63	NO ASSIGN		
64	ON	CHANNEL	INPUT25
65	ON	CHANNEL	INPUT26
66	ON	CHANNEL	INPUT27
67	ON	CHANNEL	INPUT28
68	ON	CHANNEL	INPUT29
69	ON	CHANNEL	INPUT30
70	ON	CHANNEL	INPUT31
71	ON	CHANNEL	INPUT32
72	ON	CHANNEL	ST-IN1
73	ON	CHANNEL	ST-IN2
74	ON	CHANNEL	ST-IN3
75	ON	CHANNEL	ST-IN4
76	ON	MASTER	BUS1
77	ON	MASTER	BUS2
78	ON	MASTER	BUS3
79	ON	MASTER	BUS4
80	ON	MASTER	BUS5
81	ON	MASTER	BUS6
82	ON	MASTER	BUS7
83	ON	MASTER	BUS8
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	PAN	CHANNEL	INPUT25
90	PAN	CHANNEL	INPUT26
91	PAN	CHANNEL	INPUT27
92	PAN	CHANNEL	INPUT28
93	PAN	CHANNEL	INPUT29
94	PAN	CHANNEL	INPUT30
95	PAN	CHANNEL	INPUT31
102	PAN	CHANNEL	INPUT32
103	PAN	CHANNEL	ST-IN1L
104	PAN	CHANNEL	ST-IN1R
105	PAN	CHANNEL	ST-IN2L
106	PAN	CHANNEL	ST-IN2R
107	PAN	CHANNEL	ST-IN3L
108	PAN	CHANNEL	ST-IN3R
109	PAN	CHANNEL	ST-IN4L
110	PAN	CHANNEL	ST-IN4R
111	ON	MASTER	AUX1
112	ON	MASTER	AUX2
113	ON	MASTER	AUX3
114	ON	MASTER	AUX4
115	ON	MASTER	AUX5
116	ON	MASTER	AUX6
117	ON	MASTER	AUX7
118	ON	MASTER	AUX8
119	NO ASSIGN		

CHANNEL3

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G LOW H	INPUT1
2	EQ	G LOW H	INPUT2
3	EQ	G LOW H	INPUT3
4	EQ	G LOW H	INPUT4
5	EQ	G LOW H	INPUT5
6	EQ	G LOW H	INPUT6
7	EQ	G LOW H	INPUT7
8	EQ	G LOW H	INPUT8
9	EQ	G LOW H	INPUT9
10	EQ	G LOW H	INPUT10
11	EQ	G LOW H	INPUT11
12	EQ	G LOW H	INPUT12
13	EQ	G LOW H	INPUT13
14	EQ	G LOW H	INPUT14
15	EQ	G LOW H	INPUT15
16	EQ	G LOW H	INPUT16
17	EQ	G LOW H	INPUT17
18	EQ	G LOW H	INPUT18
19	EQ	G LOW H	INPUT19
20	EQ	G LOW H	INPUT20
21	EQ	G LOW H	INPUT21
22	EQ	G LOW H	INPUT22
23	EQ	G LOW H	INPUT23
24	EQ	G LOW H	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G LOW L	INPUT1
34	EQ	G LOW L	INPUT2
35	EQ	G LOW L	INPUT3
36	EQ	G LOW L	INPUT4
37	EQ	G LOW L	INPUT5
38	EQ	G LOW L	INPUT6
39	EQ	G LOW L	INPUT7
40	EQ	G LOW L	INPUT8
41	EQ	G LOW L	INPUT9
42	EQ	G LOW L	INPUT10
43	EQ	G LOW L	INPUT11
44	EQ	G LOW L	INPUT12
45	EQ	G LOW L	INPUT13
46	EQ	G LOW L	INPUT14
47	EQ	G LOW L	INPUT15
48	EQ	G LOW L	INPUT16
49	EQ	G LOW L	INPUT17
50	EQ	G LOW L	INPUT18
51	EQ	G LOW L	INPUT19
52	EQ	G LOW L	INPUT20
53	EQ	G LOW L	INPUT21
54	EQ	G LOW L	INPUT22
55	EQ	G LOW L	INPUT23
56	EQ	G LOW L	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F LOW	INPUT1
65	EQ	F LOW	INPUT2
66	EQ	F LOW	INPUT3
67	EQ	F LOW	INPUT4
68	EQ	F LOW	INPUT5
69	EQ	F LOW	INPUT6
70	EQ	F LOW	INPUT7
71	EQ	F LOW	INPUT8
72	EQ	F LOW	INPUT9
73	EQ	F LOW	INPUT10
74	EQ	F LOW	INPUT11
75	EQ	F LOW	INPUT12
76	EQ	F LOW	INPUT13
77	EQ	F LOW	INPUT14
78	EQ	F LOW	INPUT15
79	EQ	F LOW	INPUT16
80	EQ	F LOW	INPUT17
81	EQ	F LOW	INPUT18
82	EQ	F LOW	INPUT19
83	EQ	F LOW	INPUT20
84	EQ	F LOW	INPUT21
85	EQ	F LOW	INPUT22
86	EQ	F LOW	INPUT23
87	EQ	F LOW	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q LOW	INPUT1
90	EQ	Q LOW	INPUT2
91	EQ	Q LOW	INPUT3
92	EQ	Q LOW	INPUT4
93	EQ	Q LOW	INPUT5
94	EQ	Q LOW	INPUT6
95	EQ	Q LOW	INPUT7
102	EQ	Q LOW	INPUT8
103	EQ	Q LOW	INPUT9
104	EQ	Q LOW	INPUT10
105	EQ	Q LOW	INPUT11
106	EQ	Q LOW	INPUT12
107	EQ	Q LOW	INPUT13
108	EQ	Q LOW	INPUT14
109	EQ	Q LOW	INPUT15
110	EQ	Q LOW	INPUT16
111	EQ	Q LOW	INPUT17
112	EQ	Q LOW	INPUT18
113	EQ	Q LOW	INPUT19
114	EQ	Q LOW	INPUT20
115	EQ	Q LOW	INPUT21
116	EQ	Q LOW	INPUT22
117	EQ	Q LOW	INPUT23
118	EQ	Q LOW	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL4

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G LOW H	INPUT25
2	EQ	G LOW H	INPUT26
3	EQ	G LOW H	INPUT27
4	EQ	G LOW H	INPUT28
5	EQ	G LOW H	INPUT29
6	EQ	G LOW H	INPUT30
7	EQ	G LOW H	INPUT31
8	EQ	G LOW H	INPUT32
9	EQ	G LOW H	ST-IN1
10	EQ	G LOW H	ST-IN2
11	EQ	G LOW H	ST-IN3
12	EQ	G LOW H	ST-IN4
13	NO ASSIGN		
14	NO ASSIGN		
15	NO ASSIGN		
16	NO ASSIGN		
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G LOW L	INPUT25
34	EQ	G LOW L	INPUT26
35	EQ	G LOW L	INPUT27
36	EQ	G LOW L	INPUT28
37	EQ	G LOW L	INPUT29
38	EQ	G LOW L	INPUT30
39	EQ	G LOW L	INPUT31
40	EQ	G LOW L	INPUT32
41	EQ	G LOW L	ST-IN1
42	EQ	G LOW L	ST-IN2
43	EQ	G LOW L	ST-IN3
44	EQ	G LOW L	ST-IN4
45	NO ASSIGN		
46	NO ASSIGN		
47	NO ASSIGN		
48	NO ASSIGN		
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F LOW	INPUT25
65	EQ	F LOW	INPUT26
66	EQ	F LOW	INPUT27
67	EQ	F LOW	INPUT28
68	EQ	F LOW	INPUT29
69	EQ	F LOW	INPUT30
70	EQ	F LOW	INPUT31
71	EQ	F LOW	INPUT32
72	EQ	F LOW	ST-IN1
73	EQ	F LOW	ST-IN2
74	EQ	F LOW	ST-IN3
75	EQ	F LOW	ST-IN4
76	NO ASSIGN		
77	NO ASSIGN		
78	NO ASSIGN		
79	NO ASSIGN		
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q LOW	INPUT25
90	EQ	Q LOW	INPUT26
91	EQ	Q LOW	INPUT27
92	EQ	Q LOW	INPUT28
93	EQ	Q LOW	INPUT29
94	EQ	Q LOW	INPUT30
95	EQ	Q LOW	INPUT31
102	EQ	Q LOW	INPUT32
103	EQ	Q LOW	ST-IN1
104	EQ	Q LOW	ST-IN2
105	EQ	Q LOW	ST-IN3
106	EQ	Q LOW	ST-IN4
107	NO ASSIGN		
108	NO ASSIGN		
109	NO ASSIGN		
110	NO ASSIGN		
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

CHANNEL5

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G LO-MID H	INPUT1
2	EQ	G LO-MID H	INPUT2
3	EQ	G LO-MID H	INPUT3
4	EQ	G LO-MID H	INPUT4
5	EQ	G LO-MID H	INPUT5
6	EQ	G LO-MID H	INPUT6
7	EQ	G LO-MID H	INPUT7
8	EQ	G LO-MID H	INPUT8
9	EQ	G LO-MID H	INPUT9
10	EQ	G LO-MID H	INPUT10
11	EQ	G LO-MID H	INPUT11
12	EQ	G LO-MID H	INPUT12
13	EQ	G LO-MID H	INPUT13
14	EQ	G LO-MID H	INPUT14
15	EQ	G LO-MID H	INPUT15
16	EQ	G LO-MID H	INPUT16
17	EQ	G LO-MID H	INPUT17
18	EQ	G LO-MID H	INPUT18
19	EQ	G LO-MID H	INPUT19
20	EQ	G LO-MID H	INPUT20
21	EQ	G LO-MID H	INPUT21
22	EQ	G LO-MID H	INPUT22
23	EQ	G LO-MID H	INPUT23
24	EQ	G LO-MID H	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G LO-MID L	INPUT1
34	EQ	G LO-MID L	INPUT2
35	EQ	G LO-MID L	INPUT3
36	EQ	G LO-MID L	INPUT4
37	EQ	G LO-MID L	INPUT5
38	EQ	G LO-MID L	INPUT6
39	EQ	G LO-MID L	INPUT7
40	EQ	G LO-MID L	INPUT8
41	EQ	G LO-MID L	INPUT9
42	EQ	G LO-MID L	INPUT10
43	EQ	G LO-MID L	INPUT11
44	EQ	G LO-MID L	INPUT12
45	EQ	G LO-MID L	INPUT13
46	EQ	G LO-MID L	INPUT14
47	EQ	G LO-MID L	INPUT15
48	EQ	G LO-MID L	INPUT16
49	EQ	G LO-MID L	INPUT17
50	EQ	G LO-MID L	INPUT18
51	EQ	G LO-MID L	INPUT19
52	EQ	G LO-MID L	INPUT20
53	EQ	G LO-MID L	INPUT21
54	EQ	G LO-MID L	INPUT22
55	EQ	G LO-MID L	INPUT23
56	EQ	G LO-MID L	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F LO-MID	INPUT1
65	EQ	F LO-MID	INPUT2
66	EQ	F LO-MID	INPUT3
67	EQ	F LO-MID	INPUT4
68	EQ	F LO-MID	INPUT5
69	EQ	F LO-MID	INPUT6
70	EQ	F LO-MID	INPUT7
71	EQ	F LO-MID	INPUT8
72	EQ	F LO-MID	INPUT9
73	EQ	F LO-MID	INPUT10
74	EQ	F LO-MID	INPUT11
75	EQ	F LO-MID	INPUT12
76	EQ	F LO-MID	INPUT13
77	EQ	F LO-MID	INPUT14
78	EQ	F LO-MID	INPUT15
79	EQ	F LO-MID	INPUT16
80	EQ	F LO-MID	INPUT17
81	EQ	F LO-MID	INPUT18
82	EQ	F LO-MID	INPUT19
83	EQ	F LO-MID	INPUT20
84	EQ	F LO-MID	INPUT21
85	EQ	F LO-MID	INPUT22
86	EQ	F LO-MID	INPUT23
87	EQ	F LO-MID	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q LO-MID	INPUT1
90	EQ	Q LO-MID	INPUT2
91	EQ	Q LO-MID	INPUT3
92	EQ	Q LO-MID	INPUT4
93	EQ	Q LO-MID	INPUT5
94	EQ	Q LO-MID	INPUT6
95	EQ	Q LO-MID	INPUT7
102	EQ	Q LO-MID	INPUT8
103	EQ	Q LO-MID	INPUT9
104	EQ	Q LO-MID	INPUT10
105	EQ	Q LO-MID	INPUT11
106	EQ	Q LO-MID	INPUT12
107	EQ	Q LO-MID	INPUT13
108	EQ	Q LO-MID	INPUT14
109	EQ	Q LO-MID	INPUT15
110	EQ	Q LO-MID	INPUT16
111	EQ	Q LO-MID	INPUT17
112	EQ	Q LO-MID	INPUT18
113	EQ	Q LO-MID	INPUT19
114	EQ	Q LO-MID	INPUT20
115	EQ	Q LO-MID	INPUT21
116	EQ	Q LO-MID	INPUT22
117	EQ	Q LO-MID	INPUT23
118	EQ	Q LO-MID	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL6

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G LO-MID H	INPUT25
2	EQ	G LO-MID H	INPUT26
3	EQ	G LO-MID H	INPUT27
4	EQ	G LO-MID H	INPUT28
5	EQ	G LO-MID H	INPUT29
6	EQ	G LO-MID H	INPUT30
7	EQ	G LO-MID H	INPUT31
8	EQ	G LO-MID H	INPUT32
9	EQ	G LO-MID H	ST-IN1
10	EQ	G LO-MID H	ST-IN2
11	EQ	G LO-MID H	ST-IN3
12	EQ	G LO-MID H	ST-IN4
13	NO ASSIGN		
14	NO ASSIGN		
15	NO ASSIGN		
16	NO ASSIGN		
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G LO-MID L	INPUT25
34	EQ	G LO-MID L	INPUT26
35	EQ	G LO-MID L	INPUT27
36	EQ	G LO-MID L	INPUT28
37	EQ	G LO-MID L	INPUT29
38	EQ	G LO-MID L	INPUT30
39	EQ	G LO-MID L	INPUT31
40	EQ	G LO-MID L	INPUT32
41	EQ	G LO-MID L	ST-IN1
42	EQ	G LO-MID L	ST-IN2
43	EQ	G LO-MID L	ST-IN3
44	EQ	G LO-MID L	ST-IN4
45	NO ASSIGN		
46	NO ASSIGN		
47	NO ASSIGN		
48	NO ASSIGN		
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F LO-MID	INPUT25
65	EQ	F LO-MID	INPUT26
66	EQ	F LO-MID	INPUT27
67	EQ	F LO-MID	INPUT28
68	EQ	F LO-MID	INPUT29
69	EQ	F LO-MID	INPUT30
70	EQ	F LO-MID	INPUT31
71	EQ	F LO-MID	INPUT32
72	EQ	F LO-MID	ST-IN1
73	EQ	F LO-MID	ST-IN2
74	EQ	F LO-MID	ST-IN3
75	EQ	F LO-MID	ST-IN4
76	NO ASSIGN		
77	NO ASSIGN		
78	NO ASSIGN		
79	NO ASSIGN		
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q LO-MID	INPUT25
90	EQ	Q LO-MID	INPUT26
91	EQ	Q LO-MID	INPUT27
92	EQ	Q LO-MID	INPUT28
93	EQ	Q LO-MID	INPUT29
94	EQ	Q LO-MID	INPUT30
95	EQ	Q LO-MID	INPUT31
102	EQ	Q LO-MID	INPUT32
103	EQ	Q LO-MID	ST-IN1
104	EQ	Q LO-MID	ST-IN2
105	EQ	Q LO-MID	ST-IN3
106	EQ	Q LO-MID	ST-IN4
107	NO ASSIGN		
108	NO ASSIGN		
109	NO ASSIGN		
110	NO ASSIGN		
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

CHANNEL7

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G HI-MID H	INPUT1
2	EQ	G HI-MID H	INPUT2
3	EQ	G HI-MID H	INPUT3
4	EQ	G HI-MID H	INPUT4
5	EQ	G HI-MID H	INPUT5
6	EQ	G HI-MID H	INPUT6
7	EQ	G HI-MID H	INPUT7
8	EQ	G HI-MID H	INPUT8
9	EQ	G HI-MID H	INPUT9
10	EQ	G HI-MID H	INPUT10
11	EQ	G HI-MID H	INPUT11
12	EQ	G HI-MID H	INPUT12
13	EQ	G HI-MID H	INPUT13
14	EQ	G HI-MID H	INPUT14
15	EQ	G HI-MID H	INPUT15
16	EQ	G HI-MID H	INPUT16
17	EQ	G HI-MID H	INPUT17
18	EQ	G HI-MID H	INPUT18
19	EQ	G HI-MID H	INPUT19
20	EQ	G HI-MID H	INPUT20
21	EQ	G HI-MID H	INPUT21
22	EQ	G HI-MID H	INPUT22
23	EQ	G HI-MID H	INPUT23
24	EQ	G HI-MID H	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G HI-MID L	INPUT1
34	EQ	G HI-MID L	INPUT2
35	EQ	G HI-MID L	INPUT3
36	EQ	G HI-MID L	INPUT4
37	EQ	G HI-MID L	INPUT5
38	EQ	G HI-MID L	INPUT6
39	EQ	G HI-MID L	INPUT7
40	EQ	G HI-MID L	INPUT8
41	EQ	G HI-MID L	INPUT9
42	EQ	G HI-MID L	INPUT10
43	EQ	G HI-MID L	INPUT11
44	EQ	G HI-MID L	INPUT12
45	EQ	G HI-MID L	INPUT13
46	EQ	G HI-MID L	INPUT14
47	EQ	G HI-MID L	INPUT15
48	EQ	G HI-MID L	INPUT16
49	EQ	G HI-MID L	INPUT17
50	EQ	G HI-MID L	INPUT18
51	EQ	G HI-MID L	INPUT19
52	EQ	G HI-MID L	INPUT20
53	EQ	G HI-MID L	INPUT21
54	EQ	G HI-MID L	INPUT22
55	EQ	G HI-MID L	INPUT23
56	EQ	G HI-MID L	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F HI-MID	INPUT1
65	EQ	F HI-MID	INPUT2
66	EQ	F HI-MID	INPUT3
67	EQ	F HI-MID	INPUT4
68	EQ	F HI-MID	INPUT5
69	EQ	F HI-MID	INPUT6
70	EQ	F HI-MID	INPUT7
71	EQ	F HI-MID	INPUT8
72	EQ	F HI-MID	INPUT9
73	EQ	F HI-MID	INPUT10
74	EQ	F HI-MID	INPUT11
75	EQ	F HI-MID	INPUT12
76	EQ	F HI-MID	INPUT13
77	EQ	F HI-MID	INPUT14
78	EQ	F HI-MID	INPUT15
79	EQ	F HI-MID	INPUT16
80	EQ	F HI-MID	INPUT17
81	EQ	F HI-MID	INPUT18
82	EQ	F HI-MID	INPUT19
83	EQ	F HI-MID	INPUT20
84	EQ	F HI-MID	INPUT21
85	EQ	F HI-MID	INPUT22
86	EQ	F HI-MID	INPUT23
87	EQ	F HI-MID	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q HI-MID	INPUT1
90	EQ	Q HI-MID	INPUT2
91	EQ	Q HI-MID	INPUT3
92	EQ	Q HI-MID	INPUT4
93	EQ	Q HI-MID	INPUT5
94	EQ	Q HI-MID	INPUT6
95	EQ	Q HI-MID	INPUT7
102	EQ	Q HI-MID	INPUT8
103	EQ	Q HI-MID	INPUT9
104	EQ	Q HI-MID	INPUT10
105	EQ	Q HI-MID	INPUT11
106	EQ	Q HI-MID	INPUT12
107	EQ	Q HI-MID	INPUT13
108	EQ	Q HI-MID	INPUT14
109	EQ	Q HI-MID	INPUT15
110	EQ	Q HI-MID	INPUT16
111	EQ	Q HI-MID	INPUT17
112	EQ	Q HI-MID	INPUT18
113	EQ	Q HI-MID	INPUT19
114	EQ	Q HI-MID	INPUT20
115	EQ	Q HI-MID	INPUT21
116	EQ	Q HI-MID	INPUT22
117	EQ	Q HI-MID	INPUT23
118	EQ	Q HI-MID	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL8

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G HI-MID H	INPUT25
2	EQ	G HI-MID H	INPUT26
3	EQ	G HI-MID H	INPUT27
4	EQ	G HI-MID H	INPUT28
5	EQ	G HI-MID H	INPUT29
6	EQ	G HI-MID H	INPUT30
7	EQ	G HI-MID H	INPUT31
8	EQ	G HI-MID H	INPUT32
9	EQ	G HI-MID H	ST-IN1
10	EQ	G HI-MID H	ST-IN2
11	EQ	G HI-MID H	ST-IN3
12	EQ	G HI-MID H	ST-IN4
13	NO ASSIGN		
14	NO ASSIGN		
15	NO ASSIGN		
16	NO ASSIGN		
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G HI-MID L	INPUT25
34	EQ	G HI-MID L	INPUT26
35	EQ	G HI-MID L	INPUT27
36	EQ	G HI-MID L	INPUT28
37	EQ	G HI-MID L	INPUT29
38	EQ	G HI-MID L	INPUT30
39	EQ	G HI-MID L	INPUT31
40	EQ	G HI-MID L	INPUT32
41	EQ	G HI-MID L	ST-IN1
42	EQ	G HI-MID L	ST-IN2
43	EQ	G HI-MID L	ST-IN3
44	EQ	G HI-MID L	ST-IN4
45	NO ASSIGN		
46	NO ASSIGN		
47	NO ASSIGN		
48	NO ASSIGN		
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F HI-MID	INPUT25
65	EQ	F HI-MID	INPUT26
66	EQ	F HI-MID	INPUT27
67	EQ	F HI-MID	INPUT28
68	EQ	F HI-MID	INPUT29
69	EQ	F HI-MID	INPUT30
70	EQ	F HI-MID	INPUT31
71	EQ	F HI-MID	INPUT32
72	EQ	F HI-MID	ST-IN1
73	EQ	F HI-MID	ST-IN2
74	EQ	F HI-MID	ST-IN3
75	EQ	F HI-MID	ST-IN4
76	NO ASSIGN		
77	NO ASSIGN		
78	NO ASSIGN		
79	NO ASSIGN		
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q HI-MID	INPUT25
90	EQ	Q HI-MID	INPUT26
91	EQ	Q HI-MID	INPUT27
92	EQ	Q HI-MID	INPUT28
93	EQ	Q HI-MID	INPUT29
94	EQ	Q HI-MID	INPUT30
95	EQ	Q HI-MID	INPUT31
102	EQ	Q HI-MID	INPUT32
103	EQ	Q HI-MID	ST-IN1
104	EQ	Q HI-MID	ST-IN2
105	EQ	Q HI-MID	ST-IN3
106	EQ	Q HI-MID	ST-IN4
107	NO ASSIGN		
108	NO ASSIGN		
109	NO ASSIGN		
110	NO ASSIGN		
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

CHANNEL9

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G HIGH H	INPUT1
2	EQ	G HIGH H	INPUT2
3	EQ	G HIGH H	INPUT3
4	EQ	G HIGH H	INPUT4
5	EQ	G HIGH H	INPUT5
6	EQ	G HIGH H	INPUT6
7	EQ	G HIGH H	INPUT7
8	EQ	G HIGH H	INPUT8
9	EQ	G HIGH H	INPUT9
10	EQ	G HIGH H	INPUT10
11	EQ	G HIGH H	INPUT11
12	EQ	G HIGH H	INPUT12
13	EQ	G HIGH H	INPUT13
14	EQ	G HIGH H	INPUT14
15	EQ	G HIGH H	INPUT15
16	EQ	G HIGH H	INPUT16
17	EQ	G HIGH H	INPUT17
18	EQ	G HIGH H	INPUT18
19	EQ	G HIGH H	INPUT19
20	EQ	G HIGH H	INPUT20
21	EQ	G HIGH H	INPUT21
22	EQ	G HIGH H	INPUT22
23	EQ	G HIGH H	INPUT23
24	EQ	G HIGH H	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G HIGH L	INPUT1
34	EQ	G HIGH L	INPUT2
35	EQ	G HIGH L	INPUT3
36	EQ	G HIGH L	INPUT4
37	EQ	G HIGH L	INPUT5
38	EQ	G HIGH L	INPUT6
39	EQ	G HIGH L	INPUT7
40	EQ	G HIGH L	INPUT8
41	EQ	G HIGH L	INPUT9
42	EQ	G HIGH L	INPUT10
43	EQ	G HIGH L	INPUT11
44	EQ	G HIGH L	INPUT12
45	EQ	G HIGH L	INPUT13
46	EQ	G HIGH L	INPUT14
47	EQ	G HIGH L	INPUT15
48	EQ	G HIGH L	INPUT16
49	EQ	G HIGH L	INPUT17
50	EQ	G HIGH L	INPUT18
51	EQ	G HIGH L	INPUT19
52	EQ	G HIGH L	INPUT20
53	EQ	G HIGH L	INPUT21
54	EQ	G HIGH L	INPUT22
55	EQ	G HIGH L	INPUT23
56	EQ	G HIGH L	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F HIGH	INPUT1
65	EQ	F HIGH	INPUT2
66	EQ	F HIGH	INPUT3
67	EQ	F HIGH	INPUT4
68	EQ	F HIGH	INPUT5
69	EQ	F HIGH	INPUT6
70	EQ	F HIGH	INPUT7
71	EQ	F HIGH	INPUT8
72	EQ	F HIGH	INPUT9
73	EQ	F HIGH	INPUT10
74	EQ	F HIGH	INPUT11
75	EQ	F HIGH	INPUT12
76	EQ	F HIGH	INPUT13
77	EQ	F HIGH	INPUT14
78	EQ	F HIGH	INPUT15
79	EQ	F HIGH	INPUT16
80	EQ	F HIGH	INPUT17
81	EQ	F HIGH	INPUT18
82	EQ	F HIGH	INPUT19
83	EQ	F HIGH	INPUT20
84	EQ	F HIGH	INPUT21
85	EQ	F HIGH	INPUT22
86	EQ	F HIGH	INPUT23
87	EQ	F HIGH	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q HIGH	INPUT1
90	EQ	Q HIGH	INPUT2
91	EQ	Q HIGH	INPUT3
92	EQ	Q HIGH	INPUT4
93	EQ	Q HIGH	INPUT5
94	EQ	Q HIGH	INPUT6
95	EQ	Q HIGH	INPUT7
102	EQ	Q HIGH	INPUT8
103	EQ	Q HIGH	INPUT9
104	EQ	Q HIGH	INPUT10
105	EQ	Q HIGH	INPUT11
106	EQ	Q HIGH	INPUT12
107	EQ	Q HIGH	INPUT13
108	EQ	Q HIGH	INPUT14
109	EQ	Q HIGH	INPUT15
110	EQ	Q HIGH	INPUT16
111	EQ	Q HIGH	INPUT17
112	EQ	Q HIGH	INPUT18
113	EQ	Q HIGH	INPUT19
114	EQ	Q HIGH	INPUT20
115	EQ	Q HIGH	INPUT21
116	EQ	Q HIGH	INPUT22
117	EQ	Q HIGH	INPUT23
118	EQ	Q HIGH	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL10

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	G HIGH H	INPUT25
2	EQ	G HIGH H	INPUT26
3	EQ	G HIGH H	INPUT27
4	EQ	G HIGH H	INPUT28
5	EQ	G HIGH H	INPUT29
6	EQ	G HIGH H	INPUT30
7	EQ	G HIGH H	INPUT31
8	EQ	G HIGH H	INPUT32
9	EQ	G HIGH H	ST-IN1
10	EQ	G HIGH H	ST-IN2
11	EQ	G HIGH H	ST-IN3
12	EQ	G HIGH H	ST-IN4
13	NO ASSIGN		
14	NO ASSIGN		
15	NO ASSIGN		
16	NO ASSIGN		
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	G HIGH L	INPUT25
34	EQ	G HIGH L	INPUT26
35	EQ	G HIGH L	INPUT27
36	EQ	G HIGH L	INPUT28
37	EQ	G HIGH L	INPUT29
38	EQ	G HIGH L	INPUT30
39	EQ	G HIGH L	INPUT31
40	EQ	G HIGH L	INPUT32
41	EQ	G HIGH L	ST-IN1
42	EQ	G HIGH L	ST-IN2
43	EQ	G HIGH L	ST-IN3
44	EQ	G HIGH L	ST-IN4
45	NO ASSIGN		
46	NO ASSIGN		
47	NO ASSIGN		
48	NO ASSIGN		
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	F HIGH	INPUT25
65	EQ	F HIGH	INPUT26
66	EQ	F HIGH	INPUT27
67	EQ	F HIGH	INPUT28
68	EQ	F HIGH	INPUT29
69	EQ	F HIGH	INPUT30
70	EQ	F HIGH	INPUT31
71	EQ	F HIGH	INPUT32
72	EQ	F HIGH	ST-IN1
73	EQ	F HIGH	ST-IN2
74	EQ	F HIGH	ST-IN3
75	EQ	F HIGH	ST-IN4
76	NO ASSIGN		
77	NO ASSIGN		
78	NO ASSIGN		
79	NO ASSIGN		
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	EQ	Q HIGH	INPUT25
90	EQ	Q HIGH	INPUT26
91	EQ	Q HIGH	INPUT27
92	EQ	Q HIGH	INPUT28
93	EQ	Q HIGH	INPUT29
94	EQ	Q HIGH	INPUT30
95	EQ	Q HIGH	INPUT31
102	EQ	Q HIGH	INPUT32
103	EQ	Q HIGH	ST-IN1
104	EQ	Q HIGH	ST-IN2
105	EQ	Q HIGH	ST-IN3
106	EQ	Q HIGH	ST-IN4
107	NO ASSIGN		
108	NO ASSIGN		
109	NO ASSIGN		
110	NO ASSIGN		
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

CHANNEL11

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	ATT H	INPUT1
2	EQ	ATT H	INPUT2
3	EQ	ATT H	INPUT3
4	EQ	ATT H	INPUT4
5	EQ	ATT H	INPUT5
6	EQ	ATT H	INPUT6
7	EQ	ATT H	INPUT7
8	EQ	ATT H	INPUT8
9	EQ	ATT H	INPUT9
10	EQ	ATT H	INPUT10
11	EQ	ATT H	INPUT11
12	EQ	ATT H	INPUT12
13	EQ	ATT H	INPUT13
14	EQ	ATT H	INPUT14
15	EQ	ATT H	INPUT15
16	EQ	ATT H	INPUT16
17	EQ	ATT H	INPUT17
18	EQ	ATT H	INPUT18
19	EQ	ATT H	INPUT19
20	EQ	ATT H	INPUT20
21	EQ	ATT H	INPUT21
22	EQ	ATT H	INPUT22
23	EQ	ATT H	INPUT23
24	EQ	ATT H	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	ATT L	INPUT1
34	EQ	ATT L	INPUT2
35	EQ	ATT L	INPUT3
36	EQ	ATT L	INPUT4
37	EQ	ATT L	INPUT5
38	EQ	ATT L	INPUT6
39	EQ	ATT L	INPUT7
40	EQ	ATT L	INPUT8
41	EQ	ATT L	INPUT9
42	EQ	ATT L	INPUT10
43	EQ	ATT L	INPUT11
44	EQ	ATT L	INPUT12
45	EQ	ATT L	INPUT13
46	EQ	ATT L	INPUT14
47	EQ	ATT L	INPUT15
48	EQ	ATT L	INPUT16
49	EQ	ATT L	INPUT17
50	EQ	ATT L	INPUT18
51	EQ	ATT L	INPUT19
52	EQ	ATT L	INPUT20
53	EQ	ATT L	INPUT21
54	EQ	ATT L	INPUT22
55	EQ	ATT L	INPUT23
56	EQ	ATT L	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	HPF ON	INPUT1
65	EQ	HPF ON	INPUT2
66	EQ	HPF ON	INPUT3
67	EQ	HPF ON	INPUT4
68	EQ	HPF ON	INPUT5
69	EQ	HPF ON	INPUT6
70	EQ	HPF ON	INPUT7
71	EQ	HPF ON	INPUT8
72	EQ	HPF ON	INPUT9
73	EQ	HPF ON	INPUT10
74	EQ	HPF ON	INPUT11
75	EQ	HPF ON	INPUT12
76	EQ	HPF ON	INPUT13
77	EQ	HPF ON	INPUT14
78	EQ	HPF ON	INPUT15
79	EQ	HPF ON	INPUT16
80	EQ	HPF ON	INPUT17
81	EQ	HPF ON	INPUT18
82	EQ	HPF ON	INPUT19
83	EQ	HPF ON	INPUT20
84	EQ	HPF ON	INPUT21
85	EQ	HPF ON	INPUT22
86	EQ	HPF ON	INPUT23
87	EQ	HPF ON	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	EQ	LPF ON	INPUT1
90	EQ	LPF ON	INPUT2
91	EQ	LPF ON	INPUT3
92	EQ	LPF ON	INPUT4
93	EQ	LPF ON	INPUT5
94	EQ	LPF ON	INPUT6
95	EQ	LPF ON	INPUT7
102	EQ	LPF ON	INPUT8
103	EQ	LPF ON	INPUT9
104	EQ	LPF ON	INPUT10
105	EQ	LPF ON	INPUT11
106	EQ	LPF ON	INPUT12
107	EQ	LPF ON	INPUT13
108	EQ	LPF ON	INPUT14
109	EQ	LPF ON	INPUT15
110	EQ	LPF ON	INPUT16
111	EQ	LPF ON	INPUT17
112	EQ	LPF ON	INPUT18
113	EQ	LPF ON	INPUT19
114	EQ	LPF ON	INPUT20
115	EQ	LPF ON	INPUT21
116	EQ	LPF ON	INPUT22
117	EQ	LPF ON	INPUT23
118	EQ	LPF ON	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL12

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	EQ	ATT H	INPUT25
2	EQ	ATT H	INPUT26
3	EQ	ATT H	INPUT27
4	EQ	ATT H	INPUT28
5	EQ	ATT H	INPUT29
6	EQ	ATT H	INPUT30
7	EQ	ATT H	INPUT31
8	EQ	ATT H	INPUT32
9	EQ	ATT H	ST-IN1L
10	EQ	ATT H	ST-IN1R
11	EQ	ATT H	ST-IN2L
12	EQ	ATT H	ST-IN2R
13	EQ	ATT H	ST-IN3L
14	EQ	ATT H	ST-IN3R
15	EQ	ATT H	ST-IN4L
16	EQ	ATT H	ST-IN4R
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	EQ	ATT L	INPUT25
34	EQ	ATT L	INPUT26
35	EQ	ATT L	INPUT27
36	EQ	ATT L	INPUT28
37	EQ	ATT L	INPUT29
38	EQ	ATT L	INPUT30
39	EQ	ATT L	INPUT31
40	EQ	ATT L	INPUT32
41	EQ	ATT L	ST-IN1L
42	EQ	ATT L	ST-IN1R
43	EQ	ATT L	ST-IN2L
44	EQ	ATT L	ST-IN2R
45	EQ	ATT L	ST-IN3L
46	EQ	ATT L	ST-IN3R
47	EQ	ATT L	ST-IN4L
48	EQ	ATT L	ST-IN4R
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	EQ	HPF ON	INPUT25
65	EQ	HPF ON	INPUT26
66	EQ	HPF ON	INPUT27
67	EQ	HPF ON	INPUT28
68	EQ	HPF ON	INPUT29
69	EQ	HPF ON	INPUT30
70	EQ	HPF ON	INPUT31
71	EQ	HPF ON	INPUT32
72	EQ	HPF ON	ST-IN1
73	EQ	HPF ON	ST-IN2
74	EQ	HPF ON	ST-IN3
75	EQ	HPF ON	ST-IN4
76	NO ASSIGN		
77	NO ASSIGN		
78	NO ASSIGN		
79	NO ASSIGN		
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	EQ	LPF ON	INPUT25
90	EQ	LPF ON	INPUT26
91	EQ	LPF ON	INPUT27
92	EQ	LPF ON	INPUT28
93	EQ	LPF ON	INPUT29
94	EQ	LPF ON	INPUT30
95	EQ	LPF ON	INPUT31
102	EQ	LPF ON	INPUT32
103	EQ	LPF ON	ST-IN1
104	EQ	LPF ON	ST-IN2
105	EQ	LPF ON	ST-IN3
106	EQ	LPF ON	ST-IN4
107	NO ASSIGN		
108	NO ASSIGN		
109	NO ASSIGN		
110	NO ASSIGN		
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

CHANNEL13

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	SURROUND	LFE H	INPUT1
2	SURROUND	LFE H	INPUT2
3	SURROUND	LFE H	INPUT3
4	SURROUND	LFE H	INPUT4
5	SURROUND	LFE H	INPUT5
6	SURROUND	LFE H	INPUT6
7	SURROUND	LFE H	INPUT7
8	SURROUND	LFE H	INPUT8
9	SURROUND	LFE H	INPUT9
10	SURROUND	LFE H	INPUT10
11	SURROUND	LFE H	INPUT11
12	SURROUND	LFE H	INPUT12
13	SURROUND	LFE H	INPUT13
14	SURROUND	LFE H	INPUT14
15	SURROUND	LFE H	INPUT15
16	SURROUND	LFE H	INPUT16
17	SURROUND	LFE H	INPUT17
18	SURROUND	LFE H	INPUT18
19	SURROUND	LFE H	INPUT19
20	SURROUND	LFE H	INPUT20
21	SURROUND	LFE H	INPUT21
22	SURROUND	LFE H	INPUT22
23	SURROUND	LFE H	INPUT23
24	SURROUND	LFE H	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	SURROUND	LFE L	INPUT1
34	SURROUND	LFE L	INPUT2
35	SURROUND	LFE L	INPUT3
36	SURROUND	LFE L	INPUT4
37	SURROUND	LFE L	INPUT5
38	SURROUND	LFE L	INPUT6
39	SURROUND	LFE L	INPUT7
40	SURROUND	LFE L	INPUT8
41	SURROUND	LFE L	INPUT9
42	SURROUND	LFE L	INPUT10
43	SURROUND	LFE L	INPUT11
44	SURROUND	LFE L	INPUT12
45	SURROUND	LFE L	INPUT13
46	SURROUND	LFE L	INPUT14
47	SURROUND	LFE L	INPUT15
48	SURROUND	LFE L	INPUT16
49	SURROUND	LFE L	INPUT17
50	SURROUND	LFE L	INPUT18
51	SURROUND	LFE L	INPUT19
52	SURROUND	LFE L	INPUT20
53	SURROUND	LFE L	INPUT21
54	SURROUND	LFE L	INPUT22
55	SURROUND	LFE L	INPUT23
56	SURROUND	LFE L	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	SURROUND	DIV F	INPUT1
65	SURROUND	DIV F	INPUT2
66	SURROUND	DIV F	INPUT3
67	SURROUND	DIV F	INPUT4
68	SURROUND	DIV F	INPUT5
69	SURROUND	DIV F	INPUT6
70	SURROUND	DIV F	INPUT7
71	SURROUND	DIV F	INPUT8
72	SURROUND	DIV F	INPUT9
73	SURROUND	DIV F	INPUT10
74	SURROUND	DIV F	INPUT11
75	SURROUND	DIV F	INPUT12
76	SURROUND	DIV F	INPUT13
77	SURROUND	DIV F	INPUT14
78	SURROUND	DIV F	INPUT15
79	SURROUND	DIV F	INPUT16
80	SURROUND	DIV F	INPUT17
81	SURROUND	DIV F	INPUT18
82	SURROUND	DIV F	INPUT19
83	SURROUND	DIV F	INPUT20
84	SURROUND	DIV F	INPUT21
85	SURROUND	DIV F	INPUT22
86	SURROUND	DIV F	INPUT23
87	SURROUND	DIV F	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	EQ	ON	INPUT1
90	EQ	ON	INPUT2
91	EQ	ON	INPUT3
92	EQ	ON	INPUT4
93	EQ	ON	INPUT5
94	EQ	ON	INPUT6
95	EQ	ON	INPUT7
102	EQ	ON	INPUT8
103	EQ	ON	INPUT9
104	EQ	ON	INPUT10
105	EQ	ON	INPUT11
106	EQ	ON	INPUT12
107	EQ	ON	INPUT13
108	EQ	ON	INPUT14
109	EQ	ON	INPUT15
110	EQ	ON	INPUT16
111	EQ	ON	INPUT17
112	EQ	ON	INPUT18
113	EQ	ON	INPUT19
114	EQ	ON	INPUT20
115	EQ	ON	INPUT21
116	EQ	ON	INPUT22
117	EQ	ON	INPUT23
118	EQ	ON	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL14

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	SURROUND	LFE H	INPUT25
2	SURROUND	LFE H	INPUT26
3	SURROUND	LFE H	INPUT27
4	SURROUND	LFE H	INPUT28
5	SURROUND	LFE H	INPUT29
6	SURROUND	LFE H	INPUT30
7	SURROUND	LFE H	INPUT31
8	SURROUND	LFE H	INPUT32
9	SURROUND	LFE H	ST-IN1L
10	SURROUND	LFE H	ST-IN1R
11	SURROUND	LFE H	ST-IN2L
12	SURROUND	LFE H	ST-IN2R
13	SURROUND	LFE H	ST-IN3L
14	SURROUND	LFE H	ST-IN3R
15	SURROUND	LFE H	ST-IN4L
16	SURROUND	LFE H	ST-IN4R
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	SURROUND	LFE L	INPUT25
34	SURROUND	LFE L	INPUT26
35	SURROUND	LFE L	INPUT27
36	SURROUND	LFE L	INPUT28
37	SURROUND	LFE L	INPUT29
38	SURROUND	LFE L	INPUT30
39	SURROUND	LFE L	INPUT31
40	SURROUND	LFE L	INPUT32
41	SURROUND	LFE L	ST-IN1L
42	SURROUND	LFE L	ST-IN1R
43	SURROUND	LFE L	ST-IN2L
44	SURROUND	LFE L	ST-IN2R
45	SURROUND	LFE L	ST-IN3L
46	SURROUND	LFE L	ST-IN3R
47	SURROUND	LFE L	ST-IN4L
48	SURROUND	LFE L	ST-IN4R
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	SURROUND	DIV F	INPUT25
65	SURROUND	DIV F	INPUT26
66	SURROUND	DIV F	INPUT27
67	SURROUND	DIV F	INPUT28
68	SURROUND	DIV F	INPUT29
69	SURROUND	DIV F	INPUT30
70	SURROUND	DIV F	INPUT31
71	SURROUND	DIV F	INPUT32
72	SURROUND	DIV F	ST-IN1L
73	SURROUND	DIV F	ST-IN1R
74	SURROUND	DIV F	ST-IN2L
75	SURROUND	DIV F	ST-IN2R
76	SURROUND	DIV F	ST-IN3L
77	SURROUND	DIV F	ST-IN3R
78	SURROUND	DIV F	ST-IN4L
79	SURROUND	DIV F	ST-IN4R
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	EQ	ON	INPUT25
90	EQ	ON	INPUT26
91	EQ	ON	INPUT27
92	EQ	ON	INPUT28
93	EQ	ON	INPUT29
94	EQ	ON	INPUT30
95	EQ	ON	INPUT31
102	EQ	ON	INPUT32
103	EQ	ON	ST-IN1
104	EQ	ON	ST-IN2
105	EQ	ON	ST-IN3
106	EQ	ON	ST-IN4
107	NO ASSIGN		
108	NO ASSIGN		
109	NO ASSIGN		
110	NO ASSIGN		
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

CHANNEL15

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	SURROUND	LR	INPUT1
2	SURROUND	LR	INPUT2
3	SURROUND	LR	INPUT3
4	SURROUND	LR	INPUT4
5	SURROUND	LR	INPUT5
6	SURROUND	LR	INPUT6
7	SURROUND	LR	INPUT7
8	SURROUND	LR	INPUT8
9	SURROUND	LR	INPUT9
10	SURROUND	LR	INPUT10
11	SURROUND	LR	INPUT11
12	SURROUND	LR	INPUT12
13	SURROUND	LR	INPUT13
14	SURROUND	LR	INPUT14
15	SURROUND	LR	INPUT15
16	SURROUND	LR	INPUT16
17	SURROUND	LR	INPUT17
18	SURROUND	LR	INPUT18
19	SURROUND	LR	INPUT19
20	SURROUND	LR	INPUT20
21	SURROUND	LR	INPUT21
22	SURROUND	LR	INPUT22
23	SURROUND	LR	INPUT23
24	SURROUND	LR	INPUT24
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	SURROUND	FR	INPUT1
34	SURROUND	FR	INPUT2
35	SURROUND	FR	INPUT3
36	SURROUND	FR	INPUT4
37	SURROUND	FR	INPUT5
38	SURROUND	FR	INPUT6
39	SURROUND	FR	INPUT7
40	SURROUND	FR	INPUT8
41	SURROUND	FR	INPUT9
42	SURROUND	FR	INPUT10
43	SURROUND	FR	INPUT11
44	SURROUND	FR	INPUT12
45	SURROUND	FR	INPUT13
46	SURROUND	FR	INPUT14
47	SURROUND	FR	INPUT15
48	SURROUND	FR	INPUT16
49	SURROUND	FR	INPUT17
50	SURROUND	FR	INPUT18
51	SURROUND	FR	INPUT19
52	SURROUND	FR	INPUT20
53	SURROUND	FR	INPUT21
54	SURROUND	FR	INPUT22
55	SURROUND	FR	INPUT23
56	SURROUND	FR	INPUT24
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	SURROUND	WIDTH	INPUT1
65	SURROUND	WIDTH	INPUT2
66	SURROUND	WIDTH	INPUT3
67	SURROUND	WIDTH	INPUT4
68	SURROUND	WIDTH	INPUT5
69	SURROUND	WIDTH	INPUT6
70	SURROUND	WIDTH	INPUT7
71	SURROUND	WIDTH	INPUT8
72	SURROUND	WIDTH	INPUT9
73	SURROUND	WIDTH	INPUT10
74	SURROUND	WIDTH	INPUT11
75	SURROUND	WIDTH	INPUT12
76	SURROUND	WIDTH	INPUT13
77	SURROUND	WIDTH	INPUT14
78	SURROUND	WIDTH	INPUT15
79	SURROUND	WIDTH	INPUT16
80	SURROUND	WIDTH	INPUT17
81	SURROUND	WIDTH	INPUT18
82	SURROUND	WIDTH	INPUT19
83	SURROUND	WIDTH	INPUT20
84	SURROUND	WIDTH	INPUT21
85	SURROUND	WIDTH	INPUT22
86	SURROUND	WIDTH	INPUT23
87	SURROUND	WIDTH	INPUT24
88	NO ASSIGN		
89	SURROUND	DEPTH	INPUT1
90	SURROUND	DEPTH	INPUT2
91	SURROUND	DEPTH	INPUT3
92	SURROUND	DEPTH	INPUT4
93	SURROUND	DEPTH	INPUT5
94	SURROUND	DEPTH	INPUT6
95	SURROUND	DEPTH	INPUT7
102	SURROUND	DEPTH	INPUT8
103	SURROUND	DEPTH	INPUT9
104	SURROUND	DEPTH	INPUT10
105	SURROUND	DEPTH	INPUT11
106	SURROUND	DEPTH	INPUT12
107	SURROUND	DEPTH	INPUT13
108	SURROUND	DEPTH	INPUT14
109	SURROUND	DEPTH	INPUT15
110	SURROUND	DEPTH	INPUT16
111	SURROUND	DEPTH	INPUT17
112	SURROUND	DEPTH	INPUT18
113	SURROUND	DEPTH	INPUT19
114	SURROUND	DEPTH	INPUT20
115	SURROUND	DEPTH	INPUT21
116	SURROUND	DEPTH	INPUT22
117	SURROUND	DEPTH	INPUT23
118	SURROUND	DEPTH	INPUT24
119	NO ASSIGN		

CHANNEL16

#	High	Mid	Low
0	NO ASSIGN		
1	SURROUND	LR	INPUT25
2	SURROUND	LR	INPUT26
3	SURROUND	LR	INPUT27
4	SURROUND	LR	INPUT28
5	SURROUND	LR	INPUT29
6	SURROUND	LR	INPUT30
7	SURROUND	LR	INPUT31
8	SURROUND	LR	INPUT32
9	SURROUND	LR	ST-IN1L
10	SURROUND	LR	ST-IN1R
11	SURROUND	LR	ST-IN2L
12	SURROUND	LR	ST-IN2R
13	SURROUND	LR	ST-IN3L
14	SURROUND	LR	ST-IN3R
15	SURROUND	LR	ST-IN4L
16	SURROUND	LR	ST-IN4R
17	NO ASSIGN		
18	NO ASSIGN		
19	NO ASSIGN		
20	NO ASSIGN		
21	NO ASSIGN		
22	NO ASSIGN		
23	NO ASSIGN		
24	NO ASSIGN		
25	NO ASSIGN		
26	NO ASSIGN		
27	NO ASSIGN		
28	NO ASSIGN		
29	NO ASSIGN		
30	NO ASSIGN		
31	NO ASSIGN		
32	NO ASSIGN		
33	SURROUND	FR	INPUT25
34	SURROUND	FR	INPUT26
35	SURROUND	FR	INPUT27
36	SURROUND	FR	INPUT28
37	SURROUND	FR	INPUT29
38	SURROUND	FR	INPUT30
39	SURROUND	FR	INPUT31
40	SURROUND	FR	INPUT32
41	SURROUND	FR	ST-IN1L
42	SURROUND	FR	ST-IN1R
43	SURROUND	FR	ST-IN2L
44	SURROUND	FR	ST-IN2R
45	SURROUND	FR	ST-IN3L
46	SURROUND	FR	ST-IN3R
47	SURROUND	FR	ST-IN4L
48	SURROUND	FR	ST-IN4R
49	NO ASSIGN		
50	NO ASSIGN		
51	NO ASSIGN		
52	NO ASSIGN		
53	NO ASSIGN		
54	NO ASSIGN		
55	NO ASSIGN		
56	NO ASSIGN		
57	NO ASSIGN		
58	NO ASSIGN		

#	High	Mid	Low
59	NO ASSIGN		
60	NO ASSIGN		
61	NO ASSIGN		
62	NO ASSIGN		
63	NO ASSIGN		
64	SURROUND	WIDTH	INPUT25
65	SURROUND	WIDTH	INPUT26
66	SURROUND	WIDTH	INPUT27
67	SURROUND	WIDTH	INPUT28
68	SURROUND	WIDTH	INPUT29
69	SURROUND	WIDTH	INPUT30
70	SURROUND	WIDTH	INPUT31
71	SURROUND	WIDTH	INPUT32
72	SURROUND	WIDTH	ST-IN1L
73	SURROUND	WIDTH	ST-IN1R
74	SURROUND	WIDTH	ST-IN2L
75	SURROUND	WIDTH	ST-IN2R
76	SURROUND	WIDTH	ST-IN3L
77	SURROUND	WIDTH	ST-IN3R
78	SURROUND	WIDTH	ST-IN4L
79	SURROUND	WIDTH	ST-IN4R
80	NO ASSIGN		
81	NO ASSIGN		
82	NO ASSIGN		
83	NO ASSIGN		
84	NO ASSIGN		
85	NO ASSIGN		
86	NO ASSIGN		
87	NO ASSIGN		
88	NO ASSIGN		
89	SURROUND	DEPTH	INPUT25
90	SURROUND	DEPTH	INPUT26
91	SURROUND	DEPTH	INPUT27
92	SURROUND	DEPTH	INPUT28
93	SURROUND	DEPTH	INPUT29
94	SURROUND	DEPTH	INPUT30
95	SURROUND	DEPTH	INPUT31
102	SURROUND	DEPTH	INPUT32
103	SURROUND	DEPTH	ST-IN1L
104	SURROUND	DEPTH	ST-IN1R
105	SURROUND	DEPTH	ST-IN2L
106	SURROUND	DEPTH	ST-IN2R
107	SURROUND	DEPTH	ST-IN3L
108	SURROUND	DEPTH	ST-IN3R
109	SURROUND	DEPTH	ST-IN4L
110	SURROUND	DEPTH	ST-IN4R
111	NO ASSIGN		
112	NO ASSIGN		
113	NO ASSIGN		
114	NO ASSIGN		
115	NO ASSIGN		
116	NO ASSIGN		
117	NO ASSIGN		
118	NO ASSIGN		
119	NO ASSIGN		

MIDIデータフォーマット

1. DATA FORMAT

1.1 CHANNEL MESSAGE

Command	rx/tx	function
8n NOTE OFF	rx	内蔵エフェクトのコントロール
9n NOTE ON	rx	内蔵エフェクトのコントロール
Bn CONTROL CHANGE	rx/tx	パラメーターのコントロール
Cn PROGRAM CHANGE	rx/tx	シーンメモリーの切り替え

1.2 SYSTEM COMMON MESSAGE

Command	rx/tx	function
F1 MIDI TIME CODE QUARTER FRAME	rx	MTC

1.3 SYSTEM REALTIME MESSAGE

Command	rx/tx	function
F8 TIMING CLOCK	rx	MIDIクロック
FE ACTIVE SENSING	rx	MIDIケーブルの接続チェック
FF RESET	rx	ランニングステータスのクリア

1.4 EXCLUSIVE MESSAGE

1.4.1 Real Time System Exclusive

Command	rx/tx	function
F0 7F dd 06 ... F7 MMC COMMAND	tx	MMCコマンド
F0 7F dd 07 ... F7 MMC RESPONSE	rx	MMCレスポンス
F0 7F dd 01 ... F7 MIDI TIME CODE	rx	MTCフルメッセージ

1.4.2 System Exclusive Message

1.4.2.1 Bulk Dump

Command	rx/tx	function
F0 43 0n 7E ... F7 BULK DUMP DATA	rx/tx	BULK DUMP DATA
F0 43 2n 7E ... F7 BULK DUMP REQUEST	rx/tx	BULK DUMP REQUEST

01V96がBulk Dumpで扱うDATA TYPEは以下のとおりです。

Data name	tx/rx	function
'm'	tx/rx	Scene Memory & Request (圧縮データ)
'S'	tx/rx	Setup Memory & Request
'L'	tx/rx	User defined MIDI remote & Request
'V'	tx/rx	User defined keys & Request
'U'	tx/rx	User assignable layer & Request
'C'	tx/rx	Control change table & Request
'P'	tx/rx	Program change table & Request
'Q'	tx/rx	Equalizer library & Request
'Y'	tx/rx	Compressor library & Request
'G'	tx/rx	Gate library & Request
'E'	tx/rx	Effect library & Request
'H'	tx/rx	Channel library & Request
'R'	tx/rx	Input patch library & Request
'O'	tx/rx	Output patch library & Request
'N'	tx/rx	Plug-in Effect Card Data & Request

1.4.2.2 PARAMTER CHANGE

Command	rx/tx	function
F0 43 1n 3E 0D ... F7 RARAMETER CHANGE	rx/tx	01V96専用パラメーターチェンジ
F0 43 3n 3E 0D ... F7 PARAMETER REQUEST	rx/tx	01V96専用パラメーターリクエスト
F0 43 1n 3E 7F ... F7 PARAMETER CHANGE	rx/tx	デジタルミキサー汎用パラメーターチェンジ
F0 43 3n 3E 7F ... F7 PARAMETER REQUEST	rx/tx	デジタルミキサー汎用パラメーターリクエスト

01V96がParameter Changeで扱うDATA TYPEは以下のとおりです。

Type (HEX)	tx/rx	function
1 (01)	tx/rx	Edit buffer
2 (02)	tx/rx	Patch data
3 (03)	tx/rx	Setup data
4 (04)	tx/rx	Backup data
16 (10)	tx/rx	Function (recall, store, title, clear)
17 (11)	rx	Function (pair, copy)
18 (12)	rx	Function (effect)
19 (13)	tx/rx	Sort table
20 (14)	tx/rx	Function (attribute, link)
32 (20)	rx	Key remote
33 (21)	tx/rx	Remote meter
34 (22)	tx/rx	Remote time counter

*** txは01V96本体から送信可能、rxは01V96本体で受信可能の意味です。**

2. Format詳細

2.1 NOTE OFF (8n)

《 受信 》

[OTHER ECHO]がONの場合はMIDI OUTにECHOします。

[Rx CH]が一致した場合に受信しEffectの制御に使用されます。

STATUS	1000nnnn	8n	Note off message
DATA	0nnnnnnn	nn	Note number
	0vvvvvvv	vv	Velocity(ignored)

2.2 NOTE ON (9n)

《 受信 》

[OTHER ECHO]がONの場合はMIDI OUTにECHOします。

[Rx CH]が一致した場合に受信しEffectの制御に使用されます。

STATUS	1001nnnn	9n	Note on message
DATA	0nnnnnnn	nn	Note number
	0vvvvvvv	vv	Velocity(1-127:on, 0:off)

2.3 CONTROL CHANGE (Bn)

《 受信 》

[Control Change ECHO]がONの場合はMIDI OUTにECHOします。

[TABLE]が選択されている場合、[Control Change Rx]がONで受信し、[Control assign table]の設定にしたがって、パラメーターを制御します。設定できるパラメーターは、CONTROL CHANGE ASSIGN PARAMETER LISTに規定します。

また[NRPN]が選択されている場合は、[Control Change Rx]がONで[Rx CH]が一致した場合に受信し、NRPNのコントロール番号(62h、63h)とDATA ENTRYのコントロール番号(06h、26h)の4つのメッセージを使い、決められたパラメーターをコントロールします。パラメーターの設定はCONTROL CHANGE ASSIGN PARAMETER LISTに規定します。

《 送信 》

[TABLE]が選択されている場合、[Control assign table]で設定されているパラメーターを操作したときに[Control Change Tx]がONであれば送信します。設定できるパラメーターは、CONTROL CHANGE ASSIGN PARAMETER LISTに規定します。

また[NRPN]が選択されている場合は、決められたパラメーターを操作したときに[Control Change Tx]がONであれば[Tx CH]のチャンネルでNRPNのコントロール番号(62h、63h)とDATA ENTRYのコントロール番号(06h、26h)の4つのメッセージを使い送信します。パラメーターの設定はCONTROL CHANGE ASSIGN PARAMETER LISTに規定します。

なお、Studio ManagerへはTABLE等の内容が一致している保証がないためControl Changeを使った送信は行ないません(常にParameter Changeが用いられます)。

[TABLE]を選択した場合

STATUS	1011nnnn	Bn	Control change
DATA	0nnnnnnn	nn	Control number (0-95, 102-119)
	0vvvvvvv	vv	Control Value (0-127)

[NRPN]を選択した場合

STATUS	1011nnnn	Bn	Control change
DATA	01100010	62	NRPN LSB
	0vvvvvvv	vv	パラメーター番号のLSB
STATUS	1011nnnn	Bn	Control change *1
DATA	01100011	63	NRPN MSB
	0vvvvvvv	vv	パラメーター番号のMSB
STATUS	1011nnnn	Bn	Control change *1
DATA	00000110	06	データエントリのMSB
	0vvvvvvv	vv	パラメーターデータのMSB
STATUS	1011nnnn	Bn	Control change *1
DATA	00100110	26	データエントリのLSB
	0vvvvvvv	vv	パラメーターデータのLSB

***1) 2番目以降のSTATUSは送信時には特につける必要はありません。また、受信時はあってもなくても受信するようにしてください。**

2.4 PROGRAM CHANGE (Cn)

《 受信 》

[Program Change ECHO]がONの場合にはMIDI OUTにECHOします。

[Program Change RX]がONで、[Rx CH]が一致した場合に受信します。ただし[OMNI]がONの場合にはチャンネルに関わらず受信します。受信したら[Program Change Table]の設定に従って、Scene Memoryをリコールします。

《 送信 》

[Program Change TX]がONであれば、Scene Memoryがリコールされたときに[Program Change Table]の設定に従って、[Tx CH]のチャンネルで送信します。

リコールしたSceneが複数のProgram numberに割り当てられている場合は、一番小さいProgram numberで送信します。

なお、Studio ManagerへはTABLE等の内容が一致している保証がないためProgram Changeを使った送信は行ないません（常にParameter Changeが用いられます）。

STATUS	1100nnnn	Cn	Program change
DATA	0nnnnnnn	nn	Program number (0-127)

2.5 TIMING CLOCK (F8)

《 受信 》

EFFECTの制御に使われます。4分音符あたり24回送信されます。

STATUS	11111000	F8	Timing clock

2.6 ACTIVE SENSING (FE)

《 受信 》

受信後400ms以内に何も受信しなかった場合は、Running Statusのクリアなど MIDIの通信を初期化します。

STATUS	11111110	FE	Active sensing

2.7 SYSTEM RESET (FF)

《 受信 》

受信した場合、Running Statusのクリアなど MIDIの通信を初期化します。

STATUS	11111111	FF	System reset

2.8 SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE (F0)

2.8.1 MIDI MACHINE CONTROL (MMC)

本体のMACHINE CONTROL SECTIONを操作したときに送信されます。

2.8.2 BULK DUMP

本体内に記憶された各種メモリーの内容を入出力します。

基本フォーマットは以下のようになります。

DUMP DATAの場合

```
F0 43 0n 7E cc cc <Model ID> tt mm mm [Data …] cs F7
```

DUMP REQUESTの場合

```
F0 43 2n 7E <Model ID> tt mm mm F7
```

n	Device Number
cc cc	DATA COUNT （これ以降CHECK SUMの前までのByte数）
4C 4D 20 20 38 43 39 33	Model ID
tt	DATA TYPE
mm mm	DATA NUMBER
cs	CHECK SUM

01V96かどうかは固有のヘッダー（Model ID）で認識します。

CHECK SUMは、BYTE COUNT(LOW)の後からCHECK SUMの前までを足して2の補数をとり、bit7を0として計算します。

```
CHECK SUM = (-sum)&0x7F
```

《 受信 》

[Bulk RX]がONで、[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致した場合に受信します。

BULK DUMPを受信すると、直ちに指定されたメモリーに書き込まれます。

BULK DUMP REQUESTを受信すると、直ちにBULK DUMPを送信します。

《 送信 》

[MIDI]-[BULK DUMP]画面にてキー操作によって、[Tx CH]のチャンネルで送信します。

BULK DUMP REQUESTに対しては、[Rx CH]のチャンネルで、BULK DUMPを送信します。

データ部分は、8bits data×7wordsを7bits data×8wordsに変換した形で取り扱います。

[実データからBULKデータへの変換]

```
d[0~6]: 実データ
b[0~7]: BULKデータ
b[0] = 0;
for( i=0; i<7; i++){
    if( d[i]&0x80){
        b[0] |= 1<<(6-i);
    }
    b[i+1] = d[i]&0x7F;
}
```

[BULKデータから実データへの還元]

```
d[0~6]: 実データ
b[0~7]: BULKデータ
for( i=0; i<7; i++){
    b[0] <<= 1;
    d[i] = b[i+1]+(0x80&b[0]);
}
```

2.8.2.1 Scene memory bulk dump format(compress)

01V96ではSCENE MEMORYを圧縮した形で送受信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01101101	6D	'm'
	0mmmmmmm	mh	m=0-99, 256, 8192(Scene0-99, EDIT BUFFER, UNDO)
	0mmmmmmm	ml	Receive is effective 1-99, 256, 8192
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Scene data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.2 Scene memory bulk dump request format (compress)

DATA NAMEの2、3バイト目は要求するシーンの番号を示します。ここが256の場合はEDIT BUFFERのデータを、8192の場合はUNDO BUFFERのデータをバルクダンプします。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01101101	6D	'm'
	0mmmmmmm	mh	m=0-99, 256, 8192(Scene0-99, EDIT BUFFER, UNDO)
	0mmmmmmm	ml	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.3 Setup memory bulk dump format

01V96のSetup memoryのうちUser Defined MIDI Remote、User Defined Keys、User Assignable Layer、Control Change Table、Program Change Table以外のデータをバルクダンプします。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010011	53	'S'
	00000010	02	
	00000000	00	No.256 = Current
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Setup data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.4 Setup memory bulk dump request format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010011	53	'S'
	00000010	02	
	00000000	00	No.256 = Current
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.5 User Defined MIDI Remote bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目はBANKの番号を示します。

送信先で同じBANKが使用されている場合は状態が変わることがありますのでご注意ください。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001100	4C	'L'
	00000000	00	
	0bbbbbbb	bb	b=0-3(bank no.1-4)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	User define layer data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.6 User Defined MIDI Remote bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目はBANKの番号を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '

	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001100	4C	'L'
	00000000	00	
	0bbbbbbb	bb	b=0-3(bank no.1-4)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.7 User Defined Keys bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目はBANKの番号を示します。

送信先で同じBANKが使用されている場合は状態が変わることがありますのでご注意ください。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010110	56	'V'
	00000000	00	
	0bbbbbbb	bb	b=0-7(bank no.A-H)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	User define key data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.8 User Defined Keys bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目はBANKの番号を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010110	56	'V'
	00000000	00	
	0bbbbbbb	bb	b=0-7(bank no.A-H)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.9 User Assignable Layer bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目はBANKの番号を示します。

送信先で同じBANKが使用されている場合は状態が変わることがありますのでご注意ください。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010101	55	'U'
	00000000	00	
	0bbbbbbb	bb	b=0-3(bank no.1-4)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	User assignable layer data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.10 User Assignable Layer bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目はBANKの番号を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010101	55	'U'
	00000000	00	
	0bbbbbbb	bb	b=0-3(bank no.1-4)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.11 Control change table bulk dump format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01000011	43	'C'
	00000010	02	
	00000000	00	No.256 = Current
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Control change table data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.12 Control change table bulk dump request format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01000011	43	'C'
	00000010	02	
	00000000	00	No.256 = Current
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.13 Program change table bulk dump format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010000	50	'P'
	00000010	02	
	00000000	00	No.256 = Current
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Program change table data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.14 Program change table bulk dump request format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010000	50	'P'
	00000010	02	
	00000000	00	No.256 = Current
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.15 Equalizer library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.1 – 199:Library no.200,
256:CH1 – 287:CH32, 288:STEREO 1L – 295:STEREO 4R, 384:BUS1 – 391:BUS8, 512:AUX1 – 519:AUX8, 768:STEREO, 8192:UNDO
256以降はEDIT BUFFERの該当チャンネルのデータです。
また、本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(40-199、256-)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010001	51	'Q'
	0mmmmmmm	mh	0-199(EQ Library no.1-200),
	0mmmmmmm	ml	256-(Channel current data)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	EQ Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.16 Equalizer library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010001	51	'Q'
	0mmmmmmm	mh	0-199(EQ Library no.1-200),
	0mmmmmmm	ml	256-(Channel current data)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.17 Compressor library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.1 – 127:Library no.128,
256:CH1 – 287:CH32, 384:BUS1 – 391:BUS8, 512:AUX1 – 519:AUX8, 768:STEREO, 8192:UNDO
256以降はEDIT BUFFERの該当チャンネルのデータです。
また、本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(36-127、256-)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '

	00111000	38	‘8’
	01000011	43	‘C’
	00111001	39	‘9’
	00110011	33	‘3’
DATA NAME	01011001	59	‘Y’
	0mmmmmmm	mh	0-127(COMP Library no.1-128),
	0mmmmmmm	ml	256-(Channel current data)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	COMP Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert(‘L’+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.18 Compressor library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture’s ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	‘L’
	01001101	4D	‘M’
	00100000	20	‘ ’
	00100000	20	‘ ’
	00111000	38	‘8’
	01000011	43	‘C’
	00111001	39	‘9’
	00110011	33	‘3’
DATA NAME	01011001	59	‘Y’
	0mmmmmmm	mh	0-127(COMP Library no.1-128),
	0mmmmmmm	ml	256-(Channel current data)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.19 Gate library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.1 – 127:Library no.128, 256:CH1 – 287:CH32, 8192:UNDO
256以降はEDIT BUFFERの該当チャンネルのデータです。
また、本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(4-127、256-)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture’s ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	‘L’
	01001101	4D	‘M’
	00100000	20	‘ ’
	00100000	20	‘ ’
	00111000	38	‘8’
	01000011	43	‘C’
	00111001	39	‘9’
	00110011	33	‘3’
DATA NAME	01000111	47	‘G’
	0mmmmmmm	mh	0-127(GATE Library no.1-128),
	0mmmmmmm	ml	256-351(Channel current data)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	GATE Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert(‘L’+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.20 Gate library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture’s ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	‘L’
	01001101	4D	‘M’
	00100000	20	‘ ’
	00100000	20	‘ ’
	00111000	38	‘8’
	01000011	43	‘C’
	00111001	39	‘9’
	00110011	33	‘3’
DATA NAME	01000111	47	‘G’
	0mmmmmmm	mh	0-127(GATE Library no.1-128),
	0mmmmmmm	ml	256-351(Channel current data)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.21 Effect library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.1 – 127:Library no.128, 256:EFFECT1 – 259:EFFECT4, 8192:UNDO
256-259はEDIT BUFFERの該当エリアのデータです。
また、本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(xx-127、256-259、8192)(xxはファームウェアのバージョンによって異なります)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture’s ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	‘L’
	01001101	4D	‘M’
	00100000	20	‘ ’
	00100000	20	‘ ’
	00111000	38	‘8’
	01000011	43	‘C’
	00111001	39	‘9’
	00110011	33	‘3’
DATA NAME	01000101	45	‘E’
	0mmmmmmm	mh	0-127(Effect Library no.1-128),
	0mmmmmmm	ml	256-259(Effect1-4 current)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Effect Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert(‘L’+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.22 Effect library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture’s ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	‘L’
	01001101	4D	‘M’
	00100000	20	‘ ’
	00100000	20	‘ ’
	00111000	38	‘8’
	01000011	43	‘C’
	00111001	39	‘9’
	00110011	33	‘3’
DATA NAME	01000101	45	‘E’
	0mmmmmmm	mh	0-127(Effect Library no.1-128),
	0mmmmmmm	ml	256-259(Effect1-4 current)

EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.23 Channel library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.0 – 128:Library no.128,
256:CH1 – 287:CH32, 288:STEREO 1L – 295:STEREO 4R, 384:BUS1 – 391:BUS8, 512:AUX1 – 519:AUX8, 768:STEREO, 8192:UNDO
256以降はEDIT BUFFERの該当チャンネルのデータです。
また、本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(2-128、256-)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001000	48	'H'
	0mmmmmmm	mh	0-128(Channel Library no.0-128),
	0mmmmmmm	ml	256-(Current data)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Channel Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.24 Channel library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001000	48	'H'
	0mmmmmmm	mh	0-128(Channel Library no.0-128),
	0mmmmmmm	ml	256-(Current data)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.25 Input patch library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.0 – 32:Library no.32, 256:current input patch data, 8192:UNDO
本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(1-32、256、8192)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010010	52	'R'
	0mmmmmmm	mh	0-32(Input patch Library no.0-32),
	0mmmmmmm	ml	256(Current data)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Input patch Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.26 Input patch library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01010010	52	'R'
	0mmmmmmm	mh	0-32(Input patch Library no.0-32),
	0mmmmmmm	ml	256(Current data)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.27 Output patch library bulk dump format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号を示します。
0:Library no.0 – 32:Library no.32, 256:current output patch data, 8192:UNDO
本体での受信はユーザーエリアのみ有効となります。(1-32、256)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001111	4F	'O'
	0mmmmmmm	mh	0-32(Output patch Library no.0-32),
	0mmmmmmm	ml	256(Current data)
BLOCK INFO.	0ttttttt	tt	total block number(minimum number is 0)
	0bbbbbbb	bb	current block number(0-total block number)
DATA	0ddddddd	ds	Output patch Library data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.28 Output patch library bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でライブラリーの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001111	4F	'O'
	0mmmmmmm	mh	0-32(Output patch Library no.0-32),
	0mmmmmmm	ml	256(Current data)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.29 Plug-in effect card bulk dump format

DATA NAMEの2バイト目でSLOTの番号を示します。
0:SLOT 1
Developer IDとProduct IDが実装されているSLOTと異なる場合は受信しません。
また、有効なPlug-in effect cardが挿入されていない場合は送信しません。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0000nnnn	0n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
COUNT HIGH	0ccccccc	ch	data count = ch * 128 + cl
COUNT LOW	0ccccccc	cl	
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001110	4E	'N'
	0mmmmmmm	mh	m=0(SLOT 1)
	0mmmmmmm	ml	
BLOCK INFO.	0bbbbbbb	bh	current block number(0-total block number)
	0bbbbbbb	bl	
	0ttttttt	th	total block number(minimum number is 0)
	0ttttttt	tl	
	0000iiii	0i	Developer id (High)
	0000iiii	0i	Developer id (Low)
	0000jjjj	0j	Product id (High)
	0000jjjj	0j	Product id (Low)
DATA	0ddddddd	ds	Plug-in Effect card memory data of block[bb]
	:	:	
	0ddddddd	de	
CHECK SUM	0eeeeeee	ee	ee=(Invert('L'+…+de)+1)&0x7F
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.2.30 Plug-in effect card bulk dump request format

DATA NAMEの2、3バイト目でSLOTの番号(前項参照)を示します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0010nnnn	2n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
FORMAT No.	01111110	7E	Universal bulk dump
	01001100	4C	'L'
	01001101	4D	'M'
	00100000	20	' '
	00100000	20	' '
	00111000	38	'8'
	01000011	43	'C'
	00111001	39	'9'
	00110011	33	'3'
DATA NAME	01001110	4E	'N'
	0mmmmmmm	mh	m=0(SLOT 1)
	0mmmmmmm	ml	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3 PARAMETER CHANGE

2.8.3.1 Basic behavior

《 受信 》
[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。
[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。Parameter change受信時は指定のパラメーターを制御し、Parameter request受信時は指定パラメーターの現在値をDevice Numberを[Rx CH]にしたParameter changeで送信します。

《 送信 》
[Parameter change TX]がONで、Control change送信が有効になっていないパラメーターが変更された場合、[Tx CH]をDevice numberにしたParameter changeで送信します。
Parameter requestに対する応答として[Rx CH]をDevice NumberにしたParameter changeで送信します。

2.8.3.1.1 Parameter change basic format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	0ttttttt	tt	Data type
	0eeeeeee	ee	Element no. (eeが0ときはeeは2byte拡張される)
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
DATA *)	0ddddddd	dd	data
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

***) データサイズが2以上のパラメーターはそのサイズ分データを送信します。**

2.8.3.1.2 Parameter Change basic format (Universal format)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111	7F	Universal
ADDRESS	0ttttttt	tt	Data type
	0eeeeeee	ee	Element no. (eeが0ときはeeは2byte拡張される)
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
DATA *)	0ddddddd	dd	data
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

***) データサイズが2以上のパラメーターはそのサイズ分データを送信します。**

2.8.3.1.3 Parameter request basic format

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	0ttttttt	tt	Data type
	0eeeeeee	ee	Element no. (eeが0ときはeeは2byte拡張される)

	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.1.4 Parameter request basic format (Universal format)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111	7F	Universal
ADDRESS	0ttttttt	tt	Data type
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.1.5 Parameter Address

詳細な番号割り当てについてはヤマハ株式会社にお問い合わせください。

2.8.3.2 Parameter change (Edit buffer)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111	7F	Universal
ADDRESS	00000001	01	Edit Buffer
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
DATA	0ddddddd	dd	data
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.3 Parameter request (Edit buffer)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111	7F	Universal
ADDRESS	00000001	01	Edit Buffer
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.4 Parameter change (Patch data)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00000010	02	Patch data
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
DATA	0ddddddd	dd	data
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.5 Parameter request (Patch data)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00000010	02	Patch data
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.6 Parameter change (Setup memory)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00000011	03	Setup data
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
DATA	0ddddddd	dd	data
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.7 Parameter request (Setup memory)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00000011	03	Setup data
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.8 Parameter change (Backup memory)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00000100	04	Backup data
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
DATA	0ddddddd	dd	data
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.9 Parameter request (Backup memory)

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00000100	04	Backup data
	0eeeeeee	ee	Element no. （eeが0ときはeeは2byte拡張される）
	0ppppppp	pp	Parameter no.
	0ccccccc	cc	Channel no.
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.10 Parameter change (Function call: Library store / recall)

《 受信 》
受信しだい、指定のmemory/libraryのstore/recallを実行します。Studio ManagerまたはCascade Linkから受信した場合には実行後、実行結果をParameter responseで送信します。

《 送信 》
[Parameter change Tx]がONでProgram change送信が有効でないmemory/libraryをstore/recallで実行した場合、Device Numberを[Tx CH]にして送信します。

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010000 10	Function call
	00ffffff ff	function
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
DATA	0ccccccc ch	channel High
	0ccccccc cl	channel Low
EOX	11110111 F7	End of exclusive

function		number	channel*1)	tx/rx
SCENE RECALL	0x00	0-99, 8192	256	tx/rx
EQ LIB RECALL	0x01	1-200, 8192	0-513	tx/rx
GATE LIB RECALL	0x02	1-128, 8192	0-95	tx/rx
COMP LIB RECALL	0x03	1-128, 8192	0-513	tx/rx
EFF LIB RECALL	0x04	1-128, 8192	0-3	tx/rx
CHANNEL LIB RECALL	0x06	0-128, 8192	0-513	tx/rx
INPATCH LIB RECALL	0x07	0-32, 8192	256	tx/rx
OUTPATCH LIB RECALL	0x08	0-32, 8192	256	tx/rx
SCENE STORE	0x20	1-99	256, 16383	tx/rx
EQ LIB STORE	0x21	41-200	0-513, 16383	tx/rx
GATE LIB STORE	0x22	5-128	0-31, 16383	tx/rx
COMP LIB STORE	0x23	37-128	0-513, 16383	tx/rx
EFF LIB STORE	0x24	xx(*2)-128	0-3, 16383	tx/rx
CHANNEL LIB STORE	0x26	1-128	0-513, 16383	tx/rx
INPATCH LIB STORE	0x27	1-32	256, 16383	tx/rx
OUTPATCH LIB STORE	0x28	1-32	256, 16383	tx/rx

*1) 0:CH1 – 31:CH32, 32:ST-IN1L - 39:ST-IN4R, 128:BUS1 – 135:BUS8, 256:AUX1 – 263:AUX8, 512:STEREO

リコール先またはストアの元データが1つのものは256を使う
Effectは0:Effect1-3:Effect4
また、STORE先が16383（0x3FFF）の場合は、外部要因（BULK受信など）によってライブラリーデータが変更された場合を示します。（本機から送信のみ）

***2) ファームウェアのバージョンによって異なります。**

2.8.3.11 Parameter change (Function call: title)

《 受信 》
受信しだい、指定のmemory/libraryのtitleを変更します。Studio ManagerまたはCascade Linkから受信した場合には実行後、実行結果をParameter responseで送信します。

《 送信 》
リクエストに対して、Device numberを[Rx CH]にしてを送信します。

本機上でtitle変更が行なわれた場合、Device numberを[Tx CH]にして送信します。

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010000 10	Function call
	0100ffff 4f	title
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
DATA	0ddddddd dd	title 1
	: :	:
	0ddddddd dd	title x(depend on the library)
EOX	11110111 F7	End of exclusive

function		number	size
SCENE LIB TITLE	0x40	0-99,256(0:response only)	16
EQ LIB TITLE	0x41	1-200(1-40:response only)	16
GATE LIB TITLE	0x42	1-128(1-4:response only)	16
COMP LIB TITLE	0x43	1-128(1-36:response only)	16
EFF LIB TITLE	0x44	1-128(1-xx(*1):response only)	16
CHANNEL LIB TITLE	0x46	0-128(0:response only)	16
INPATCH LIB TITLE	0x47	0-32(0:response only)	16
OUTPATCH LIB TITLE	0x48	0-32(0:response only)	16

***1) ファームウェアのバージョンによって異なります。**

2.8.3.12 Parameter request (Function call: title)

《 受信 》
受信しだい、Device numberを[Rx CH]にしてParameter changeを送信します。

Function、numberは前項の表を参照

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn 3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010000 10	Function call
	0100ffff 4f	title
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
EOX	11110111 F7	End of exclusive

2.8.3.13 Parameter change (Function call: Scene/Library Clear)

《 受信 》
受信しだい、指定のmemory/libraryをクリアします。Studio ManagerまたはCascade Linkから受信した場合には実行後、実行結果をParameter responseで送信します。

《 送信 》
本機上でmemory/libraryのクリアが行なわれた場合、Device numberを[Tx CH]にして送信します。

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010000 10	Function call
	0110ffff 6f	clear function
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
EOX	11110111 F7	End of exclusive

function		number
SCENE LIB CLEAR	0x60	1-99
EQ LIB CLEAR	0x61	41-200
GATE LIB CLEAR	0x62	5-128
COMP LIB CLEAR	0x63	37-128
EFF LIB CLEAR	0x64	xx-128 (*1)
CHANNEL LIB CLEAR	0x66	1-128
INPATCH LIB CLEAR	0x67	1-32
OUTPATCH LIB CLEAR	0x68	1-32

***1) ファームウェアのバージョンによって異なります。**

2.8.3.14 Parameter change (Function call: attribute)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、指定のmemory/libraryのattributeを変更します。

《 送信 》

リクエストに対して、[Rx CH]のチャンネルで、Parameter change messageを送信します。

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010100 14	Function call
	0000ffff 0f	attribute
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
DATA	0ttttttt tt	attribute(protect:0x0001, normal:0x0000)
	0ttttttt tt	
EOX	11110111 F7	End of exclusive

function		number
SCENE LIB ATTRIBUTE	0x00	0-99(0:response only)

2.8.3.15 Parameter request (Function call: attribute)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、[Rx CH]のチャンネルで、Parameter change messageを送信します。

Function、numberは前項の表を参照

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn 3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010100 14	Function call
	0000ffff 0f	attribute
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
EOX	11110111 F7	End of exclusive

2.8.3.16 Parameter change (Function call: link)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、指定のsceneのpatch link情報を変更します。

《 送信 》

リクエストに対して、[Rx CH]のチャンネルで、Parameter change messageを送信します。

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010100 14	Function call
	0010ffff 2f	link
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
DATA	0iiiiiii ih	inpatch
	0iiiiiii il	
	0ooooooo oh	outpatch
	0ooooooo ol	
EOX	11110111 F7	End of exclusive

function		number
SCENE LIB LINK	0x20	0-99(0:response only)

2.8.3.17 Parameter request (Function call: link)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、[Rx CH]のチャンネルで、Parameter change messageを送信します。

Function、numberは前項の表を参照

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn 3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010100 14	Function call
	0010ffff 2f	link
	0mmmmmmm mh	number High
	0mmmmmmm ml	number Low
EOX	11110111 F7	End of exclusive

2.8.3.18 Parameter change (Function call: pair, copy)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、指定のCHANNELのPAIR設定・解除を行ないます。

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal
ADDRESS	00010001 11	Function call Pair
	0000ffff 0f	function
	0sssssss sh	Source channel H
	0sssssss sl	Source channel L
DATA	0ddddddd dh	Destination channel H
	0ddddddd dl	Destination channel L
EOX	11110111 F7	End of exclusive

function		channel
PAIR ON with COPY	0x00	*1)
PAIR ON with RESET BOTH	0x01	*1)
PAIR OFF	0x02	*1)

*1) 0:CH1 – 31:CH32, 128:BUS1 – 135:BUS8, 256:AUX1 – 263:AUX8, 512:STEREO
Effectは0:Effect1 - 3:Effect4

- **PAIRの場合は必ずPAIR可能なCHANNELを設定してください。**
- **PAIR ON with COPYの場合はコピー元をSource Channel、コピー先をDestination Channelに設定してください。**

2.8.3.19 Parameter change (Function call Event: Effect)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、該当するエフェクトの機能が動作します。(エフェクトタイプによる)

STATUS	11110000 F0	System exclusive message
ID No.	01000011 43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110 3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	01111111 7F	Universal

ADDRESS	00010010	12	Function call Effect Event
	0000ffff	0f	function
	00000000	00	
	0ppppppp	pp	Release:0, Press:1
DATA	00000000	00	
	0eeeeeee	ee	Effect number (0:Effect1 - 3:Effect4)
EOX	11110111	F7	End of exclusive

function		channel
Freeze Play button	0x00	0:Effect1-3:Effect4
Freeze Record button	0x01	0:Effect1-3:Effect4

• Effect Typeが異なるときは機能しません

2.8.3.20 Parameter change (Sort Table)

本体でシーンメモリーのソートが実行された場合、Studio Managerに対してメモリーソートテーブルの送信を行ないます。

Studio Managerはこのデータにしたがって、メモリーのソートを行ないます。

Studio Managerでシーンメモリーのソートを行なった場合はこのデータを本体に送信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00010011	13	Library sort table
	0000ffff	0f	Library type
DATA	0ddddddd	ds	Data
	:	:	
	0ddddddd	de	Data
EOX	11110111	F7	End of exclusive

Data部分はBulkと同様に8-7変換されています。

2.8.3.21 Parameter request (Sort Table)

本体はこのデータを受信したらSort Table Data を送信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00010011	13	Library sort table
	0000ffff	0f	Library type
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.22 Parameter change (Key remote)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、Addressで指定されたキーを押した(離した)場合と同様の処理を行ないます。

《 送信 》

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00100000	20	Key remote
	0kkkkkkk	kk	Key address H
	0kkkkkkk	kk	Key address M
	0kkkkkkk	kk	Key address L
DATA	0ppppppp	pp	Release:0, Press:1
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.23 Parameter change (Remote Meter)

Remote meterのRequestを受信することによって送信がenableになると、指定されたメーター情報を50msecごとに10秒間送信します。連続してメーターの情報を送信させたい場合は、最低10秒以内の間隔でRequestを送り続ける必要があります。

《 受信 》

[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

《 送信 》

Requestによって送信がenableになると、Addressで指定されたメーターの情報を、50msecごとに[Rx CH]のチャンネルで10秒間送信します。

電源を入れ直したときや、PORTの設定を変更した場合には、送信はdisableになります。

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00100001	21	Remote meter
	0mmmmmmm	mm	ADDRESS UL
	0mmmmmmm	mm	ADDRESS LU
	0mmmmmmm	mm	ADDRESS LL
DATA	0ddddddd	dd	Data1 H
	0ddddddd	dd	Data1 L
	:	:	
EOX	11110111	F7	End of exclusive

*** meterのデータはDSPのDECAYの値をそのまま使用します。値の解釈はパラメーターによります。**

2.8.3.24 Parameter request (Remote Meter)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、Addressで指定されたメーターの情報を[Rx CH]のチャンネルで、原則50msec毎(他の通信によってポートが使用中の場合にはこの限りではありません)に10秒間送信します。

また、Address UL= 0x7Fで受信したら直ちに全メーターデータの送信を停止します。(disable)

《 送信 》

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00100001	21	Remote meter
	0mmmmmmm	mm	ADDRESS UL
	0mmmmmmm	mm	ADDRESS LU
	0mmmmmmm	mm	ADDRESS LL
	0ccccccc	ch	Count H
	0ccccccc	cl	Count L
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.25 Parameter change (Remote Time Counter)

Remote Time CounterのRequestを受信することによって送信がenableになると、Time Counterのデータを50msごとに10秒間送信します。連続してCounterの情報を送信させたい場合は、最低10秒以内の間隔でRequestを送り続ける必要があります。

《 受信 》

[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

《 送信 》

Requestによって送信がenableになると、Time Counterの情報を、50msecごとに[Rx CH]のチャンネルで10秒間送信します。

電源を入れ直したときや、PORTの設定を変更した場合には、送信はdisableになります。

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn	1n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00100010	22	Remote Time counter
	0000tttt	0t	0:Time code, 1:Measure.Beat.Clock
	0ddddddd	dd	Hour / Measure H
	0ddddddd	dd	Minute / Measure L
DATA	0ddddddd	dd	Second / Beat
	0ddddddd	dd	Frame / Clock
EOX	11110111	F7	End of exclusive

2.8.3.26 Parameter request (Remote Time Counter)

《 受信 》

[Parameter change RX]がONで[Rx CH]とSUB STATUSに含まれるDevice numberが一致したときに受信します。[Parameter change ECHO]がONの場合にはECHOします。

受信しだい、Time Counterの情報を、50msecごとに[Rx CH]のチャンネルで10秒間送信します。

また、Addressの2バイト目を0x7Fで受信したら直ちにデータの送信を停止します。(disable)

《 送信 》

[Parameter change ECHO]がONの場合にはメッセージをそのまま送信します。

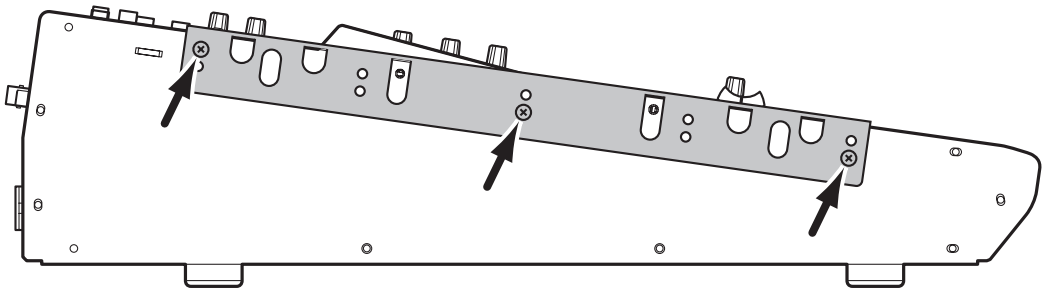
STATUS	11110000	F0	System exclusive message
ID No.	01000011	43	Manufacture's ID number (YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn	3n	n=0-15 (Device number=MIDI Channel)
GROUP ID	00111110	3E	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00001101	0D	01V96
ADDRESS	00100010	22	Remote Time counter
	0ddddddd	dd	0:送信要求、0x7F:送信停止要求
EOX	11110111	F7	End of exclusive

付録D：別売品について

ラックマウントキットRK1

オプションのラックマウントキットRK1を使って、01V96をラックにマウント できます。

下図の矢印の箇所をネジ止めして、ラックマウントキットを取り付けます。
（反対側の金具も同様に取り付けます）。



索 引

Symbols

φ/INSERT/DELAY キー 18
φ/INS/DLY 画面 DLY1-16 ページ 82
φ/INS/DLY 画面 DLY17-32 ページ 82
φ/INS/DLY 画面 INSERT ページ ..... 129、160
φ/INS/DLY 画面 OUT DLY ページ ..... 101、112
φ/INS/DLY 画面 PHASE ページ. 81
+48V ON/OFF スイッチ
ファンタム電源 69

Numerics

01V96 を工場出荷時の状態に戻す 243
01V96 を使ってみよう 47
イコライザー 56
エフェクト 66
オーバーダビング 60
重ねて録音する 60
コンプレッサー 58
最初のトラック録音..... 49
入力レベルを設定する 49
ペア..... 51
マスターレコーダー..... 68
ミックスダウン 63
モニターレベル .....55、62
ルーティング 52
録音.....60、62
1-16/17-32 キー..... 19
1 ～ 8 キー..... 21
2TR IN DIGITAL 端子.....24、71
2TRD ボタン 43
2TR IN 端子.....15、70
2TR OUT DIGITAL 端子 .....24、71
2TR OUT 端子.....15、70
2TRD ボタン..... 43
44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz 選択..... 43

A

AC IN ソケット 25
AD15/16 ソース選択スイッチ..... 15
adat..... 43
ADAT I/O カード..... 72
ADAT IN/OUT 端子 .....24、71
AD インプット..... 14
AD カードのゲイン..... 37
AES/EBU I/O カード..... 72
AMP SIMULATE 265
Auto Channel Select プリファレンス 231
Auto Direct Out On プリファレンス 232
Auto EQUALIZER Display プリファレンス 231
AUTO PAN.....263
Auto PAN Display プリファレンス 231
Auto SOLO Display プリファレンス 231
Auto WORD CLOCK Display プリファレンス 231
AUX 1 ～ AUX 8 キー.....17
AUX アウト.....111
AUX 画面 VIEW1-16 ページ 119
AUX 画面 VIEW17-ST1 ページ..119
AUX キーのインジケーター.....33
AUX センド
EQ の設定.....113、115
FIXED モード 116
VARIABLE モード.....117
アッテネーターの調節 112
画面内の操作で設定 112
画面内の操作で調節 115
コピー 122
コンプレッサーの設定 113
出力レベルの設定 115
ディレイの設定.....112
パネル上の操作子で設定.....115
パラメーターの表示 114
パン 121
複数チャンネルの設定を一覧..119
レベル 115
AUX センドのモード..... 116、120

B

BUS1 ～ BUS8 フィールド.....140

C

Cascade COMM Link プリファレンス 232
CASCADE ページ.....241
CATEGORY フィールド 74
CH1-4 ON/OFF スイッチ.....23
CH5-8 ON/OFF スイッチ.....23
CH9-12 ON/OFF スイッチ..... 23
Channel Copy Parameter プリファレンス 232
Channel ID/Channel プリファレンス 232
CHANNEL PAIRING ポップアップ ウィンドウ..... 96
CHORUS.....262
CLEAR キー..... 22
COPY フィールド.....75

D

DAW.....206
Nuendo/Cubase SX 206
Pro Tools.....190
その他 206
リモート 189
レコーディングシステム 39
DEC/INC キー.....22
DELAY LCR.....261
DELAY SCALE フィールド 82
DELAY+ER. 268
DELAY+REV 269
DELAY->ER. 268
DELAY->REV 269
DEL ボタン.....30
DIO Warning プリファレンス.....231
DIO/SETUP 画面 CASCADE ページ 241
DIO/SETUP 画面 FORMAT ページ ..... 73、76、77
DIO/SETUP 画面 INSERT ページ 193
DIO/SETUP 画面 MACHINE ページ 213
DIO/SETUP 画面 METER ページ 195
DIO/SETUP 画面 MIDI/HOST ページ ..192、208、212、217、241
DIO/SETUP 画面 MONITOR ページ ..... 134、136
DIO/SETUP 画面 OUTPUT ATT ページ 108
DIO/SETUP 画面 PREFER1.....230
DIO/SETUP 画面 PREFER2.....230
DIO/SETUP 画面 REMOTE ページ ..... 192、208、233
DIO/SETUP 画面 SURR BUS ページ 140
DIO/SETUP 画面 WORD CLOCK ページ 42
DIO/SETUP キー 18
DISPLAY ACCESS(ディスプレイ アクセス)セクション 18
Display Brightness プリファレンス.....233
DIST->DELAY 270
DISTORTION.....265
DIV ノブ.....144
DOUBLE CHANNEL (ダブルチャンネル) 77
DOUBLE SPEED(ダブルスピード) 77
DUAL PITCH.....264
DYNA. FILTER.....265
DYNA. FLANGE 265
DYNA. PHASER.....265

DYNAMICS 画面 COMP EDIT ページ.....84、102、113
DYNAMICS 画面 COMP LIB ページ.....184
DYNAMICS 画面 GATE EDIT ページ.....83
DYNAMICS 画面 GATE LIB ページ.....183
DYNAMICS キー.....18

E

EARLY REF.....260
ECHO.....262
EDIT インジケーター.....27
EFFECT 画面 FX1 EDIT ページ .161
EFFECT 画面 FX1 LIB ページ.....179
EFFECT 画面 FX2 EDIT ページ .161
EFFECT 画面 FX2 LIB ページ.....179
EFFECT 画面 FX3 EDIT ページ .161
EFFECT 画面 FX3 LIB ページ.....179
EFFECT 画面 FX4 EDIT ページ .161
EFFECT 画面 FX4 LIB ページ.....179
EFFECT 画面 P-IN EDIT.....163
EFFECT キー.....18
EMPHASIS フィールド.....74
ENTER キー.....22
EQ.....86、102、106、113、115
プリセット EQ.....273
EQ 画面 EQ EDIT ページ.....86、102、113
EQ 画面 EQ LIBRARY ページ.....187
EQ 画面 OUT ATT ページ. 101、112
EQ キー.....18
EQ ライブラリー.....187
プリセット.....188
EQ リンク.....149、154

F

F/R ノブ.....144
F1 ～ F4 キー.....19
FADER MODE(フェーダーモード) セクション.....17
Fast Meter Fall Time プリファレンス.....231
FAST ボタン.....143
FB.GAIN.....82
FIXED モード.....116、120
FLANGE.....262
FREEZE.....270
FREQUENCY コントロール.....20
FS フィールド.....74

G

GAIN コントロール.....15、20
入力感度.....70
GANG(ギャング).....88
GATE REVERB.....260

H

HDR レコーディングシステム.....38
HIGH-MID キー.....20
HIGH キー.....20
HOME キー.....17、34
HOME キーのインジケーター.....33
HORIZONTAL.....97
HQ. PITCH.....264

I

I/O カード.....72
スロット.....71
取り付け.....26
IEEE1394.....72
INDIVIDUAL(インディビデュアル).....88
Initial Data Nominal プリファレンス.....232
INIT ボタン.....140
INPUT 端子.....14、69
INSERT I/O 端子.....14、69
INS ボタン.....30
INV GANG(インバースギャング).. 88

K

KEYIN SOURCE フィールド.....83

L

LAST SOLO.....134
LATCH(ラッチ).....211
LAYER(レイヤー)セクション.....19
LEARN ボタン.....210
LFE ノブ.....143
LOW-MID キー.....20
LOW キー.....20

M

M.BAND DYNA.....271
MASTER キー.....19
METER MODE.....36
METER 画面 CH1-32 ページ.....34
METER 画面 EFFECT ページ.....35
METER 画面 MASTER ページ.....35
METER 画面 POSITION ページ.....34
METER 画面 ST IN ページ.....35
METER 画面 STEREO ページ.....36
MIDI.....191、215
FADER H.....225
FADER L.....225
MIDI IN/THRU/OUT 端子.....25
MIDI インジケーター.....27
MIDI データフォーマット.....308
USB 端子.....216
コントロールチェンジ.....222
シーンメモリーアサイン表.....291
システムエクスクルーシブ メッセージ.....215
スロット.....216
セットアップ.....217
送受信.....219
パラメーター.....223
パラメーターアサイン表.....292
パラメーターチェンジ.....226
バルクダンプ.....227
バルクダンプメッセージ.....215
プログラムチェンジ.....221
MIDI IN/THRU/OUT 端子 ...25、216
MIDI Warning プリファレンス.....231
MIDI インジケーター.....27
MIDI インターフェイス.....191
MIDI 画面 BULK ページ.....227
MIDI 画面 CTL ASGN ページ.....222
MIDI 画面 PGM ASGN ページ.....221
MIDI 画面 SETUP ページ.....219
MIDI キー.....18
MIDI データフォーマット.....308
MIDI リモート.....207
LATCH(ラッチ).....211
LEARN ボタン.....210
MIDI メッセージ.....209
TARGET パラメーター.....208
UNLATCH(アンラッチ).....211
バンク.....207
MIDI ／コントロールセクション.....25
mini-YGDAI I/O カード.....72
MIX SOLO.....134
MIXDOWN.....134
mLAN I/O カード.....72
MMC.....212
MMC(MIDI マシンコントロール) 215
MOD. DELAY.....261
MOD. FILTER.....264
MONITOR LEVEL コントロール....15
MONITOR OUT 端子.....23、70
MONO DELAY.....260
MONO フィールド.....135
MULTI FILTER.....270

N

Nominal Pan プリファレンス.....231
Nuendo.....189
Nuendo/Cubase SX.....206

O

OMNI OUT 端子 .....24、45、70
OMS 191
ON キー.....16、17
OPERATION LOCK..... 237

P

PAD スイッチ..... 14
パッド 69
Pair Confirmation
プリファレンス 231
PAIR/GROUP キー 18
PAIR/GRUP 画面 IN COMP
ページ..... 155
PAIR/GRUP 画面 IN EQ ページ. 154
PAIR/GRUP 画面 IN FADER
ページ..... 150
PAIR/GRUP 画面 IN MUTE
ページ..... 150
PAIR/GRUP 画面 INPUT ページ .. 97
PAIR/GRUP 画面 OUT COMP
ページ..... 155
PAIR/GRUP 画面 OUT EQ
ページ..... 155
PAIR/GRUP 画面 OUT FADER
ページ..... 150
PAIR/GRUP 画面 OUT MUTE
ページ..... 150
PAIR/GRUP 画面 OUTPUT
ページ..... 107
PAN/ROUTING 画面 BUS TO ST
ページ..... 103
PAN/ROUTE 画面 CH EDIT
ページ..... 143
PAN/ROUTE 画面 PAN ページ 93
PAN/ROUTE 画面 SURR MODE
ページ..... 138
PAN/ROUTE 画面 SURR ST IN
ページ..... 147
PAN/ROUTE 画面 SURR1-16
ページ..... 147
PAN/ROUTE 画面 SURR17-32
ページ..... 147
PAN/ROUTING 画面 ROUT1-16
ページ..... 89
PAN/ROUTING 画面 ROUT17-ST1
ページ..... 89
PAN/ROUTING キー 18
PAN/SURR LINK ボタン..... 139
PAN コントロール..... 20
PASSWORD ポップアップ
ウィンドウ 237
Patch Confirmation
プリファレンス 231
PATCH 画面 2TR OUT ページ... 127
PATCH 画面 CASCADE IN
ページ.....240
PATCH 画面 DIRECT OUT
ページ.....127
PATCH 画面 EFFECT ページ 158
PATCH 画面 IN LIB ページ.....178
PATCH 画面 IN NAME ページ
.....98、229
PATCH 画面 IN PATCH ページ
.....44、124
PATCH 画面 INPUT INS ページ.131
PATCH 画面 OUT LIB ページ 179
PATCH 画面 OUT NAME ページ
.....109、230
PATCH 画面 OUT PATCH ページ
..... 45、126、239
PATCH キー..... 18、45、124
PEAK インジケーター .....15、70
PHANTOM +48V スイッチ 23
PHASER 263
PHONES LEVEL コントロール 15
PHONES 端子 .....15、133
POWER ON/OFF スイッチ 25
PREFER1 ページ.....230
PREFER2 ページ.....232
Pro Tools.....189、190
CHANNEL モード 195
INSERT モード.....193
METER モード.....195
MIDI 191
OMS 191
インプリシットミュート.....200
エクスプリシットミュート.....200
オートメーション 205
スクラブ／シャトル 204
センドレベル.....201
操作子の機能.....196
ソロ 200
チャンネルの選択 199
チャンネルのレベル 199
ディスプレイ.....193
パン .....200、201
プラグイン.....202
フリップモード.....201
プリ／ポスト.....200
ミュート..... 199、201
PROTECT ボタン 168

Q

Q コントロール.....20

R

Recall Confirmation
プリファレンス 231
RECALL キー.....21
RECORDING.....134
REMOTE キー ..... 19、189
RESET BOTH ボタン.....96
REV+CHORUS.....266
REV+FLANGE.....267
REV+SYMPHO.....267
REV->CHORUS.....266
REV->FLANGE.....267
REV->PAN.....268
REV->SYMPHO.....267
REVERB HALL.....260
REVERB PLATE.....260
REVERB ROOM 260
REVERB STAGE.....260
REVERSE GATE 260
RING MOD.....264
RK1.....321
ROTARY 264
Routing ST Pair Link
プリファレンス.....232

S

Scene MEM Auto Update
プリファレンス.....232
SCENE MEMORY(シーンメモリー)
セクション.....21
SCENE 画面 IN FADE ページ.....170
SCENE 画面 OUT FADE ページ.171
SCENE 画面 RCL SAFE ページ..172
SCENE 画面 SCENE ページ.....168
SCENE 画面 SORT ページ 173
SCENE キー.....18
SELECTED CHANNEL(セレクテッ
ドチャンネル)セクション....20
SEL キー..... 16、17
SET PASSWORD ポップアップ
ウィンドウ.....238
SHIFT LOCK ボタン 30
SIGNAL インジケーター..... 15、70
SINGLE(シングル) 78
SLOT..... 25、42
SOLO SAFE.....135
SOLO インジケーター.....22
SOLO キー .....16、17
SOLO セクション.....22
SRC フィールド.....73
ST IN キー.....17
ST IN セクション 17
ST IN チャンネル 80
ST REVERB.....271
STEREO DELAY 261
STEREO OUT 端子..... 24、70
STEREO フェーダー 16
STEREO(ステレオ)セクション.....16
Store Confirmation
プリファレンス.....231

STORE キー 21
SURROUND MODE フィールド 139
SYMPHONIC 263
SYNC フィールド 241

T

TARGET パラメーター 193
Tascam I/O カード 72
TITLE EDIT ウィンドウ 30
TO HOST USB 端子 25
TREMOLO 263

U

UNLATCH（アンラッチ） 211
USB ..... 25、216
　OMS 191
USER DEFINE SELECT
　ポップアップウィンドウ.. 236
USER DEFINED KEYS（ユーザー定義キー）セクション 21
　初期アサイン 249
UTILITY 画面 BATTERY ページ.242
UTILITY 画面 CH STATUS ページ 74
UTILITY 画面 LOCK ページ 237
UTILITY 画面 OSCILLATOR ページ 234
UTILITY 画面 USER DEF ページ235
UTILITY キー 18

V

VARIABLE モード ..... 117、120
VERTICAL 97
VIEW 画面 FADER ページ ..... 91、104、114
VIEW 画面 LIBRARY ページ 177
VIEW 画面 PARAMETER ページ ..... 90、104、114
VIEW キー 18

W

WC IN 43
WORD CLOCK IN 端子 24
WORD CLOCK OUT 端子 24

Y

Y56K 163

あ

アウトプット 70
アウトプットパッチ 125
　初期設定 255
　パラメーター 253
アウトプットパッチライブラリー 179
アサイン
　MIDI メッセージ 209
　USER DEFINED KEYS 197
　コントロールチェンジ 222
　プログラムチェンジ 221
　リモートレイヤー 189
アッテネーター ..... 85、101、112
　出力端子からの信号 108
アナログアウトプットセクション ... 23
アナログ入出力 69

い

インサートイン 131
インサートパッチ 129
インプット 69
インプットチャンネル 79
　EQ 94
　EQ の設定 86
　アッテネーターの調節 85
　画面内の操作で設定 81
　ゲートの設定 83
　コンプレッサーの設定 84
　ディレイの設定 82
　名前の変更 98
　入力レベル 93
　パネル上の操作子で設定 93
　パン 93
　パンの設定 88
　フェイズの設定 81
　ペア 95
　ルーティングを変更する 89
インプットパッチ 123
　初期設定 251
　パラメーター 249
インプットパッチパラメーター 249
インプットパッチライブラリー 178

え

エフェクト 157
　エフェクトのバイパス 162
　パラメーター 260
　プラグインエフェクト 163
エフェクトのバイパス 162
エフェクトパラメーター 260
エフェクトライブラリー 179
　エフェクトプログラム 180
　プリセット 180

お

オートアップデート機能 169
オシレーター 234
オプション
　I/O カード 72
オプションカード ..... 26、72
　取り付け 26
オペレーションロック 237

か

カーソルキー 22
カードの取り付け 26
確認のメッセージ 30
各部の名称と機能 13
　トップパネル 13
　リアパネル 23
カスケード 238
　CASCADE ページ 241
　SYNC フィールド 241
画面／ページの選択 28

き

軌道パターン 144
基本操作 27
　AUX キーのインジケーター 33
　HOME キーのインジケーター ...33
　TITLE EDIT ウィンドウ 30
　確認のメッセージ 30
　画面／ページの選択 28
　サンプリングレートインジケーター 28
　タブスクロール矢印 28
　チャンネルの選択 32
　チャンネル名 28
　ディスプレイ 27
　ノブ／フェーダー 29
　パラメーターボックス 29
　フェーダーモードの選択 33
　ページタイトル 28
　ページタブ 28
　ページ領域 28
　ボタン 29
　レイヤーの選択 31
　レベルメーター 34

く

グループ 149
　フェーダーグループ 150
　ミュートグループ 150

け

ゲート 83
　KEYIN SOURCE 83
　プリセットパラメーター 274
ゲートライブラリー 183

こ

工場出荷時 243
コピー 122
コピー操作ポップアップウィンドウ 122
コントラスト調節ノブ 19
コントロールチェンジ .....215、222
コンプレッサー .....84、102、113
　コンプレッサーリンク ...149、154
　プリセットパラメーター 275
コンプレッサーライブラリー 184
　プリセット 185

さ

最初のトラック録音 49
サラウンド 137
　BUS1 ～ BUS8 フィールド . 140
　DIV ノブ 144
　F.S ボタン 107
　F/R ノブ 144
　FAST ボタン 143
　INIT ボタン 140
　LFE ノブ 143
　LINK ボタン 144
　PAN/SURR LINK ボタン 139
　PATTERN パラメーターボックス 144
　ST LINK ボタン 144
　SURROUND MODE .....90、139
　軌道パターン 143
　サラウンドパン 137
　サラウンドモードインジケーター 28
　接続とセットアップ 138
　パン表示 143
サラウンドパン 137
サラウンドモード .....137、138
　工場出荷時 138
サラウンドモードインジケーター ... 28
サラウンドモード切り替えポップアップウィンドウ .. 140
サンプリングレート .....73、74
　DOUBLE CHANNEL(ダブルチャンネル) 77
　DOUBLE SPEED(ダブルスピード) 77
　SINGLE(シングル) 78
　SRC フィールド 73
　サンプリングレートインジケーター 28
　ハイサンプリングレートの設定 77
サンプリングレートインジケーター 28

し

シーンキー 21
シーンナンバー 166
シーンナンバー00 166
シーンナンバーUd 166
シーンメモリー 165
　PROTECT ボタン 168
　エディットインジケーター 166
　オートアップデート機能 169
　画面内の操作 168
　シーンナンバー 166
　シーンナンバー00 166
　シーンナンバーUd 166
　シャドーメモリー 169
　ストア／リコール 167
　並べ替え 173
　フェードタイム 170
　含まれるパラメーター 165
　リコールセーフ 172
シーンメモリーセクション 21
システムエクスクルーシブメッセージ 215
システムのバージョン 242
シャドーメモリー 169
出力レベル .....106、115
仕様 282

す

ステレオアウト 99
　EQ の設定 102
　EQ ／バランスの設定 106
　アッテネーターの調節 101
　画面内の操作で設定 101
　コンプレッサーの設定 102
　出力レベルの設定 106
　ディレイの設定 101
　パネル上の操作子で設定 106
　パラメーターの表示 104
ステレオセクション 16
ステレオチャンネル 80
ステレオメーター 19
ストア／リコール 167
スロット .....71、216
スロットセクション 25
寸法図 290

せ

接続 37
　DAW を使ったレコーディングシステム 39
　HDR と併用するレコーディングシステム 38
　アナログ 24 チャンネルのミキシングシステム 37
セットアップ 37
セレクテッドチャンネルセクション 20

そ

その他の機能 229
　プリファレンス 230
ソロ 134
　LAST SOLO 134
　LISTEN フィールド 134
　MIX SOLO 134
　MIXDOWN 134
　RECORDING 134
　SOLO SAFE CHANNEL フィールド 135
　SOLO TRIM フィールド 135
　SOLO フィールド 134
　ソロ機能 136
　ソロセーフ機能 135

た

タイトルを入力する
　TITLE EDIT ウィンドウ 30
ダイレクトアウト 127
タブスクロールキー 20
タブスクロール矢印 28
ダブルスピード 77
ダブルチャンネル 77

ち

チャンネルの選択 32
チャンネルフェーダー 16
チャンネルモジュールセクション 16
チャンネルライブラリー 177

て

ディザー 76
ディジーチェーン接続 40
ディスプレイ .....19、27
ディスプレイセクション 19
ディレイ ..... 82、101、112
　DELAY SCALE 82
　FB.GAIN 82
データエントリーセクション 22
デジタル I/O セクション 24
デジタル入出力 71
デジタル入力信号のモニター 74
電源セクション 25

と

特長 11
　MIDI 12
　エフェクト 12
　オーディオ特性 11
　サラウンドプロダクション環境 .12
　シーンメモリー 12
　チャンネルの構造 12
　入出力の構造 11
　ハードウェア 11

リモートコントロール.....12
インプットチャンネル
特定チャンネルの表示.....90
トップパネル.....13
AD インプットセクション.....14
DISPLAY ACCESS(ディスプレイアクセス)セクション...18
FADER MODE(フェーダーモード)セクション.....17
LAYER(レイヤー)セクション..19
SCENE MEMORY(シーンメモリー)セクション.....21
SELECTED CHANNEL(セレクテッドチャンネル)セクション.....20
SOLO セクション.....22
ST IN セクション.....17
STEREO(ステレオ)セクション16
USER DEFINED KEYS(ユーザー定義キー)セクション.....21
チャンネルモジュールセクション.....16
ディスプレイセクション.....19
データエントリーセクション....22
モニターアウト／ヘッドフォンセクション.....15

な

内蔵エフェクト.....157
AUX センド.....158
MIX BALANCE フィールド...162
TEMPO フィールド.....162
エディット.....161
エフェクトプロセッサー1 ～ 4.....157
チャンネルに挿入する.....160
メーター表示.....162
名前を変更する.....98、109、229

に

入力感度.....70
GAIN コントロール.....15

の

ノートオン／オフ.....215
ノブ／フェーダー.....29

は

ハードディスクレコーダー.....38
ハイサンプリングレート.....77
はじめに.....11
バスアウト.....99
EQ の設定.....102
EQ ／バランスの設定.....106
アッテネーターの調節.....101
画面内の操作で設定.....101
コンプレッサーの設定.....102
出力レベルの設定.....106
信号をステレオバスに送る.....103
ディレイの設定.....101
名前の変更.....109
パネル上の操作子で設定.....106
パラメーターの表示.....104
ペア.....107
パッチ.....123
2TR OUT DIGITAL 端子.....127
ADAT OUT 端子.....126
OMNI OUT 端子.....126
PATCH.....44
アウトプットパッチ.....125
インサートイン.....131
インサートパッチ.....129
インプットチャンネル.....44
インプットパッチ.....123
出力信号の割り当て.....45
ダイレクトアウト.....127
入出力端子のパッチング.....44
入力信号の割り当て.....44
バッテリー.....242
パッド.....69
PAD スイッチ.....14
パラメーターチェンジ.....226
パラメーターホイール.....22
パラメーターボックス.....29
パラメーターリスト.....247
バルクダンプ.....227
バルクダンプメッセージ.....215
パン.....88、121
F.S ボタン.....107
FOLLOW PAN.....92
GANG(ギャング).....88
INDIVIDUAL(インディビデュアル).....88
INV GANG(インバースギャング).....88
PAN ボタン.....89

ふ

ファンタム電源.....69
CH1-4 ON/OFF スイッチ.....23
CH5-8 ON/OFF スイッチ.....23
CH9-12 ON/OFF スイッチ....23
ファンタム＋ 48V.....23
フェイズ.....81
フェーダーグループ.....149、150
フェーダーモードの選択.....33
フェード
ALL INPUT CLEAR ボタン..170
AUX1 ～ 8 フィールド.....171
BUS1 ～ 8 フィールド.....171
Global Fade Time チェックボックス.....170
INPUT CH1 ～ 32 フィールド.....170
INPUT MASTER A ～ H フィールド.....171
OUTPUT MASTER Q ～ T フィールド.....171
ST IN1 ～ 4 フィールド.....170
STEREO フィールド.....171
フェードタイム.....170
プラグイン.....202
PLUG-IN.....228
Y56K.....163
プラグインエフェクト.....163
プリセット EQ パラメーター.....273
プリセットゲートパラメーター.....274
プリセットコンプレッサーパラメーター.....275
プリファレンス.....230
プログラムチェンジ.....215、221
分配ボックスをつかった接続.....41

へ

ペア.....95、107
HORIZONTAL.....97
SEL キーで設定.....96
VERTICAL.....97
画面上の操作で設定.....97
ページ
IN PATCH ページ.....44
別売品.....321
I/O カード.....72
ラックマウント RK1.....321

ほ

ホームページ.....72
ボタン.....29
ポップアップウィンドウ.....30

ま

マシンコントロール.....212
マルチトラック録音.....47

み

ミックスダウン.....47
ミュートグループ.....149、150

め

メーター..... 34
ステレオメーター 19

も

モニター..... 133
LAST SOLO 134
MIX SOLO..... 134
MIXDOWN 134
MONO フィールド..... 135
RECORDING 134
SOLO SAFE 135
設定..... 134
ソロ機能..... 136
ソロセーフ機能 135
デジタル入力信号のモニター 74
モニターアウト／ヘッドフォン
セクション 15
モニターソース選択スイッチ..... 15

ゆ

ユーザーアサイナブルレイヤー.... 233
ユーザー定義キー 235
ユーザー定義キーセクション..... 21

ら

ライブラリー
EQ ライブラリー 187
アウトプットパッチライブラリー
..... 179
インプットパッチライブラリー
..... 178
エフェクトライブラリー..... 179
基本操作..... 175
ゲートライブラリー..... 183
コンプレッサーライブラリー . 184
チャンネルライブラリー..... 177
ライブラリー..... 175
ラックマウント..... 321

り

リアパネル..... 23
MIDI／コントロールセクション
..... 25
SLOT(スロット)セクション 25
アナログアウトプットセクション
..... 23
デジタル I/O セクション..... 24
電源セクション 25
ファンタム＋ 48V 23
リコールセーフ..... 172
リモート..... 189
FRAMES フィールド 214
INSERT モード 193
LOCATE/TIME フィールド.. 213
MACHINE CONTROL 189
MACHINE CONTROL
フィールド.....213
MIDI 機器.....207
MIDI メッセージ.....209
MIDI リモート.....207
Nuendo.....189
Nuendo/Cubase SX.....206
Pro Tools .....189、190
REMOTE 189
TARGET パラメーター.....193
TRACK ARMING フィールド
.....213
TRANSPORT フィールド.....214
ディスプレイ 193
マシンコントロール 212
リンク 149
EQ リンク.....154
コンプレッサーリンク 154

る

ルーティング..... 89

れ

レイヤー 31
レイヤー初期バンク設定 256
レイヤーセクション..... 19
レベルコントロール..... 17
レベルメーター.....34
ピークレベル.....36

わ

ワードクロック.....40
WC IN.....43
接続 40
ソースを選ぶ.....42
ディジーチェーン接続 40
表示の意味.....42
分配ボックスをつかった接続.....41
ワードクロックについて.....40

YAMAHA [Digital Mixing Console-Internal Parameters] Date: 26 Aug. 2002

Model: 01V96

MIDI Implementation Chart

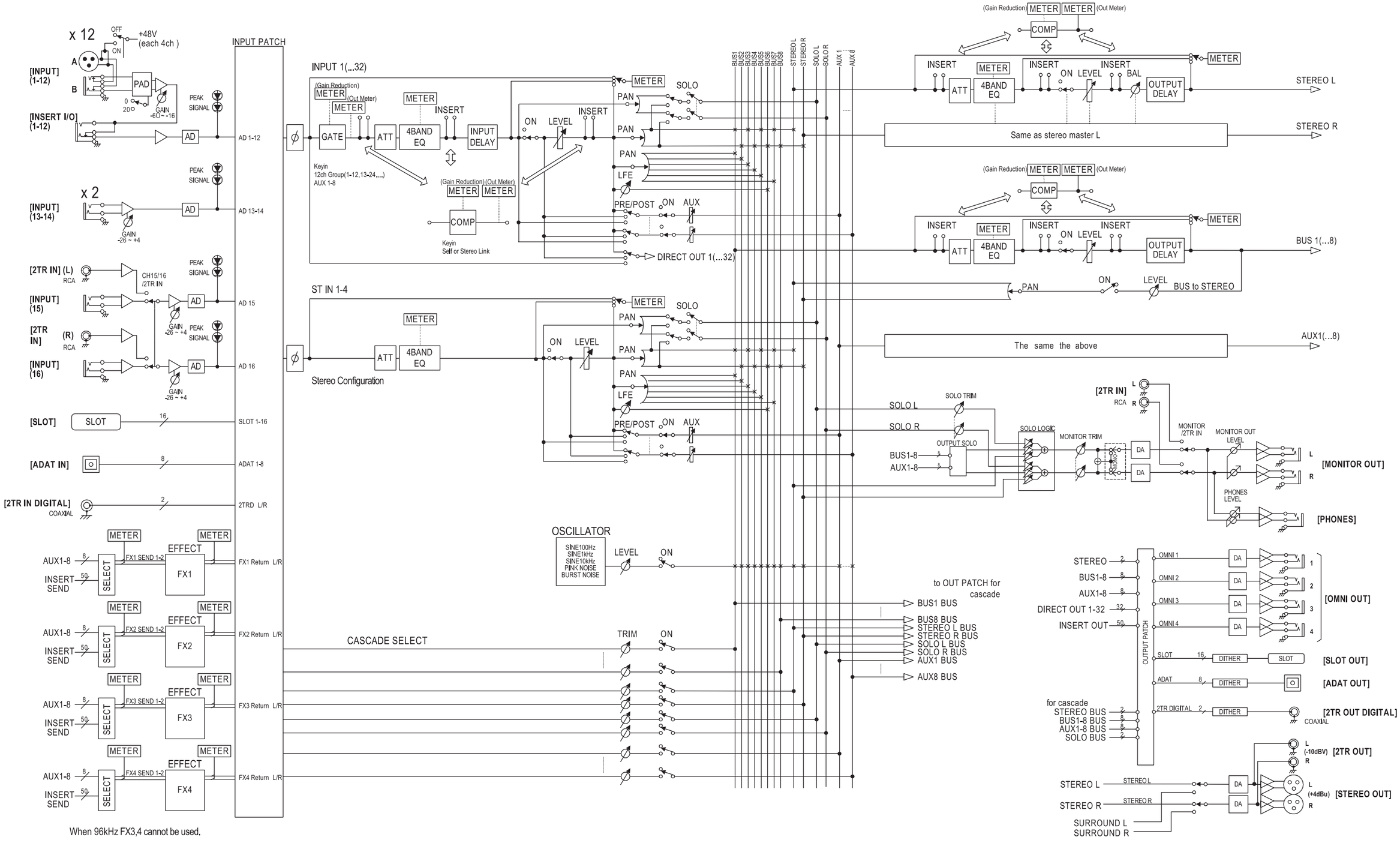
Version: 1.0

Function...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1–16 1–16	1–16 1–16	Memorized
Mode	Default Messages Altered	X X **********	OMNI off/OMNI on X X	Memorized
Note Number	True Voice	X **********	0–127 X	
Velocity	Note On Note Off	X X	O O	Effect Control
After	Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend		X	X	
Control Change	0-95,102-119	O	O	Assignable
Prog Change	:True#	0–127 **********	0–127 0–99	Assignable
System Exclusive		O	O	*1
System Common	:Song Pos :Song Sel :Tune	X X X	X X X	
System Real Time	:Clock :Commands	X X	O X	Effect Control
Aux Messages	:Local ON/OFF :All Notes OFF :Active Sense :Reset	X X X X	X X O O	
Notes		MTC quarter frame message is recognized. *1: Bulk Dump/Request, Parameter Change/Request, and MMC. For MIDI Remote, ALL messages can be transmitted.		

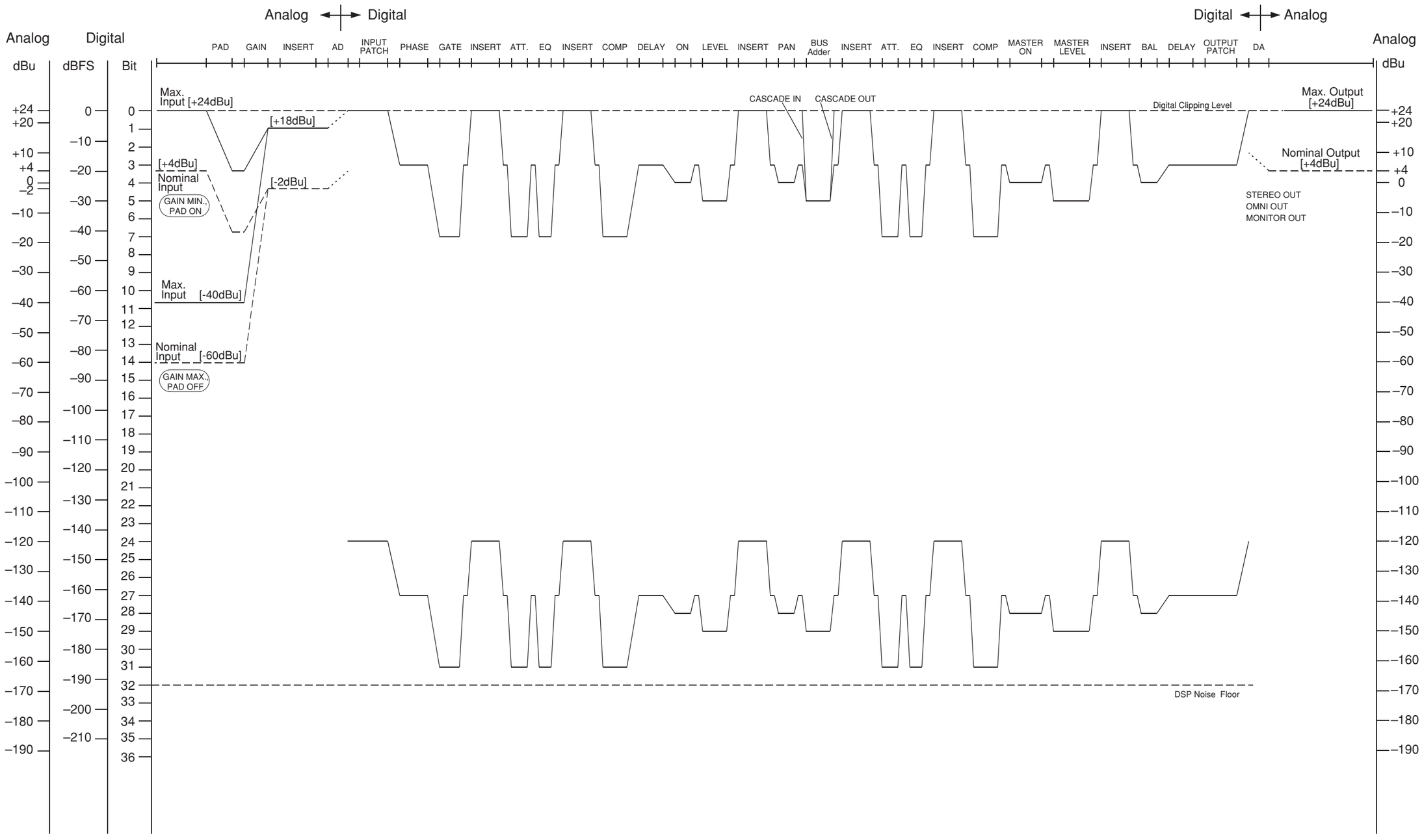
Mode 1: OMNI ON, POLY Mode 2: OMNI ON, MONO O: Yes

Mode 3: OMNI OFF, POLY Mode 4: OMNI OFF, MONO X: No

01V96ブロックダイアグラム



01V96レベルダイアグラム



[0dBu = 0.775Vrms]
[0dBFS = Full Scale]

サービスについて

■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■調整・故障の修理

「故障かな ?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品に関するご質問・ご相談はお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

●お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03-5791-7678　Fax: 03-5488-6663 (電話受付＝祝祭日を除く月～金 /11:00 ～ 19:00)
ONLINE support: http://proaudio.yamaha.co.jp/

●営業窓口

国内楽器営業本部 LM 営業部 企画推進室
PA・DMI 事業部 MP 推進部
マーケティンググループ

☎ 03-5488-5430　〒 108-8568　東京都港区高輪 2-17-11
☎ 053-460-2432　〒 430-8650　浜松市中沢町 10-1

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理受付センター
● 受付時間　月曜日～金曜日 9:00 ～ 19:00、土曜日 9:00 ～ 17:30(祝祭日および弊社休業日を除く)
● ナビダイヤル (全国共通番号) 0570-012-808　● FAX　053-463-1127

修理品お持込み窓口

● 受付時間月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:45 (祝祭日および弊社休業日を除く)
* お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内	FAX (011) 512-6109
首都圏サービスセンター	〒 143-0006	東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F	FAX (03) 5762-2125
浜松サービスステーション	〒 435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ (株) 和田工場内	FAX (053) 462-9244
名古屋サービスセンター	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2 ヤマハ (株) 名古屋倉庫 3F	FAX (052) 652-0043
大阪サービスセンター	〒 564-0052	吹田市広芝町 10-28 オーク江坂ビルディング 2F	FAX (06) 6330-5535
九州サービスステーション	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4	FAX (092) 472-2137

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF:無塩素系漂白パルプ) を使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ヤマハマニュアルライブラリー
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2005 Yamaha Corporation

WE05030 603IPAPx.x-0?C0
Printed in Japan